

山梨県韮崎市

I SHI NO TSUBO

# 石之坪遺跡(東地区)

— 県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 —



4号住出土土器の抽象文

2000

韮崎市教育委員会  
石之坪遺跡発掘調査会  
峡北土地改良事務所

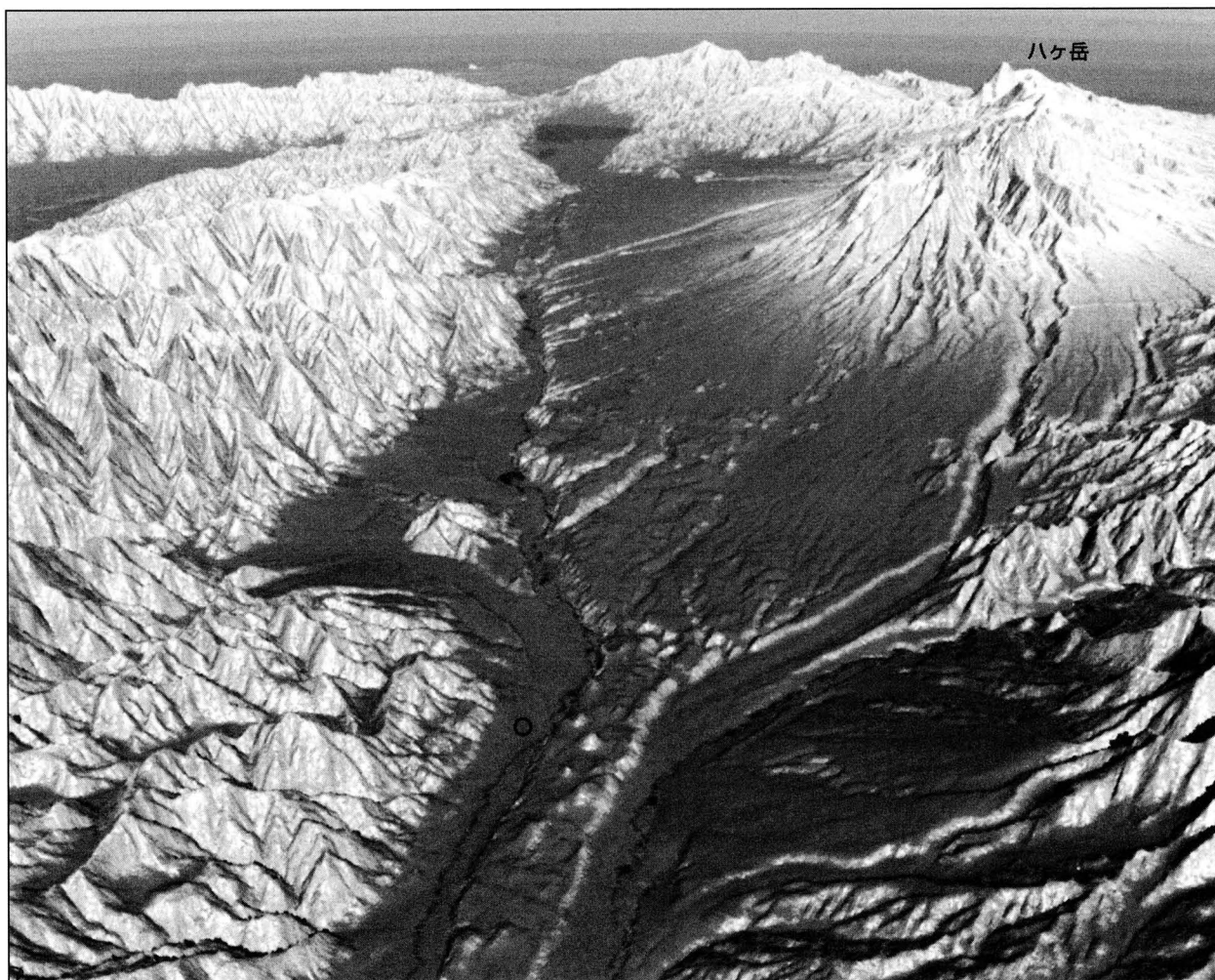


山梨県韮崎市

I SHI NO TSUBO

# 石之坪遺跡（東地区）

— 県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 —



○印が石之坪遺跡

2000

韮崎市教育委員会  
石之坪遺跡発掘調査会  
峡北土地改良事務所



# 序

石之坪遺跡は、今から約4500年前の縄文時代中期を中心とした集落遺跡です。さらに平安時代末から中世の遺構や遺物も発見されており、貴重な歴史資料を提供しています。

遺跡発見の経緯は、県の主導による昭和47年に行われた分布調査で縄文土器が採集され、周知の埋蔵文化財包蔵地「石の坪遺跡」として遺跡台帳に登録されたことによります。遺跡は甲州街道沿いに形成された上円井集落の後背台地上にあり、台地は南北方向に細長く南側に向かって緩やかに傾斜した地形で、畑地となっていました。現在は国道20号線が台地中央を南北方向に、遺跡を東と西に分断するように走っています。

平成8年度に県営圃場整備事業が当該地域に実施されることになり、畑の区画整理と水路・道路の付け替えが計画されました。本市教育委員会では文化財保護の立場から山梨県学術文化財課・峡北土地改良事務所と協議を行い、その結果工事に先立って遺跡の発掘調査を実施する運びとなりました。圃場整備事業対象地は約20000m<sup>2</sup>で、その全域に遺跡の存在が予測されたため、当初、平成12年度までの五ヵ年で、現地調査を終了する予定でしたが、圃場整備事業の完了が平成12年度に決定され、調査と報告書の刊行が急務となりました。そこで再度本市教育委員会・山梨県学術文化財課・峡北土地改良事務所と協議を行い、調査の進捗状況や市教委の調査体制等を考慮して、国道から東側部分については(財)山梨文化財研究所に調査の委託を行い、平成10年度に発掘調査実施、平成11年度に報告書刊行、西側部分については教育委員会による発掘調査事業とし、平成11年度まで調査、平成12年度に報告書作成としました。

今回の報告書は、(財)山梨文化財研究所に調査委託を行った国道東側部分の発掘調査をまとめたものです。細かい内容は報告文を参照していただきたいと思いますが、縄文時代・弥生時代・平安時代・中世など各時代にわたって重要な発見があり、貴重な成果がもたらされました。本報告書が学術的に考古学研究や歴史学研究の一助となるとともに、地域文化の発展に寄与することを願っております。

最後になりましたが、発掘調査実施にあたり多大なご理解とご協力を賜りました関係各機関、各位に厚くお礼を申し上げます。

平成 12 年 3 月 31 日

韮崎市教育委員会

教育長 興 石 薫



## 例 言

- 1 本書は山梨県韮崎市円野町上円井石之坪所在の石之坪遺跡(東地区)の発掘調査報告書である。韮崎市の委託を受け、石之坪遺跡発掘調査会が発掘調査を平成10年度に、また整理作業を平成11年度に行った。
- 2 本書の原稿執筆・編集は、第3章第1・2節を除き櫛原が行った。写真図版の空中写真および土器写真、展開写真は(株)シン技術コンサルによる。
- 3 発掘調査、整理作業において次の分析・業務を委託した。  
基準点設置・杭打設・航空測量  
(株)シン技術コンサル  
火山灰分析  
(財)山梨文化財研究所 地質研究室  
炭化種実分析  
古代の森研究所  
金属製品保存処理  
(財)山梨文化財研究所 保存修復研究室
- 4 本書で用いた地図は建設省国土地理院発行の地形図(1:25,000、1:50,000)、地勢図(1:200,000)、韮崎市発行都市計画図(1:2,500・5,000)である。また中扉の俯瞰図作成は村石真澄氏(山梨県埋蔵文化財センター)による。
- 5 石器石材名は河西学氏((財)山梨文化財研究所)に、陶磁器類に関しては藤沢良祐氏・青木修氏((財)瀬戸市埋蔵文化財センター)、出土人骨に関しては茂原信生氏(京都大学霊長類研究所)にご教示いただいた。
- 6 本書に関わる出土品・諸記録は韮崎市教育委員会にて保管されている。
- 7 発掘調査から本報告書刊行までの間、以下の諸氏、諸機関から多大な助言、ご教示、ご配慮を賜った。記して感謝申し上げたい。(順不同)  
小野正文・中山誠二・森原明廣(山梨県教委学術文化財課)、新津健・三田村美彦(山梨県立考古博物館)、今福利恵・野代幸和・村石真澄(山梨県埋蔵文化財センター)、佐野隆・秋山圭子(明野村教委)、室伏徹(勝沼町教委)、佐々木満(甲府市教委)、堀内真(富士吉田市教委)、佐藤勝廣(小淵沢町教委)、岡野秀典(豊富村教委)、雨宮正樹(高根町教委)、竹田真人(武川村教委)、杉本充(白州町教委)、石川日出志(明治大学)、原田昌幸(文化庁)、原正人(駿台甲府中)、歌田昌収、内藤巧、山口博之、荒川正夫、飯村均、斉木秀雄、八重樫忠郎、谷口一夫(湯之奥金山資料館)、田村晃一・清水信行・合田芳正・林克彦(青山学院大学)、大工原豊(安中市教委)、降矢哲男、斉藤春美、内藤まさの、内藤陽子、内藤寿美江、庄司太一、峡北土地改良事務所、東京大学考古学研究会、都留文科大学考古学研究会、甲斐丘陵考古学研究会、東八代郡文化財担当者会、北巨摩郡文化財担当者会、藤沢市教育委員会
- 8 西地区(韮崎市教委調査地区)を含めた石之坪遺跡全体の遺構分布及び変遷、土器群の様相に関しては、平成12年度刊行予定の『石之坪遺跡(西地区)』にまとめられる予定である。

## 凡 例

- 1 遺跡全体図におけるX・Y数値は、平面直角第8系(原点：北緯36度00分00秒、東経138度30分00秒)に基づく各座標数値である。各遺構平面図中の北を示す方位は、全て座標北を示す。磁針方位は西偏約6°。
- 2 遺構および遺物の縮尺は原則として次の通りである。  
<遺構> 竪穴住居址 1/60  
土坑・竈・炉 1/40  
溝・全体図 任意  
<遺物> 完形・図上復元土器 1/4  
土器片(拓本)・石器・石製品・瓦 1/3  
石鏃・石錐・ユーストフレイク等 2/3  
鉄製品・土製品・小瓶 1/2  
銭貨 1/1  
五輪塔・宝篋印塔 1/6
- 3 遺構図版中の手描き点文は焼土分布を、2点鎖線は硬化した床面の範囲を、破線は掘り方面のピットや凹みを意味する。また遺構図版中の遺物マークは次の通りである。  
●土器、土師器 ▲須恵器、灰釉陶器、陶磁器  
■石器 □土製品 ○金属製品
- 4 遺構図版中の遺物番号は、遺物図版番号と一致する。また遺構図版中の遺物接合線については、実線は接合した2点の遺物接合関係を、また破線は同一個体であることを意味する。
- 5 磨石の磨り面は断面に実線で範囲を表示し、また叩き面は破線で表示している。
- 6 遺構図版中の柱穴内の数値は基準床レベルからの深さ(cm)である。
- 7 遺物図版中の断面図が黒塗りは須恵器、白抜きは土器、土師器、陶磁器、網かけは灰釉陶器、山茶碗である。
- 8 土層断面図、遺物観察表中の色調名は『新版標準土色帖』(小山正忠・竹原秀雄 1990)を参照した。
- 9 竪穴住居の床面積は壁下端ラインをプランメーターで計測した。使用機種はウシカタX-PLAN360d。

## 目 次

第1章 序説	
第1節 遺跡の位置と歴史・環境	1
第2節 調査に至る経過・調査体制	1
第3節 調査の方法と経過	4
第2章 遺構と遺物	
第1節 竪穴住居址と遺物	9
第2節 土坑と遺物	14
第3節 方形集石と遺物	15
第4節 方形周溝遺構と遺物	16
第5節 溝と遺物	17
第6節 その他の出土遺物	17
第3章 自然科学分析	
第1節 韮崎市石之坪遺跡のテフラ(河西 学)	34
第2節 韮崎市石之坪遺跡より産出した炭化種実(吉川純子)	36
第3節 出土人骨	39
第4章 考 察	
第1節 土器の分布状況と遺構の変遷	39
第2節 五輪塔の変遷	41
第3節 方形周溝遺構の基準線	43
第4節 袍衣埋納に関する聞き取り	44
第5章 成果と課題	45



# 第1章 序 説

## 第1節 遺跡の位置と歴史・環境

山梨県北西部にある韮崎市には、かつて八ヶ岳の山体崩壊によって生じた大規模な泥流台地が細長く浸食されて特徴的な景観を形成した「七里ヶ岩」台地がある。その台地東側には塩川が、西側には暴れ川で知られる釜無川が南へと流れ、それぞれの流域は県内有数の米どころとなっている。七里ヶ岩台地上には山梨の代表的な縄文遺跡である坂井遺跡が所在し、また武田家最後の城、新府城跡(国史跡)が残る。

石之坪遺跡は釜無川右岸、韮崎市円野町上円井(かみつぶらい)石之坪にあり(図1・2)、籠沢の小扇状地が東側へと発達した台地の南端、標高460m付近に立地する。遺跡付近は突き出すように緩やかに南に傾斜した地形で、台地中央には昭和40年頃開通した国道20号線が通過し、遺跡を東西に分断している。この国道東側が本書で報告する石之坪遺跡東地区である。遺跡東方には、釜無川対岸に屹立した七里ヶ岩の屏風が視界を閉ざし、また西側は南アルプスの山々の山麓となり、北西と南東に開けた地形となっている。長野県境へと続く北西方面には八ヶ岳の山々が裾野を広げ、また南東正面には甲府盆地の先に富士山の優美な姿を拝することができる。台地下東側には上円井集落が旧甲州街道に沿って旧宿場町を形成し、かつての面影をとどめている。

この上円井地区では、県営圃場整備事業に伴う発掘調査が市教委によって平成8年(1996)から計画的に実施されてきた。また前段階の調査として、平成4年には石之坪遺跡北端で堂地遺跡が、また平成5年には堂地遺跡(2次)が調査され、さらに本遺跡北700mでは、平成2年に北堂地遺跡が調査され、縄文時代中期中葉の住居址1軒が見つかっている。堂地遺跡の調査地点2箇所は、ともに本遺跡内に含まれるもので、堂地遺跡では円形の石組井戸1基が見つかり、付近には明治以前に建物が存在したといわれている。

石之坪遺跡西地区(市教委調査地区)では、これまでで中期前半から後半にかけて多数の住居址が検出され、各時期に集落としての環状配置やまとまりがいくつか想定されている。釜無川右岸では最大級の縄文中期の集落遺跡で、北巨摩郡内では坂井遺跡(韮崎市)、酒呑場遺跡(長坂町)、甲ツ原遺跡(大泉村)と並ぶ規模の拠点集落である。後期前半には柄鏡形住居址1軒をはじめ数軒の住居址が検出され、晩期では終末期の浮線文系土器が出土している。弥生時代中期前半では条痕文土器を含む土坑があり、平安時代になると竪穴住居址が全体的に散在している。また2条の平行した区画溝が断続的に見つかると、東地区にも及んでいることが予測された。溝の時期は定かではないが、平安末以降の遺物が住居址等から出土し、平安末～鎌倉初期の館跡とも考えられている。

地籍図をみると、国道を斜めに横切る農道に沿って短冊形地割が認められることから(図2E)、現農道が古道を示すものではないかという指摘がある。また農道を北に進むと東地区北側に隣接して方形の地割があり、館跡の可能性もあるといわれている。地元では現在の旧甲州街道成立以前には、信州への道が台地上を通過していたと伝えられる。また地元研究者所有の古絵図写しにも、台地下には道は描かれておらず、山裾に「円井七屋敷」ともいわれるいくつかの屋敷名をもつ家々が点在する様子が窺える。また圃場整備が進んだ現在でも、台地上の農

道脇などには中・近世の六地藏石幢や五輪塔などの石造物が点在し、かつての古道を示す手がかりを残している。

遺跡北側には妙浄寺(清水山妙浄寺、日蓮宗)がある。万治年間、江戸深川の徳嶋兵左エ門俊正が釜無川右岸の灌漑を目的として堰を計画し(後の徳島堰)、その祈禱寺として建立された寺院で、徳嶋兵左エ門夫妻の墓所がある。また遺跡東側の竹藪には巨石があり、「おじょうさん」と呼ばれる石祠が祀られている(写真1)。子供の夜泣きが激しい時など、油揚げなどをお供えしたといわれる。「お縄さん」と書き、検地の縄を埋めた場所とも、甲府城の稲荷郭からお稲荷さんを移したとも、あるいは伊藤三右衛門なる者が天正5年、膳ノ城攻めの際に円珠姫なる姫君を捕らえ連れてきたが、勝頼が本国へ返したことに因むともいい伝えられている(1979 内藤)。また出産時の後産を埋納した胞衣墓地がその付近にあった、ということも調査前にうかがっていたが、調査の結果、石祠の西側、台地上の中央東寄りにある上円井地区共有地がそれであったことが判明した。なお、『甲斐国志』土庶部の「円井氏」には「武田系図五郎信光ノ末男十郎光経ハ円井・増坪ノ祖トアリ」とみえ、今回の調査で確認された遺構と時期的に関連性がある。『甲斐国志』の記載を単なる伝承として軽々に扱うべきではなく、慎重に検討する価値があろう。



写真1 「おじょうさん」の石祠

## 第2節 調査に至る経過・調査体制

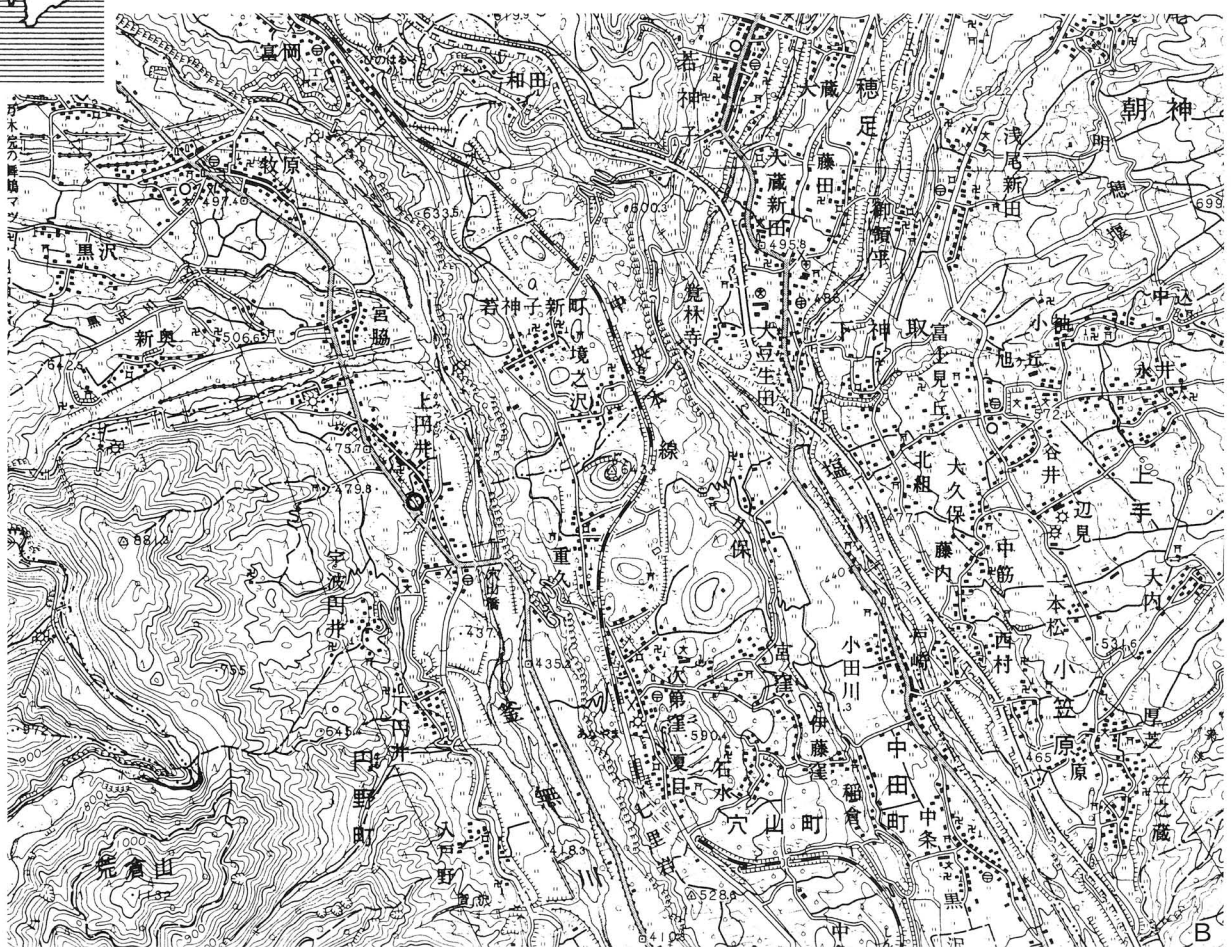
調査に至る経緯は本書序文にあるように、平成10年、峡北土地改良事務所から示された上円井地区圃場整備計画案に対し、韮崎市教育委員会の現体制では調査を行うことが難しいとの判断から、県学術文化財課を交えて相談した結果、東地区の調査が山梨文化財研究所に委託された。研究所側では遺跡調査会を組織して調査にあたることとし、





図1 遺跡の位置

- A : 1/200,000  
地勢図 (甲府)
- B : 1/50,000  
地形図 (韮崎)



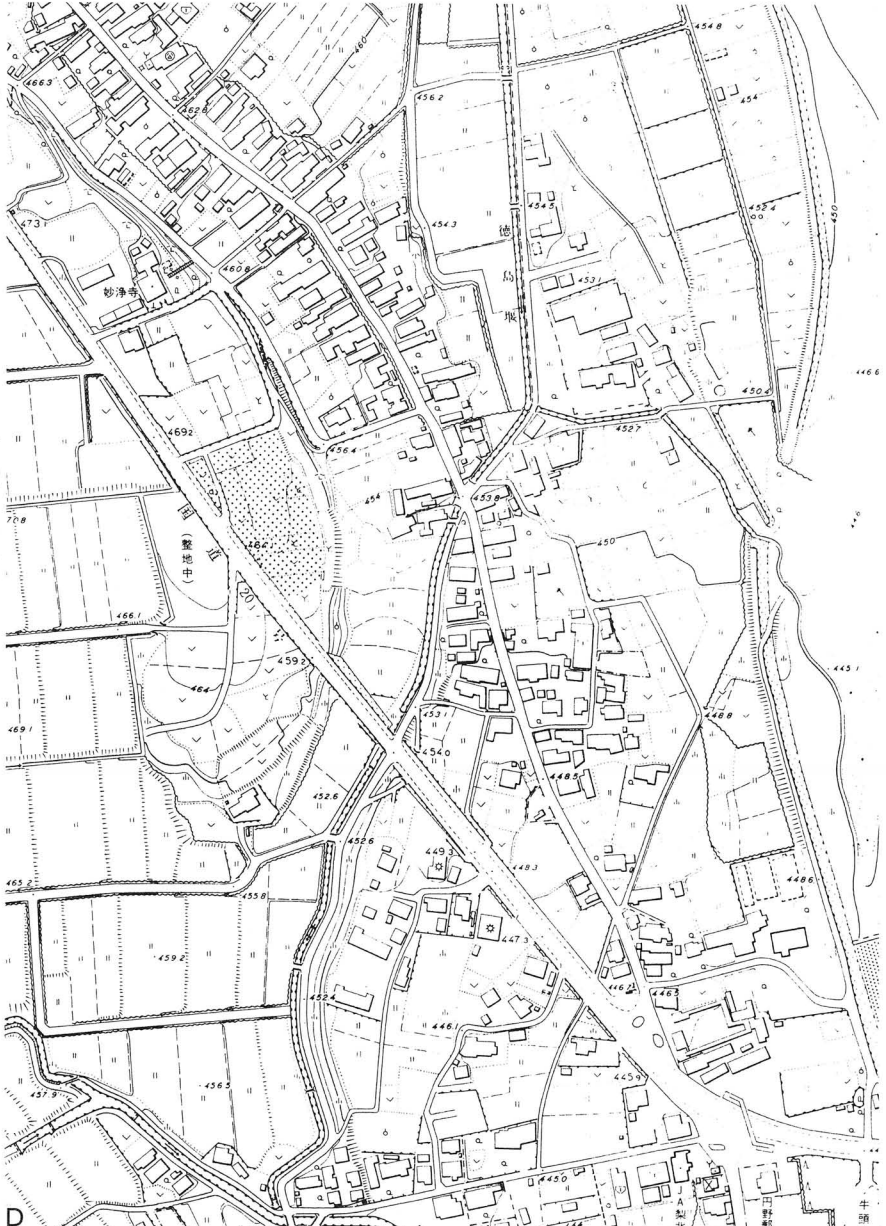
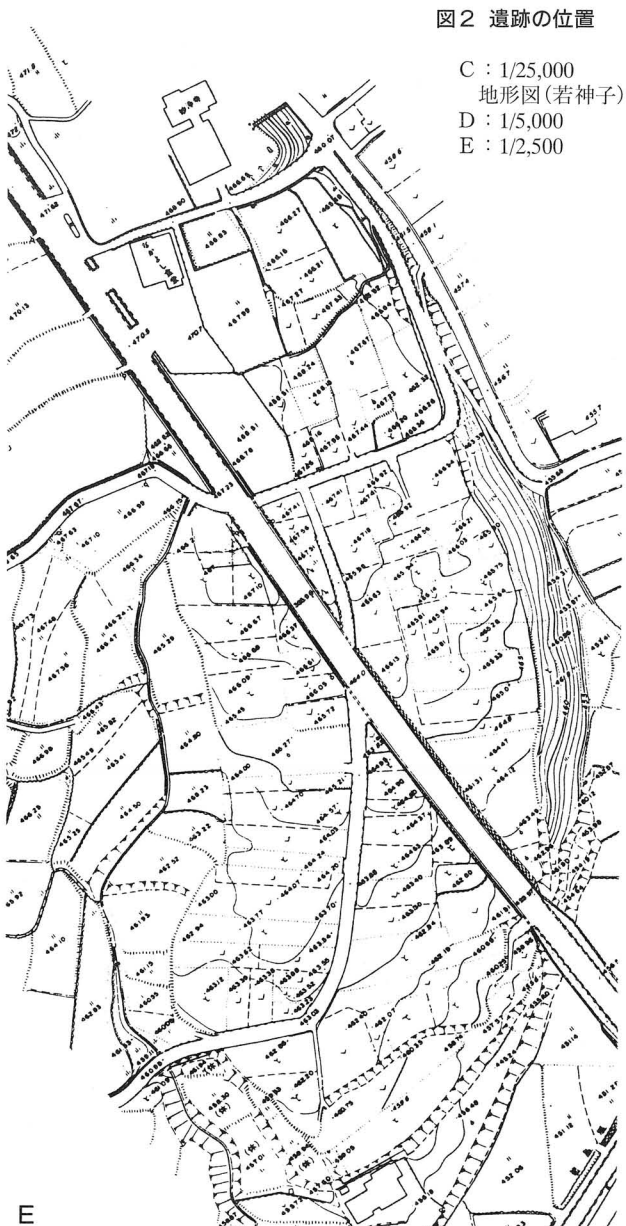
B





図2 遺跡の位置

C : 1/25,000  
 地形図(若神子)  
 D : 1/5,000  
 E : 1/2,500



E

D

羊田町小田川



平成10年5月、韮崎市と石之坪遺跡調査会との間で契約を交わした。この調査会の目的は石之坪遺跡の発掘調査、研究、整理、調査報告書の作成であり、会組織は以下の通りである。また事務局は研究所内に置いた。

- 会 長 萩原三雄(山梨文化財研究所 所長代行)
- 副 会 長 鈴木 稔(山梨文化財研究所 研究室長)
- 参 与 口野道男(韮崎市教育委員会 教育長 平成10年度)
- 参 与 興石 薫(韮崎市教育委員会 教育長 平成11年度)
- 参 与 山本雄次(韮崎市教育委員会 社会教育課 課長)
- 参 与 山下孝司(韮崎市教育委員会 社会教育課 主査)
- 参 与 関岡俊明(韮崎市教育委員会 社会教育課 主事)
- 調 査 員 榎原功一(山梨文化財研究所 研究室長)
- 事務局員 五味芳子(山梨文化財研究所 事務主任)

調査は平成10年度の委託事業とし、平成10年5月～11年3月まで行われた。また整理作業、報告書原稿作成は平成11年度の委託事業とし、平成11年4月～平成12年3月まで山梨文化財研究所内で行われた。なお発掘調査にあたっては、榎原とともに阿部勲が調査員として指導を行った。

<発掘調査参加者> (敬称略・順不同)

- 戸島義和・望月等・伊藤豊子・望月磯男・功刀正彦・功刀とよ子・鈴木節夫・高左右一光・清水知恵・小野幸江・大柴欣子・保坂実香子・五味ゆき子・粟沢たけ子・飯窪利江・井手研二・井手正美・守屋敏子・川村みゆき・宮川昌蔵・樋口信也・阿部恵子・山本栄一

<整理作業参加者> (敬称略・順不同)

- 佐野靖子・矢房静江・斉藤ひろみ・岩崎満佐子・小沢恵津子・崎田貴子・林紀子・田中真紀美・井出研二・井出正美・小林小路・保坂真澄・竜沢みち子・梶原薫・斉藤春美・神庭さつき・高橋大地・山口あずさ・法月麻友美・林雅彦・柿原豪・児嶋貴行・松本貴智・根岸洋・川中裕二・斉藤拓弥・初鹿野博之



図5 遺跡コンタ図

### 第3節 調査の方法と経過

**(対象地区)** 調査面積は約4,900㎡。事前に試掘調査は行われていなかったが、西地区での遺構の検出状況、および踏査での状況から全面的に遺構が存在することが予想されたため、全域を調査対象地区とした。

**(基準点設置)** 国家座標に基づく5mメッシュの杭設置を委託した。北方向(X軸方向)を1～50、東方向(Y方向)をA～Zとし、起点は西地区全域もカバーできるようにA1をX=-26400、Y=-9000とした。なお市教委によるグリッド設定にあわせた形になっているが、グリッド番号は一致していない。

**(基本層序)** J37グリッド、道際に深掘りを行い、地下約4mまでの層序を捉え、火山灰分析を行った。分析の結果、御岳三岳スコリア(約5.7万年前)が地下約3mで検出された(第3章第1節参照)。なお10層付近からは水が染み出す。  
**(遺構番号)** 竪穴建物(住居)址・竪穴状遺構は「住居」、柱穴状ピットは「ピット」、それ以外の穴は「土坑」とした。

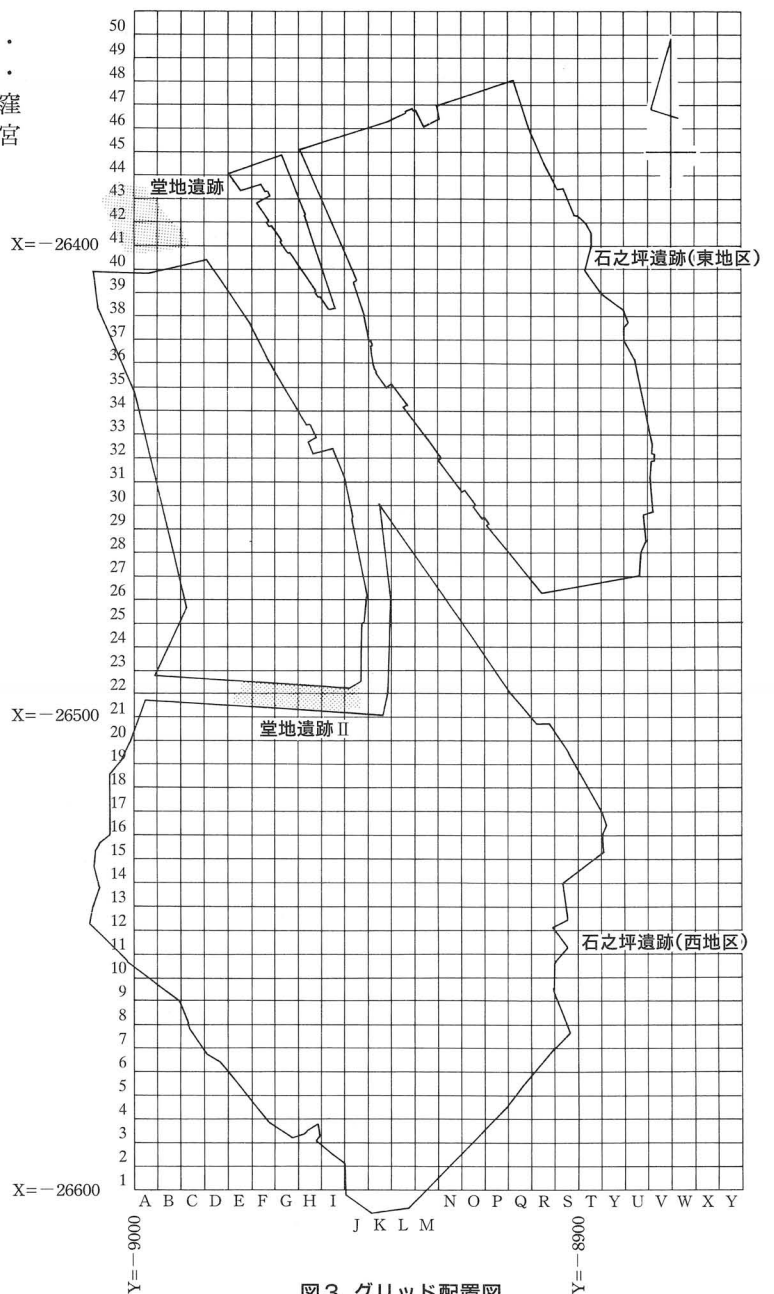


図3 グリッド配置図



图4 遺跡全体图



番号	位置	図版	時期	形態	主軸方向	主軸長m	交軸長m	面積㎡	竈・炉	柱穴	備考
1	I・J42・43	1	11C?	隅丸方	N-1°-W	3.74	4.48	12.97	西南隅竈1	—	
2	I・J41・42	1	13C?	隅丸方	N-0°-W	4.18	4.32	16.21	地床炉1	—	
3	J・K38・39	2・3	11C	隅丸方	N-1°-E	5.46	5.68	27.38	西南隅竈1	2本	間仕切り溝
4	J・K43・44	3・4	藤内	楕円	N-10°-W	7.20	5.72	25.81	地床炉2(石囲炉?)	7本	3回の建て替え
5	欠番										
6	J・K40・41	5	12C?	隅丸長方	N-4°-W	4.14	5.65	20.55	南東隅竈1・地床炉1	—	
7	K・L41・42	5・6	藤内	楕円	N-4°-W	6.28	5.98	26.19	埋甕炉1	7本	
8	J・K39・40	3	?	隅丸方	—	—	—	—	—	—	住居ではない?
9	K・L37・38	7・8	11C	隅丸方	N-6°-W	6.50	7.50	40.08	西南隅竈?1・地床炉1	—	
10	欠番										
11	L・M44・45	8・9	藤内	楕円	N-8°-W	6.86	6.14	28.97	石囲炉2	7本・6?本	2軒の重複
12	L44	10	12C?	隅丸方	N-8°-W	4.76	4.62	19.75	—	—	
13	K・L42・43	10	12C?	隅丸方?	N-17°-W	2.80	3.26	5.80	—	—	掘り方のみ
14	欠番										
15	L・M35・36	10・11	12C前	隅丸方	N-5°-W	4.98	4.20	15.51	東南隅竈1	—	
16	L・M36	11	10C前	隅丸方	N-7°-W	3.12	4.00	10.04	東竈1	—	内部に配石
17	K・L35・36	12	10C前	隅丸方	N-5°-W	5.88	4.50	22.36	南西隅竈1・地床炉?1	4本?	
18	M・N36・37	13	曾利IVa	—	—	—	—	25.36	—	—	
19	欠番										
20	N・O40・41	14	藤内	—	N-8°-W	(4.46)	(4.54)	(17.34)	地床炉1	5本	
21	K・L38~40	14・15	新道	円?	N-18°-W	5.20	5.16	22.70	埋甕炉1	5本?	
22	O~Q36~38	15・16	諸磯c	円	N-2°-E	(7.70)	(7.70)	(44.77)	地床炉5	7本	2回の建て替え
23	K・L36・37	16・17	曾利IVb	隅丸方	N-5°-E	6.16	5.62	25.03	石囲炉1	4本	埋甕1
24	R・S33・34	17	曾利IIIa	隅丸方?	N-8°-W	4.55	4.55	16.47	地床炉1(石囲炉?)	4本	
25	N・O35・36	18	曾利IVa	円	N-2°-W	3.56	3.44	9.36	地床炉1(石囲炉?)	4本	石蓋付埋甕1
26	Q・R31・32	18	猪沢	楕円	N-20°-W	4.74	3.94	12.26	埋甕炉1	4本	
27	P・Q31・32	19	11C	隅丸方	N-5°-W	5.82	5.74	27.17	—	6本?	
28	N31・32	19	13C?	隅丸方	N-6°-W	2.76	2.62	4.93	—	2本?	
29	Q・R33	19	11C	隅丸長方	N-5°-W	3.60	2.72	7.79	—	—	
30	P・Q34・35	20	諸磯c	楕円	N-10°-W	4.00	4.46	11.69	地床炉1	4本	2~3回の建て替え
31	N・O33・34	20・21	曾利IVb	隅丸方	N-16°-W	6.16	6.10	27.17	石囲炉1	4本	
32	T・U34~36	21・22	諸磯c	楕円	N-7°-W	(4.92)	(4.44)	(16.32)	地床炉2	5本?	
33	P29	22	11C	隅丸方	N-5°-W	4.88	(4.80)	(18.85)	西南隅竈1	—	
34	欠番										
35	R29・30	23	?	隅丸方?	N-3°-W	(3.53)	(3.20)	(11.01)	—	—	
36	R・S29・30	23	12C	隅丸方?	N-3°-W	(4.28)	(4.04)	(15.57)	東南隅竈?1	—	
37	Q・R30	23	弥生中	—	—	—	—	—	円形石囲炉?1	—	
38	K3・36	12	10C中	隅丸方	N-8°-W	5.60	—	—	東竈1	—	
39	O・P31・32	24・25	11C	隅丸方	N-4°-W	(4.72)	(4.54)	(20.01)	—	—	配石あり
40	N・O30・31	24・25	9C前	隅丸方	N-2°-W	4.65	—	—	北竈1	—	間仕切り溝
41a	P・Q28~30	25・26	藤内	楕円	N-10°-W	6.22	5.12	22.19	石囲炉1	7本	
41b	P・Q28~30	25・26	猪沢	楕円?	N-5°-E	—	—	—	埋甕炉3	4本?	
42a	L・M32~34	26・27	諸磯c	楕円	N-17°-W	10.60	—	—	地床炉8	4本以上	大型住居, 3回の建て替え
42b	L・M32~34	26・27	猪沢	—	N-5°-E	—	—	—	埋甕炉1	4本	42a住と重複
43	L40	28	—	—	—	—	—	—	—	—	床のみ
44	O・P29	28	11C	隅丸方	N-14°-W	3.10	—	—	—	—	
45	N31	28	曾利II	円?	—	—	—	—	—	—	
46	J・K37	28	11~12C	隅丸方	N-15°-W	4.74	—	—	—	—	
47	T・U32・33	28	—	円?	N-1°-W	4.76	5.20	20.79	地床炉1(石囲炉?)	5本	
48	S31	29	—	円?	N-1°-W	(5.46)	(5.42)	(24.17)	地床炉1(石囲炉?)	5本?	
49	O・P32・33	29	曾利IVb	円?	N-4°-E	(4.20)	(4.34)	(14.59)	石囲炉1	4本?	埋甕1
50	S・T29・30	29・30	曾利IVa	円?	N-4°-E	(5.38)	(5.26)	(20.50)	石囲炉1	5本	
51	Q・R30・31	30	曾利IVb	円?	N-8°-E	4.80	4.40	(15.66)	地床炉1(石囲炉?)	4本	埋甕1
52	R・S29・30	23	曾利II	円?	N-2°-E	(5.98)	(5.56)	(26.78)	石囲炉1	5本+2	埋甕1
53	J・K42・43	31	—	隅丸方?	N-0°	3.70	4.46	15.26	—	—	掘り方のみ
54	P・Q42・43	31	13C?	隅丸方	N-7°-W	2.56	2.66	4.30	—	2本	
55	Q・R27・28	31	9C前	隅丸方	N-3°-W	3.86	4.42	14.14	北竈1	—	
56	S・T27・28	32	猪沢	楕円	N-8°-E	5.02	4.36	15.40	地床炉1	4本	
57	R・S26	33	井戸尻	円?	N-11°-W	—	—	—	石囲埋甕炉1	4本以上	
58	Q26・27	34	—	隅丸方?	N-7°-W	—	—	—	—	—	
59	P・Q28・29	33	曾利II	円?	N-16°-E	(5.26)	(6.60)	—	石囲炉1	5本?	
60	H39・40	34	13C	隅丸方?	N-11°-E	—	—	—	—	—	
61	S・T26・27	34	曾利IV?	楕円	N-5°-E	(5.56)	(5.04)	(24.06)	地床炉1(石囲炉?)	5本	
62a	T・U27・27	34・35	曾利IV	円?	N-0°	(4.70)	(5.20)	(19.75)	地床炉1(石囲炉?)	5本	
62b	T・U27・28	34・35	曾利IV	円?	N-22°-E	4.64	5.26	20.53	地床炉1(石囲炉?)	5本	
63	H40・41	35	12C	隅丸方?	N-9°-W	5.34	—	—	—	4本	間仕切り溝
64	F・G42・43	36	11C?	隅丸方?	N-0°	(4.80)	(5.10)	(24.67)	東南隅・西南隅竈各1	—	
65	P・Q27・28	36	曾利V	円?	N-1°-E	—	—	—	地床炉1	5本?	
66	R26	34	曾利IV	円?	—	—	—	—	—	—	
67	S・T28・29	37	井戸尻	円	N-2°-W	(6.70)	(7.14)	(37.82)	地床炉1(石囲炉?)	7本	
68	I38・39	37	10C	隅丸方	N-2°-W	3.92	—	—	—	—	

表1 竪穴住居(建物)址一覧表

番号	図版	位置	時期	長m	短m	深m	備考	番号	図版	位置	時期	長m	短m	深m	備考	番号	図版	位置	時期	長m	短m	深m	備考		
1	38	J43	平末?	1.25	1.10	0.65		104	46	Q29	中世	1.90	1.76	1.56	地下式坑	207	54	R43	—	1.11	1.10	0.21			
2	38	J43	—	1.15	1.19	0.29		105	45	S32	—	1.20	1.10	0.34		208	54	P43	—	1.47	1.39	0.22			
3	38	H143	藤内	0.95	0.89	0.29		106	46	S31	—	1.04	0.82	0.86		209	54	P43	—	0.88	0.82	0.38			
4	38	I43	平末?	1.03	0.95	0.16		107	46	T31	—	1.72	1.09	0.47		210	54	Q44	平末?	1.30	1.24	0.48			
5	38	J43	平末?	1.30	1.15	0.20		108	46	U30	—	1.13	1.06	0.12		211	31	P42	—	2.00	1.62	0.44			
6	38	J43・44	平末?	1.25	1.05	0.30		109	46	U29・30	—	1.07	0.94	0.18		212	54	Q43	—	1.27	1.20	0.35			
7	38	J44	平末?	1.20	1.11	0.25		110	46	V30	弥生	1.94	1.69	0.24	フラスコ状	213	54	Q43	諸c	1.31	1.20	0.35			
8	38	J44	平末?	1.25	1.50	0.15		111	46	UV31	弥生	1.61	1.51	0.33		214	54	Q43	中世	1.01	0.71	0.26			
9	38	J44	平末?	1.32	1.24	0.35		112	46	V31	—	1.12	1.06	0.41		215	54	P42	—	1.19	1.09	0.30			
10	38	J42・43	平末?	1.15	1.10	0.32		113	47	W31・32	江戸	1.23	0.99	1.06		216	54	Q42	—	1.00	0.90	0.14			
11	38	J42	?	1.13	1.01	0.49		114	47	V33	—	1.40	1.21	0.31		217	54	P42	—	1.19	1.16	0.52			
12	38	J44	平末?	1.05	0.90	0.32		115	47	V34	弥生	1.45	1.24	0.50		218	54	P43	—	1.10	1.09	0.35			
13	38	J42	—	0.97	0.92	0.51		116	47	ST34・35	—	2.09	1.08	0.36		219	54	R38・39	—	1.16	1.10	0.19			
14	38	IJ42	平末?	0.71	0.65	0.23		117	47	N31	—	1.29	1.01	0.61		220	54	T41	—	1.49	1.10	0.32			
15	39	J39・40	—	1.65	1.42	0.65		118	47	RS32	—	1.42	1.34	0.29		221	54	R37	—	1.00	0.94	0.09			
16	38	J41	—	1.70	1.22	0.50		119	47	S33	—	1.45	1.18	0.13		222	54	QR38・39	—	1.71	1.53	0.31			
17	39	JK42	—	1.61	1.20	0.19		120	45	T31	—	0.95	0.80	0.90		223	55	R42	—	1.63	1.27	0.16			
18	39	K42	—	1.31	1.13	0.23		121	47	S30	弥生	0.77	0.71	0.39		224	55	PQ38	弥生	2.06	1.75	0.52	フラスコ状		
19	39	K42	—	1.15	1.10	0.30		122	47	Q33	—	1.21	0.94	0.59		225	55	RS39	—	1.18	1.09	0.19			
20	39	K42	—	1.18	0.45	0.45		123	47	O32	弥生	1.68	1.61	0.45		226	55	S37	—	1.00	0.92	0.11			
21	39	J40	—	1.10	0.97	0.59		124	48	N32	弥生	2.47	2.20	0.88	フラスコ状	227	55	S37	—	1.13	1.11	0.22			
22	2	K40	—	2.32	2.24	1.34		125	48	N32・33	—	1.85	0.91	0.62		228	55	ST37	—	1.48	1.29	0.31			
23	39	J40	—	1.21	1.01	0.36		126	48	P31	—	0.96	0.92	0.39		229	55	Q36・37	諸c	1.44	1.42	0.29			
24	39	L44	—	1.30	1.08	0.20		127	48	P32・33	弥生	1.38	1.25	0.97	フラスコ状	230	55	R35・36	弥生	1.10	0.95	0.40	フラスコ状		
25	39	L44	—	1.00	0.90	0.41		128	48	P33	中世?	1.4	1.15	1.10		231	55	R36	—	1.00	0.84	0.14			
26	39	K42・43	—	1.35	1.22	0.41		129	48	O32	—	1.37	1.34	1.51		232	55	T35・36	—	0.88	0.81	0.35			
27	39	L37	—	1.26	1.09	0.55		130	48	Q29	—	1.06	0.94	0.23		233	55	R28	—	1.01	0.95	0.40			
28	39	K40	—	1.25	1.20	0.25		131	48	R29	—	0.87	0.84	0.10		234	55	R28	—	0.89	0.88	0.41			
29	40	JK40	—	1.25	1.20	0.55		132	48	P35	—	1.11	0.96	0.24		235	55	S27	曾Ⅲ	1.13	1.10	0.24			
30	40	K41	平末?	0.90	0.85	0.14		133	48	OP35	—	0.99	0.91	0.29		236	56	G41	—	1.65	1.49	0.36			
31	40	M41	平末?	9.50	8.60	0.26		134	48	P35・36	—	0.84	0.71	0.14		237	欠番								
32	40	L42・43	—	1.70	1.49	0.45		135	49	K38	—	1.13	0.96	0.46		238	56	G40	—	1.00	0.88	0.29			
33	40	L46	—	1.49	1.25	0.24		136	49	J38	—	3.08	2.30	0.35		239	56	G41	—	1.48	1.26	0.48			
34	40	K44・45	中世	3.23	1.13	1.15	地下式坑	137	49	R30	—	1.50	1.24	0.26		240	56	F41	—	1.10	0.98	0.81			
35	40	K41	藤内	0.94	0.79	0.77		138	49	O31	弥生	1.20	1.11	0.29		241	56	F42	—	1.25	0.81	0.34			
36	40	M42・43	—	2.08	1.77	0.7		139	49	R29	—	1.20	1.05	0.12		242	56	Q27	—	1.12	0.88	0.24			
37	40	K37・38	弥生	1.45	1.32	0.41		140	49	M36・37	—	1.85	1.71	0.59		243	56	G41	—	1.77	1.29	0.22			
38	40	KL43・44	平末?	1.10	1.04	0.47		141	39	K42	—	1.60	1.40	0.39		244	56	S27	—	1.00	0.87	0.32			
39	41	L44	平末?	1.05	0.97	0.46		142	49	Q30	—	1.51	1.45	0.96		245	56	PQ27	—	1.78	0.41	0.26			
40	41	M38	弥生	1.20	1.14	0.13		143	49	T29	—	0.86	0.83	0.51	67号住P4	246	56	S26	曾IVb	0.91	1.81	0.66			
41	41	N36	平末?	1.19	0.97	0.51		144	49	O29	—	0.96	0.89	0.22		247	56	Q28	猪沢	0.89	0.70	0.29			
42	41	M36	猪沢	1.25	1.17	1.02		145	49	M36	—	1.10	0.95	0.41		248	56	Q28	—	0.83	0.78	0.31			
43	41	M35・36	—	1.37	1.12	0.34		146	49	N34	諸c	1.08	0.70	0.40		249	56	R28	—	1.01	0.93	0.54			
44	41	O40	平末?	1.51	1.47	8.60		147	49	KL35	—	1.62	0.68	0.58		250	57	R28	—	0.78	0.69	0.52			
45	41	O37	弥生	1.46	1.38	0.66	フラスコ状	148	49	K36	—	1.19	1.04	0.66		251	33	P28	—	2.08	1.94	0.25			
46	41	O37・38	—	1.52	1.17	0.36		149	49	N34	—	1.54	1.13	0.77		252	57	R27	曾IVa	1.11	0.94	0.83			
47	41	N037	弥生	0.90	0.85	0.16		150	50	OP30	諸c	1.42	1.23	0.54		253	57	R27	—	1.22	0.84	0.12			
48	41	O36・37	—	1.37	1.22	0.39		151	50	N34・35	諸c	2.12	1.29	0.62		254	57	R27	曾IIa	0.81	0.58	0.14			
49	41	O36	—	1.23	1.12	0.09		152	50	K35	—	0.89	0.87	0.23		255	57	R28	曾IIa	0.84	0.74	0.49			
50	42	O36	—	1.14	1.00	0.34		153	50	KL35	—	1.12	1.05	0.39		256	57	V29	—	0.81	0.79	0.26			
51	42	N38	縄後?	1.36	1.05	0.56		154	50	N37	—	1.19	1.00	0.34		257	64	R29	近世	1.67	1.19	0.14			
52	42	M41	曾IVa?	0.94	0.90	0.19		155	50	K38・39	—	1.17	0.95	0.48		258	64	Q39・40	近世	3.21	1.73	0.31			
53	42	N41	諸c	1.17	1.04	0.22		156	2	K39	—	2.34	2.20	0.62		259	64	Q40	近世	2.53	2.24	0.38			
54	11	L36	—	1.84	1.68	1.52		157	50	J42	—	0.90	0.85	0.27		260	65	PQ41	近世	3.48	2.60	0.58			
55	42	MN37・38	—	1.30	1.22	0.59		158	50	Q33	諸c	1.42	1.30	0.66		261	?	PQ41・42	近世	2.76	1.69	0.38			
56	42	L39	弥生	1.75	1.70	0.36	フラスコ状	159	50	MN43	—	1.52	1.31	0.27		262	66	QR42	近世	2.60	2.36	0.47			
57	42	L39・40	—	1.12	0.98	0.26		160	50	O30・31	—	1.05	0.93	0.19		263	66	Q41・42	近世	2.78	2.00	0.14			
58	42	K39・40	藤内	1.43	1.32	0.28		161	50	N31	諸c	1.20	1.18	0.39		264	61	R42	近世	2.24	1.96	0.24			
59	42	L39	弥生	0.96	0.79	0.17		162	50	L40	弥生	1.63	1.00	0.16		265	66	RS41	近世	2.32	1.00	0.28			
60	42	OP37	—	0.97	0.79	0.42		163	50	P31・32	—	1.70	1.11	0.66		266	欠番								
61	42	PQ37	—	1.08	1.02	0.14		164	50	N35	曾II	0.62	0.59	0.23		267	64	QR40	—	1.71	1.38	0.29			
62	42	L36	—	0.78	0.71	0.19		165	50	O32	—	1.42	1.20	0.66		268	67	QR41	—	3.79	1.43	0.26			
63	42	PQ33	—	1.71	1.64	0.34		166	51	LM34	—	1.72	1.10	0.53		269	67	QR40・41	近世	4.08	1.24	0.50			
64	42	L40	—	1.30	1.21	0.67		167	51	L34	—	1.20	0.78	0.57		270	68	R40	近世	4.21	1.26	0.39			
65	43	P35	—	0.92	0.87	0.37		168	51	T28	—	1.20	1.01	0.37		271	65	PQ41	近世	1.60	1.28	0.37			
66	43	P34	—	1.02	0.92	0.56		169	51	UV29	—	1.31	1.12	0.21		272	66	R41	近世	2.84	0.92				



(自然科学分析) 前述のように深掘り地点(断面観察地点)で火山灰分析を委託したほか、竪穴住居の竈内、床面直上の炭化層、弥生時代の土坑覆土等を採集し、整理段階で乾燥・浮遊選別を行ない、得られた種実等の同定を委託した(第3章第2節参照)。

(調査経過) 平成10年5月19日、調査区西側に重機を入れて表土剥ぎを開始。5月25日より本格的な調査開始。7月7日、池状遺構確認。当初は方形周溝遺構の一部とは想像できず、大型住居かと考えた。方形周溝遺構と判明したのは、調査の後半段階に入ってからである。これ

は表土剥ぎを調査区中央で振り分けた関係上、壇状遺構中央付近で方形周溝遺構を半分ずつ調査する結果となったためである。11月13日、調査区西半分の調査を終え、東半分の表土剥ぎを開始。重機を入れて早々に集石が検出され、多数の五輪塔を含んでいることがわかり、その実測作業に予想外の時間を割かれることとなった。現場での一応の調査が終了したのは平成11年3月9日であった。

(整理作業) 平成11年4月から平成12年3月まで(財)山梨文化財研究所内で実施した。

## 第2章 遺構と遺物

### 第1節 竪穴住居址と遺物

細かなデータに関しては表1を参照。

1号住(第1・72図 図版7) 南西コーナー竈をもち、中央から東南隅にかけて床が硬化する。遺物がほとんどない。

2号住(第1・72図 図版7) 中央から東側にかけて床面が硬化する。竈はないが、南壁中央の立ち上がり部分が被熱し、また床面に炉らしき焼土堆積がある。遺物には内型の手づくね整形による坏(1)、灰色軟質の陶製こね鉢(6・7)、羽釜(3)のほか、小破片ではあるが外耳土器片(4)がある。13世紀代と思われ、2・3は混入の可能性がある。

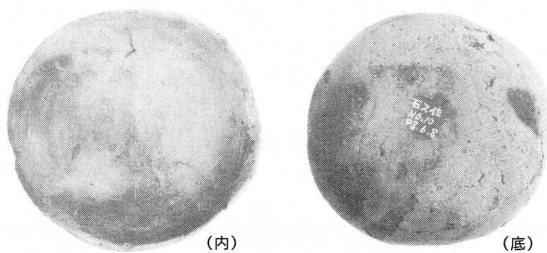


写真2 手づくね土器(2号住1)

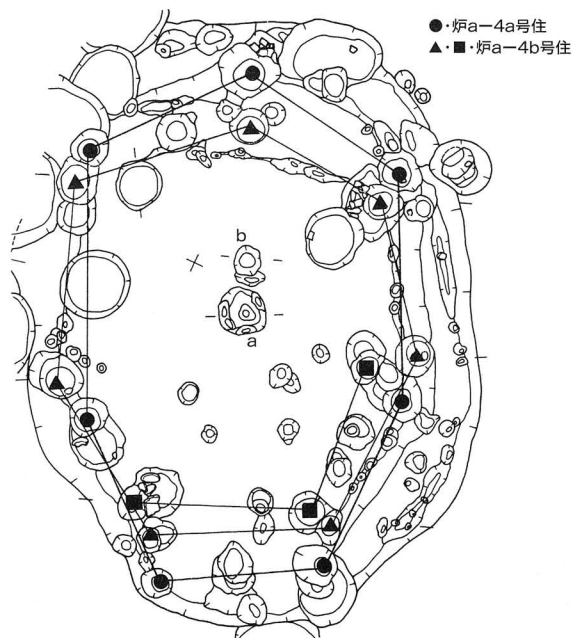


図6 4号住柱穴配置図

3号住(第2・3・72・73図 図版7・8) 南西にコーナー竈を持つ住居で、焼土が床面に広がる火災住居である。屋内に南側に開口部をもつ「コ」状の間仕切り溝をもち、溝中には東西に柱穴状のピットがある(P1・2)。南壁中央東寄りには礎石入りのピットがあるが、本址にともなうとは考えられず、掘立柱建物址が周辺に想定できるものの、ほかに関連した柱穴はない。把手釜が竈内を中心に出土し、また手づくね整形と思われる坏(1)などがある。11は竈の支脚状の円柱状土製品。12は鎌。13はノミ状の鉄製品である。

4号住(第3・4・73~79図 図版8・9) 7本柱穴からなる楕円形住居で、柱穴をつなぐようにわずかな段差が床面にみられ、壁際がベッド状に高くなっている。炉は2カ所あり、ともに地床炉であるが、本来は埋甕炉か。遺存状況から、炉bから炉aへという変遷が想定される。柱穴も2~3本ずつの重複を示し、主軸、柱穴数を変えずに、同一地点で拡張・建て替えを行っている。P1内には、抽象文をもつ深鉢が故意に割られたような状態で、破片を重ねて何かに被せたように底面から浮いて出土した。復元すると一部破片が不足するものの、ほぼ1個体分であった(1)。5は床面直上に、横に押し潰された状態で出土した。10はやや浮いて形を保って出土し、連続した円形押圧文が特徴的である。6は胴部文様を竹管文で施文した土器で、雰囲気は違っている。全体に土器は藤内式古段階がやや目立つが、新道式~藤内新段階までの時期を含む。石器では86の大型石錘と思われる例が特殊である。

6号住(第4・5図 図版9) 南東隅にコーナー竈をもつ方形竪穴で、床面には焼土が分布する。4本の柱穴(P1~4)が住居と方向を同じくして南寄りに配置され、本址に伴う柱穴と考えられる。遺物はほとんどないが、時期は11世紀から12世紀であろう。

7号住(第5・6・79~88図 図版9・10) 7本柱穴(P1~4・6~8)の円形に近い楕円形住居で、柱穴を結ぶ間仕切り溝が一部あり、周囲が一段高くなっている。柱穴には重複を示すものがあり、また段差も一部2重になっているので、同一地点、同一規模で2回以上の建て替えが行われたことがわかる。P5内には多数の土器が詰め込まれた状態で出土した。約11m離れた21号住床面上出土の胴下半と接合してほぼ完全になった50をはじめ、有孔鍔付土器、浅鉢などがあるが、中でも50の出土状況は興味深い。7号住の住居内で使用し、胴部上半は屋内ピット中に入れ、同時に廃棄場として胴下半が21号住に廃棄されたのであろうか。7号住床直の土器としては1・4などがあり、覆土全体では新道式から藤内古段階の土器がある。21号住の炉体土器が新道式で、本址よりやや古いことから、両

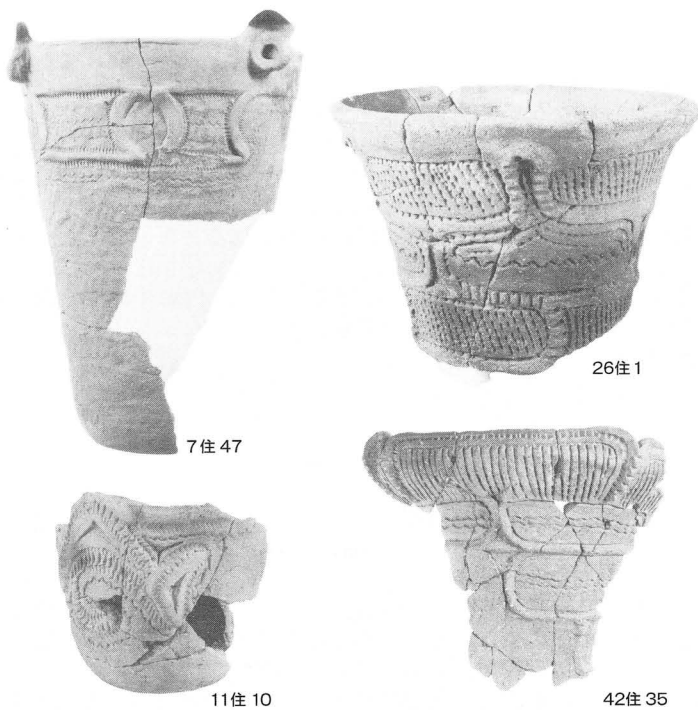


写真3 縄文土器

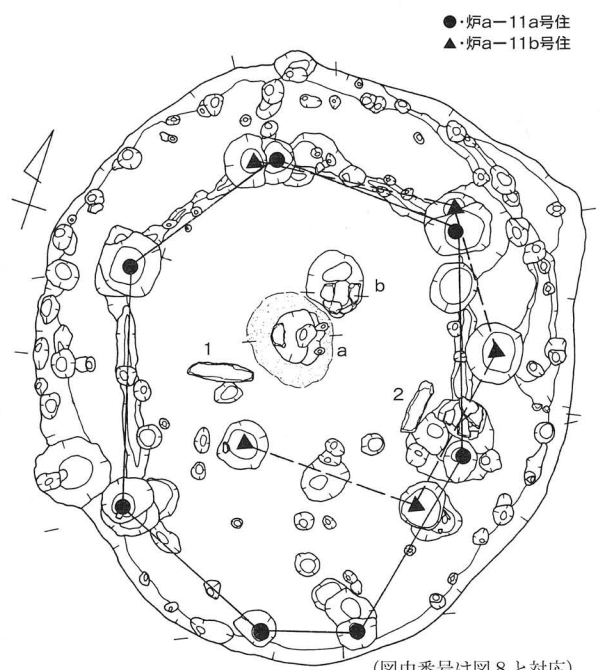


図7 11号住柱穴配置図

者の間には廃絶時の時間差があることが推定できる。9は8と同一個体であり、口縁部に顔面表現がある。15は炉体土器で、下半の破片は同一の可能性の強い土器片であるが、確実ではない。20・21にはペン先状工具による何らかの記号的な文様があり、図示しておいた。抽象文土器にこうした文様がつく土器が多く、製作者の識別マーク(サイン)あるいは言語的なものではないかと想像される。50は平たい頭の大把手と小把手が交互につき、大把手は見方によっては顔面表現にみえる。胴部には渦巻状の手の表現があり、土器全体を人体に見立てているようである。底部には乾燥あるいは焼成時の割れが入り、粘土をなでつけて補修したような形跡がみられる。口縁部内面にはスス状の付着があるが、胴部内面には使用痕がほとんどない。文様は極めて緻密で、本遺跡を代表する優品である。石器では打斧28点、剥片石器17点と多くの打製石器が出土している。

**8号住** (第2・88図) 3号住北側の隅丸方形の落ち込みで、3号住の床面とほぼ連続する。方形周溝遺構の1号溝から連続しているように見え、溝の一部ではなかったかと考えられる。

**9号住** (第7・8・88・89図 図版10) 一辺6.5~7mのやや大きい方形竪穴で、竈らしき痕跡が南西隅にある。また中央東寄りには地床炉があり、いろいろ状遺構かと推測される。床面中央には2条の溝状遺構があり、方形集石下層の土坑群の形態にも似るが、どのような性格の遺構かわからない。やや浅いが柱穴と考えられるピットが4本程度ある(P1~4)。土器には口縁部に2個ずつ対の孔を開けた皿(1)や、坏(2)などがあり、柱状高台坏の出現段階、あるいは出現以前の段階である可能性がある。

**11号住** (第8・9・89~92図 図版11) 炉は2カ所あり、炉bから炉aへと変遷する。炉aに伴う住居は円形に近い7本柱の楕円形住居で、間仕切り溝、ベッド状遺構がある。炉aの炉体土器は13の浅鉢で、覆土中の土器片と接合関係をもつ。炉bの石囲いは完存し、南側と西側の礫が接合した。炉の東西には長さ60~70cmの棒状自然礫(図8 1・2)があり、用途については立石であったのか、あるいは椅子として機能したのかわからないが、屋内空間で炉を挟んで対照的な位置関係を保っている点、興味深い。土

器には藤内古段階から新段階まであり、最も面白いのは15の土偶装飾付土器(写真4)である。土偶そのものを土器に貼付したような土器であり、頭部は7号住出土で、本住居出土土器とは約17m離れて接合した。腕は口縁部に緩く掛け、土器の内側を向いて直立し、肩に2つの刺突文をもつ瘤状の盛り上がりがある。他遺跡での類例もポーズは同じで、首筋には「人」状の隆起があることが多い。16は内面に赤色塗彩のある小型土器、あるいは浅鉢のミニチュアで、口縁部には2個の孔が貫通する。

**12号住** (第10図 図版11) 11号住横にあり、壁が皆無であったが硬化面で住居と認定し、掘り方の範囲でプランを推測した。遺物はないが、11号住出土の18の坏は本址の遺物であろう。

**13号住** (第10・92図) 小型の長方形竪穴で、竈はない。時期を示す土器がなく、時期不明。

**15号住** (第10・11・92図 図版12) 16号住に貼り床をして構築している。南東隅に竈があり、石組が良好に遺存した。1~5は16号住の遺物の可能性が高く、本址の時期は耳皿(6)、柱状高台皿(7)から12世紀前半であろう。

**16号住** (第11・92~94図 図版12) 15号住下層にある。東竈をもつ住居で、竈は手前の天井石を除き完存する。焼土が壁際に厚く堆積した火災住居である。中央床面に集石がある。時期は10世紀前半で、甲斐型坏、甲斐型甕、須恵器凸帯壺等がある。

**17号住** (第12・94図 図版13) 南西隅にコーナー竈と思われる石組をもつ住居で、西側に38号住が重複し、竈付近がわかりにくくなっている。柱穴が4本程度ある。土器は10世紀前半の甲斐型皿のほか、灰釉陶器碗がある(4)。1には墨書「公」がある。

**18号住** (第13・95・96図 図版13) 壁がなく、柱穴もはっきりしないため、プランは全く不明であるが、4本柱穴の住居か。壁溝の外側に磨斧2点(19・20)を接して置いた場所があり、その場所までは住居内に入るのであろうと思われる。また西寄りに黒曜石原石(大型素材剥片)7点の集石が見つかっている。炉は方形石囲炉と思われるが、礫は遺存せず、小礫多数が覆土上層に堆積していた。時期は曾利IV a 式期(曾利式土器編年に関しては1999 榎原aを参照)。





写真4 土偶装飾付土器(11住15、頭部は7号住内出土)

20号住 (第14・96図 図版14) 方形周溝遺構の壇状部北側から6号溝にかかる位置にある。壇状遺構の精査中に確認。壁はないが、5本の柱穴配置(P1~5)から円形であろう。中央には地床炉がある。時期は藤内古段階。

21号住 (第14・15・97~100図 図版14) 柱穴が完全に検出できなかったが、おそらく5本または7本柱穴で、円形に近い楕円形であろう。南西側は1号溝で切れ、プランが不明瞭である。柱穴を結ぶように壁際にベッド状遺構がある。炉体土器は新道式土器で、床面上の土器は藤内古段階~中段階の土器である。また7号住土器と接合した胴下半(7号住50)は床面からやや浮いて出土した。また50の磨石は3号住との接合資料である。

22号住 (第15・16・100図 図版14) 径約8mの円形住居。7本程度のやや細い柱穴が2回の重複を示して巡る。炉はごく浅い皿状の地床炉で、西側を中心に5カ所が認められ、いずれも壁寄りに分布する。北東側には溝状の掘り方があるが、どのような性格であるか不明。土器は少なく、諸磯c式新段階を主とする。また鍋屋町タイプも混じる。

23号住 (第16・17・100~102図 図版15) 9号住下層で検出。隅丸方形の住居で、4本柱穴(P1~4)があるが、ほかに炉の両脇手前に主柱穴より径の大きな柱穴2本(P5・6)がある。出入り口がわずかに突出し、曾利IVb期の正位埋甕がある。炉は70号土坑上層にあり、北・西側の炉石が遺存するが、ほかの石は床面上に抜いて置かれている。土器は曾利IVa期から曾利Vb期まであり、曾利IVb期がやや多い。

24号住 (第17・102・103図 図版15) 5号溝に中央付近を切られる。4本主柱(P1~4)の隅丸方形で、炉は方形石囲炉であったと思われるが、石は遺存していない。土器は曾利IIa~IIIa期で、6は土器製作台といわれる台形土器。11は釣手土器釣手部である。

25号住 (第18・103図 図版15) 小型円形住居で、4本柱穴(P1~4)。石蓋付の正位埋甕を持ち、埋甕内には別個体の土器が入れ子になっている。両方とも曾利IVa期である。それ以外には土器はほとんどない。炉は石の抜かれた地床炉である。

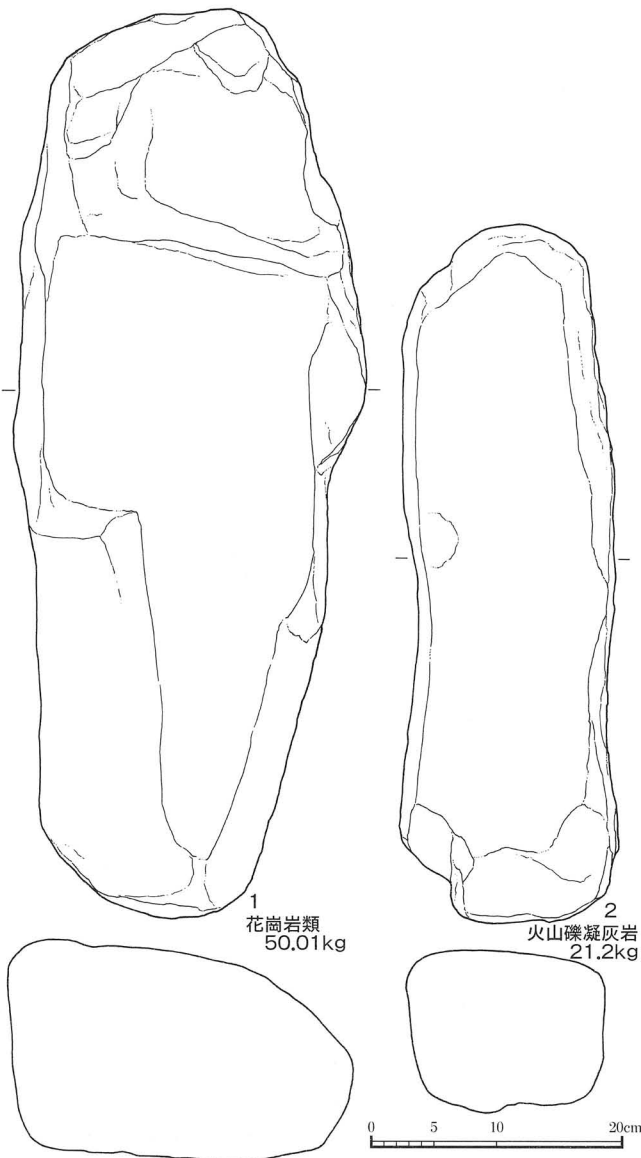


図8 11号住 棒状自然礫

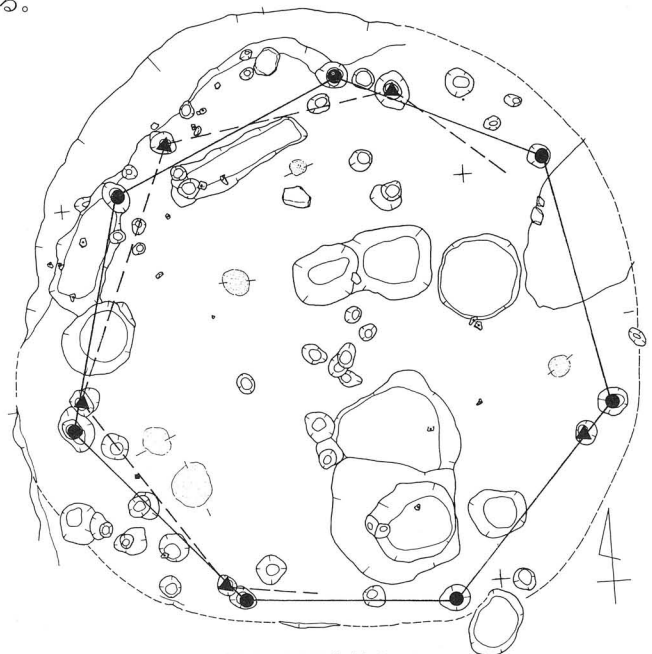


図9 22号住柱穴配置図

**26号住** (第18・104・105図 図版16) 4本主柱(P1~4)の楕円形住居。中央に猪沢中段階の炉体土器を埋設する(1)。遺物にはそのほか猪沢新段階の土器(4・5)や有孔鏝付土器(6)がある。

**27号住** (第19・105図 図版16) 一辺約5.5mの方形竪穴で、コーナー竈と思われる焼土が南東隅にある。また中央付近にも焼土の堆積があり、地床炉であった可能性がある。床は中央から南側にかけて硬化する。柱穴が多数存在し、本址に伴うものが4本程度考えられるが(P1~4)、そのほかにも多数の柱穴があり、中世以降のピットと思われる。土器は11世紀後半代であろう。

**28号住** (第19・105図 図版16) 一辺2.7m程度の方形小竪穴。西を除く各壁中央に柱穴がある。時期は不明。

**29号住** (第19・105図 図版17) 長さ約3.5mの長方形竪穴。11世紀後半代であろう。

**30号住** (第20・105・106図 図版17) 諸磯c新段階の小型住居。柱穴はP1~10の4本主柱穴で、同じ場所で2~3回の柱の建て替えがある。炉は中央の1カ所のみ。遺物は少ない。

**31号住** (第20・21・106・107図 図版17) 5号溝に切られ、また炉は86号土坑と重複する。隅丸方形の4本柱(P1~4)の住居である。炉は一辺約1mの方形石囲炉で、南側の礫は5号溝により欠失し、北側の礫は起こされている。東南壁は不明瞭。遺物は曾利IVb~曾利Va期を主とし、加曾利E系もある(1)。

**32号住** (第22・107図 図版18) 諸磯c新段階の円形住居。柱穴はP1~5の5本で、地床炉が西寄りに3カ所ある。東側は攪乱により削平される。遺物は大変少ない。

**33号住** (第22・108図 図版18) 東側が41号住と重複し、プランがわかりにくくなっている。南西隅にコーナー竈をもつ住居で、中央西寄りに南北の間仕切り溝があり、また中央やや南側には、わずかに下がった土間状の区画があり、室内の間取りがうかがえる。遺物は、竈内を中心に把手釜が2点出土している。

**35号住** (第23・108図 図版18) 36号住に切られる。南東隅に焼土堆積があるが、竈であった可能性もある。床は中央から西側が硬化する。遺物はほとんどない。

**36号住** (第23・108図 図版18) 南東・南西隅に焼土堆積があり、南東についてはコーナー竈であった可能性がある。遺物は把手釜があるのみ(1)。床面は北西側が主に硬化する。

**37号住** (第23・109図 図版18) 26号住北側に径1.2mの円形土坑があり、炉石状の礫が壁面に立ち、覆土は焼土を多く含んでいることから炉と推定した。炉内、炉外(南東側)から弥生中期初頭と思われる土器片が多く出土した。弥生中期前半の住居。炉形態は定かではないが、この炉は縄文晩期的な炉形態である。周囲に床面や柱穴は確認できなかった。

**38号住** (第12・109図 図版19) 17号住が上層に重複し、西側はほとんどが道路によって失われている。東竈をもつ住居で、10世紀第2四半期の甲斐型土器が出ている。覆土中には鉄滓の小片が多く散在し、また竈脇からは鉄滓が溶融・付着した円礫が出ており(10)、小鍛冶遺構であった可能性がある。

**39号住** (第24・25・109・110図 図版19) 竈はなく、南西隅にあった可能性もあるが、こね鉢や坏の形態から13世紀代であり、竈を持たない住居と思われる。床面やや西寄りに集石がある。

**40号住** (第24・110・111図 図版19・20) 焼土が堆積することから火災住居である。北壁東寄りに竈をもつ。北側の床面は硬化し、南側にL状の間仕切り溝がある。遺物に

は9世紀前半の土師器坏(1~3)、ロクロ甕、須恵器高台坏、蓋、壺G類(12)等がある。

**41号住** (第25・26・111~115図 図版20) 41a号住は、藤内中段階の7本柱の楕円形住居で、柱穴を結ぶように段

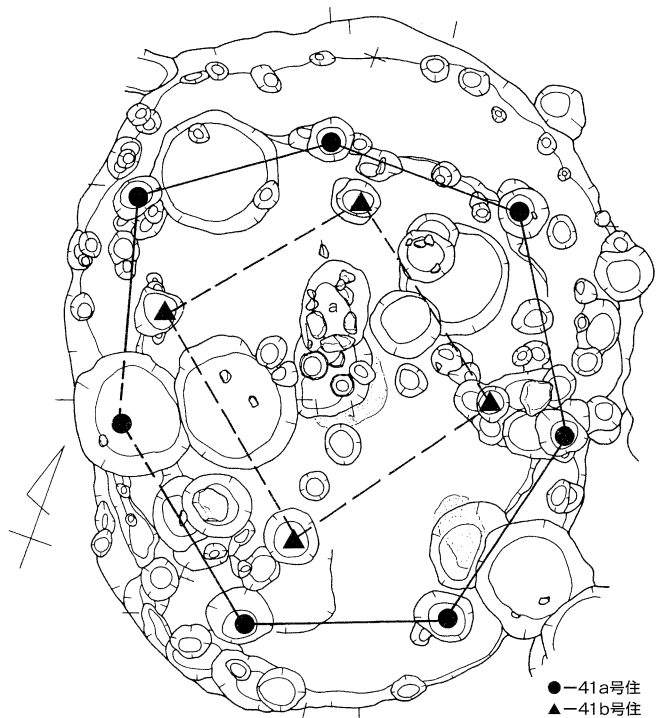


図10 41号住柱穴配置図

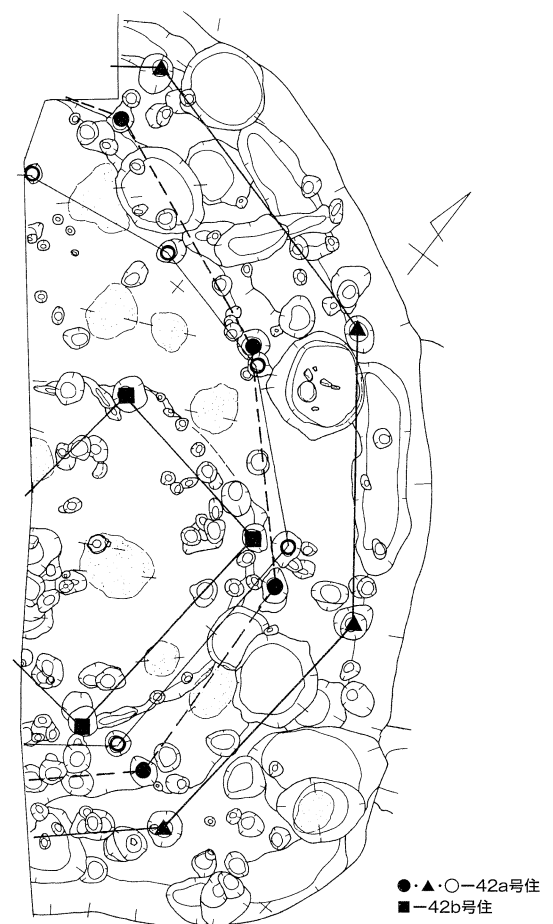


図11 42号住柱穴配置図



差があり、壁際がベッド状になっている。炉は長方形の石囲炉(炉a)である。41b号住は貉沢新段階の4本柱の住居で、3個の炉体土器(炉b~d)が正位で埋設され、その順番はc-d-bと思われる。炉体土器はいずれも貉沢新段階の土器で、炉の重複に対応する柱穴の建て替えは明確ではない。なお41a号住では炉を挟んで東西の柱穴内に同じ位の大きさの板状の礫が斜位に入り込んでいるのが注意される。覆土中の土器は新道~藤内中段階までと時間幅があるが、ほとんどはa号住の遺物であろう。石器では打斧が16点、剥片石器が6点と打製石器が多い。なお27・28の土師質土器は重複する33号住に帰属する土器であろう。

**42号住** (第26・27・116~121図 図版21) 道路にかかり、半分のみ調査した。長軸長10.5mの諸磯c期の楕円形大型住居(42a号住)内中央に、4.2mの貉沢期の住居(42b号住)が床面レベルをほとんど同一にして、入れ子になっている。42a号住は柱穴が3回の建て替えを示し、1回に4本以上は存在し、全体では10本以上になる。炉は地床炉が7カ所程度あり、いずれもほとんど掘り込みを伴わない。42b号住は中央に炉体土器をもつ円形住居で、柱穴は4本程度であろう。42a号住では、諸磯c中~新段階の土器が主で、異系統の鍋屋町系の土器がある(28~32)。42b号住は貉沢古~中段階を主とし、新道式まで含まれる。炉体土器(56)は五領ヶ台Ⅱ式新段階~貉沢式古段階の土器であるが、被熱が著しく残念ながらも取り上げることができなかった。また42は平出3A系土器である。

**43号住** (第28図 図版22) 21号住北側に床の硬化面が残っていたことから住居としたが、プランは不明で、遺物もない。おそらく平安時代末の住居であろう。

**44号住** (第28・122図 図版22) 12世紀以降と思われる竪穴で、竈はない。北壁の壁寄りから1本と思われた鉄製品が出土しているが、保存修復後には4点となっている。

**45号住** (第28・122図 図版22) 28号住と40号住の間で、円形と思われる住居の一部が出ている。床面は軟弱。曾利Ⅱ式期の土器片が少量出土した。

**46号住** (第28・122図 図版22) 隅丸方形住居の西壁付近が出ている。南東隅には竈の可能性のある焼土堆積がわずかにあった。遺物は少ない。

**47号住** (第122図 図版22) 壁・床面は遺存していないが、5本の柱穴(P1~5)が5角形に並び、炉が北側にある。炉石はすべて残っていない。遺物はほとんどない。

**48号住** (第29・122図) 壁・床面は遺存していないが、炉石のない炉があり、柱穴4本が確認された(P1~4)。柱穴の配置から炉裏にさらに1本が想定され、柱穴は計5本であろう。

**49号住** (第29・122図 図版22) 127号土坑横にあり、27号住と重複する。27号住西壁に埋甕があり、また北南の辺に炉石の残る炉がある。柱穴は3本(P1~3)検出されたが、4本であろう。遺物はない。

**50号住** (第30・123図 図版23) 8号溝に切られ、また多数の柱穴と重複し、壁はほとんどない。柱穴は5本(P1~5)。遺物は北半分と溝中から出土し、曾利Ⅳa~Ⅳb式が多い。

**51号住** (第30・124図 図版23) 当初、上層に34号住を設定したが、住居ではなく欠番とした。本址はその下層からの検出で、142号土坑上層に炉があり、柱穴は5本(P1~5)である。埋甕は口縁部を欠き、正位埋設されている。曾利Ⅳb期。

**52号住** (第124図) 35・36号住の掘り方調査中に炉が確認され、住居と判明。柱穴は5本(P1~5)で、埋甕をもつ。

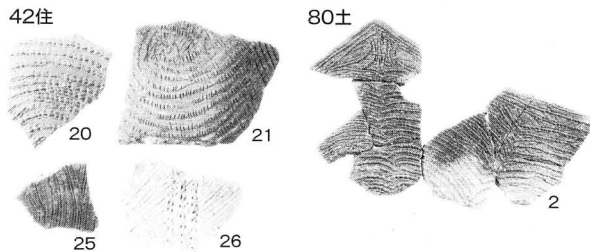


写真5 諸磯c式土器

炉は北側のみ石囲いが残り、南側には礫が積まれている。土器は少ないが、住居の時期は曾利Ⅱ式期か。

**53号住** (第31図) 床の硬化面があり、壁がないためプランを確認できなかったが、掘り方の調査によっておおよその輪郭を捉えられた。竈はなく、また遺物もない。

**54号住** (第31・124図 図版23) 小型の方形竪穴。竈はない。東西に1本ずつ柱穴(P1・2)がある。伴う遺物はほとんどなく、時期は不明。

**55号住** (第31・125図 図版23) 北壁中央わずかに東寄りに竈がある。住居に伴う遺物は1・2のみで、小破片のため時期ははっきりしないが、9世紀前半であろう。

**56号住** (第32・126・127図 図版24) 4本主柱(P1~4)の小判形住居。炉は地床炉であるが、11は炉内から出土し、炉体土器であった可能性があり、炉体土器が抜かれたのであろう。貉沢新段階を主とし、平出3A系土器(2)や球胴で高台をもつ有孔鏝付土器(5)などがある。

**57号住** (第33・127図 図版24) 井戸尻式期の円形住居で、柱穴は7本程度かと思われるが、3・4本検出できた。炉は石囲埋甕炉で、把手付のいわゆる多喜窪タイプの深鉢を転用している。

**58号住** (第34・128図 図版24) 66号住を切る方形竪穴の一部で、遺物はなく、時期は不明。

**59号住** (第33・129図 図版25) やや小型の方形石囲炉があり、周囲にピットが多数存在するが、壁はなく、柱穴配置は明確ではない。遺物には曾利Ⅱ~Ⅴ式期の土器が少量ある。

**60号住** (第34・129図) 青磁片が出土し、方形竪穴の一部と思われるが、特に床の硬化面はなく、プランも明確ではないので、住居として認定するには躊躇する。青磁碗(1)は片切りの蓮弁をもつ龍泉窯系Ⅰ5類aで、13世紀代か。

**61号住** (第34・129図 図版25) 10溝(方形周溝墓)付近で検出。床面は削平されているが、5本柱穴(P1~5)と炉が遺存する。曾利Ⅳa期の遺物が若干伴っている。

**62号住** (第34・35・129・130図 図版25) 床面は削平され、プランは不明確。炉は2基が重複し、また5本からなる主柱穴も建て替え2回分があり、同一地点で主軸をずらして建て替えが行われたことがわかる。なお炉aに伴う柱穴はP1~5、炉bに伴う柱穴はP6~11と考えられ、61b号住からa号住へ変遷する。炉aに伴う土器(1)は曾利Ⅳa期。

**63号住** (第35・130図 図版25) 11号溝に切られ、また農道にかかっているため、全形は見えていない。床面上に細かな炭化材や焼土が分布し、火災住居であることがわかる。竈はなく、南西隅の焼土も竈関連の焼土とは考えにくい状況であった。土師質土器坏(1)とともに、小破片ながら白磁碗Ⅳ類(2)があり、12世紀後半代と思われる。柱穴が4本(P1~4)あり、また西側の2本の柱穴に沿うように間仕切り溝が検出された。床面は全体に堅い。

**64号住** (第36・130図 図版26) 壁はないが、硬化した床面があり、東南隅、南西隅に焼土の堆積層があることから2カ所にコーナー竈をもつ住居と考えられる。竈bには完形の皿が口を合わせて焼土上に遺存し(1・2、2が上)、なんらかの地鎮行為、あるいは竈祭祀に関わる行為が行

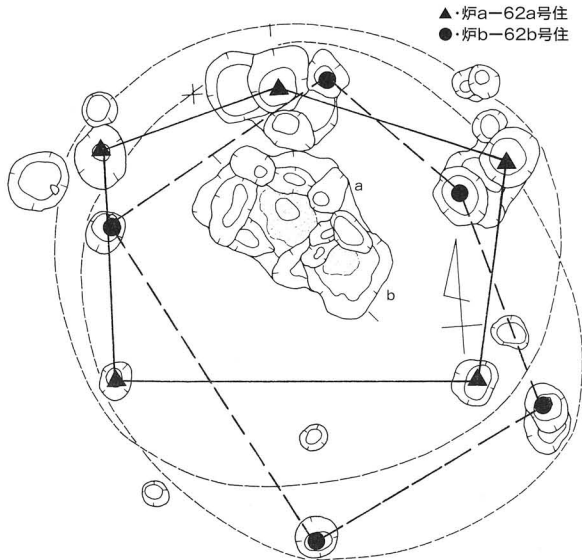


図12 62号住(a・b)柱穴配置図



写真6 64号住土師器

われたことが考えられる。

**65号住** (第36・130図 図版26) 床面は削平されているが、炉が存在することから住居とした。周辺には多数のピットがあるが、柱穴配置は不明確で、4本ないしは5本柱穴が推測される。時期は1の土器から曾利V a期か。

**66号住** (第34・130図) 壁溝と柱穴から住居と判断した。曾利IV式かと思われる把手壺(1)が床面上から出土している。

**67号住** (第37・130図 図版26) 削平され、炉はわずかに遺存する。柱穴配置は明確で、南側に入り口をもつ7本柱穴(P1～7)である。炉が小さいこと、1の土器から井戸尻式期か。

**68号住** (第37・130図 図版26) 床面に焼土がほぼ全体的に分布した火災住居。灰釉陶器の小片があること等から10世紀前半代か。

## 第2節 土坑と遺物

土坑は286基の番号を設定した。それらの中で237号土坑は風倒木痕、または攪乱で、88号土坑は104号土坑との統合のため欠番である。その他、73・74・266は欠番とした。

(1) 諸磯c式期の土坑 53・80・99～102・143・146・150・151・158・161・213・229号土坑がある。うち60・61・99～102は住居内に存在する例で、貯蔵穴など住居に伴う可能性がある。その他には円形の浅い土坑が多い。

(2) 猪沢～藤内式期の土坑 3・35・42・58・75・247号土坑がある。42号土坑では覆土上層に完形、同形の小型無文土器2個体が出土した。

(3) 中期後半の土坑 52・67・69・164・235・246・252・254・255・280号土坑等がある。

(4) 弥生中期の土坑 いわゆる水神平系といわれる条痕文土器群を出土した遺構には 37・40・45・47・76・110・111・123・127・230号土坑等がある。それらの条痕文土器中には岩滑式(45号土坑)、遠賀川系土器(123・230号土坑)

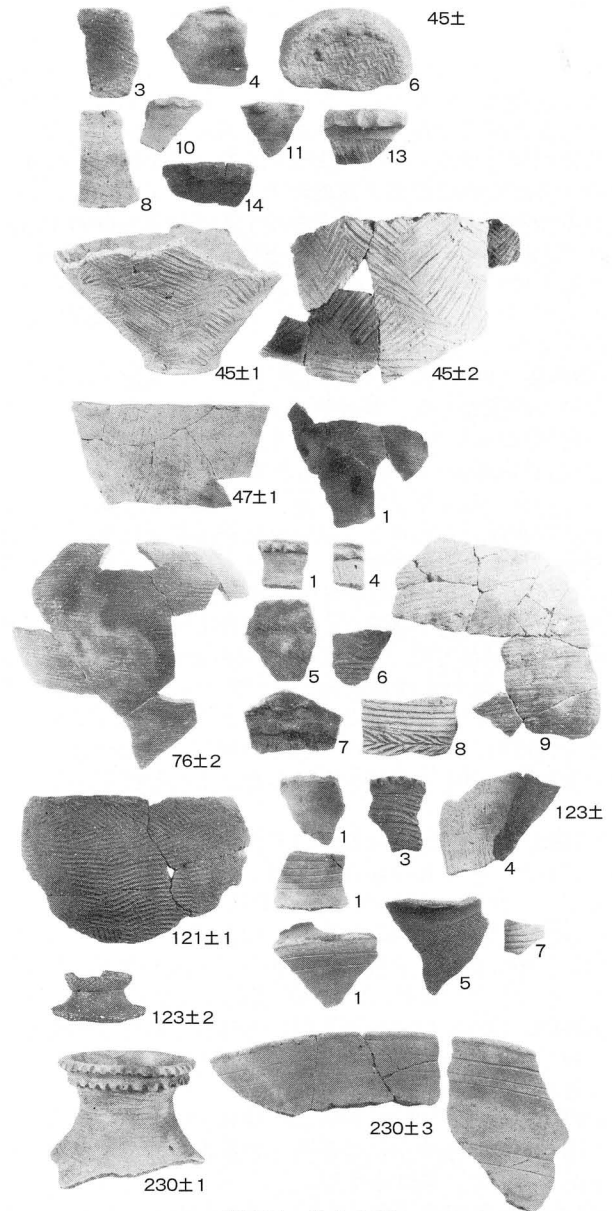


写真7 弥生土器

のほか、水式の系譜をもつと思われる土器群(37号住、230号土坑)などがあり、土器の交流や縄文晩期からの系譜がうかがえる。土坑のうち 45・56・58・76・110・111・115・123・124・127・224・230号土坑はフラスコ状土坑で、中でも 45・76・123号土坑は典型的である。それらは貯蔵穴であろうと思われ、弥生の土坑全般の炭化種実の同定を依頼したところ、栽培種ではイネが123号土坑をはじめとして45、56、135土坑から、またオオムギ、コムギ、アワ、キビがいくつかの土坑で検出されたほか、オニグルミ、クリなどの堅果類も出ている(第3章第2節参照)。イネ等の穀類は地中で保存することはないと思われるので、当時の食料が何らかの理由で混在したのであり、本来は堅果類の貯蔵穴であろう。また45号土坑は焼土を底面に敷き詰めた中にわずかに焼骨がみられた。また焼土面から内面朱塗りの壺底部が出土するなど、再葬墓的な様相を示している。土坑中からは土器のほか、黒曜石の剥片類や石核等の石器が多数出土したが、とくに黒曜石製の明確な製品が土坑中に伴っていない。弥生時代の黒曜石利用については、黒曜石の剥片を用いて収穫具として使用するという見解があるが、土坑中での黒曜石の出土状



況は不可解である。また224号土坑出土の石鍬は大型品で、形態的には木製鍬の写しではないかと思われる。実用的ではなく、祭祀具ではないかという見方もあるが、各地での石鍬の出土例から実用性が高く、打ち下ろす鍬ではなく、スコップ状に踏んで使う鍬であろうと考えたい。

(5) **平安末～鎌倉初期の土坑** 1・4～10・12・14・30・31・38・39・41・71・72・89・90・210号土坑が該当し、調査区北西に集中部があり、切り合いをみせるなど密集する。直径約90～130cm、深さ約10～60cm、円筒形で、底面は平坦。覆土はロームブロックを混合した暗褐色土1層のみである例が多い。これは一気に埋め戻された状況を示している。遺物は6号土坑に11～12世紀代と思われる山茶碗の小坏がある程度で、遺物をもたないという特徴がある。そのためこれまで時期不明、あるいは漠然と平安、あるいは中世とされてきた。おそらく11～13世紀代の墓制であろう。

(6) **地下式坑** 34・104・190号土坑の3基がある。堅坑の方向はいずれも南で、天井部は崩落していた。104号土坑のみ閉塞石らしき礫が堅坑付近にあり、覆土中には15・16世紀と考えられる若干の遺物が伴っていた。3基の配置にまともではないが、方形集石付近を避け、北と南側に分布するように見える。

(7) **方形集石下部の土坑群** 257～265・267～275・279A～C・284～286号土坑が該当する。これらの中で265・268・269・270・272・279A・Bは長方形の掘り方を持ち、いずれも内部に五輪塔多数を含む集石がみられる。土坑の主軸方向には南北軸例(265・272号土坑)、東西軸(268～270・279A・B)の2者がある。並列し、重複しないことから、同時期に構築された可能性がある。それらの長軸長は2.2～4.2mで、幅は0.9～1.2mである。また東西軸の一群は、一つの土坑中に小段差があることから、二つ以上の土坑の結合の可能性がある。礫は底面まで密に詰めた状態であるが、269号土坑では中層から上層にかけて集石があり、土坑底面との間に隙間が確保されている。五輪塔には原位置を保つ事例はない。

そのほかの土坑は楕円形、または円形で、集石をもつ。257号土坑は地輪が据えられたような状況で出土した土坑である。258号土坑は3基程度の重複で、礫間に人骨が混在していた。260号土坑は上層に非常に細かい小礫を入れ、下層にはやや大きめの礫が入れられ、人骨が混在している。279C号土坑は1×0.9m、深さ40cm程度の円形土坑で、土坑中には礫と人骨が充填されていた。中には牛の骨も混じることから墓地改修の際に整理、片付けが行われ、再び一括埋葬されたのであろう。285号土坑は小型の石組をもつ土坑で、五輪塔に伴う下部遺構の残存かと考えられた。全体的に、出土人骨にはわずかに焼骨もあったが、ほとんどは焼かれていない骨である。

(8) **近世墓** 113号土坑は江戸時代の墓坑である。単独で1基のみ、上円井の集落を見下ろすように台地縁辺に位置する。地表面から底面までは1.4m、上端1.2×1m、下端0.75×0.85mの円形の土坑で、底面に人骨1体分が遺存し、中央付近には六文銭が存在した。銭種は寛永通宝で、文銭2枚が含まれることから、17世紀後半以降の埋葬であろう。骨の特徴については第3章第3節参照。埋葬形態は座棺か。単独埋葬であることから、死因等に何らかの理由があったとも考えられる。

なお、44号土坑については方形周溝遺構にともなう土坑であり、第4節で触れる。

### 第3節 方形集石と遺物

地籍図上、上円井地区共有地とされた一辺約10mの方形区画部分からは、多数の礫や五輪塔約420個で形成された方形集石が検出され、「寿」印のある胞衣容器、土瓶、行平、徳利、ガラス瓶、薬瓶、碗、針子、洗面器、竈蓋(写真8参照)、ビニール袋などが出土した。また上円井地区での聞き取り調査によって、明治30年頃から昭和40年頃まで上円井地区の人々が利用した胞衣墓地であることがわかった(第4章第4節参照)。胞衣容器(写真9)は素焼きの土師器的な色調をもつ胞衣を入れる専用容器で、蓋、容器ともに内面に「寿」印が押され、印文周辺に雲母が散らされた例がある。その他の容器類の多くは胞衣容器への転用品であろうと考えられる。また徳利、瓶には2本一対で立てられている例があった(写真15)。この立瓶遺構は、乳の出が良いことを願って胞衣とともに埋めたものと考えられている。また下層からは前節で述べたように、溝状の土坑中に礫や五輪塔が詰まった状態で密に検出され、いくつかの土坑からは人骨が出土した。寛永通宝が伴うことから江戸期の土坑群であり、五輪塔群との関連を示すものではないと考えられる。また五輪塔には原位置をとどめるものはない。五輪塔は火輪軒に反りがある15世紀代かと思われる一群を主とするほか、火輪底面が平らになる16世紀代と思われる一群がある。また大型の資料がいくつかあり、14世紀にさかのぼるのではないかと考えられる。つまり墓坑としては把握できなかったが、14～16世紀に五輪塔を墓標、あるいは供養塔とする墓坑群が方形集石のあたりに存在したことがわかる。また集石中からは最も古い遺物として古瀬戸の四耳壺があり、13世紀後半代以降の年代が与えられるほか、時期不詳ながら常滑甕片が数片ある。したがって隣接する方形周溝遺構と時期的に関連することから、蔵骨器を埋納した墓が付近にあったことが予想され、五輪塔による集団墓地となる以前の墓域出現段階のありかたを示している(第4章第2節参照)。

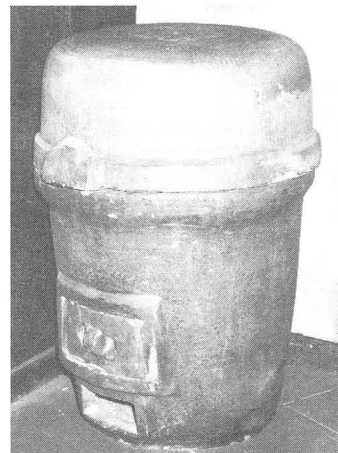


写真8 蓋付きの甕(利尻町立博物館蔵)  
※裏には煙出しがあり、中には燃料として練炭を入れる。

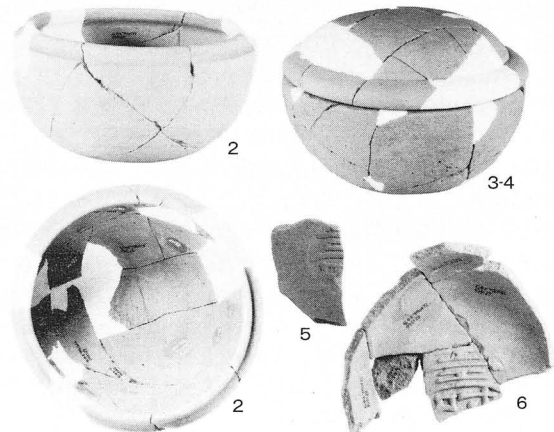


写真9 胞衣容器





ている。瓦には軒丸瓦(62~64)、丸瓦玉縁部(8・65)、丸瓦片(66)があり、いずれも酸化焼成で色調は赤色である(写真11)。軒丸瓦はいずれも珠文帯をもつ三巴文である。65には玉縁に釘孔をもち、側辺が斜めにヘラで削られている。丸瓦部の表面には縦位の縄叩き痕が、内面には布目痕があり、技法的には古代とあまり変わらない。個体数は軒丸瓦部から2~3点、丸瓦は軒丸瓦と同一の可能性のあるものの最大3点と非常に少ない。また平瓦が皆無であるのも特徴で、棟の一部を丸瓦のみで葺いていたと思われるが、かなり小規模な建物であったと思われる。他に瓦は29号土坑で軒丸瓦片が出ている。瓦の時期は12世紀末~14世紀まで考えられるが、土師質土器と同じく池状遺構底部直上で出ている例があること、方形周溝遺構の初期段階の何らかの建物址に伴うと考えられることから12世紀後半~13世紀前半と考えるべき。また釘が数本出土している。瓦にみられた釘穴と対応するものかどうかかわからないが、建物の存在を示唆する資料である。なお、本遺構の設計基準線に関し、第4章第3節に2案を提示した。

### 第5節 溝と遺物

ここでは方形周溝遺構に関する溝(2・6・9号溝)以外の主な溝について説明をする。

**4・5号溝** 平行する2条の区画溝で、長さ約24m以上にわたって2条の平行した溝(4・5号溝)が東西方向に走る。その幅は約5.5~6mで、内側の溝が南に折れ、9mほど進んだところでわからなくなっている。縄文の遺物のほか、わずかに平安末(11世紀代)の土師器が出ているが、そのほかに時期的に関連しそうな遺物はない。この溝は国道を越えて西地区でも検出されており、西地区ではコ状に巡ることから東地区にも存在すると当初から予測されていたものであった。全体では外溝一辺90~94m、内溝76~80mのわずかに菱形に歪んだ方形区画となり、規模としては館跡的である。また11・12号溝が4・5号溝の延長線に取り付くと考えられる。この区画溝の北東に位置する方形周溝遺構は交軸方向が4・5号溝とほぼ同一で、4・5号溝と11・12号溝に囲まれた一角に収まっているこ

とから、方形周溝遺構は4・5号溝、11・12号溝を含む全体的な設計・配置の中で組み込まれ、時期的にも同じ頃の所産であろう。

**10号溝** 方形周溝墓と思われるL字の溝で、東西7m、南北5m程度を検出した。南北の東辺溝は検出できていない。北西コーナー部からはS字甕が3個見つかった(1~3)。小林健二氏の甲斐地域のS字甕変遷案(1993 小林)にあてはめると5~6期で、4世紀後半~5世紀前半となる。

**11・12号溝** 幅5.5mで南北方向に平行し、方形周溝遺構あるいは4・5号溝の延長線に取り付いていたようである

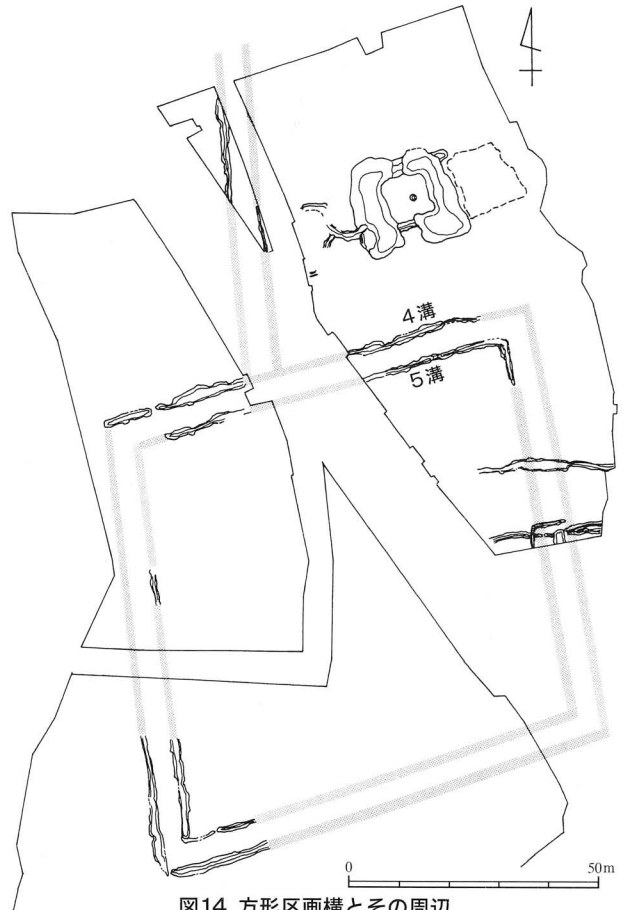


図14 方形区画構とその周辺

が、12号溝が細い上に浅く、同時併存想定は難しい。11号溝は断面がV字で、砂層が堆積し、水が流れたことがわかり、遺物には12世紀後半代の土師質土器皿(1)、13世紀代の中津川産壺(5)、青磁碗(2)、14世紀前半の灰釉平碗(3)があり、12世紀後半~14世紀前半の時期が推定できる。

### 第6節 その他の出土遺物

遺構外からは早期末の貝殻腹縁文をもつ打越式土器片が出土し、また同時期の地元土器群と思われる繊維土器もわずかにあるが、量的には断然前者が目立っている(図21参照)。諸磯c式期以降中期末まで断続的に存在し、後期では称名寺~加曾利B1式期、晩期末では浮線文系土器が1~数片あるのみで、後期から晩期では主体は西地区にあるらしい。そのほか、弥生中期では条痕文土器が遺構外からやや多く出土している。

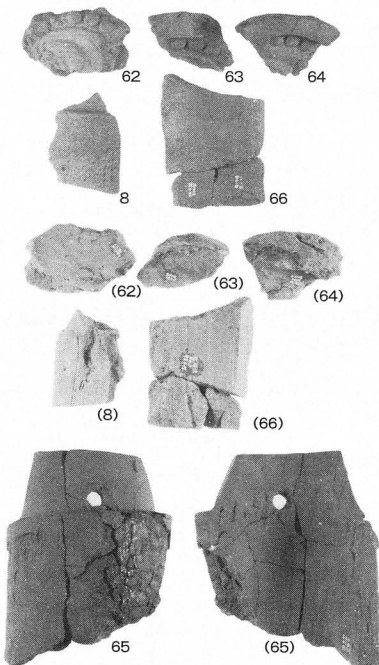


写真11 中世瓦(池状遺構)

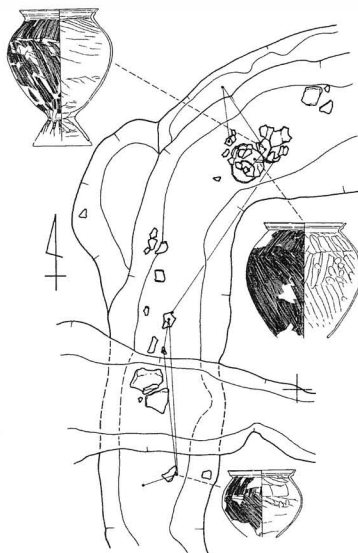


図15 10号溝(方形周溝墓?)土器出土状況

胎土略名 長-長石 安-安山岩 角-角閃岩 雲-雲母 輝-輝石  
 赤-赤色粒子 黒-黒色粒子 白-白色粒子  
 多-多い 少-少ない 小-小粒

図版	地点	番号	種別	器種	口・底・高cm	整形技法	胎土	注記	残%	備考
72	1住	1	土師	杯	12.0	ナデ	雲	1住14	25	
72	2住	1	土師	杯	9.0・3.8・2.0	手づくね	角, 長, 赤	2住10	—	内外面黒変
72	2住	2	土師	杯	--5.5--	ナデ	雲	2住1・27	40	
72	2住	3	土師	羽釜	15.0	ナデ	長, 赤	2住2	—	内外面一部黒変
72	2住	4	土師	外耳鉢	18.7	ナデ	雲, 長, 赤	2住2	—	
72	2住	5	土師	釜	----	ナデ	長, 角, 赤, 雲	2住14	—	内面黒変
72	2住	6	土師	こね鉢	----	ナデ	安, 多, 大, 赤	2住20	—	
72	2住	7	土師	こね鉢	----	ナデ	長, 角	2住2	—	内外面黒変
72	3住	1	土師	杯	9.6・6.4・2.1	手づくね	白, 赤, 少	3住10	50	口縁に歪み
72	3住	2	土師	小皿	8.2・4.6・2.4	ナデ	雲, 多, 赤, 黒	3住7	30	
72	3住	3	土師	小皿	10.2	ナデ	雲, 多, 石, 黒	3住7	20	
72	3住	4	土師	杯	15.1	ナデ	雲, 多, 黒	3住46	—	
72	3住	5	土師	杯	--5.2	ナデ・糸切り	赤, 長, 白	3住86	—	
72	3住	6	土師	盃	--6.8--	ナデ・糸切り	雲, 多, 白, 黒	3住37	20	
72	3住	7	土師	把手釜	30.0	ナデ	長・石・小礫, 多, 赤, 少	3住2・10・11・12・17・28・29・37・39・42・43・64~69・87~89・91・93・98	60	変形
72	3住	8	土師	把手釜	29.0	ナデ	長・大, 石・角・赤・多, 小礫・少	3住25・57・100~102・3住籠	55	外面黒変・内面荒れ
72	3住	9	土師	把手釜	----	ナデ	長・石・角・小礫・少	3住42・64・67・92・94・96・97・99・3住t・y1・籠	—	
73	3住	10	弥生	甕?	--9.0--	条痕・網代	角・竹多, 長・石・赤・少	3住60	—	
73	4住	1	縄文	深鉢	35.8・17.4・43.8	指頭痕・角押文・陰刻文	白・多	4住14・252	90	
73	4住	2	縄文	深鉢	17.5・9.5・22.4	ナデ	長, 石, 赤, 黒, 小礫・少	4住4	—	内面黒変
73	4住	3	縄文	深鉢	18.0・11.0・25.5	縄文	長, 石, 角・小礫・少	4住247・t・y19	45	内面胴下半コグ、外面胴上半スス
73	4住	4	縄文	深鉢	12.0・8.0	縄文・沈線	長・石・多, 角・赤・少	4住112	—	内外面黒変
74	4住	5	縄文	深鉢	25.0・13.4・36	縄文・爪形文	長・石・角・多, 赤・小礫・少	4住5	50	内面荒れ, 胴上半スス
74	4住	6	縄文	深鉢	26.8	波状隆線・沈線	白・安・多, 長・雲・角・少	4住130・134・230	—	
74	4住	7	縄文	深鉢	25.0	角押文	黒・大・多, 長・安・多, 赤・角・小礫・少	4住247・251・t・y117	—	内面黒変
74	4住	8	縄文	深鉢	34.0・14.0	角押文・沈線	長, 石, 赤, 大, 角, 小礫・少	4住6・15・27・52・54・59・61・64~66・69・75・82・90	—	
74	4住	9	縄文	深鉢	14.2・6.0・16.9	縄文・角押文	長・石・角・赤・小礫・少	4住97・98・101・t・y118	50	内面黒変
75	4住	10	縄文	深鉢	6.7・6.0・9.5	縄文・押圧文・角押文	長・石・黒, 小礫・少, 赤・大	4住105	70	内外面黒変
75	4住	11	縄文	深鉢	21.3・14.0・38.9	角押文・沈線	石・赤・多, 長・小礫・角・安・少	4住127・139・143・162~166・169・175・179・180~182・184・186・187・227・229・230	60	内外面黒変
75	4住	12	縄文	有孔土器	9.0	ナデ	長, 石, 赤, 少	4住172・179・229	—	
75	4住	13	縄文	深鉢	38.0	竹管文・角押文	長・石・赤・多, 小礫・黒・少	4住1・7・25・197	20	器面荒れ, 内外面黒変
75	4住	14	縄文	有孔罎付	20.0	ナデ	長・多, 石・角・少, 安, 黒	4住67	—	内面黒変
75	4住	15	縄文	深鉢	23.0	竹管文・角押文	長・石・角・赤・少	4住110	—	内面黒変
75	4住	16	縄文	深鉢	----	縄文	長, 石, 小礫・赤・少	4住59・247・251・t・y119	—	内外面スス
75	4住	17	縄文	深鉢	22.5・11.0	縄文・沈線	長, 石, 角・赤・少, 小礫, 安	4住20・23・25・135・136・155・156・222・225・226・232・241	—	内面f-状・荒れ, 内外面黒変
76	4住	18	縄文	深鉢	----	竹管文・沈線	長・石・赤・少	4住227	—	内外面黒変
76	4住	19	縄文	深鉢	----	角押文	長・石・多, 赤・雲・少, 角・竹多	4住120・121・129・230	—	内面黒変・荒れ
76	4住	20	縄文	深鉢	----	竹管文・沈線	長, 石, 赤, 黒・少, 安	4住115・178・t・y11・6	—	内面黒変
76	4住	21	縄文	深鉢	----	縄文・沈線	長・石・多, 赤・少	4住62	—	内面黒色
76	4住	22	縄文	深鉢	----	角押文・沈線	長・安・角・石・少, 赤	4住246	—	
76	4住	23	縄文	深鉢	----	竹管文・沈線	長, 石, 赤, 黒・少, 角・安・竹多	4住138	—	内面黒変
76	4住	24	縄文	深鉢	--19.0--	角押文	長・石・安・多, 角, 赤	4住1	—	内面黒変
76	4住	25	縄文	深鉢	----	縄文	長・石・多, 小礫・少, 赤・竹多, 安, 角	4住140・143・144・148~150・157・160・221	40	
76	4住	26	縄文	深鉢	----	竹管文	長・竹多, 石・黒・赤・少, 雲, 角	4住109	—	
76	4住	27	縄文	深鉢	--10.0--	ナデ	長, 石, 角, 赤・少	4住146	—	
76	4住	28	縄文	深鉢	--10.8--	ナデ	長・石・安・多, 雲・小礫・角・少, 赤	4住120・122・235	—	内外面黒変
76	4住	29	縄文	深鉢	--13.0--	角押文	長, 石, 安, 角, 多, 赤・少	4住6	—	内外面荒れ
76	4住	30	縄文	深鉢	--10.6--	角押文・沈線	長, 石, 赤・多, 黒・少	4住53	—	
76	4住	31	縄文	浅鉢	29.0	押圧文	長・石・多, 赤・少	4住245	—	内外面かすかに赤彩
76	4住	32	縄文	深鉢	----	竹管文・陰刻文	長, 石, 角・赤・少, 雲	4住206	—	
76	4住	33	縄文	浅鉢	----	沈線・把手	長, 石, 黒・赤・少	4住50	—	
76	4住	34	縄文	深鉢	----	みみずく把手	長・竹多, 角・少, 石, 赤	4住1・4	—	外面黒変, 35と同一
76	4住	35	縄文	深鉢	----	竹管文	長・竹多, 角・少, 石, 赤	4住	—	外面黒変, 34と同一
76	4住	36	縄文	深鉢	----	みみずく把手	長・石・角・多, 赤・少, 安	4住3	—	外面黒変
76	4住	37	弥生	甕?	--9.0--	ナデ	長, 角, 赤, 安(竹密)	4住141	—	
76	4住	38	土師	杯	12.8・6.7・4.4	ナデ・糸切り	白・長・多, ナデ・黒・赤・少, 安, 角	4住34	85	
79	7住	1	縄文	深鉢	36.5・13.2・51.8	角押文・沈線	白・多, 赤, 長, 角	7住272・320・322~324・326・331・332・335・337~343・348~355・357・358・360・362~365・367・369~371・373・376・377・382・384~386	95	被熱して非常に面白い
79	7住	2	縄文	深鉢	10.8・7.0・19.3	ケズリ	安・多, 長, 赤, 石, 角, 小礫(竹粗)	7住282	100	
79	7住	3	縄文	深鉢	19.5・12.8	角押文・縄文	白・多	7住44	80	
80	7住	4	縄文	深鉢	25.5・15.4	角押文・沈線	白・多	7住205~207	75	
80	7住	5	縄文	深鉢	25.5・11・30.5	沈線・縄文・角押	雲・白・多	7住205・206	80	被熱して非常に面白い
80	7住	6	縄文	深鉢	10.0	竹管文・縄文	長, 石, 赤, 角(竹粗)	7住203・208	—	外面黒変
80	7住	7	縄文	深鉢	11.2	竹管文・縄文	長, 小礫, 安, 角	7住116・119	—	外面黒変
80	7住	8	縄文	深鉢	28.0	角押文・陰刻文	長・石・赤・角・雲・少, 安(竹多)	7住25・138・161・162	40	9と同一
80	7住	9	縄文	深鉢	28.0	角押文・陰刻文	長・石・赤・角・雲・少, 安(竹多)	7住138	—	8と同一, 顔面伏装飾付
80	7住	10	縄文	深鉢	16.0	角押文・縄文	長, 石, 赤(竹密)	7住145・204	—	内外面黒変
80	7住	11	縄文	深鉢	11.0	縄文	長・石・赤・竹多, 角	7住199	—	内面黒色
80	7住	12	縄文	深鉢	33.2	縄文・沈線・角押	長・多, 角, 赤, 雲, 石(竹密)	7住48・54・59・66・67・80・126	—	外面暗色化
81	7住	13	縄文	深鉢	22.0	角押文	長・石・角・赤・安・竹多, 雲	7住257	—	
81	7住	14	縄文	深鉢	15.0	竹管文	長, 石, 角, 赤, 小礫, 安(竹密)	7住36	—	
81	7住	15	縄文	深鉢	--13.0--	角押文	長・石・角・赤・小礫・安・多(竹粗)	7住16・17・23・448~450・452~454・458	15	
81	7住	16	縄文	深鉢	18.2	竹管文・縄文	白・多, 安・角・少	7住18・22・24・25・27・51	—	
81	7住	17	縄文	深鉢	28.0	竹管文・角押文	長・石・雲・竹多, 小礫	7住41・92・98・103・104	—	
81	7住	18	縄文	深鉢	18.0	縄文	長, 石, 赤, 角(竹密)	7住109	—	内外面f-状, 外面薄くスス
81	7住	19	縄文	深鉢	28.0	縄文・角押文	長・石・赤・角・安・竹多(竹粗)	7住155・156・171	—	
81	7住	20	縄文	深鉢	18.0	角押文・沈線	長・石・角・多, 赤(竹密)	7住144	—	
81	7住	21	縄文	深鉢	19.0	角押文・縄文	長・多, 石, 角, 赤, 雲(竹密)	7住165, t・y17	—	外面スス
82	7住	22	縄文	深鉢	48.0	角押文	長, 石, 角, 赤, 小礫(竹粗)	7住72・83・99・102・104・118	—	
82	7住	23	縄文	深鉢	35.0	縄文・角押文	長・石・赤・雲・角・多(竹密)	7住35・94・120・160・251	—	
82	7住	24	縄文	鉢	26.0	縄文	角, 赤, 安(竹密)	7住131	—	内外面黒変
82	7住	25	縄文	深鉢	32.0	角押文	赤・角・少, 安	7住28	15	内外面黒変
82	7住	26	縄文	深鉢	38.4	角押文	長, 石, 角, 赤, 小礫, 安(竹密)	7住7・122	—	
82	7住	27	縄文	深鉢	17.4	角押文・縄文	長, 石, 赤, 角, 小礫, 安(竹密)	7住86・263・273・274・t・y13	70	内外面黒変
82	7住	28	縄文	深鉢	----	角押文	長・竹多, 赤・雲・多, 石(竹密)	7住96	—	内面荒れ, 内外面黒変
82	7住	29	縄文	深鉢	----	角押文・沈線	長, 石, 角, 雲, 赤(竹密)	7住61・106・194	—	
83	7住	30	縄文	深鉢	----	竹管文・縄文	長・石・赤・角・小礫・多, 安(竹密)	7住96・123・277	—	外面黒変
83	7住	31	縄文	深鉢	----	角押文・沈線	長・石・角・赤・安・多(竹密)	7住173・267	—	内外面黒変
83	7住	32	縄文	深鉢	----	指頭痕	長・石・赤・小礫・角・安・竹多(竹粗)	7住206・258・264・293・304	—	
83	7住	33	縄文	台付土器	--16.0--	縄文・沈線	赤・小礫・安・竹多(竹密)	7住11・142・143・147	—	黒変
83	7住	34	縄文	深鉢	--10.0--	縄文・竹管文	長, 石, 角, 赤, 安(竹密)	7住136	—	
83	7住	35	縄文	深鉢	--9.0--	縄文	長, 石, 小礫, 赤, 角, 安, 雲(竹密)	7住104	—	内外面黒変・f-状
83	7住	36	縄文	深鉢	--3.6--	縄文	長・安・赤・石・角・少	7住	—	
83	7住	37	縄文	浅鉢	39.8・12.0	ナデ	長・角・赤・安・多(竹密)	7住68・263・265・305	70	内外面黒変
83	7住	38	縄文	浅鉢	28.0	角押文	長・赤・安・多(竹密)	7住273・275	—	外面黒変
83	7住	39	縄文	浅鉢	43.0・10.0	ナデ	赤・安・多, 角, 長(竹密)	7住121・122・146・285	40	内外面黒変, 補修孔1
84	7住	40	縄文	浅鉢	34.0	角押文・ナデ	長・角・赤・小礫・安・多(竹密)	7住99・100・117・140	15	
84	7住	41	縄文	浅鉢	39.0	角押文・押圧文	長・石・雲・赤・少, 安, 角	7住100・101	—	内外面黒変
84	7住	42	縄文	浅鉢	36.0	ナデ	長, 石, 黒, 雲, 安(竹密)	7住26	—	
84	7住	43	縄文	浅鉢	36.0	角押文・ナデ	長・赤・角・安・竹多(竹密)	7住82・154	—	
84	7住	44	縄文	深鉢	26.0	角押文	長, 石, 角, 赤, 雲(竹密)	7住t・y14・436	—	内外面黒変
84	7住	45	縄文	深鉢	21.4	角押文・沈線	長・多, 石, 安, 赤, 角(竹粗)	7住t・y15・406・408・411	—	外面黒変
84	7住	46	土師	浅鉢	----	ナデ	長・竹多, 赤・角・少, 石, 雲	7住t・y15・327	—	内外面黒変
84	7住	47	縄文	深鉢	28.0・15.0	角押文・指頭痕	小礫, 赤, 角, 安, 長(竹密)	7住t・y15・332・389・587	40	内外面黒変
85	7住	48	縄文	深鉢	40.0・20.0	角押文	長・多, 小礫・極多, 赤, 石(粗)	7住t・y15・380~395・397・398・400・403・407・412・413	—	

表3-(1) 土器・陶磁器観察表



胎土略名 長-長石 安-安山岩 角-角閃岩 雲-雲母 輝-輝石  
赤-赤色粒子 黒-黒色粒子 白-白色粒子  
多-多い 少-少ない 小-小粒

図版	地点	番号	種別	器種	口・底・高cm	整形技法	胎土	注記	残%	備考
85	7住	49	縄文	有孔罎付	16.0---	ナデ	長・石・赤・小礫・安・角(竹密)	7住E' 715-328	95	内外面赤彩、もろい
85	7住	50	縄文	深鉢	41.0・21.4・	角押文・陰刻文	安・竹多・赤・白・多・角	7住E' 715-332-333-21住3	95	胴下半は21住出土
85	7住	51	縄文	浅鉢	36.0・14.0・	ナデ	長・石・赤・小礫・安・多	7住E' 716-418-419	95	内外面黒変
85	7住	52	縄文	深鉢	---	ナデ	長・石・赤・角・安・竹多	7住E' 711-447	95	内外面黒変
88	8住	1	縄文	深鉢	--9.8--	角押文	長・石・赤・黒・安・角・多、小礫-少	8住E' 711-1	95	外面荒れ、内外面黒変
88	8住	2	土師	杯	--5.2--	ナデ	赤、白、長(密)	3住8	90	油煙 口縁に2孔一對
88	9住	1	土師	皿	9.2・4.6・2.0	ナデ	黒、雲(竹密)	9住5	25	底部外面線刻、黒変
88	9住	2	土師	杯	13.2・5.6・3.7	ナデ	白、黒、雲(密)	9住2	100	内外面黒変
88	9住	3	土師	小皿	8.0・4.0・1.6	ナデ	白・黒・長・多(密)	9住57	9	9住17
88	9住	4	土師	皿	--4.2--	ナデ	白・黒・雲・多(密)	9住17	9	9住13
88	9住	5	土師	釜	30.0---	ナデ	白・長・多大、角、石(密)	9住39	9	9住11
88	9住	6	須恵	壺?	---	ナデ	白、黒(密)	9住11	9	9住11
88	9住	7	須恵	壺	---	叩き	白、黒(密)	9住11	9	9住11
89	11住	1	縄文	深鉢	24.0---	角押文	長・石・角・多、赤・少、安・極多	11住14	9	9住11
89	11住	2	縄文	深鉢	---	角押文・沈線	長・竹多、石、雲・少、角・多、赤・少	11住28	9	9住11
89	11住	3	縄文	蓋	---	竹管文	長・石・多、角・赤・少	11住70	9	9住11
89	11住	4	縄文	深鉢	--12.0--	竹管文・刺突	長、石、安、角・赤・少	11住10	9	9住11
89	11住	5	縄文	深鉢	--16.0--	角押文	長・石・角・赤・少、安(竹粗)	11住1・35-74	9	9住11
89	11住	6	縄文	深鉢	--16.0--	瓜形文	長、石、安、角・赤・少	11住56-61	9	9住11
89	11住	7	縄文	深鉢	--12.0--	隆線	長・石・多、赤・角・少、安・竹多	11住24-62	9	9住11
89	11住	8	縄文	深鉢	--3.2--	縄文	長・石・赤・少、安・竹多大	11住100	9	9住11
89	11住	9	縄文	深鉢	---	瓜形文	雲・竹多、赤・角・長・石・少	11住46-53	9	9住11
90	11住	10	縄文	深鉢	--8.0--	角押文・沈線	長・安・大、石・赤・多、角・少	11住15-69-73-91	9	9住11
90	11住	11	縄文	深鉢	---	縄文・瓜形文	長、石、安、角、赤・少	11住10-12-16	9	9住11
90	11住	12	縄文	深鉢	22.7・19.0・3.9	ナデ	長、石、赤、角、小礫・黒・少、安・多	11住66	9	9住11
90	11住	13	縄文	浅鉢	50.0---	縄文・沈線	長・石・多、赤・少、角・多大、安・竹多	11住4・6-21-39	9	9住11
90	11住	14	縄文	浅鉢	40.0・12.0・	ナデ	長、石、安、赤・角・竹多、小礫・少	11住99	9	9住11
90	11住	15	縄文	土俵裝飾	--8.6-19.2	縄文・瓜形文	長、石、安、赤、角・多	11住103-7住130	9	9住11
90	11住	16	縄文	小型浅鉢	7.5・4.0・4.4	ナデ	長、石、角、赤・少、黒・少、安・竹多	11住13	9	9住11
90	11住	18	土師	杯	14.0---	ナデ	白・赤・黒・少、角、長	11住48	9	9住11
92	15住	1	土師	皿	--5.0--	ヘラ削り	白、赤、長(密)	15住13	9	9住11
92	15住	2	土師	黒色皿	15.2---	ナデ	雲・多(竹密)	15住14	9	9住11
92	15住	3	土師	黒色椀	19.2---	ナデ	黒、赤、白(密)	15住17-16住	9	9住11
92	15住	4	須恵	壺	--13.0--	ナデ	白・極少(密)	15住6	9	9住11
92	15住	5	灰釉	椀	13.8---	ナデ	(密)	15住22	9	9住11
92	15住	6	土師	耳皿	縦9.1・5.7・3.2	ナデ	雲・多(密)	15住15	95	9住11
92	15住	7	土師	高台杯?	--7.0--	糸切り	白・多、赤・長・竹多	15住24	9	9住11
92	15住	8	土師	把手釜	27.8---	ナデ	白・雲・小礫・多、長、安(竹密)	15住2・8-10-11-14-21・竈25・26・E' 712	9	9住11
92	16住	1	土師	小皿	8.2・4.0・1.9	ナデ	雲・多、白(密)	16住	9	9住11
92	16住	2	土師	杯	11.6・4.6・4.2	ヘラ削り	長(密)	16住4	9	9住11
92	16住	3	土師	杯	11.4---	ヘラ削り	赤・竹多(密)	16住34	9	9住11
92	16住	4	土師	杯	13.8---	ナデ	黒・多、赤、角、長(竹密)	16住16	9	9住11
92	16住	5	土師	黒色杯	13.8---	ナデ	長、白(竹密)	16住	9	9住11
92	16住	6	土師	杯?	--4.4--	糸切り	長、雲、小礫(竹粗)	16住	9	9住11
92	16住	7	土師	皿	11.4・3.6・1.9	ヘラ削り	雲、長、白(密)	16住	9	9住11
92	16住	8	土師	皿	11.6---	ヘラ削り	長、赤、石(竹密)	16住	9	9住11
92	16住	9	土師	黒色杯	--6.2--	ナデ	白、赤(密)	16住	9	9住11
92	16住	10	土師	黒色杯	---	ナデ	白、黒(密)	16住45	9	9住11
92	16住	11	土師	黒色椀	22.6---	暗文・ナデ	白、黒、赤(密)	16住	9	9住11
92	16住	12	灰釉	皿	18.8---	ナデ	白・微(竹密)	16住11-13	9	9住11
92	16住	13	土師	甕	28.2---	ハケメ	(竹密)	16住50	9	9住11
92	16住	14	土師	甕	30.6---	ハケメ	雲・多、長・赤・大、石(竹密)	16住12	9	9住11
92	16住	15	土師	甕	26.8---	ナデ	雲・竹多、赤・竹多大、長(竹密)	16住17-27	9	9住11
92	16住	16	土師	小型甕	13.8---	ハケメ	雲・竹多、石(密)	16住32	9	9住11
92	16住	17	土師	小型甕	13.8---	ハケメ	長・大、雲、角、小礫(竹粗)	16住7	9	9住11
92	16住	18	土師	甕	32.8・10.0・	ナデ	雲・多、長、白	16住19-23-26・竈	9	9住11
92	16住	19	土師	甕	32.0・10.0・	ナデ	雲、白、小礫(竹粗)	16住22	9	9住11
92	16住	20	須恵	凸帯壺	---	叩き	白(密)	16住48	9	9住11
92	16住	21	須恵	壺	--8.0--	ナデ	白(密)	16住52	9	9住11
92	16住	22	弥生	鉢?	---	沈線	長、雲、角(竹密)	16住47	9	9住11
92	16住	23	弥生	甕	22.2---	条痕	長・石・角・安・竹多(竹密)	16住40	9	9住11
94	17住	1	土師	皿	12.4・4.6・2.5	ヘラ削り	白、赤(竹粗)	17住10	9	9住11
94	17住	2	土師	皿	--4.0--	ヘラ削り・糸切り	赤(密)	17住41	9	9住11
94	17住	3	土師	杯	---	ナデ	白、赤(密)	17住	9	9住11
94	17住	4	灰釉	椀	13.2・7.6・4.4	ナデ	白・黒・長・大(密)	17住44	9	9住11
94	17住	5	縄文	蓋	5.2---1.0	ナデ	長・竹多大、赤、雲(竹密)	17住5	9	9住11
94	17住	6	土師	甕	29.0---	ナデ	長・竹多大、雲、黒(竹密)	17住	9	9住11
94	17住	7	土師	甕	28.0---	ハケメ	白・雲・多、長(竹密)	17住竈	9	9住11
94	17住	8	須恵	壺	---	叩き	白(密)	17住9	9	9住11
94	17住	9	須恵	壺	---	叩き	黒、白(密)	17住42	9	9住11
94	17住	10	須恵	壺	---	叩き	黒、白(密)	17住11	9	9住11
94	17住	11	縄文	深鉢	---	角押文	長・多大、石・角・赤・雲・大(竹粗)	17住34	9	9住11
95	18住	1	縄文	深鉢	19.7---	沈線	雲・長・竹多、砂(竹粗)	18住63	9	9住11
95	18住	2	縄文	深鉢	--8.0--	沈線	赤、雲、角、長(竹密)	18住18	9	9住11
95	18住	3	縄文	深鉢	---	沈線・縄文	長、石、角、赤、雲(竹粗)	18住	9	9住11
95	18住	4	縄文	深鉢	---	沈線	長・竹多、角、砂(竹粗)	18住43	9	9住11
95	18住	5	縄文	深鉢	---	沈線・粘土紐	長・多、角・雲・竹多、白、赤(竹粗)	18住26	9	9住11
95	18住	6	縄文	深鉢	---	刺突・隆線	長、石、角、雲、白、赤(竹密)	18住33	9	9住11
95	18住	7	縄文	深鉢	---	刺突	長・多、石・角・雲・竹多、小礫、白(竹粗)	18住35	9	9住11
95	18住	8	縄文	深鉢	---	沈線	長・多、石、雲、赤(竹粗)	18住53	9	9住11
95	18住	9	縄文	深鉢	---	沈線	長・角・赤・雲・竹多(竹粗)	18住23-27	9	9住11
95	18住	10	弥生	甕	---	内外面条痕	長・多、石、角、雲(竹密)	18住	9	9住11
95	18住	11	土師	小皿	9.0・5.0・1.8	ナデ	黒・雲・多(竹密)	18住	9	9住11
96	20住	1	縄文	深鉢	33.3---	角押文	長、角、白、黒(竹粗)	20住18-19	9	9住11
96	20住	2	縄文	深鉢	11.0---	瓜形文	長、角、白、赤、小礫、安(竹密)	20住2	9	9住11
96	20住	3	縄文	深鉢	---	角押文	長・多、雲、白、黒(竹密)	20住1	9	9住11
97	21住	1	縄文	浅鉢	30.0---13.8	角押文・沈線	白・雲・多	21住1	9	9住11
97	21住	2	縄文	深鉢	19.5・12.8・	角押文・縄文	白、少	21住1	95	9住11
97	21住	3	縄文	深鉢	15.6・6.5・	波状隆線・ナデ	長、石、角、赤、小礫(竹密)	21住1	9	9住11
97	21住	4	縄文	深鉢	30.4・14.0・	瓜形文・縄文	白・多	21住1	9	9住11
97	21住	5	縄文	深鉢	31.0---	角押文・隆線	長・石・角・竹多、雲・少(竹密)	21住57-69-67-69-173-E' 713-15住E' 713	9	9住11
97	21住	6	縄文	深鉢	23.5・13.0・	縄文・瓜形文	長・多、石、赤(竹密)	21住6-25-26-100-137-148-149-150	9	9住11
97	21住	7	縄文	深鉢	16.0---	縄文・沈線	角・安・多、砂(密)	21住61	9	9住11
97	21住	8	縄文	深鉢	25.0---	瓜形文・沈線	長、角、赤、安(竹密)	21住5	9	9住11
97	21住	9	縄文	深鉢	15.4・6.4・20.1	指頭痕・角押文	長・角・雲・赤・安・竹多	21住120	9	9住11
98	21住	10	縄文	深鉢	---	角押文・沈線	長・角・赤・少、安	21住66-154	9	9住11
98	21住	11	縄文	深鉢	--8.6--	角押文	角・安・多(竹密)	21住2-21	9	9住11
98	21住	12	縄文	深鉢	--14.0--	縄文	長、石、赤、角(竹粗)	21住8	9	9住11
98	21住	13	縄文	深鉢	30.0---	縄文	長・石・角・小礫・安・多大(竹密)	21住147-148-E' 712	9	9住11
98	21住	14	縄文	深鉢	---	沈線	長、石、雲	21住6-111-165-176-177-198	9	9住11
98	21住	15	縄文	深鉢	--13.2--	ナデ	長・大、石、赤、黒、小礫、安(竹密)	21住2	9	9住11
98	21住	16	縄文	深鉢	--10.0--	隆線	長、石、角、赤、小礫(竹密)	21住1	9	9住11
98	21住	17	縄文	台付土器	--8.0--	縄文	長・石・角・小礫・安・竹多(竹密)	21住53	9	9住11
98	21住	18	縄文	有孔罎付	--10.0--	隆線	長、石、赤、角、小礫、安(竹密)	21住1	9	9住11
98	21住	19	縄文	深鉢	34.0---	縄文・指頭痕	長・石・赤・雲・角・小礫・多、安・多大	21住7-158	9	9住11
98	21住	20	縄文	深鉢	--17.6--	角押文	長・石・赤・角・安・竹多(竹密)	21住3-12-94	9	9住11
98	21住	21	縄文	浅鉢	30.0---	ナデ	長、石、赤、角			

胎土略名 長-長石 安-安山岩 角-角閃岩 雲-雲母 輝-輝石  
赤-赤色粒子 黒-黒色粒子 白-白色粒子  
多-多い 少-少ない 小-小粒

図版	地点	番号	種別	器種	口・底・高cm	整形技法	胎土	注記	残%	備考
100	22住	2	縄文	深鉢	--19.0--	沈線	角・雲・極多(竹粗)	22住3	—	もうい
100	22住	3	縄文	深鉢	--6.0--	沈線	長・赤・角・多・雲(竹密)	22住18	—	
100	22住	4	縄文	深鉢	---	沈線	長・石・赤・角・多・安(密)	22住	—	内外面黒変、波状口縁
100	22住	5	縄文	深鉢	---	沈線	長・石・角・雲・多・大・小礫(竹密)	22住6	—	内外面黒変
100	22住	6	縄文	深鉢	---	沈線・隆線	長・石・赤・角・安(竹密)	22住5	—	
100	22住	7	縄文	深鉢	---	爪形隆線	長・角・安・多	22住1	—	
100	22住	8	縄文	深鉢	---	沈線・隆線	長・石・赤・角・多・小・安(竹密)	22住20・21	—	内外面黒変
100	22住	9	縄文	深鉢	---	沈線	長・竹・多・赤・角(竹密)	22住4	—	
100	22住	10	縄文	深鉢	---	沈線	長・石・赤・角・多・安(竹密)	22住22	—	外面黒変
100	22住	11	縄文	深鉢	---	沈線	長・竹・多・石・赤(竹密)	22住14	—	
100	22住	12	縄文	深鉢	---	爪形文・沈線	長・石・角・雲・竹・多(竹密)	22住9	—	
100	22住	13	縄文	深鉢	---	爪形隆線	長・多・石・角・雲・竹・多(竹密)	22住23	—	
100	22住	14	縄文	深鉢	---	具段横線文	赤・小礫・安(粗)	22住17	—	外面黒変、打越式
100	22住	15	縄文	深鉢	---	爪形文・陰刻文	長・石・角(密)	22住	—	外面黒変
100	22住	16	縄文	深鉢	---	縄文・押圧隆線	長・石・角・赤・大・安・竹・多	22住12	—	内面黒変
100	22住	17	縄文	深鉢	---	ナデ	長・石・角・極多・安・竹・多(竹密)	22住24	—	後期?
100	23住	1	縄文	深鉢	23.8・8.0・29.1	沈線	長・石・赤・角・少	23住埋壘	90	内外面黒変
101	23住	2	縄文	深鉢	11.0・7.0・20.0	沈線	長・竹・多・石・雲・角・赤・多(竹粗)	23住34・35・120~124・138	50	外面黒変
101	23住	3	縄文	深鉢	26.0・--・26.9	沈線	長・石・雲・竹・多・角(竹密)	23住1・7・16・23・43・91・108・9住30・54・153	55	内外面黒変
101	23住	4	縄文	深鉢	--7.6--	沈線・底・網代痕	長・多・石・赤・角・雲(竹粗)	23住113	—	外面荒れ
101	23住	5	縄文	深鉢	--12.0--	沈線	長・石・赤・雲・安(竹密)	23住4	—	
101	23住	6	縄文	深鉢	32.0・---	沈線	長・石・赤・角(竹密)	23住25・126・128~130・132~135	—	
101	23住	7	縄文	深鉢	33.0・---	沈線	長・竹・多・石・赤・多・雲・角・小礫(竹粗)	23住11・15・20・33・40・48・56・58・70・92・103・111・9住	30	内外面黒変
101	23住	8	縄文	深鉢	21.4・---	沈線	長・石・雲・角・小礫(粗)	23住25・81・9住・26・46	25	内外面黒変
101	23住	9	縄文	深鉢	23.0・---	沈線・刺突文	長・赤・角・小礫・安・礫・砂礫(竹粗)	23住18・19・21・24・30・106・107	25	内外面黒変
101	23住	10	縄文	深鉢	---	沈線	長・多・石・赤・角・砂(竹密)	23住46	—	内外面黒変
101	23住	11	縄文	広口壺	---	刺突文・沈線	長・多・大・石・赤・黒・雲・小礫(竹粗)	23住55	—	
101	23住	12	縄文	深鉢	27.0・8.0・--	縄文	長・雲・竹・多・小礫(竹密)	23住3・14・42・84・85・89・9住45・47	—	外面黒変
101	23住	13	縄文	深鉢	27.0・---	ハの字文	長・石・雲・多・角(竹粗)	23住105・9住42・53	25	外面黒変
101	23住	14	縄文	鉢	15.0・---	ナデ	長・竹・多・石・赤・黒・雲・小礫(竹密)	23住69・27土1	—	外面黒変
102	23住	15	縄文	深鉢	22.0・---	ハの字文	長・石・角(竹密)	23住101	—	
102	23住	16	縄文	深鉢	---	沈線	長・赤・角・安・砂(竹密)	23住116	—	
102	23住	17	縄文	深鉢	---	沈線	長・石・赤・雲(竹密)	23住99	—	
102	23住	18	縄文	深鉢	---	沈線・刺突文	長・石・赤・雲・多(竹粗)	23住6	—	内外面薄く変色
102	23住	19	縄文	深鉢	---	ハの字文	長・竹・多・角・雲(竹密)	23住2	—	
102	23住	20	縄文	鉢	---	ハの字文	長・竹・多・石・赤・黒・雲(竹密)	23住37	—	内外面黒変
102	23住	21	縄文	深鉢	---	縄文	長・石・赤・雲(竹密)	23住102	—	
102	24住	1	縄文	深鉢	---	沈線・刺突文	長・石・赤・角・雲・竹・多	24住3	—	内外面黒変
102	24住	2	縄文	深鉢	---	沈線	長・石・赤・雲(竹密)	24住4	—	
102	24住	3	縄文	鉢	--6.4--	沈線	長・極多・石・赤・黒・雲・竹・多(竹粗)	24住69	—	内外面黒変
102	24住	4	縄文	深鉢	---	結節縄文	長・石・赤・角・小礫・安(竹密)	24住55	—	
102	24住	5	縄文	深鉢	--6.6--	沈線	長・石・雲・小礫・安(竹密)	24住1	—	内外面黒変
102	24住	6	縄文	台形土器	--23.0--	ナデ	長・竹・多・石・赤・角・小礫・安(竹粗)	24住60	—	底面にスス
102	24住	7	縄文	深鉢	---	沈線・隆線	長・多・大・石・赤・角・小礫・安(竹密)	24住32	—	
102	24住	8	縄文	深鉢	---	沈線	長・石・赤・角・雲(竹密)	24住48	—	
102	24住	9	縄文	深鉢	---	捺糸文	長・石・赤・角・雲・砂	24住31	—	
102	24住	10	縄文	鉢	---	沈線	長・竹・多・大・石・赤・黒・雲・小礫	24住70	—	
102	24住	11	縄文	釣手土器	---	沈線	長・角・赤(竹密)	24住12	—	
103	25住	1	縄文	深鉢	--6.8--	沈線	長・竹・多・石・赤・角・雲・小礫・安・大	24住6	30	内外面黒変
103	25住	2	縄文	深鉢	--8.5--	隆線・沈線	長・多・石・赤・雲・竹・多・安	24住6	60	内外面黒変
104	26住	1	縄文	深鉢	26.0・---	角押文	長・石・多・赤・少・角(密)	26住57	50	内面コガ、炉体土器
104	26住	2	縄文	深鉢	12.2・6.0・16.6	ナデ	長・石・多・赤・少・角(粗)	26住33・ビ・7土2	50	内面黒変
104	26住	3	縄文	深鉢	16.0・7.4・--	ナデ	長・石・赤・黒・角・多・小礫・少(竹粗)	26住2	70	
104	26住	4	縄文	深鉢	26.0・---	角押文・陰刻文	長・竹・多・大・白・赤・角・多(竹密)	26住12・18・21・34・35	—	5と同一
104	26住	5	縄文	深鉢	---	角押文	長・竹・多・大・白・赤・角・多(竹密)	26住17・12	—	4と同一
104	26住	6	縄文	有孔鐙付	--13.0--	隆線	長・石・多・赤・少・角・雲(竹密)	26住15・19・26・31	30	内外面黒変
104	26住	7	縄文	深鉢	---	角押文	長・石・多・赤・少・角(竹密)	26住25・29	—	
104	26住	8	縄文	深鉢	---	沈線	長・石・角・安(竹密)	26住42	—	
104	26住	9	縄文	深鉢	---	ナデ	長・石・少・白・縦線痕(粗)	26住22	—	早期末
104	26住	10	縄文	深鉢	---	沈線	長・竹・多・赤・角・雲(竹密)	26住27	—	
104	26住	11	須恵	環	--7.0--	ナデ・糸切り	白(密)	26住17・113	—	
104	26住	12	弥生	壺	---	捺糸文	長・石・赤・少・角・極多・安(粗)	26住11	—	
105	27住	1	土師	小皿	9.0・4.8・2.2	ナデ	雲・赤・白(密)	27住10	30	
105	27住	2	土師	環	10.0・---	ナデ	長・竹・多・石・白(竹粗)	27住13	—	
105	27住	3	土師	環	13.9・---	ナデ	長・白・竹・多(竹密)	27住13	—	
105	27住	4	土師	環	13.8・6.8・4.2	ナデ	長・多・白(竹密)	27住	—	
105	27住	5	土師	環	--6.0--	糸切り	角・白・赤(密)	27住	—	
105	27住	6	土師	環	--6.0--	糸切り	白・小礫(竹密)	27住	—	
105	27住	7	須恵	碗?	--9.0--	糸切り・付高台	長・白・赤(密)	27住	—	
105	27住	8	須恵	壺	---	ナデ	白(密)	27住26	—	
105	27住	9	灰釉	壺	---	ナデ	(密)	27住33	—	
105	28住	1	縄文	深鉢	21.8・---	捺糸文	長・赤・雲・輝(竹粗)	28住1	—	
105	28住	2	縄文	深鉢	---	隆線	長・石・角・雲・安(密)	28住5	—	
105	29住	1	土師	坏	9.8・---	ナデ	長・竹・多・石・角(竹密)	29住2	—	
105	29住	2	土師	高台坏	---	ナデ	長・多・赤・雲(粗)	29住3	—	ひどく摩耗
105	30住	1	縄文	深鉢	---	竹管文	長・石・白・雲・多(竹密)	30住10	—	波状口縁
105	30住	2	縄文	深鉢	---	竹管文	角・多・白・赤(粗)	30住5	—	波状口縁
105	30住	3	縄文	深鉢	---	竹管文	角・竹・多・白・大・赤・小礫(竹密)	30住9	—	波状口縁
105	30住	4	縄文	深鉢	---	竹管文	長・白・雲・多(竹粗)	30住4	—	波状口縁
105	30住	5	縄文	深鉢	--15.0--	竹管文	角・小礫・安・多(粗)	30住2	—	
106	30住	6	縄文	深鉢	---	竹管文・隆線	白・赤・角・多(竹密)	30住3	—	外面スス
106	30住	7	縄文	深鉢	---	竹管文・隆線	長・赤・角・竹・多・小礫・安(竹密)	30住12	—	外面黒変
106	30住	8	縄文	深鉢	---	竹管文	石・白・赤・角・小礫(竹密)	30住14	—	
106	30住	9	縄文	深鉢	---	爪形隆線	長・石・白・雲(粗)	30住11	—	
106	30住	10	縄文	深鉢	---	沈線	長・白・赤・角(粗)	30住5・6・8	—	内外面黒変
106	30住	11	縄文	深鉢	---	沈線	長・多・石・角・雲(竹粗)	30住1	—	
106	30住	12	縄文	深鉢	---	沈線・隆線	白・赤・砂(密)	30住17	—	
106	30住	13	縄文	深鉢	---	沈線・隆線	長・石・白・赤・小礫(竹密)	30住13	—	外面スス
106	31住	1	縄文	深鉢	16.0・---	沈線・縄文	白・角・雲・竹・多(竹密)	31住55・58・156・5溝・炉	60	
106	31住	2	縄文	鉢	---	沈線・ハの字文	長・白・赤・雲・竹・多(竹密)	31住100・101・110・117・119・161・5溝	—	
106	31住	3	縄文	深鉢	23.4・---	沈線	長・多・石・赤・角・雲(竹密)	31住36	—	
106	31住	4	縄文	X把手深鉢	---	沈線	長・竹・大・白・赤・角・雲(竹密)	31住69	—	
106	31住	5	縄文	深鉢	22.5・---	ハの字文	長・白・赤・雲(粗)	31住6	—	
106	31住	6	縄文	鉢	---	沈線	長・白・赤・角・雲(竹密)	31住24	—	
106	31住	7	縄文	深鉢	---	ハの字文	長・石・白・雲・竹・多(竹密)	31住53	—	
106	31住	8	縄文	深鉢	27.2・---	沈線・刺突文	長・多・石・角・雲(竹粗)	31住79	—	
106	31住	9	縄文	深鉢	--7.6--	沈線	長・石・白・赤・黒・雲・竹・多	31住60	—	内面に指頭痕
106	31住	10	縄文	浅鉢	23.2・---	沈線・ナデ	長・白・赤・雲・竹・多(竹密)	31住54	—	
106	31住	11	縄文	深鉢	---	ハの字文	長・多・雲・少(竹粗)	31住122	—	
106	31住	12	縄文	深鉢	---	沈線	長・白・赤・黒・安(竹密)	31住13	—	
106	31住	13	縄文	深鉢	---	沈線	長・白・赤・雲・多	31住115	—	
107	31住	14	縄文	深鉢	---	沈線	石・白・黒・雲(竹粗)	31住80	—	
107	31住	15	縄文	深鉢	---	ハの字文	長・多・石・白・赤・竹・多・雲	31住30	—	ややもうい
107	31住	16	縄文	深鉢	---	沈線	長・石・白・多・赤・角・雲・少(竹粗)	31住34	—	
107	32住	1	縄文	深鉢	---	竹管文	長・石・赤・角・雲・多(竹密)	32住13	—	
107	32住	2	縄文	深鉢	---	竹管文	長・石・赤・角(竹密)	32住	—	
107	32住	3	縄文	深鉢	---	竹管文	長・雲・多・輝(竹密)	32住2・5	—	
107	32住	4	縄文	深鉢	---	竹管文	長・多・赤・雲・多・輝(密)	32住4	—	
107	32住	5	縄文	深鉢	---	爪形隆線	長・角(竹密)	32住18	—	
107	32住	6	縄文	深鉢	---	竹管文	長・竹・多・赤・雲・多・輝(竹密)	32住8	—	
107	32住	7	縄文	深鉢	---	竹管文	長・赤・雲・多・輝(竹密)	32住9	—	
107	32住	8	縄文	深鉢	---	竹管文	長・竹・多・石・赤・角(竹粗)	32住	—	
107	32住	9	縄文	深鉢	---	竹管文	長・赤・角・雲・多(密)	32住3	—	
108	33住	1	土師	坏	11.0・6.0・5.6	ナデ	長・石・赤・雲・少・小礫・大(竹密)	33住4	20	

表3-(3) 土器・陶磁器観察表

胎土略名 長-長石 安-安山岩 角-角閃岩 雲-雲母 輝-輝石

赤-赤色粒子 黒-黒色粒子 白-白色粒子

多-多い 少-少ない 小-小粒

図版	地点	番号	種別	器種	口・底・高cm	整形技法	胎土	注記	残%	備考
108	33住	2	土師	把手釜	32.0----	ナデ	長・小礫・安・大・赤・角・少・雲・石(竹密)	33住6・7・9~12・33住竈	50	
108	33住	3	土師	把手釜	32.0----	ナデ	長・大・石・多・赤・少・角・小礫・安(竹密)	33住5・14・16・竈・41住185・竈・M37・029a		
108	36住	1	土師	把手釜	21.8----	ナデ	長・竹・多・大・石・白・赤・雲・安(竹密)	36住26・R29f・y1223		
108	36住	2	縄文	深鉢	----	ナデ	長・多・大・石・白・赤・雲・小礫(竹粗)	36住28		
108	36住	3	縄文	深鉢	----	隆線・沈線	長・石・白・赤・黒・雲・竹多(竹粗)	36住14		
109	37住	1	弥生	深鉢	----	沈線	白・雲	37住炉13		内外面黒変
109	37住	2	弥生	甕	----	条值文	長・白・赤・角・安	37住炉南		
109	37住	3	弥生	甕	----	条值文	長・石・赤・角・安	37住炉4・7・12		波状口縁
109	37住	4	弥生	甕	----	ナデ	長・石・白・赤・角・安	37住炉2		
109	37住	5	弥生	甕	----	条值文	白・赤・黒	37住炉南		
109	37住	6	弥生	甕	----	条值文	長・石・白・赤・黒・角・砂	37住炉南		
109	37住	7	弥生	甕	----	条值文	長・石・白・赤・角・安	37住炉1		
109	37住	8	弥生	甕	----	条值文	長・石・白・赤・角・安・砂	37住炉南		
109	38住	1	土師	坏	12.4----	ヘラ削り	赤(密)	38住12		
109	38住	2	土師	皿	13.0----	ヘラ削り	白・赤(密)	38住竈		
109	38住	3	土師	黒色坏	15.0----	ナデ	長・石・赤	38住1		外面墨書
109	38住	4	土師	坏	15.0----	ヘラ削り	赤(密)	38住2		
109	38住	5	土師	坏	--5.0--	ヘラ削り	赤(密)	38住10		
109	38住	6	土師	皿	--5.4--	ヘラ削り	赤(密)	38住竈・14	40	外面やや黒変
109	38住	7	土師	甕	29.4----	ナデ	長・赤・雲(竹密)	38住竈・13		
109	38住	8	土師	甕	26.6----	ハケメ	長・石・雲・多(竹密)	38住7		
109	39住	1	土師	小坏	8.4・4.6・2.7	ナデ・糸切り	赤・雲(竹密)	39住6	70	
109	39住	2	土師	坏	9.4・5.0・2.6	ナデ・糸切り	長・雲・竹多(竹密)	39住12	80	内外面薄く黒変
109	39住	3	須恵	葦	----	ナデ	白(竹密)	39住13		
109	39住	4	灰釉	片口鉢	34.0----	ナデ	黒・小礫(密)	39住9		
109	39住	5	縄文	深鉢	----	竹管文	白・赤・黒・角・雲・安・大(竹密)	39住7・80土2・5		
109	39住	6	弥生	葦?	----	条值文	長・竹密・白・角(竹密)	39住1・138土5・15・17		
110	39住	7	縄文	深鉢	----	縄文・隆線	長・多・石・白・黒・角・雲(竹粗)	39住11		
110	40住	1	土師	坏	11.4・6.4・4.1	ヘラ削り・暗文	赤・大・雲(密)	40住24・40	80	
110	40住	2	土師	坏	10.4・7.4・4.4	ヘラ削り・暗文	赤・少(竹粗)	40住6・58	50	
110	40住	3	土師	坏	11.4・7.0・4.2	ヘラ削り・暗文	赤・雲(密)	40住12・39住		
110	40住	4	須恵	高台付碗	15.0----	ナデ	白・赤(竹密)	40住32~34・36・53・55	40	
110	40住	5	須恵	葦	18.2----	ナデ	白(竹粗)	40住竈		
110	40住	6	須恵	葦	16.2----	ナデ	白(密)	40住竈		
110	40住	7	須恵	葦	16.8----	ナデ	白・黒(密)	40住4		
110	40住	8	須恵	葦	17.0----	ナデ	白(竹密)	40住		
110	40住	9	土師	小型甕	12.0----	ナデ	白・赤(粗)	40住		
110	40住	10	土師	甕	----	ナデ	長・多大・石・赤・角・少(竹密)	40住60		
110	40住	11	須恵	葦	13.0----	ナデ	白(竹密)	40住		焼成不良
110	40住	12	須恵	葦(類)	----	ナデ	白・少・黒(密)	40住35・56		
110	40住	13	須恵	葦	----	ナデ	白・黒(竹密)	40住19		
111	41住	1	縄文	深鉢	----	角押文・沈線	長・石・赤・少・角・雲・極多(密)	41住炉B・C・D	20	
111	41住	2	縄文	深鉢	27.0----	角押文・隆線	長・多・石・赤・雲・小礫・少(竹密)	41住炉B・D		
111	41住	3	縄文	深鉢	----	角押文・隆線	長・石・赤・角・少(竹密)	41住炉B・D		
111	41住	4	縄文	深鉢	----	ナデ	長・石・赤・少・角・多・安・竹多(竹粗)	41住炉C	40	
111	41住	5	縄文	深鉢	--13.0--	角押文・沈線	長(竹粗)	41住68・71・72	30	底部外面剥離
112	41住	6	縄文	深鉢	36.5--41.0	瓜形文・沈線	白・多(粗)	41住63・78・180・194		
112	41住	7	縄文	深鉢	23.0--30	瓜形文・角押文	白・小多(粗)	41住81・117・178・187		
112	41住	8	縄文	深鉢	21.2・12.0	瓜形文・角押文	長・白・赤・大・角(竹密)	41住・73	60	2.5kg
112	41住	9	縄文	鉢	10.3・9.2・12.8	瓜形文・角押文	長・白・赤・角・雲・安(竹粗)	41住・62・179	75	0.84kg
112	41住	10	縄文	深鉢	23.6--31.4	ケズリ・沈線	長・石・白・多・安・多(粗)	41住60・92・94・96・97・113・115・116		
112	41住	11	縄文	深鉢	--16.0--	ナデ・押圧隆線	長・石・角・少・安・竹多(竹密)	41住70・78・118・119		
112	41住	12	縄文	深鉢	30.0----	竹管文	長・竹・多・大・石・少・赤・雲・極多(竹粗)	41住182		内外面黒変
113	41住	13	縄文	深鉢	15.0--8.0	縄文・隆線	長・石・赤・少・雲・安(竹粗)	41住39・48・49・130		
113	41住	14	縄文	深鉢	24.0----	竹管文・沈線	長・石・赤・少・雲・安(竹粗)	41住10・12・123		内外面黒変
113	41住	15	縄文	深鉢	26.0----	瓜形文・沈線	長・石・赤・角・少・雲(竹密)	41住11・102		
113	41住	16	縄文	深鉢	16.0--11.8	竹管文・沈線	長・石・多・赤・角・少・安・多(竹密)	41住40		全体に風化
113	41住	17	縄文	有孔罎付	19.0----	竹管文・沈線	長・石・赤・角・少・雲・多(粗)	41住88		内外面黒変
113	41住	18	縄文	深鉢	23.0----	縄文	長・石・赤・角・少・安・竹多(竹密)	41住9・17・37		内外面黒変
113	41住	19	縄文	浅鉢	31.0・9.0・9.8	押圧隆帯	長・石・赤・角・多・雲・少(竹粗)	41住98・110・111	15	
113	41住	20	縄文	深鉢	----	竹管文・沈線	長・石・赤・角・少・安(竹密)	41住5		内外面黒変
113	41住	21	縄文	深鉢	----	沈線	長・石・赤・角・少・安(竹密)	41住16・20		内外面黒変
113	41住	22	縄文	深鉢	----	沈線	長・石・赤・少・角・雲(竹密)	41住84・121・124		内外面黒変
113	41住	23	縄文	深鉢	----	瓜形文・沈線	長・石・赤・角・少・安(竹密)	41住15・18		内外面黒変
113	41住	24	縄文	深鉢	----	瓜形隆線・沈線	長・石・赤・角・少(密)	41住134		
113	41住	25	縄文	深鉢	----	瓜形文・沈線	長・石・安・赤・角・少(密)	41住43		
113	41住	26	縄文	深鉢	----	瓜形文・沈線	長・石・赤・角・小礫・安・竹多(竹粗)	41住128		全体的にもろい
114	41住	27	土師	小皿	----	ナデ	長・雲・少(竹密)	41住136	25	内面黒変
114	41住	28	土師	高台皿	----	ナデ	長・石・少・雲・極多(竹密)	41住137・141	50	内面黒変
116	42住	1	縄文	深鉢	----	竹管文	長・石・安・赤・角・少・小礫・大(竹密)	42住9・10		内外面黒変
116	42住	2	縄文	深鉢	--12.0--	瓜形竹管文	長・竹・多・石・少・赤・角・少・雲・多(竹密)	42住7・147		
116	42住	3	縄文	深鉢	----	竹管文	長・赤・少・角・多・安(竹密)	42住243		
116	42住	4	縄文	深鉢	--15.0--	竹管文	長・石・安・赤・角・少(竹密)	42住212		内面黒変
116	42住	5	縄文	深鉢	--20.0--	竹管文	長・石・少・赤・少・角・竹多・安(竹密)	42住	10	体内内外面黒変
116	42住	6	縄文	深鉢	--14.2--	竹管文	長・石・少・赤・少・角・雲(竹密)	42住211・213		
116	42住	7	縄文	深鉢	----	瓜形隆線・竹管	長・石・少・赤・少・角・雲(竹密)	42住194		38と同一体
116	42住	8	縄文	深鉢	----	瓜形隆線・竹管	長・石・赤・黒・少・角・小礫・安・大(密)	42住220		39と同一体
116	42住	9	縄文	深鉢	----	竹管文	長・赤・少・角・竹多・安(密)	42住1		外面黒変
116	42住	10	縄文	深鉢	----	竹管文	長・石・少・雲・竹多(密)	42住120		
116	42住	11	縄文	深鉢	----	瓜形隆線・竹管	長・竹・多・石・角・雲・少(竹密)	42住114		
116	42住	12	縄文	深鉢	----	竹管文	長・石・少・赤・少・角(密)	42住111		外面黒変
116	42住	13	縄文	深鉢	----	瓜形隆線・竹管	長・石・少・赤・角(密)	42住11		
116	42住	14	縄文	深鉢	----	竹管文	長・石・赤・少・黒・竹多・角(竹密)	42住201		
116	42住	15	縄文	深鉢	----	竹管文	長・大・石・赤・角・少・雲・多(竹密)	42住21		
116	42住	16	縄文	深鉢	----	竹管文	長・石・赤・少・角(竹密)	42住130		内外面黒変
116	42住	17	縄文	深鉢	----	竹管文	長・大・石・角(竹密)	42住15		
116	42住	18	縄文	深鉢	----	竹管文	長・石・少・赤・角・竹多・安(竹密)	42住23		
116	42住	19	縄文	深鉢	----	竹管文	長・石・少・赤・少・角・多・安(密)	42住51		
116	42住	20	縄文	深鉢	----	瓜形隆線	長・竹・多・石・角・少・雲・多(竹密)	42住炉		
116	42住	21	縄文	深鉢	----	隆線・竹管文	長・石・赤・角・少・雲・小礫・安(竹密)	42住271		
116	42住	22	縄文	深鉢	----	瓜形隆線	長・石・少・赤・少・角・雲・少・安(竹密)	42住270		37と同一・内外面薄く黒変
116	42住	23	縄文	深鉢	----	瓜形隆線	長・石・少・赤・多・角・少(密)	42住117		内外面黒変
116	42住	24	縄文	深鉢	----	瓜形隆線・竹管	長・石・少・角・雲(密)	42住162		
116	42住	25	縄文	深鉢	----	竹管文	長・石・少・赤・少・角・多・安(竹密)	42住111		内面荒れ
116	42住	26	縄文	深鉢	----	瓜形隆線・竹管	長・石・少・赤・少	42住268		33と同一
116	42住	27	縄文	深鉢	----	竹管文	長・石・少・赤・角(竹密)	42住30		
116	42住	28	縄文	鉢	----	竹管文・把手	長・角・多・赤・少・雲・多(竹粗)	42住215		
116	42住	29	縄文	深鉢	----	竹管文・陰刻文	長・石・赤・少・角・雲・多(密)	42住3		
116	42住	30	縄文	鉢	----	竹管文	長・石・少・赤・少・角・多(竹密)	42住123		
116	42住	31	縄文	深鉢	----	竹管文	長・石・少・赤・少・雲・極多(竹粗)	42住117		内外面黒変
116	42住	32	縄文	鉢	----	竹管文・沈線	長・石・赤・雲・少・角(竹密)	42住14		
116	42住	33	縄文	有孔浅鉢	24.0----	ナデ	長・石・赤・雲・少・角・竹多(密)	42住・5溝		
117	42住	34	縄文	深鉢	22.6--23.6	角押文	白・少・赤・角(粗)	42住96・98・225		
117	42住	35	縄文	深鉢	33.0・16.0	角押文	長・多大・石・多・赤・少・角・多・雲(竹密)	42住99・101・224・226	40	内面下半黒変
117	42住	36	縄文	深鉢	22.0・12.4	角押文	長・石・多・角・安(竹密)	42住234・261~263	70	
117	42住	37	縄文	深鉢	17.0----	角押文	長・石・安・赤・角・多(竹密)	42住56		口縁部外面ス
117	42住	38	縄文	深鉢	15.4・9.0--	角押文・陰刻文	長・石・少・角・極多・雲・少(竹密)	42住54・55・67・76・79・216~219・264	60	
117	42住	39	縄文	深鉢	--14.0--	角押文	長・石・赤・角・雲・少・安・竹多(竹密)	42住100		



胎土略名 長-長石 安-安山岩 角-角閃岩 雲-雲母 輝-輝石  
 赤-赤色粒子 黒-黒色粒子 白-白色粒子  
 多-多い 少-少ない 小-小粒

図版	地点	番号	種別	器種	口・底・高cm	整形技法	胎土	残%	備考	注記
118	42住	45	縄文	漆鉢	15.6	角押文・押圧隆線	長・雲・多大・石・赤・少・角・小・礫・多(竹密)	42住118-119	70	内面黒変
118	42住	46	縄文	漆鉢	17.5・8.4・21.3	角押文	長・石・赤・少・白・安(竹密)	42住71-72-160		
118	42住	47	縄文	小型鉢	3.6	縄文	長・大・石・赤・角・少・雲・竹多・小・礫(竹密)	42住140		
118	42住	48	縄文	漆鉢	20.0	角押文・沈線	長・石・赤・少・角・極多・安(竹密)	42住		
118	42住	49	縄文	漆鉢	16.0	指頭痕・押圧隆線	長・石・赤・角・小・礫・少・安・竹多(竹密)	42住102-222-245		
118	42住	50	縄文	浅鉢	40.0・14.0	角押文	長・石・多・赤・少・角・少・安・多大(竹密)	42住37-52-58~62-64-260	30	内外面黒変
118	42住	51	縄文	浅鉢	48.0	角押文	長・石・小・礫・多・赤・角・少・安・極多大(竹粗)	42住89-246-251	30	補修孔 口縁部黒変
118	42住	52	縄文	浅鉢	52.0	角押文	長・石・安・赤・少・角・多(竹密)	42住257		
119	42住	53	縄文	漆鉢		角押文	長・石・少・赤・少・角・小・礫・少・安・竹多	42住199		内外面黒変
119	42住	54	縄文	漆鉢		縄文・竹管文	長・石・少・赤・雲・多(密)	42住151		
119	42住	55	縄文	漆鉢		角押文	長・石・赤・黒・少(竹密)	42住43		
119	42住	56	縄文	漆鉢		縄文・隆線	長・竹多大・石・赤・角・雲・多大(竹密)	42住228		
119	42住	57	縄文	漆鉢	36.0	沈線	長・安・竹多・石・赤・黒・角・小・礫・少(竹密)	42住33		
119	42住	58	縄文	鉢	8.0	沈線	長・石・角・雲・多・赤・少・小・礫(竹密)	42住3~5-7	35	内外面黒変
119	42住	59	縄文	漆鉢		竹管文	長・石・黒・角・雲・少(竹密)	42住24		
119	42住	60	弥生	蓋?		条痕文	長・石・角・雲・小・礫・少(竹密)	42住193		内外面黒変
119	42住	61	縄文	漆鉢		沈線・縄文	長・石・赤・少・雲・多(竹粗)	42住6		
122	44住	1	土師	坏	6.5	ナデ	長・白・赤・雲・少(竹粗)	44住3-8		
122	44住	2	土師	坏	6.0	ナデ・糸切り	長・多大・赤・角・雲・小・礫・安・大(粗)	44住6		
122	44住	3	土師	高台坏?		ナデ	長・白・赤・雲・小・礫(竹密)	44住2		
122	44住	4	須恵	高台坏?	5.6	ナデ	(密)	44住1		
122	45住	1	縄文	漆鉢		沈線	長・少・白・赤・角・安(竹密)	44住26		
122	45住	2	縄文	漆鉢		沈線・波状隆線	白・赤・角・安(竹密)	45住16		
122	45住	3	縄文	漆鉢		沈線・波状隆線	長・石・白・赤・雲(竹密)	45住38		
122	45住	4	縄文	漆鉢		沈線・波状隆線	長・石・白・赤・黒・角・雲(竹密)	45住21		
122	45住	5	縄文	漆鉢		沈線・隆線	長・石・白・赤・黒・角・安(竹密)	45住5-40住床下		
122	45住	6	縄文	漆鉢		沈線・隆線	長・石・白・赤・黒・雲(竹密)	45住3		
122	46住	1	土師	小皿	8.2・4.4・2.6	ナデ	長・石・少・白・安(竹密)	46住2		
122	47住	1	縄文	漆鉢	21.0	ナデ	赤・少・角・多・安・竹多(竹粗)	47住1	80	内外面黒変、灯明皿?
122	49住	1	縄文	漆鉢	8.5・16.0	沈線	長・赤・角(密)	49住埋裏		内外面黒変
123	50住	1	縄文	漆鉢	34.8・8.0	沈線	長・白・赤・雲・多(竹密)	50住17-18-20~24-29-30~32-炉2-3	35	底部穿孔
123	50住	2	縄文	漆鉢	21.0	沈線・隆線	長・白・赤・黒・角・雲・小・礫・安(竹密)	50住25-26-炉3		
123	50住	3	縄文	漆鉢	28.4	沈線	長・白・赤・黒・角・雲・安・大(竹密)	50住48-63-炉4		
123	50住	4	縄文	漆鉢	8.0	ナデ	長・石・白・黒・角・雲・小・礫(竹密)	50住55		
123	50住	5	縄文	有孔壺		沈線・刺突文	長・石・白・赤・黒・角・安(竹粗)	50住52-62		
123	50住	6	縄文	漆鉢		沈線	長・竹多・石・雲(竹粗)	50住38		
123	50住	7	縄文	鉢		沈線	長・雲・竹多	50住33		
123	50住	8	縄文	漆鉢		沈線	長・石・白・赤・角・雲(竹密)	50住10		
124	51住	2	縄文	漆鉢	9.2	沈線・刺突文	長・石・赤・雲・多(竹密)	51住埋裏2-34住		外面黒変
124	51住	2	縄文	漆鉢	10.0・8.5・16.7	沈線	長・多・石・赤・雲・小・礫(竹粗)	51住1-2	30	内外面黒変
124	51住	3	縄文	漆鉢		沈線・縄文	長・石・赤・角・雲(竹粗)	51住-34住		
124	52住	1	縄文	漆鉢	8.0	ナデ	長・雲・竹多・赤・黒(竹粗)	52住埋裏12		埋裏、内面黒変
124	52住	2	縄文	漆鉢		沈線・刺突文	長・白・赤・黒・角・雲・安(竹密)	52住炉6		
124	52住	3	土師	小型壺	12.0	ナデ	長・白・赤・角・雲・安(竹密)	52住t'γ10		
125	55住	1	土師	裏	8.0	カキメ	長・石・白・赤・角・雲(密)	55住6・7・欄2		スス
125	55住	2	土師	裏		カキメ	長・石・白・赤・角・雲(密)	55住37		
125	55住	3	縄文	漆鉢	33.4	竹管文	長・白・赤・角・雲(竹密)	55住47		
125	55住	4	縄文	漆鉢		沈線・隆線	長・多・白・赤・角・雲・竹多(竹粗)	55住47		
125	55住	5	縄文	漆鉢	17.0・8.8・21.0	縄文・隆線	長・竹多・石・白・赤・黒・雲(竹密)	55住21-70-掘方79	30	底部木葉痕? 内外面黒変
125	55住	6	縄文	漆鉢		縄文・隆線	石・白・赤・雲(密)	55住34		
125	55住	7	縄文	漆鉢		沈線	長・石・白・赤・雲(竹密)	55住12		
125	55住	8	縄文	漆鉢		沈線	長・石・白・赤・黒・雲(竹密)	55住67		
125	55住	9	縄文	漆鉢		隆線	長・石・白・赤(竹密)	55住69		
125	55住	10	縄文	漆鉢		竹管文・隆線	白・赤・角(竹密)	55住掘方82		
125	55住	11	縄文	漆鉢		沈線・隆線	長・白・赤・雲(竹密)	55住17		
125	55住	12	縄文	漆鉢		縄文	長・石・白・赤・黒(竹密)	55住掘方84		
125	55住	13	縄文	漆鉢		縄文・隆線	石・赤・雲・少・小・礫(粗)	55住40		
125	55住	14	縄文	漆鉢		結節縄文	白・赤(竹密)	55住欄5		
125	55住	15	縄文	漆鉢	33	結節縄文	長・白・赤・黒・雲(竹密)	55住67		
126	56住	1	縄文	漆鉢		角押文	長・竹多大・石・角・雲・小・礫(密)	56住56		内面変色
126	56住	2	縄文	漆鉢	11.0・7.8	ナデ	長・大・石・赤・雲・竹多(竹密)	56住17-28	20	内面コケ
126	56住	3	縄文	漆鉢	16.0	ナデ	長・石・黒・角・竹多・安・極多(竹粗)	56住27	15	内外面黒変
126	56住	4	縄文	漆鉢		角押文	長・多・石・雲・小・礫(竹粗)	56住46-50~53-56	25	内外面黒変
126	56住	5	縄文	有孔罎付	17.0	ナデ	長・石・赤・角・雲・小・礫(竹密)	56住36-46-54-68		内外面黒変、外面荒れ
126	56住	6	縄文	漆鉢	29.0	角押文	長・石・安・竹多(竹密)	56住44-t'γ2		
126	56住	7	縄文	漆鉢	22.0	角押文	長・石・角・安・竹多(竹密)	56住		
126	56住	8	縄文	小型鉢	3.0	ナデ	長・石・赤・雲(竹密)	56住		外面γ状付着
126	56住	9	縄文	小型鉢	14.0	ナデ	長・石・赤・雲(竹粗)	56住		
126	56住	10	縄文	浅鉢	42.0	ナデ	長・石・赤・雲(竹密)	56住37-38-235±8-15		
126	56住	11	縄文	漆鉢	26.0	ナデ	長・石・赤・小・礫・安・竹多(竹密)	56住炉1-2		
126	56住	12	縄文	漆鉢		角押文	長・石・赤・角・安・竹多(竹密)	56住41		内外面黒変
126	56住	13	縄文	漆鉢		角押文	長・石・赤・角・小・礫・安・竹多(竹粗)	56住46-47-62-69-t'γ2		内面黒色、外面荒れ
126	56住	14	縄文	漆鉢		角押文	長・石・赤・角・砂・安(竹密)	56住55		底部黒変
126	56住	15	縄文	漆鉢	20.0	ナデ	長・多・赤・角・小・礫(竹粗)	56住11~14		内外面黒変
126	56住	16	縄文	漆鉢	14.4	ナデ	長・赤・角・雲・小・礫・白・安・極多(竹粗)	56住4~7		内面黒色付着物
126	56住	17	縄文	浅鉢	13.6	ナデ	長・多・石・赤・雲・小・礫(竹密)	56住18-24-25-t'γ4		内面黒変
126	56住	18	縄文	漆鉢		角押文	長・石・角・小・礫・安(竹密)	56住		内外面黒変・スス
126	56住	19	縄文	漆鉢		爪形文	長・石・赤・黒・安(竹密)	56住1		内外面薄く黒変
126	56住	20	縄文	浅鉢		角押文	長・石・黒(粗)	56住21		
127	57住	1	縄文	漆鉢	41.5	縄文・沈線	長・石・赤・少・角・安・多(竹密)	57住炉4		内外面黒変、炉体土器
127	57住	2	縄文	漆鉢		隆線	長・白・赤・黒・角・多・雲・安・竹多(竹密)	57住		内外面薄く黒変
127	57住	3	縄文	漆鉢		縄文・爪形文	長・石・白・赤・雲・(竹密)	57住1		薄い黒変
127	57住	4	縄文	漆鉢		縄文	長・赤・安・竹密(竹密)	57住		
127	57住	5	縄文	漆鉢		隆線・沈線	長・石・白・赤・黒(竹密)	57住		
128	57住	6	縄文	漆鉢		沈線	長・石・白・赤・雲・安・竹多(竹密)	57住17-18-t'γ2		
128	57住	7	縄文	漆鉢	7.2	沈線	長・少・石・少・白・赤・黒・安(竹密)	57住		
128	57住	8	縄文	漆鉢	11.0	ナデ	長・石・白・赤・黒・雲・竹多(竹密)	57住		波状口縁
128	59住	1	縄文	漆鉢		竹管文・爪形隆線	長・石・白・赤・角・雲・竹多(竹密)	59住6		内面スス
128	59住	2	縄文	漆鉢	15.5	竹管文	長・竹多・石・角・小・礫・雲(竹密)	59住10		内面スス
128	59住	3	縄文	漆鉢	16.8	竹管文・爪形文	長・石・白・赤・黒・角・小・礫(竹密)	59住8		
128	59住	4	縄文	漆鉢		縄文	長・白・赤・雲・竹多(密)	59住9		
128	59住	5	縄文	漆鉢	21.4	隆線	長・多・石・白・赤・黒・雲・小・礫・f-1(竹粗)	59住5		
129	59住	6	縄文	漆鉢		ハの字文	長・多・石・白・黒・雲・小・礫・砂(竹粗)	59住4		
129	60住	1	青磁	碗		蓮弁	(密)	60住2		
129	61住	1	縄文	漆鉢	16.0	沈線	長・石・白・赤・雲(密)	61住1~3	20	
129	62住	1	縄文	漆鉢		沈線	長・白・赤・角・小・礫(密)	62住炉17-25	40	
129	62住	2	縄文	浅鉢	24.1	ナデ	長・多大・白・赤・雲・竹多(竹密)	62住炉8-10~12-16~22-27~31	45	
129	62住	3	縄文	漆鉢	38.0	沈線	長・多・白・黒・雲・竹多(竹密)	62住炉15		
129	62住	4	縄文	漆鉢	16.0	沈線	長・白・黒・角(竹密)	62住炉13		
130	63住	1	土師	小皿	5.0・1.8	ナデ	雲・多(竹密)	63住5		
130	63住	2	白磁	碗	16.0	ナデ	(密)	63住27		
130	63住	3	縄文	漆鉢		沈線	長・竹多・石・白・角(竹密)	63住6		
130	64住	1	土師	皿	9.6・3.8・2.3	ナデ	雲・多(竹密)	64住欄B2	100	内面一部黒変
130	64住	2	土師	皿	5.4・4.4・2.2	ナデ	雲・多(竹粗)	64住欄B1	100	内外面黒変
130	64住	3	須恵	甕		叩き	白(密)	64住5		
130	65住	1	縄文	漆鉢		ハの字文	長・多・白・赤・雲・多(竹密)	65住		
130	65住	2	弥生	甕	11.0	条痕文	白・黒・雲・竹多	65住		
130	65住	3	縄文	漆鉢		貝殻複線文	長・石・角(竹密)	65住炉		打撻式
130	65住	4	縄文	漆鉢	35.8	X把手深鉢	長・石・赤・角(竹密)	65住1		
130	66住	1	縄文	両耳甕	6.9					

胎土略名 長-長石 安-安山岩 角-角閃岩 雲-雲母 輝-輝石  
赤-赤色粒子 黒-黒色粒子 白-白色粒子  
多-多い 少-少ない 小-小粒

図版	地点	番号	種別	器種	口・底・高・cm	整形技法	胎土	残%	備考
130	68住	3	須恵	壺	---	ナデ	白(密)	68住	
131	1土	1	土師	柱状高台	--6.0--	ナデ	長・石・赤・白・角(竹密)	1土	
131	3土	1	縄文	深鉢	22.0---	縄文・沈線	長・石・赤・大・黒・小・霰・安・多大(竹密)	3土1-14	外面一部黒変
131	3土	2	縄文	深鉢	26.2---	角押文・沈線	長・石・赤・角・竹多・小・霰・安(竹密)	3土8-11・12・19・20	外面黒変
131	3土	3	縄文	深鉢	34.8---	縄文・竹管・爪形	長・石・赤・黒(竹密)	3土1-2・13・16・17	外面一部黒変
131	3土	4	縄文	深鉢	23.0---	竹管・沈線・把手	長・石・赤・角・安(竹密)	3土14	
131	3土	5	縄文	浅鉢	47.0・14.0・5.7	角押文・爪形文	長・石・赤・黒・安(竹密)	3土2・4・6・18・20・21	30 外面部分的に黒変
131	6土	1	山岳	坏	6.5・3.9・2.5	ナデ	黒(少密)	6土	25
131	20土	1	縄文	深鉢	---	爪形・沈線	長・石・赤・角・安(竹密)	20土	
131	24土	1	須恵	壺	---	ナデ	白(密)	24土1	
131	35土	1	縄文	深鉢	--19.8--	指頭痕	長・赤・角・安	35土429	
131	35土	2	縄文	有孔罎付	22.2---	ナデ	長・角・安・多(竹密)	35土	
132	36土	1	縄文	深鉢	17.8---	爪形・隆線	長・赤・白・角(密)	36土	内外面薄く変色
132	36土	2	縄文	深鉢	---	爪形・竹管文	赤・白・角(竹密)	36土	
132	36土	3	縄文	深鉢	---	爪形・沈線	赤・白・角(密)	36土	
132	37土	1	弥生	壺?	---	条痕文	長・多・白・黒・雲・竹多(竹粗)	37土	
132	37土	2	弥生	壺?	---	条痕文	長・多・白・雲・加7.砂(竹密)	37土9	外面薄くスス、内面変色
132	37土	3	弥生	壺?	---	条痕文	長・石・白・黒・雲・雲・多・砂(竹粗)	37土3	内外面薄く変色
132	37土	4	弥生	壺?	---	条痕文	長・石・黒・雲(密)	37土	
132	39土	1	土師	小皿	8.6・4.6・2.65	ナデ	(密)	39土1	内外面薄く変色
132	39土	2	土師	高台皿	14.6---	ナデ	赤・白・雲・多(竹多)	39土2	
132	40土	1	弥生	深鉢	---	条痕文・押圧	長・竹多・赤・白・黒・雲・竹多・小・霰(竹粗)	40土	
132	40土	2	弥生	深鉢	---	条痕文・押圧	長・多・白・雲・竹多(竹粗)	40土	
132	40土	3	弥生	深鉢	---	条痕文	長・雲・竹多・石・赤・白・黒・角・竹少(竹密)	40土2-8	
132	40土	4	弥生	坏	9.0・4.8・4.6	ナデ	長・竹多・白・角・雲(竹密)	40土12	補修孔1
132	42土	1	縄文	鉢	10.4・5.0・9.9	ナデ	長・多・石・赤・白・角・雲(粗)	42土2	100 表面風化
133	42土	2	縄文	深鉢	12.5・5.7・7.8	ナデ	赤・白・黒・角・雲・安・竹多(密)	42土8	100
133	42土	3	縄文	深鉢	41.0---	縄文・刺突	赤・白・黒・角・雲・安・竹多(密)	42土8	
133	44土	1	土師	坏	--6.6・2.5	ナデ	長・赤・雲・輝(竹密)	44土1	50
133	45土	1	弥生	壺?	--7.0--	条痕文	長・石・白・多・雲・砂(竹粗)	45土36	内面赤色塗彩
133	45土	2	弥生	壺?	---	条痕文	長・赤・雲・微・安(竹密)	45土53-66	
133	45土	3	弥生	壺?	12.0---	条痕文	長・竹多・黒(竹密)	45土46	
133	45土	4	弥生	壺?	---	ナデ・マガキ	長・赤・角・安(竹密)	45土71	
133	45土	5	弥生	壺?	--10--	ナデ	長・赤・雲・安(竹密)	45土67	底面灰付着
133	45土	6	弥生	壺?	--8.0--	網代痕	長・赤・白・角(竹密)	45土33	底面灰付着
133	45土	7	弥生	壺?	---	条痕文・押圧	長・角・雲(竹密)	45土52	
133	45土	8	弥生	壺?	---	条痕文・押圧	長・赤・白・雲(竹粗)	45土52	
133	45土	9	弥生	壺?	---	沈線	赤・白・雲・微(竹密)	45土	内外面スス
133	45土	10	弥生	壺?	---	沈線・押圧	長・赤・白・雲・砂(竹密)	45土	
133	45土	11	弥生	壺?	---	条痕文	長・赤・角(竹密)	45土	
133	45土	12	弥生	壺?	---	条痕文・押圧	長・雲(竹密)	45土	
133	45土	13	弥生	壺?	---	条痕文・押圧・縄	長・赤・白・角(竹密)	45土	岩滑式
133	45土	14	弥生	壺?	---	条痕文・押圧・縄	長・石・赤・白(竹密)	45土62	岩滑式
133	45土	15	弥生	壺?	---	条痕文	長・竹多・石・白・雲・少(竹多)	45土	
133	45土	16	弥生	壺?	---	条痕文	長・石・赤・白・雲・竹多(竹密)	45土4・10・25	
134	45土	17	弥生	壺?	---	条痕文	長・白・角・安(竹密)	45土76	
134	45土	18	弥生	壺?	---	条痕文	赤・白・黒・角(粗)	45土51	
134	45土	19	弥生	壺?	---	条痕文	長・赤・白・雲・竹多(竹粗)	45土78	
134	45土	20	弥生	壺?	---	条痕文	長・石・安(竹粗)	45土23	
134	45土	21	弥生	壺?	---	条痕文	長・角・雲・多(竹密)	45土32	
134	45土	22	弥生	壺?	---	条痕文	長・赤・白・角・雲・少(竹密)	45土61-63	
134	45土	23	弥生	壺?	---	条痕文	長・石・白・角(竹密)	45土70	
134	45土	24	弥生	壺?	---	条痕文・波状文	長・白・雲(竹密)	45土	
134	45土	25	弥生	壺?	---	縄文	長・雲(竹密)	45土	外面赤色塗彩
134	45土	26	縄文	深鉢	---	沈線・縄文	長・石・赤・白・雲・砂(竹密)	45土75	
134	45土	27	縄文	深鉢	---	ハの字文・沈線	長・赤・少・雲・砂(竹密)	45土	
135	47土	1	弥生	壺?	---	条痕文	長・石・赤・雲(竹密)	47土3-7・10・12・16・20・25	
135	51土	1	縄文	深鉢	32.0---	ナデ	長・赤・雲・多大・小・霰・多・安(竹密)	51土1	25
135	53土	1	縄文	深鉢	---	沈線	長・竹多・大・角・霰・輝・安(竹密)	53土2	外面一部黒変
135	54土	1	縄文	深鉢	---	竹管文	長・石・赤・角(竹密)	54土	
135	56土	1	縄文	深鉢	31.8---	縄文	長・赤・角・雲・安(竹密)	56土4・22・44・49・50	
135	56土	2	縄文	深鉢	23.0---	縄文・爪形・沈線	長・赤・白・黒・角・安・極多(竹粗)	56土20・26・27・56・57・60	内外面薄く変色
136	56土	3	縄文	深鉢	22.0---	縄文・爪形・沈線	長・竹多・大・石・赤・白・角・安(竹密)	56土12・43・45	内外面黒変
136	56土	4	縄文	深鉢	---	隆線	長・石・赤・多大・白・雲・安(竹密)	56土24-41	
136	56土	5	弥生	壺?	---	条痕文・沈線	長・石・赤・白・角・安(竹密)	56土37-62	
136	56土	6	弥生	壺?	--7.8--	ナデ	長・多大・石・赤・白・多・赤・雲・大(竹密)	56土	
136	56土	7	弥生	壺?	---	条痕文・沈線	長・赤・白・雲・大・安(竹密)	56土30	内外面黒変
136	56土	8	弥生	壺?	---	条痕文	長・赤・白・角・雲(竹密)	56土	
136	56土	9	弥生	壺?	---	条痕文	長・石・白・角・雲・多大(竹密)	56土9	
136	56土	10	弥生	壺?	---	条痕文	長・赤・白・角・安(竹粗)	56土18-46	
136	56土	11	弥生	壺?	---	条痕文	長・石・赤・白・雲・竹多(竹密)	56土	
136	56土	12	弥生	壺?	---	条痕文	長・竹多・大・石・白・小・霰・雲・大(竹密)	56土36	内外面黒変
136	58土	1	縄文	深鉢	---	爪形・沈線	長・石・角・安(竹密)	58土4	
136	58土	2	縄文	深鉢	---	縄文・爪形・沈線	長・竹多・大・石・赤・輝・安(竹密)	58土	内外面黒変
136	58土	3	縄文	深鉢	---	縄文・角押文	長・石・赤・角・多・安(竹密)	58土3	内外面変色
136	58土	4	縄文	深鉢	---	爪形文	長・竹多・石・赤・角・雲・安(竹密)	58土	
136	59土	1	弥生	壺?	--8.2・9.3	条痕文・網代痕	長・石・赤・雲・輝・安・砂岩(竹粗)	59土1-2-3	
136	63土	1	縄文	深鉢	--14.3--	爪形竹管文	長・石・赤・雲・多・輝(竹密)	63土1	
136	63土	2	須恵	坏	--7.8--	ナデ	白(密)	63土2	
136	69土	1	縄文	深鉢	---	結節縄文	長・多・小・石・赤・雲・小・霰(竹密)	69土	
136	69土	2	縄文	深鉢	---	縄文・隆線	長・石・赤・小・霰・輝・安(竹密)	69土2	
136	71土	1	弥生	壺?	---	条痕文	長・赤・雲・輝(密)	71土	
136	71土	2	弥生	壺?	---	条痕文	長・石・角・安(密)	71土	
136	71土	3	弥生	壺?	---	縄文	長・竹多・安・輝(竹密)	71土	
137	67土	1	縄文	深鉢	--11.6--	ナデ・隆線	長・多・石・赤・角・少・雲・安・大(竹粗)	67土2~7	内面コゲ
137	67土	2	縄文	深鉢	---	爪形竹管文	長・石・赤・雲・多大(竹密)	67土1	
137	73土	1	土師	坏?	--5.0--	ナデ	白(竹粗)	73土	
137	73土	2	縄文	深鉢	---	ハの字文	長・石・赤・雲・輝(竹密)	73土	内外面一部黒変
137	75土	1	縄文	深鉢	47.6・19.0	角押文・指頭痕	長・赤・角・安・多(竹粗)	75土2-3・4・8~13	10 内外面一部黒変
138	76土	1	弥生	壺?	19.5---	条痕文・押圧	長・赤・角・輝(密)	76土7	
138	76土	2	弥生	壺?	---	条痕文	長・石・赤・黒・角(竹密)	76土4・6・8, 71土	
138	76土	3	縄文	深鉢	---	爪形竹管文	長・石・赤・黒・角(竹密)	76土	
138	76土	4	弥生	壺?	---	条痕文・押圧	長・多・石・多・赤・黒・雲(竹密)	76土	
138	76土	5	弥生	壺?	---	ナデ	長・石(竹粗)	76土	
138	76土	6	縄文	深鉢	---	竹管文・沈線	長・赤・黒・角・輝・安(竹密)	76土	
138	76土	7	弥生	壺?	---	条痕文	長・石・赤・角・小・霰・安(竹密)	76土	
138	76土	8	縄文	深鉢	---	沈線	長・大・石・赤・角(竹密)	76土1-2	内面コゲ
138	77土	1	弥生	壺?	30.6---	条痕文	白(竹粗)	77土1	
138	77土	2	弥生	壺?	---	沈線	長・竹多・角・雲(竹多)	77土	
138	79土	1	縄文	深鉢	---	沈線	長・石・角(竹密)	79土1	
138	79土	2	縄文	深鉢	---	爪形隆線	長・角・雲・竹多(竹密)	79土3	
138	79土	3	縄文	深鉢	---	沈線・隆線	長・多・石・赤・白・雲(竹密)	79土2	
138	80土	1	縄文	深鉢	44.5---	沈線・爪形文	赤・白・角・多・雲・安(竹粗)	80土6・7・10・11・25・30・32・34	
138	80土	2	縄文	深鉢	31.2---	爪形隆線	長・赤・白・角・雲(竹密)	80土12・18・28・35	
138	80土	3	縄文	深鉢	15.0---	爪形隆線・竹管文	長・赤・安(竹密)	80土	
138	80土	4	縄文	深鉢	--5.6--	竹管文	長・赤・安(竹粗)	80土23	
139	80土	5	縄文	深鉢	---	爪形文・竹管文	長・角・多・安(竹粗)	80土9	
139	80土	6	縄文	深鉢	---	竹管文	長・白・角・雲・多・砂(竹密)	80土	内外面薄く変色
139	80土	7	縄文	深鉢	---	爪形隆線・竹管文	長・大・石・赤・白・角・小・霰・砂(竹密)	80土	
139	80土	8	縄文	深鉢	---	竹管文	長・白・角・雲(竹密)	80土17-33	内外面薄く変色
139	80土	9	縄文	深鉢	---	竹管文	赤・白・角・多・雲・安・竹多(竹密)	80土20	
139	82土	1	弥生	壺?	---	条痕文	長・石・赤・白・黒・角・多・雲・安(竹密)	80土2	

表3-(6) 土器・陶磁器観察表

胎土略名 長-長石 安-安山岩 角-角閃岩 雲-雲母 輝-輝石  
赤-赤色粒子 黒-黒色粒子 白-白色粒子  
多-多い 少-少ない 小-小粒

図版	地点	番号	種別	器種	口・底・高cm	整形技法	胎土	残%	備考	注記
139	82	2	弥生	壺	---	条痕文・押圧隆線	石・赤・白・黒・角・安・多(竹粗)	82±		
139	83	1	弥生	壺	---	条痕文・押圧隆線	長・石・多・赤・白・黒・角・雲・安(竹粗)	83±		
139	87	1	縄文	深鉢	15.0	竹管文・陰刻文	赤・白・黒・角・安・多(竹粗)	87±1		
139	87	2	縄文	深鉢	---	竹管文	赤・角・竹多・安(竹密)	87±		
139	87	3	縄文	深鉢	---	沈線	長・赤・白・黒・角・安・竹多(竹密)	87±		
139	89	1	土師	坏	---	ナデ	雲多(竹密)	89±		
139	90	1	土師	高台坏?	8.4	ナデ	白・雲多(竹密)	90±1		
139	90	2	土師	小皿	4.0	ナデ・糸切り	長・石・赤・安(密)	90±	30	
139	99	1	縄文	深鉢	---	竹管文・爪形隆線	長・赤・角(竹密)	99±		
139	99	2	縄文	深鉢	---	隆線・沈線	長・石・赤・黒・安(竹密)	99±		内外面薄く変色
139	100	1	縄文	深鉢	---	爪形隆線・竹管文	長・角・多・安(密)	100±		
139	101	1	縄文	深鉢	---	爪形隆線	長・石・赤・角・安(竹密)	101±3		
139	101	2	縄文	深鉢	---	竹管文	長・赤・黒・角・砂(竹密)	101±4		
139	104	1	土師	小皿	9.0・4.1・2.1	ナデ	赤・白・黒・雲多(竹密)	104±1	80	灯明皿?
139	104	2	土師	坏	11.8	ナデ	黒・雲多(密)	104±		
139	104	3	土師	坏	4.0	ナデ	赤・白・黒(竹密)	104±		
139	104	4	土師	坏	4.4	糸切り	雲多(竹密)	104±		
139	104	5	陶器	天目茶碗	11.0	ナデ	灰白(密)・釉・黒褐	104±		
140	110	1	弥生	壺	8.0	沈線・押圧隆線	石・赤・黒・角・安(竹密)	110±4		
140	110	2	弥生	壺	11.0	ナデ	長・竹多・黒・雲(竹密)	110±		
140	110	3	弥生	壺	7.0	網代痕	長・石・赤・雲(竹粗)	110±		
140	110	4	弥生	壺	---	条痕文・押圧隆線	長・赤・角・雲(竹密)	110±		
140	110	5	弥生	壺	---	条痕文・押圧	長・赤・角・安(竹密)	110±23		
140	110	6	弥生	壺	---	条痕文	長・竹密・石・雲(竹密)	110±		
140	110	7	弥生	壺?	---	押圧隆線	長・竹多・石・大・角(竹粗)	110±13		
140	110	8	弥生	壺	---	沈線	長・赤・角・雲・竹多(竹密)	110±30		
140	110	9	弥生	壺	---	条痕文	長・多大・石・赤・大・雲(竹粗)	110±5・8・10・14・18・32		
140	111	1	弥生	壺	38.0	条痕文・押圧	長・赤・角(密)	111±2・5・29・30・32・33・44	20	
140	111	2	弥生	壺	---	押圧隆線	長・石・赤・角・安(竹密)	111±		
140	111	3	弥生	壺	---	沈線・押圧	長・角・雲(密)	111±		外面黒変
140	111	4	弥生	壺	---	条痕文	長・石・赤・雲(竹粗)	111±28		
140	111	5	弥生	壺	---	波状文	長・石・赤・角・多(密)	111±15		
140	111	6	弥生	壺	---	条痕文	石・赤・雲・多・輝? (密)	111±26		
140	111	7	弥生	壺	---	条痕文	長・多大・石・竹多大・角(密)	111±4		内外面黒変
140	111	8	弥生	壺	---	条痕文・押圧隆線	長・多・石・角・安(竹粗)	111±24・38		外面黒変、内面赤色塗彩
141	115	1	弥生	壺?	---	ナデ	長・赤・黒・小礫・雲(竹密)	115±1		外面一部黒変
141	115	2	弥生	壺	---	条痕文	長・石・赤・黒・角・雲(竹密)	115±14・15		
141	115	3	弥生	壺?	---	条痕文	長・多・赤・黒・角・雲多(竹密)	115±2・3		
141	116	1	縄文	深鉢	---	沈線	長・石・赤・角・雲・輝・安(密)	116±1		
141	118	1	縄文	深鉢	---	爪形隆線	長・石・赤・白・黒・角・雲・竹多(竹密)	118±		波状口縁
141	121	1	弥生	壺	---	縄文	長・竹多・石・赤・白・角・安(竹密)	121±3		
141	123	1	弥生	壺	26.0	沈線・押圧隆線	長・大・赤・白・黒・雲・少・小礫・多大(竹密)	123±2・17・19		内面剥離
141	123	2	弥生	壺	4.6	縄文	長・多大・白・黒・角・雲(密)	123±15		外面朱塗彩
141	123	3	弥生	壺	12.8	条痕文	長・大・赤・白・黒・角・雲・小礫(竹密)	123±16		内外面黒変
142	123	4	弥生	壺	28.4	条痕文	長・赤・白・角・雲(竹密)	123±14		
142	123	5	弥生	壺	---	縄文	長・石・赤・白・雲・安(竹密)	123±18		
142	123	6	弥生	壺	---	条痕文	長・多大・石・白・黒・角・雲(竹密)	123±1		
142	123	7	弥生	壺	---	沈線	長・石・白・角・竹多・安(竹密)	123±		外面朱塗彩
142	123	8	弥生	壺?	---	条痕文	長・竹多・石・赤・白・黒・雲(竹密)	123±12		
142	124	1	弥生	壺	---	条痕文・キザミ	長・石・赤・白・角(竹粗)	124±		
142	124	2	縄文	有孔浅鉢	21.6	ナデ	長・石・赤・白・角・少・雲多(竹密)	124±		
142	124	3	縄文	深鉢	---	竹管文	長・竹多・石・赤・白・黒・角(竹密)	124±		
142	124	4	陶器	天目茶碗	---	ナデ	白(密)・釉・黒褐	124±		
142	127	1	弥生	小形壺	---	縄文・押圧隆線	白・雲(竹密)	127±		
142	127	2	弥生	小形壺	---	条痕文	長・赤・白・雲(竹密)	127±		
142	127	3	弥生	壺	---	沈線・縄文	長・多・赤・白・角・雲(密)	127±10		
142	127	4	弥生	壺	---	条痕文・押圧	長・石・角・安(竹密)	127±		内外面黒変
142	127	5	弥生	深鉢	---	沈線	長・多・石・赤・白・雲・竹多大・小礫(竹密)	127±		
142	127	6	弥生	壺	---	縄文	長・赤・白・黒・雲(竹密)	127±		
142	127	7	弥生	壺	---	縄文	長・石・赤・白・雲(竹密)	127±		
142	127	8	弥生	壺	---	条痕文	長・多・石・赤・白・黒・角・雲(竹密)	127±5		
143	128	1	縄文	深鉢	---	条痕文	赤・安(竹密)	128±		早期末
143	128	2	縄文	深鉢	---	条痕文・貝殻腹縁	長・石・赤・安(竹密)	128±		早期末
143	128	3	縄文	深鉢	---	縄文	長・石・赤・安・纏維(竹粗)	128±		
143	136	1	縄文	深鉢	---	沈線	長・多・石・雲・竹多(竹粗)	136±18		
143	136	2	縄文	深鉢	---	沈線	長・石・雲・輝(竹密)	136±12		
143	138	1	弥生	壺	---	条痕文・押圧	長・石・赤・白(竹粗)	138±3・11・14		
143	138	2	弥生	壺	---	押圧文・ナデ	長・石・白・輝? (竹密)	138±14		
143	138	3	弥生	壺	---	ナデ	長・角・砂・竹多(竹密)	138±13		
143	140	1	縄文	深鉢	---	沈線	長・赤・安(竹密)	140±		
143	142	1	縄文	深鉢	---	条痕文・貝殻腹縁	白(竹密)	142±		早期末
143	143	1	縄文	深鉢	---	竹管文	長・多大・白・角・雲多(竹密)	143±		
143	146	1	縄文	深鉢	---	爪形隆線	長・竹多・白・雲多(密)	146±		
143	146	2	縄文	深鉢	---	爪形隆線	長・石・赤・白・黒・角(密)	146±		
143	146	3	縄文	深鉢	---	爪形隆線	長・白・黒・角・雲・竹多(竹密)	146±		
143	146	4	縄文	深鉢	---	爪形隆線	長・竹多・黒・角・雲(竹多)	146±		
143	146	5	縄文	深鉢	---	竹管文	長・白・黒・雲(竹密)	146±		
143	146	6	縄文	深鉢	---	竹管文	白・雲(密)	146±		
144	150	1	縄文	深鉢	---	爪形隆線	長・石・角・雲(密)	150±6・10		
144	150	2	縄文	深鉢	---	竹管・爪形隆線	長・角・赤・安(竹密)	150±1		
144	150	3	縄文	深鉢	---	竹管・爪形隆線	長・雲・輝(竹密)	150±		外面一部黒変
144	150	4	縄文	深鉢	---	条痕文	長・石・織維(竹密)	150±		早期末
144	150	5	縄文	深鉢	---	貝殻腹縁文	赤(密)	150±		早期末・打越式
144	150	6	縄文	深鉢	---	竹管・爪形隆線	長・石・角・雲多(竹密)	150±		
144	150	7	縄文	深鉢	---	竹管文	長・角・赤・安・竹多大(竹密)	150±9		
144	150	8	縄文	深鉢	---	竹管文	石・輝(竹密)	150±		
144	150	9	縄文	深鉢	---	沈線・縄文	長・竹多・石・角・小礫・赤・安(竹粗)	150±		
144	150	10	縄文	深鉢	---	沈線	長・石・雲・小礫・赤(竹密)	150±		
144	153	1	縄文	深鉢	---	縄文	長・角・赤・安・竹多(竹密)	153±		
144	153	2	縄文	深鉢	---	爪形隆線	長・多・石・雲・竹多・安(竹密)	153±		
144	153	3	縄文	深鉢	---	沈線	長・石・角・赤・安(竹密)	153±		
144	155	1	縄文	台形土器?	---	孔・ナデ	長・輝・ナリ? (密)	155±		
144	158	1	縄文	深鉢	---	沈線・爪形隆線	長・白・黒・角・雲多(密)	158±		
144	158	2	縄文	深鉢	---	爪形隆線	長・多大・白・黒・雲・輝? (密)	158±		
144	161	1	縄文	深鉢	22.0	沈線・爪形隆線	長・白・黒・角・輝? (密)	161±		
144	162	1	弥生	壺	---	条痕文・押圧	長・石・赤・白・黒・雲・安(竹密)	162±		
144	162	2	弥生	壺	---	条痕文	長・赤・白・黒・角・雲(竹密)	162±		
144	162	3	弥生	壺	---	条痕文	長・竹多大・石・赤・白・雲・大・小礫(竹密)	162±1		
144	162	4	縄文	深鉢	---	沈線	長・石・赤・白・雲・小礫・安(竹密)	162±2		
144	163	1	縄文	有孔浅鉢	---	ナデ・ミガキ	長・石・白・黒・角(竹密)	163±		
144	164	1	縄文	鉢	31.0	縄文	長・石・赤・白・多・雲・安(竹密)	164±6・7		
144	164	2	縄文	深鉢	29.0	縄文	長・多・赤・白・雲(竹粗)	164±5		
144	164	3	縄文	深鉢	---	縄文・沈線	長・多・白・雲(竹粗)	164±1・3		
144	166	1	縄文	深鉢	---	ハの字文・沈線	長・多大・赤・白・雲・安(竹粗)	166±1		
145	168	1	縄文	深鉢	---	縄文・沈線	長・白・雲・砂・輝・安・竹多(竹密)	168±		
145	172	1	縄文	深鉢	---	沈線	長・赤・白・雲(竹密)	172±		
145	185	1	土師	碗	12.0	ナデ	黒(密)	185±		無釉、瀬戸百代寺(11c後)
145	186	1	縄文	深鉢	---	縄文	長・大・赤・白・黒・角・雲・小礫(密)	186±2		
145	207	1	縄文	深鉢	---	沈線	長・竹多大・石・赤・白・黒・角・雲(竹密)	207±		
145	210	1	土師	羽釜	30.0	ナデ	長・石・白・雲(竹密)	210±		
145	211	1	弥生	壺	---	条痕文	長・石・赤・白・安(竹密)	211±1		
145	213	1	縄文	深鉢	---	竹管文	長・竹多・石・白・黒・角・雲(竹密)	213±1		
145	213	2	縄文	深鉢	---	爪形隆線	長・石・白・黒・角・雲多(竹密)	213±3		

表3-(7) 土器・陶磁器観察表



胎土略名 長-長石 安-安山岩 角-角閃岩 雲-雲母 輝-輝石  
赤-赤色粒子 黒-黒色粒子 白-白色粒子  
多-多い 少-少ない 小-小粒

図版	地点	番号	種別	器種	口・底・高cm	整形技法	胎土	注記	残%	備考
145	213	3	縄文	深鉢	---	縄文	長・多・石・赤・雲・安(竹密)	213±2	—	
145	214	1	土師	皿	9.2・5.0・2.0	ナデ	雲・多(竹密)	214±1	—	灯明皿
146	224	1	弥生	小型壺	7.4	押圧隆線	長・白・角(粗)	224±	—	
146	224	2	弥生	甕?	9.6	条痕文・網代痕	長・石・赤(竹密)	224±20	—	
146	224	3	弥生	甕?	---	条痕文	長・大・石・赤(竹密)	224±	—	
146	224	4	弥生	甕	13.5	条痕文	赤・白(竹粗)	224±18	—	
146	224	5	弥生	甕?	---	条痕文	長・石・赤・白・安(竹密)	224±5・6・9	—	
146	224	6	弥生	甕	---	条痕文	石・赤・白・角(竹密)	224±19	—	
146	229	1	縄文	深鉢	37.0	竹管文	赤・大・白・黒・角・多小・小礫・安・多大(竹粗)	229±1・5・7・8・11	—	
146	230	1	弥生	壺	10.0	条痕文・押圧	長・赤・白・黒・雲・少(竹密)	230±1	—	
146	230	2	弥生	浅鉢	12.8	沈線・ナデ	長・赤・白・黒・角・雲(竹密)	230±	—	外面赤色塗彩
146	230	3	弥生	壺	---	沈線・キザミ	長・大・石・赤・雲・少小・小礫・多大・砂(粗)	230±2~4	—	内面割離、遠賀川系
146	230	4	弥生	壺	---	押圧隆線・沈線	長・竹多・赤・白・黒・雲(竹密)	230±	—	
146	230	5	弥生	壺	---	条痕文・押圧	長・大・石・赤・白・黒・角(竹密)	230±5	—	内外面薄く黒変
147	232	1	縄文	深鉢	10.2	ナデ	長・竹多・赤・雲・大・小礫(竹密)	232±4・5	—	
147	235	1	縄文	深鉢	---	沈線	長・石・赤・雲・竹多(竹密)	235±2・4・10・17	—	内外面黒変、外面スス
147	235	2	縄文	深鉢	24.0・7.5	沈線	長・赤・大・白・黒・角・安(竹密)	235±11・12・56住39	—	
147	236	1	灰釉	小瓶	---	沈線	(密)・釉・灰白	236±	—	
147	238	1	縄文	深鉢	---	縄文	長・石・赤・雲・極多大(密)	238±1	—	
147	243	1	土師	釜	---	ナデ	長・多・石・赤・極多・黒・雲(竹密)	243±1・2	—	
147	246	1	縄文	深鉢	24.0	沈線	長・石・白・角(竹密)	246±5・11	—	内面黒変
147	246	2	縄文	深鉢	22.0	沈線・縄文	長・多大・赤・白・雲・多、小礫・竹多(粗)	246±1	—	口縁一部黒変
147	246	3	縄文	深鉢	20.0	沈線	長・石・白・雲・竹多(竹密)	246±17	—	
147	246	4	縄文	深鉢	---	結節縄文	長・多大・赤・白・黒・雲・砂・多大(竹粗)	246±13・14・20	—	外面一部黒変
147	247	1	縄文	深鉢	13.0	縄文・沈線	長・多・赤・白・雲・多(竹粗)	247±1・4~6	40	
147	247	2	縄文	深鉢	34.0	角押文	長・石・白・黒・雲(竹密)	247±	—	
147	248	1	縄文	深鉢	---	結節縄文	長・多・赤・白・黒・雲(竹密)	248±	—	
147	252	1	縄文	深鉢	11.5	ナデ	長・白・黒・雲・竹多(竹密)	252±9	—	内外面ケラ状
147	252	2	縄文	浅鉢	---	ナデ	長・赤・白・黒・雲・砂(竹密)	252±2	—	内外面黒変
148	252	3	縄文	浅鉢?	23.0	ナデ	長・竹多・赤・白・雲・竹多(竹密)	252±7・14, R27・d	—	内外面ケラ状
148	253	1	縄文	深鉢	---	縄文・隆線	長・石・赤・白・雲(竹密)	253±1	—	内外面タール状
148	254	1	縄文	深鉢	---	沈線・隆線	長・多・石・赤・雲・竹多(竹密)	254±1・2	—	
148	258	1	土師	皿	5.6	ナデ	赤・白(竹粗)	258±20	—	
148	258	2	陶器	碗	4.8	ナデ・ケズリ	白(密)、内・オリーブ黒・外・浅黄	258±1	—	
148	258	3	陶器	碗	6.5	ナデ・ケズリ	(竹密)、内・暗灰黄	258±16	—	
148	258	4	白磁	碗	6.0	ナデ	(密)、内・灰白	258±6	—	
148	258	5	白磁	甕?	6.0	ナデ・ケズリ	(密)、外・灰白	258±3	—	
148	258	6	陶器	碗	4.8	ナデ	(密)、内・暗緑・外・ぶい黄褐	258±2	—	
148	258	7	白磁	碗	4.2	ケズリ	(密)、内外・灰白	258±14	—	
148	258	8	白磁	小碗	---	ナデ	(密)、内外・灰白	258±17	—	
148	258	9	陶器	鉢	17.8	ナデ・ケズリ	白(竹密)、内外・褐	258±19	—	
148	259	1	白磁	小碗	---	ナデ	(密)	259±2	—	
148	259	2	染付	碗	8.0	ナデ	(密)	259±	—	
148	260	1	陶器	壺	---	ナデ	白、黒(密)	260±	—	
148	260	2	陶器	壺	---	ナデ・ケズリ	(密)	260±27	—	
148	260	3	陶器	壺	---	ナデ	白、黒(密)	260±16	—	
148	260	4	陶器	壺	---	ナデ	(竹密)	260±29	—	
148	260	5	志野	鉢	12.4	ナデ・ケズリ	黒(密)	260±25	—	17c前半
148	260	6	陶器	すり鉢	30.0	ナデ	(竹密)	260±55	—	
148	260	7	陶器	すり鉢	32.0	ナデ	(密)	260±11	—	瀬戸、18c前半
149	270	1	陶器	丸椀	12.0	ナデ	白、黒(密)、内外・黒褐	270±11	—	美濃、17c後半
149	270	2	陶器	丸椀	5.7	ナデ・ケズリ	赤(密)、内外・黒褐	270±29	—	美濃、18c前半
149	270	3	陶器	片口	8.9	ナデ・ケズリ	白(密)、内・黄褐	270±32	—	
149	271	1	陶器	椀	8.0	ナデ	(密)、内外・灰白	271±	—	
150	280	1	縄文	深鉢	---	沈線	長・石・赤・大・角・雲・輝(粗)	280±3	30	内外面一部黒変
150	280	2	縄文	深鉢	8.0	沈線	長・石、黒(粗)	280±4~10	50	
150	280	3	縄文	深鉢	---	ナデ	長・竹多、赤・角・雲・多(密)	280±2	60	内面「寿」印
150	集石	1	素焼	蓋	15.8・5.8・4.0	ナデ	石、赤、角、雲(竹密)	※735・112・116・118・119・347・468・476・477・482	70	内面「寿」印
150	集石	2	素焼	鉢	14.9・9.4・8.2	ナデ	長、赤、白、雲(密)	※7115・152・155・157・158・222・224・376・475・477・483・542・546	60	内面「寿」印
150	集石	3	素焼	蓋	16.8	ナデ	赤・白・黒・雲・少(竹密)	※7119~122・482・498	35	
150	集石	4	素焼	鉢	15.2・14.1	ナデ	赤、黒、雲、小礫(竹密)	※7122~124・481・485・486	70	内面「寿」印周りに雲母
150	集石	5	素焼	蓋	17.0	ナデ	赤・白・雲・少(密)	※7152・374・471・472・474・492・493・506・279±27・43	45	内面「寿」印
150	集石	6	素焼	鉢	9.0	ナデ	赤、白、黒、雲(密)	※775・398・466・469・472・473・474・545	30	内面「寿」印
150	集石	7	陶器	茶碗	5.1	ナデ	白・黒・少(竹粗)、内外・暗褐	※7478	—	
150	集石	8	陶器	鉢	6.6	ナデ	白(密)、内外・明黄褐	※7104	—	
150	集石	9	陶器	蓋	4.6~1.25	ケズリ	白・少(密)、外・灰白・暗オリーブ文様	※7404	55	
150	集石	10	陶器	土瓶	12.0・9.3・13.2	ナデ	(密)、内・ぶい褐・外・緑・灰白文様	※713・16・84・373・386・463・672	70	内面付着物、外面スス
150	集石	11	陶器	行平蓋	13.0・5.5・4.1	ナデ・ケズリ	(密)、内・褐・外・暗褐	※797・513	60	
150	集石	12	陶器	行平鍋	16.4・10.8・8.4	ナデ・ケズリ	(密)、内・褐・外・暗褐	※795・98・99・101・349・513	70	
151	集石	13	瀬戸	四耳壺	8.0	ナデ	白(密)、外・オリーブ灰	※743・47・387・426・464・676	—	13c第2四半期
151	集石	14	陶器	すり鉢	27.6	ナデ・条線	白(竹粗)	※7383・686	—	
151	集石	15	常滑	壺	---	ナデ	白(密)	※7385	—	
151	集石	16	磁器	環	6.8・2.6・1.28	ナデ	(密)、内外・明緑	※7520	50	瀬戸美濃か
151	集石	17	磁器	環	7.3・2.9・2.8	ナデ	(密)、内外・灰白	※7463	45	
151	集石	18	染付	蓋	8.9・3.2・2.5	ナデ	(密)、内外・明緑灰・薄青文様	※7432	60	瀬戸美濃か、19c末
151	集石	19	白磁	小皿	7.4・3.1・2.45	型押	(密)、内外・灰白	※7188	60	
151	集石	20	磁器	鉢	16.0・6.0・6.5	ナデ	(密)、内外・灰白・青・薄青	※7162	55	
151	集石	21	染付	茶碗	11.1	ナデ	(竹密)、内・灰白・淡青・外・灰白・濃紺	※76・7	30	幕末か
151	集石	22	磁器	瀧斗?	5.3・1.5・2.1	ナデ	(密)、内・青緑	※71	100	内面青、油煙付着
151	集石	23	磁器	徳利	3.3・5.7・16.8	銅版転写・色付	(密)、外・灰白・ピンク・黒・淡青	※741~44・50~52・54	40	明治30年~大正頃
151	集石	24	磁器	徳利	8.8・6.0・17.2	銅版転写・色付	(密)、外・灰白・ピンク・黒	※7670	100	明治30年~大正頃
151	集石	25	磁器	徳利	2.75・5.0・18.2	銅版転写	(密)、外・灰白・青	※7670	100	明治30年以降か
151	集石	26	磁器	徳利	2.4・4.6・15.1	ナデ	(密)、外・灰白・濃紺	※751・57	95	
151	集石	27	ガラス	ビン	1.7・5.7・23.75	色・オリーブ	「帝國鉱泉株式会社」	※7669	100	炭酸飲料用
151	集石	28	ガラス	ビン	5.7	色・オリーブ	「三ツ矢」	※7665	95	炭酸飲料用
151	集石	29	ガラス	ビン	4.6	色・薄緑	「NIPPON BEER KOSEN CO LTD」	※717	90	ビール瓶
151	集石	30	ガラス	ビン	1.9	色・青緑		※7533	—	
151	集石	31	ガラス	ビン	2.2	色・緑青		※718	—	
151	集石	32	ガラス	ビン	1.9	色・薄緑		※7128・437	—	ビール瓶
151	集石	33	ガラス	ビン	1.9	色・薄緑		※7	—	
151	集石	34	ガラス	ビン	---	色・緑青		※7128・129	—	ビール瓶
151	集石	35	ガラス	ビン	5.3	色・緑青	「大日本麦酒株式会社製造」	※7129	—	ビール瓶
151	集石	36	ガラス	ビン	4.8	色・青緑		※722・23	—	
151	集石	37	ガラス	ビン	5.2	色・薄緑	「大日本麦酒株式会社製造」	※7105	—	ビール瓶
151	集石	38	ガラス	ビン	5.2	色・青緑	「飲料株式会社製造」	※771	—	
151	集石	39	ガラス	ビン	6.0	色・青緑		※719	—	
151	集石	40	ガラス	ビン	3.3・5.5・18.9	色・薄緑		※7441	70	
151	集石	41	ガラス	ビン	3.5・5.4・19.2	色・薄青緑		※7442	95	
152	集石	42	ガラス	ビン	4.2・3.2・9.1	色・緑青		※721	100	
152	集石	43	ガラス	薬ビン	1.0・2.7・5.85	色・褐		※7436	100	
152	集石	44	ガラス	薬ビン	---	色・透明	底「昭15」	※7146	—	昭和15年製か
152	集石	45	ガラス	薬ビン	1.5	色・薄緑		※7150・151	—	
152	集石	46	ガラス	薬ビン	5.1	色・薄緑		※7151	—	
152	集石	47	ガラス	薬ビン	0.9・2.35・6.65	色・青	「神薬」	※769	97	
152	集石	48	ガラス	薬ビン	1.0・1.9・6.15	色・褐	「組合 赤チンキ」	※7435	100	
152	集石	49	ガラス	フグ瓶	2.6	色・褐		※7470	95	
152	集石	50	ガラス	ビン	2.4・3.6・9.0	色・透明	「乳酸菌 エルビー」	※76	100	
152	集石	62	素焼	電蓋	39.6	型押し・ナデ	長・多大、石、赤、白、小礫(竹粗)	※727・70・113・114・117・159・160・164・166~172・176・177	60	内面スス
154	2溝	1	土師	環?	4.4	ナデ・糸切り	長・竹多、赤、雲(竹粗)	19住10	30	
154	2溝	2	土							

図版	地点	番号	種別	器種	口・底・高cm	整形技法	胎土	注記	残%	備考
154	2溝	4	白磁	碗	16.0	ナデ	(密), 内外-灰白	2溝1	—	備考
154	2溝	5	白磁	碗	16.0	ナデ	(密), 内外-灰白	19住11	—	
154	2溝	6	白磁	壺	---	ナデ	(密), 内外-灰白	19住	—	
154	2溝	7	白磁	皿?	---	ナデ	(密), 内外-灰白	2溝	—	
154	6溝	13	土師	椀	13.9	ナデ	(密)	6溝	—	
154	6溝	14	土師	環	-4.6-	ナデ・糸切り	長, 石, 赤, 白, 雲(竹密)	6溝6	—	
154	6溝	15	土師	環	-5.4-	ナデ・糸切り	長・石・赤・竹多, 白, 雲(竹密)	6溝7	—	
154	6溝	16	土師	環?	-4.6-	ナデ・糸切り	長, 赤, 白, 雲(竹密)	6溝4	—	
154	6溝	17	土師	環	-5.2-	ナデ・糸切り	長, 赤, 白, 雲, 小礫(竹密)	6溝2	—	
154	6溝	18	山茶	すり鉢	-8.4-	ナデ	白, 礫(竹密), 内-オリブ黄	20住7	—	猿投, 12c中
154	9溝	20	土師	小皿	8.0・5.0・2.0	ナデ・糸切り	長, 石, 赤, 白, 雲(竹密)	9溝7	30	
154	9溝	21	土師	皿	8.0・4.3・2.05	ナデ・糸切り	長, 赤, 白(竹密)	9溝25	60	
154	9溝	22	土師	皿	8.0・5.0・2.4	ナデ・糸切り	長, 石, 赤, 角(竹密)	9溝	20	
154	9溝	23	土師	環	-7.0-	ナデ・糸切り	長・白・角・雲・小礫・花-大(竹密)	9溝8	30	
154	9溝	24	土師	環	-6.6-	ナデ・糸切り	長・竹多・大, 石, 赤, 雲, 小礫(竹密)	9溝29・38	25	
154	9溝	25	土師	環	-7.4-	ナデ・糸切り	長・竹多, 石, 赤, 白, 雲(竹密)	9溝18	30	
154	9溝	26	土師	環	-6.4-	ナデ・糸切り	長・竹多, 赤, 白, 雲(竹密)	9溝12	50	
154	9溝	27	土師	柱状高台	-8.0-	ナデ・糸切り	長・竹多-大, 赤, 白, 雲(竹密)	9溝4	—	
154	9溝	28	山茶	小皿	8.0・4.0・1.65	ナデ・糸切り	(密)	9溝1	40	美濃, 13c初
154	9溝	29	白磁	碗	-4.0-	ナデ・ケズリ	(密), 内外-灰白	9溝40	—	
154	9溝	30	白磁	碗	---	ナデ	(密), 内外-灰白	9溝	—	
155	池状	37	土師	小皿	7.8・5.2・1.85	ナデ・糸切り	長・竹多, 石, 赤, 白, 雲(竹密)	14住93	70	
155	池状	38	土師	小皿	7.9・5.2・2.2	ナデ・糸切り	長, 赤, 白, 雲(竹密)	14住72	95	
155	池状	39	土師	皿	8.1・4.6・2.3	ナデ・糸切り	長, 赤, 白, 雲(竹密)	14住90	90	
155	池状	40	土師	皿	8.0・5.0・2.1	ナデ・糸切り	長, 赤, 白, 雲(竹密)	14住86	20	
155	池状	41	土師	皿	8.8・6.0・2.1	ナデ・糸切り	長, 石, 赤, 白, 雲(竹密)	14住82	15	
155	池状	42	土師	皿	9.0・5.6・2.1	ナデ・糸切り	長・竹多, 赤, 白, 角(粗)	14住99	25	
155	池状	43	土師	環	12.6・6.7・5.1	ナデ・糸切り	長, 石, 赤, 白, 雲(竹密)	14住68・69	60	
155	池状	44	土師	環	14.8	ナデ・糸切り	赤・白・雲-多(竹密)	14住47	—	
155	池状	45	土師	環	15.0	ナデ・糸切り	長, 赤, 白, 角(竹密)	14住64	—	
155	池状	46	土師	環	-6.4-	ナデ・糸切り	長, 石, 赤, 白, 雲(竹密)	14住84	—	内面黒色付着物
155	池状	47	土師	環	-6.0-	ナデ・糸切り	長, 赤, 白, 雲(竹密)	14住7	—	内外面黒変
155	池状	48	土師	小皿	-4.8-	ナデ・糸切り	長-大, 赤, 白, 雲(竹密)	14住4	—	
155	池状	49	土師	環	-10.0-	ナデ・糸切り	白(竹密)	14住16	—	
155	池状	50	土師	環	-6.0-	ナデ・糸切り	長・竹多-大, 赤, 白, 雲(竹密)	14住97	—	
155	池状	51	土師	環	-6.0-	ナデ・糸切り	白(竹密)	14住85	—	
155	池状	52	土師	環	-6.2-	ナデ・糸切り	長・竹多, 赤, 白, 角(竹密)	14住100	—	
155	池状	53	土師	柱状高台	-7.65-	ナデ・糸切り	長-多, 石, 赤, 白, 雲(竹密)	14住98	—	
155	池状	54	土師	柱状高台	-8.6-	ナデ・糸切り	長, 赤, 白, 雲(竹密)	14住2	—	
155	池状	55	土師	柱状高台	-8.0-	ナデ・糸切り	長, 石, 赤, 角(竹密)	14住25	—	外部黒色付着物
155	池状	56	土師	柱状高台	-9.8-	ナデ・糸切り	雲(密)	14住51	—	
155	池状	57	土師	柱状高台	-7.6-	ナデ・糸切り	長・竹多, 石, 赤, 白, 小礫, 雲(竹密)	14住33	—	
155	池状	58	土師	釜	25.8	ナデ	長-大, 石, 赤, 白, 角(竹密)	14住70	—	
155	池状	59	白磁	碗	17.7	ナデ	(密), 内外-浅黄	14住57	—	
155	池状	60	青磁	蓮弁鉢	16.6	片切り	(密), 内外-明緑灰	14住	—	
155	池状	61	白磁	瓜割形蓋	---	沈線	(密), 外-浅黄	14住6	—	広東省潮州窯
157	4溝	1	灰釉	碗	-7.6-	ナデ	(密), 内-灰オリブ	4溝34	30	美濃, 虎渓山, 10c後半
157	4溝	2	縄文	深鉢	22.0	沈線・縄文	長, 赤, 白, 黒, 角, 小礫, 安(竹密)	4溝45	—	
157	4溝	3	縄文	深鉢	---	ハの字文	長-多, 石, 赤, 白, 黒, 雲, 小礫(竹密)	4溝11	—	
158	5溝	1	土師	環	-6.6-	ナデ	長・赤-大, 白, 雲(竹密)	5溝35	—	もろい
158	5溝	2	土師	黒色高台	-12.2-	ナデ	長・赤・白・雲-竹多(竹密)	5溝27	—	
158	5溝	3	縄文	深鉢	-11.0-	竹管文	長・石・赤・白・黒・角・雲-多, 小礫-大(竹密)	5溝68	—	
158	5溝	4	縄文	鉢	19.8	沈線	石・赤-大, 白・黒・角・小礫・安-極大多(竹密)	5溝80	—	もろい
158	5溝	5	縄文	深鉢	17.0	ハの字文	長・石・赤・白・角・雲-竹多(竹密)	5溝103	—	内外面黒変
158	5溝	6	縄文	深鉢	22.8	沈線	赤, 白, 雲(竹密)	5溝74	—	
158	5溝	7	縄文	深鉢	---	沈線	長, 赤, 白, 角(竹密)	5溝94・105	—	
158	5溝	8	縄文	深鉢	28.4	沈線・隆線	長-多, 石, 赤・竹多, 白, 雲(竹密)	5溝132・137・142・146・151	—	
158	5溝	9	縄文	深鉢	---	沈線	長, 石, 赤, 白, 角, 安(竹密)	5溝97	—	
158	5溝	10	縄文	深鉢	---	縄文	長-多-大, 赤, 白, 多, 雲(竹密)	5溝22	—	
158	5溝	11	弥生	壺?	---	条痕文	長, 石, 赤, 白, 角, 雲, 安(竹密)	5溝175	—	
159	8溝	1	縄文	深鉢	35.4	隆線, ナデ	長・竹多, 石, 赤, 雲, 礫(竹密)	8溝24	—	
159	10溝	1	古墳	台付甕	14.9	条線	長, 白, 角, 雲-竹密, 小礫(竹密)	10溝27・29~31	20	内外面黒変
159	10溝	2	古墳	台付甕	15.6	条線	長-多-小, 白, 角, 雲(竹密)	10溝15・29・30	60	
159	10溝	3	古墳	台付甕	12.8	条線	赤, 白, 角, 雲(竹密)	10溝5・8・11・15・17	30	
160	11溝	1	土師	小皿	8.1・5.0・2.3	ナデ	長, 赤, 白, 黒, 雲(竹密)	11溝13	90	
160	11溝	2	青磁	碗	---	蓮弁, 片切り	内外-明緑灰	11溝1	—	
160	11溝	3	灰釉	平鉢	-4.8-	ナデ	(密), 内外-灰オリブ	11溝6	—	14c前半
160	11溝	4	山茶	こね鉢	-17.2-	ナデ	白-少(密)	11溝10	—	
160	11溝	5	陶器	壺	---	ナデ	白, 黒(密), 外-オリブ黄	11溝2	—	中津川
160	11溝	8	縄文	深鉢	---	角押文・縄文	長・赤・白・雲-極多大(竹密)	11溝	—	
160	11溝	9	縄文	深鉢	31.6	爪形隆線文	長・石・赤・白・黒・角-少, 安-多大(竹密)	11溝	—	
161	12溝	1	灰釉	長頸壺	-8.8-	ナデ・ケズリ	黒(密)	12溝	—	9c代
161	ヒ7ト	2	縄文	深鉢	---	竹管文	長・竹多, 雲-多(竹密)	ヒ7ト191(R32)	—	
161	ヒ7ト	3	縄文	深鉢	30.0	沈線	長・雲-多, 赤, 小礫, 石(竹密)	ヒ7ト117(Q34)	—	
161	ヒ7ト	5	縄文	深鉢	---	沈線	長・雲-竹多, 赤(竹密)	ヒ7ト224(R29)	—	
161	ヒ7ト	6	縄文	深鉢	31.0	縄文・隆線	長, 角(竹密)	ヒ7ト137(Q34)	—	
161	Q30a	1	縄文	深鉢	---	貝殻隆線文	長(竹密)	Q30a	—	
161	M37d	2	縄文	深鉢	---	貝殻隆線文	長-少(竹密)	M37d	—	
161	Q33d	3	縄文	深鉢	---	貝殻隆線文・条痕	長・赤-角-少(竹密)	Q33d	—	内外面黒変
161	Q28c	4	縄文	深鉢	---	貝殻隆線文	長・石-角-少, 小礫	Q28c	—	
161	T35b	5	縄文	深鉢	---	縄文・竹管隆線	長・石-少, 雲・角-多(密)	T35b	—	
161	Q41b	6	縄文	深鉢	-13.0-	指頭底痕	長・石-多, 赤・角-少, 小礫(竹密)	Q41b	—	
161	Q31a	7	縄文	深鉢	---	竹管文	長・竹多, 雲, 角, 赤(竹密)	Q31a	—	
161	L36d	8	縄文	深鉢	-9.0-	隆線・沈線	長・石・雲-多, 小礫-少(竹密)	L36d	10	
161	P30a	9	縄文	深鉢	---	縄文・沈線	長・石・赤-角-少(竹密)	P30a	—	
161	P33a	10	縄文	深鉢	---	隆線	長, 石, 安, 角, 赤(竹密)	P33a40	—	内外面変色
161	P33a	11	縄文	深鉢	---	隆線	長-多, 石・雲-竹多, 赤(密)	P33a5・12・24・29・39	—	
161	L39a	12	縄文	鉢	17.0	沈線・刺突文	赤-多, 長・雲-少(密)	L39a	—	
161	P33a	13	縄文	深鉢	---	隆線	長・竹多, 石, 雲, 赤, 角(竹密)	P33a41	—	内面薄く黒変
161	L38e	14	縄文	浅鉢	30.0	浮線網状文	長・赤・雲-少(密)	L38e	—	内外面赤彩
161	L38d	15	弥生	甕	---	条痕文	長・石・角-少(竹密)	L38d	—	
161	R37d	16	弥生	甕	---	押圧隆線・条痕文	長-多, 赤・角-少(竹密)	R37d	—	
162	K37a	17	弥生	甕	---	隆線・条痕文	長・赤-少, 角-多(竹密)	K37a	—	内外面黒変
162	M37a	18	弥生	甕	23.0	条痕文	長・石・雲-角-少(竹密)	M37a	—	外面黒変
162	P31a	19	弥生	甕	---	条痕・押圧	長・角-多, 赤・小礫-少(竹密)	P31a	—	内面黒変
162	L36a	20	弥生	甕	---	条痕文・隆線	長・雲・赤・角-少(竹密)	L36a	—	
162	V28b	21	弥生	甕?	---	条痕文	長・石・赤・雲-角-少(竹密)	V28b	—	内外面黒変, 内面赤彩
162	M35a	22	弥生	甕	---	条痕文	長・石・角-赤-少, 雲・竹多, 小礫(竹密)	M35a	—	外面黒変
162	K36b	23	青磁	蓋又は蓋	14.6	蓮弁	白(密), 内外-緑灰	K36b	—	
162	O40b	24	青磁	碗	---	蓮弁	白(密), 内外-オリブ灰	O40b	—	

表3-(9) 土器・陶磁器観察表

図版	地点	番号	種別	長・幅・厚cm	整形技法	胎土	注記	残%	備考	
73	3住	11	土師	脚状	-6.3・9.8	ナデ	長, 安-大多, 石, 角	3住40	—	
90	11住	17	土師	土鉢	3.7・2.9・0.9	縄文	長, 石, 赤・黒・安・角-少	11住	100	
108	36住	4	土製	円板	3.5・3.3・1.0	ナデ	長・石・角・赤・安(竹密)	36住	60	
110	40住	15	土師	土偶足	3.3・4.3・4.3	角押文	長, 白, 赤, 黒, 角, 小礫(竹密)	40住	—	
110	40住	16	土製	円板	5.4・5.4・1.4	ナデ	長・赤・角-竹多, 安	40住16	100	周縁ミガキ
110	40住	17	土製	円板	3.4・3.0・0.9	条痕文	長, 石, 角	40住床下	100	
119	42住	62	土製	円板	3.6・3.3・0.9	ナデ	長-多, 石, 赤・角・雲-少(竹密)	42住105	100	周縁ミガキ
131	29土	1	軒丸瓦	---	---	---	長・赤・白-少, 雲(竹密)	29土	—	
154	2溝	8	軒丸瓦	---	---	---	長・石・赤・黒・雲-多(竹密)	19住4	—	
156	池状	62	軒丸瓦	---	---	---	長-大, 石, 赤, 白, 角, 雲(竹密)	14住	—	
156	池状	63	軒丸瓦	---	---	---	長・赤・白-少, 雲(竹密)	14住	—	
156	池状	64	軒丸瓦	---	---	---	長-大, 赤・白-少・角, 雲, 礫, 安(竹密)	14住	—	
156	池状	65	丸瓦	---	---	---	長-大, 石・赤-少-大, 白・角-少, 雲, 礫	14住40	—	
156	池状	66	丸瓦	---	---	---	長・赤・雲-極多(竹密)	14住3	—	
159	8溝	2	土製	円板	4.1・4.0・1.1	縄文	長, 石, 赤, 角, 雲, 安(密)	8溝(S27a)	100	周縁ミガキ

表4 土製品観察表

石材略名 砂-砂岩 粘-粘板岩 安-安山岩 黒-黒曜石 ホ-ホルンフェルス  
 緑-緑色岩 凝-凝灰岩 緑凝-緑色変質凝灰岩 閃-閃緑岩 頁-頁岩  
 緑片-緑色片岩 デ-デイサイト 花-花崗岩類 火凝-火山凝灰岩

図版地点	番号	分類	長・幅・厚cm	g	石材	色調	注記内容	備考	図版地点	番号	分類	長・幅・厚cm	g	石材	色調	注記内容	備考
72	1住	2	打斧	9.5・5.0・1.8	85	砂	黒青	1住壠	87	7住	90	剥片石器	8.8・5.6・1.0	52	砂	黒灰	7住245
72	1住	3	打斧	6.4・4.6・0.7	24	粘	淡緑	1住床下	87	7住	91	剥片石器	10.4・5.6・1.0	62	砂	黒灰	7住314
72	1住	4	剥片石器	12.4・10.2・1.2	232	砂	青灰	1住床下14	87	7住	92	剥片石器	15.0・6.6・1.1	124	凝	緑	7住57
73	3住	15	砥石	4.3・2.3・1.2	8	凝	暗褐	3住	87	7住	93	剥片石器	10.9・4.7・1.8	82	粘	灰褐	7住443
73	3住	16	打斧	9.8・8.4・1.4	139	砂	黒灰	3住	87	7住	94	剥片石器	8.1・5.5・1.2	56	粘	灰褐	7住240
73	3住	17	打斧	10.5・5.0・1.2	174	砂	灰	3住73	87	7住	95	剥片石器	9.2・6.1・0.8	58	砂	灰褐	7住345
73	3住	18	打斧	6.0・4.7・1.2	34	砂	青灰	3住80	87	7住	96	剥片石器	11.5・5.9・2.0	90	砂	黒灰	7住ビツ4
73	3住	19	小形磨斧	5.9・1.9・0.9	17	粘	黒灰	3住49	87	7住	97	剥片石器	10.4・5.5・1.7	98	砂	黒灰	7住ビツ13
73	3住	20	磨石	14.7・7.8・4.9	980	閃	灰褐	3住76	87	7住	98	剥片石器	8.7・8.0・2.0	139	砂	灰褐	7住ビツ13
77	4住	39	打斧	13.3・6.4・2.0	185	粘	黒青	4住40	87	7住	99	粗製石匙	7.6・6.9・1.3	51	頁	黒灰	7住
77	4住	40	打斧	8.9・4.1・0.9	45	砂	褐灰	4住89	87	7住	100	粗製石匙	9.5・5.5・1.6	93	頁	灰褐黒	7住221
77	4住	41	打斧	6.0・3.8・0.8	24	粘	黒灰	4住43	87	7住	101	粗製石匙	8.0・4.7・0.9	38	頁	灰褐	7住441
77	4住	42	打斧	9.6・4.9・0.8	47	砂	灰	4住207	87	7住	102	石核	11.3・10.7・4.5	610	砂	灰褐	7住280
77	4住	43	打斧	11.9・4.9・1.3	87	粘	黒灰	4住198	88	7住	103	磨斧	10.0・4.8・3.9	240	緑	灰褐	7住
77	4住	44	打斧	10.5・4.1・1.1	54	赤	暗緑灰	4住208	88	7住	104	凹石	11.2・8.8・5.7	840	安	灰	7住213
77	4住	45	打斧	6.6・4.8・0.7	22	粘	黒灰	4住191	88	7住	105	凹石	12.6・8.5・3.9	544	安	灰褐	7住344
77	4住	46	打斧	9.8・5.1・2.4	124	砂	灰褐	4住46	88	7住	106	凹石	12.6・8.6・4.9	720	安	灰褐	7住34
77	4住	47	打斧	12.6・5.6・1.9	172	赤	黒灰	4住250	88	7住	107	凹石	11.8・9.1・5.4	789	安	灰	7住210
77	4住	48	打斧	7.0・6.0・1.3	61	粘	黒灰	4住42	88	7住	108	凹石	9.5・8.9・4.2	520	安	灰	7住236
77	4住	49	打斧	6.2・5.1・0.9	145	粘	黒灰	4住84	88	7住	109	石鏃	2.2・1.4・0.4	0.6	黒	黒	7住
77	4住	50	剥片石器	11.7・6.8・1.4	126	粘	灰褐	4住238	88	7住	110	石核	3.6・3.1・1.5	15	黒	黒	7住ビツ4
77	4住	51	剥片石器	9.0・5.2・0.6	44	粘	黒灰	4住188	88	8住	3	剥片石器	10.1・4.2・1.5	67	粘	黒灰	3住62
77	4住	52	剥片石器	9.6・5.5・0.9	30	粘	黒灰	4住ビツ9	89	9住	8	打斧	10.5・6.5・1.1	82	粘	黒青	9住
77	4住	53	剥片石器	10.1・6.9・0.7	64	粘	灰褐	4住259	89	9住	9	打斧	11.6・4.9・1.1	72	粘	黒青	9住28
77	4住	54	剥片石器	10.3・5.2・0.6	71	粘	青灰	4住233	89	9住	10	打斧	10.3・4.5・1.4	86	砂	黒灰	9住41
77	4住	55	剥片石器	10.7・5.5・1.1	49	砂	青灰	4住205	89	9住	11	打斧	9.7・5.8・1.5	129	砂	黒灰	9住6
77	4住	56	剥片石器	8.0・6.4・1.0	80	砂	黒灰	4住ビツ9	89	9住	12	打斧	7.8・5.2・2.5	116	砂	灰	9住
77	4住	57	剥片石器	9.6・6.7・1.1	65	砂	淡黄白	4住116	89	9住	13	凹石	10.9・7.2・4.0	332	安	暗灰	9住壠1
77	4住	58	剥片石器	9.4・6.5・1.9	106	凝	緑	4住132	89	9住	14	凹石	13.3・7.6・4.4	657	安	緑灰	9住
77	4住	59	剥片石器	7.4・4.6・0.8	16	粘	青灰	4住216	89	9住	15	石核	2.6・2.6・1.0	7	黒	黒	9住
77	4住	60	剥片石器	8.8・6.2・1.6	91	赤	黄褐黒	4住257	89	9住	16	ユーフレ	2.8・2.3・0.6	2	黒	黒	9住
77	4住	61	剥片石器	6.4・6.0・0.9	34	砂	黒灰	4住192	89	9住	17	石核	4.4・3.5・2.8	34	黒	黒	9住
77	4住	62	剥片石器	8.9・6.8・1.9	18	砂	黒灰	4住218	91	11住	19	打斧	10.9・7.6・3.4	255	砂	黒灰	11住93
77	4住	63	剥片石器	7.9・4.7・1.6	56	凝	淡青黄	4住195	91	11住	20	打斧	10.3・4.4・1.0	53	砂	黒灰	11住ビツ12
77	4住	64	剥片石器	7.3・5.1・1.0	42	砂	黒灰	4住214	91	11住	21	打斧	9.2・4.2・1.7	66	頁	黒褐	11住
77	4住	65	剥片石器	8.2・6.5・0.8	53	粘	黒灰	4住213	91	11住	22	打斧	8.5・8.2・1.3	99	砂	黒褐	11住
77	4住	66	剥片石器	7.1・4.8・0.8	35	粘	黒灰	4住240	91	11住	23	打斧	11.5・5.4・0.8	65	砂	黒灰	11住ビツ13
77	4住	67	剥片石器	8.0・7.4・1.6	82	砂	黄白	4住107	91	11住	24	打斧	8.5・5.8・1.2	58	砂	黒灰	11住107
77	4住	68	剥片石器	7.7・5.1・1.0	30	粘	黒灰	4住196	91	11住	25	打斧	7.1・6.9・1.6	96	砂	黒灰	11住40
77	4住	69	剥片石器	6.9・3.9・0.5	17	粘	黒灰	4住217	91	11住	26	剥片石器	12.5・5.7・1.8	114	砂	黒灰	11住27
78	4住	70	粗製石匙	6.7・5.3・0.8	30	頁	灰褐	4住256	91	11住	27	剥片石器	4.1・8.1・0.9	31	砂	黒灰	11住81
78	4住	71	粗製石匙	8.9・5.0・1.0	30	粘	黒青	4住234	91	11住	28	剥片石器	5.8・4.2・0.7	19	砂	黒灰	11住
78	4住	72	粗製石匙	7.5・6.3・0.9	42	凝	緑	4住151	91	11住	29	剥片石器	7.6・7.8・1.1	54	砂	緑灰	11住
78	4住	73	粗製石匙	7.0・4.8・1.5	68	頁	黒灰	4住193	91	11住	30	剥片石器	10.9・5.0・1.2	71	砂	黒灰	11住72
78	4住	74	粗製石匙	3.7・3.6・0.5	9	頁	灰黒褐	4住	91	11住	31	剥片石器	10.0・4.2・1.0	43	砂	青灰	11住34
78	4住	75	粗製石匙	10.0・4.6・1.2	44	砂	青灰	4住194	91	11住	32	剥片石器	7.5・6.5・1.2	60	砂	灰褐	11住
78	4住	76	磨斧	8.2・4.4・2.9	164	緑	緑褐	4住80	91	11住	33	剥片石器	6.3・7.8・1.3	92	頁	黒灰	11住82
78	4住	77	磨斧	14.6・4.5・3.4	342	緑	緑	4住113	91	11住	34	剥片石器	11.0・4.2・1.3	52	粘	黒灰	11住41
78	4住	78	磨斧	3.1・10.7・1.2	55	粘	緑青	4住200	91	11住	35	剥片石器	11.1・5.6・1.1	68	砂	灰褐	11住54
78	4住	79	凹石	11.7・7.0・4.8	628	安	赤褐	4住249	91	11住	36	剥片石器	8.3・4.4・1.0	34	砂	青灰	11住49
78	4住	80	凹石	9.3・7.7・6.0	519	玄	暗黒褐	4住78	91	11住	37	剥片石器	3.8・6.7・0.7	23	粘	灰褐黒	11住
78	4住	81	凹石	13.6・8.0・4.0	751	安	灰褐	4住92	91	11住	38	剥片石器	3.8・4.5・0.6	17	凝	緑	11住
78	4住	82	凹石	12.1・6.4・4.9	660	安	褐白	4住223	91	11住	39	剥片石器	5.4・2.9・1.2	21	頁	灰褐	11住
78	4住	83	凹石	10.6・7.0・3.9	368	安	灰褐	4住72	91	11住	40	粗製石匙	13.6・6.1・1.3	106	砂	黒灰	11住3
78	4住	84	凹石	10.6・7.6・4.7	490	安	黒灰	4住244	91	11住	41	凹石	13.0・7.6・5.1	649	安	灰赤	11住108
78	4住	85	凹石	9.0・6.6・5.2	368	安	灰褐	4住201	91	11住	42	凹石	12.6・7.0・5.5	684	安	灰赤	11住26
78	4住	86	石鏃	15.0・7.6・4.8	920	安	黒灰	4住242	91	11住	43	凹石	10.1・6.9・3.5	371	安	暗灰	11住7
79	4住	87	石皿	21.3・10.0・8.8	1940	安	灰褐	4住243	91	11住	44	凹石	11.4・8.1・4.6	610	安	黄褐	11住18
79	4住	88	砥石	6.4・3.7・1.2	29	粘	黒灰	4住44	91	11住	45	凹石	10.7・7.5・4.1	415	安	灰	11住17
79	4住	89	ユーフレ	5.1・2.6・1.6	12	黒	黒	4住床下	92	11住	46	凹石	11.6・6.0・3.8	429	安	灰	11住30
79	4住	90	原石	4.5・3.0・2.3	26	黒	黒	4住	92	11住	47	砥石	4.5・2.4・1.5	25	緑凝	黒	11住
79	4住	91	原石	7.0・3.8・2.5	61	黒	黒	4住	92	11住	48	石鏃	2.6・1.7・0.6	1.7	黒	黒	11住炉A
79	4住	92	石核	3.9・4.9・2.1	36	黒	黒	4住床直	92	11住	49	石鏃	2.1・1.7・0.3	0.9	黒	黒	11住101
86	7住	53	打斧	15.2・5.0・1.1	22	砂	黒灰	7住225	92	11住	50	石核	6.2・3.2・2.3	35	黒	黒	11住
86	7住	54	打斧	14.9・5.5・1.9	144	砂	黒灰	7住256	92	11住	51	石核	4.2・2.6・3.3	38	黒	黒	11住ビツ6
86	7住	55	打斧	12.8・5.7・1.8	130	砂	灰	7住217	92	13住	1	ユーフレ	2.5・1.5・0.5	1.6	黒	黒	13住
86	7住	56	打斧	13.0・5.8・1.1	115	粘	黒灰	7住228	92	15住	9	打斧	10.1・6.8・1.4	99	砂	黒灰	15住
86	7住	57	打斧	13.4・6.0・1.3	104	粘	黒灰	7住113	92	15住	10	打斧	9.0・5.6・1.3	62	砂	黒灰	15住
86	7住	58	打斧	12.3・6.4・2.6	217	粘	黒灰	7住227	92	15住	11	打斧	6.5・5.1・1.2	60	砂	青灰	15住
86	7住	59	打斧	12.2・4.9・1.3	85	粘	暗緑黒	7住222	92	15住	12	剥片石器	10.1・5.7・1.2	78	粘	青灰	15住
86	7住	60	打斧	11.7・5.6・1.5	125	粘	黒灰	7住215	92	15住	13	剥片石器	8.6・6.2・0.9	46	砂	青灰	15住
86	7住	61	打斧	10.8・5.7・1.2	129	粘	黒灰	7住220	92	15住	15	凹石	11.5・8.8・4.4	536	安	灰	15住12
86	7住	62	打斧	10.9・4.9・1.3	92	粘	黒灰	7住2	92	15住	16	石鏃	2.0・1.3・0.3	0.4	黒	黒	15住
86	7住	63	打斧	8.2・4.4・1.2	55	赤	灰褐	7住296	93	16住	24	打斧	13.5・5.3・1.5	116	砂	黒灰	16住49
86	7住	64	打斧	10.0・4.4・1.5	77	粘	黒灰	7住43	93	16住	25	剥片石器	10.2・6.9・2.0	148	砂	灰	16住2
86	7住	65	打斧	9.5・5.6・1.7	121	赤	灰褐	7住223	93	16住	29	石鏃	3.3・1.0・0.8	2	黒	黒	16住
86	7住	66	打斧	10.3・5.4・2.1	140	砂	灰褐	7住237	93	16住	30	ユーフレ	2.6・1.3・0.6	1.6	黒	黒	16住
86	7住	67	打斧	10.2・4.9・2.0	96	頁	黒灰	7住47	93	16住	31	石皿	24.4・16.4・7.4	2750	安		



石材略名 砂-砂岩 粘-粘板岩 安-安山岩 黒-黒曜石 ホ-ホルンフェルス  
 緑-緑色岩 凝-凝灰岩 緑凝-緑色変質凝灰岩 閃-閃緑岩 頁-頁岩  
 緑片-緑色片岩 デ-デイスaito 花-花崗岩類 火凝-火山凝灰岩

図版	地点	番号	分類	長・幅・厚cm	g	石材	色調	注記内容	備考	図版	地点	番号	分類	長・幅・厚cm	g	石材	色調	注記内容	備考
96	18住	31	原石	5.6・3.6・2.7	43	黒	黒	18住4		111	40住	29	石鏝?	1.8・1.2・0.3	0.5	黒	黒	40住	
96	18住	32	磨石	12.4・7.0・6.6	840	安	灰褐	18住炉70		114	41住	29	打斧	13.1・5.6・1.5	148	砂	黒灰	41住152	
96	20住	4	打斧	13.1・5.1・2.1	161	砂	黒灰	20住9		114	41住	30	打斧	12.8・5.7・1.2	109	砂	黒灰	41住144	先端摩耗
96	20住	5	打斧	11.3・5.1・1.1	112	砂	黒灰	20住3		114	41住	31	打斧	16.7・6.4・2.2	282	砂	灰白	41住181	
96	20住	6	打斧	10.9・3.6・1.1	46	砂	黒灰	20住5		114	41住	32	打斧	15.0・6.3・1.7	172	砂	黒	41住153	
96	20住	7	打斧	8.2・7.0・0.9	85	砂	青灰	20住15		114	41住	33	打斧	18.4・5.4・2.2	151	砂	黒褐	41住156	先端摩耗
96	20住	8	打斧	8.3・4.5・1.3	48	砂	黒灰	20住21		114	41住	34	打斧	11.3・4.3・1.2	54	砂	黒灰	41住146	
96	20住	9	剥片石器	6.0・5.0・1.4	42	粘	黒灰	20住4		114	41住	35	打斧	12.1・5.3・1.2	100	粘	黒灰	41住154	
96	20住	10	粗製石匙	6.6・5.7・0.8	35	砂	黒灰	20住		114	41住	36	打斧	8.4・4.2・1.1	49	砂	黒灰	41住179	
99	21住	26	打斧	13.5・4.8・2.1	120	砂	黒灰	21住34		114	41住	37	打斧	10.2・6.0・2.2	144	砂	黒灰	41住157	
99	21住	27	打斧	10.4・6.6・1.5	111	砂	黒灰	21住130		114	41住	38	打斧	9.3・5.1・1.4	78	砂	黒灰	41住171	
99	21住	28	打斧	8.9・4.4・1.4	80	凝	緑	21住156		114	41住	39	打斧	11.4・5.0・1.4	62	砂	黒灰	41住195	
99	21住	29	打斧	9.9・5.6・1.2	94	砂	黒灰	21住	先端摩耗	114	41住	40	打斧	10.1・4.5・2.0	105	砂	灰	41住147	先端摩耗
99	21住	30	打斧	16.1・7.7・2.5	23	砂	黒灰	21住45		114	41住	41	打斧	9.1・5.2・1.5	88	凝	緑灰	41住168	
99	21住	31	打斧	6.0・5.0・1.4	56	砂	黒灰	21住		114	41住	42	打斧	8.5・6.9・1.4	98	砂	黒灰	41住169	
99	21住	32	打斧	6.1・5.2・0.8	26	砂	黒灰	21住151		114	41住	43	打斧	8.2・4.3・1.5	56	砂	黒灰	41住175	
99	21住	33	打斧	7.3・5.3・1.1	66	砂	灰	21住106		114	41住	44	打斧	7.7・5.5・1.1	50	頁	黒灰	41住66	
99	21住	34	打斧	7.9・5.5・1.4	68	砂	灰褐	21住71		114	41住	45	剥片石器	9.8・5.5・1.2	62	砂	黒灰	41住196	
99	21住	35	打斧	7.7・5.5・1.1	59	砂	灰白	21住152		114	41住	46	剥片石器	9.2・4.3・0.7	38	砂	黒灰	41住114	
99	21住	36	打斧	5.9・6.1・0.8	43	粘	黒灰	21住109		114	41住	47	剥片石器	12.4・7.9・1.3	121	頁	緑灰	41住143	
99	21住	37	打斧	8.0・4.7・1.3	55	砂	緑	21住127	摩耗	114	41住	48	剥片石器	12.4・5.3・2.1	121	砂	灰	41住145	
99	21住	38	打斧	9.0・4.4・1.2	56	砂	黒灰	21住12		114	41住	49	粗製石匙	8.2・8.1・1.1	76	粘	黒灰	41住170	
99	21住	39	剥片石器	10.2・8.0・1.4	134	砂	黒灰	21住27		114	41住	50	粗製石匙	6.5・5.3・0.8	30	砂	黒灰	41住	
99	21住	40	剥片石器	10.4・5.2・0.7	32	砂	黒灰	21住128		114	41住	51	剥片石器	7.8・4.6・1.2	58	砂	灰	41住173	
99	21住	41	剥片石器	9.0・4.2・1.0	40	砂	青灰	21住155		114	41住	52	粗製石匙	5.3・5.1・0.6	24	頁	黒灰	41住65	
99	21住	42	剥片石器	8.2・5.6・0.8	35	砂	灰	21住66		114	41住	53	小形磨斧	7.2・3.1・1.3	50	凝	緑	41住178	
99	21住	43	剥片石器	10.3・5.0・1.2	60	砂	黒灰	21住153		115	41住	54	凹石	9.6・8.1・3.9	409	安	褐	41住165	
99	21住	44	剥片石器	6.4・5.3・1.2	39	砂	灰褐	21住166		115	41住	55	凹石	10.5・6.8・4.2	448	安	黒褐	41住162	
99	21住	45	磨斧	21.4・5.9・4.5	940	凝	緑	21住150		115	41住	56	凹石	10.8・7.7・3.6	438	安	灰	41住163	
99	21住	46	凹石	11.5・8.0・6.1	724	安	黄褐	21住17		115	41住	57	凹石	11.7・6.4・3.8	440	安	灰	41住184	
99	21住	47	凹石	11.5・6.6・4.2	468	安	灰褐	21住163		115	41住	58	凹石	12.1・8.2・5.5	664	安	灰褐	41住151	
99	21住	48	凹石	11.0・7.2・4.2	467	安	灰黄	21住48		115	41住	59	凹石	10.1・9.0・5.9	631	安	黒灰	41住159	
100	21住	49	磨石?	20.0・5.6・6.9	1100	閃	黄褐	21住143		115	41住	60	凹石	10.8・9.9・4.7	658	安	黒灰	41住164	
100	21住	50	磨石?	11.0・8.4・8.0	1140	安	灰褐	21住52・3住75		115	41住	61	凹石	11.6・8.5・4.0	488	安	黒褐	41住158	
100	21住	54	石鏝	3.0・1.5・0.4	1.0	黒	黒	21住炉		115	41住	62	磨石	11.3・8.3・3.9	540	砂	赤褐	41住148	
100	22住	20	ユーフレ	3.8・2.0・0.9	4	黒	黒	22住2		115	41住	63	石核	5.7・5.6・2.0	79	黒	黒	41住58	
102	23住	22	打斧	8.3・4.4・1.9	80	砂	灰	23住96		115	41住	64	石鏝	2.5・2.0・0.5	1.1	黒	黒	41住ピット8	
102	23住	23	剥片石器	7.5・4.4・1.1	34	砂	青灰	23住98		115	41住	65	石鏝	3.8・1.4・1.0	3.4	黒	黒	41住	
102	23住	24	凹石	11.4・5.6・4.2	37	安	灰白	23住炉3		115	41住	66	石皿	24.9・20.0・7.6	5120	安	灰褐	41住150・183	
102	23住	25	磨石	10.5・7.9・3.6	425	安	灰褐	23住119		119	42住	63	打斧	11.5・5.3・0.9	117	ホ	白褐	42住235	先端摩耗
103	24住	12	凹石	12.5・6.0・3.5	421	安	灰褐	24住67		119	42住	64	打斧	10.7・5.7・2.1	150	砂	黒灰	42住239	先端摩耗
103	24住	13	凹石	12.5・7.7・3.0	388	安	褐白	24住69		119	42住	65	打斧	10.7・6.1・1.0	81	砂	黒灰	42住	
103	24住	14	ユーフレ	3.6・2.5・0.6	5.9	黒	黒	24住		119	42住	66	打斧	10.0・6.4・1.8	136	砂	黒灰	42住182	
103	24住	15	石皿	23.5・17.5・7.0	2850	安	灰	24住68		119	42住	67	打斧	17.1・6.5・2.4	234	砂	緑	42住180	先端摩耗
103	25住	3	叩き石?	20.2・5.9・3.6	635	安	緑褐	25住3		119	42住	68	打斧	10.0・4.8・1.3	57	砂	黒灰	42住190	
103	25住	4	剥片石器	6.5・6.1・1.2	58	安	灰褐	25住4		119	42住	69	打斧	10.1・6.4・2.3	104	砂	黒灰	42住	
103	25住	5	打斧	7.4・6.6・1.0	49	粘	黒灰	25住ピット1		119	42住	70	打斧	7.8・5.0・1.4	76	砂	緑灰	42住	
104	26住	13	打斧	4.0・11.1・1.4	68	砂	黒灰	26住17		119	42住	71	打斧	8.2・4.1・1.3	54	粘	黒灰	42住	
104	26住	14	打斧	11.2・5.2・2.2	94	砂	黒灰	26住1		119	42住	72	打斧	8.2・4.5・1.6	78	砂	黒灰	42住172	
104	26住	15	打斧	8.4・5.9・1.7	94	砂	黒灰	26住16		119	42住	73	打斧	6.9・4.1・1.0	39	砂	黒灰	42住	
104	26住	16	剥片石器	11.5・6.2・2.4	167	砂	灰褐	26住37		119	42住	74	打斧	8.1・4.7・0.8	42	砂	黒灰	42住170	
105	26住	17	凹石	11.2・6.6・4.0	373	安	灰褐	26住20		119	42住	75	打斧	7.5・4.4・1.4	58	砂	黒灰	42住165	
105	26住	18	凹石	11.9・6.6・3.6	420	安	赤褐	26住30		119	42住	76	打斧	8.2・4.9・1.7	78	砂	黒灰	42住	
105	26住	19	磨石	8.7・6.7・4.7	272	安	暗灰	26住42		119	42住	77	打斧	7.6・5.0・0.9	181	砂	黒灰	42住181	
105	26住	20	ユーフレ	3.2・2.0・0.8	3.9	黒	黒	26住		119	42住	78	打斧	7.4・5.0・0.8	35	砂	黒灰	42住	先端摩耗
105	26住	21	ユーフレ	2.7・2.4・0.8	3	黒	黒	26住		119	42住	79	打斧	5.4・5.1・1.4	46	砂	黒灰	42住	
105	27住	12	打斧	15.3・5.2・1.5	106	砂	黒灰	27住21		120	42住	80	打斧	6.2・6.1・1.0	47	粘	黒灰	42住244	
105	27住	13	ユーフレ	2.6・1.5・0.5	1.3	黒	黒	27住		120	42住	81	打斧	5.1・4.7・0.9	29	砂	黒灰	42住	
105	27住	14	ユーフレ	1.8・1.5・0.4	1	黒	黒	27住		120	42住	82	打斧	5.2・4.5・1.8	48	砂	黒灰	42住	
105	28住	3	打斧	7.2・6.2・1.4	78	粘	黒灰	28住8		120	42住	83	打斧	6.6・4.9・1.0	36	砂	黒灰	42住	
105	28住	4	打斧	7.3・4.5・1.2	44	砂	黒灰	28住		120	42住	84	打斧	5.6・3.8・0.9	27	頁	黒灰	42住189	
105	28住	5	剥片石器	10.0・5.9・1.5	80	砂	黒灰	28住3		120	42住	85	剥片石器	5.9・5.3・0.9	28	砂	黒灰	42住ピット10	
105	28住	6	剥片石器	7.6・5.5・1.1	47	粘	黒灰	28住		120	42住	86	剥片石器	11.3・6.8・1.3	112	砂	緑	42住241	
107	31住	17	打斧	9.0・7.0・3.6	309	凝	緑	31住135		120	42住	87	剥片石器						

石材略名 砂-砂岩 粘-粘板岩 安-安山岩 黒-黒曜石 ホ-ホルンフェルス  
 緑-緑色片岩 凝-凝灰岩 緑凝-緑色変質凝灰岩 閃-閃緑岩 頁-頁岩  
 緑片-緑色片岩 デ-デイサイト 花-花崗岩類 火凝-火山凝灰岩

図版	地点	番号	分類	長・幅・厚cm	g	石材	色調	注記内容	備考	図版	地点	番号	分類	長・幅・厚cm	g	石材	色調	注記内容	備考
124	52住	5	剥片石器	10.0・5.6・1.0	69	砂	青灰	52住ピット8-8		140	111土	10	打斧	6.0・8.6・1.8	74	砂	黒灰	111土31	
124	52住	6	凹石	8.4・6.9・3.9	284	デ	褐白	52住14		141	111土	11	打斧	8.6・7.0・0.1.6	125	砂	青灰	111土20	
124	52住	7	凹石	10.5・6.4・4.1	395	安	黒	52住10		141	111土	12	打斧	9.9・6.3・1.9	105	砂	黒灰	111土12	
124	52住	8	石皿	14.2・13.6・5.0	1100	安	暗灰褐	52住13		141	111土	13	打斧	9.1・8.1・1.7	153	頁	青灰	111土11	
124	54住	1	叩き石	10.8・8.1・5.1	573	安	黒褐	54住4		141	111土	14	剥片石器	7.2・9.2・1.3	79	頁	緑	111土19	
124	54住	2	凹石	8.0・7.6・4.5	258	安	灰	54住3		141	121土	2	磨斧	5.6・4.4・2.9	92	凝	緑	121土	
124	54住	3	石鏃	2.4・1.7・0.4	0.9	黒	黒	54住		142	123土	9	打斧	11.6・3.8・1.1	49	砂	黒灰	123土6	
124	54住	4	ユーフレ	3.2・2.1・1.1	4.6	黒	黒	54住		142	123土	10	打斧	6.5・5.8・1.5	59	砂	青灰	123土	
125	55住	16	打斧	12.3・5.6・1.3	118	砂	黒灰	55住78		142	123土	11	凹板状	4.4・4.0・0.4	16	粘	黒青	123土4	
125	55住	17	打斧	6.6・5.7・2.2	106	砂	黒灰	55住		142	124土	5	打斧	13.4・7.6・2.9	281	木	灰褐	124土1	
125	55住	18	剥片石器	8.0・5.6・1.0	51	砂	灰	55住		142	124土	6	打斧	5.9・4.5・1.2	41	砂	灰	124土	
125	55住	19	打斧	5.1・5.0・0.9	30	砂	灰	55住		142	125土	1	打斧	8.0・5.1・0.8	39	凝	緑	125土	
125	55住	20	剥片石器	4.8・4.7・1.3	26	砂	黒灰	55住		142	125土	2	石皿	10.6・17.8・9.3	2040	安	赤褐	123土	
125	55住	21	粗製石匙	4.9・5.0・0.9	24	頁	黒	55住竈8		143	127土	9	打斧	11.4・7.7・2.5	224	砂	青灰	127土11	
125	55住	22	砥石	6.4・6.3・3.0	180	安	黒灰	55住		143	127土	10	打斧	9.9・5.2・1.9	78	砂	青灰	127土	摩耗
125	55住	23	石鏃	2.2・1.3・0.2	0.3	黒	黒	55住62		143	127土	11	打斧	9.3・5.8・0.9	60	砂	黒灰	127土	
125	55住	24	ユーフレ	4.0・1.9・1.0	5.2	黒	黒	55住63		143	127土	12	打斧	7.4・6.6・0.8	51	頁	灰褐	127土	
126	56住	21	打斧	11.9・5.9・1.1	124	砂	灰白	56住61	先端摩耗	143	127土	13	剥片石器	5.1・6.0・0.8	27	頁	青灰	127土	
126	56住	22	剥片石器	9.9・5.7・0.8	53	砂	黒灰	56住59		143	127土	14	剥片石器	5.4・9.2・0.8	54	頁	黒灰	127土	
126	56住	23	剥片石器	7.0・4.1・1.3	45	砂	褐	56住		143	127土	15	凹石	10.0・11.5・5.9	743	安	灰	127土15	
126	56住	24	凹石	12.5・9.8・6.4	980	安	灰褐	56住58		143	127土	16	凹石	11.9・8.1・5.2	722	安	灰	127土17	
127	56住	25	石皿	34.1・24.2・10.5	11700	安	灰	56住71	未製品	143	137土	1	剥片石器	3.6・8.2・1.3	44	砂	灰	137土11	
127	56住	26	棒状礫	20.4・5.8・3.9	742	砂	緑白	56住60		143	138土	4	打斧	9.5・5.2・2.5	109	砂	灰褐	138土16	
127	56住	27	石鏃	1.6・1.3・0.4	0.5	黒	黒	56住70		143	142土	2	磨石	10.1・6.7・6.1	544	砂	灰褐	142土(61住)2	
127	56住	28	石鏃	2.7・1.6・0.4	0.9	黒	黒	56住		144	146土	7	打斧	8.7・5.9・2.7	155	砂	灰	146土1	
128	57住	9	打斧	7.4・4.5・1.1	43	粘	黒灰	57住ピット1		144	146土	8	剥片石器	8.5・8.5・2.7	203	砂	青灰	146土	
128	57住	10	打斧	8.0・6.3・1.3	80	砂	灰	57住13		144	150土	11	凹石	10.6・6.5・3.9	342	安	黒灰	150土8	
128	57住	11	剥片石器	9.3・8.0・3.0	211	砂	青灰	57住15		144	151土	2	凹石	10.7・6.2・4.1	385	安	黒青	151住1	
128	57住	12	剥片石器	6.4・5.1・0.8	29	砂	青灰	57住9		144	153土	4	打斧	10.1・4.9・2.3	116	砂	黒青	153土4	
128	57住	13	磨斧	9.7・4.5・3.2	260	凝	緑	57住3		145	168土	2	凹石	11.0・9.2・5.1	669	安	灰	168土1	
128	57住	14	凹石	8.5・6.6・3.2	216	安	黒灰	57住2		145	170土	1	ユーフレ	3.9・2.3・1.2	6.7	黒	黒	170土	
128	57住	15	石皿	15.0・12.1・5.6	1350	安	灰褐	57住29		145	175土	1	石鏃	2.0・1.9・0.5	1.1	黒	黒	175土	
128	57住	16	石皿	25.7・24.2・7.2	5970	安	灰	57住26		145	180土	1	打斧	6.3・5.1・1.4	63	砂	灰白	180土	
128	57住	17	ユーフレ	2.4・1.8・0.4	0.8	黒	黒	57住16		145	184土	1	剥片石器	4.9・8.3・1.5	54	砂	黒青	184土	
128	58住	1	打斧	10.9・4.6・1.6	110	砂	黒灰	58住1		145	190土	1	石鏃	6.8・6.3・1.8	99	砂	青灰	190土	打欠
129	59住	7	打斧	6.6・6.0・1.6	78	砂	灰	59住2		145	195土	1	打斧	11.9・5.0・1.9	46	木	灰褐	195土2	
129	59住	8	叩き石	14.9・7.9・5.8	1180	安	緑灰	59住炉2		145	195土	2	打斧	11.0・7.2・2.4	211	砂	灰	195土4	
129	59住	9	叩き石	17.9・8.5・5.7	1240	安	灰白	59住炉3		145	195土	3	打斧	10.2・5.5・1.4	76	砂	灰	195土	
129	60住	2	凹石	10.6・8.3・3.9	474	安	灰	60住3		145	195土	4	打斧	9.5・5.8・2.2	142	砂	青灰	195土1	
129	61住	2	磨斧	6.4・3.2・1.6	69	凝	緑	61住6		145	195土	5	剥片石器	5.7・8.8・1.0	44	砂	灰褐	195土	
129	61住	3	ユーフレ	6.2・4.1・1.3	26	黒	黒	61住ピット6		145	195土	6	叩き石	10.4・9.2・4.4	586	安	灰	195土5	
129	61住	4	ユーフレ	4.0・1.6・1.1	4.4	黒	黒	61住ピット6		145	203土	1	打斧	5.5・5.9・1.6	39	凝	緑	203土	
129	61住	5	石核	3.8・3.3・0.7	12.6	黒	黒	61住ピット6		146	224土	7	打斧	35.1・12.6・3.9	1800	頁	黒褐	224土4	石鏃
130	62住	5	叩き石	13.3・7.7・4.6	602	閃	灰褐	62住炉14		146	228土	1	石核	2.6・3.3・2.9	21.2	黒	黒	228土	
130	62住	6	剥片石器	9.6・6.0・1.2	72	砂	灰	62住ピット4		147	235土	3	打斧	9.9・6.3・3.4	200	砂	黒褐	235土21	
130	62住	7	磨斧	6.8・3.5・1.6	59	凝	緑	62住ピット4		147	246土	5	打斧	7.8・4.7・1.3	67	砂	黒灰	246土12	
130	63住	4	打斧	8.1・5.2・1.0	48	砂	黒灰	63住28		147	246土	6	石鏃	1.8・1.3・0.3	0.5	黒	黒	246土	
130	64住	4	砥石	7.8・4.1・3.4	132	凝	褐	64住1		147	250土	1	凹石	11.0・8.6・4.8	668	安	灰褐	250土1	
130	64住	5	打斧	9.5・5.8・2.0	155	砂	灰	64住竈B3		148	252土	4	磨石	7.5・8.2・4.0	317	閃	赤褐	252土8	
130	65住	5	剥片石器	8.5・6.0・1.8	96	砂	青灰	65住5		148	264土	1	剥片石器	6.1・12.3・2.1	198	頁	青灰	264土1	
130	65住	6	球状石器	4.2・4.1・3.8	86	安	灰	65住3		149	268土	7	石皿	16.7・14.6・4.6	1480	安	灰褐	268土2	
130	65住	7	ユーフレ	5.6・3.4・1.6	26	黒	黒	65住		149	269土	1	石皿	20.9・22.9・9.6	6000	安	灰褐	269土15	
131	1土	2	剥片石器	4.4・9.1・1.6	70	頁	黒	1土1		149	270土	4	凹石	25.5・12.9・8.6	3020	安	灰	270土18	大型
131	3土	6	粗製石匙	3.9・8.8・0.9	36	砂	灰褐	3土12		149	270土	5	凹石	7.6・9.1・3.3	269	安	灰褐	270土17	
131	19土	1	粗製石匙	3.9・6.3・1.1	22	頁	灰	19土		149	270土	6	砥石	14.4・13.5・6.3	1370	砂	褐	270土28	
131	32土	1	剥片石器	6.3・4.3・0.9	34	砂	黒灰	32土		149	271土	2	砥石	6.6・3.9・1.6	48	頁	緑	271土1	
131	34土	1	打斧	9.1・5.8・1.1	74	砂	黒灰	34土		150	276土	1	打斧	8.5・5.6・0.8	37	凝	緑	276土	
131	35土	3	凹石	12.4・9.2・5.3	760	安	灰褐	35土428		150	280土	4	砥石	3.4・3.9・1.9	27	砂	青灰	280土	
132	35土	4	凹石	13.3・9.1・5.0	860	安	灰褐	35土425		150	283土	1	打斧	9.5・7.1・1.9	136	砂	灰	283土1	
132	36土	4	打斧	11.0・5.5・1.2	69	砂	灰	36土		153	集石	66	石板	8.6・2.9・0.3	24	粘	黒	集石87	
132	39土	3	磨石	20.2・9.1・6.3	1640	安	灰褐	39土4		153	集石	67	砥石	7.5・2.6・1.6	54	凝	黒青	集石9345	
132	39土	4	石核	14.5・12.8・6.2	1490	砂	灰褐	39土3		153	集石	68	打斧	15.7・7.0・2.0	250	頁	黒青	集石9343	
133	42土	4	石核	3.8・6.1・1.9	35	黒	黒	42土6		153	集石	69	打斧	12.4・7.9・2.3	279	砂	黒灰	集石9341	
134	45土	28	打斧	11.1・3.6・1.6	65	粘	黒灰	45土21		153	集石	70	剥片石器	10.1・4.6・0.8	50	木			

図版地点	番号	分類	長・幅・厚cm	g	石材	色調	注記内容	備考
157 池状	93	凹石	9.6・7.1・3.8	338	安	灰褐	14住45	
157 池状	94	凹石	10.5・10.2・5.5	769	安	灰褐	14住26	
157 池状	95	石鏝	1.7・1.9・0.3	0.6	黒	黒	14住	
157 池状	96	石鏝	2.0・1.9・0.7	2.2	黒	黒	14住8	
157 池状	97	石鏝	5.2・1.0・0.6	2.7	黒	黒	14住	
157 池状	98	石核	3.5・4.4・2.3	36	黒	黒	14住	
157 1溝	1	打斧	14.2・2.7・1.8	235	眞	赤褐	1溝K38C	
157 4溝	4	打斧	13.8・5.9・1.6	167	砂	灰	4溝	
157 4溝	5	打斧	10.6・5.4・1.6	98	砂	灰	4溝	
157 4溝	6	打斧	11.6・4.7・1.9	93	砂	黒灰	4溝38	
157 4溝	7	打斧	7.9・6.0・1.7	105	砂	黒灰	4溝M34a	
158 4溝	8	打斧	5.7・5.2・1.4	52	砂	黒灰	4溝	
158 4溝	9	打斧	5.4・5.5・1.6	46	砂	黒灰	4溝	
158 4溝	10	剥片石器	6.9・8.2・0.8	42	眞	灰	4溝	
158 4溝	11	剥片石器	5.9・7.9・1.4	69	砂	灰	4溝17	
158 4溝	12	打斧	4.9・5.3・1.9	57	砂	灰	4溝	
158 4溝	13	磨石	4.7・7.4・4.1	176	安	赤褐	4溝M34a	
158 4溝	14	凹石	14.4・12.3・7.3	2040	安	灰褐	4溝59	
158 4溝	15	石皿	21.5・18.5・4.8	2450	安	灰	4溝53	
159 5溝	12	打斧	12.7・6.0・2.2	188	砂	黒灰	5溝18	
159 5溝	13	打斧	10.4・4.4・1.3	95	砂	黒灰	5溝99	先端摩耗
159 5溝	14	打斧	10.7・7.2・2.1	172	砂	黒灰	5溝154	
159 5溝	15	打斧	10.2・3.8・1.2	54	砂	灰褐	5溝	
159 5溝	16	打斧	10.4・6.1・2.1	120	砂	灰	5溝168	
159 5溝	17	打斧	8.3・4.2・1.1	42	砂	灰褐	5溝	
159 5溝	18	打斧	5.9・5.3・1.4	51	砂	黒青	5溝169	
159 5溝	19	打斧	6.6・5.6・2.2	99	砂	灰	5溝	
159 5溝	20	打斧	9.1・6.9・1.4	114	眞	黒灰	5溝26	
159 5溝	21	打斧	6.6・9.1・1.9	120	砂	灰	5溝167	
159 5溝	22	打斧	4.2・3.6・0.7	15	砂	褐	5溝	
159 5溝	23	打斧	5.6・4.9・1.2	36	眞	緑灰	5溝R34c	
159 5溝	24	打斧	3.9・6.3・1.1	33	砂	灰	5溝	
159 5溝	25	打斧	4.5・4.6・1.4	31	砂	灰	5溝	
159 5溝	26	磨石	7.3・12.3・5.6	810	安	灰	5溝173	
159 8溝	3	剥片石器	6.8・10.7・0.9	68	眞	黒青	8溝2	
159 8溝	4	打斧	8.9・5.3・1.5	64	砂	青灰	8溝	
159 8溝	5	打斧	7.8・6.3・2.2	122	砂	灰	8溝	
160 10溝	4	打斧	7.9・5.6・1.0	55	眞	黒灰	10溝	
160 10溝	5	剥片石器	5.3・5.2・0.9	38	眞	緑	10溝36	
160 10溝	6	磨石	17.9・6.2・3.8	531	火凝	緑灰	10溝60	
160 11溝	10	打斧	17.1・9.0・1.8	335	眞	黒青	11溝8	
160 11溝	11	打斧	7.9・3.3・1.1	31	砂	黒青	11溝	
160 11溝	12	石皿	35.7・22.3・8.5	8600	安	灰褐	11溝1	
161 11溝	13	丸石	17.4・17.2・12.1	4940	花	白褐	11溝7	
161 11溝	14	剥片石器	9.2・8.0・1.4	93	砂	青灰	11溝	
161 11溝	15	打斧	9.4・4.4・1.5	75	砂	灰	11溝193(N36)	
162 P31a	25	打斧	10.4・4.2・0.9	54	砂	灰	P31a	
162 Q38c	26	打斧	11.4・10.5・1.5	100	眞	緑灰	J38c	
162 Q31b	27	打斧	11.7・5.3・1.9	148	ホ	灰褐	Q31b	
162 Q33d	28	打斧	12.6・6.0・2.2	179	砂	灰青	Q33d	
162 Q39b	29	打斧	13.8・5.9・1.5	158	砂	黒灰	Q39b	
162 H40a	30	打斧	13.6・5.6・1.3	104	砂	青灰	237士1	
162 S31d	31	打斧	10.7・3.9・1.1	43	砂	灰	S31d	
162 N38b	32	打斧	10.7・4.6・1.0	54	砂	灰青	N38b	

表5-(4) 石器観察表

図版地点	番号	分類	長・幅・厚cm	g	石材	色調	注記内容	備考
162 M35a	33	打斧	11.5・5.3・1.8	110	ホ	黄褐	M35a	
162 M37b	34	打斧	8.5・4.6・2.1	87	眞	灰	M37b	
162 N35b	35	打斧	8.5・4.7・1.6	65	砂	灰	N35b	
162 T31b	36	打斧	7.1・4.3・0.8	30	砂	灰	T31b	
162 G40b	37	打斧	7.1・3.9・0.8	24	砂	灰青	G40b	
162 L35d	38	打斧	7.5・5.7・1.5	63	砂	灰	L35d	
162 L35c	39	打斧	7.4・6.7・1.5	90	砂	灰	L35c	
162 M32b	40	打斧	7.5・5.0・2.8	110	砂	灰	M32b	
162 N32b	41	打斧	8.4・5.2・2.3	140	砂	灰	N32b	
162 P33a	42	打斧	7.4・5.9・3.1	114	砂	灰	P33a	
162 L41a	43	打斧	7.3・5.7・2.0	100	砂	灰	L41a	
162 N31b	44	打斧	5.6・5.3・1.3	40	砂	灰	N31b	先端摩耗
162 Q30	45	打斧	5.7・4.7・1.1	26	砂	灰	Q30	
162 N37b	46	打斧	4.9・4.0・0.7	19	眞	灰	N37b	
162 1223	47	剥片石器	6.3・6.3・1.3	43	砂	緑褐	R29c 1223	
162 O31b	48	剥片石器	6.5・5.7・0.7	32	砂	灰	O31b	
163 表探	49	剥片石器	9.7・8.9・1.5	130	砂	灰	表探	
163 M32b	50	剥片石器	7.5・7.0・1.3	80	ホ	灰	M32b	
163 O29d	51	剥片石器	9.8・5.4・1.0	41	眞	灰	O29d	
163 P31b	52	剥片石器	7.8・6.7・1.6	85	砂	灰	P31b	
163 M37b	53	剥片石器	8.1・5.4・0.8	36	砂	灰	M37b	
163 O30b	54	剥片石器	9.2・4.8・1.3	62	眞	灰	O30b	
163 H38c	55	剥片石器	9.8・5.5・1.0	58	砂	灰	H38c	
163 L35a	56	石核	12.1・10.1・4.7	579	砂	灰	L35a	
163 L35c	57	凹石	10.8・9.6・5.1	632	安	黒灰	L35c	
163 N34a	58	凹石	8.9・8.5・7.3	520	安	黄褐	N34a	
163 R34d	59	磨石	9.2・8.1・4.5	375	安	灰褐	R34d	
163 M32b	60	磨石	11.1・7.6・5.8	820	安	灰褐	M32b	
163 R37	61	石皿	10.3・9.2・6.2	720	安	灰褐	R37-13	
163 U36b	62	石皿	14.3・10.6・8.1	1320	安	灰褐	U36b	
163 表探	63	石皿	10.9・10.6・6.9	741	安	灰褐	表探	赤変
163 Q30	64	磨石	5.0・3.9・2.6	80	安	緑灰	Q30	34住16
164 4溝	1	石鏝	2.9・1.8・0.5	0.5	黒	黒	4溝	
164 4溝	2	ユーフレ	2.2・1.7・1.9	2.6	黒	黒	4溝M34c	
164 4溝	3	原石	5.4・3.2・2.6	49	黒	黒	4溝	
164 5溝	4	石鏝	1.9・1.3・0.5	0.6	黒	黒	5溝	
164 8溝	5	楔状石器	2.4・2.3・1.3	5.7	黒	黒	8溝	
164 9溝	6	石核	3.8・3.7・1.2	14.1	黒	黒	9溝6	
164 11溝	7	石鏝	1.8・1.7・0.4	0.7	黒	黒	11溝	11溝94(M35)
164 11溝	8	石鏝	2.1・2.0・0.5	1.9	黒	黒	11溝	11溝211(T31) 48号住P3
164 11溝	9	石鏝	2.9・1.9・0.5	1.5	黒	黒	11溝3	
164 Q36d	10	石鏝	2.8・1.6・1.6	1.1	黒	黒	Q36d	
164 K41	11	石鏝	2.9・1.9・0.7	1.8	黒	黒	K41	
164 M35	12	石鏝	1.7・1.0・0.5	0.7	黒	黒	M35	11溝94(M35)
164 表探	13	石鏝	1.9・1.8・0.5	1.3	黒	黒	表探	
164 Q30	14	石鏝	3.5・1.4・0.8	2.1	黒	黒	Q30	34住
164 集石	15	石鏝	3.9・1.5・1.1	4.2	黒	黒	集石	ホチ
164 Q30	16	石鏝	2.3・1.2・0.7	1.3	黒	黒	Q30	34住
164 1190	17	ユーフレ	2.7・2.6・0.6	1.9	黒	黒	1190	1190(N33)
164 表探	18	石匙	3.4・2.3・0.9	5.3	黒	黒	表探	
164 表探	19	ユーフレ	2.7・1.8・0.8	3.3	黒	黒	表探	
164 M35c	20	ユーフレ	2.2・1.9・0.6	1.8	黒	黒	M35c	
164 表探	21	剥片石器	6.6・3.6・1.0	25.3	黒	黒	表探	
164 表探	22	石核	6.4・5.7・4.4	168	黒	黒	表探	

図版地点	番号	種別	材質	長・幅・厚cm	g	注記内容	備考
72 1住	5	釘	鉄	3.1・1.5・0.8	5.8	1住3	
73 3住	12	鎌	鉄	16.2・2.9・0.6	51.0	3住26	
73 3住	13	ノミ?	鉄	11.9・1.7・0.9	27.9	3住4	
73 3住	14	釘	鉄	2.3・0.6・0.6	1.4	3住50	
92 15住	14	釘	鉄	4.5・0.9・0.9	6.5	15住12	
93 16住	26	釘?	鉄	6.6・1.1・0.8	7.2	16住33	
93 16住	27	釘?	鉄	3.0・1.9・1.1	9.1	16住	
93 16住	28	釘?	鉄	3.6・0.8・0.8	5.5	16住	
94 17住	12	釘	鉄	8.3・1.2・1.2	14.9	17住22	
94 17住	13	釘	鉄	2.7・1.0・0.8	3.1	17住14	
94 17住	14	釘	鉄	4.4・0.9・1.0	7.2	17住39	
96 18住	33	釘	鉄	7.7・1.2・1.3	23.2	18住66	
100 21住	51	釘	鉄	4.4・1.3・0.9	6.6	21住46	
100 21住	52	釘	鉄	8.2・1.6・0.9	13.0	21住46	
100 21住	53	釘	鉄	14.4・4.0・1.0	31.1	21住	
100 22住	18	釘?	鉄	3.2・0.5・0.4	1.0	22住	
100 22住	19	釘	鉄	4.3・0.9・0.7	8.6	22住	
105 27住	10	刀子	鉄	2.0・3.3・0.7	6.3	27住	
105 27住	11	鎌?	鉄	7.7・1.0・0.7	7.9	27住	
109 38住	9	刀子	鉄	4.1・0.8・0.4	2.0	38住籠	
110 40住	14	釘	鉄	3.3・0.6・0.2	1.2	40住	
122 44住	5	釘	鉄	3.5・3.5・1.0	9.8	44住9	
122 44住	6	釘?	鉄	2.5・2.2・1.0	4.8	44住9	
122 44住	7	不明	鉄	7.5・3.3・1.9	29.8	44住9	
122 44住	8	不明	鉄	3.1・1.0・1.0	3.5	44住9	
122 47住	2	火打ち金	鉄	5.6・1.6・0.7	8.9	47住炉	
123 50住	15	照寧元寶	銅	2.4・2.0・1.1	2.6	50住56	篆書・北宋・1068
131 25士	1	釘	鉄	6.2・1.0・4.5	4.4	25士	
131 33士	1	釘	鉄	4.7・1.0・0.9	11.4	33士	
141 113士	1	寛永通宝	銅	2.5・2.5・0.1	3.6	113士18	新寛永
141 113士	2	寛永通宝	銅	2.3・2.3・0.1	3.9	113士20	古寛永
141 113士	3	寛永通宝	銅	2.6・2.6・0.1	2.1	113士17	新寛永
141 113士	4	寛永通宝	銅	2.5・2.5・0.1	3.8	113士15	新寛永
141 113士	5	寛永通宝	銅	2.5・2.5・0.1	3.9	113士16	新寛永(文銭)
141 113士	6	寛永通宝	銅	2.5・2.5・0.1	3.4	113士19	新寛永(文銭)
145 189士	1	釘	鉄	8.1・1.7・1.0	27.0	189士1	
146 217士	1	寛永通宝	銅	2.3・2.3・0.1	3.2	217士	新寛永
146 223士	1	釘	鉄	6.1・0.8・0.4	4.9	223士	
148 267士	1	寛永通宝	銅	2.3・2.3・0.1	2.4	267士1	古寛永
148 268士	1	寛永通宝	銅	2.5・2.5・0.1	3.1	268士12d	新寛永
148 268士	2	寛永通宝	銅	2.3・2.3・0.1	2.6	268士12b	新寛永
148 268士	3	寛永通宝	銅	2.5・2.5・0.1	3.0	268士12c	古寛永
148 268士	4	寛永通宝	銅	2.3・2.3・0.1	2.8	268士12f	新寛永(文銭)
148 268士	5	寛永通宝	銅	2.5・2.5・0.1	3.9</		



図版	番号	遺構	A	B	C	D	E	F	G	石材	kg	注記	残%	備考	
165	1	集石	9.2	9.3	8.9	8.1	1.4	-	-	凝灰	0.59	321	95	D	
165	2	集石	11.2	10.4	9.8	6.4	1.4	-	-	凝灰	1.09	602	100	C	
165	3	集石	11.8	11.7	10.9	8.0	1.5	-	-	凝灰	1.49	226	100	D	
165	4	集石	12.2	10.6	9.6	6.8	1.4	-	-	凝灰	1.31	283	100	D	
165	5	集石	12.1	10.8	11.0	8.1	1.1	-	-	凝灰	1.25	303	100	C	
165	6	集石	12.2	11.1	10.5	7.9	1.4	-	-	凝灰	0.96	687	100	C	
165	7	集石	12.4	10.8	10.0	7.1	1.8	-	-	凝灰	1.28	593	100	D	
165	8	集石	11.8	11.2	10.8	7.9	1.7	-	-	凝灰	1.16	312	100	C	
165	9	集石	12.7	12.5	11.5	7.8	1.1	-	-	凝灰	1.24	624	100	D	
165	10	集石	13.2	11.1	10.3	6.3	1.1	-	-	凝灰	1.10	324	75	C	
165	11	集石	13.3	11.8	11.3	7.7	1.6	-	-	凝灰	1.80	261	90	C	
165	12	集石	13.1	12.4	11.5	7.8	1.5	-	-	凝灰	1.47	653	100	C	
165	13	集石	13.4	11.4	10.2	7.3	2.0	-	-	凝灰	1.22	594	100	C	
165	14	集石	13.4	11.6	11.3	7.9	2.3	-	-	凝灰	1.25	322	90	C	
165	15	集石	13.4	11.7	11.2	7.6	1.9	-	-	凝灰	1.48	662	100	C	
165	16	集石	14.2	12.2	11.5	7.9	1.3	-	-	凝灰	2.20	694	100	D	
165	17	集石	13.4	13.3	12.3	8.1	1.9	-	-	凝灰	1.87	272	100	D	
165	18	集石	13.6	11.6	11.2	7.8	1.8	-	-	凝灰	1.44	580	95	C	
165	19	集石	13.6	11.8	11.1	8.2	1.7	-	-	凝灰	1.35	245	100	C	
165	20	集石	13.4	12.9	12.1	9.2	1.7	-	-	凝灰	1.58	264	100	C	
165	21	集石	14.3	10.8	10.2	5.2	1.3	-	-	凝灰	1.36	609	100	C	
165	22	集石	13.4	13.6	12.1	9.9	1.7	-	-	凝灰	1.95	284	70	C	
165	23	集石	14.5	11.3	10.6	8.0	1.7	-	-	凝灰	1.95	613	100	C	
165	24	集石	14.5	11.0	10.9	7.5	2.0	-	-	凝灰	1.66	585	100	C	
165	25	集石	14.0	12.1	11.1	8.8	1.3	-	-	凝灰	2.01	252	100	C	
165	26	集石	14.1	11.9	10.9	7.0	-	-	-	凝灰	1.44	588	100	C	
165	27	集石	15.8	11.4	10.8	8.1	3.3	-	-	凝灰	1.70	569	90	B	
165	28	集石	15.8	12.1	11.5	8.4	1.7	-	-	凝灰	1.62	620	100	D	
165	29	集石	13.7	13.7	12.9	8.9	1.6	-	-	凝灰	2.32	598	95	D	
165	30	集石	14.3	12.7	11.9	8.5	1.4	-	-	凝灰	1.91	240	95	D	
165	31	集石	14.2	13.4	11.7	8.9	2.0	-	-	凝灰	2.54	298	100	D	
165	32	集石	14.6	11.9	11.1	7.8	1.8	-	-	凝灰	1.72	567	98	C	
165	33	集石	14.8	10.3	10.3	8.1	1.6	-	-	凝灰	1.18	571	100	A	
165	34	集石	15.1	12.2	11.2	8.3	2.5	-	-	凝灰	1.93	308	85	B	
165	35	集石	14.8	11.8	11.2	8.0	2.1	-	-	凝灰	1.80	280	100	D	
165	36	集石	14.8	10.7	9.9	8.1	1.8	-	-	凝灰	1.84	268	100	D	
165	37	集石	15.1	11.2	11.4	8.4	2.0	-	-	凝灰	1.73	631	95	B	
165	38	集石	15.5	11.4	12.1	8.4	-	1.8	1.8	安山	1.54	238	100	A	
165	39	集石	14.9	12.1	11.8	8.2	2.3	-	-	凝灰	2.20	684	100	D	
165	40	集石	15.6	12.2	11.6	7.9	1.8	-	-	凝灰	2.19	568	100	D	
165	41	集石	15.3	13.1	11.8	7.4	1.9	-	-	凝灰	3.00	678	100	B	
165	42	集石	15.5	11.8	10.8	6.0	2.0	-	-	凝灰	1.60	278	70	B	
165	43	集石	15.7	11.9	10.9	7.1	1.0	-	-	凝灰	1.57	336	100	B	
165	44	集石	16.1	11.9	11.2	8.0	2.5	-	-	凝灰	1.80	262	85	B	
165	45	集石	16.1	10.9	10.8	8.5	2.3	-	-	凝灰	1.84	589	100	C	
165	46	集石	16.4	11.9	12.2	7.8	2.2	-	-	凝灰	2.35	661	100	C	
165	47	集石	16.9	12.1	11.0	7.8	-	-	-	凝灰	2.00	685	100	D	
165	48	集石	16.5	10.6	10.9	7.1	1.9	-	-	凝灰	1.75	619	90	A	
165	49	集石	16.4	12.5	12.0	9.4	1.9	-	-	凝灰	2.92	651	100	D	
165	50	集石	16.1	12.3	12.2	8.0	1.6	-	-	凝灰	2.21	297	100	C	
165	51	集石	15.8	12.2	12.3	8.7	2.4	-	-	凝灰	1.89	557	100	C	
165	52	集石	15.5	12.8	12.2	8.9	2.1	-	-	凝灰	2.55	294	90	C	
165	53	集石	15.5	13.0	11.8	8.7	2.3	-	-	凝灰	1.99	659	95	C	
165	54	集石	15.6	12.0	11.6	8.8	1.9	-	-	凝灰	2.24	652	100	D	
165	55	集石	15.9	13.1	12.4	8.7	1.8	-	-	凝灰	1.87	581	55	B	
165	56	集石	16.3	13.4	13.2	8.4	-	-	-	凝灰	2.57	638	100	A	
166	57	集石	15.5	13.7	12.4	9.4	1.0	-	-	凝灰	1.26	635	50	C	
166	58	集石	16.4	12.8	12.3	7.2	2.9	3.1	5.1	凝灰	1.97	232	70	C	
166	59	集石	15.9	12.7	12.0	7.9	1.4	-	-	凝灰	1.93	599	100	D	
166	60	集石	15.5	13.3	12.0	8.1	1.1	-	-	凝灰	2.16	637	90	D	
166	61	集石	15.4	13.9	15.0	10.2	2.5	-	-	凝灰	1.64	279	605	90	C
166	62	集石	16.9	13.2	12.7	8.2	2.8	-	-	凝灰	2.90	667	90	C	
166	63	集石	16.7	13.3	12.6	9.6	2.5	-	-	凝灰	2.83	263	85	B	
166	64	集石	16.7	13.8	12.6	9.2	1.4	-	-	凝灰	2.32	604	98	B	
166	65	集石	17.1	12.7	12.2	8.5	2.0	-	-	凝灰	2.56	250	100	B	
166	66	集石	16.7	12.8	11.7	7.9	1.9	-	-	凝灰	2.05	618	90	B	
166	67	集石	16.8	12.5	11.6	9.1	2.2	-	-	凝灰	2.24	608	80	C	
166	68	集石	17.4	13.7	13.1	8.3	2.3	-	-	凝灰	2.58	249	65	B	
166	69	集石	17.5	13.2	12.5	9.8	2.2	-	-	凝灰	2.47	313	100	B	
166	70	集石	17.4	12.9	12.6	9.8	1.9	-	-	凝灰	2.75	247	90	B	
166	71	集石	18.2	13.7	12.9	9.1	2.4	-	-	凝灰	2.66	309	70	C	
166	72	集石	18.9	13.4	13.1	8.6	1.5	-	-	凝灰	3.32	329	98	B	
166	73	集石	18.8	13.3	12.8	9.1	3.5	-	-	凝灰	3.10	681	100	B	
166	74	集石	18.4	14.6	13.5	8.1	2.8	-	-	凝灰	3.85	558	95	B	
166	75	集石	17.2	14.2	15.5	9.9	2.2	-	-	凝灰	3.05	251	95	B	
166	76	集石	18.2	14.4	14.3	9.9	3.2	-	-	凝灰	4.18	237	100	B	
166	77	集石	19.1	13.9	12.5	9.0	3.1	-	-	凝灰	2.65	584	85	D	
166	78	集石	18.9	13.8	12.2	8.2	1.2	-	-	凝灰	2.81	267	100	D	
166	79	集石	19.5	13.3	12.4	8.1	1.5	-	-	凝灰	2.84	591	100	B	
166	80	集石	19.2	14.7	14.3	10.1	2.3	-	-	凝灰	3.74	290	100	B	
166	81	集石	19.3	14.4	14.5	9.5	1.8	-	-	安山	3.94	231	100	C	
166	82	集石	-	15.1	13.9	-	2.4	-	-	凝灰	1.16	672	30	B	
166	83	集石	-	12.7	12.5	-	1.3	-	-	凝灰	1.66	332	60	B	
166	84	集石	13.3	14.4	13.5	-	1.7	-	-	凝灰	2.37	306	60	D	
166	85	集石	-	12.2	11.7	-	-	-	-	凝灰	1.60	682	60	B	
166	86	集石	-	15.7	13.4	7.8	1.8	-	-	凝灰	1.67	256	50	B	
166	87	集石	17.0	12.7	11.4	8.9	2.0	-	-	凝灰	2.54	239	100	B, 底に溝	
166	88	集石	13.7	9.9	8.7	6.5	1.9	-	-	凝灰	1.19	627	90	B, 底に溝	
166	89	集石	14.9	11.9	11.1	7.8	1.4	-	-	凝灰	2.25	323	95	D, 底に溝	
166	90	集石	17.1	15.4	14.5	9.8	2.5	1.3	1.2	凝灰	3.35	-	98	B	
166	91	集石	9.5	11.3	8.8	5.6	1.2	-	-	凝灰	0.69	632	100		
172	249	259土	17.5	13.1	12.0	8.1	3.0	-	-	凝灰	2.69	259土3	100	B	
172	250	260土	13.6	10.2	9.9	7.9	2.1	-	-	凝灰	1.59	260土47	98	C	
172	251	260土	13.9	10.5	10.0	5.9	2.1	-	-	凝灰	1.47	260土45	95	C	
172	252	260土	15.7	11.9	11.1	8.0	2.3	-	-	凝灰	2.01	260土5	100	B	
172	253	260土	16.1	12.2	11.8	7.9	2.6	-	-	凝灰	2.50	260土6	100	B	
172	254	260土	16.8	12.4	12.2	7.4	2.5	-	-	凝灰	2.43	260土32	100	B	
172	255	260土	16.3	14.3	13.9	9.5	2.4	-	-	凝灰	3.22	260土44	100	C	
172	271	262土	14.7	13.3	10.7	6.9	2.0	-	-	凝灰	2.00	262土2	96	B	
172	272	262土	15.8	12.1	11.9	8.4	2.4	-	-	凝灰	1.88	262土12	100	B	
172	280	263土	12.0	10.0	10.2	6.8	1.8	-	-	凝灰	1.30	263土19	90	C	
172	281	263土	12.9	10.8	10.9	6.8	2.2	-	-	凝灰	1.10	263土21	70	C	
172	282	263土	14.2	11.1	11.0	8.2	1.7	-	-	凝灰	2.20	263土25	80	D	

図版	番号	遺構	A	B	C	D	E	F	G	石材	kg	注記	残%	備考
172	283	26												

図版	番号	遺構	H	I	J	K	L	M	N	石材	kg	注記	残%	備考
167	92	集石	7.9	19.0	7.2	4.6	2.9			凝灰	3.73	616	98	D
167	93	集石	9.4	17.9	6.2	4.4	1.9			凝灰	2.14	259	95	E
167	94	集石	6.4	18.0	7.9	3.9	4.1			凝灰	3.46	601	90	B
167	95	集石	11.0	18.5	8.5	5.3	2.8			凝灰	3.62	311	92	D
167	96	集石	10.5	19.3	7.8	3.4	2.8			凝灰	3.84	230	95	B
167	97	集石	10.6	18.7	7.5	5.0	2.9			凝灰	3.76	642	90	D
167	98	集石	10.8	18.5	6.7	4.6	3.4			凝灰	3.70	276	80	E
167	99	集石	10.8	17.4	7.6	3.5	3.0			凝灰	3.82	296	100	D
167	100	集石	10.3	18.8	8.5	5.0	2.8			凝灰	3.54	244	96	E
167	101	集石	10.7	18.2	7.0	6.3	3.5			凝灰	3.50	575	95	E
167	102	集石	11.0	21.7	9.0	4.6	2.8			凝灰	4.90	300	85	D
167	103	集石	11.0	21.2	8.2	4.5	3.7			凝灰	5.61	325	96	D
167	104	集石	12.2	21.0	7.7	4.6	2.8			凝灰	5.03	621	100	D
167	105	集石	11.0	21.0	8.3	5.5	3.3			凝灰	5.23	647	95	C
167	106	集石	10.4	21.3	7.2	4.5	3.5			凝灰	4.20	574	90	C
167	107	集石	10.3	20.9	7.9	4.5	3.7			凝灰	4.76	293	90	B
167	108	集石	11.2	19.0	7.4	5.5	3.0			凝灰	3.53	260	95	D
167	109	集石	11.3	20.1	7.6	5.8	3.2			凝灰	3.96	600	95	E
167	110	集石	11.7	22.1	9.1	5.3	4.8			凝灰	6.71	381	85	B
167	111	集石	11.8	20.1	8.5	5.7	2.2			凝灰	4.60	257	90	D
167	112	集石	11.5	22.0	7.4	5.0	2.8			凝灰	5.80	596	97	D
167	113	集石	12.4	22.3	7.2	3.7	2.5			凝灰	6.05	305	95	B
167	114	集石	12.6	20.6	7.9	5.9	4.5			凝灰	5.93	271・273・288	95	B
167	115	集石	12.4	20.0	9.1	4.2	3.8			凝灰	4.69	234	95	B
167	116	集石	12.3	22.3	7.4	5.8	3.4			凝灰	6.10	317	95	B
167	117	集石	12.8	20.6	8.0	6.0	5.1			凝灰	6.20	281	90	B
167	118	集石	12.6	20.7	7.6	4.0	4.3	1.6	2.3	凝灰	5.00	228	95	B
167	119	集石	12.3	23.0	8.6	4.3	3.9			凝灰	5.78	655	80	B
167	120	集石	12.5	23.0	6.7	4.7	4.4			凝灰	6.20	674	80	A
167	121	集石	12.6	18.0	8.5	5.2	3.9			凝灰	6.30	572	95	B
167	122	集石	13.1	18.0	8.5	6.6	2.7			凝灰	3.48	586	90	D
167	123	集石	13.5	21.4	9.7	3.2	3.7			凝灰	7.30	255	95	B
167	124	集石	14.2	24.2	8.1	4.5	4.0			凝灰	8.45	315	97	B
167	125	集石	13.0	21.3	6.9	5.0	4.7			凝灰	7.00	680	100	B
167	126	集石	-	-	-	-	-			凝灰	5.17	253	85	B
167	127	集石	13.8	22.4	8.4	5.5	4.6			凝灰	7.15	382	100	B
167	128	集石	13.2	22.3	7.0	5.5	4.1			凝灰	6.15	310	100	B
167	129	集石	13.6	22.0	9.0	4.4	4.5			凝灰	6.07	555	100	B
167	130	集石	15.0	24.5	9.5	5.2	3.9			凝灰	6.30	289	95	B
167	131	集石	13.8	23.3	8.8	4.9	3.9			凝灰	7.30	258	100	B
167	132	集石	14.1	22.1	8.5	7.7	5.1			凝灰	7.58	634	100	D
167	133	集石	14.4	23.7	8.5	7.7	5.2			凝灰	9.50	243	95	D
168	134	集石	14.1	22.1	8.5	7.5	5.2			凝灰	8.45	625	97	B
168	135	集石	14.7	23.3	8.7	4.8	4.1			凝灰	7.20	326	90	C
168	136	集石	14.9	23.7	8.4	4.5	2.4			凝灰	6.70	274	95	D
168	137	集石	15.2	23.5	7.5	3.1	3.0	0.9	2.7	凝灰	8.10	286	95	B
168	138	集石	14.4	24.8	10.3	5.2	5.3			安山	10.7	576	100	B
168	139	集石	15.0	24.4	8.4	3.3	3.1			凝灰	8.30	248	95	B
168	140	集石	15.1	23.7	8.5	5.5	3.7			凝灰	6.43	623	87	B
168	141	集石	14.9	24.0	9.6	3.4	3.4	2.8	1.8	凝灰	9.40	561	95	A
168	142	集石	15.4	23.6	9.5	5.0	3.3			凝灰	7.40	657	95	B
168	143	集石	15.2	23.6	8.3	3.4	2.7			凝灰	7.35	607	85	B
168	144	集石	15.8	22.8	7.6	4.5	3.0			凝灰	6.83	320	95	B
168	145	集石	15.7	22.1	8.2	2.0	3.5			安山	9.00	566	100	B
168	146	集石	15.7	25.3	7.8	4.7	3.6			凝灰	6.90	270	90	B
168	147	集石	15.9	23.0	7.6	4.5	3.3			凝灰	6.95	639	98	B
168	148	集石	16.8	24.7	8.3	3.2	3.0			凝灰	8.75	287	95	B
168	149	集石	17.0	25.7	8.1	3.7	4.1			凝灰	7.00	269	60	A
168	150	集石	17.8	27.1	10.2	5.0	3.6			凝灰	10.20	246	95	B
168	151	集石	18.0	26.0	8.7	4.6	3.7			凝灰	11.20	641	100	B
168	152	集石	17.5	27.0	6.2	4.3	3.4			凝灰	13.20	275	100	B
168	153	集石	18.2	26.9	9.8	3.6	3.2			凝灰	12.00	307	95	B
168	154	集石	18.4	23.8	9.9	6.7	5.9			凝灰	10.70	316	100	A
168	155	集石	18.4	29.4	9.7	5.0	4.0			凝灰	13.60	285	95	B
168	156	集石	-	-	-	-	-			凝灰	14.60	331	70	D
168	157	集石	-	-	-	-	-			凝灰	0.89	579	30	
172	256	260±	10.1	21.9	8.7	6.3	3.7			凝灰	5.30	260±37	90	E
172	257	260±	10.8	19.3	7.0	2.9	2.6			凝灰	4.13	260±2	95	B
172	258	260±	11.8	22.9	8.4	2.8	1.8			凝灰	6.20	260±41	98	B
172	259	260±	-	-	-	-	-			凝灰	2.80	260±46	60	B
172	260	260±	16.0	24.7	10.0	2.9	2.4			凝灰	4.20	260±57	95	B
172	273	262±	12.1	20.2	12.1	3.0	2.4			凝灰	5.90	262±6	80	B
173	302	265±	11.0	19.8	7.2	4.0	3.7			凝灰	4.20	265±24	100	D
173	303	265±	11.7	19.9	8.8	6.5	3.9			凝灰	4.04	265±7	85	D
173	304	265±	12.0	20.9	7.1	2.7	2.3			凝灰	4.80	265±14	85	D
173	305	265±	13.4	23.9	7.8	4.5	3.1			凝灰	7.90	265±1	100	D
173	306	265±	14.9	24.8	8.5	-	3.2			凝灰	5.10	265±29	50	B
173	307	265±	15.7	24.8	8.7	3.2	3.3			凝灰	9.00	265±18	100	B
174	322	268±	10.1	19.3	6.8	5.0	2.3			凝灰	3.06	268±4	90	D
174	323	268±	13.3	20.4	8.1	6.8	4.6			凝灰	5.80	268±8	95	D
174	324	268±	15.5	24.8	9.7	5.0	3.2			凝灰	8.90	268±7	90	B
174	325	268±	14.6	25.5	7.8	5.4	4.3			凝灰	6.40	268±10	55	D
174	326	268±	9.7	17.2	7.4	4.5	3.1			凝灰	2.96	268±11	100	D
174	327	268±	12.8	19.6	8.9	2.0	1.8			凝灰	5.70	268±9	95	A
174	336	269±	18.6	21.7	9.4	4.2	4.0			凝灰	9.60	269±9	90	B
174	337	269±	9.6	16.8	5.3	2.5	2.3			凝灰	1.90	269±20	80	B
174	338	269±	19.3	27.4	10.3	4.6	4.2			凝灰	11.8	269±2	85	B
175	357	270±	8.9	19.4	7.7	6.3	3.5			凝灰	3.84	270±31	98	E
175	358	270±	12.0	19.1	7.4	2.5	2.3			凝灰	5.00	270±44	95	B
175	359	270±	12.6	21.5	7.2	4.2	3.4			凝灰	5.80	270±6	100	B
175	360	270±	13.7	21.4	9.0	2.5	2.8			凝灰	6.80	270±5	95	A
175	361	270±	14.6	23.2	9.8	4.0	3.4			凝灰	6.80	270±2	90	B
175	362	270±	14.6	25.5	9.9	7.1	4.4			凝灰	11.30	270±45	97	D
175	363	270±	17.0	25.6	7.9	4.2	4.9			凝灰	10.00	270±24	80	B
175	375	272±	12.6	21.8	8.0	4.5	3.2			凝灰	7.50	272±6	100	B
175	376	272±	17.0	25.8	9.0	5.3	4.7			凝灰	8.47	272±1	90	B
175	377	272±	18.5	27.2	11.2	4.4	4.3			凝灰	12.00	272±5	95	B
175	380	275±	10.9	18.9	6.9	6.1	3.0			凝灰	3.74	275±5	95	D
176	392	279±	11.3	17.8	5.8	2.9	3.4			凝灰	3.42	279±19	95	C
176	393	279±	13.5	20.1	7.3	2.9	2.9			凝灰	3.48	279±3	50	B
176	394	279±	13.1	23.6	6.3	3.6	3.6	3.2	5.1	凝灰	5.00	279±4	80	B
176	395	279±	13.8	22.1	8.0	3.3	3.3			凝灰	6.36	279±33	92	C
176	396	279±	15.8	23.3	6.2	4.3	2.2			凝灰	6.20	279±7	90	B
176	397	279±	16.2	25.3	9.8	4.0	3.7			凝灰	9.50	279±18	98	B
176	398	279±	16.4	24.2	8.0	4.0	3.8			凝灰	9.90	279±14	95	A

表7-(2) 五輪塔観察表(火輪)  
(計測位置については図25参照)

図版	番号	遺構	S	T	U	石材	kg	注記	残%	備考
170	211	集石	10.0	17.1	14.4	凝灰	3.90	365	100	C
170	212	集石	10.8	17.0	14.9	凝灰	5.30	361	100	C
170	213	集石	10.5	19.0	15.6	凝灰	4.20	559	100	C
170	214	集石	11.3	17.4	15.6	凝灰	4.80	366	95	C
170	215	集石	11.8	17.7	15.8	凝灰	5.40	360	95	B
170	216	集石	11.5	18.3	17.2	凝灰	5.60	628	95	B
170	217	集石	11.8	18.2	17.6	凝灰	6.70	368	100	C
170	218	集石	12.0	18.6	16.5	凝灰	5.10	673	80	C
170	219	集石	12.6	17.2	16.5	凝灰	6.00	597	85	C
170	220	集石	12.8	15.0	14.9	凝灰	4.40	645	100	C
170	221	集石	13.0	19.8	19.9	凝灰	8.00	675	100	C
170	222	集石	13.7	22.2	13.2	凝灰	8.25	363	100	B
170	223	集石	13.9	20.2	20.4	凝灰	8.60	358	100	C
170	224	集石	14.7	21.3	19.2	凝灰	7.60	353	100	B
171	225	集石	14.9	18.8	18.0	凝灰	7.50	577	100	B
171	226	集石	14.8	20.6	20.5	凝灰	12.20	689	100	B
171	227	集石	15.4	19.8	19.3	凝灰	8.00	656	95	B
171	228	集石	15.6	21.7	21.2	凝灰	8.20	352	95	B
171	229	集石	15.6	21.7	21.2	凝灰	8.60	648	85	B
171	230	集石	16.0	21.1	18.6	凝灰	9.40	578	90	C
171	231	集石	16.1	21.0	19.2	凝灰	12.20	595	95	B
171	232	集石	16.3	19.5	20.6	凝灰	10.60	357	100	B
171	233	集石	16.5	17.3	20.6	凝灰	9.30	356	85	A
171	234	集石	17.0	19.7	19.8	凝灰	9.65	629	98	A
171	235	集石	17.6	21.1	21.2	凝灰	13.60	371	100	B
171	236	集石	17.7	20.4	20.7	凝灰	11.40	362	90	A
171	237	集石	17.8	25.5	25.0	凝灰	14.40	355	85	B
171	238	集石	19.5	20.4	21.2	凝灰	17.20	354	90	A
171	239	集石	19.9	20.7	19.9	凝灰	14.00	643	95	A
171	240	集石	20.4	22.6	22.3	凝灰	9.20	359	45	A
171	241	集石	21.7	23.6	23.0	凝灰	19.30	369	95	A
171	242	集石	22.0	21.8	22.0	凝灰	12.20	367	70	A
171	243	集石	23.0	23.2	22.9	凝灰	17.40	370	85	A
171	244	集石	16.2	21.9	21.5	凝灰	7.30	372	60	
171	245	集石	16.7	18.5	19.7	凝灰	9.50	364	90	A, 梵字墨書
172	248	257土	13.1	19.0	17.3	凝灰	8.20	257±1	100	C
172	268	260土	17.0	20.2	19.3	凝灰	9.40	260±4	95	A
172	269	260土	12.8	17.9	18.0	凝灰	7.20	260±40	90	B
172	270	260土	19.7	17.7	18.1	凝灰	7.40	260±3	100	A
172	277	262土	11.2	17.9	16.2	凝灰	4.60	262±7	100	C
172	278	262土	12.8	18.9	17.5	凝灰	5.70	262±10	100	C
172	279	262土	13.9	19.9	19.2	凝灰	9.50	262±11	100	B
173	291	263土	10.6	15.7	15.8	凝灰	4.80	263±28	100	B
173	292	263土	13.3	19.6	17.1	凝灰	7.80	263±1	100	C
173	293	263土	18.9	19.7	19.2	凝灰	13.20	263±4	100	A
173	315	265土	8.8	17.4	16.2	凝灰	3.70	265±13	100	C
173	316	265土	10.3	15.8	14.6	凝灰	4.30	265±15	100	C
173	317	265土	11.5	19.4	18.2	凝灰	6.50	265±16	100	C
173	318	265土	13.6	17.5	17.6	凝灰	7.20	265±20	100	B
174	329	268土	20.7	21.7	21.0	凝灰	13.40	268±1	90	A
174	343	269土	11.2	19.1	18.0	凝灰	5.50	269±16	100	C
174	344	269土	15.7	18.7	18.7	凝灰	9.60	269±12	100	A
174	345	269土	16.0	18.2	18.5	凝灰	8.44	269±1	100	A
174	346	269土	20.2	22.3	21.7	凝灰	12.15	269±17	100	A
174	347	269土	15.5	23.0	22.2	凝灰	7.30	269±7	60	
175	369	270土	10.0	16.8	16.1	凝灰	4.50	270±25	95	B
175	370	270土	12.3	20.6	17.3	凝灰	7.20	270±3	100	C
175	371	270土	19.7	19.9	20.6	凝灰	12.80	270±16	95	A
175	379	272土	17.1	20.2	20.9	凝灰	10.60	272±7	100	A
175	381	275土	11.3	19.2	18.3	凝灰	7.20	275±2	95	B
175	382	275土	13.1	20.8	20.0	凝灰	7.10	275±1	90	B
175	383	275土	14.4	22.3	21.8	凝灰	11.70	275±6	95	B
176	404	279土	12.2	18.4	16.5	凝灰	5.30	279±2	90	C
176	405	279土	12.4	19.0	19.1	凝灰	6.90	279±17	95	B
176	406	279土	14.4	18.8	16.0	凝灰	6.40	279±1	100	C
176	407	279土	13.5	20.4	18.4	凝灰	10.00	279±15	100	C
176	408	279土	19.2	22.4	21.8	凝灰	11.80	279±22	100	A

表7-(4) 五輪塔観察表(地輪)  
(計測位置については図25参照)

写真13 五輪塔・宝篋印塔(2)

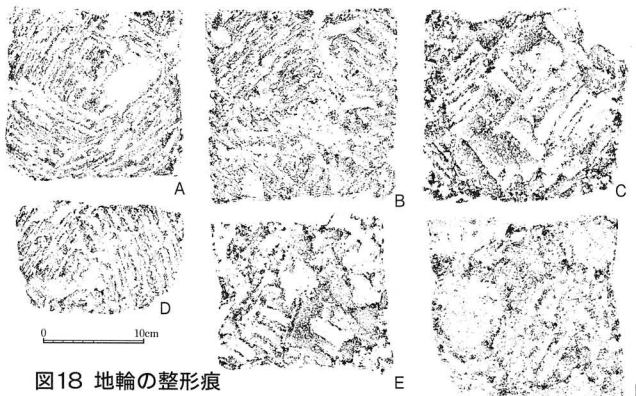
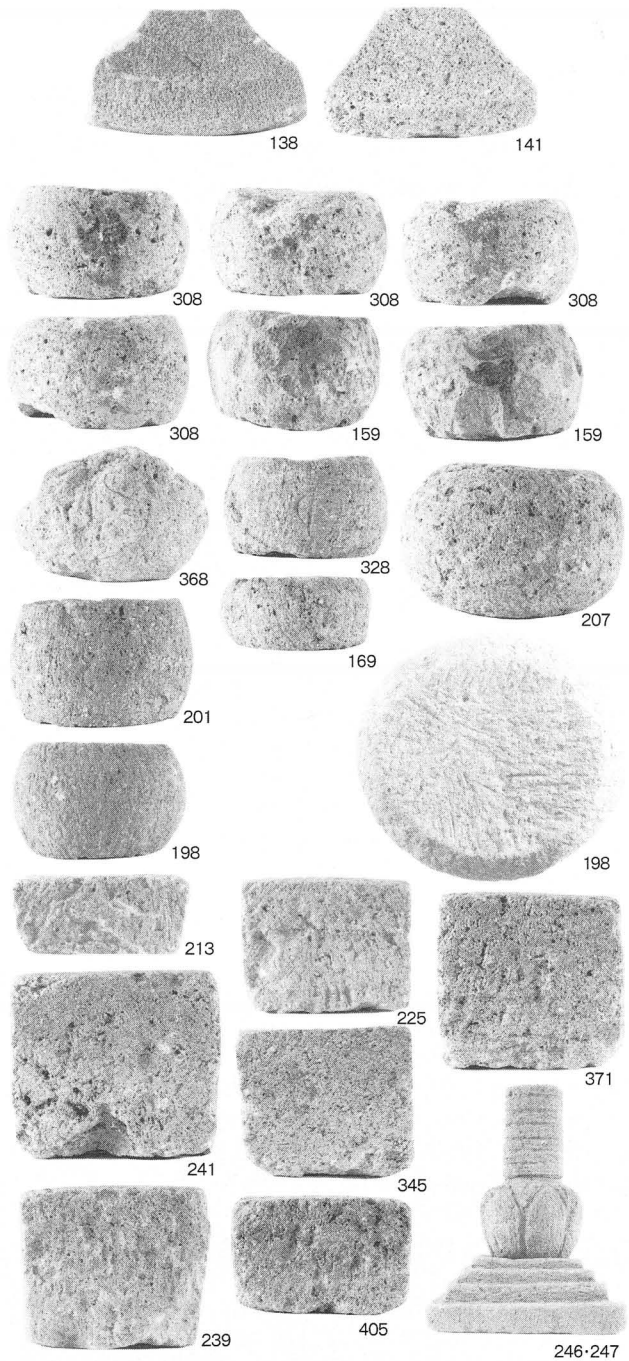


図18 地輪の整形痕

A-277上  
B-213上  
C-239下  
D-277側  
E-277下  
F-248下

※石材の加工面には、①荒割り(F)、  
②荒削り(C・E)、③削り(A・B・D)、  
④仕上げがある。通常、地輪下面は①・  
②で止めた例が多い。また、全般的  
に古相は④まで行いが、新しくなる  
と行わない傾向がある。



# 第3章 自然科学分析

## 第1節 韮崎市石之坪遺跡のテフラ

河西 学(財)山梨文化財研究所

### 1. はじめに

本遺跡は、北部巨摩山地東麓における小武川合流後の釜無川右岸に形成された段丘上に位置する。この段丘は、持久神社付近を扇頂とするきわめて急傾斜の小扇状地に覆われている。小扇状地上では褐色ローム質土層の分布は認められず水田などに利用されているが、遺跡周辺の崖線付近の段丘上にはローム層が分布し、畑として利用されている場合が多い。縄文時代・平安時代・中世・近世遺構が確認されている北堂地遺跡も同様の立地環境にある(韮崎市教育委員会,1991)。約10mの崖線の下には上円井集落をのせる低位段丘面が形成されている。遺跡の西側において小扇状地と本遺跡ののる平坦面との境界付近には、南北性の緩やかな溝状の凹地形が認められる。ここではローム層の層位を確認するためにテフラ分析を行ったので以下に報告する。

### 2. 試料・分析方法

遺跡での基本土層は、最下位に段丘構成礫層(10層)があり、その上位の砂質ローム層(9層)が御岳三岳テフラOn-Mt(Pm-IV)(8層)とローム層(7層)に覆われ、砂礫層(6',6"層)および砂質ローム層(5層)の堆積後、風成堆積環境となり4~1層が形成されている。試料は風成堆積物から採取した。分析方法は、河西(1997)などと同様である。

### 3. 分析結果

火山ガラスの屈折率測定値を表8に示す。偏光顕微鏡下での火山ガラスの計数結果を表9に示す。これをもとに湿重基準の含水率、粒径組成、1/4~1/16mmの全火山ガラス含有率、形態別火山ガラス含有率を算出し図17に示した。なお1/4~1/16mm全火山ガラス含有率、形態別火山ガラス含有率は、試料単位重量当たりの1/4~1/16mm粒径の火山ガラスの割合で表示した。

含水率は、下部のNo.17(51.3%)、No.16(45.6%)で高く、No.15(25.8%)を極小として緩やかに漸増し、No.10(37.9%)で極大を示し上方に緩やかに減少して、No.1で23.4%を示す。粒径組成では、下部のNo.17~16で粗粒で1/4mm以上の粒子が30.7~38.7%を占める。また4層下部のNo.15で1/4mm以上の粒子が46.0%の極大を示し上方に減少しているが、これは下位の砂質ローム層(5層)の影響によるものと考えられる。1/4~1/16mmの粒径砂は、全体を通じて6.6~10.6%の比較的安定した値を示す。1/4~1/16mm粒径の全ガラス含有率は、No.2を中心にNos.1~4において極大値0.74%の顕著な極大を示す。形態別では、立体的な泡壁型(バブルウォール型)である無色A'型がもっとも多く、平板状泡壁型の無色A型がこれに続き、両者ともにNo.2で極大を示す。これらの泡壁型火山ガラスは、No.2での屈折率が1.499~1.501(モード1.500)を示すことから、約2.5(~2.2)万年前に噴出した始良Tnテフラ(AT)に同定される。ATの降灰層準は、火山ガラスの急激な増加が認められるNo.2付近に推定される。そのほか塊状のB型、中間型のC型、多孔質軽石型のF型などがきわめてわずかに検出される。

No.17はPm-IVあるいは御岳三岳スコリアOn-Mtに対比される。外観は特徴的な橙色を呈する風化スコリア質テフラである。表10・図18の重鉱物組成は、斜方輝石・単斜輝石・不透明鉱物が多い点で、On-Mtの記載と調和する(竹本ほか,1987)。また普通角閃石・黒雲母などを伴うが、これらはテフラ以外の堆積物からの影響が考えられる。On-Mtの年代は約5.7万年前と推定されている(竹本ほか,1987)。

6層の砂礫層は、分級が良好ではなく、中礫から細礫および砂粒から構成される。花崗岩類や中性の緑色変質した火山岩類および泥岩・砂岩などを伴う特徴がある。八ヶ岳火山や韮崎岩屑流堆積物を構成する安山岩や大武川に特徴的なホルンフェルスなどが認められないこと、および付近の巨摩山地が花崗岩類および緑色変質火山岩類などから構成されることなどから、これらの砂礫層は、小武川あるいは持久神社付近を流れる小河川によって形成された堆積物であると推定される。

北部巨摩山地東麓には活断層が分布している(浅川・平川,1986,活断層研究会,1990)。浅川・平川(1986)は、巨摩山地北部東縁の地形分類を行い、Pm-IVを含む新期ローム層以上に覆われるかPm-IVを段丘堆積層上部に挟在する面(IV面)が、活断層よりも西側の巨摩山地側に分布していることを示した。宇波円井集落北側でのIV面は、寺沢川扇頂部から北方に標高480m等高線に沿って分布している。今回On-Mtが確認され本遺跡ののる平坦面(標高465m)が浅川・平川(1986)のIV面に相当することが明らかになった。したがってIV面は、約6万年間に約0.3m/1000年程度の断層変位があったことが推定される。

### 4. おわりに

テフラ分析によってATとOn-Mtとが確認された。活断層や地震活動の歴史を解明するために、この地域における考古学的発掘調査においても層位の確認を重視していく必要があると考える。

### 文 献

新井房夫(1972)斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定—テフロクロノロジーの基礎的研究。第四紀研究、11、254-269。  
浅川一郎・平川一臣(1986)巨摩山地北部東縁の活断層。活断層研究、2、33-42。  
遠藤邦彦・鈴木正章(1980)立川・武蔵野ローム層の層序と火山ガラス濃集層。考古学と自然科学、13、19-30。  
河西学(1997)高根町社口遺跡のテフラ。『社口遺跡第3次調査報告書』、199-200。  
活断層研究会(1991)『新編日本の活断層—分布図と資料』。東京大学出版会。  
韮崎市教育委員会(1991)『宮ノ前第2遺跡・北堂地遺跡』。  
竹本弘幸・百瀬貢・平林潔・小林武彦(1987)新期御岳テフラ層の層序と時代—中部日本における編年上の意義—。第四紀研究、25(4)、337-352。

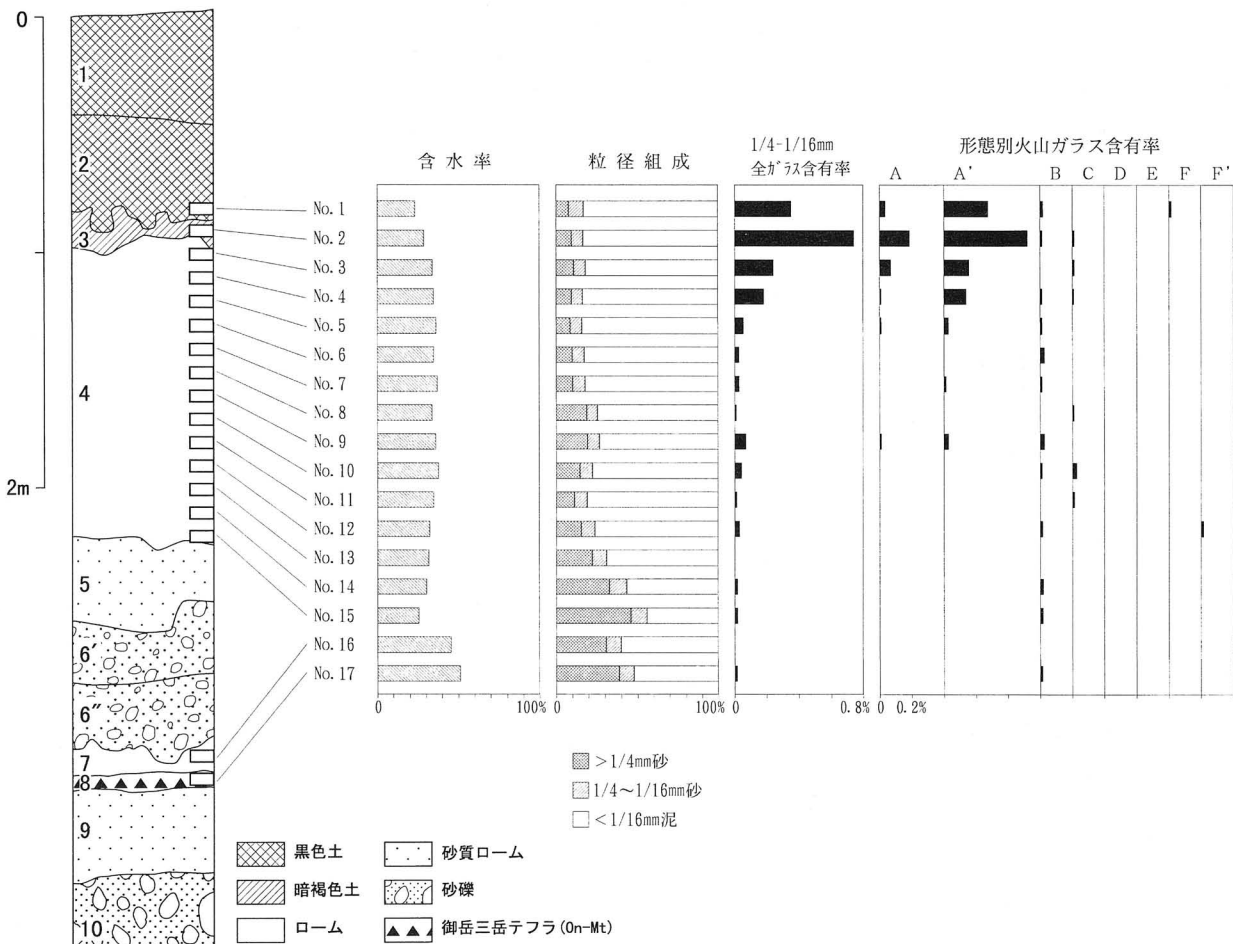


図17 火山ガラス含有率

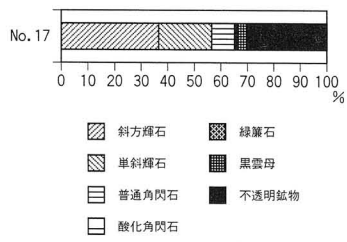


図18 三岳スコリアの重鉱物組織

表8 火山ガラス屈折率測定値

試料番号	火山ガラスの形態	色調	屈折率 (モード)	対比されるテフラ
No. 2	泡壁型 (A・A'型)	無色	1.499-1.501 (1.500)	始良 Tn テフラ A T

表9 火山ガラス粒数 (+は計数以外の検出を示す)

	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	No.14	No.15	No.16	No.17
A 無色	2	13	5	1	1				1								
A 褐色																	
A' 無色	15	35	11	10	2		1		2								
A' 褐色		1															
B 無色	1	1		1	1	2	1		2	1		1		1	1		1
B 褐色																	
C 無色		1	1	1				1		2							
C 褐色											1						
D 無色												1					
E 無色																	
F 無色	1																
F' 無色												1					
その他	481	449	483	487	496	498	498	499	495	497	499	498	500	499	499	500	499
合計	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500

表10 三岳スコリアの重鉱物粒数

試料	No.17
斜方輝石	73
単斜輝石	40
普通角閃石	17
酸化角閃石	1
緑簾石	1
黒雲母	8
不透明鉱物	60
合計	200

## 第2節 韮崎市石之坪遺跡より産出した炭化種実

吉川 純子(古代の森研究所)

### 1. はじめに

本遺跡は縄文時代前期末葉から中世鎌倉時代初期までの複合遺跡である。各時代で住居跡の炉及び竈の堆積物と若干の床覆土、弥生時代ではフラスコ状土坑、鎌倉時代では溝状遺構からも炭化種実が採取された。炭化種実の産出結果から食生活の傾向が認識できるかどうか時代ごとに検討する。

### 2. 各時代から産出した炭化種実

#### (1) 縄文時代

前期末葉の住居の炉からは、オニグルミ、炭化塊、不明果皮のほか、穀類のムギに類似した形態をもつ破片を産出した。中期中葉では、炉や床覆土から多数のオニグルミ破片、ブナ科の果皮片のほか、雑草のスゲ属、アカネ属、菌核などと、キハダの種子、炭化した果実も産出した。中期後半では、炉、埋甕からオニグルミ、菌核、炭化塊などを産出した。

縄文時代では、燃焼様式が炉という開かれた構造となっていること、および大鍋で強い火力で長時間の調理をするという推測がなされている(小林1999)ことから、炭化物が残りにくいと思われる。一般に縄文時代では床覆土には炭化材以外には肉眼的に炭化物が目立たず、そのため住居覆土の分析例が少ない。また残存している炭化物も構造的に硬く緻密で燃え残りやすいオニグルミ、あるいはここで産出したキハダのように液果ごと燃焼した場合に果実ごと残る例がある。

#### (2) 弥生時代

すべて中期前半の堆積物からなり、住居の炉覆土は1試料のみ、8試料はフラスコ状土坑の内部に堆積していた土壌中から産出した炭化種実である。炉からはトチノキの種皮と子葉のほか、サンショウ、オニグルミや、穀類であるアワを産出した。フラスコ状土坑からはオニグルミ、コナラ属、クリ、ブナ科、ムクノキ、イタヤカエデ、トチノキといった木本の炭化種実と草本のスゲ属、カヤツリグサ科、サナエタデ近似種、ザクロソウ、シソ科、アカネ属、メナモミのほか、栽培植物のイネ、オオムギ、コムギ、アワ、キビ、アサ、それにササゲ属に類似したマメ科も産出した。コムギは123号土坑で1粒産出しているが、弥生時代のコムギの産出例は少なく、前期では福岡県板付遺跡、山口県宮原遺跡などの産出例がある。

フラスコ状土坑内部の堆積物を分析した例はほとんどないが、これは炭化物が生成される場所ではないと認識されていることによる。土坑の堆積物中に炭化物が入る機会としては、土坑放棄のため自然に埋まっていく段階と、人為的埋積段階の両方が考えられる。前者の場合、最下部は放棄直後の堆積物であるが、上部は土坑内部でも後世の堆積物である可能性がある。土坑の中でも76号、127号、230号は炭化物の種類、数ともに非常に少なく、放棄後あるいは使用中に自然に埋まった堆積物中に炭化物が含まれていたと考えられる。これに比べて、45号、56号、135号、138号は37号住居の炉に匹敵するほど多くの炭化物があり、123号に至っては炉の堆積物よりも種類、数ともに上回る。また、138号は焼土もともに堆積していることから、これらは炉の内部や周囲の燃え残りを人為的に土坑内に廃棄した可能性が考えられる。なお人為的廃棄とは異なるが、炭化材などの炭化物に消臭や吸湿効果があることから、生成された炭化材などを土坑の下部に敷いた可能性も考えられる。この場合、ともに炭化した種実が土坑内に堆積する可能性がある。山梨県内で

は弥生時代の炭化種実の産出特徴として、イネの占める割合が多く雑穀類が少ない(榎原1999)という傾向があり、本遺跡でもその傾向が見られる。

#### (3) 平安時代

住居内の竈及び炉からはイネ、オオムギ、アワを比較的多く産出した。また、オニグルミ、ブナ科、モモ、マメガキ、穀類のコムギ、キビのほかダイズ属、雑草ではイネ科、スゲ属、シロザ近似種、ヘビイチゴ属、シソ科、ナス属を産出した。また床覆土からは栽培植物のモモ、マメガキ、イネ、オオムギ、コムギ、アワ、ヒエ、キビ、アサ、ササゲ属のほか、スゲ属、ホタルイ属、カヤツリグサ科、シロザ近似種、キンボウゲ属、ヘビイチゴ属、マメ科、シソ科を産出した。

平安時代ではイネについてオオムギが多く産出しており、コムギもわずかであるが粒状で産出している。また、68号住の床覆土はわずかに炭化塊を産出するのみであるが、9号住と3号住は総数で比較しても竈や炉の堆積物より種類、数ともに床覆土が上回っている。これは住居使用中あるいは廃絶後に堆積物が移動したとも考えられる。竈はその構造上、燃焼効率をよくするため住居使用中は竈の清掃を欠かさないとという民俗例もあり、燃焼のための施設であるにもかかわらず炭化物の産出数が比較的少ないと推測される。

#### (4) 鎌倉時代

中世鎌倉時代初期では2軒の炉・竈と方形周溝遺構の池状遺構を分析しているが、両者に種類、数の大きな差はなかった。栽培植物はモモ、イネ、オオムギ、コムギ、アワ、キビで、ほかに雑草のカヤツリグサ科、ハナタデ近似種、マメ科を産出している。

比較できる住居数は少ないが、平安時代に比べると炭化種実の種類、数はかなり減少している。平安時代と同様、竈という構造から、住居使用中は燃焼効率をあげるため頻りに清掃していたと考えられる。また、中世でも個数は少ないもののコムギは粒状で産出している。榎原はコムギが硬くて粒食に向かないことに触れ、「なぜ粒の状態に炭化してコムギが多く出るとかという大きな問題」(榎原1999)を提起している。これは自家消費であればコムギを栽培し刈り入れてどのように保存しどこで粉に挽くか、粉食か粒食かという加工過程と、粉粒いずれの状態でも流通していたかということにも関わってくるのではないだろうか。

### 3. 炭化種実の記載

**オニグルミ**：内果皮破片を産出した。破片は1cmより細かいものが多く、内果皮の4分の1より小さい破片のみであった。

**クリ**：完形の子葉と破片を産出した。現在栽培されているクリよりかなり小さい野生のシバグリと同程度の大きさである。

**コナラ属、ブナ科**：果皮の破片と子葉破片を産出した。果皮片は表面に縦の細い筋があり、子葉破片の大きいものは外形からコナラ属とわかる。

**ムクノキ**：内果皮のほぼ半分が割れた破片を産出した。基部にやや突出したへそがあり、割れ口で壁の柵状組織が確認できる。

**モモ**：核のやや大きい破片を産出した。

**サンショウ**：内果皮を産出した。

**キハダ**：種子及び種子の抜けた跡のある果実の破片を産出した。キハダは現在でも樹皮から染料と医薬品を抽出しているが、果実はアイヌなど北方民族で甘酸っぱいおやつや、薬品として最近まで用いられていたようである(萩





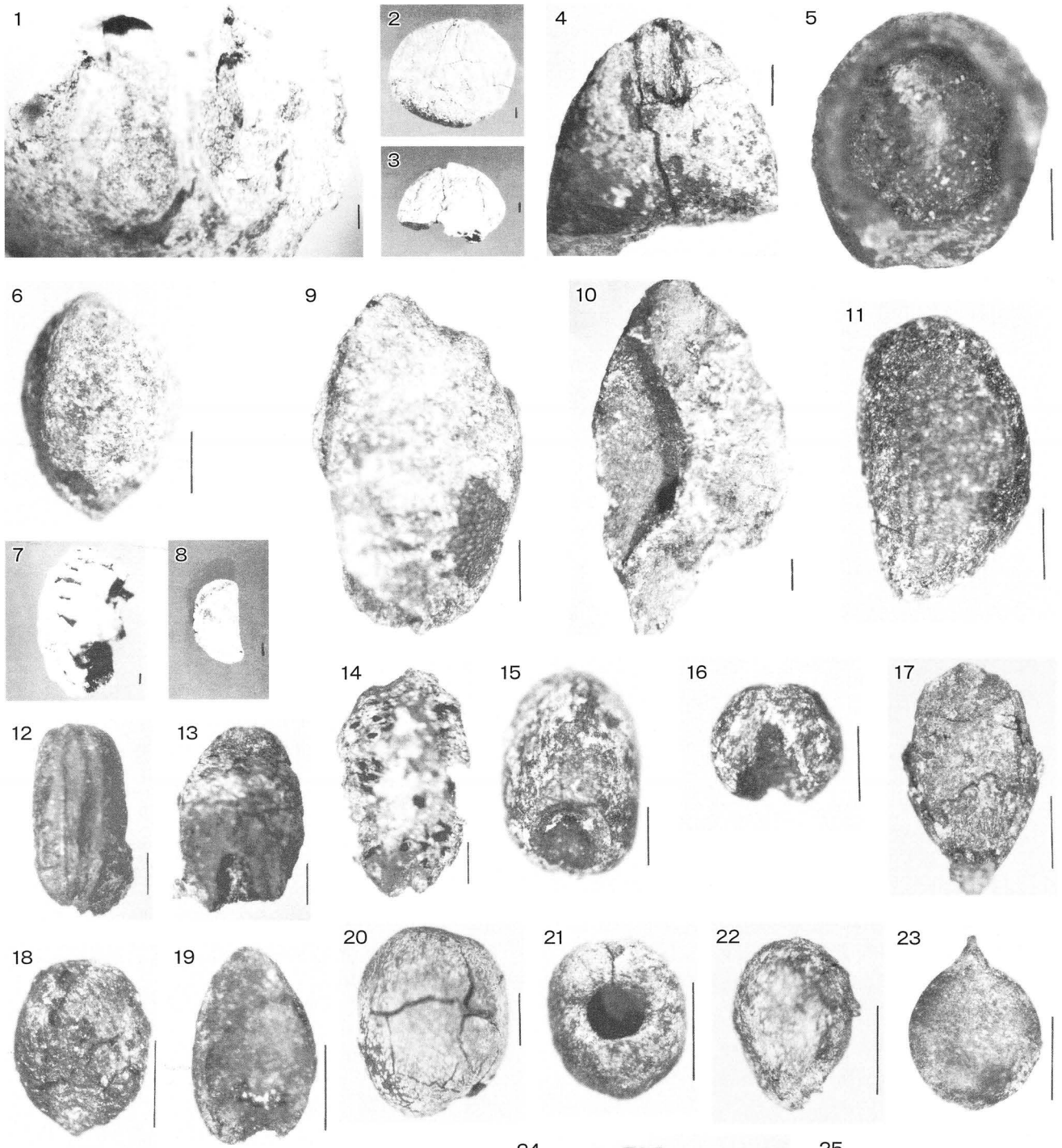


写真15 石之坪遺跡より産出した炭化種実

1. オニグルミ、内果皮破片(4号住中央床直)
2. 子葉(123号土坑) 3. 子葉破片(123号土坑)
4. ブナ科、子葉破片(9号住竈)
5. ムクノキ、内果皮破片(123号土坑)
6. サンショウ、内果皮(37号住竈)
7. モモ、核破片(9号住竈)
8. ママガキ、種子(9号住中央床土)
9. イタヤカエデ、種子(123号土坑)
10. トチノキ、子葉破片(37号住竈)
11. キハダ、種子(11号住竈) 12. イネ、胚乳(135号土坑)
13. オオムギ、種子(9号住竈) 14. オオムギ、種子(9号住床土)
15. コムギ、種子(123号土坑) 16. アワ、種子(138号土坑)
17. キビ、果実(9号住中央床土) 18. キビ、種子(6号住竈)
19. ヒエ、種子(9号住中央床土) 20. アサ、種子(3号住床土)
21. アカネ属、種子(4号住中央床直) 22. ヘビイチゴ属、核(3号住床土)
23. サナエタデ近似種、果実(123号土坑) 24. ササゲ属、種子(123号土坑)
25. ササゲ属、種子(3号住床土) 26. キンボウゲ属、果実(3号住床土)
27. メナモミ、果実(56号住床土)

〈スケールは1mm〉

はほぼこの状態で産出されるのではないかとみられる。

#### 引用文献

- 小林正史 1999「煮炊き用土器の作り分けと使い分け」  
—「道具としての土器」の分析— 食の復元—遺跡遺物から何を讀みとるか 研究集会報告集2 帝京大学山梨文化財研究所 p.1-59 東京
- 榎原功一 1999「炭化種実から探る食生活」—古代～中世を中心に— 食の復元—遺跡遺物から何を讀みとるか 研究集会報告集2 帝京大学山梨文化財研究所 p.81-98 東京
- 萩中美枝・畑井朝子・藤村久和・古原敏弘・村木美幸 1992「聞き書きアイヌの食事」農山漁村文化協会 319p. 東京

### 第3節 出土人骨

石之坪遺跡出土人骨に関し、1999年6月24日、茂原信生氏(京都大学霊長類研究所)に鑑定していただき、榎原が聞き書きした。なお本文の文責は全て榎原にある。

#### 1. 113号土坑の人骨

- 乳様突起**：大きい。男性か。  
**眼窩上隆起**：大。男性的。  
**頭骨の厚さ**：非常に薄い(ただし病的ではない)。  
**老齡変化**：歯を除き、ほとんどない。  
**下顎骨**：歯は全て抜け、孔はふさがり、顎の幅も細くなっている。(上顎の歯もなかった可能性あり)  
**上腕骨**：太い。三角筋粗面が非常に発達(三角筋が発達)。

多少老齡化がすすむ。

**顎骨**：太い。断面四角形に変形。筋肉の発達を示す。

**大腿骨粗線の発達**：やや弱く、扁平ぎみ。

**身長**：骨端部が欠けているため、明らかにできない。

**その他**：眉間の骨にゆがみあり。ただ骨に残るような大きな病気はみられない。

**年齡**：熟年(40～60歳)後半。

#### 2. 279C号土坑の人骨群

**後頭骨・外後頭隆起**：4個体分

**乳様突起**：右4個体分

**顎骨**：4個体分

**大腿骨**：6～7個体分。扁平なものが多い。臀筋隆起の発達大。しかも扁平が多い。こうした特徴は山間地の人に多い。男性であろう。

**顎骨**：4～5個体。

**上腕骨**：男女あり。足の骨よりも数は少ない。骨の厚いものが多い。

**眉間の残る頭骨**：男性。

**歯**：虫歯がいくつかみられる。エナメル質減形成(成長期のストレス)は少ない。

**No.77下顎骨**：がちりちりしている。熟年よりは若い。

歯が抜けたて。奥歯は歯根のみ存在か。

**その他**：全体に若い骨はない。足・腕・頭のみ。残りのいいもの、厚みのあるもを集めた感じである。男女ともにあり。集め方に偏りはないだろう。焼けているものは少ない。牛の骨No.122(右大腿骨)が混じる。

以上により順次埋納した骨ではなく、ある時点で一括して片づけた骨であろう。

## 第4章 考察

### 第1節 土器の分布状況と遺構の変遷

遺構の時期別変遷と遺構外出土土器の分布状況を重ねることによって、各時期の土地利用のあり方を探る。

**<早期末～前期初頭>** 明確な遺構はないが、貝殻腹縁文を施文した打越式土器小片が128号土坑等から出土したほか、広い範囲に散在し、また繊維土器もみられる。西地区でも出土していることから、遺構としては確認できなかったものの、住居が存在したのであろう。

**<諸磯c式期>** 諸磯b式期までは遺物は皆無であるが、本期になると東地区を中心に集落が出現する。住居は径8～10mの中～大型住居2軒(22・42号住)とともに、中～小型の2軒(30・32号住)があり、諸磯c式期の中でも後半段階を主としている。本期には、他遺跡でも住居が大小で組み合わせを示すことがあり、また大型住居では炉が多数あることから、通常の住居とともに複合居住形態の大型住居がセットをなす可能性がある。この時期に住居軒数が減少してみえるのも、居住形態の変化に対応するのであろう。遺構外土器は、住居のある付近から南側にかけて集中的に分布し、また土坑も主にそうした部分に位置する。

**<狛沢式期>** 五領ヶ台式期には87号土坑から2片の五領ヶ台式I式土器が出ているのみで、集落が再び現れるのは狛沢式期であり、南側に4軒が検出されている(26・41a・42b・56号住)。土坑は散在し、遺構外遺物も南側を中心にわずかに出土している。住居はいずれも4本柱穴で中央に埋甕炉をもつ。

**<新道式期>** 21号住の1軒のみであるが、藤内式期の住居址にも多く入っている。遺構外遺物は少量ながら地区全体に広がりを見せている。

**<藤内式期>** 本地区北側に4軒の住居がコンパクトにまとまり、土坑もその付近にある。うち4・7・11号住の3軒は住居の形、規模、柱穴配置がよく類似し、ベッド状遺構を伴っている。遺構外遺物は新道式期と同様に南側まで広く分布する。

**<井戸尻式期>** 南端に1軒(57号住)があるのみであるが、遺構外遺物は調査区中央付近に散在している。

**<曾利I・II式期>** 井戸尻式期と同様に南側を中心に住居があり、遺構外遺物もその周辺に分布している。住居は一応3軒確認したが、細かな時期が不明なものが多い。

**<曾利III・IV式期>** 本期では11軒もの住居数を数え、全体では西地区にかけての大きな環状配置となる。ただ時期細別すると曾利III a期(24号住)、曾利IV a期(25号住)、曾利IV b期(23・31・49・51)などとなる。遺構外遺物は住居域の西側に主として分布し、土坑も住居域中に散在する。

**<曾利V式期>** 住居としては1軒(65号住)があり、また23号住にも多数の本期の土器が遺棄されている。遺構外遺物は曾利III・IV式期とほぼ同様であるが、分布はより薄くなっている。

**<後・晩期>** 後期初頭(称名寺式期)、加曾利B I式期、晩期終末の浮線文系土器が各1片程度あるのみ。西地区では称名寺式期の柄鏡形住居等があり、遺物も多いようであるが、本地区では時期不明の後期土坑が1基(51号土坑)あるだけで、遺物の出方も非常に薄い。



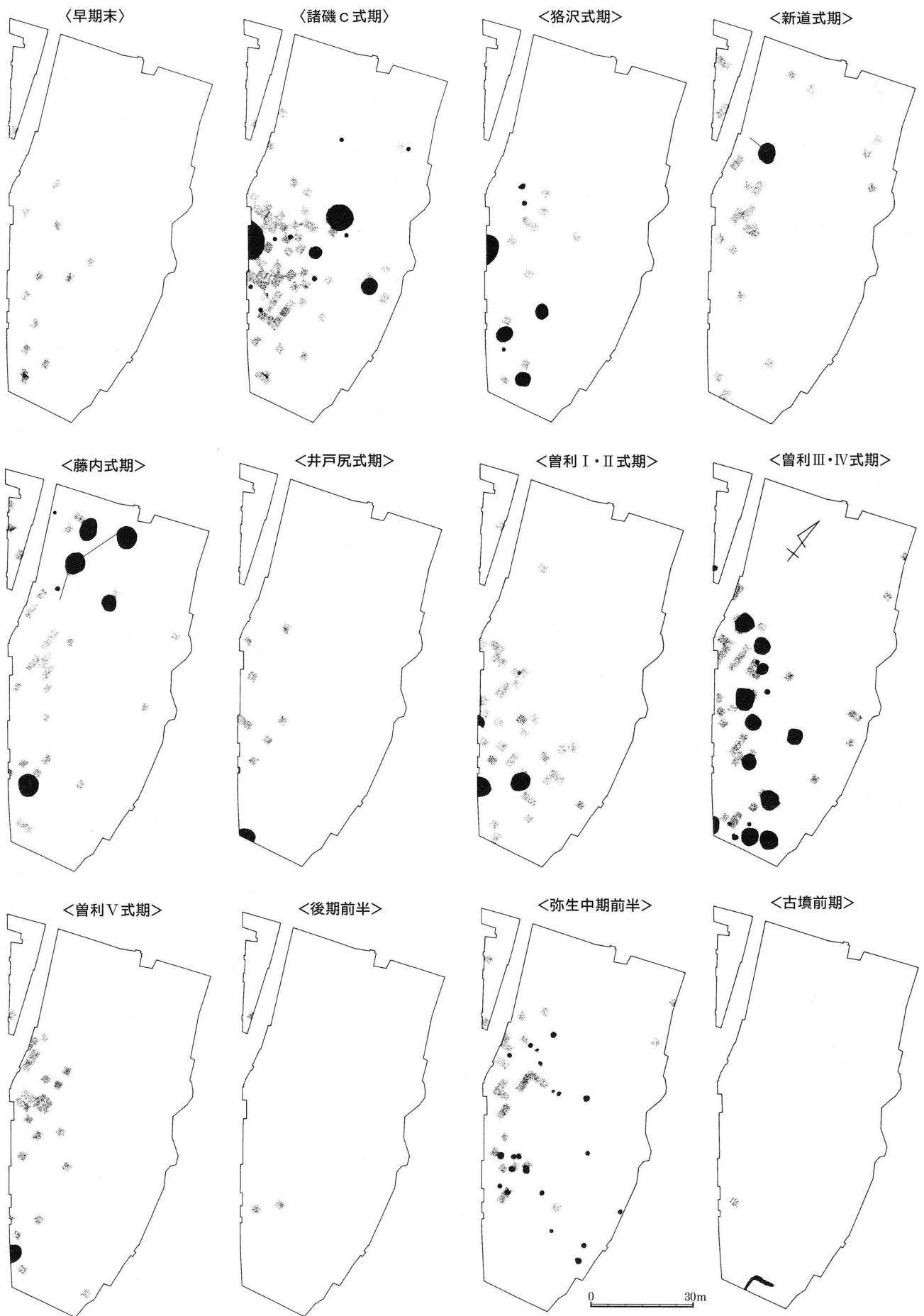


図19 遺構と遺物の分布変遷(1)  
 (薄い網は1~5点、濃い網は6点以上の土器出土を示す。直線は遺物の接合を示す。)

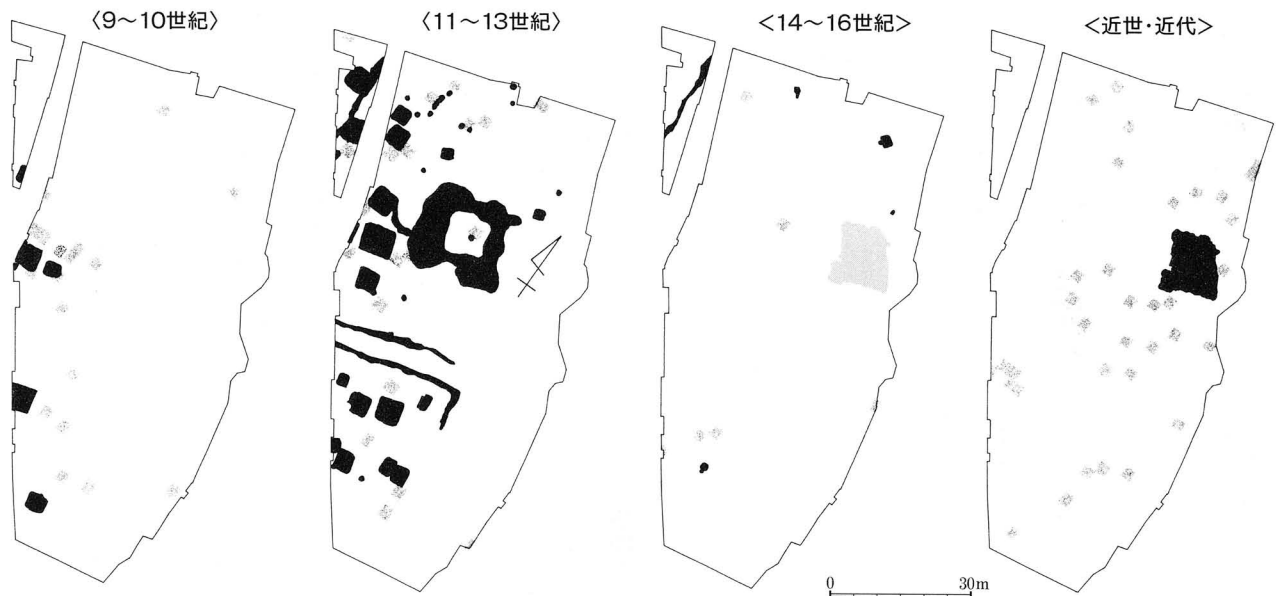


図20 遺構と遺物の分布変遷(2)

<弥生中期> 条痕文土器を中心に本地区中央に遺構外遺物が分布し、また土坑には特徴的なフラスコ状を呈すけて分布する。中でもO・P32・33グリッド付近には集中的に存在し、石囲炉状の遺構もある(37号住)。この時期の住居形態が明確ではないが、掘り込みがごく浅い堅穴住居、もしくは平地式住居であったと思われる、住居址は検出されにくいのであろう。西地区でも国道に近い部分で土坑が出ているが、中心的なのは東地区である。

<古墳> 本区南端にL字の溝(10号溝)があり、古墳時代前期の方形周溝墓と思われる。

<平安> 9~10世紀代では本区中央と南に住居が分布し、中央付近には3軒がまとまっている。遺構外遺物も住居周辺に散在する。

<11~13世紀> 11世紀以降の本区のあり方は活発である。土器を伴わない方形堅穴があり、詳細な時期を決めることができない例があるが、本期の時期に一応含めておいた。本期では11世紀代に堅穴が密に構築され、12世紀後半から13世紀代に方形周溝遺構が構築される。これは方形区画溝(4・5号溝)の設置と同時期と思われる、両者の有機的な関連が予想される。また池状遺構に水を引くための溝があり、この時期に台地上が耕地として整備された可能性を示す。この方形区画溝はこの地域一帯の拠点的な施設で、方形周溝遺構は宗教的な施設であろう。

方形集石中からは、古くは13世紀中頃の古瀬戸四耳壺も出ていることから、方形集石付近には方形周溝遺構に付随した墓地があったことが予想される。

<14~16世紀> 方形集石には五輪塔が多数存在し、方形集石形成以前の本期には集団墓地であったことがわかる。また地下式坑が3基出ている。地籍図を見ると、調査区北方に方形の館跡らしき地割があり、また現農道の両脇には短冊状の地割が整然と存在することから、宿又は町屋が整備されていたことも予想される。調査では黒色の覆土をもつピットが国道寄りの地域から検出されたが、個々の建物配置を厳密に確認するには至っていない。

<近世以降> 方形集石下層に集石土坑群が形成され、上層が方形集石として整備される。上層が整備された時期はよくわからないが、明治末の袍衣墓地になった段階かと思われる、その後、袍衣墓地は昭和40年頃まで使用されている。近世に入ると甲州街道の整備に伴い、台地上から台地下へ集落が移転し、遺跡付近は主に畑地になっ

たと思われる。この時期の遺物は陶磁器類を中心に全域に散在して見られる。

## 第2節 五輪塔の変遷

五輪塔は方形集石およびその下層土坑群中のみ出土で、それ以外では出ていない(ただし、西地区からは数点の出土があった)。方形集石上層では一部意図的に再配列された地輪があり、何らかの集石上面の遺構に関わる境を示すものと思われたが、いずれにしても原位置を保つ五輪塔は皆無であった。下層土坑中も同様で、時期的なまとまりを示す群はないだろうと考えられる。よってここでは出土地点は考慮せず、時期的な形態変化を考えるために形態分類し、各形態ごとの大きさを検討したい。

五輪塔は空風輪、火輪、水輪、地輪の4つの部位からなる。空風輪144点、105点、水輪90点、地輪67点、計406点を図化し、ほかに図示不可能な小破片が若干ある。ここでは主として側面形による分類を行った。なお実測資料中には破片で分類が不可能なものを含んでいることから、個々の形態の合計は図示点数と一致していない。

<空風輪> 4類に分かれ、裏面に孔をもつ例が5例、溝状の沈線をもつ例が3例存在する。墨書・刻書例はない。

A類-空輪部下半を大きく削り、空輪と風輪間に大きな段差をつける。6/138点(4%)。整形は丁寧である。

B類-空輪が丸く作られる。46/138点(33%)。整形は丁寧。C・D類より大きいものが多い。

C類-全体を砲弾状に作り、溝を入れたもので、頭部は丸く削られる。45/138点(33%)。B類より小さいものが多い。

D類-頭部に稜があり、空風輪の境は溝のみである。41/138点(30%)。整形は荒く、小型例が多い。

整形技法の簡略化、小型化、整形の粗雑化傾向がみられ、A類からD類への変遷が予想される。

<火輪> 5類あり、軒幅が一定なもの(A~C類)、軒先の幅が大きいもの(D・E類)の二つに大別できる。後者は下面がほぼ平坦で、高さが低い。

A類-下り棟が直線的。軒幅は一定で、軒先が反る。7/101点(7%)

B類-軒幅が一定で、下り棟、軒裏が反る。60/101点(59%)。高さ、幅から4群程度に細分が可能である。

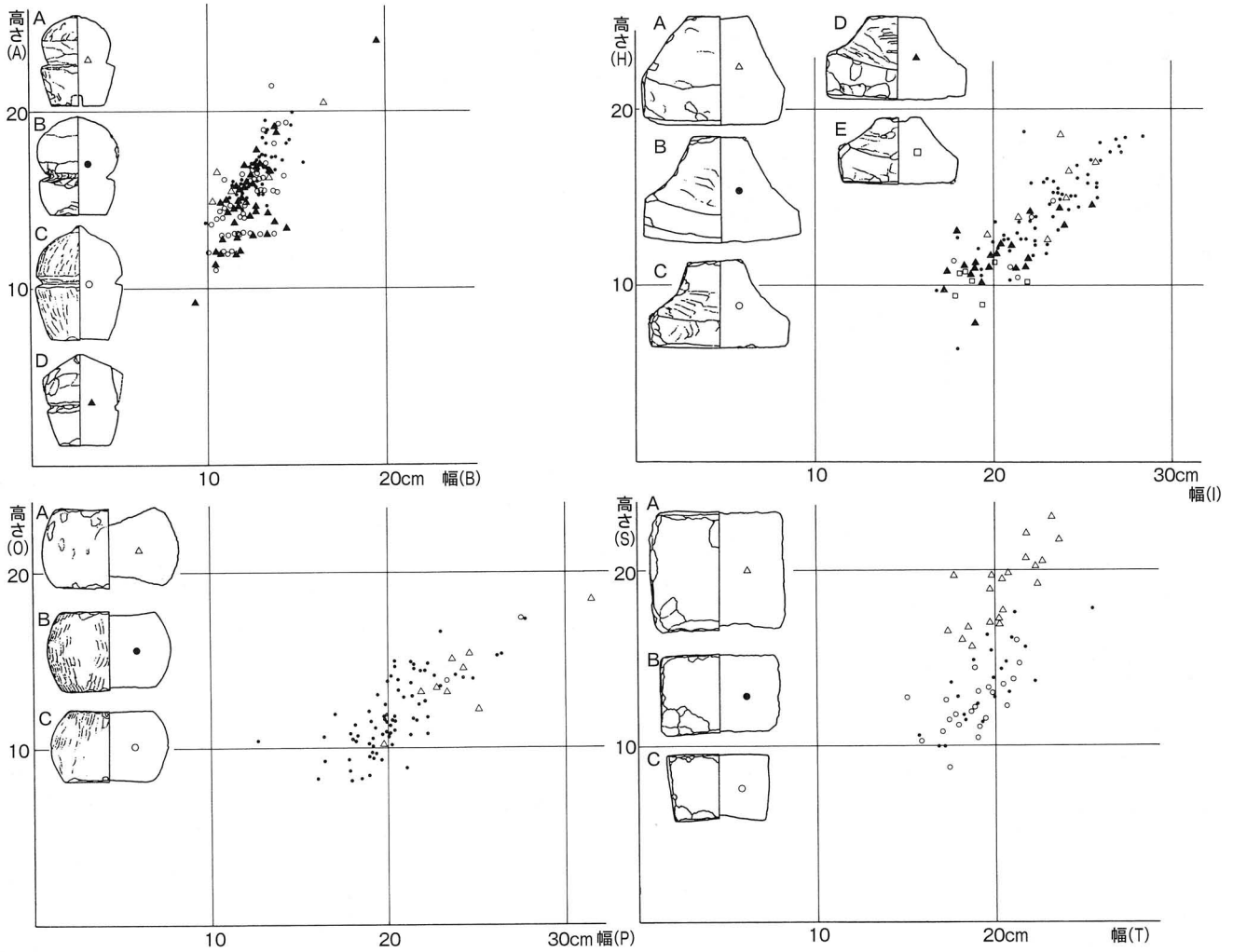


図21 五輪塔 各部位の大きさ(計測位置については図26(第176図下)を参照)

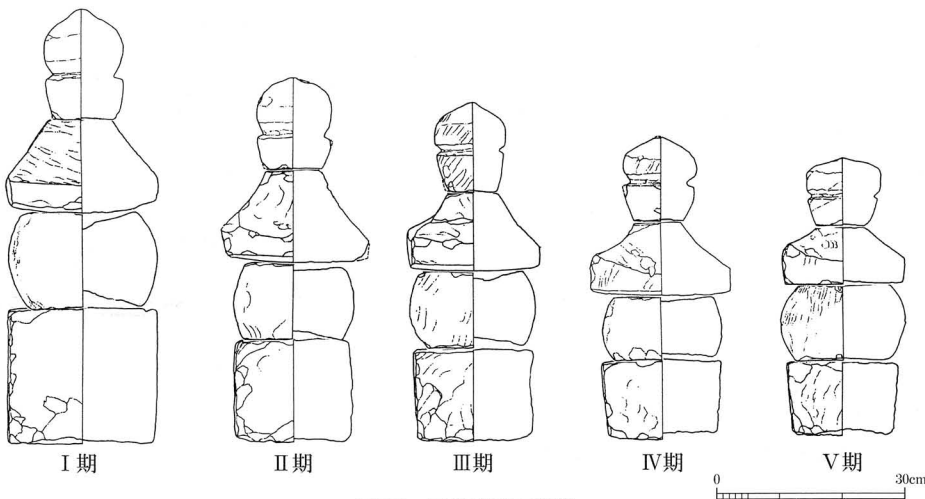


図22 五輪塔の変遷案

C類-軒幅が一定で、下り棟は反り、軒裏はほぼ平坦か極くわずかに反りをもつ。5/101点(5%)。

D類-軒裏はごくわずかに反りがあり、軒先の軒幅が広い。22/101点(22%)。A~C類に比べると小型である。

E類-軒裏が平坦で、軒先の軒幅が広い。7/101点(7%)。最も小型の一群である。

他の遺跡例から推定するとA類が最も古相で、E類が新しい。軒裏面の反りが平坦化し、軒先の幅が大きくな

るとい傾向に着目するとA→B→C→D→Eという変遷を辿るであろう。

<水輪> 上下面の状況で3種に分類可能である。側面に墨書による梵字をもつ例が13点、刻書の梵字をもつ例が2点ある。

A類-上下面が容器状に大きくくぼむ。9/87点(10%)。大型例が多い。

B類-上下面が皿状にわずかにくぼむ。75/87点(86%)。

C類-上下面はほとんど平坦。3/87点(3%)。

A類とB・C類の違いは明確であるが、B類の細分は難しい。おそらく高さ、整形技法を加味することで分類できるだろう。

<地輪> 側面形で3種に分類できる。上下面の区別は難しいが、上面は調整が丁寧なのに対し、下面は調整が荒いままとなり、くぼんでいることが多い。墨書の梵字をもつ例が1例のみある。

A類-高さ、幅が近く(厳密にはわずかに幅が大きい)で、立方体的。20/65点(31%)。大型例が多い。



B類—高さよりも幅が大きい。21/65点(32%)。

C類—高さよりも幅が大きく、上面幅より下面幅が狭い。24/65点(37%)。小型例が多く、整形は荒い。

A・B・Cの順に小型化し、また整形は荒くなっている。AからCへと変遷するのであろう。またC類の上面と下面の幅の違いは、石材をブロック状に岩盤から切り出す際に生じるものであろう。

<各級の組み合わせ> 各部位の変遷を並べると以下のようになる。括弧内は割合で、類ごとの割合から組み合わせを想定してみたい。

- 空風輪 A(4)→B(33)→C(33)→D(30)
- 火輪 A(7)→B(59)→C(5)→D(27)→E(7)
- 水輪 A(10)→B(86)→C(3)
- 地輪 A(31)→B(32)→C(37)

細別数の多い火輪の変遷を基準にA→EをI→V期とすると次のような組み合わせの変遷が想定される(図22)。

- I期 空風輪A+ 火輪A+ 水輪A+地輪A
- II期 空風輪B+ 火輪B+ 水輪B+地輪A
- III期 空風輪C+ 火輪B・C+ 水輪B+地輪B
- IV期 空風輪C・D+ 火輪D+ 水輪B+地輪C
- V期 空風輪D+ 火輪E+ 水輪C+地輪C

I期では大型品を主として少数の五輪塔が存在し、II～IV期までは同じような数量で推移し、V期には少数となり、衰退の兆しをみせている。実年代を考えるにあたり、高根町横森赤台遺跡の地輪に書かれた墨書資料が年代観を与える上で定点となる(2000 野代)。26号土坑出土の地輪C類、あるいはその後の段階の資料に「享禄」の年号(1528～1531)があったほか、集中区出土の地輪C類には「永正」(1504～1520)の年号が判読できたという。したがって本遺跡V期以降を16世紀前半代に置いておきたい。また仮にI期を14世紀後半、II期を15世紀前半、III期を15世紀前半～後半、IV期を15世紀後半としておくと、15世紀を中心に約百数十年の間、盛んに五輪塔が作られたことが推測できる。組み合わせ数は空風輪数から最大145で、各時期の数は最大数でI期6個、II期46個、III期約40個、IV期約40個、V期約7個(火輪数から推測)であり、製作数は平均すると、1年1～2個ではなかったかと思われる。

<各部位の特徴による組み合わせ想定> 五輪塔の組み合わせを伺う手がかりとして、①梵字の字体、大きさの類似性、②石材の共通性、③孔形態の類似性、④整形技法の共通性の4点が考えられる。①については水輪に梵字をもつ例13点に対し、地輪には1点のみ(245)であるが、245に類似した梵字の水輪として167があげられる。②については、本遺跡の五輪塔が安山岩と火山礫凝灰岩もしくはダイサイトの2種に大きく分けられ、後者の数量が

非常に多いことから、前者の安山岩のみを取り上げる。安山岩に限定すると、空風輪では38・81、火輪では138・145、水輪では198がある。これらのうち38と145には径・深さがほぼ共通した孔があり、組み合わせを示す。したがって残る81と138が組み合う可能性が高く、両者は整形技法も類似する。また198は81・138と整形技法が類似することから81・138・198のセットであろう。③については、前述した38・145は確定済みで別にする、空風輪に58(太い孔)、334(細く深い孔)、349(中間的な太さの孔)、350(短く細い孔)がある。また火輪には137・359(細い孔)、118(中間的な太さの孔)、394(太い孔)がある。したがって58と394、334と137又は359、349と118の組み合わせが想定できるだろう(図23)。

先に予想した変遷観をこの組み合わせで検証すると、I～II期—38・145、II期—167・245、III期—334・137又は359、58・394、IV期—349・118、81・138・198となり、大きな齟齬はない。

<製作技法及び生産地> 製作技法に関しては十分検討できなかったが、石材の切り出しから仕上げまでの間にはいくつかの工程があり、新しくなるにつれて工程の省略がうかがえる(1999 榑原b)。この点に関しては後日再検討したい。また石材については、今回は大きく2種に分けたのみであるが、色調、火山礫の混入状況などの観察によっていくつかのタイプの分類が可能である。石材産地および製作地の推定は、今後の大きな課題である。

### 第3節 方形周溝遺構の基準線

方形周溝遺構の基準線に関し、室伏徹氏(勝沼町教委)より設計案を示唆していただいた。以下は室伏案をもとに整理し直したもので、氏の見解を正しく記したのではないことをことわっておくとともに、同氏には心より謝意を表する次第である。

この遺構の中では1・2号橋脚状遺構幅が同一で、同じ軸線上に柱穴があることから、かなり厳密な設計のもとでの周溝遺構全体の構築が予想される。橋脚幅は2.2mであることから、2.2mを1間として基準値とすると、壇状遺構はちょうど4間四方であり、二つの橋脚状遺構の東辺を方形壇の中心を通る中心線とすることができる。全体では南北9間×東西10間、あるいは10間×10間とみることもできる(A案)。別の考え方では、2号橋脚状遺構の南北間がほぼ1.8mであることから、1.8mを基準値とすると、壇状遺構は5間四方、二つの橋脚状遺構の西辺を通過する軸を基準線として東へ6間、西へ5間の位置が

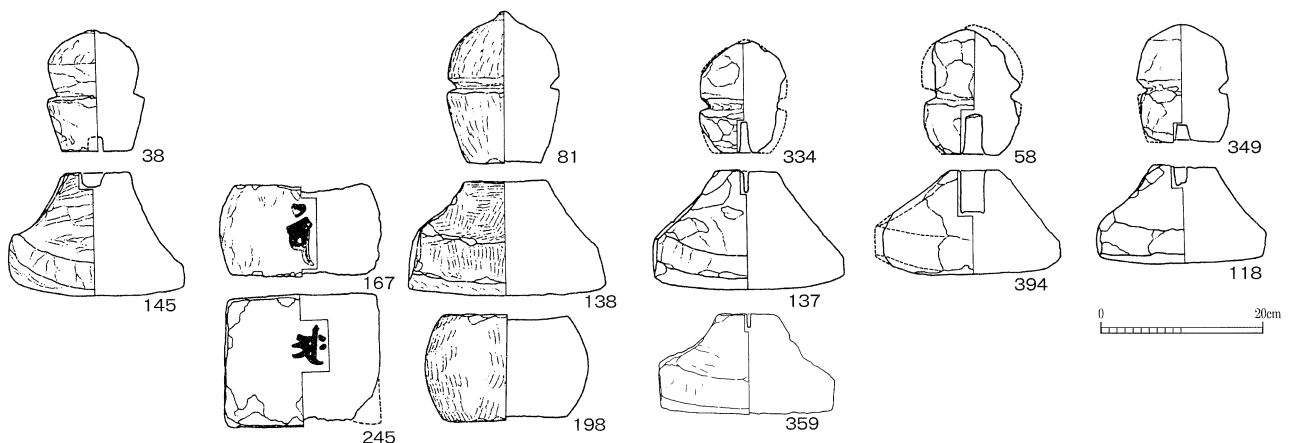


図23 五輪塔の組み合わせ

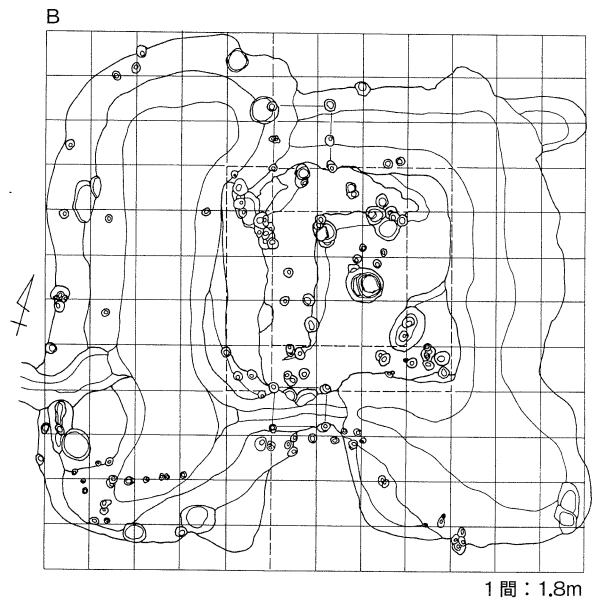
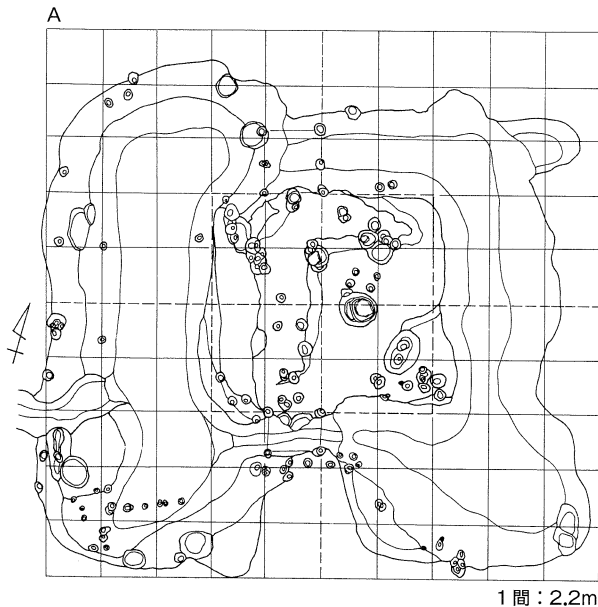


図24 方形周溝遺構の基準線 (A-B)

東西間となる。すると壇状遺構上に3間×3間の建造物が設計可能となる(B案)。ただし両者とも44号土坑(心礎?)とその北西にある礎石(?)には線がうまく乗らないので、その部分については別の設計案が必要となる。44号土坑がわずかに東へずれるのは、当初の意図とは違っていたため、つまり方形周溝遺構の構築と建物の建築の間には時間差があるため、あるいは、西側に大きく池を設けているように、西側から見るという意図をもっていたためとも考えられる。後者については橋が西寄りに設定されていること、11・12号溝から想定される道が方形周溝遺構の西側を通過していることと無関係ではなく、西からの視線を重視する必要がある。

#### 第4節 胞衣埋納に関する聞き取り

胞衣墓地や胞衣埋納に関する民俗調査はこれまでに各地で行われ、また胞衣容器の廃棄遺構も神奈川県藤沢市池ノ辺遺跡(1980 越川)や横浜市今井町(1996 戸田・小松)などで見つかり、胞衣容器の変遷等の論考も提出されている。山梨県では、明治20年頃に著わされた山中共古の『甲斐の落葉』(1975 山中)中に、「胞入レニハ土器ヲ用ヒルコトナシ 柄杓ナド造ル曲物屋ニテ図ノ如キモノヲ作り胞入トス 通例ハ柄杓ノ柄ヲヌキトリ曲物トシテ用キ蓋ニハ紙ヲモツテヲヒ水引ニテ結ビ地ニ埋ム 胞入 曲物カブセ蓋模様松竹梅鶴亀ヲ画ク」とあり、当時、甲府付近で土器を胞衣容器とすることはなかったことがわかる。明治29年には県令「産衣及産汚物取締規則」が出され、胞衣・産汚物などは人家や飲用の井戸・用水路から20間以上隔て、深さ3尺以上の穴に埋めること、などとされた(1981 木下)。したがってその頃、共同の胞衣墓地が各地に出現したのであろう。

石之坪遺跡の胞衣容器には、蓋と身の内側に「寿」の押印をもつ合子状の専用容器3組のほか、胞衣容器として転用されたと考えられる土瓶、蓋付の行平、ホーローの洗面器、ビニール袋などがある。それらの多くは散在し、原位置を留めるものは少なかった。容器類以外に胞衣埋納に関連する遺物に、対で立つ瓶、徳利類がある。「帝国鉱泉株式会社」という銘のサイダー(?)瓶と印版の磁器

徳利の2組が正位で立ち、それら以外に組み合わせが想定可能な瓶類がいくつかある。これらは明治～戦前の所産と考えられる。瓶や徳利を立てる習俗については、乳が良くできるように願って1合瓶に水を入れ逆さに立てる例(富士吉田市古原、1996 堀内)、玄関の敷居の下に胞衣を埋め、良く乳が出るようにと脇に1升徳利をいける例(保谷市住吉町、1991 伊藤)があり、また遺跡から出土した例としては港区白金館址で徳利が正位で1本埋設された例がある(1988 中西ほか)。

調査終了後の本年1月、上戸井地区在住の3名の女性の御協力を得て聞き取り調査ができた。調査内容は生年月日、出産歴、出産時の状況、いつ、誰がどのように埋めたか、埋納容器、胞衣墓地の呼び名、胞衣・臍の緒に関する習俗、石之坪付近の記憶・伝承等である。Aさん(昭和5年生まれ、69)は昭和31・34・36年に出産し、3人とも主人が一人で胞衣を埋めに行った。Bさん(大正5年生まれ、83)は昭和22・24・26・28年に出産し、4人とも主人が出産当日、あるいは翌日ひとりで埋めに行った。Cさん(明治41年生まれ、92)は昭和7・9・12・15・18・22年に計6人を出産し、当日、あるいは翌日に主人がひとりで主に夕方埋めた。聞き取りをした3名とも胞衣容器に関する記憶はなく、出産時に用いた油紙などに包んで埋めたのではないかと言ひ、また瓶を立てる習俗は知らないということであった。石については、野犬等に掘り返されないように家の近所から持って行って、胞衣の上にのせたのだらうという回答があったが、定かではない。男性からの聞き取りを行う必要性を痛感するとともに、主人が一人で行った行為については婦人側は関知していないことは意外に思われた。

この世代の違う3名からの聞き取りで、昭和7年から36年までの胞衣埋納を連続的につなぐことができた。整理すると次のようになる。胞衣埋納は、産院や病院での出産が普通となる昭和40年頃まで、上戸井地区では一般的に行われ、主人が出産当日あるいは翌朝、暗いころ一人で埋めに行くのが通例であった。特に容器には入れず、副葬品はない。「寿」容器に関する情報は全く得られなかったことから、明治30年代～大正期の所産であろうと考えられる。また埋納後には祀りは行っていない。瓶に関する記憶はなく、今後瓶の時期を特定する必要があるが、

昭和初期以前、おそらく明治～大正期の習俗であろうと思われる。したがって明治～大正期には「寿」印や対の瓶を添えるなど、朧衣埋納に対する祭祀性が残っていたが、昭和になると単に始末する行為に過ぎなくなっていったようだ。以上、上戸井地区での朧衣埋納の変遷は次のように整理される。

明治29年以前 各戸での埋納、柄杓利用か  
明治29年～大正年間 朧衣墓地利用開始、祭祀性を伴う埋納、容器に納入  
昭和初年～昭和40年頃 処理的埋納  
昭和40年以降 朧衣墓地の廃用、産院・病院での処理

## 第5章 成果と課題

石之坪遺跡(東地区)の調査では、縄文時代の前期から近・現代にまでの長期間に及ぶ遺構が見つかり、多くの課題が投げかけられた。整理期間の制約上、遺物の図面作成に終始し、本書の構成も遺物図版に重点を置いたものになったため、考察がきわめて不十分になってしまったが、最後に本調査の成果と今後の課題を羅列し、何らかの機会に個々のテーマについて論考することとしたい。

(1) 縄文前・中期の堅穴住居 本遺跡では、諸磯c式期の大型住居に地床炉が複数存在したことから、複合居住的な居住形態が想定されるとともに、小型の住居とのセット関係で集落が構成されると考えられる。この前期末から中期初頭にかけては住居数が減少し、見かけ上集落数が激減するといわれるが、居住形態の違いが反映されているのかもしれない。また貉沢式期では楕円形4本柱穴を主とし、藤内式期になると楕円形7本柱穴で、壁際にベッド状遺構をもつなど定型化がみられ、中期後半では4本、5本、7本と、床面積に応じて住居型式が決まっている。このように住居の大きさや形態は時期によって差異があることから、時期によって住居内構成員の内容、居住形態の違いが想定され、堅穴住居数のみから一律に集落規模を比較できないのではないかと考えられる。

(2) 貉沢式～藤内式土器の様相 貉沢式土器の細分案については3細分が一般的であるが、新道式～藤内式土器については様々な細分案が提起されている。施文技法のみでは時期決定が難しく、明確な時期細分の指標が求められている。また本遺跡では円筒形の抽象文土器群が目立ったが、それ以外の器種への施文例も存在する。その系譜と変遷、分布について、すでにいくつかの論考は見られるところではあるが、改めて考える必要がある。

(3) 土偶装飾付土器 7・11号住出土の土偶装飾付土器は、藤内式期の土偶が土器外面に貼付されたもので、かなり忠実な土偶文様である。土偶には全身像がわかる事例がほとんどない中で、本例は土偶研究に好資料を提供することになった。この種の遺物は近年の渡辺誠氏らの集成で全国的な把握が行われ、中期に限定すると甲信地方を中心とした分布状況が明らかになっている。県内では大泉村寺所第2遺跡の2例(男女らしき2人の人物が向き合う例、3人が横に手をつないだ例)、櫛形町鋳物師屋遺跡例、明野村諏訪原遺跡例、小淵沢町中原遺跡例(井戸尻考古館)があり、また県外では富士見町藤内遺跡の「神像土器」などがある。古くは原村大石遺跡18号住例の口縁部に内向きの土偶が両腕を広げて貼付される例があり、五領ヶ台末頃に初源を求めることができる。広くみられるのは貉沢式末期から新道式期にかけてで、藤内式期になると背中の文様が変化し、顔面もみみずく把手になる例が多い。貉沢～新道式期の事例では背中の縦位沈線(背筋文)、首筋の文様(首筋文)、顔面の丸い眼が特徴的であるが、本例では顔面は通常の土偶の顔で、首筋文は二つの瘤となり、背筋文はない。顔面把手付土器への系譜をもつと思われ、中期後半ではX把手付土器に変化する

といわれる土器である。土偶装飾という人体文が長い系譜をもち、各時期に様々な文様要素へ変化を遂げていく様子が興味深い。

(4) 弥生中期のフラスコ状土坑と条痕文土器群 フラスコ状土坑の機能については貯蔵穴と考え、水洗選別で種実を抽出した結果、穀類のほか堅果類が検出でき、堅果類の貯蔵穴としての機能が予想された。フラスコ状土坑は県外でもいくつかの遺跡で検出されているが、集落域から離れて存在するという認識がある一方、当時の住居は検出しにくい構造であったので見つかってはいないものの土坑群の周辺に住居が存在したであろうという見解もある。本遺跡では37号住が炉のみではあるが当該期の住居と考えられ、土坑群と居住域がひとつの集落を構成するあり方を示唆している。今後は住居形態および集落構成の把握が急務となろう。県内の条痕文土器は、現在適当な型式名称が与えられていないものの、1950年代に山内清男氏らが調査し、また近年本格的に調査された中道町米倉山B遺跡との類似性があることから、いずれ県内の中期前半期の土器型式名としての「米倉山式土器」として呼称される一群となるだろう(1996 森原、1999 坂本)。

(5) 平安時代の住居内の間仕切り・地床炉 3・40・63号住には間仕切り状の溝が検出され、また33号住には南側に土間状の段差が認められた。堅穴内の床面はひとつの空間ではなく、機能に応じて細かい小空間に分割されていたことを示し、入り口部の推定も可能となるだろう。また床面に焼土や小規模な地床炉をもつ例がある(9・27号住等)が、こうした状況は武川筋に散見されることから、防寒対策などの地域性を示すものかもしれない。

(6) 平安末～中世初頭の土器群・炭化種実 2・3・9・33・39号住、方形周溝遺構に良好な資料がある。2号住では外耳土器、こね鉢、手づくね土器があり、13世紀後半代の様相を示している。3号住は柱状高台出現前段階で、口縁部が開いた手づくね土器が伴い、11世紀後半の様相がある。また池状遺構は12世紀中葉から13世紀前半を主とし、柱状高台の中段階の資料がともなう。このように11～13世紀頃までの土器群が堅穴をともなって出土したことから、土器群の様相をより明らかにできそうである。また住居内の竈の有無と土鍋形態の変化の連動性を捉えられそうである。さらに炭化種実の分析を行い、9号住床面ではイネが多かったものの、他の住居では雑穀がイネと同程度かそれ以上に見られ、11～13世紀での穀類の比率の高さがうかがえる。土鍋の変化・こね鉢の出現と食糧の変化との関連も探ることができそうである。

(7) 平安末?の円形土坑 遺物がほとんど伴わないため時期は明確ではないが、この種の遺構は白州町坂下遺跡(1988 折井)など釜無川流域にみられ、甲府盆地でも一宮町西田町遺跡では屋敷地の北東に集中区があり、三筋壺片など中世陶磁器類が入っていた事例が調査されている(1997 櫛原)。北巨摩郡でも台土地域ではほとんど皆無

であるが、これは平安末～鎌倉初期の遺構が台上地域に少ないためである。したがって現時点では11～13世紀の土坑墓として理解し、火葬墓の出現前後のひとつの墓制と考えておきたい。なお、県外でもこうした円形土坑の類例は多く、貯蔵穴の一種と考えられることが多いが、今後その実体把握が急務となる。

(8) **方形周溝遺構と2条平行の区画溝** 周溝を持つ墓坑例は東日本に多いが、本例のような大型の墓堂的な遺構としては大阪府喜連東遺跡、愛知県田所遺跡、栃木県下古館遺跡が著名である。喜連東遺跡(1987 森・西畑、1999 櫻井)では溝で囲まれた一辺約6mの方形土壇があり、溝中での多量の瓦の出土状況から、12～15世紀に瓦葺の堂宇(墳墓堂)があったと考えられている。またその周囲にも区画溝があり、少なくとも5棟の堂の存在が推定されている。溝は南側の幅が狭く、南側が正面と考えられるという。また南東にある長原遺跡では方形区画の溝をもつ同時期の遺構群が検出されている(1996 佐藤)。田所遺跡(1993 愛知県埋文センター、1997 小沢)では13×15mの土壇(墳墓堂)周囲を溝が囲み、内部に3間×4間の掘立柱建物址がある。その周辺には20m前後の区画内に集石墓、火葬施設等があり、墳墓堂を中心に墓域が形成され、時期は13～14世紀前半(13世紀後半主体)という。また南側は居住域で、大溝(田所大溝)によって約400m四方にわたり集落域を取り囲んでいるという。下古館遺跡(1987 栃木県文化振興事業団)は道に沿って160×480mの長方形の区画を作り、区画内部西側の中央に20m四方の「土壇」を溝で囲んだ方形周溝遺構があり、その北側に隣接して積石塚があって、周囲に墓坑が多数検出された。時期はおおむね13～15世紀という。以上のように各地の事例には方形周溝遺構と墓域が伴う事例があることから、方形周溝遺構に隣接する五輪塔を主とした中世墓群は、時期的に1世紀以上の差があるものの無関係とは思われない。すなわち富裕層などの有力者、高僧等の墓域(開山塔、開山堂、墓堂)として方形周溝遺構が構築され、その脇に結縁を求めた民衆の墓域が形成されたのであろう。なお、心礎を伴う方形周溝遺構は類例がないが、方形壇は亀腹基壇的な土壇として理解し、上屋構造を持っていたと考えるべきで、小型の塔、もしくは堂的な建築物が予想され、さらに西側は池状に水を湛える構造となっていることから、仏教的な思想がうかがわれる。また礎石が入れられた土坑(44号土坑)については、柱ではなく火葬骨を納めた蔵骨器の埋納坑であった可能性がある。なお、田所遺跡や下古館遺跡と類似する点として、本遺跡にも方形周溝遺構の南側に90m四方の区画溝で囲まれた範囲があり、また後には旧甲州街道と考えられる道に面した宿的な町屋が想定され、道と宿あるいは集落、という場の共通性が予想される。なお数点出土した丸瓦は県内では初で、方形周溝遺構上に想定される堂の一部に用いられていたと思われ、方形周溝遺構に堂が伴っていた証左となっている。おそらく職人を招いて地元で焼いた製品であろうが、鎌倉方面との結びつきの表れとも理解でき、造営者層を知る手がかりになる。平行する方形の溝については時期が明確ではないが、方形周溝遺構と同時期と考えると12世紀後半～13世紀前半と考えたい。

(9) **五輪塔** 420点近い点数は県内でも最大級であるが、これは地割から想定される宿、または町屋形成後の墓域としてのあり方と考えられる。町屋自体の遺構としての把握が不十分であるものの、おそらく現農道付近、あるいは11・12号溝間を道として想定した場合、五輪塔群は町屋域の東側、台地縁辺と想定町屋域の境に位置するこ

ととなる。時期は第4章で述べたとおりで、14世紀後半から16世紀前半を主とすると思われる。各地の五輪塔との比較検討、石材産地・五輪塔製作址の探索、石工集団の動向・技術的な系譜分析などが課題となる。また技術的な粗製化については十分検討できなかったが、新しくなるにつれていくつかの工程を徐々に簡略化する傾向がうかがえる。なお一組のみ存在した宝篋印塔は時期不明ながら古相を呈し、五輪塔群の中でどのような位置づけがされるのか考えねばならない。

(10) **胞衣墓地** 第4章に述べたように聞き取り可能な範囲での様相が明らかとなったが、実際に埋納に携わった男性側の話も聞いておく必要がある。昭和以降、祭祀性が薄れていく傾向については、何を契機にそうなったのかわからないが、胞衣に対する意識の大きな変換点を示している。立瓶遺構とした遺構について記憶されている方はなかったが、富士吉田市方面の民俗事例から乳の出を祈る行為と見なした。このように民俗誌と考古学的調査の整合がみられた希有な調査事例となった。また今日となつては、昭和7年以前の状況については聞き取りが不可能であり、胞衣埋納に限らず、こうした民俗的な調査の各地での早急な実施の必要性を痛感した。

#### 〈引用参考文献〉(第3章第1・2節を除く)

- 1975 山中共古『甲斐の落葉』 有峰書店  
 1979 内藤末仁「民話・伝説」『韮崎市史 下巻』 韮崎市誌編纂委員会  
 1979 矢島俯仰『墓相と供養』 永岡書店  
 1980 越川敏夫『池ノ辺 一神奈川県藤沢市池ノ辺遺跡の調査一』 池ノ辺遺跡調査会  
 1981 木下忠『埋甕—古代の出産習俗』 雄山閣  
 1983 佐藤八郎校訂『甲斐国志』 雄山閣  
 1987 栃木県文化振興事業団「下古館遺跡」『季刊 自然と文化—中世への回路—』18 日本ナショナルトラスト  
 1987 森毅・西畑佳恵「喜連東遺跡「廟堂」跡の調査」『葦火』9 (財)大阪市文化財協会  
 1988 折井敦『坂下遺跡』 白州町教育委員会ほか  
 1988 中西眞也ほか『白金館址遺跡Ⅱ』 白金館址遺跡調査会  
 1991 伊藤敏行「胞衣習俗と胞衣容器 一東京都内遺跡出土の考古諸例を中心として—」『学芸研究紀要』8 東京都教育庁生涯学習部文化課  
 1992 山下孝司『堂地遺跡』 韮崎市教育委員会ほか  
 1992 磯部淳一「群馬県における五輪塔の編年」『高崎市史研究』2 高崎市史編さん専門委員会  
 1993 荒川正夫「中世における「周溝に囲まれた小型建物址」の問題について—「屋敷神信仰」との関連において—」『翔古論聚—久保哲三先生追悼論文集』久保哲三先生追悼論文集刊行会  
 1993 山下孝司『堂地遺跡Ⅱ』 韮崎市教育委員会ほか  
 1993 小林健二「外来系から在来系へ—甲斐のS字甕の変遷—」『研究紀要』9 山梨考古学博物館・山梨県埋蔵文化財センター  
 1993 愛知県埋蔵文化財センター「田所遺跡の中世墳墓」『全国埋文協会報』36 全国埋蔵文化財法人連絡協議会事務局  
 1994 渡辺誠・吉本洋子「人面・土偶裝飾付土器の基礎的研究」『日本考古学』1



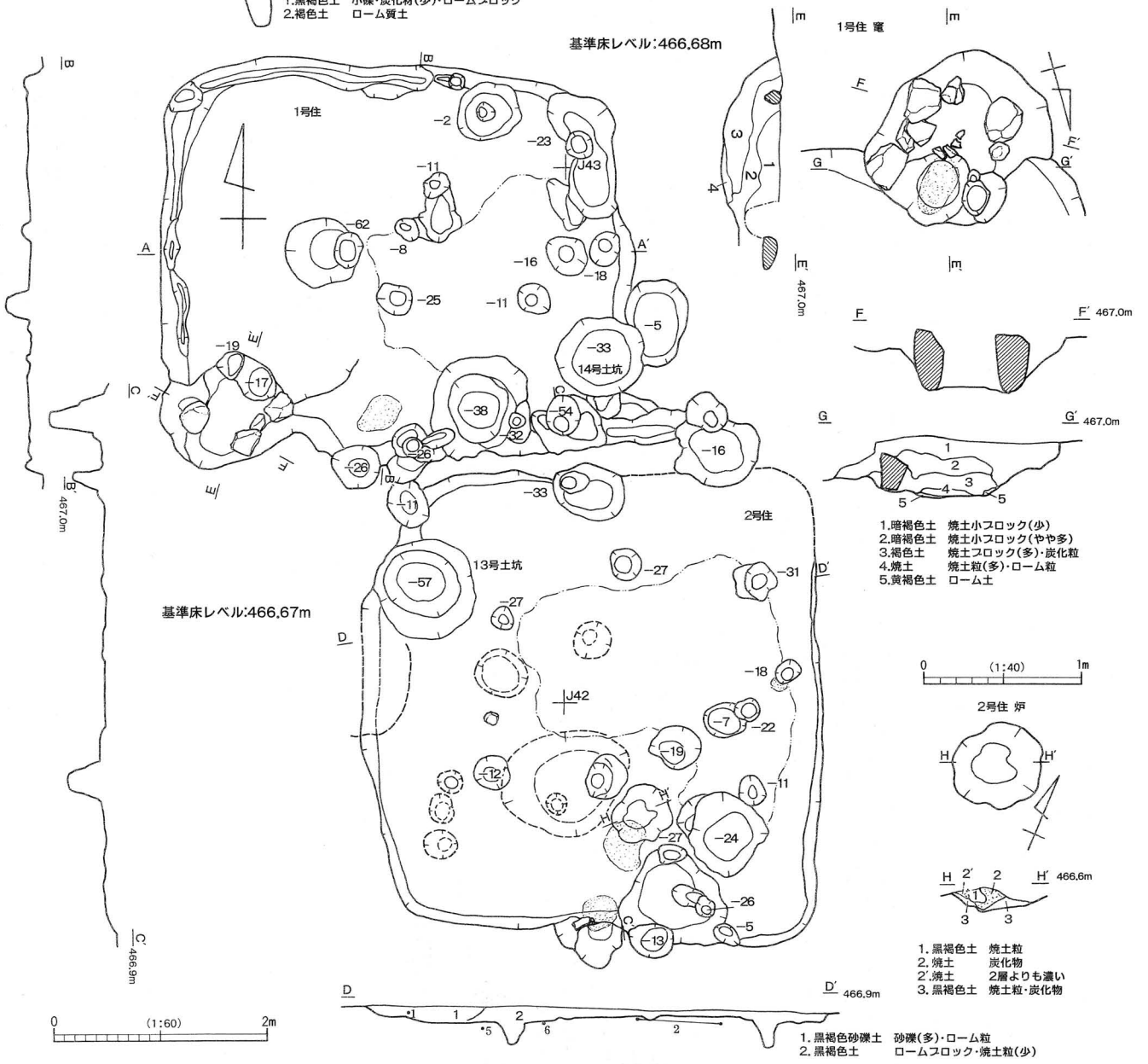
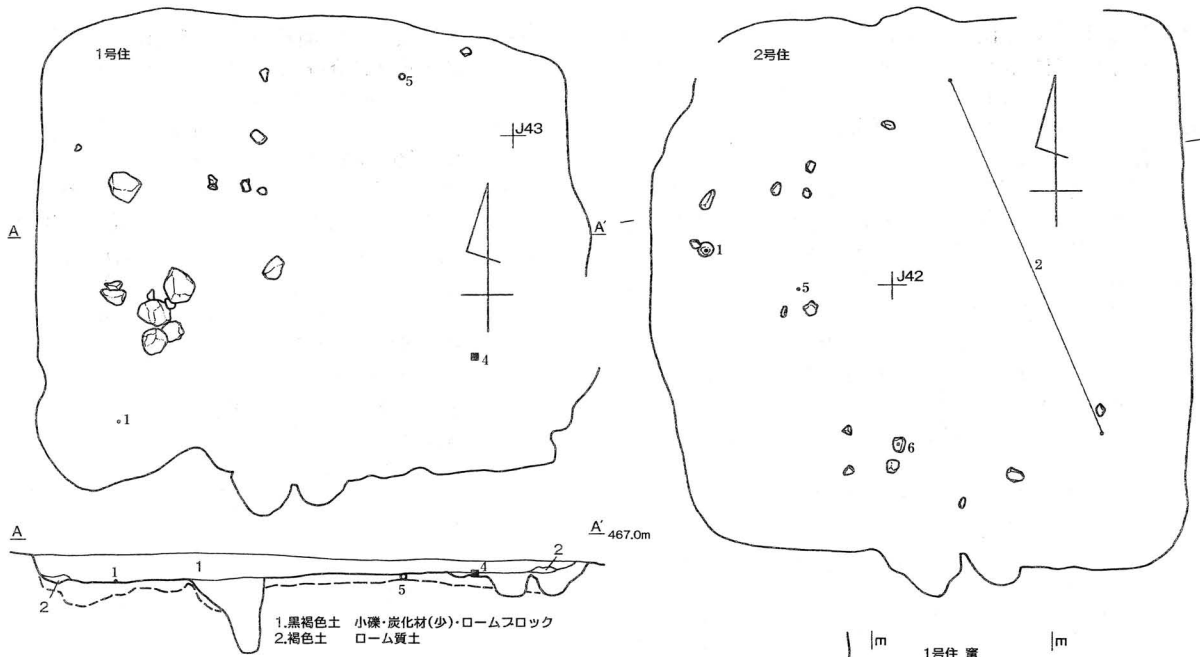
- 1996 佐藤隆「大阪市内における中世集落の動向の1例－中国製磁器の出土傾向を中心に－」『中近世土器の基礎研究XI』 日本中世土器研究会
- 1996 永井久美男『日本出土銭総覧』 兵庫埋蔵銭調査会
- 1996 戸田哲也・小松清「胞衣容器についての一考察－横浜市今井町出土土器を中心として－」『考古論叢 神奈河』5 神奈川県考古学会
- 1996 堀内真『富士吉田市史 民俗編 第1巻』 富士吉田市史編さん委員会
- 1996 森原明廣『菖蒲池遺跡－米倉山ニュータウン建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－』 山梨県教育委員会ほか
- 1997 小沢一弘『田所遺跡』 (財)愛知県埋蔵文化財センター
- 1997 太田三喜「中世の周溝墓」『堅田直先生古希記念論文集』 真陽社
- 1997 榎原功一『西田町遺跡調査報告書』 西田町遺跡発掘調査団ほか
- 1998 新津健『鰍沢河岸跡』 山梨県教育委員会
- 1998 中島英子「対面所遺跡」『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書14－中野市内その3・豊田村内－』 長野県教育委員会ほか
- 1998 井上智博・山本美野里『楠木石切場跡』 (財)大阪府文化財調査研究センター
- 1999 櫻井久之ほか「喜連東遺跡発掘調査報告」『長原遺跡発掘調査報告VII』 (財)大阪市文化財協会
- 1999 渡辺誠・吉本洋子「人面・土偶装飾付深鉢土器の基礎的研究(追補)」『日本考古学』8
- 1999 榎原功一 a「曾利式土器の編年私案」『山梨考古学論集IV』 山梨県考古学協会
- 1999 榎原功一 b「五輪塔にみる製作法の変化」『帝京大学山梨文化財研究所報』36 帝京大学山梨文化財研究所
- 1999 坂本美夫『米倉山B遺跡－米倉山ニュータウン造成に伴う発掘調査報告書－』 山梨県教育委員会ほか
- 2000 野代幸和『横森赤台(東下)遺跡』 山梨県教育委員会ほか



写真16 44号土坑断面および完掘状況

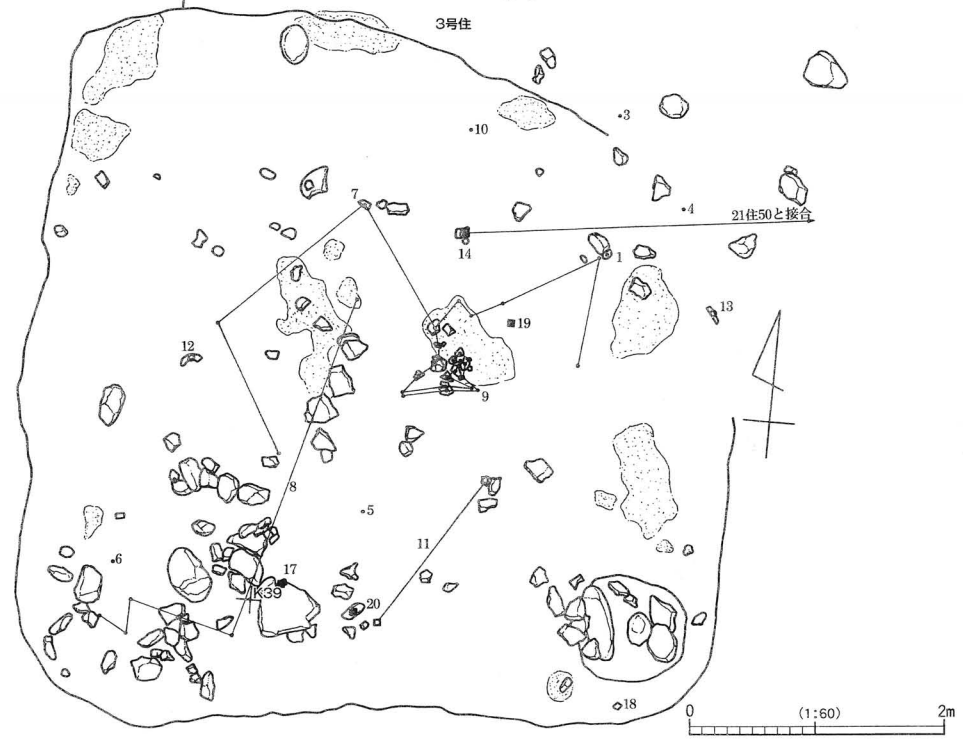
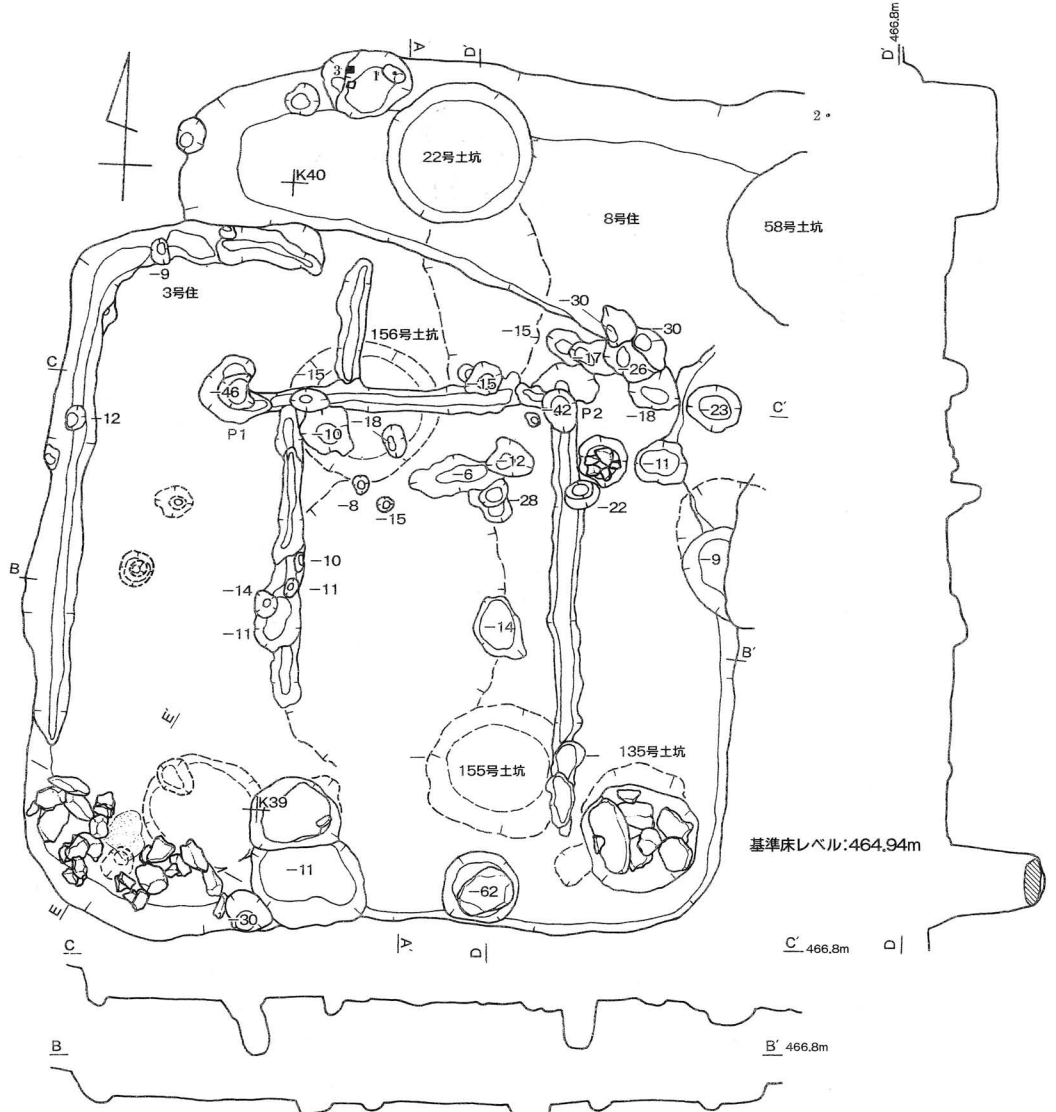
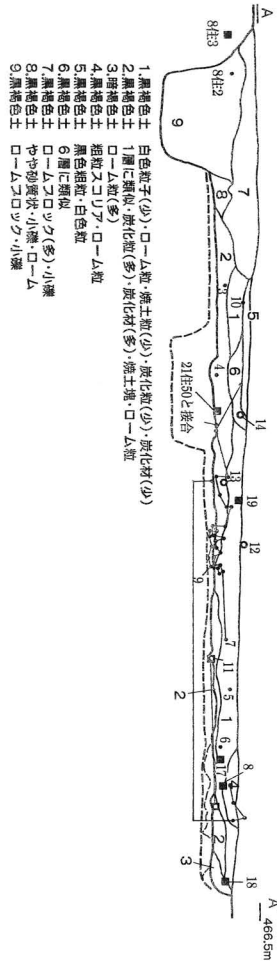
44号土坑は壇状遺構の中央やや東寄りに位置する、直径1.4m、深さ90cmの円筒形の土坑である。坑底に80×65cmの平坦な花崗岩を置き、断面には35～45cmの太さの柱痕が確認された。柱痕周囲の土層は大きく2層に分かれ、上層(10層)は締まり・粘性が強いが、下層(11層)は粗い砂質土で、締まり・粘性はやや弱く、柱の周囲を突き固めた状況ではない。

1・2号住



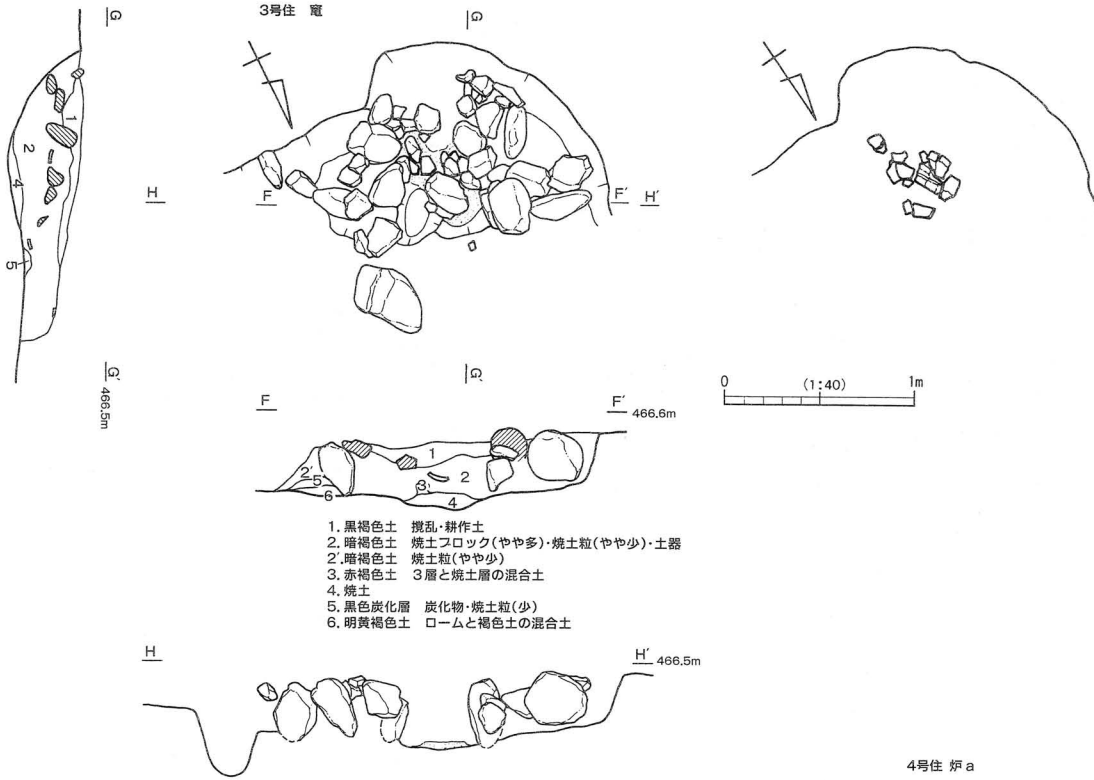
第1図 1・2号住 遺構

3・8号住



第2図 3・8号住 遺構

3号住



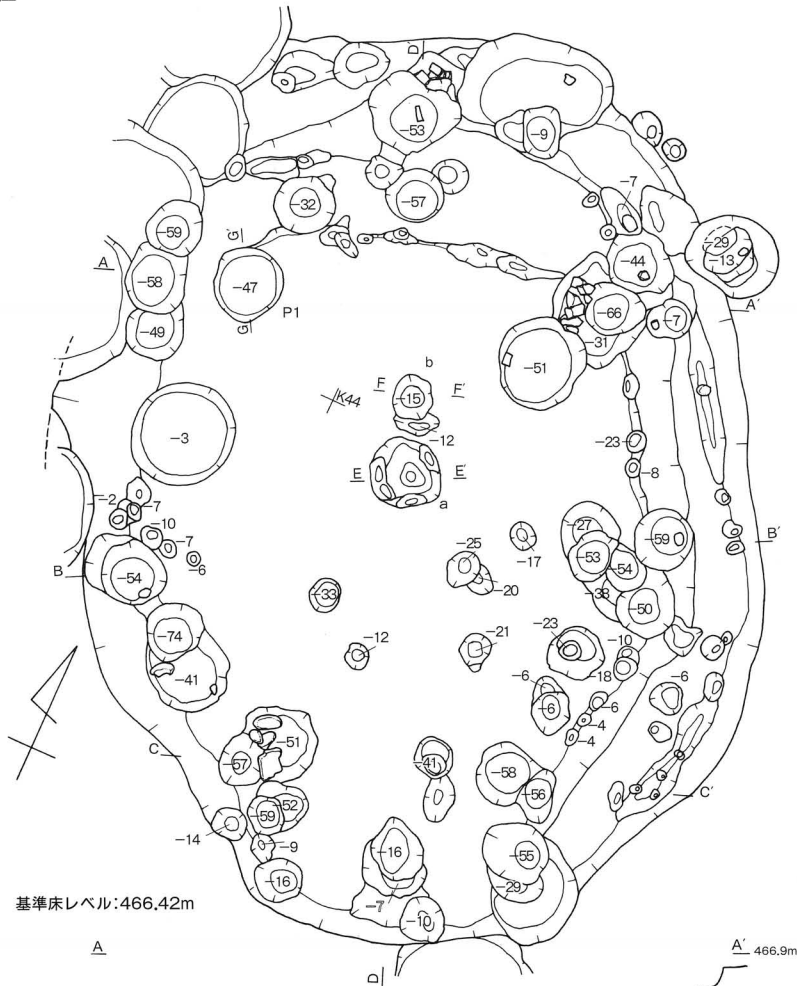
4号住



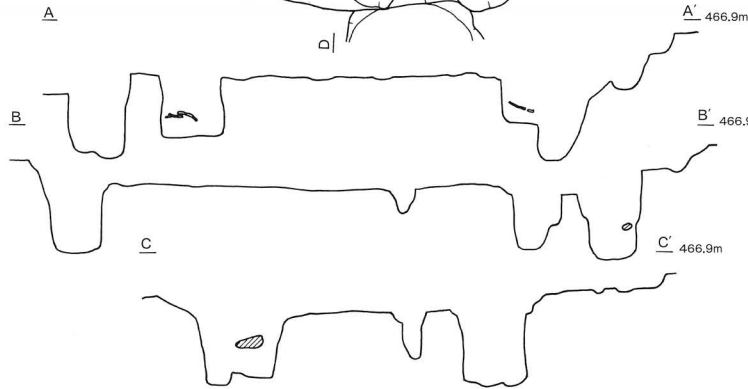
第3図 3・4号住 遺構



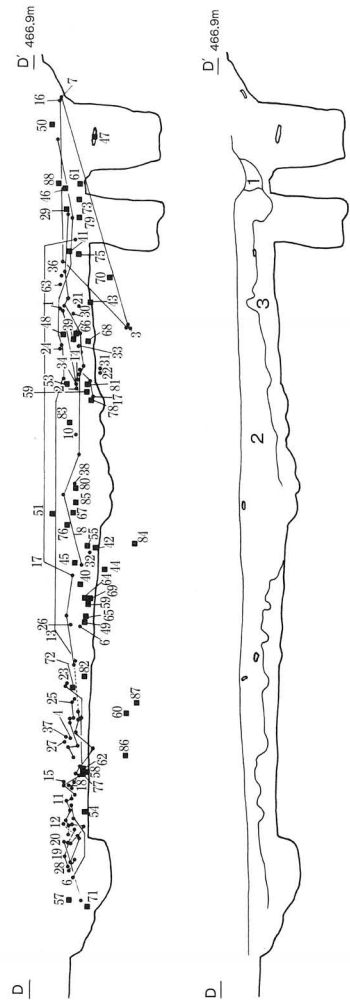
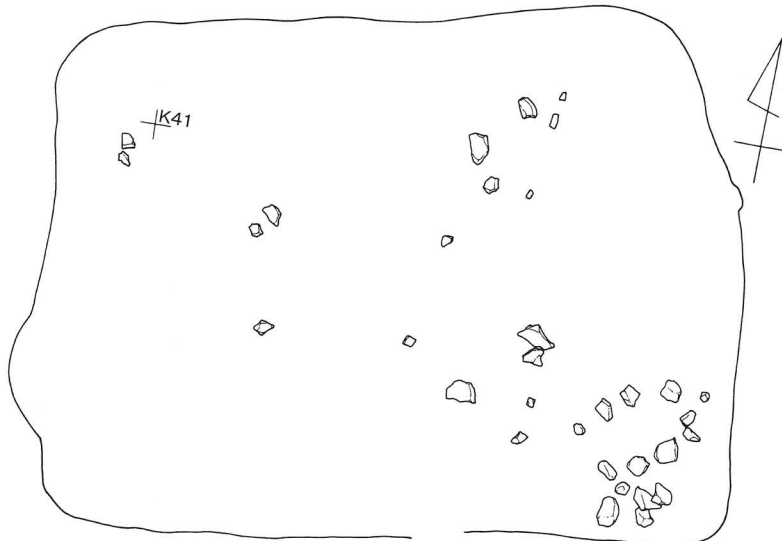
4号住



基準床レベル: 466.42m

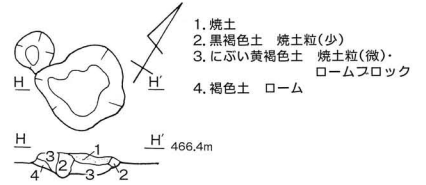


6号住



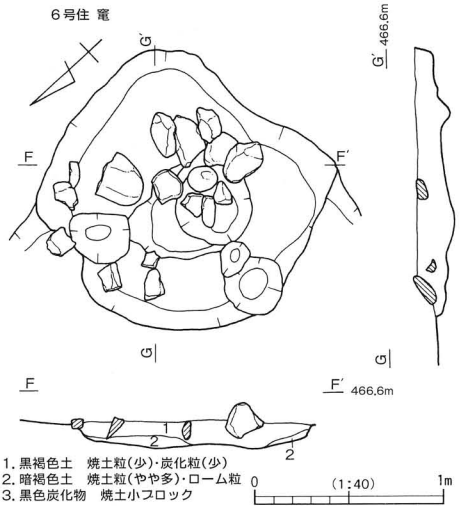
1. 暗褐色土・ローム粒・白色小礫・白色小礫
2. 黒褐色土・ローム粒・炭化粒・焼土粒
3. にぶい黄褐色土・ローム粒(多)・焼土粒・炭化粒

6号住 炉



1. 焼土
2. 黒褐色土 焼土粒(少)
3. にぶい黄褐色土 焼土粒(微)・ロームフロク
4. 褐色土 ローム

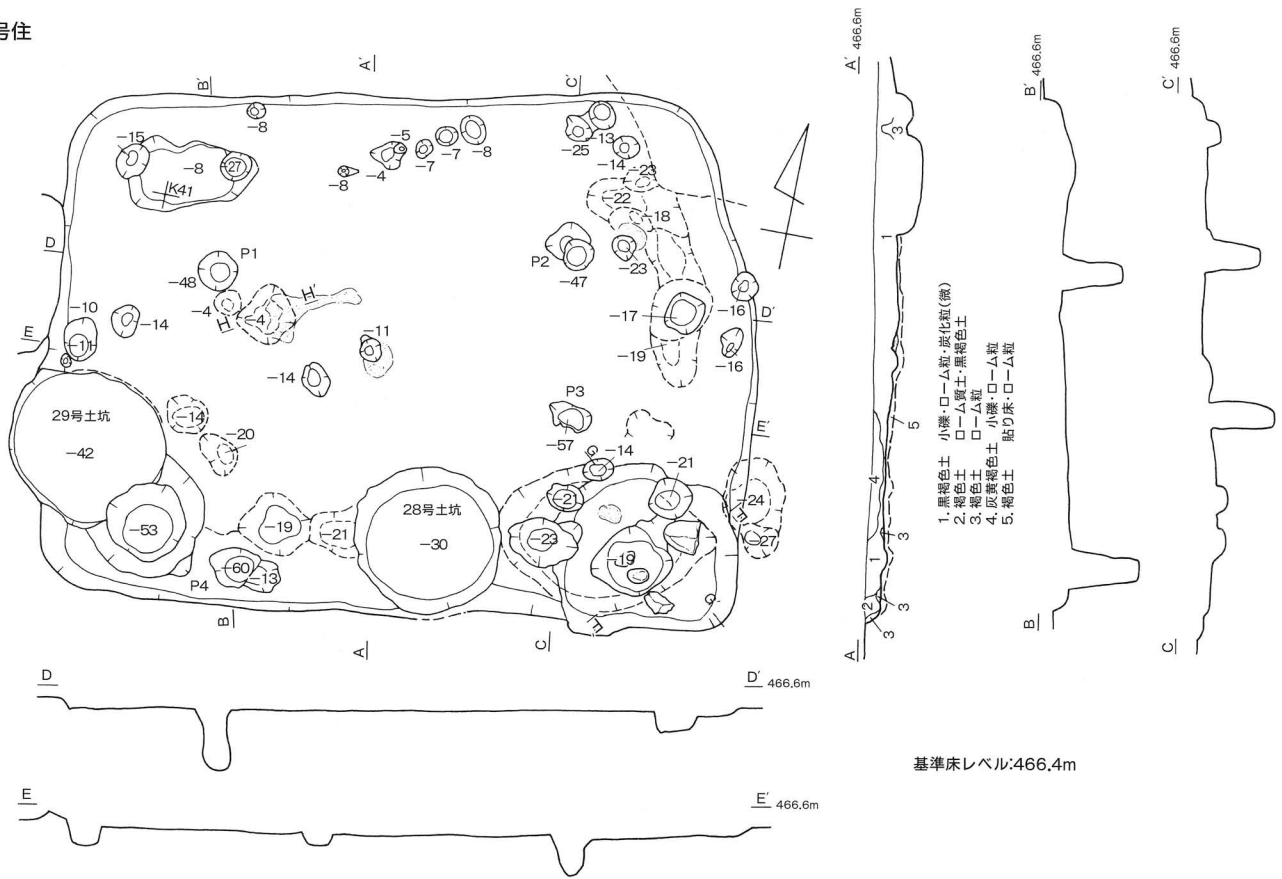
6号住 竈



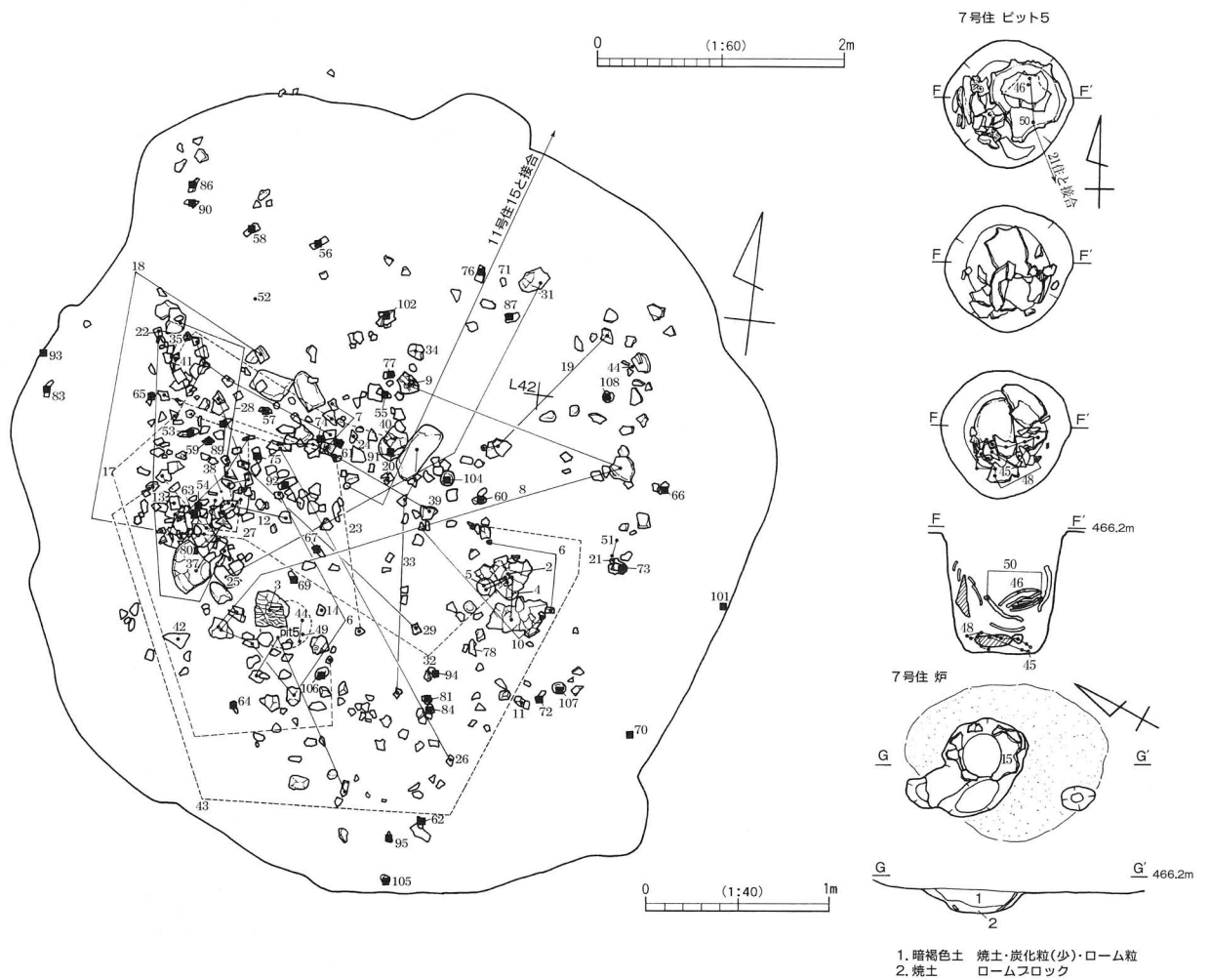
1. 黒褐色土 焼土粒(少)・炭化粒(少)
2. 暗褐色土 焼土粒(やや多)・ローム粒
3. 黒色炭化物 焼土小フロク

第4図 4・6号住 遺構

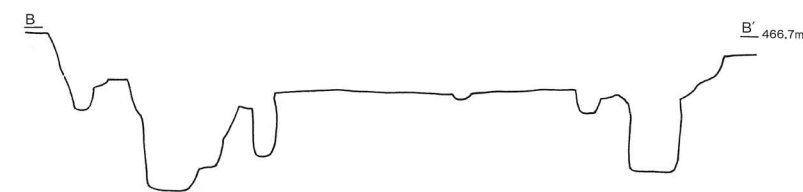
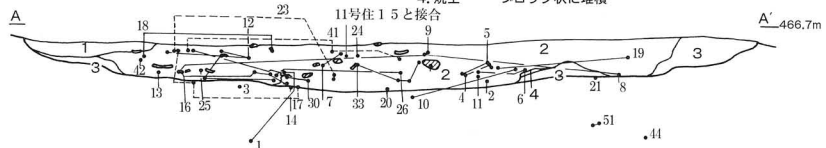
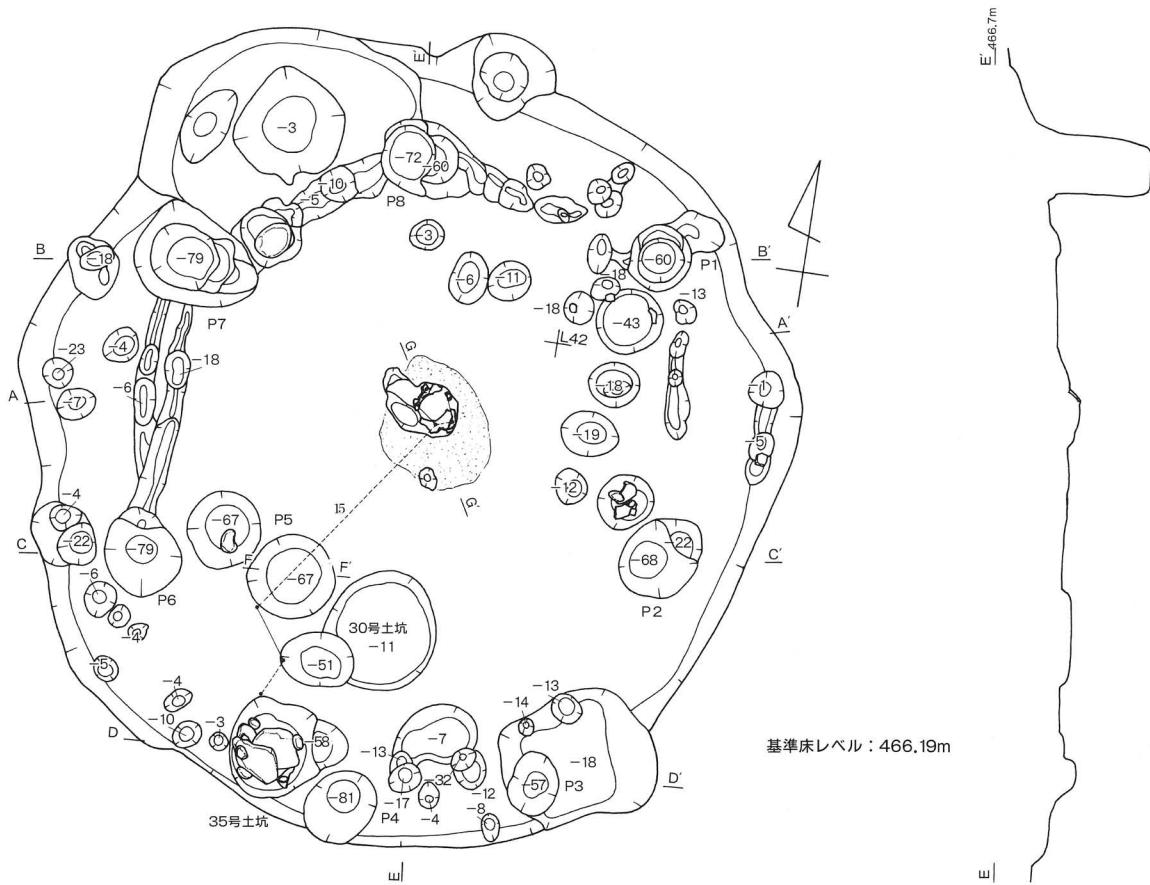
6号住

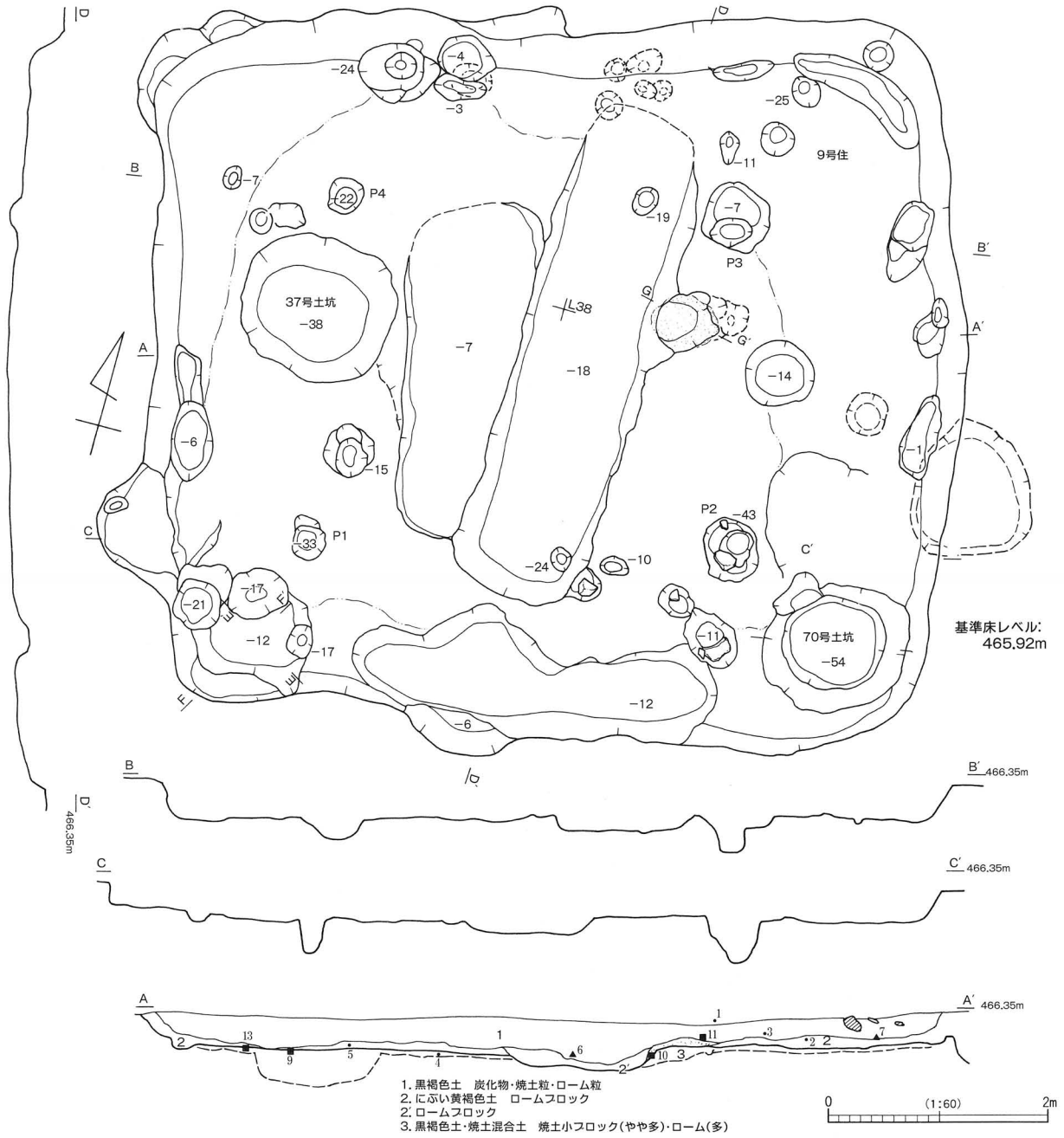


7号住

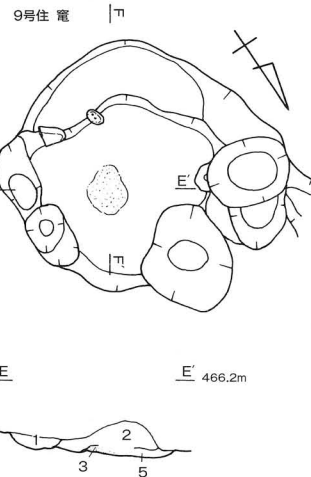
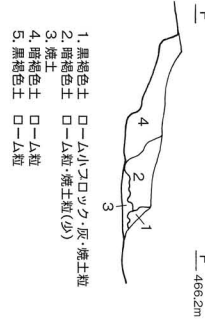
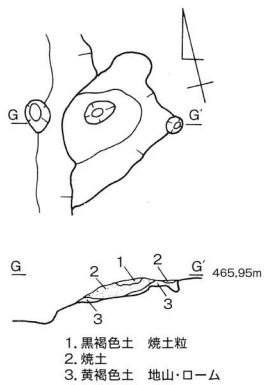


第5図 6・7号住 遺構





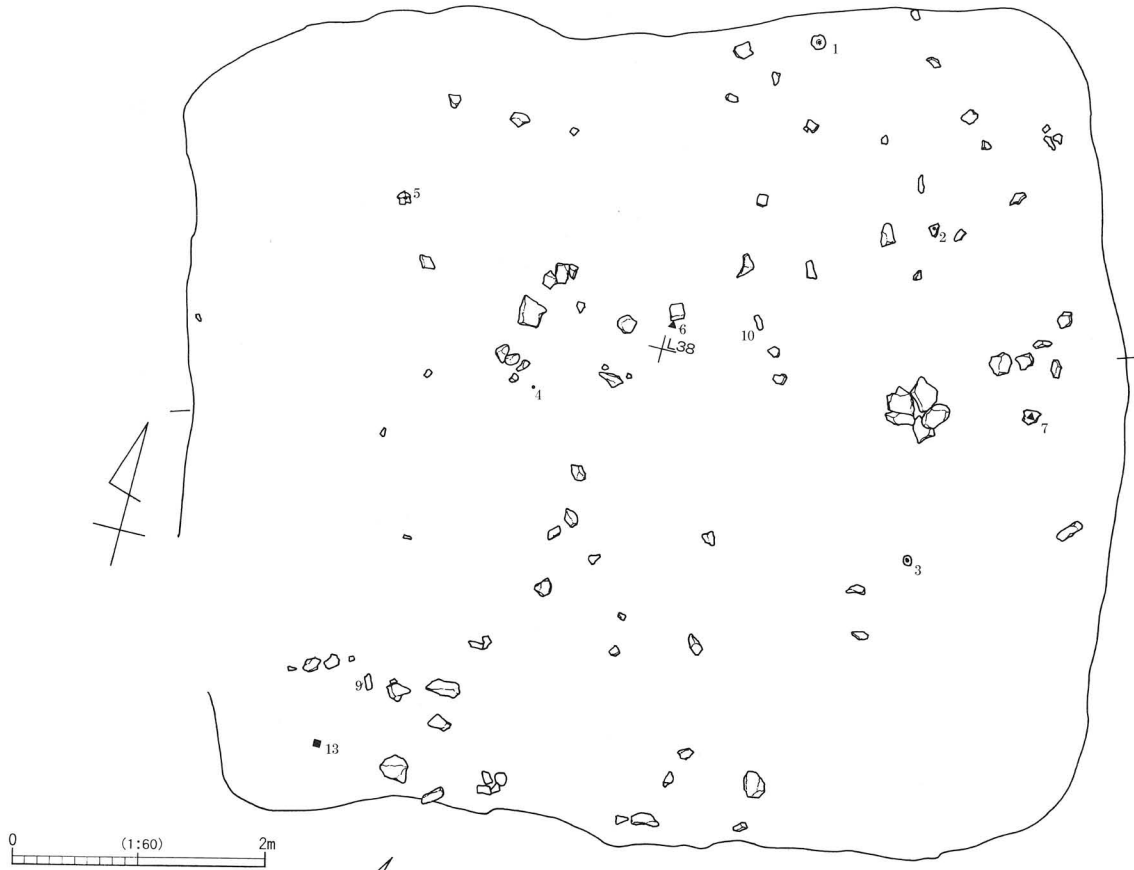
9号住 炉



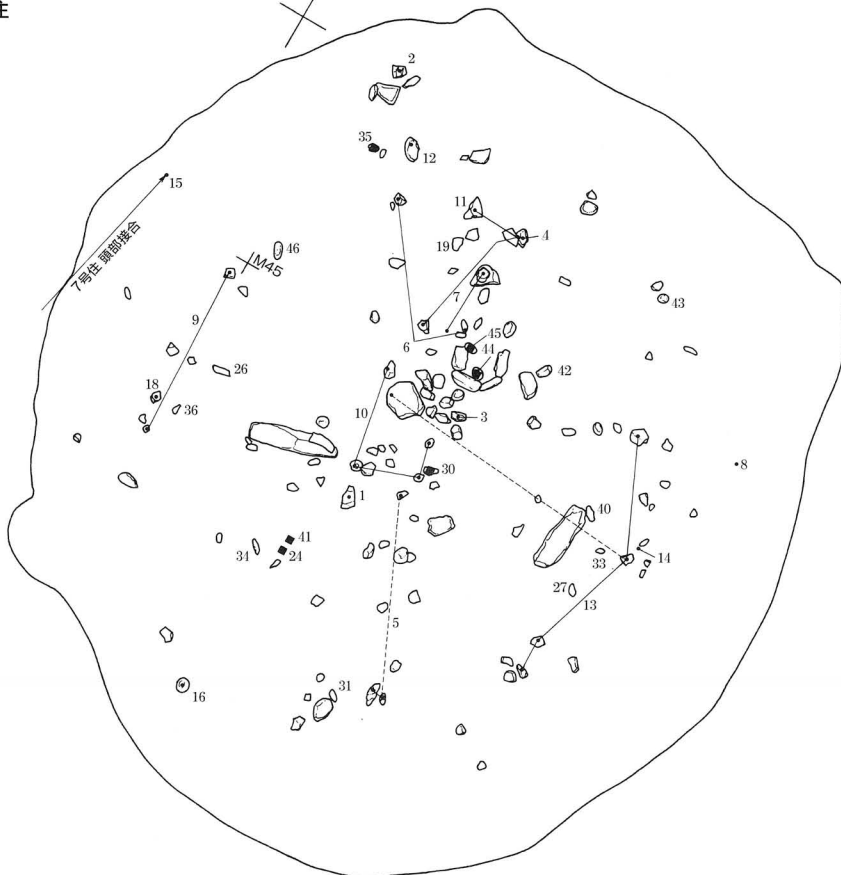
第7図 9号住 遺構



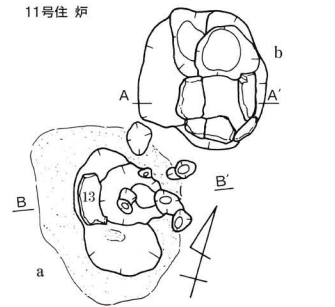
9号住



11号住



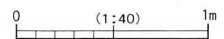
11号住 炉



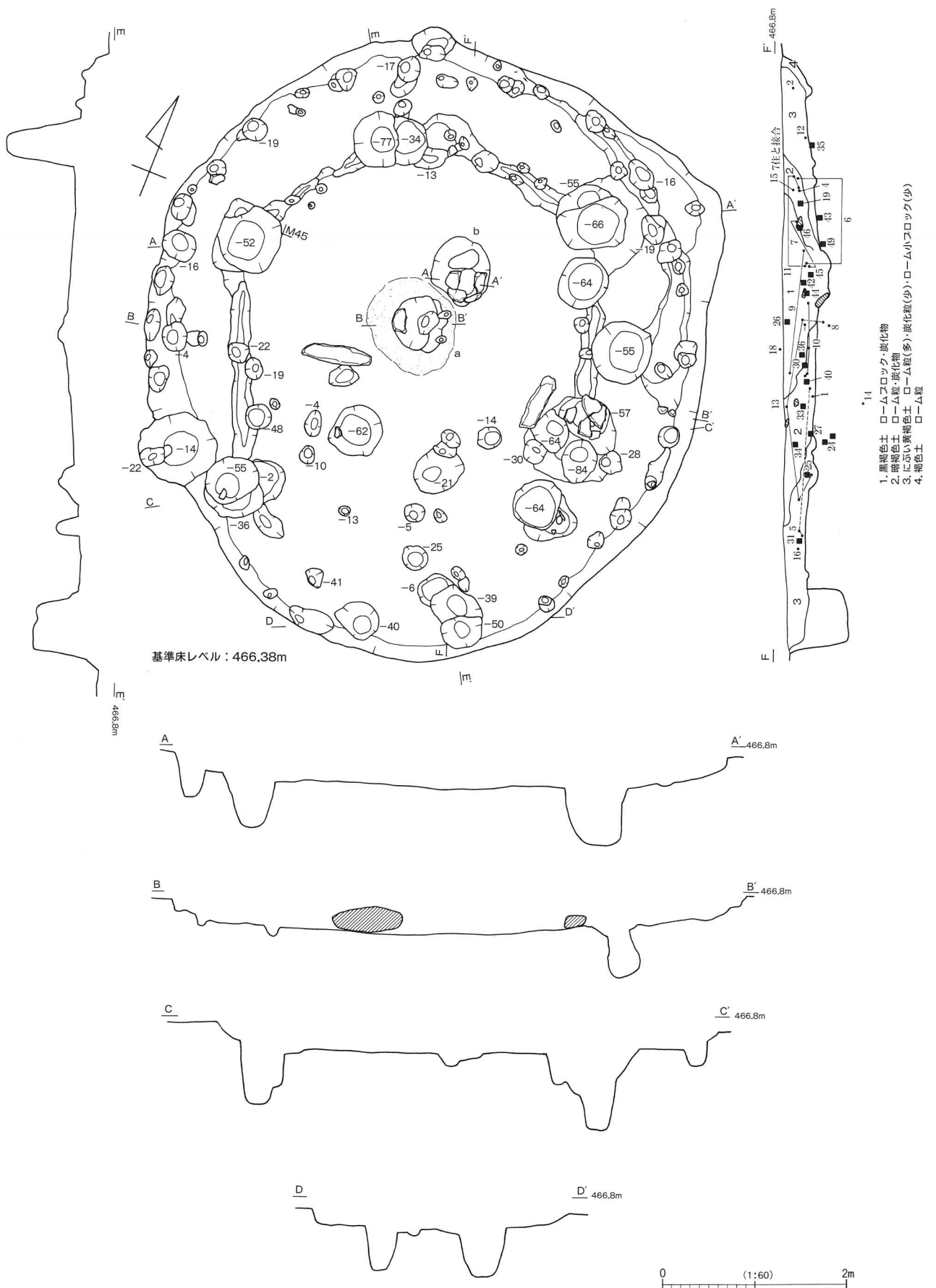
- 1. 暗褐色土 焼土小フロック・灰
- 2. 赤褐色土 焼土・ローム粒(多)
- 3. 暗褐色土 ローム小フロック



- 1. 暗褐色土 炭化物・焼土粒(やや多)
- 2. 赤褐色土 焼土

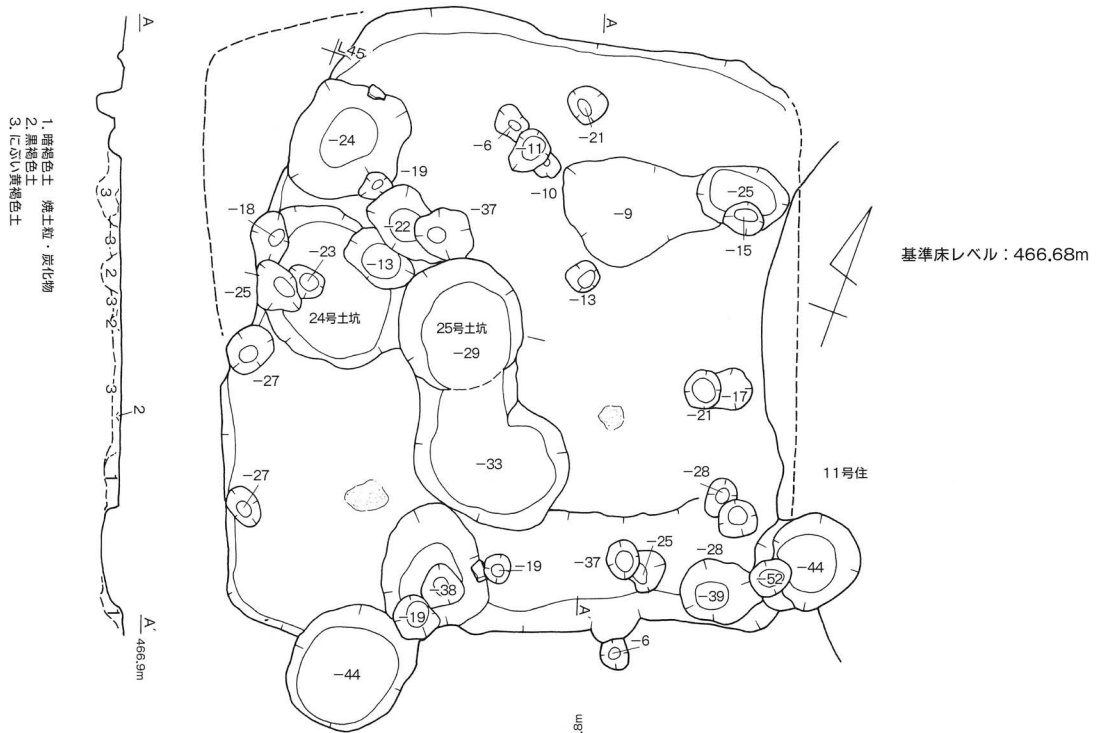


第8図 9・11号住 遺構

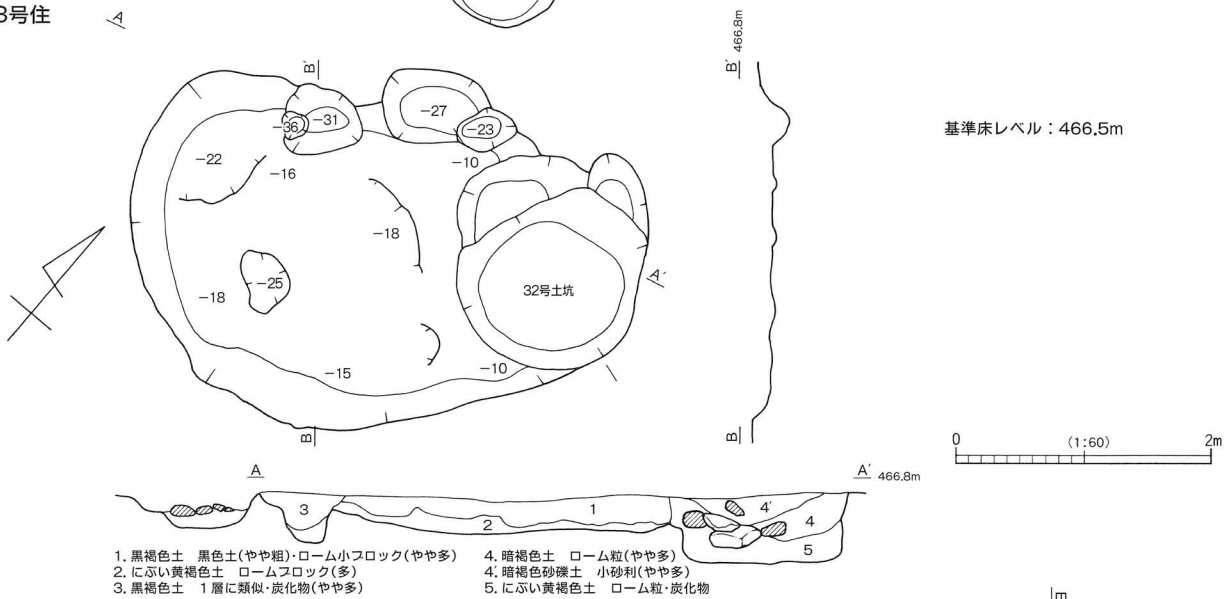


第9図 11号住 遺構

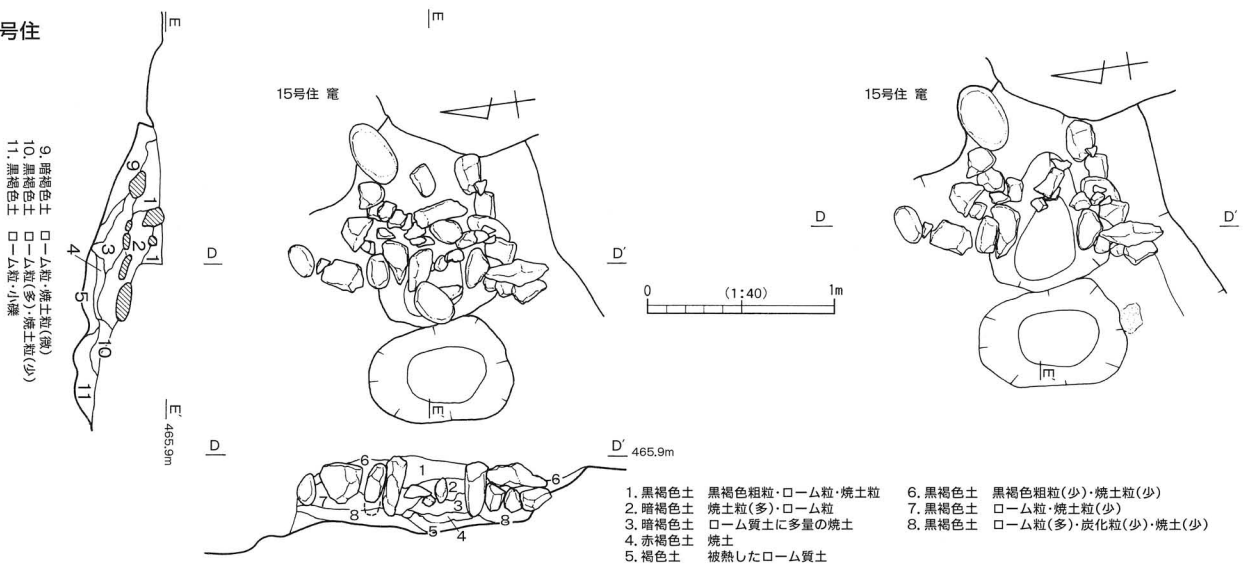
12号住



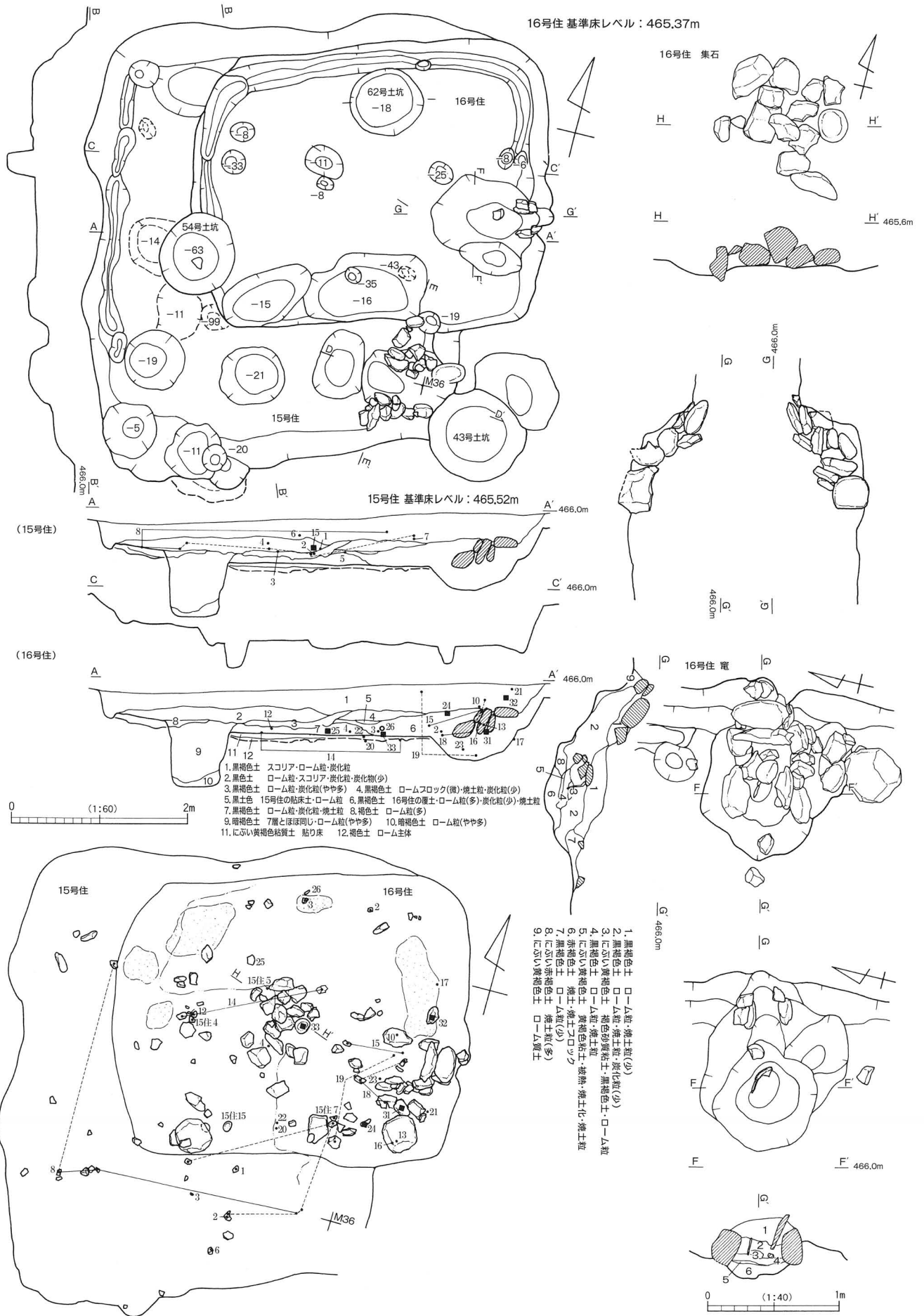
13号住



15号住



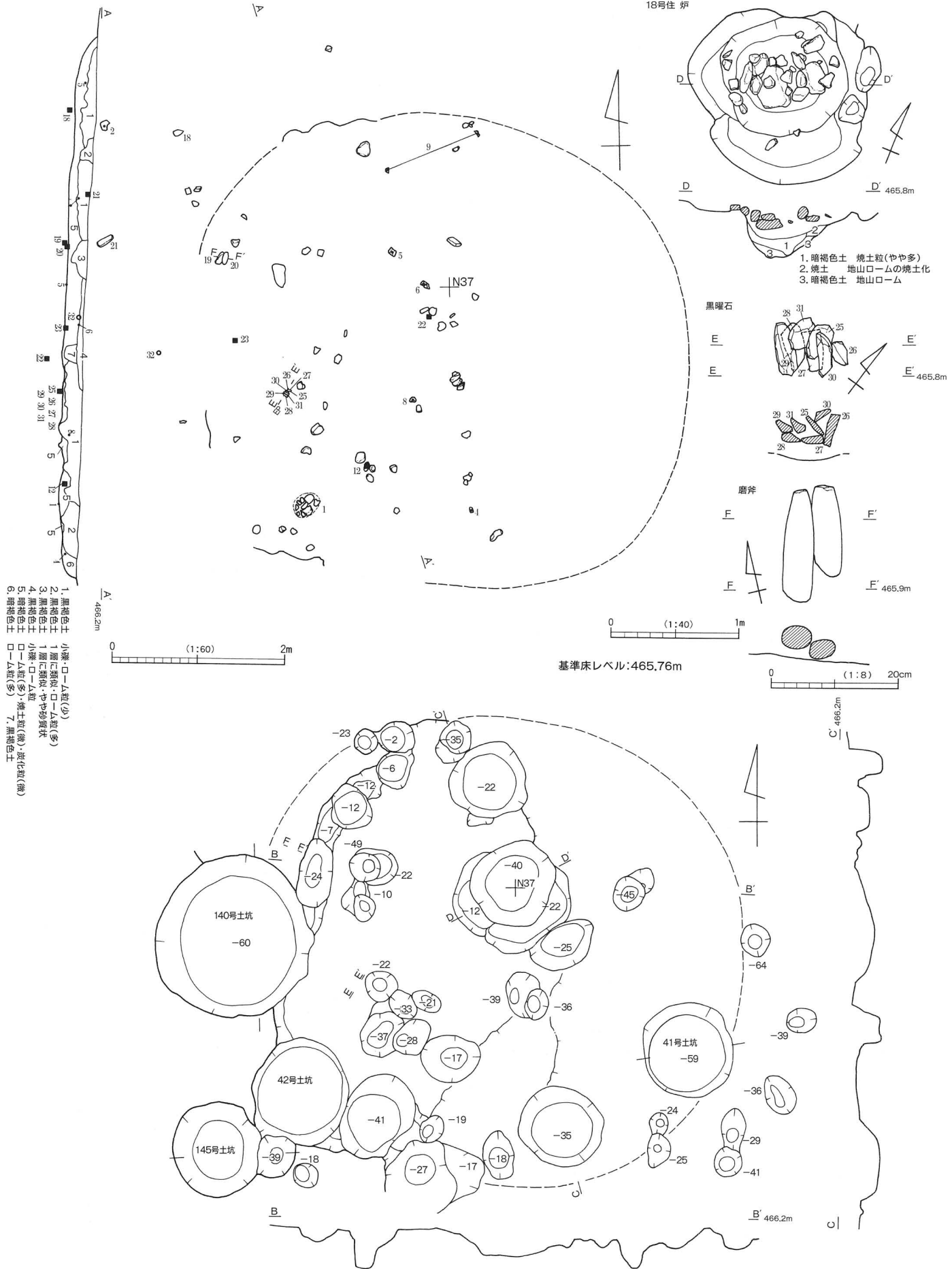
第10図 12・13・14号住 遺構



第11図 15・16号住 遺構





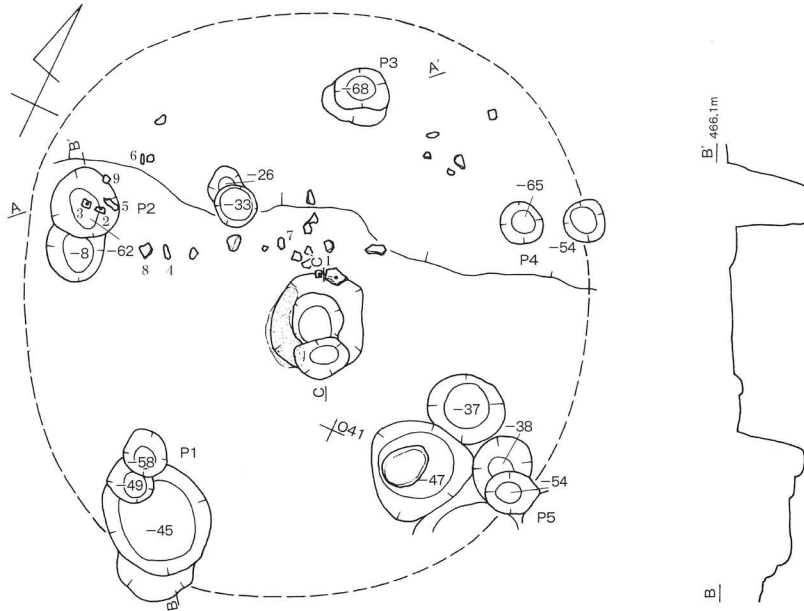


- 1. 黒褐色土 小溝・ローム(少)
- 2. 黒褐色土 1層に剥取・ローム(多)
- 3. 黒褐色土 小溝に剥取・やや砂質状
- 4. 黒褐色土 小溝・ローム
- 5. 暗褐色土 □・△(多)・焼土(微)・灰化(微)
- 6. 暗褐色土 □・△(多)
- 7. 黒褐色土

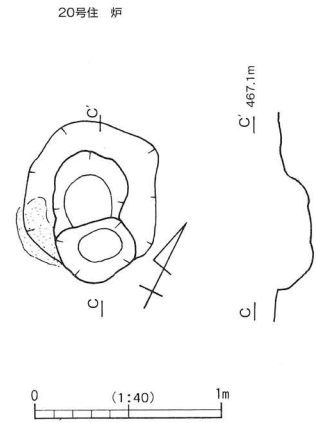
- 1. 暗褐色土 焼土粒(やや多)
- 2. 焼土 地山ロームの焼土化
- 3. 暗褐色土 地山ローム

第13図 18号住 遺構

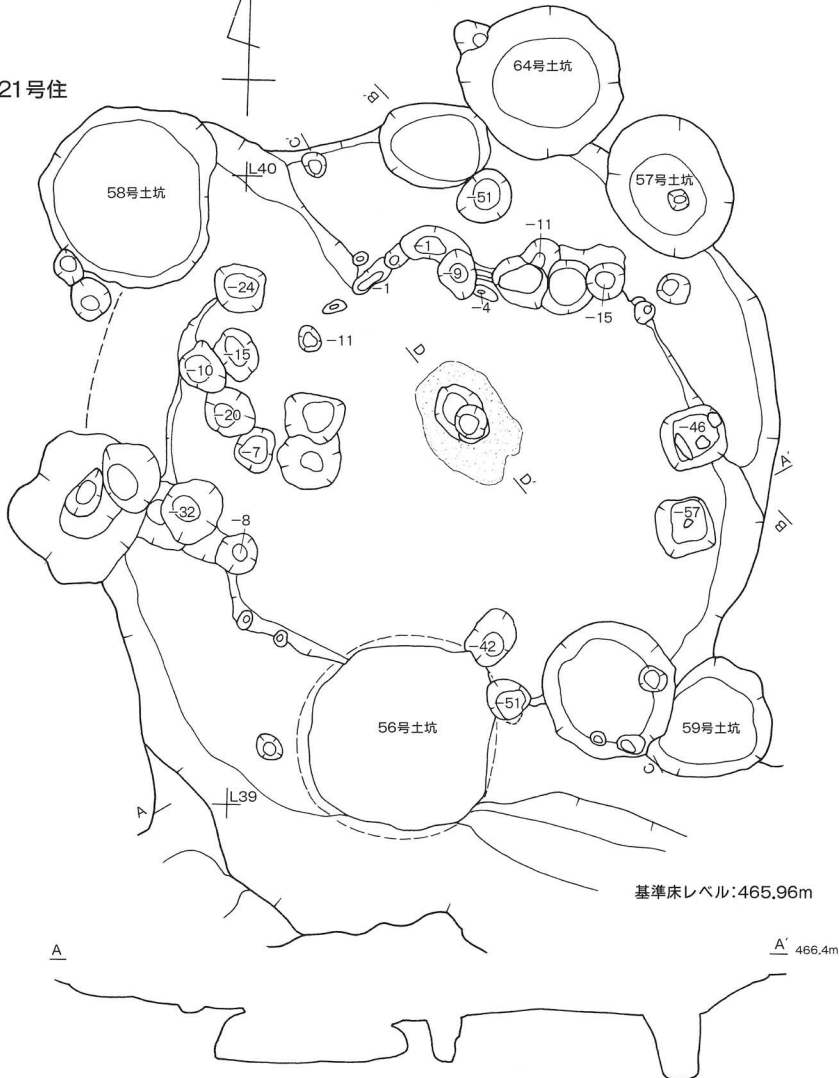
20号住



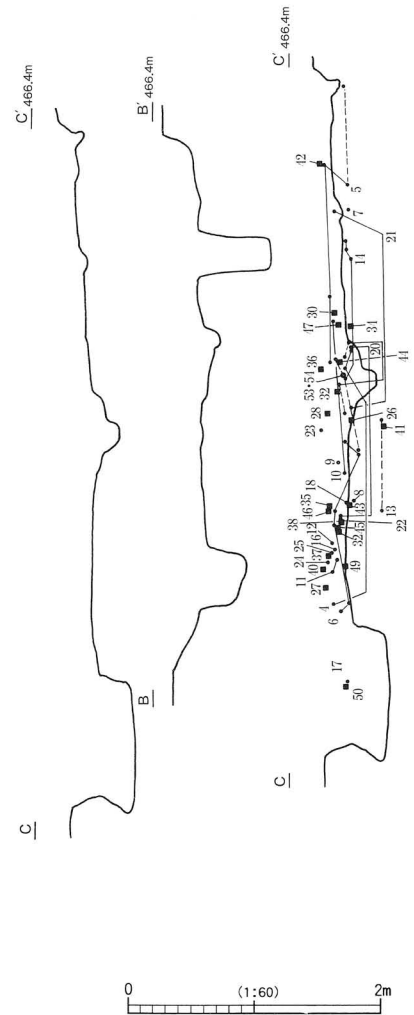
基準床レベル:466.01m



21号住

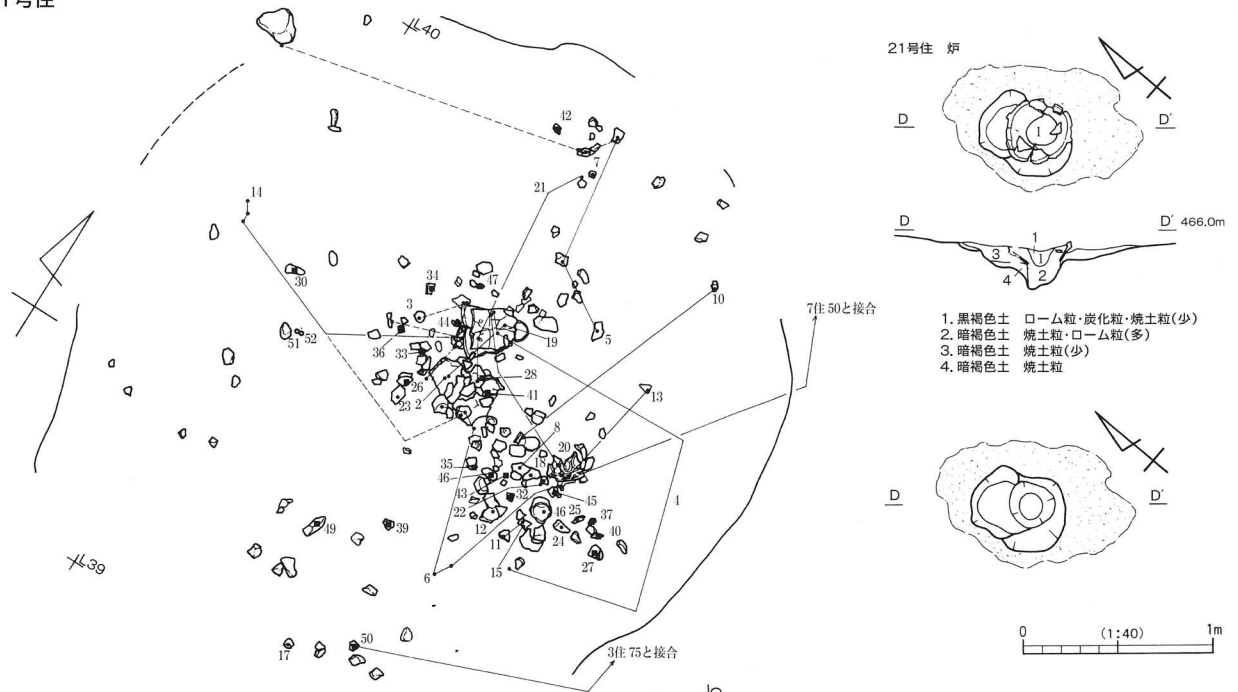


基準床レベル:465.96m

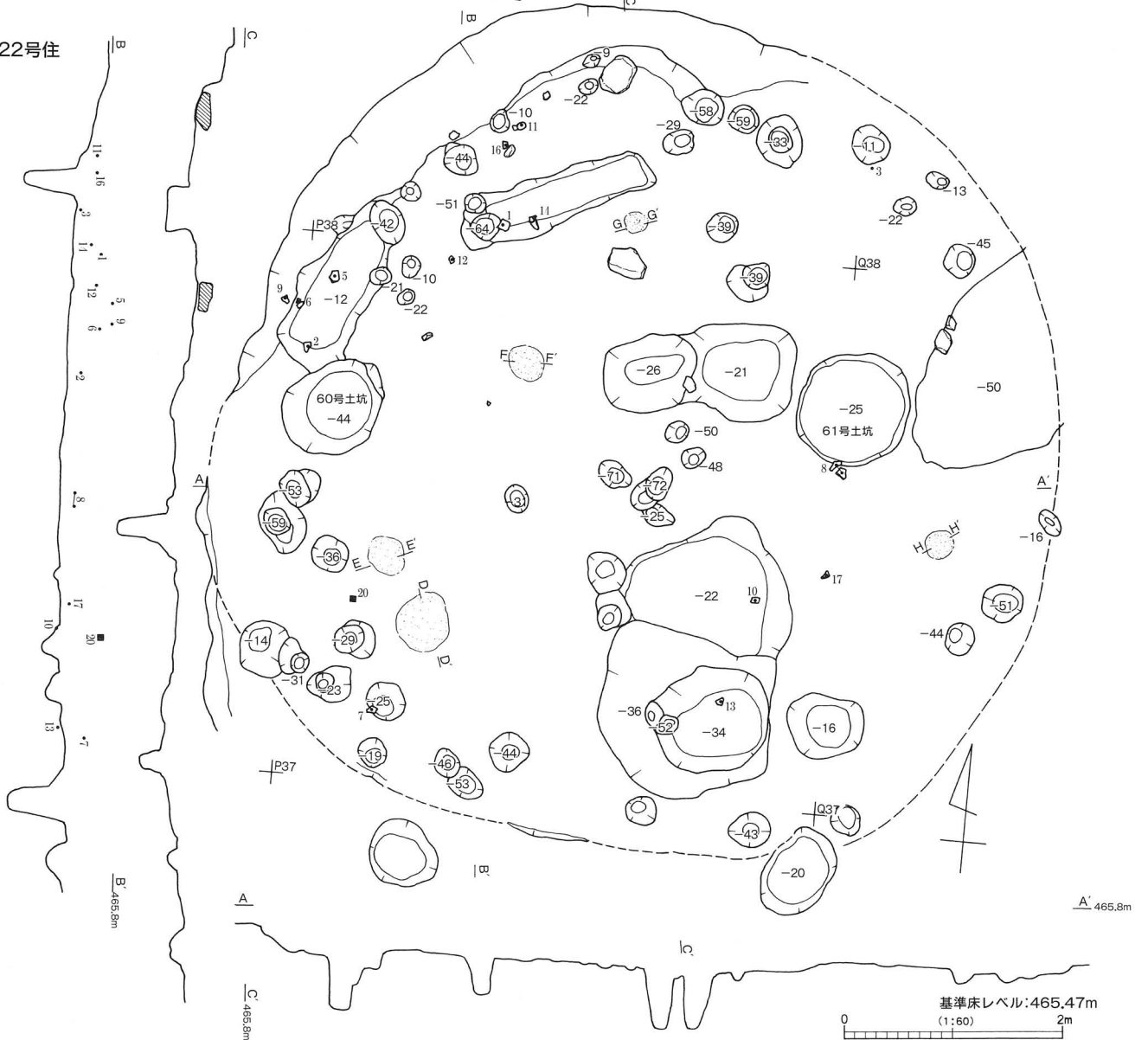


第14図 20・21号住 遺構

21号住



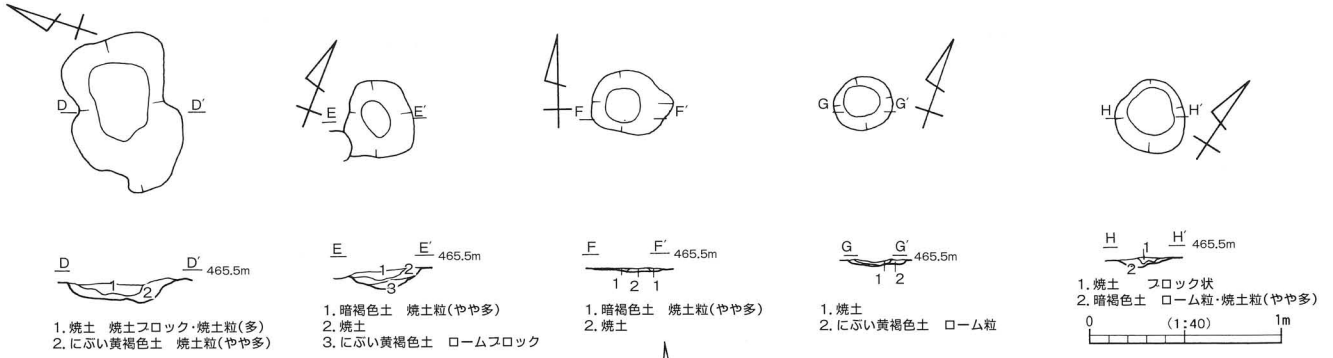
22号住



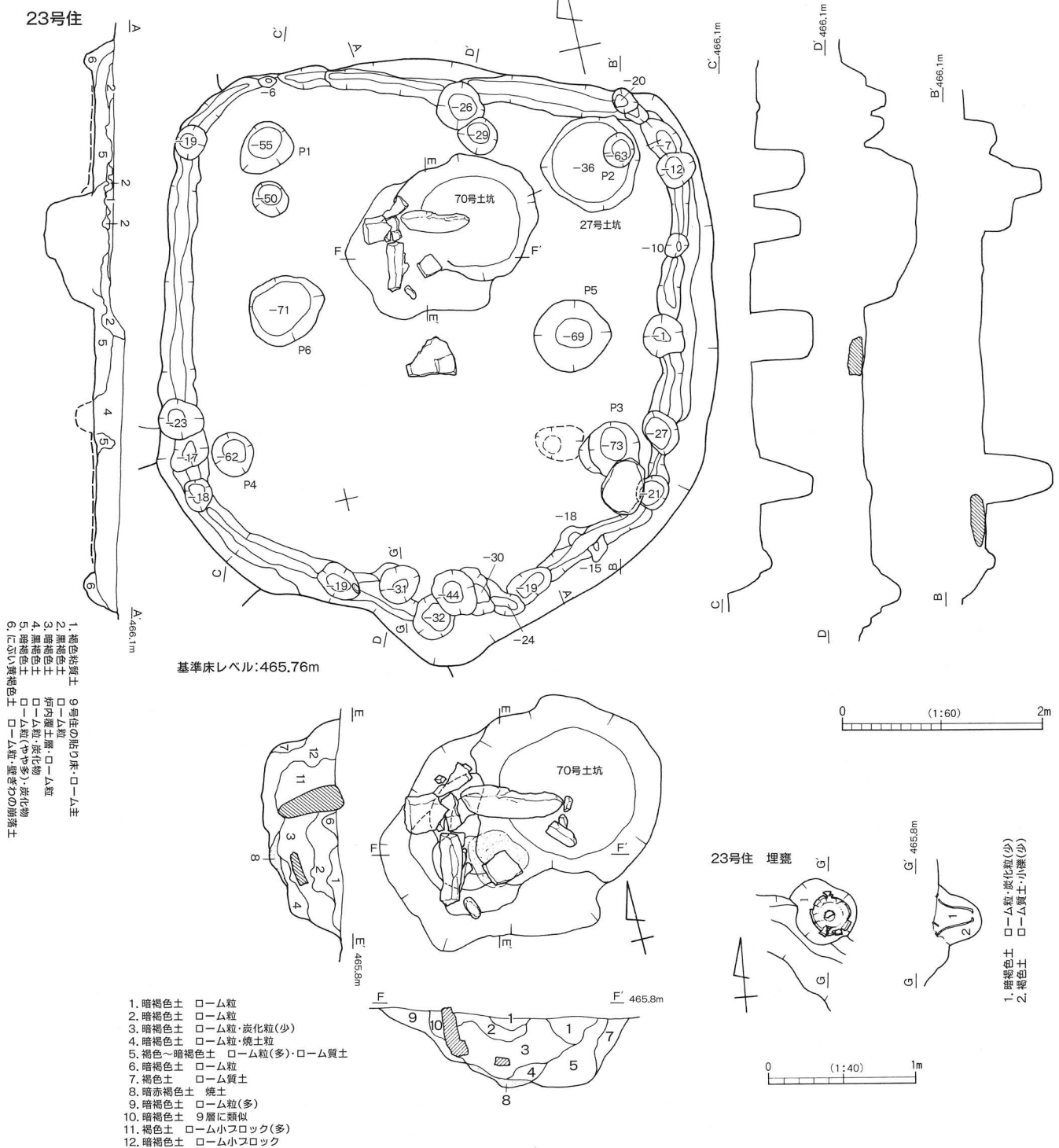
第15図 21・22号住 遺構



22号住



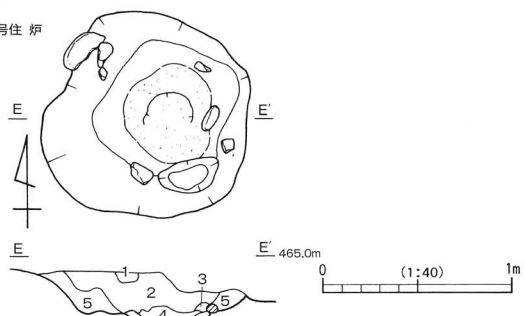
23号住



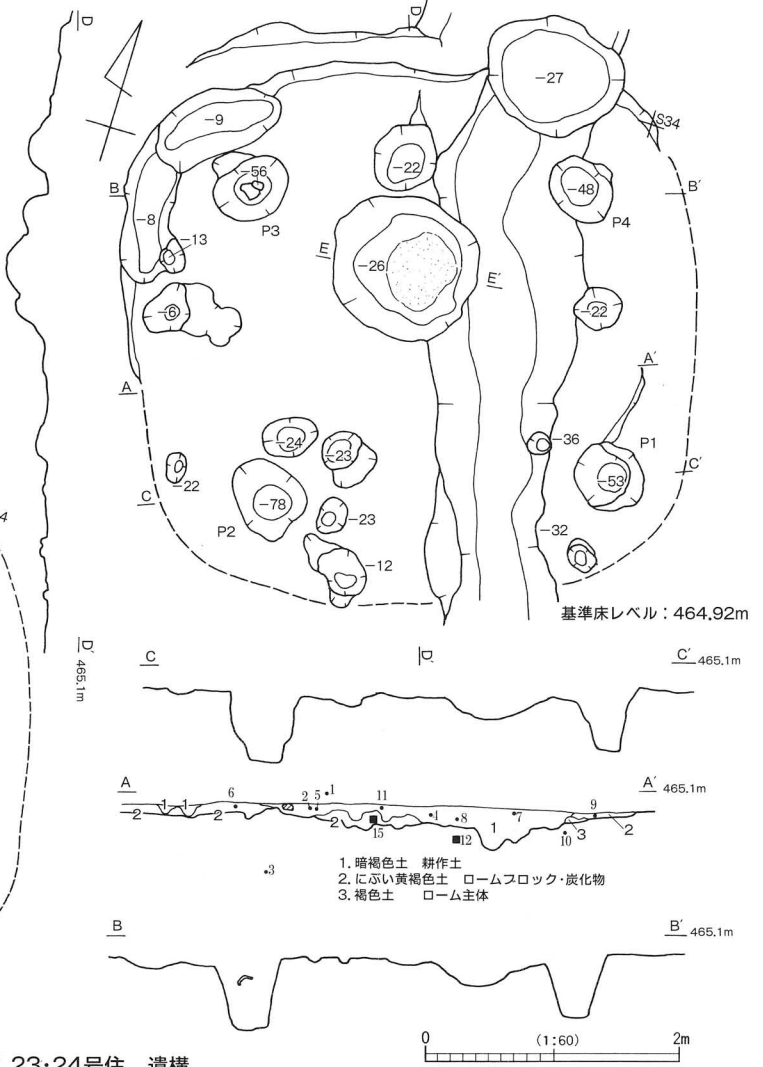
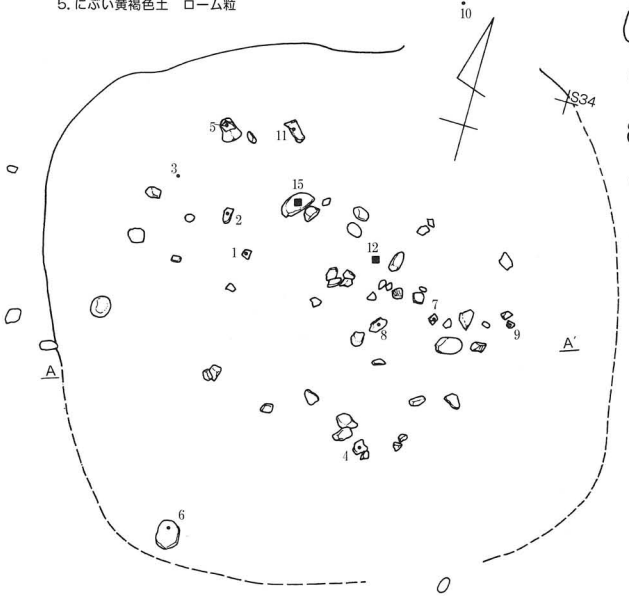
第16図 22・23号住 遺構



24号住 炉

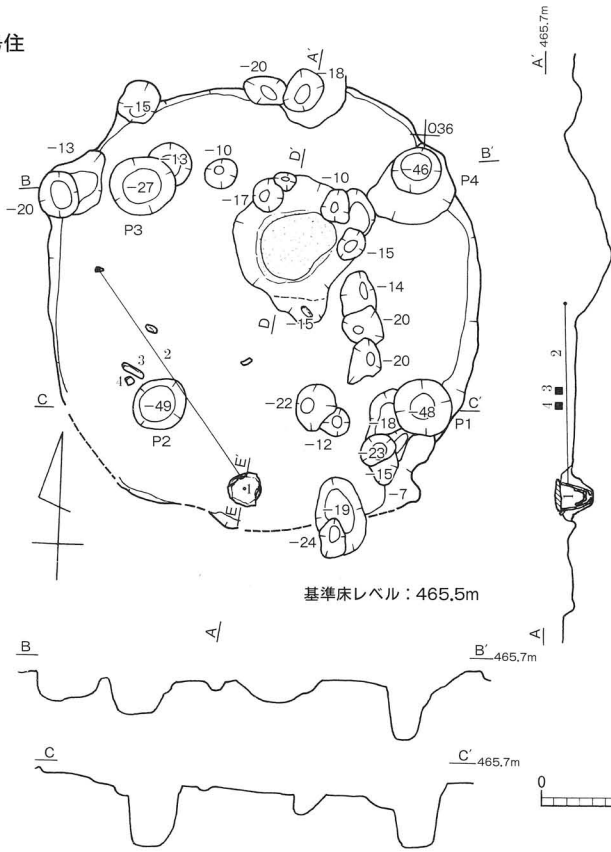


- 1. 黒褐色土 粘質土
- 2. 暗褐色土 炭化物・焼土粒・ローム粒
- 3. 褐色土 ロームブロック
- 4. 暗褐色土 2層とほぼ同じ・焼土粒(多)・小ブロック(多)
- 5. にくい黄褐色土 ローム粒

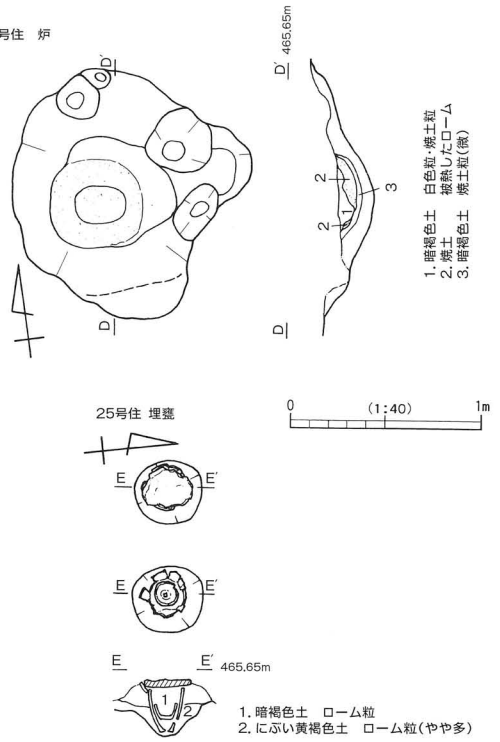


第17図 23・24号住 遺構

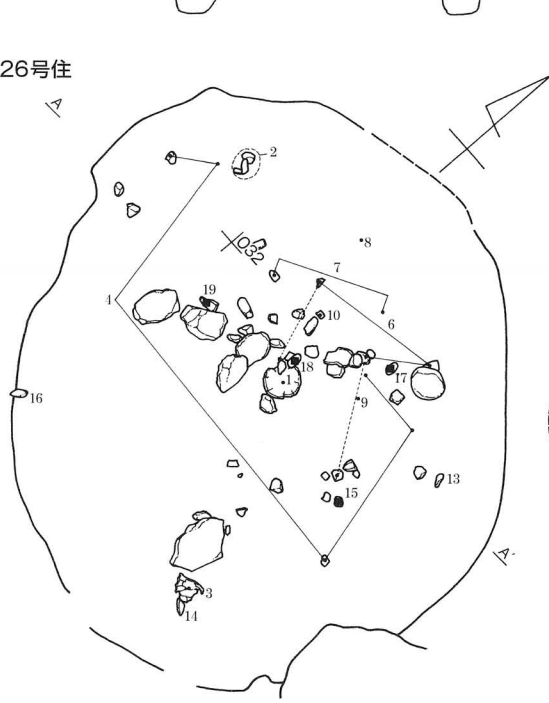
25号住



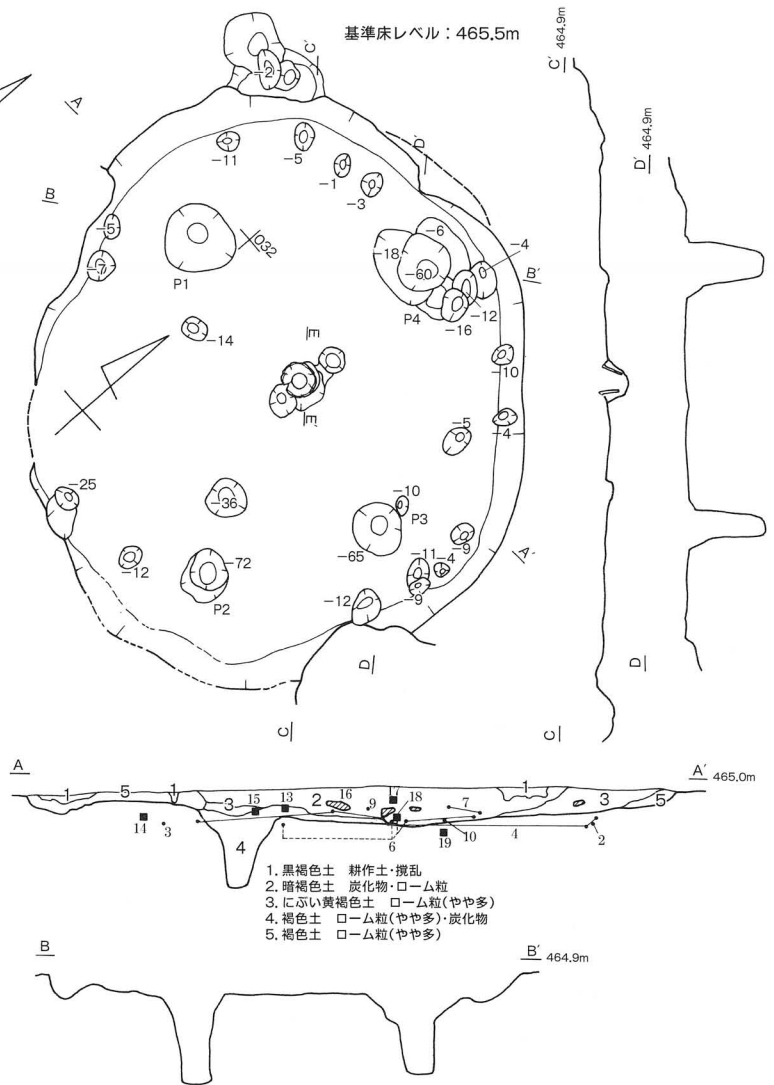
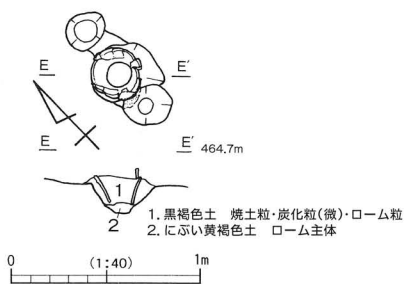
25号住 炉



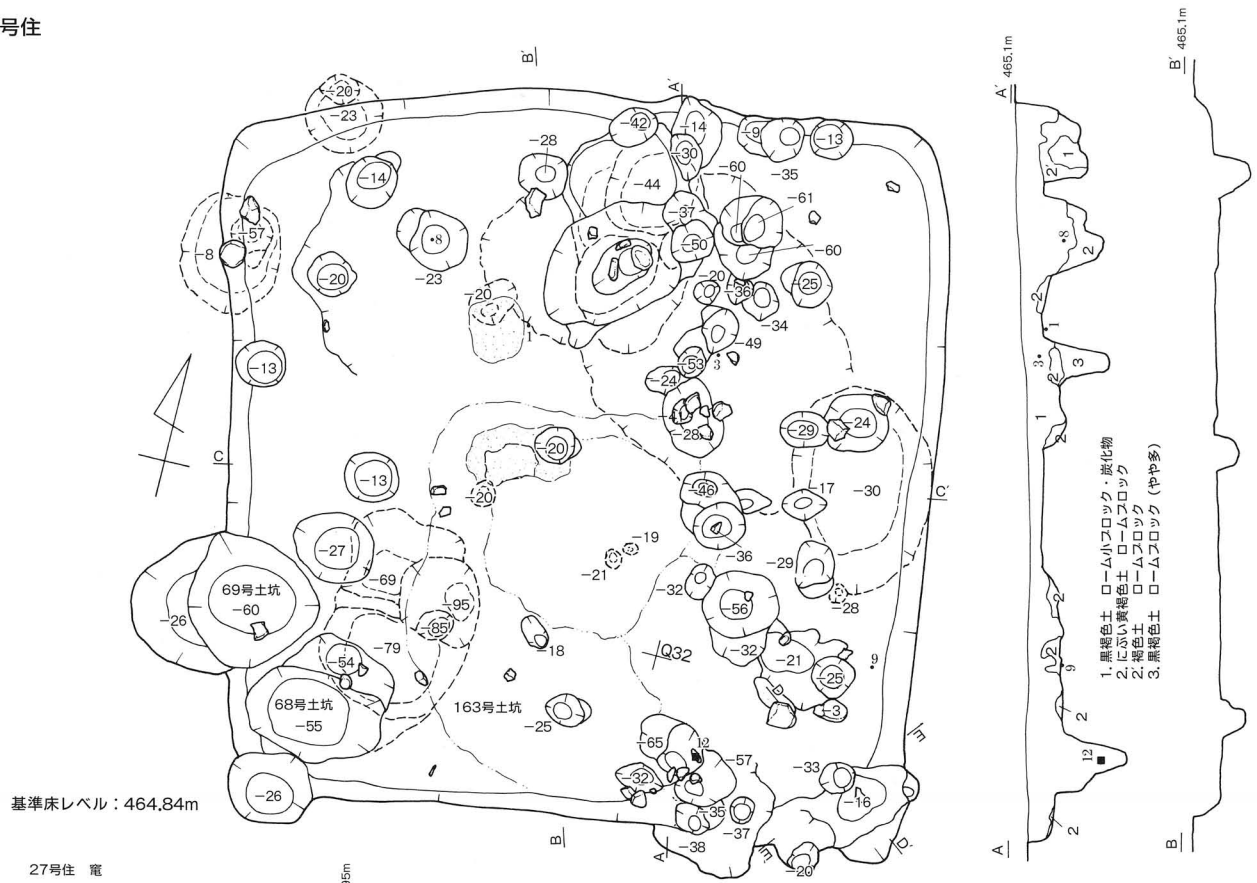
26号住



26号住 炉

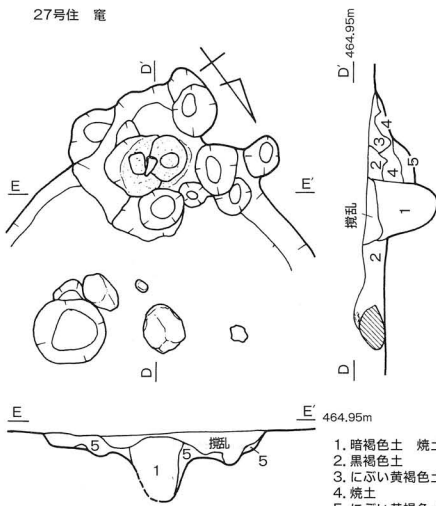


第18図 25・26号住遺構

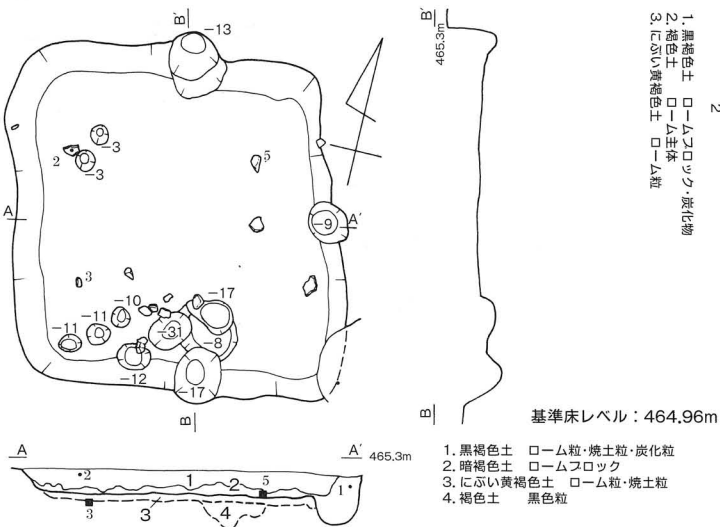


基準床レベル：464.84m

27号住 竈

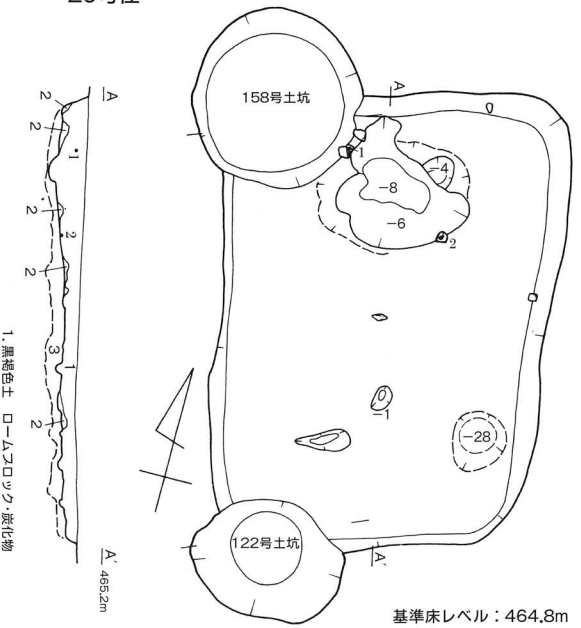


28号住



基準床レベル：464.96m

29号住

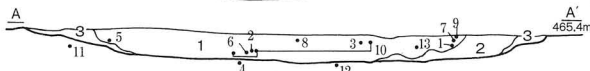
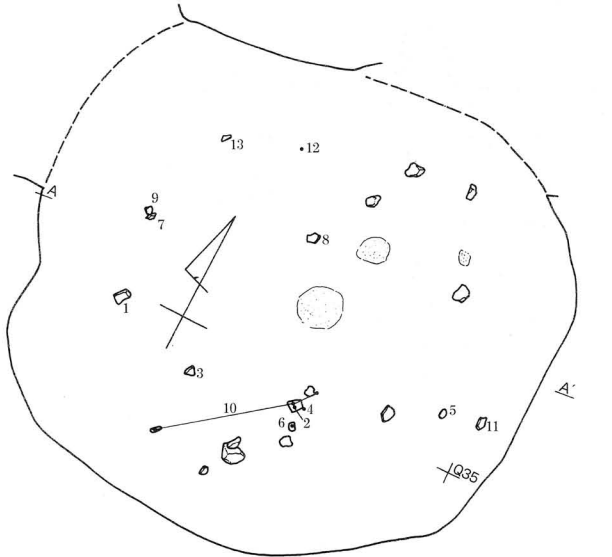


基準床レベル：464.8m

第19図 27~29号住 遺構



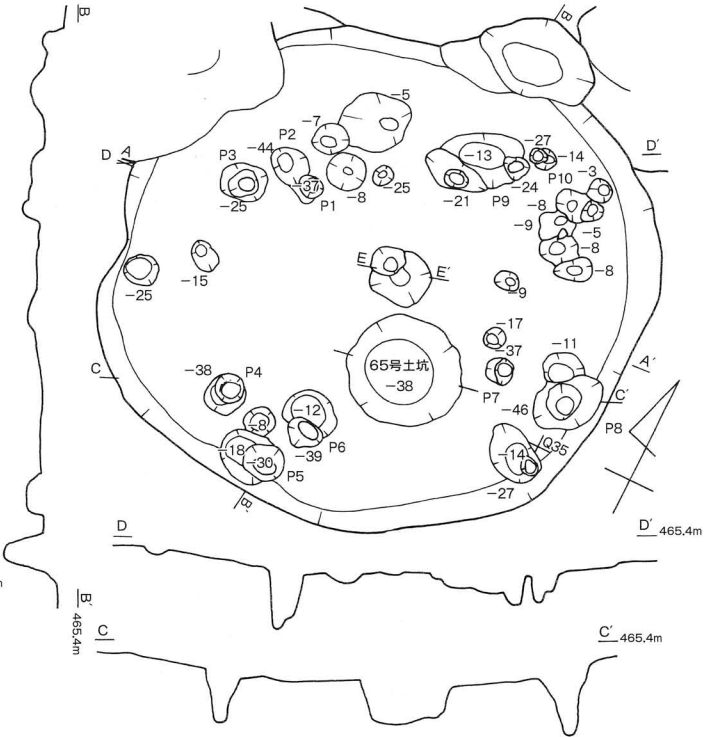
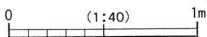
30号住



- 30号住 炉
1. 暗褐色土 焼土粒・炭化物(微)
  2. にぶい黄褐色土 ローム粒(やや多)・炭化物
  3. 褐色土 ローム

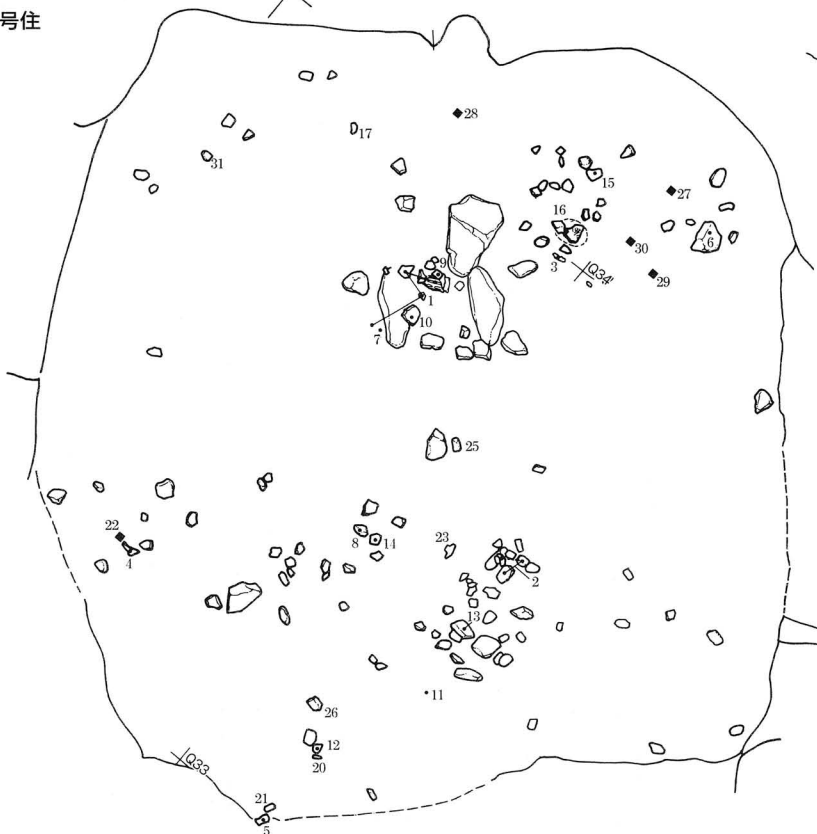


1. 暗褐色土 焼土粒・ローム粒・炭化物(微)
2. 焼土 ローム地山が焼土化

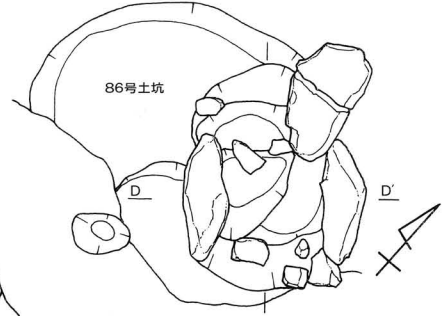


基準床レベル：465.1m

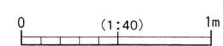
31号住



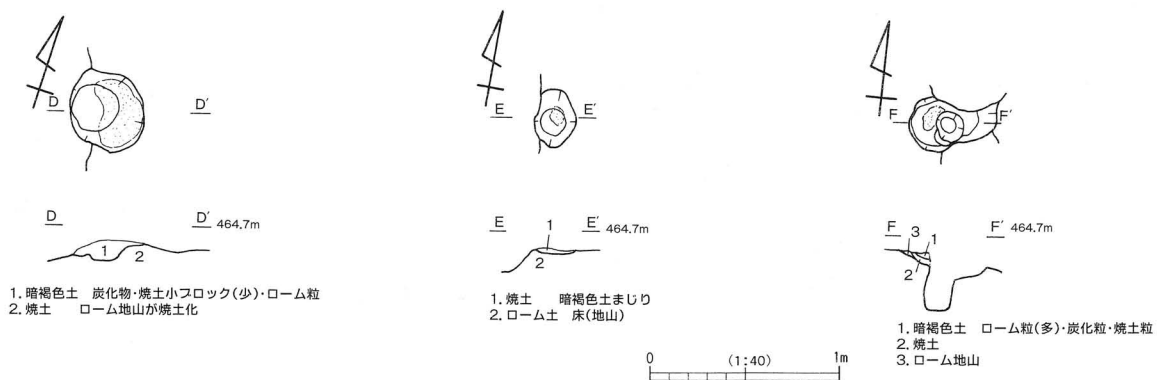
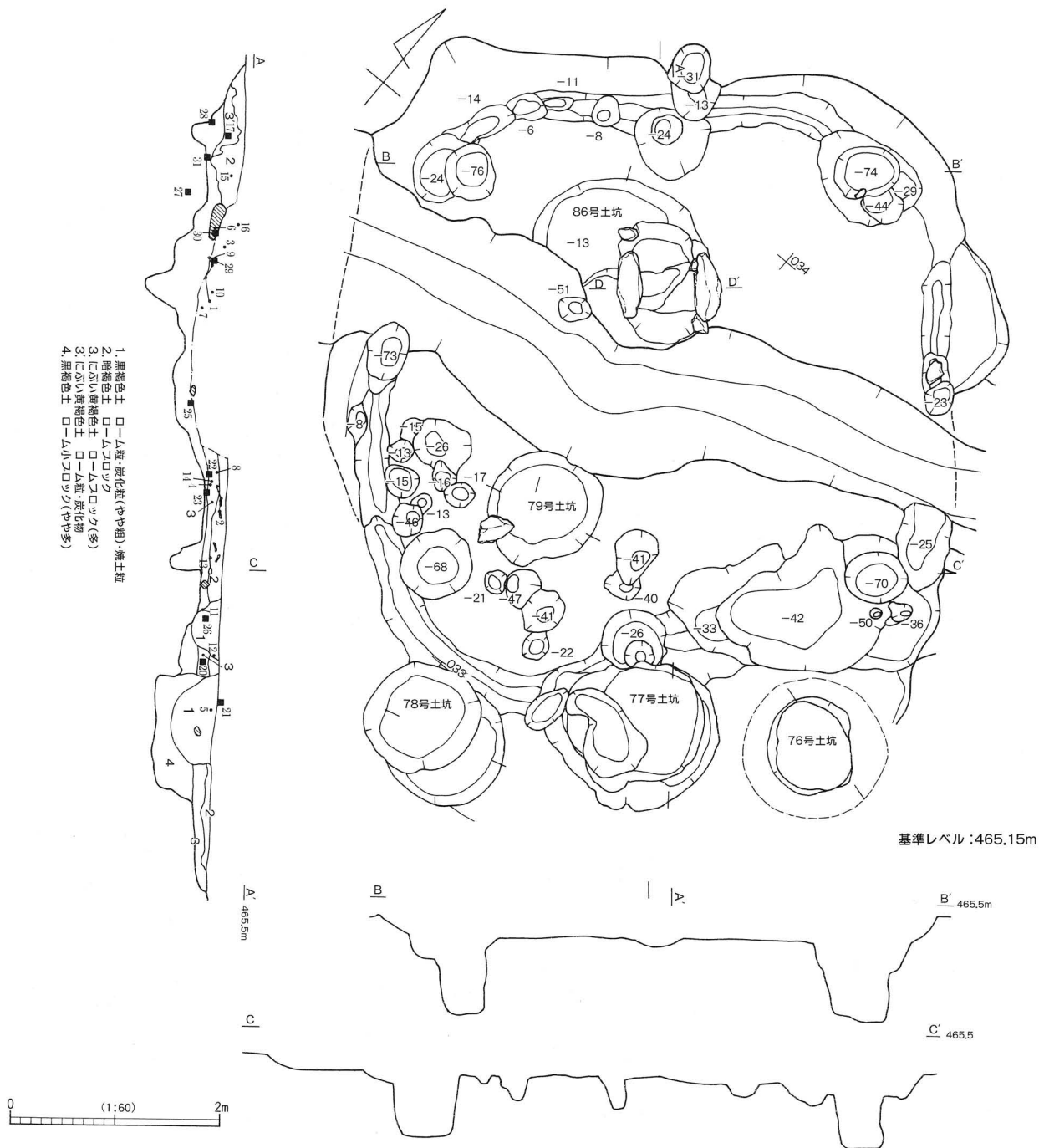
31号住 炉



1. 暗褐色土 礫・ローム粒・焼土粒・炭化物
2. 褐色土 ローム粒
3. 暗褐色土 焼土粒(やや多)・ローム粒・炭化物粒
4. 焼土 赤褐色土
5. 暗褐色土 86号土坑の覆土



第20図 30・31号住 遺構



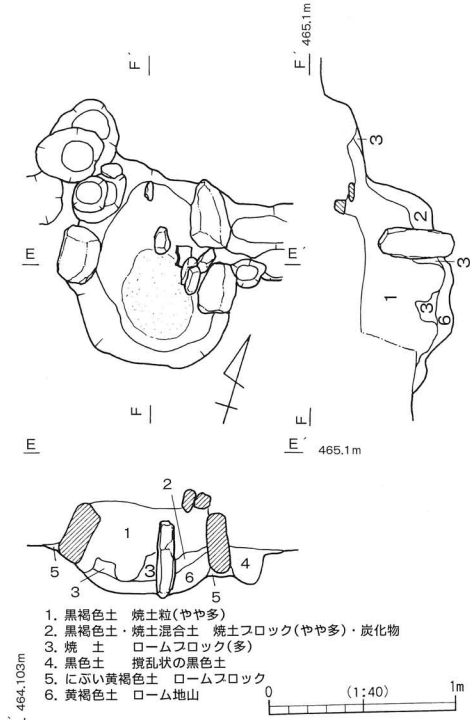
第21図 31・32号住 遺構



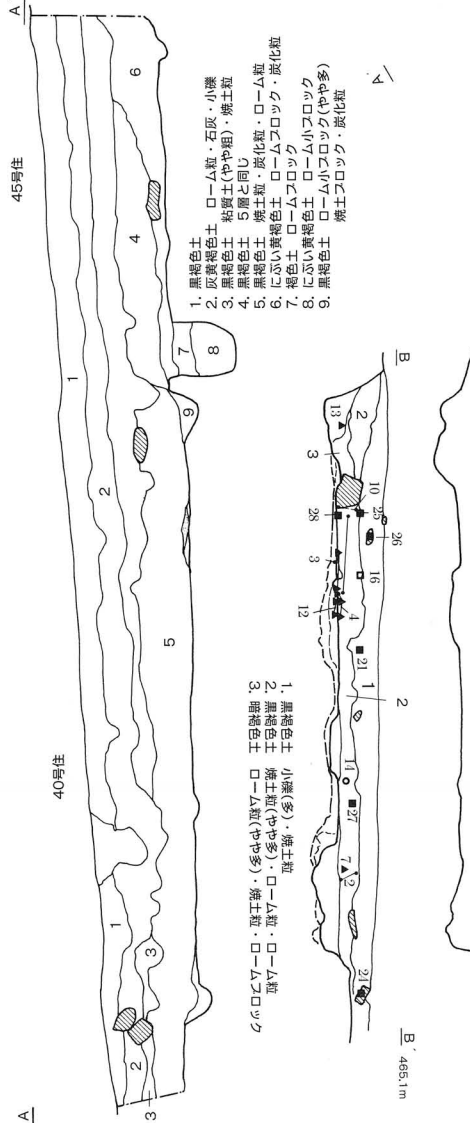


40号住竈

39号住

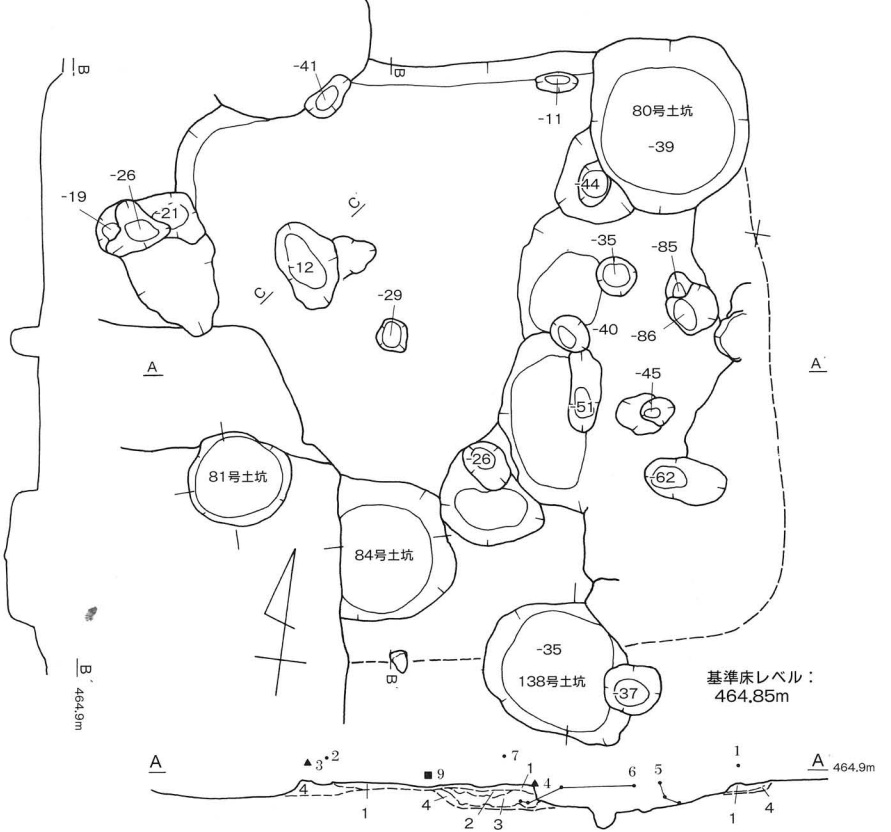


1. 黒褐色土 焼土粒(やや多)
2. 黒褐色土・焼土混合土 焼土フロック(やや多)・炭化粒
3. 焼土 ロームフロック(多)
4. 黒色土 攪乱状の黒色土
5. にぶい黄褐色土 ロームフロック
6. 黄褐色土 ローム地山



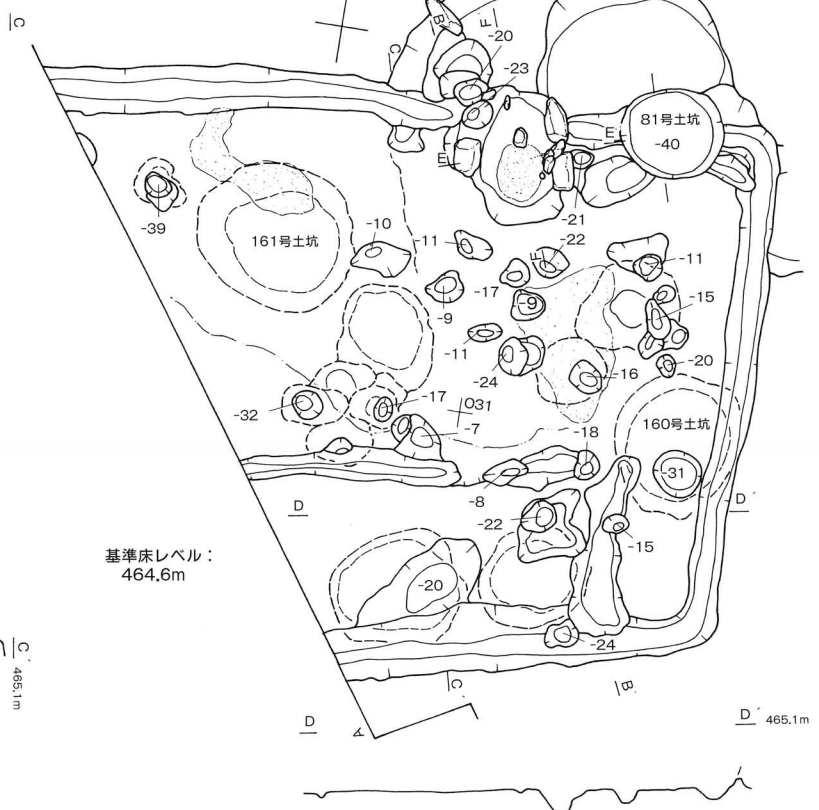
1. 黒褐色土
  2. 灰黄褐色土
  3. 黒褐色土
  4. 黒褐色土
  5. 黒褐色土
  6. にぶい黄褐色土
  7. 褐色土
  8. にぶい黄褐色土
  9. 黒褐色土
- ローム粒・石灰・小礫  
粘質土(やや粗)・焼土粒  
5層と同一  
焼土粒・炭化粒・ローム粒  
焼土粒・ロームフロック・炭化粒  
ロームフロック  
ローム小フロック  
ローム小フロック(やや多)  
焼土フロック・炭化粒

1. 土母層
2. 土母層
3. 土母層
4. 土母層
5. 土母層
6. 土母層
7. 土母層
8. 土母層
9. 土母層
10. 土母層
11. 土母層
12. 土母層
13. 土母層
14. 土母層
15. 土母層
16. 土母層
17. 土母層
18. 土母層
19. 土母層
20. 土母層
21. 土母層
22. 土母層
23. 土母層
24. 土母層
25. 土母層
26. 土母層
27. 土母層
28. 土母層
29. 土母層
30. 土母層
31. 土母層
32. 土母層
33. 土母層
34. 土母層
35. 土母層
36. 土母層
37. 土母層
38. 土母層
39. 土母層
40. 土母層
41. 土母層
42. 土母層
43. 土母層
44. 土母層
45. 土母層
46. 土母層
47. 土母層
48. 土母層
49. 土母層
50. 土母層
51. 土母層
52. 土母層
53. 土母層
54. 土母層
55. 土母層
56. 土母層
57. 土母層
58. 土母層
59. 土母層
60. 土母層
61. 土母層
62. 土母層
63. 土母層
64. 土母層
65. 土母層
66. 土母層
67. 土母層
68. 土母層
69. 土母層
70. 土母層
71. 土母層
72. 土母層
73. 土母層
74. 土母層
75. 土母層
76. 土母層
77. 土母層
78. 土母層
79. 土母層
80. 土母層
81. 土母層
82. 土母層
83. 土母層
84. 土母層
85. 土母層
86. 土母層
87. 土母層
88. 土母層
89. 土母層
90. 土母層
91. 土母層
92. 土母層
93. 土母層
94. 土母層
95. 土母層
96. 土母層
97. 土母層
98. 土母層
99. 土母層
100. 土母層



1. 黒褐色粘質土 貼り床
2. 焼土 炭化粒
3. 黒褐色土 焼土粒(やや多)・ローム小フロック(やや多)
4. 黄褐色土 ローム粒・炭化粒

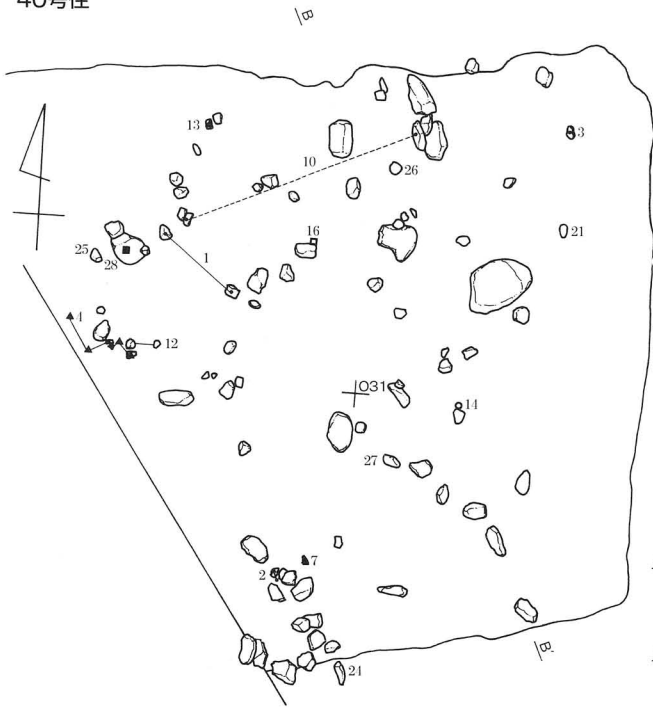
40号住



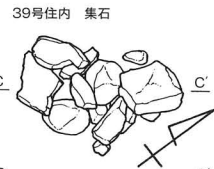
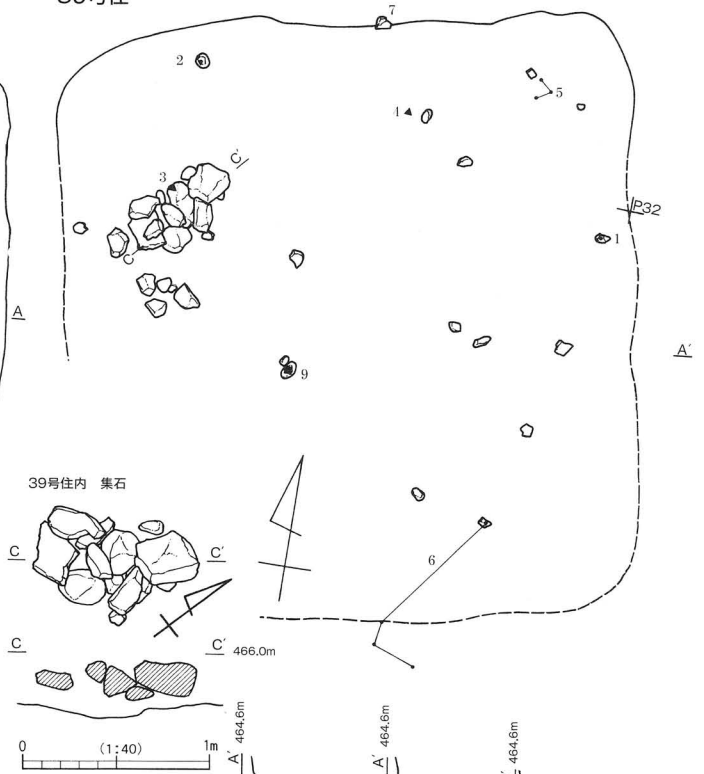
第24図 39・40号住 遺構



40号住

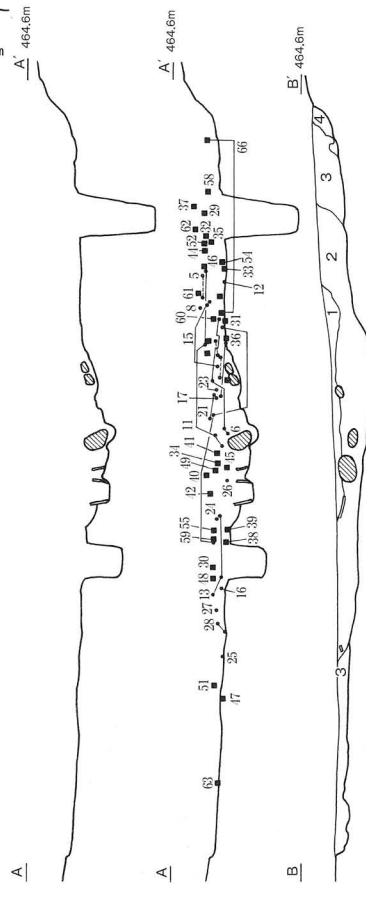
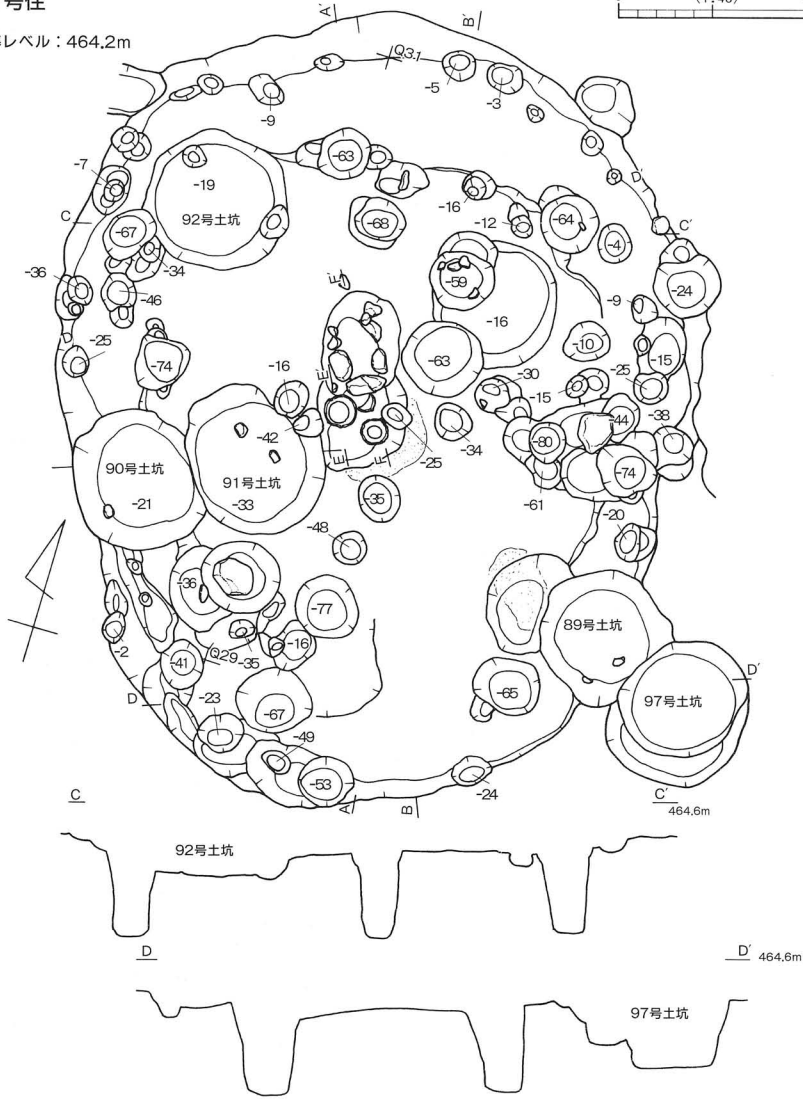


39号住



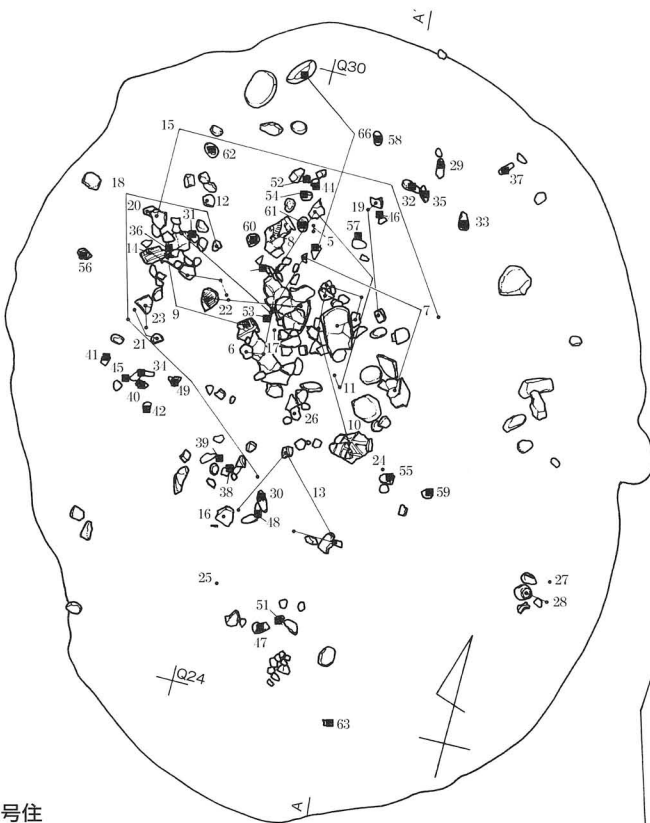
41号住

基準レベル：464.2m

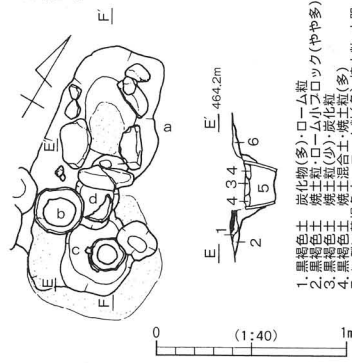


- 1. 黒褐色土 耕作土
- 2. 黒褐色土 雑土類・ローム敷・炭化層
- 3. 暗褐色土 ロームブロック炭化物
- 4. 灰褐色土 黄褐色土 ロームブロック(多)

第25図 39~41号住 遺構



41号住 炉

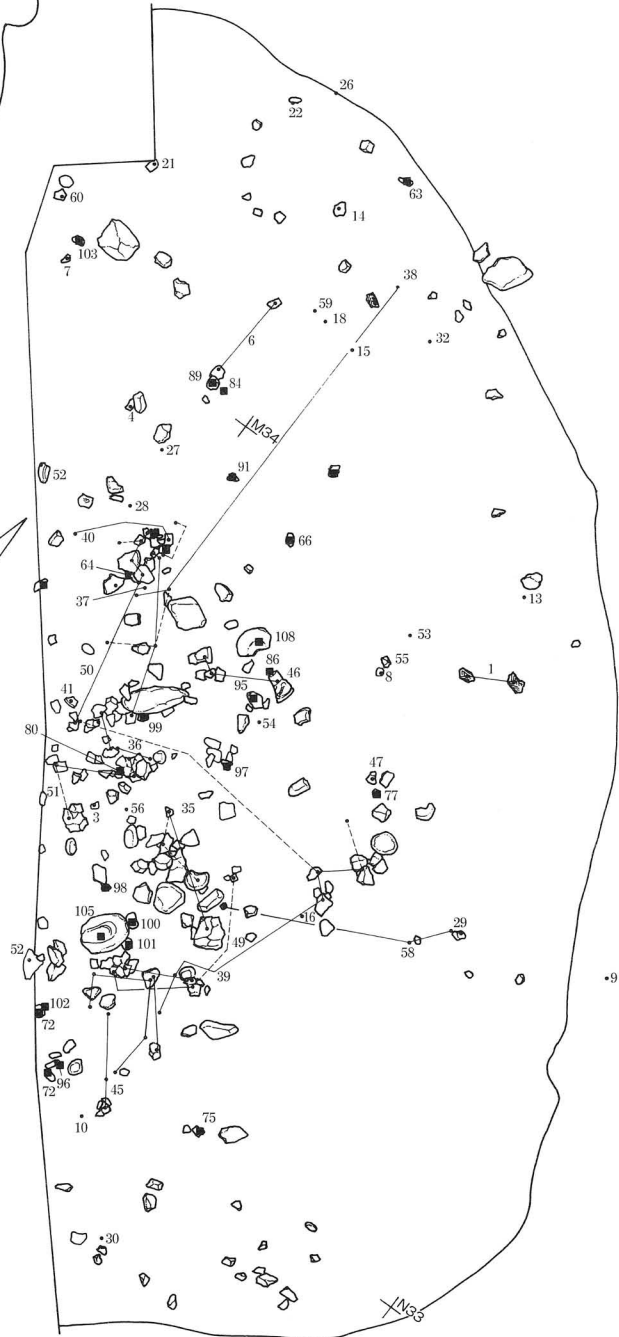
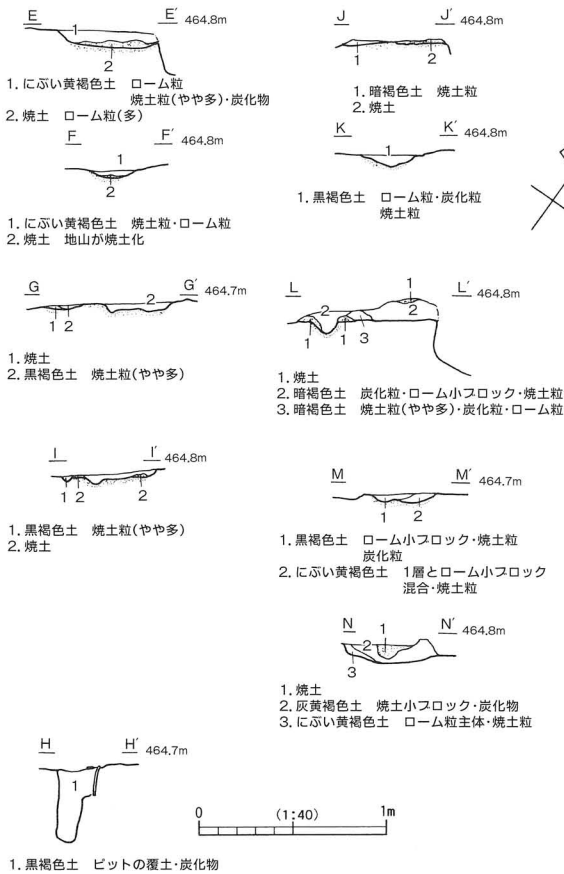


- 1. 褐色土 (多)・ローム粒 (多)
- 2. 暗褐色土 (少)・ローム小ブロック (多)
- 3. 暗褐色土 (少)・炭化粒 (多)
- 4. 暗褐色土 (少)・炭化粒 (多)
- 5. 暗褐色土 (少)・炭化粒 (多)
- 6. 暗褐色土 (少)・炭化粒 (多)



- 1. 褐色土 (少)・焼土粒
- 2. 褐色土 (少)・ローム小ブロック (多)
- 3. 暗褐色土 (少)・炭化粒
- 4. 暗褐色土 (少)・炭化粒
- 5. 暗褐色土 (少)・炭化粒
- 6. 暗褐色土 (少)・炭化粒

42号住



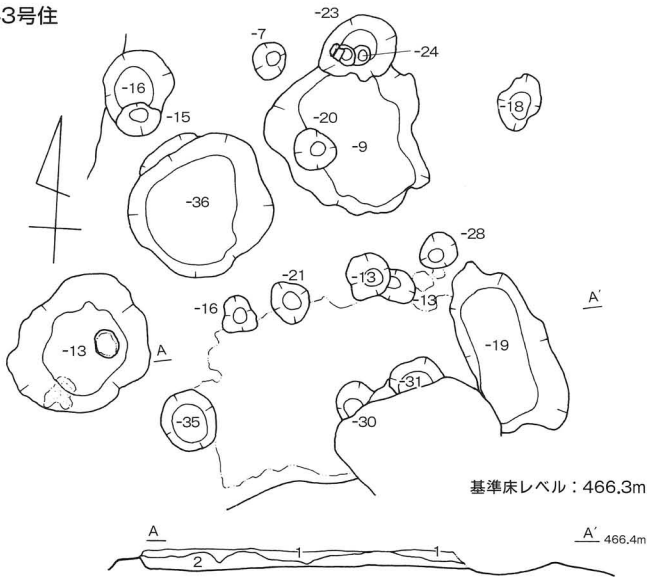
第26図 41・42号住 遺構

42号住

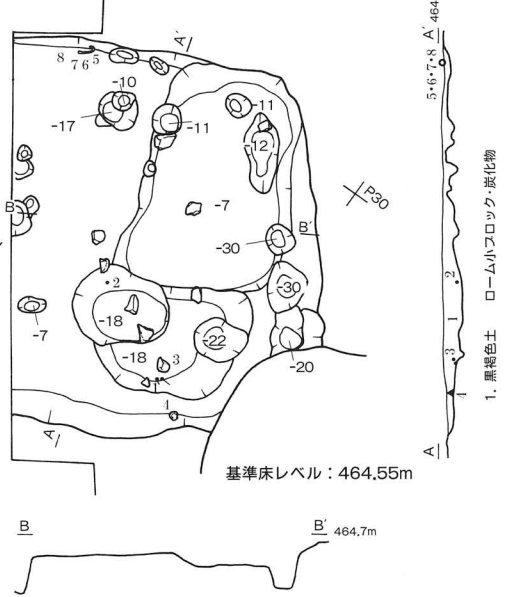


第27図 42号住 遺構

43号住



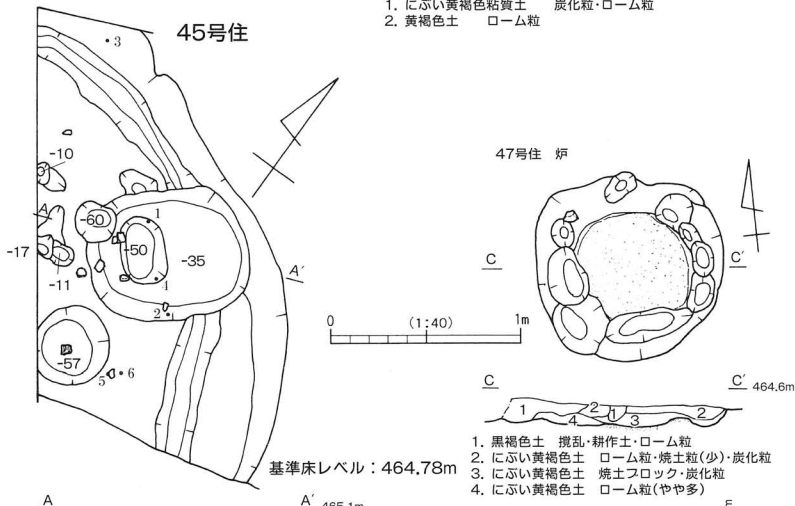
44号住



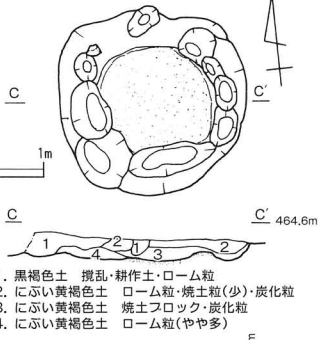
1. 黒褐色土  
ローム小ブロック・炭化物

1. にぶい黄褐色粘質土 炭化粒・ローム粒
2. 黄褐色土 ローム粒

45号住

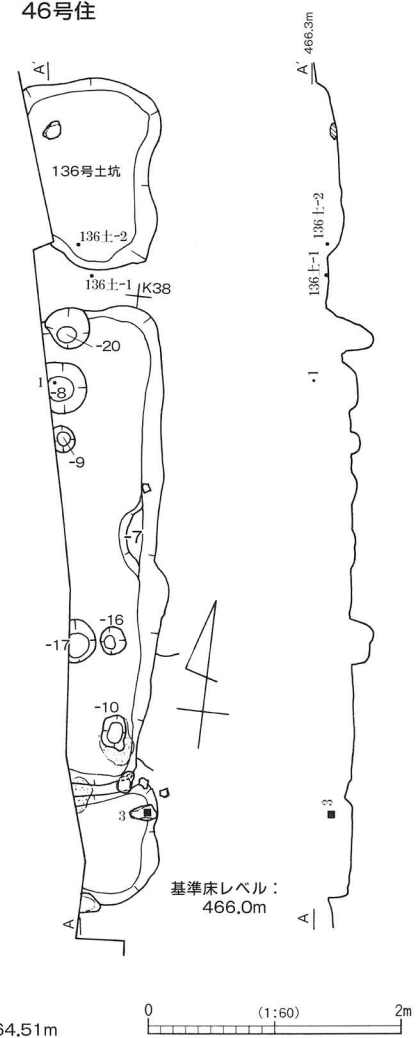


47号住 炉

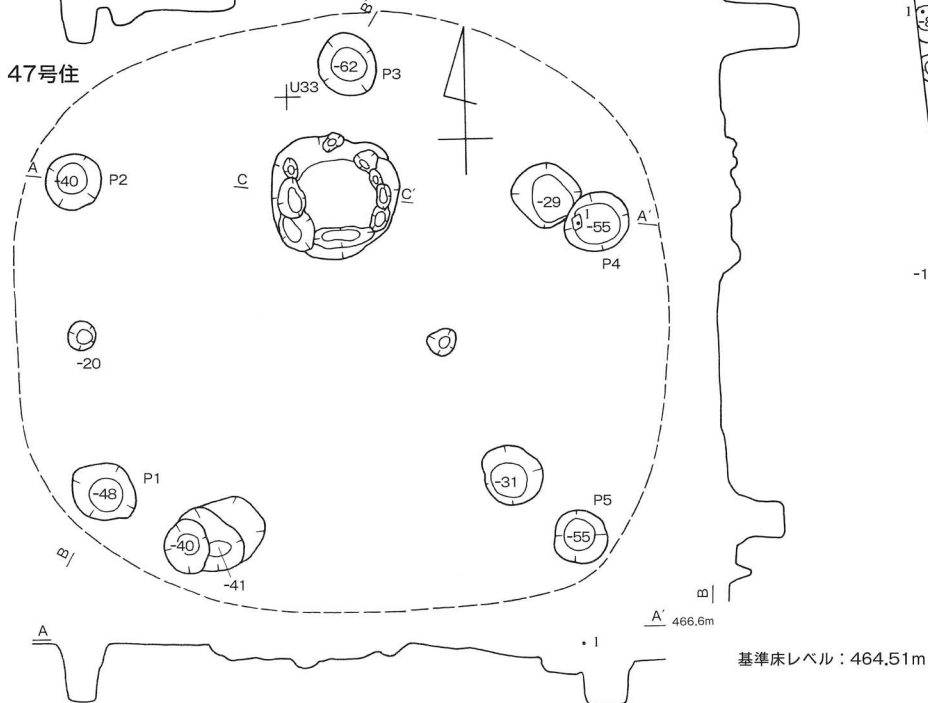


1. 黒褐色土 攪乱・耕作土・ローム粒
2. にぶい黄褐色土 ローム粒・焼土粒(少)・炭化粒
3. にぶい黄褐色土 焼土ブロック・炭化粒
4. にぶい黄褐色土 ローム粒(やや多)

46号住

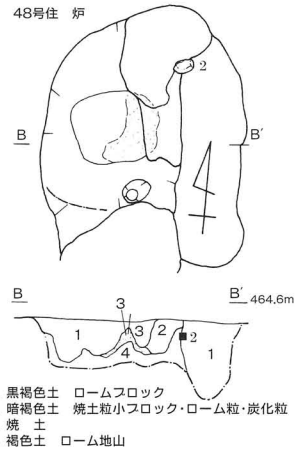
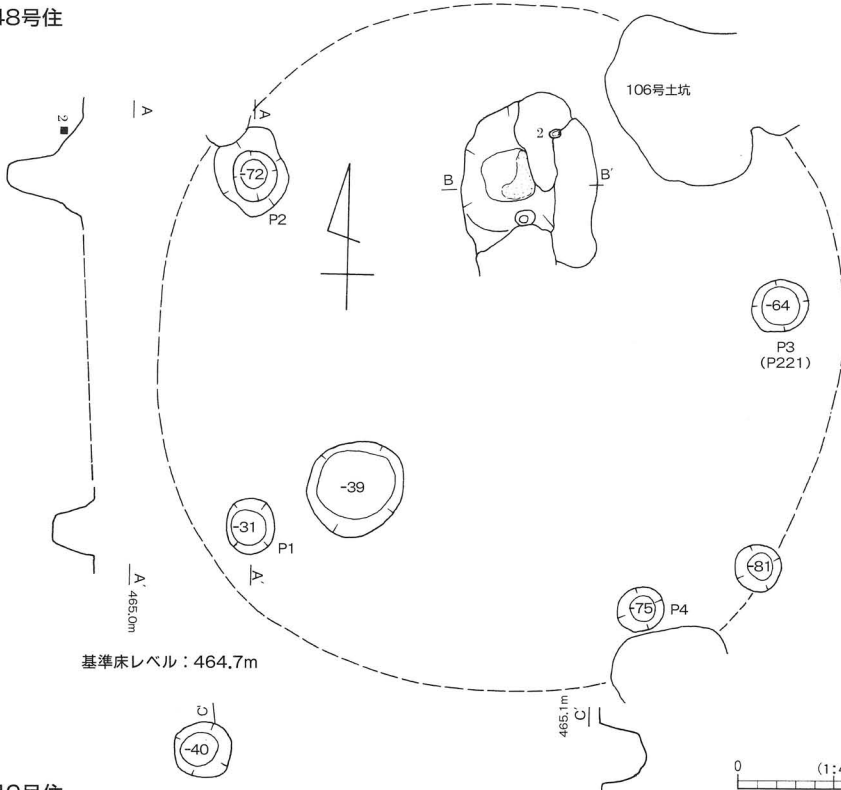


47号住

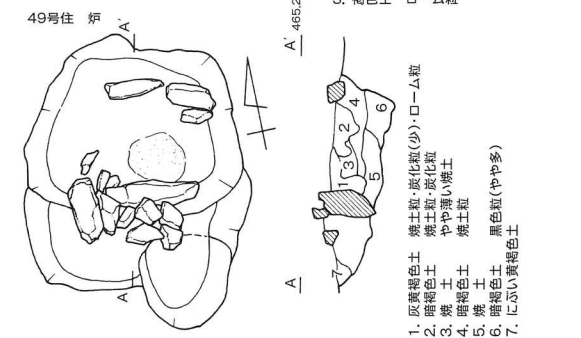
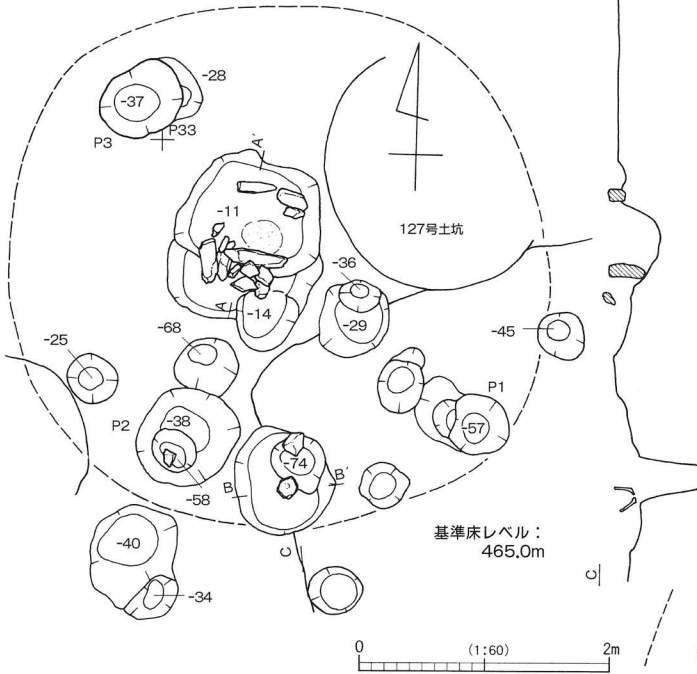


第28図 43~46号住 遺構

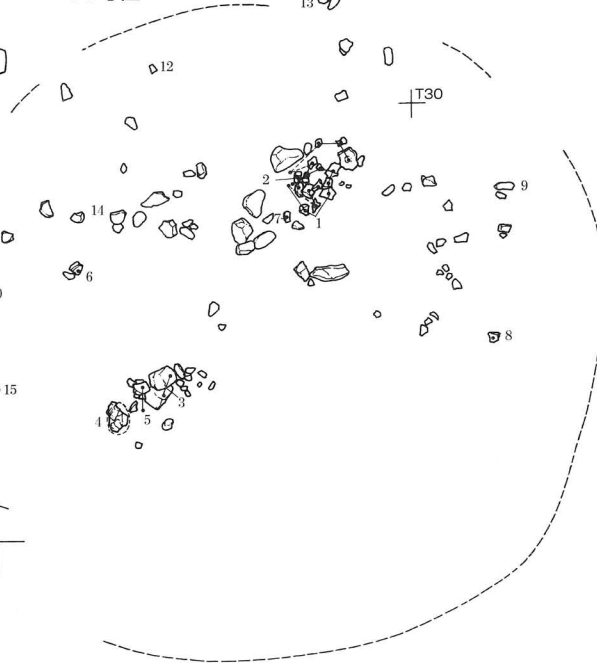
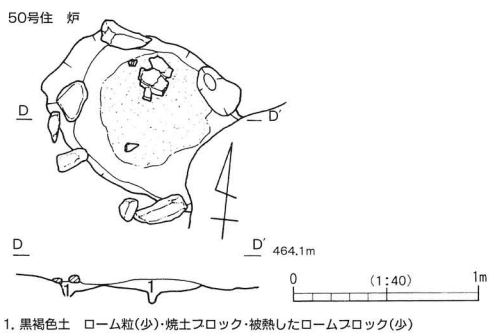
48号住



49号住



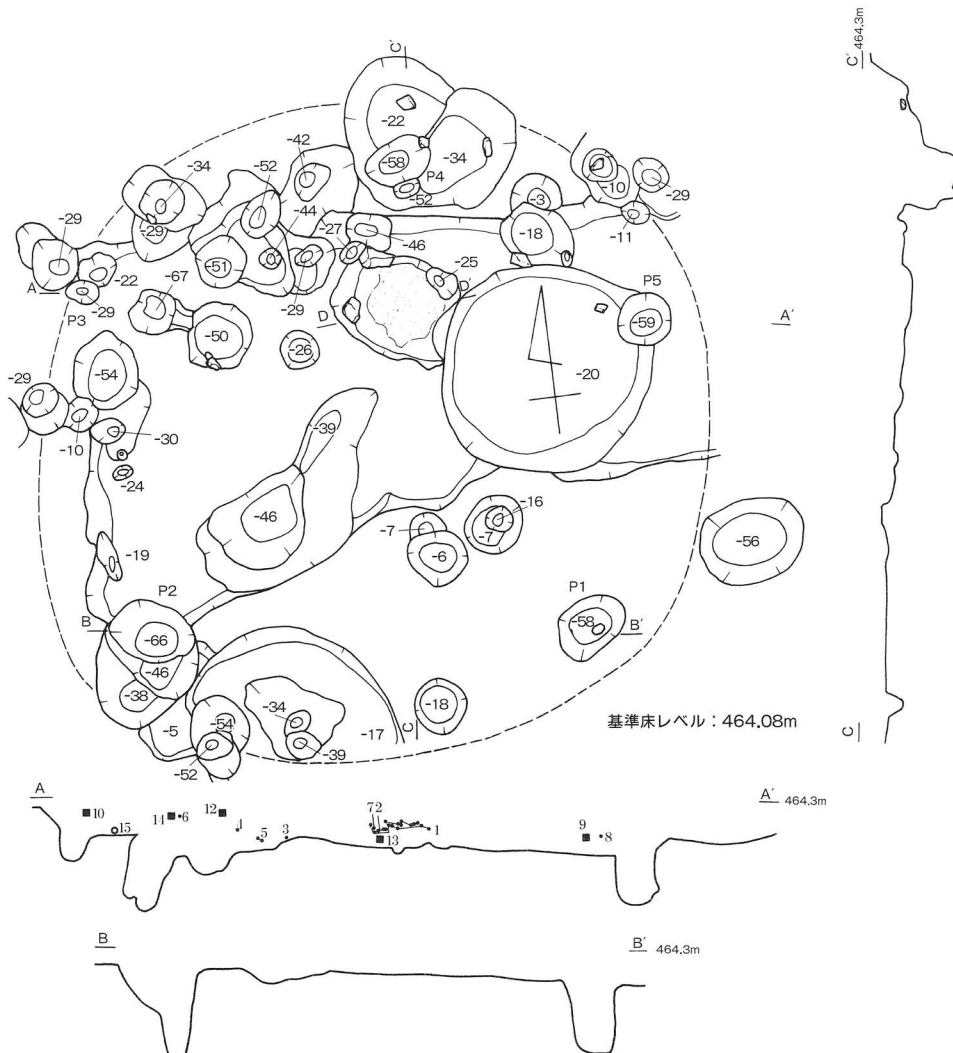
50号住



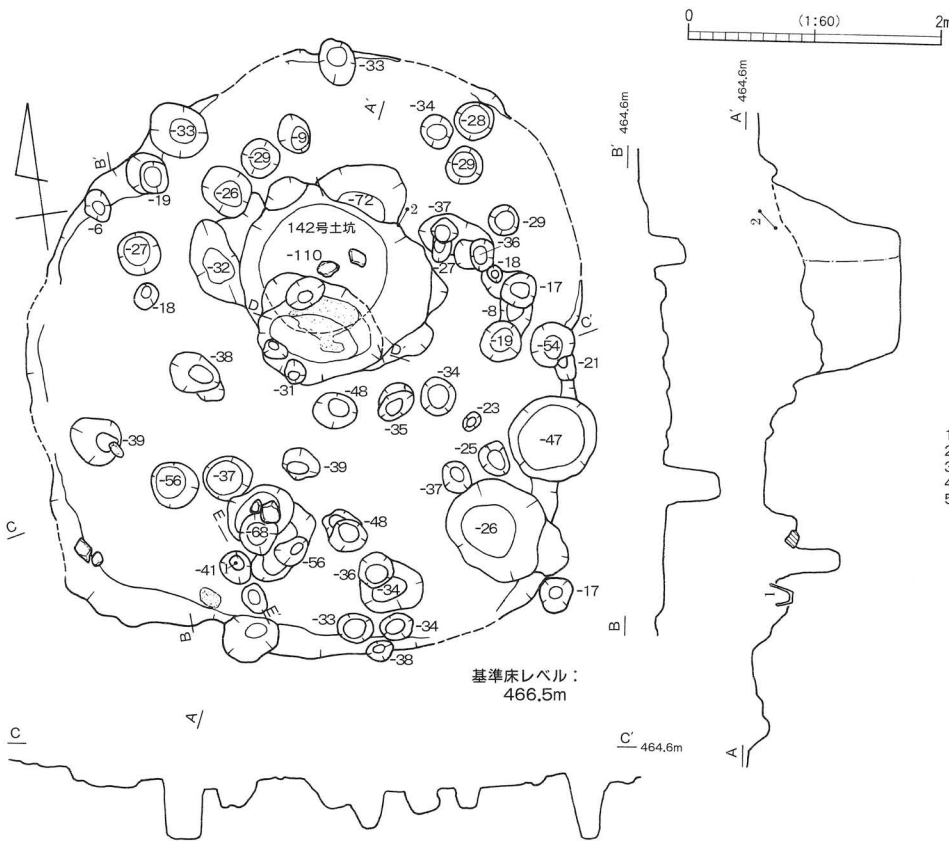
第29図 48~50号住 遺構



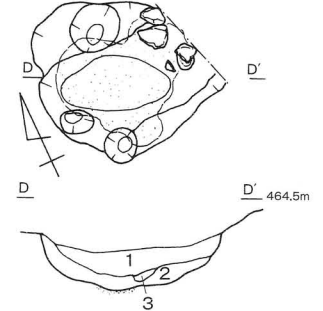
50号住



51号住

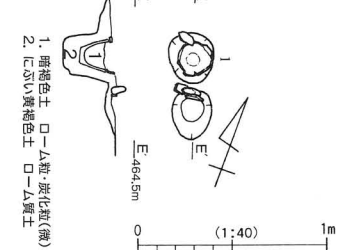


51号住 炉



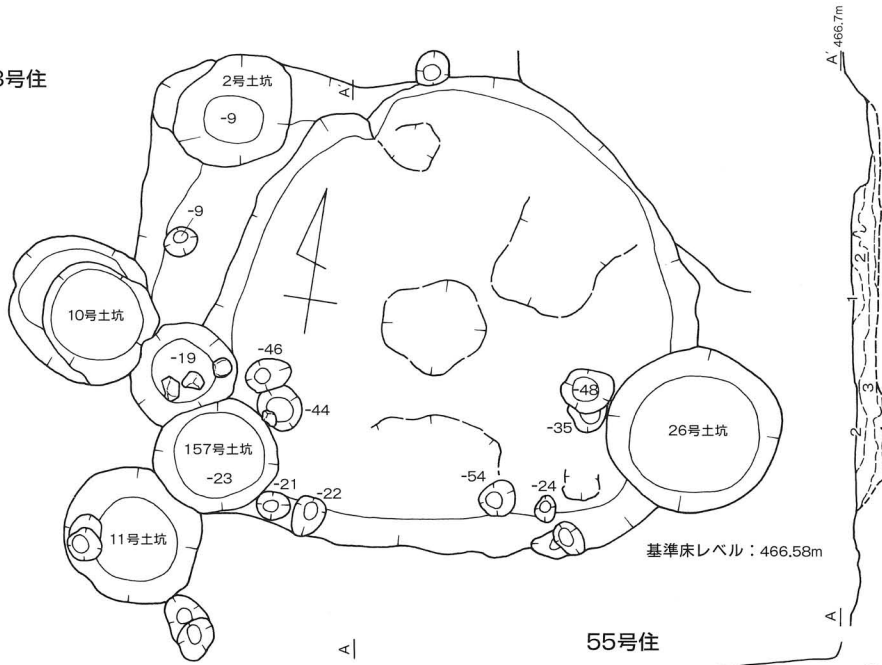
1. 暗褐色土 焼土粒(多)・ローム粒
2. にぶい赤褐色土 焼土粒(多)・被熱したローム粒(多)
3. にぶい黄褐色土 暗色ローム質土の焼土粒(少)
4. 暗褐色土 ローム粒(多)・ハードロームブロック(少)
5. にぶい赤褐色土 焼土ブロック

51号住 埋藏

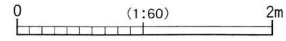


第30図 50・51号住 遺構

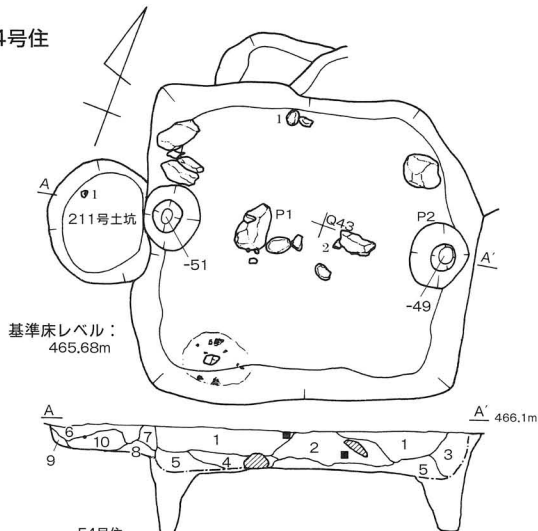
53号住



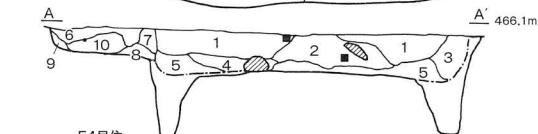
- ローム小ブロック
- ロームブロック混合土・ロームブロック・焼土
- ロームブロック(やや多)
- ロームブロック
- 黒褐色土
- 暗褐色土
- 黒褐色土
- 暗褐色土



54号住

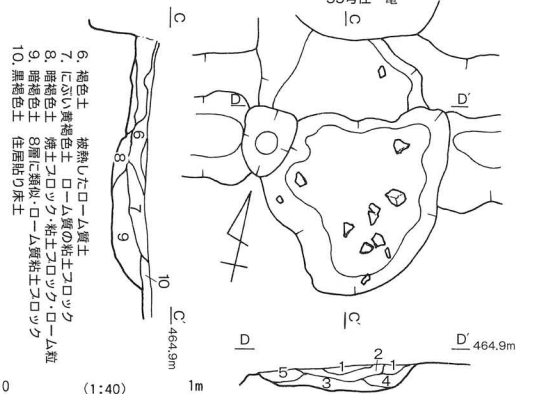


基準床レベル：  
465.63m

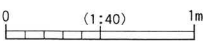


54号住

- 1. 黒褐色土    ロームブロック・炭化粒(少)・小礫
- 2. 暗褐色土    ロームブロック(多)・小礫
- 3. 黒褐色土    ロームブロック(少)・小礫
- 4. 暗褐色土    粘質ロームブロック・炭化粒(少)
- 5. 黒褐色土    ロームブロック・炭化粒(少)・焼土粒
- 211号土坑
- 6. 暗褐色土    ロームブロック(少)
- 7. 黒褐色土    ローム粒
- 8. 暗褐色土    ロームブロック(少)
- 9. 暗褐色土    ローム粒(多)
- 10. 黒褐色土    ロームブロック(少)・小礫

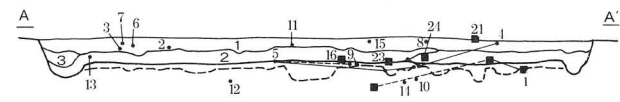
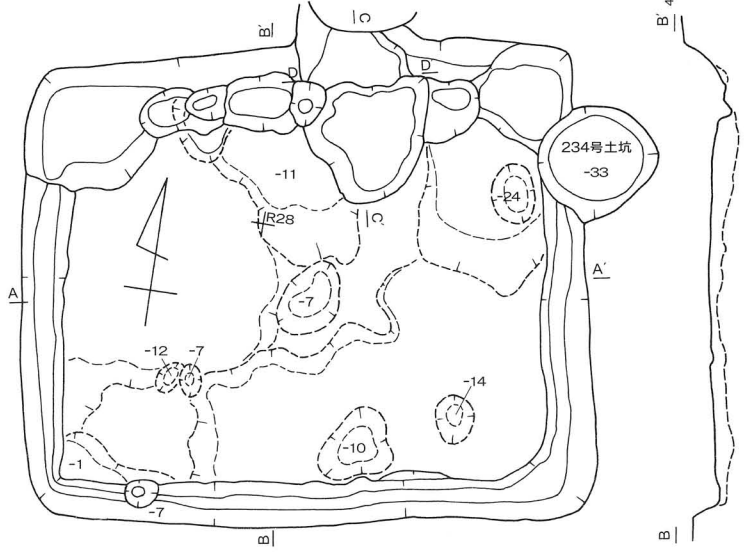
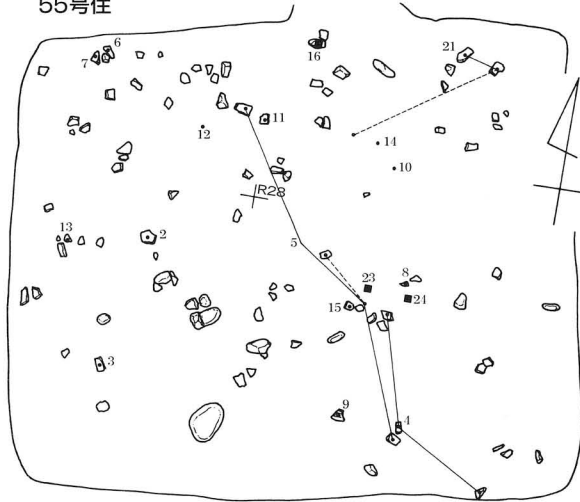


- 6. 褐色土
- 7. 暗褐色土
- 8. 暗褐色土
- 9. 暗褐色土
- 10. 黒褐色土



- 1. 黒色土    焼土粒・炭化粒
- 2. 赤褐色土    焼土
- 3. 褐色土    ローム質土
- 4. 黒褐色土    炭化粒・炭化材細片(少)・焼土粒(少)
- 5. 灰黄褐色土    ローム粒・焼土

55号住

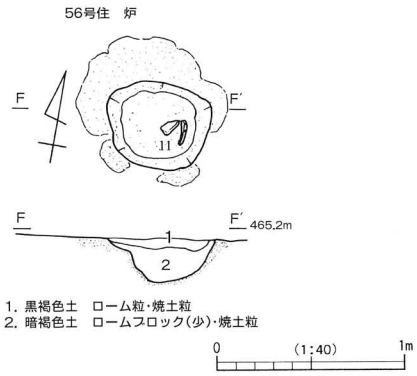
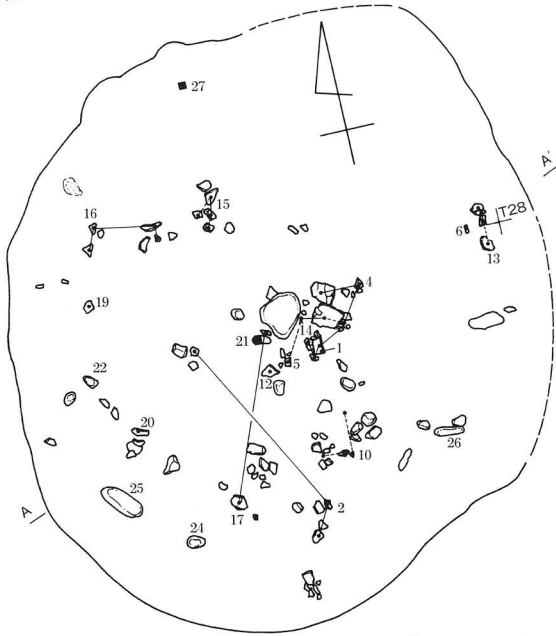


- 1. 黒褐色土    ローム粒・小礫
- 2. 黒褐色土    小礫・ロームブロック(少)
- 3. 黒褐色土    ローム粒(少)
- 4. 暗褐色土    ローム粒・炭化粒(少)

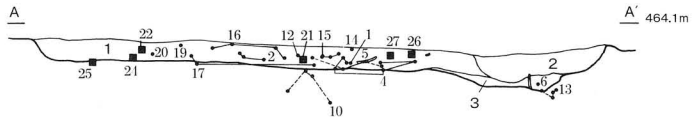
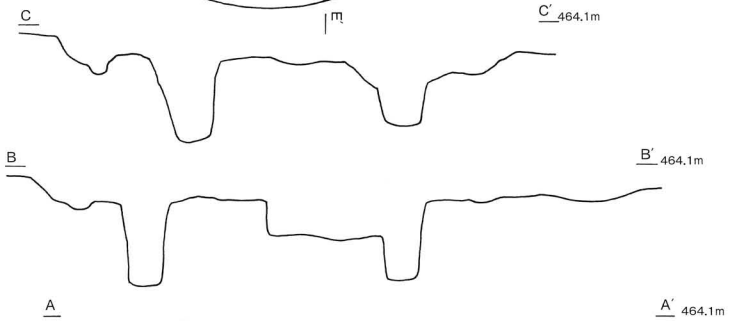
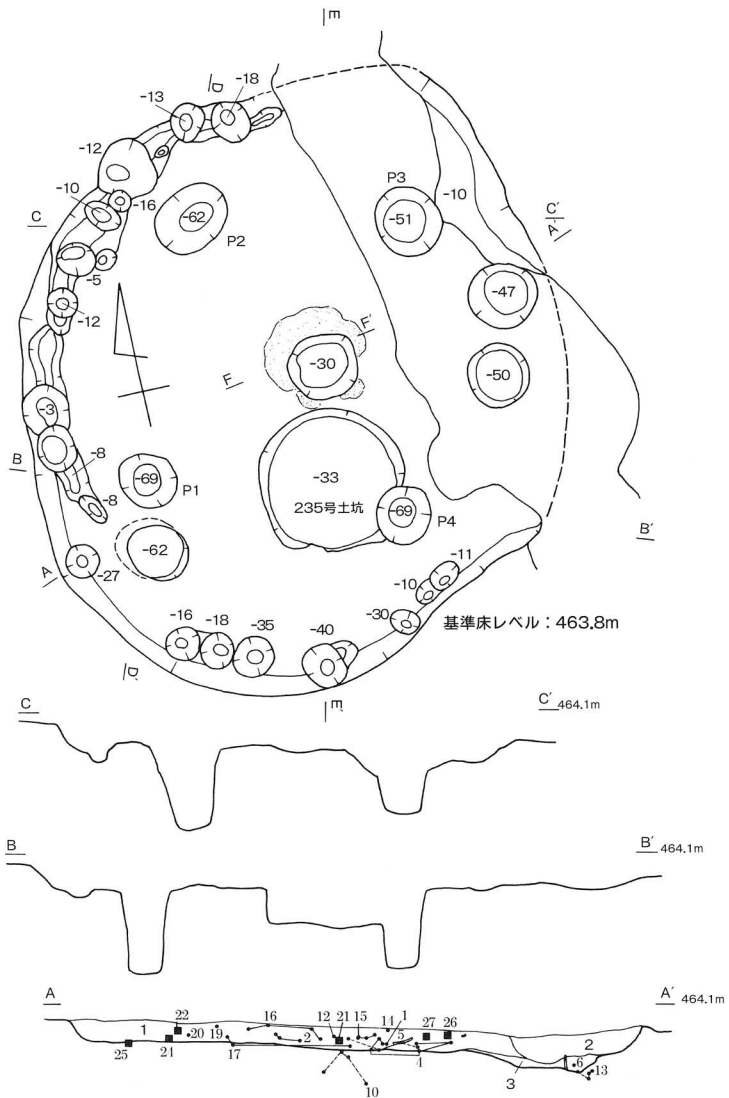
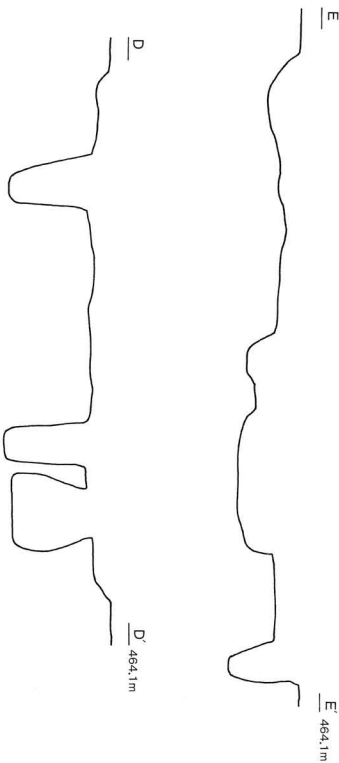
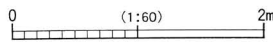
基準床レベル：466.58m

第31図 53~55号住 遺構

56号住



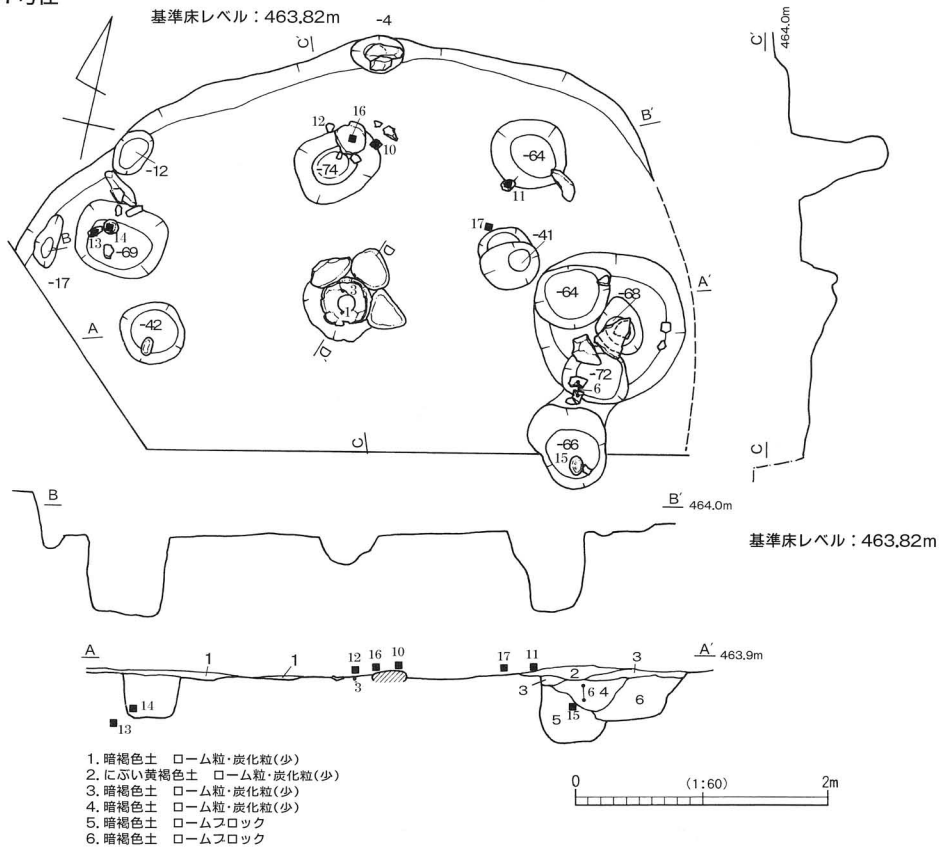
- 1. 黒褐色土 ローム粒・焼土粒
- 2. 暗褐色土 ロームブロック(少)・焼土粒



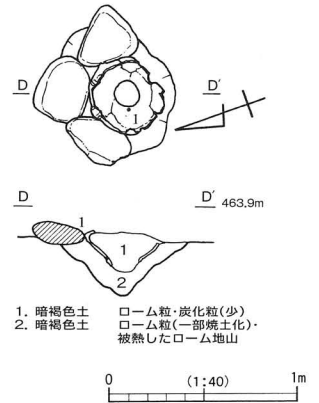
- 1. 暗褐色土 ローム粒・炭化粒(多)
- 2. 黒褐色土 ローム粒
- 3. 暗褐色土 ロームブロック

第32図 56号住 遺構

57号住

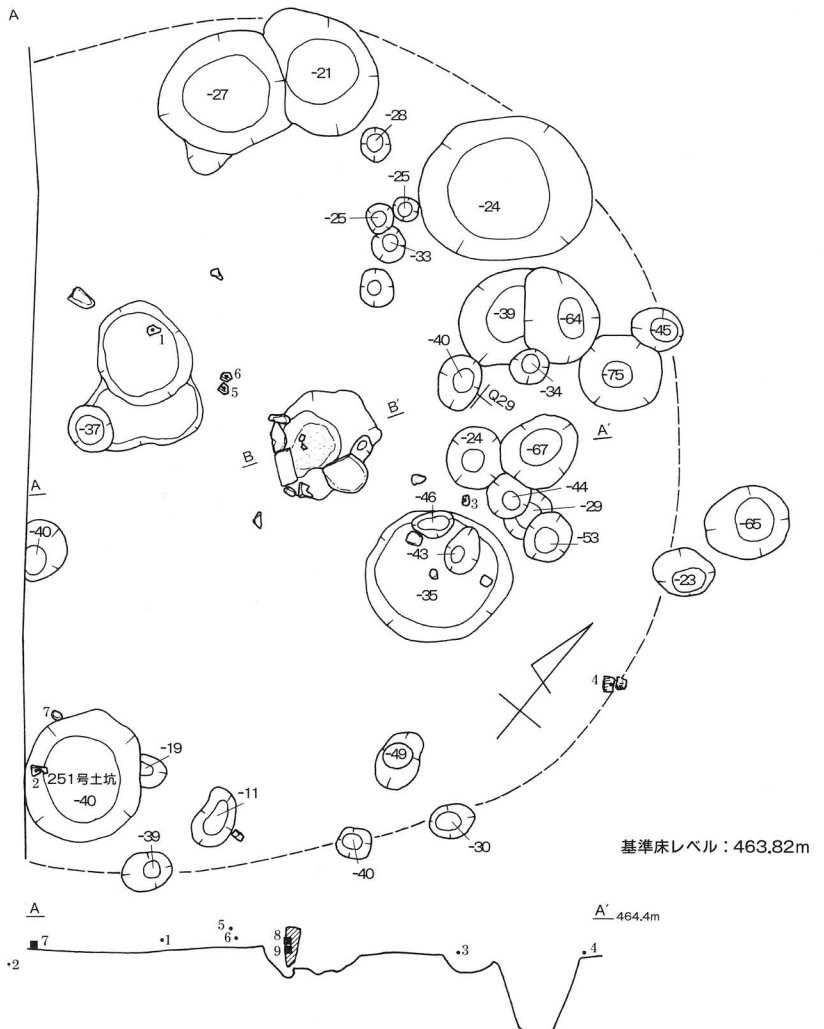
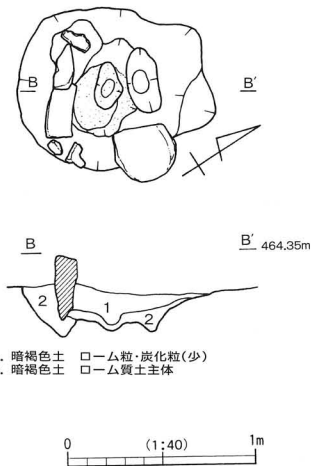


57号住 炉



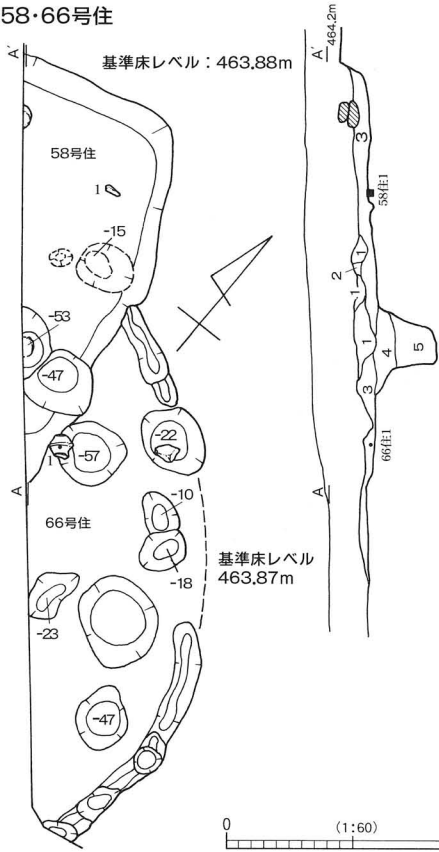
59号住

59号住 炉



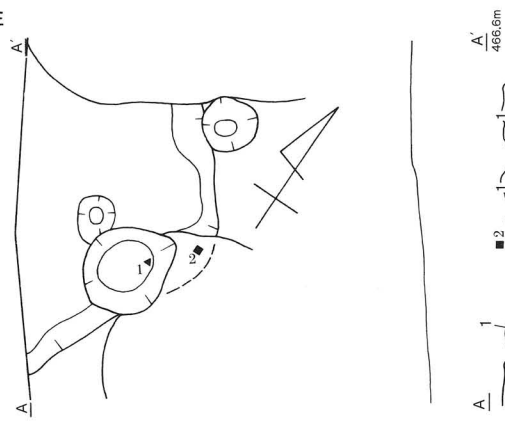
第33図 57・59号住 遺構

58・66号住



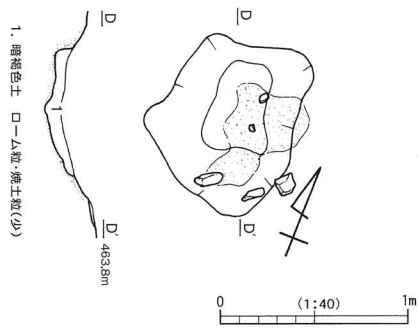
1. にぶい黄褐色土 砂礫・砂粒・小礫・石英粒・炭石粒
2. 黒褐色土 砂礫(少)
3. 黒褐色土 ロームブロック(少)
4. 暗褐色土 ローム粒
5. 暗褐色土 炭化粒(微)

60号住

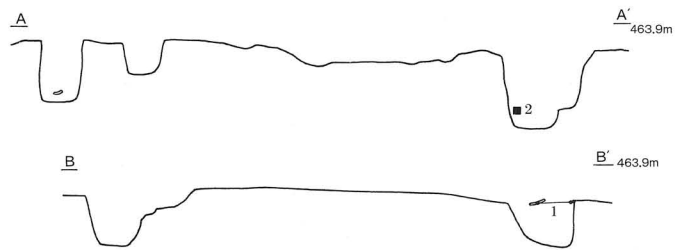
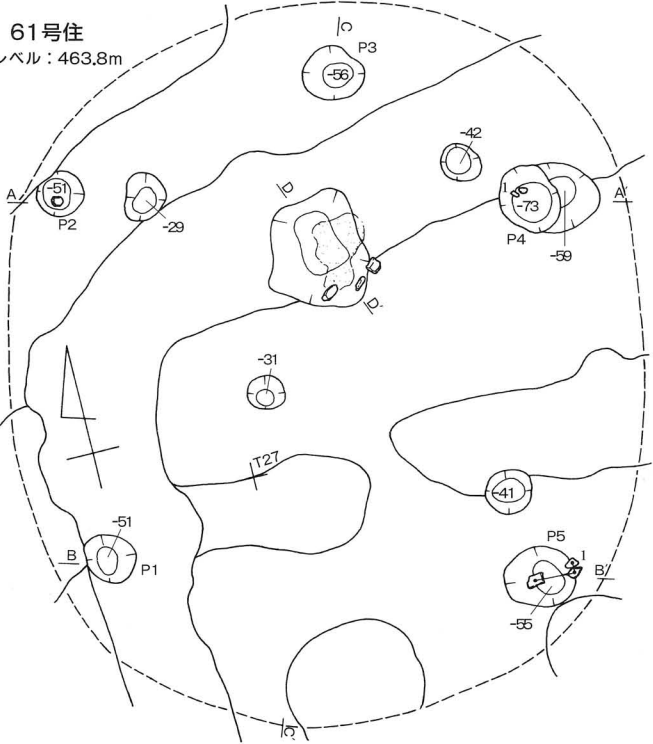


1. 暗褐色土 ロームブロック(少)・焼土粒(少)
2. にぶい黄褐色土 ローム質土

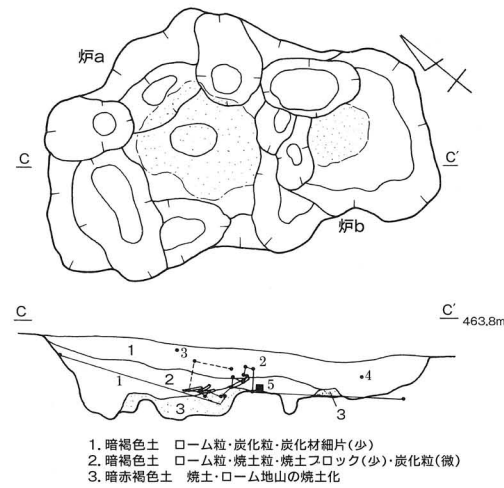
61号住 炉



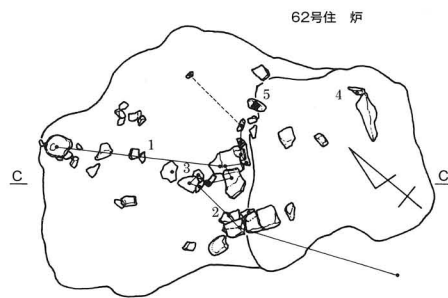
1. 暗褐色土 平母焼土・ローム質土・焼土質土



62号住



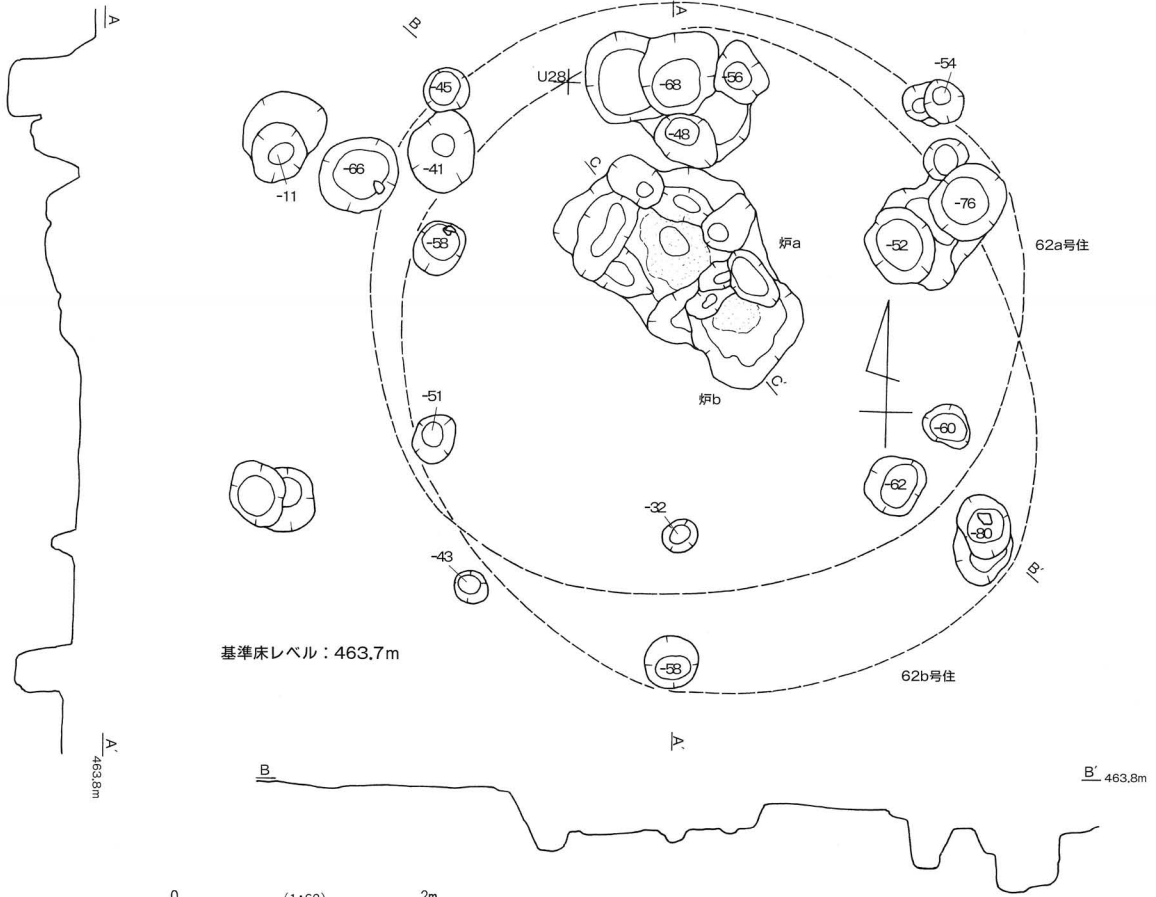
1. 暗褐色土 ローム粒・炭化粒・炭化材細片(少)
2. 暗褐色土 ローム粒・焼土粒・焼土ブロック(少)・炭化粒(微)
3. 暗赤褐色土 焼土・ローム地山の焼土化



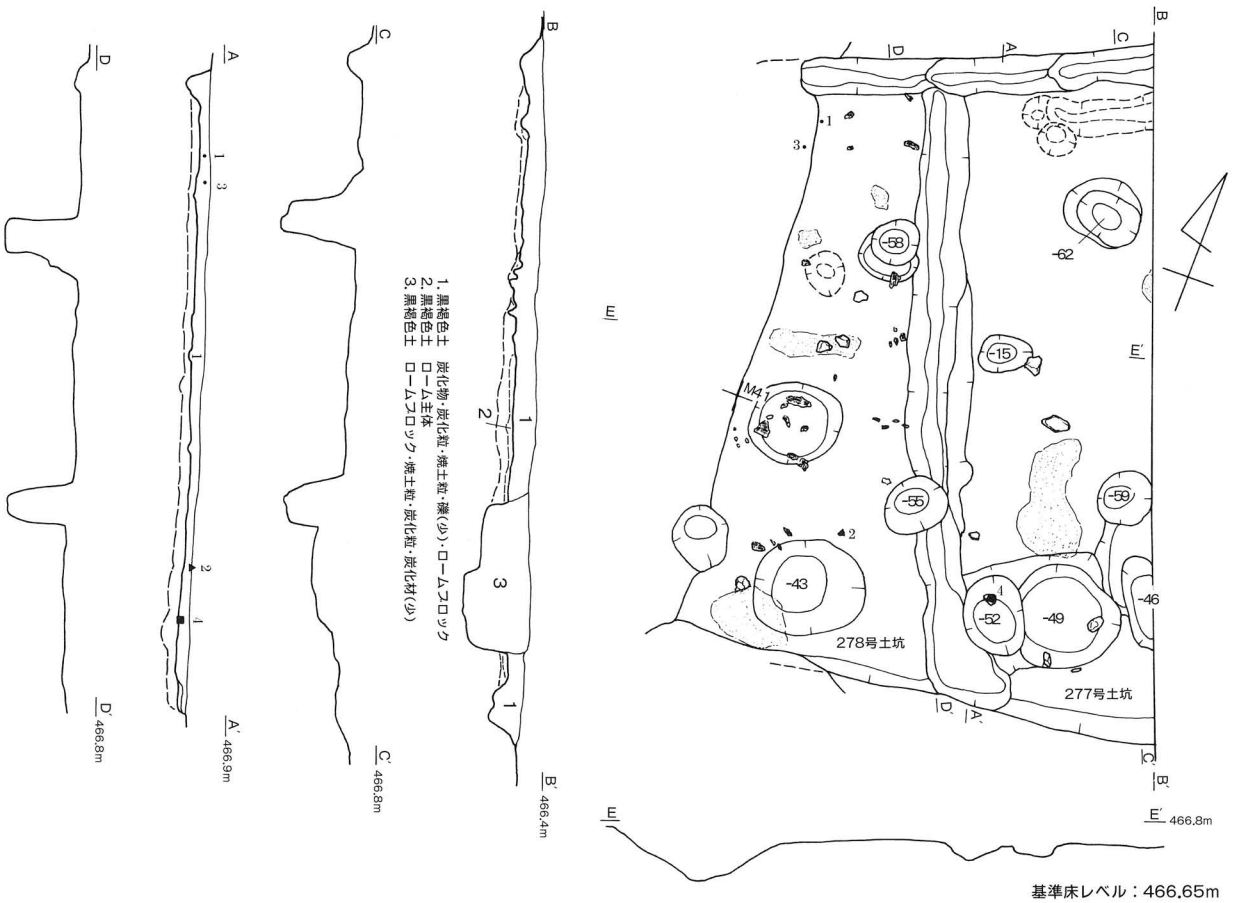
第34図 58・60~62号住 遺構



62号住

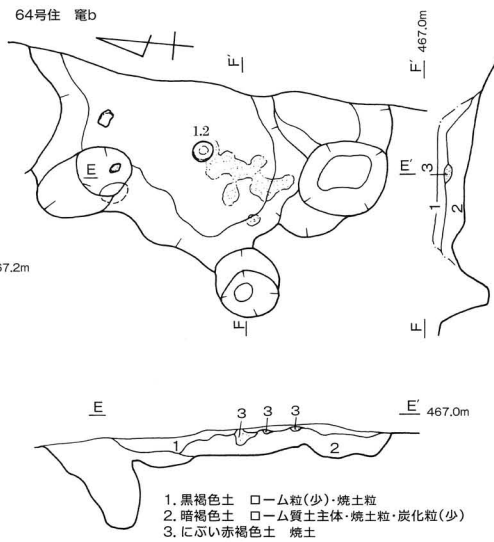
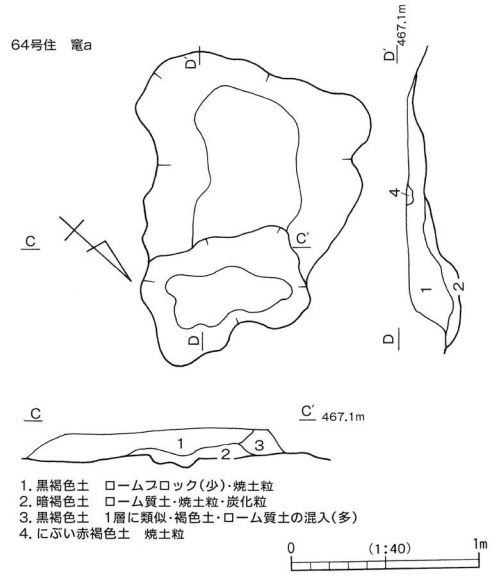
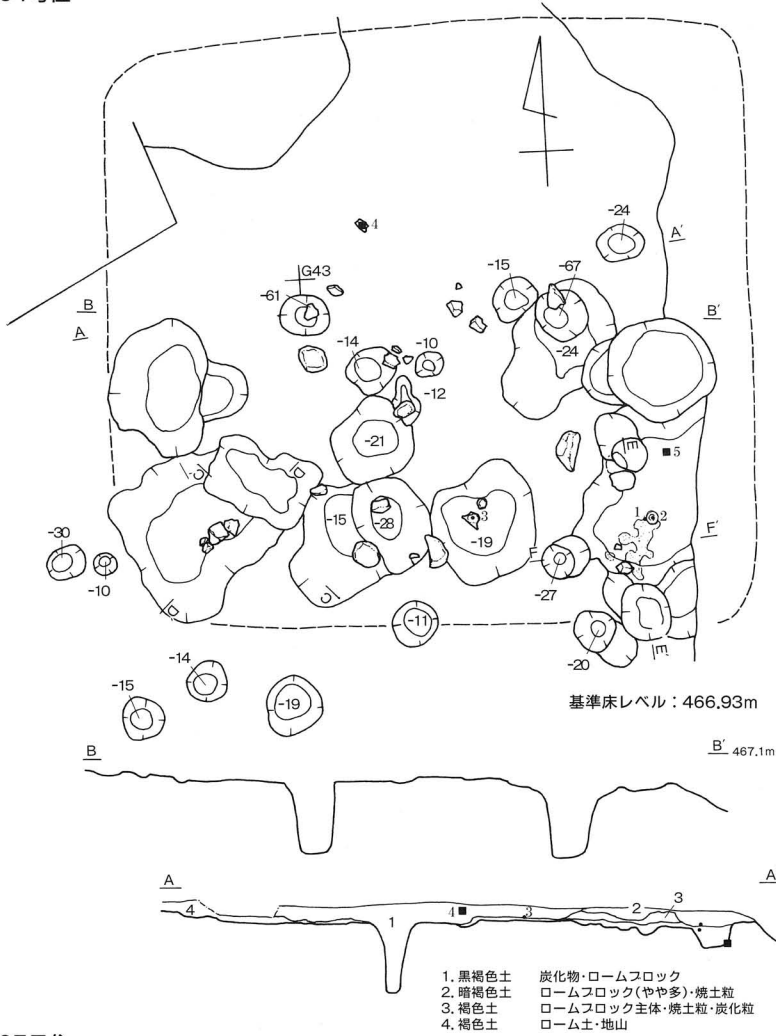


63号住

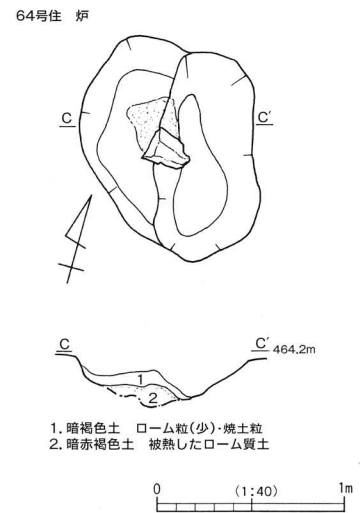
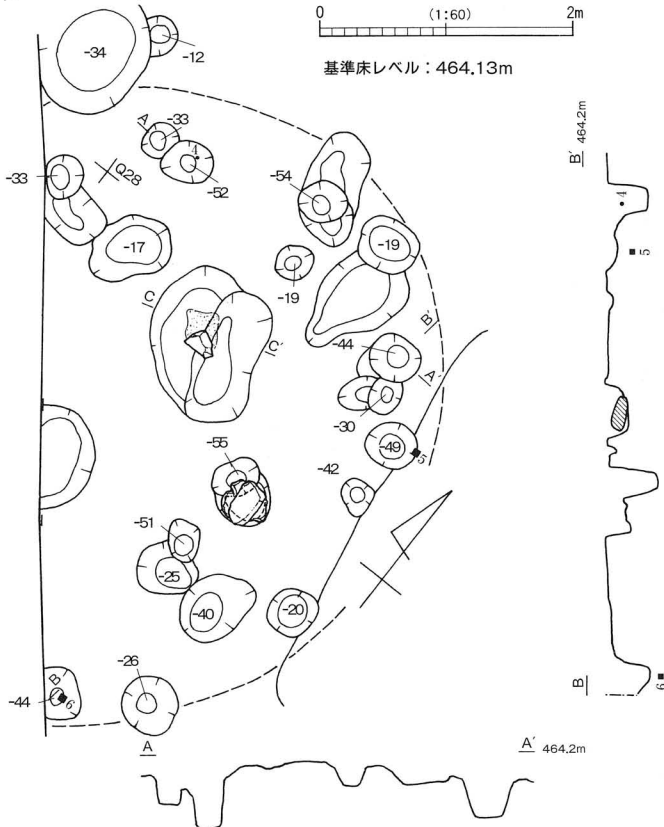


第35図 62・63号住 遺構

64号住

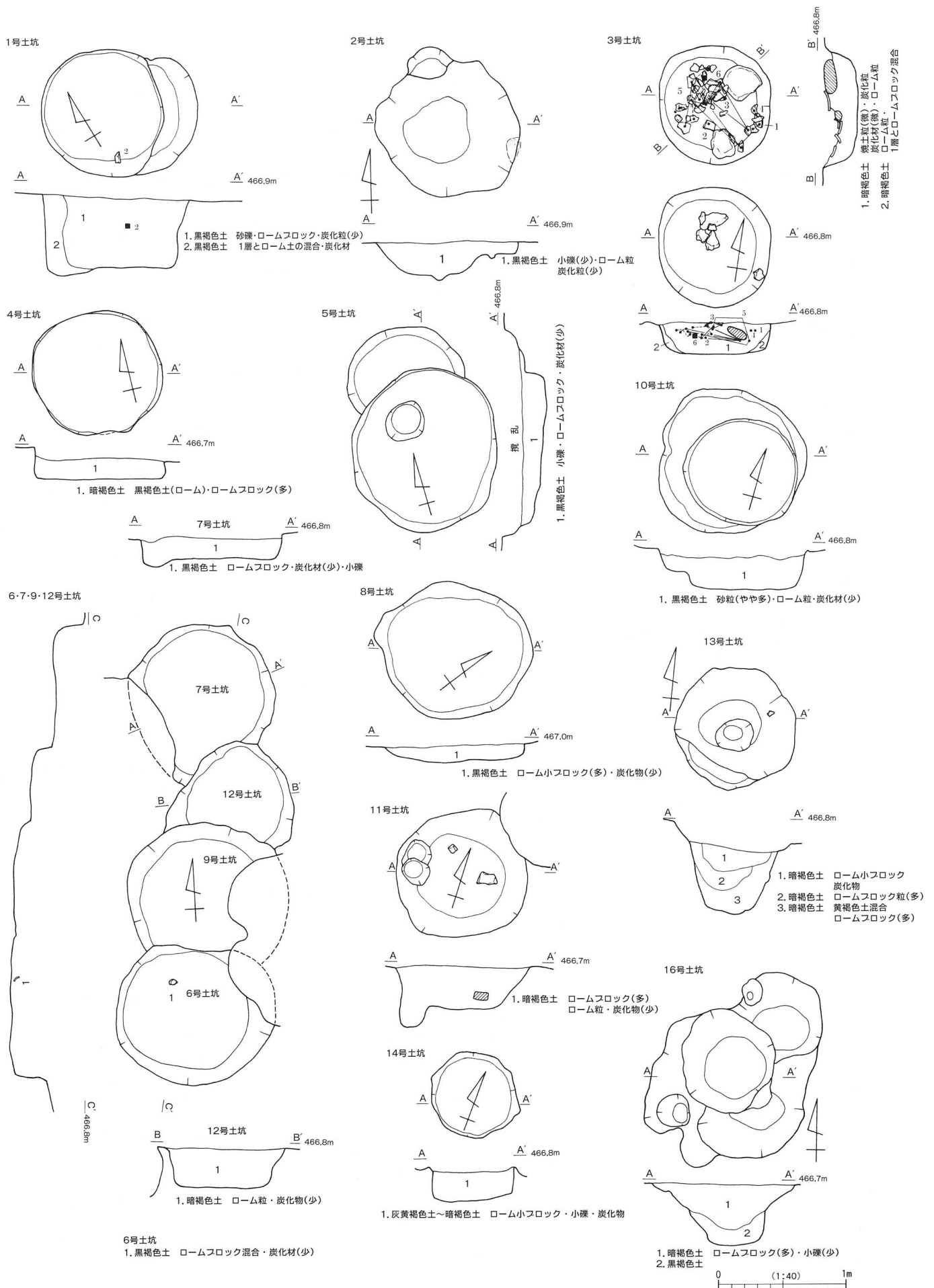


65号住

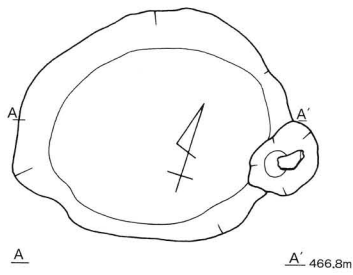
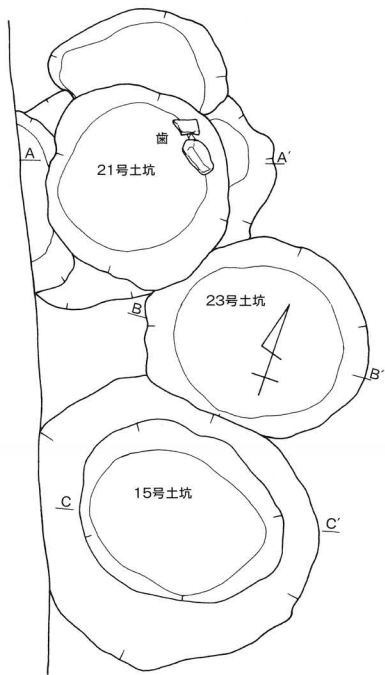


第36図 64・65号住 遺構

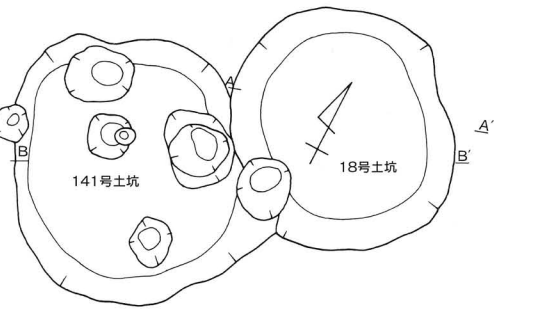
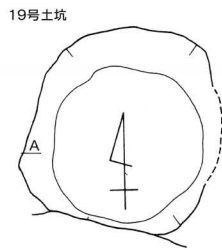




第38図 1~14・16号土坑 遺構



- 1. 暗褐色土 小砂利(多)・ローム粒
- 2. 暗褐色土 ローム粒(多)

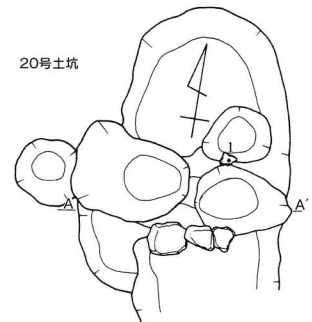


- 1. 暗褐色土 ローム小ブロック・炭化物
- 2. にふい黄褐色土 ロームブロック(多)

- 1. 暗褐色土 ローム小ブロック(多)
- 2. 暗褐色土 ローム小ブロック(1層より少)

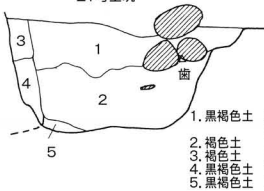


- 1. 暗褐色土 ローム小ブロック
- 2. にふい黄褐色土 ロームブロック(多)



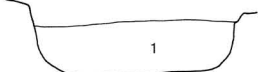
- 1. 暗褐色土 ローム混合土・ロームブロック(多)
- 2. 暗褐色土 ローム小ブロック(1層より少)
- 3. 暗褐色土 ローム粒

21号土坑 A' 466.8m



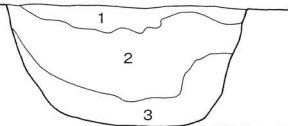
- 1. 黒褐色土 粗い小礫・黄白色粒  
ロームブロック
- 2. 褐色土 ローム質土・黒褐色土混合
- 3. 褐色土 ローム質土
- 4. 黒褐色土 1層と類似(少)
- 5. 黒褐色土 ローム粒(少)

23号土坑 B' 466.65m

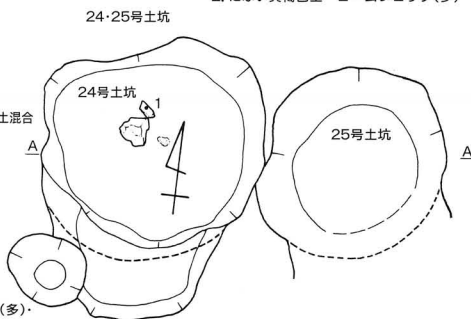


- 1. 暗褐色土 ローム少ブロック(多)・  
ローム混合・炭化物

15号土坑 C 466.8m



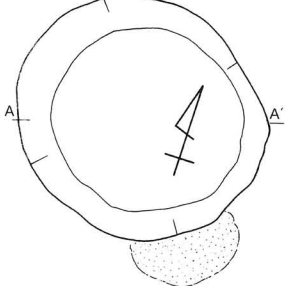
- 1. 黒褐色土 ローム粒・炭化物
- 2. 黄褐色土 黒褐色混合土  
1層とローム土混合
- 3. 黄褐色土 ロームブロック・炭化物  
ローム粒



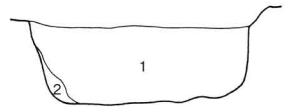
- 1. 暗褐色土 小粒子(多)・ローム粒(多)  
炭化物・焼土粒  
1層と同じ・炭化物(多)
- 2. 暗褐色土 炭化層
- 3. 褐色土 ローム粒
- 4. 暗褐色土 1層と類似・ローム粒(多)
- 5. 褐色土 ローム粒

- 1. 黒褐色土 炭化物(多)・ローム小ブロック
- 2. にふい黄褐色土 ロームブロック
- 3. 黒色土 炭化物(多)・ロームブロック(少)

26号土坑



A' 466.7m

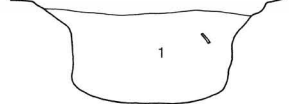


- 1. 黒褐色土 ロームブロック混合土・ロームブロック(多)
- 2. 黒褐色土 ロームブロック(少)・炭化物・焼土粒

27号土坑

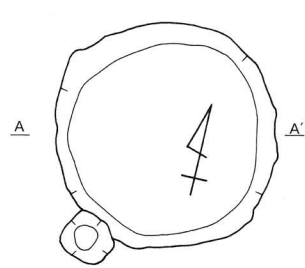


A' 466.0m

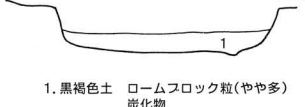


- 1. 黒褐色土 ローム粒(少)・小礫(少)

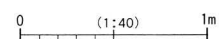
28号土坑



A' 466.4m



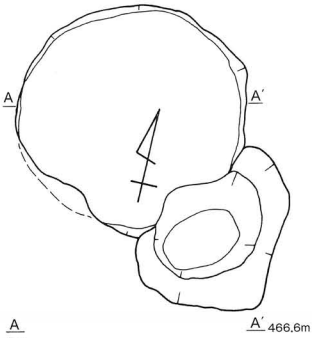
- 1. 黒褐色土 ロームブロック粒(やや多)  
炭化物



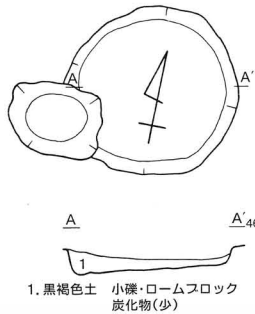
第39図 15・17~21・23~28・141号土坑 遺構



29号土坑

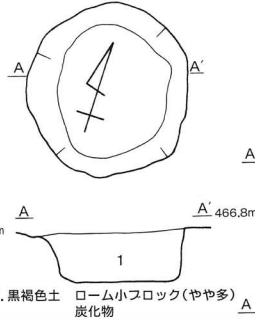


30号土坑



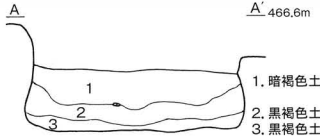
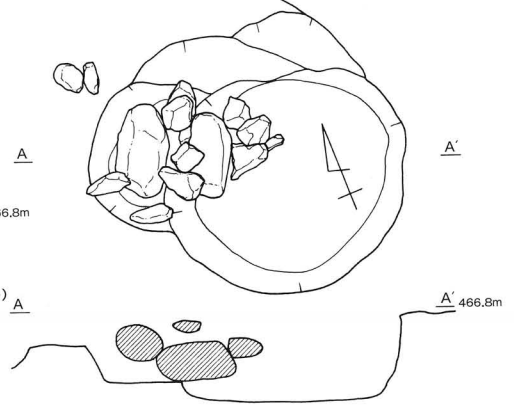
1. 黒褐色土 小礫・ロームブロック  
炭化物(少)

31号土坑



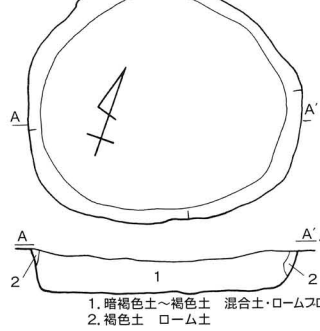
1. 黒褐色土 ローム小ブロック(やや多)  
炭化物

32号土坑



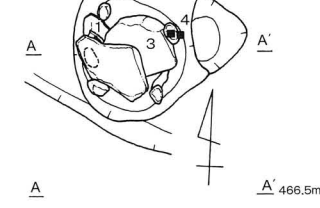
1. 暗褐色土 ローム混合土・ロームブロック(多)  
炭化物(やや多)  
2. 黒褐色土 ロームブロック(多)・炭化物  
3. 黒褐色土 ロームブロック(多)・炭化物

33号土坑



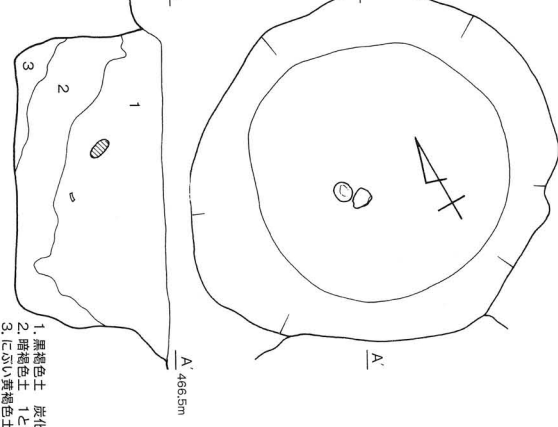
1. 暗褐色土～褐色土 混合土・ロームブロック(多)  
2. 褐色土 ローム土

35号土坑



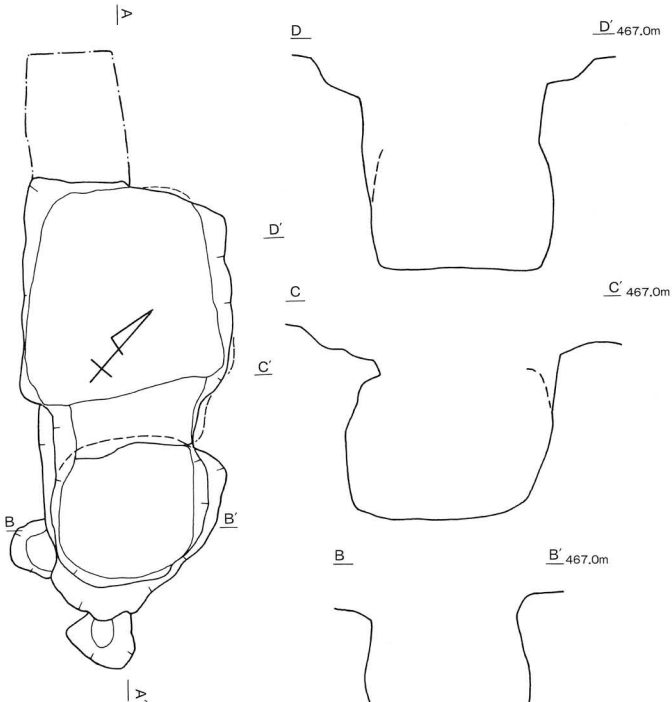
1. 黒褐色土  
2. にぶい黄褐色土 ローム粒・炭化物  
3. 暗褐色土 ロームブロック(やや多)  
4. 黄褐色ローム土 ローム土(ハード)  
4. 褐色ローム土

36号土坑

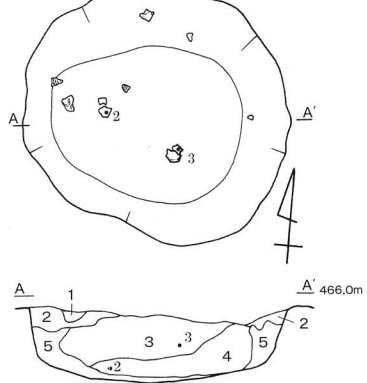


1. 黒褐色土 炭化物  
2. 暗褐色土 1と3層の中間  
3. にぶい黄褐色土 ローム粒

34号土坑

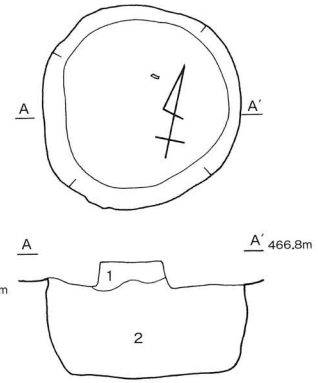


37号土坑



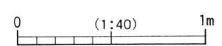
1. 黒褐色土  
2. にぶい黄褐色土 ローム  
3. 暗褐色土 ローム粒・炭化物  
4. 黒褐色土 炭化物・炭化粒(多)・ローム粒(少)  
5. にぶい黄褐色土 ローム粒(多)・炭化物(少)

38号土坑



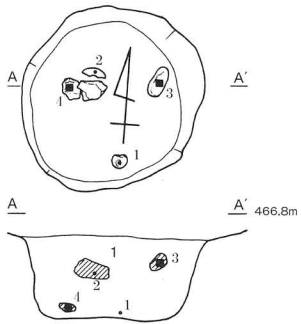
1. 黒褐色土 耕作土・石灰粒  
2. 黒褐色土 ローム混合土・ローム小ブロック(やや多)  
小砂利(やや多)

1. 黒褐色土 ローム粒(やや多)  
2. 黒褐色土 ローム粒・炭化物(やや多)  
3. 黒褐色土 ローム粒・炭化物(やや多)  
4. にぶい黄褐色土 ローム土(ハード)  
5. 黒褐色土 ローム土(ハード)  
6. にぶい黄褐色土 ローム土(ハード)  
7. 褐色土 ローム土(ハード)  
8. 黄褐色土 ハードローム



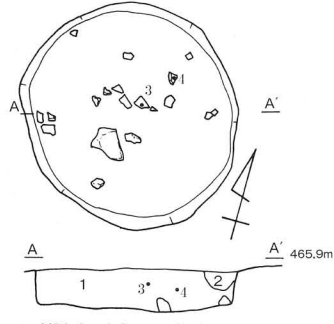
第40図 29~38号土坑 遺構

39号土坑



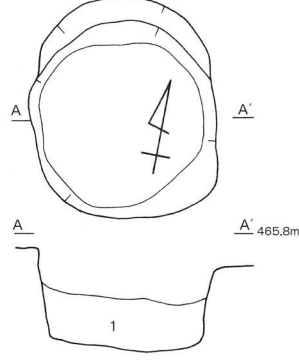
1. 黒褐色土 ローム混合土・ローム小フロック混合

40号土坑



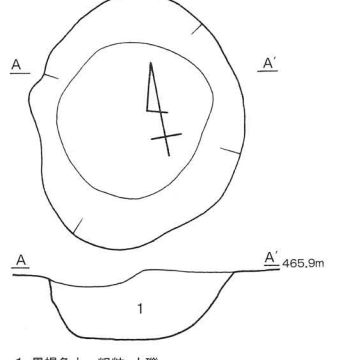
1. 暗褐色土 小礫・ローム粒・炭化材  
2. 褐色土 ローム粒(多)

41号土坑



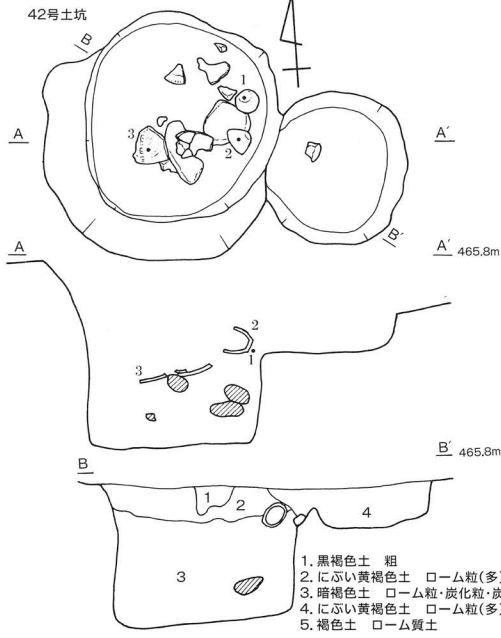
1. 暗褐色土 小礫・ローム粒・炭化材(少)  
2. にぶい黄褐色土 ローム質土

43号土坑



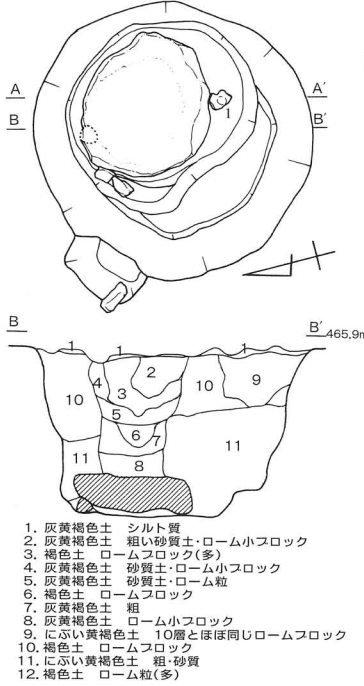
1. 黒褐色土 粗粒・小礫

42号土坑



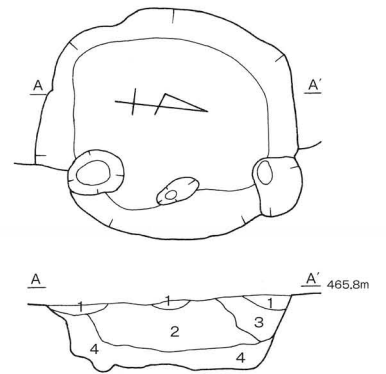
1. 黒褐色土 粗  
2. にぶい黄褐色土 ローム粒(多)・炭化材  
3. 暗褐色土 ローム粒・炭化材(少)  
4. にぶい黄褐色土 ローム粒(多)  
5. 褐色土 ローム質土

44号土坑



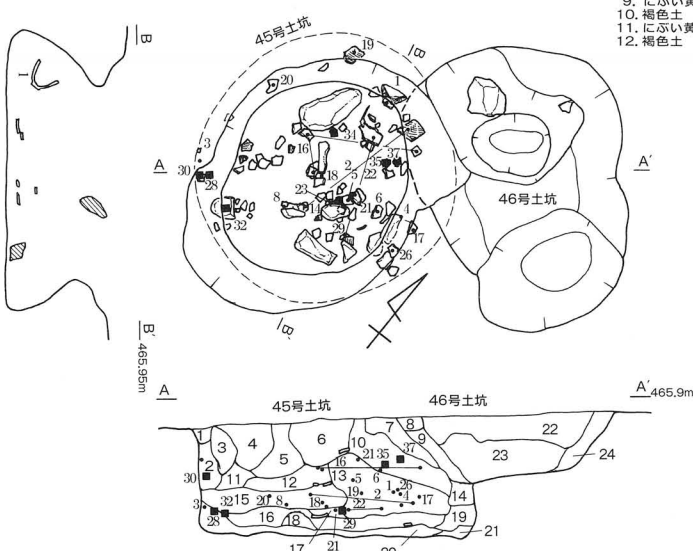
1. 灰黄褐色土 シルト質  
2. 灰黄褐色土 粗い砂質土・ローム小フロック  
3. 褐色土 ロームフロック(多)  
4. 灰黄褐色土 砂質土・ローム小フロック  
5. 灰黄褐色土 砂質土・ローム粒  
6. 褐色土 ロームフロック  
7. 灰黄褐色土 粗  
8. 灰黄褐色土 ローム小フロック  
9. にぶい黄褐色土 10層とほぼ同じロームフロック  
10. 褐色土 ロームフロック  
11. にぶい黄褐色土 粗・砂質  
12. 褐色土 ローム粒(多)

48号土坑



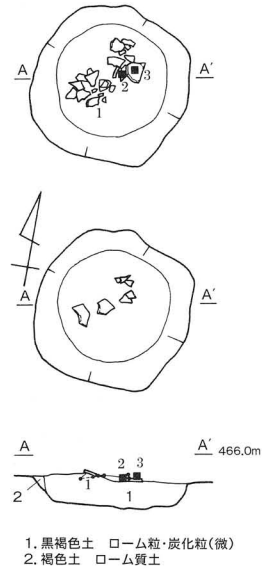
1. 暗褐色土 ローム粒・小礫  
2. 黒褐色土 ローム粒(多)・焼土粒・炭化粒(少)  
3. 暗褐色土 ローム粒(多)  
4. 暗褐色土 ローム粒(多)・焼土粒(微)

45-46号土坑



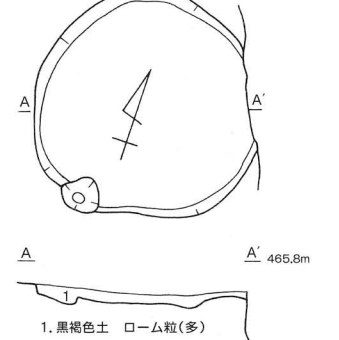
1. 褐色土 ローム質土  
2. 褐色土 ローム質土  
3. 褐色土 ローム質土  
4. 暗褐色土 ローム粒・炭化粒(少)  
5. 暗褐色土 ローム粒・炭化粒(少)  
6. 黒色土 ローム粒(少)・炭化粒(少)  
7. 暗褐色土 ローム粒・炭化粒・炭化材(少)  
8. 褐色土 ローム質土  
9. 褐色土 ローム質土・ロームフロック(少)  
10. 黒褐色土 ローム粒・炭化粒(微)  
11. 暗褐色土 ローム粒  
12. 黒褐色土 ローム粒・炭化粒・炭化材(少)・焼土粒  
13. 黒褐色土 ローム粒・炭化粒(少)・白色の骨片(微)  
14. にぶい黄褐色土 ローム質土  
15. 黒褐色土 ローム粒・焼土粒(少)・炭化粒(微)  
16. にぶい黄褐色土 焼土層  
17. 黒褐色土 ローム粒(少)・焼土粒(少)・炭化粒  
18. 黒褐色土 ローム粒(少)・焼土粒・炭化材  
19. 黒褐色土 ローム粒・炭化粒(微)  
20. 暗褐色土 焼土粒・炭化粒(少)  
21. にぶい黄褐色土 ローム質土  
22. 褐色土 ローム粒・小礫  
23. 暗褐色土 ローム粒(多)・小礫(少)  
24. 黒褐色土 ローム粒(多)・炭化粒(微)

47号土坑

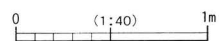


1. 黒褐色土 ローム粒・炭化粒(微)  
2. 褐色土 ローム質土

49号土坑

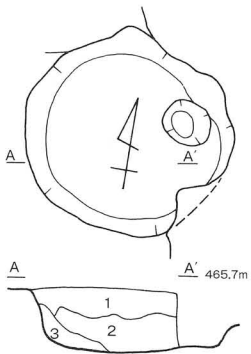


1. 黒褐色土 ローム粒(多)



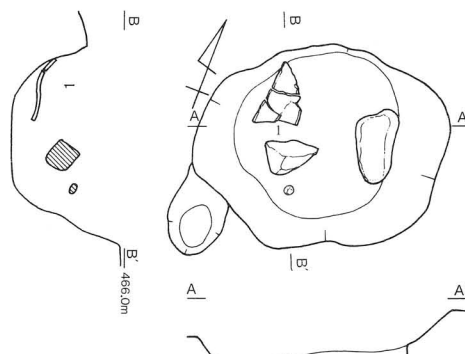
第41図 39~49号土坑 遺構

50号土坑



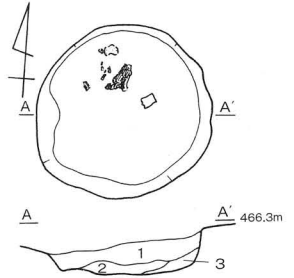
- 1. 暗褐色土 □ローム粒
- 2. 黒褐色土 □ローム粒・炭化粒(少)
- 3. 暗褐色土 □ローム粒(多)

51号土坑



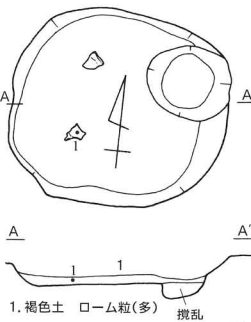
- 1. 暗褐色土 □ローム粒(多)・ロームブロック(少)
- 2. 暗褐色土 □ローム粒・ロームブロック

52号土坑



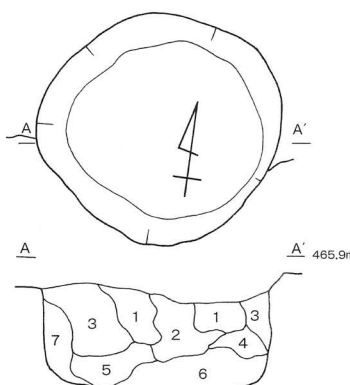
- 1. 暗褐色土 □ローム粒・焼土粒(微)
- 2. 暗褐色土 □ローム粒・焼土粒・炭化粒(微)・焼土塊(少)
- 3. にぶい黄褐色土 □ローム粒(多)・焼土粒(少)・炭化粒(少)

53号土坑



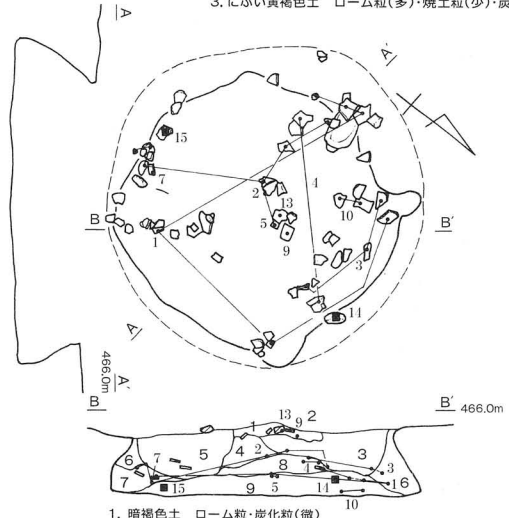
- 1. 褐色土 □ローム粒(多) 攪乱

55号土坑



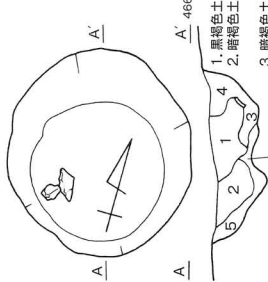
- 1. 暗褐色土 □ローム粒・炭化粒(少)
- 2. 黒褐色土 □ローム粒・炭化粒(少)
- 3. 褐色土 □ローム質土
- 4. 褐色土
- 5. にぶい黄褐色土 □ローム質土
- 6. 黒褐色土 □ローム粒・炭化粒(少)
- 7. 褐色土 □ローム質土

56号土坑



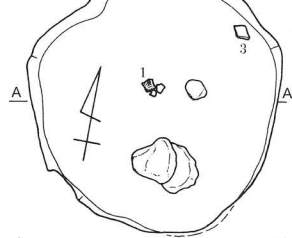
- 1. 暗褐色土 □ローム粒・炭化粒(微)
- 2. 褐色土 □ローム質土・褐色土混合
- 3. 暗褐色土 暗色のローム質土・暗褐色土粒・炭化粒(微)
- 4. 褐色土 □ローム質土・ロームブロック混合
- 5. にぶい黄褐色土 暗色のローム質土・炭化粒(少)
- 6. にぶい黄褐色土 暗色のローム質土
- 7. 暗褐色土 □ローム質土(多)・炭化粒(少)
- 8. 黒褐色土 □ローム粒(少)・炭化粒(少)・炭化材(少)・焼土粒
- 9. 黒色土 炭化粒・炭化材・ローム粒(少)・焼土粒(微)

57号土坑



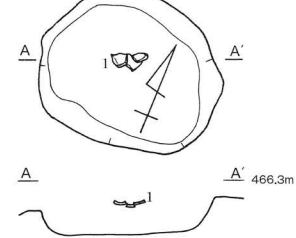
- 1. 黒褐色土 □ローム粒・炭化粒
- 2. 暗褐色土 □ローム粒(多)・堆土粒
- 3. 暗褐色土 □ローム質土・炭化粒(少)
- 4. 暗褐色土 □ローム質土・炭化粒(少)
- 5. 暗褐色土 □ローム質土(多)
- 6. 暗褐色土 □ローム質土

58号土坑

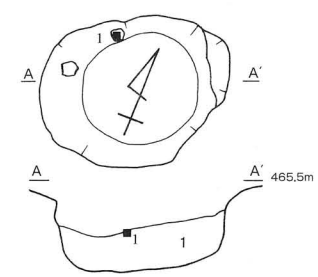


- 1. 褐色土 □ローム質土
- 2. 褐色土 □ローム質土
- 3. 暗褐色土 □ローム粒・炭化粒(少)
- 4. 暗褐色土 □ローム粒混合(多)

59号土坑

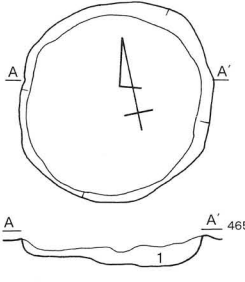


60号土坑



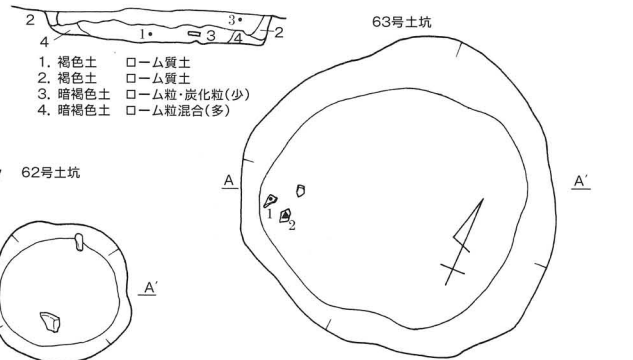
- 1. 黒褐色土 炭化粒(やや多)・炭化材(やや多) □ローム小ブロック

61号土坑



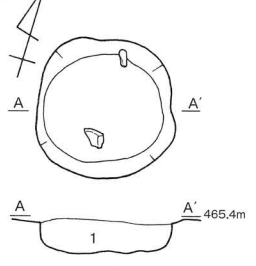
- 1. 黒褐色土 □ローム小ブロック(やや多)

63号土坑



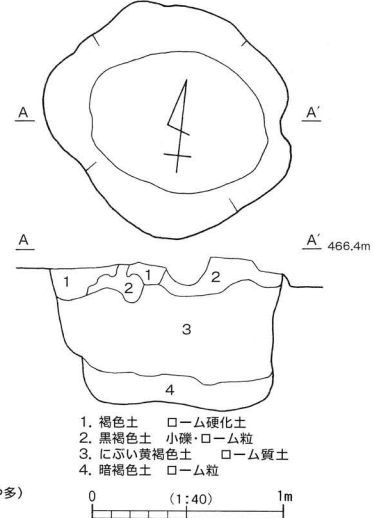
- 1. 暗褐色土 炭化物・ロームブロック(やや多)
- 2. にぶい黄褐色土 □ロームブロック
- 3. 暗褐色土 □ローム粒(やや多)・炭化物・ロームブロック(やや多)

62号土坑



- 1. 黒褐色土 □ローム粒・小礫・焼土粒(微)

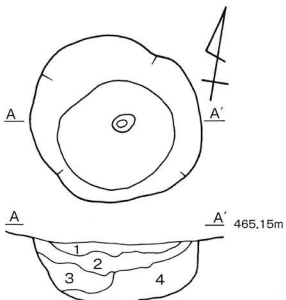
64号土坑



- 1. 褐色土 □ローム硬化土
- 2. 黒褐色土 小礫・ローム粒
- 3. にぶい黄褐色土 □ローム質土
- 4. 暗褐色土 □ローム粒

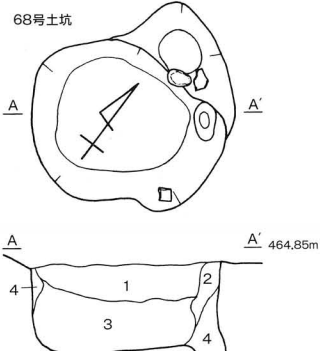
第42図 50~53・55~64号土坑 遺構

65号土坑



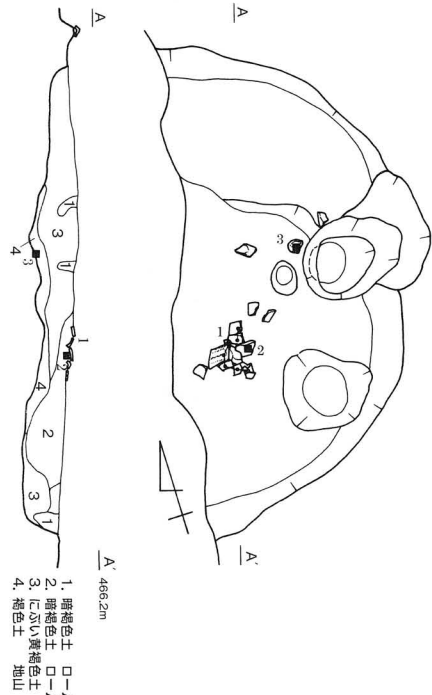
- 1. 暗褐色土 炭化物(やや多)・ローム粒
- 2. にぶい黄褐色土 ロームブロック(やや多)・炭化物(やや多)
- 3. 暗褐色土 ローム粒・炭化物(少)
- 4. 暗褐色土 ローム粒(やや多)・炭化物

68号土坑



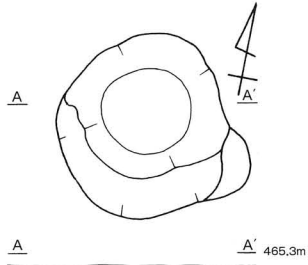
- 1. 黒褐色土 ローム粒
- 2. 暗褐色土 ローム粒(やや多)
- 3. 暗褐色土 ローム小ブロック(やや多)・焼土粒
- 4. 褐色土 ロームブロック(多)

75号土坑



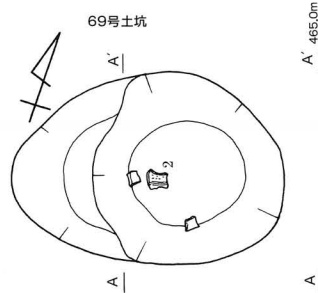
- 1. 暗褐色土 ローム粒
- 2. 暗褐色土 ローム小ブロック
- 3. にぶい黄褐色土 ローム小ブロック(やや多)
- 4. 褐色土 地山

66号土坑

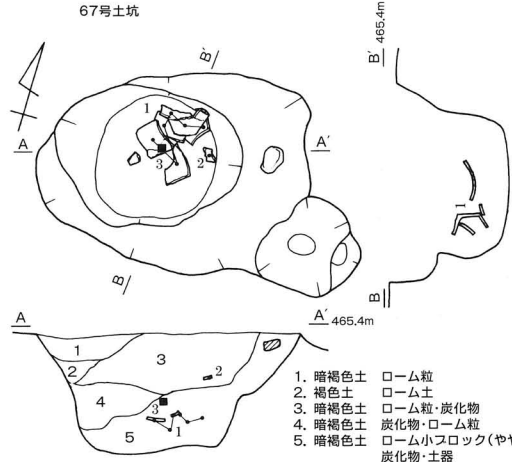


- 1. 暗褐色土 ローム粒・炭化粒
- 2. 暗褐色土 炭化粒・ロームブロック
- 3. にぶい黄褐色土 ローム粒(やや多)・ロームブロック
- 4. 暗褐色土 炭化物・ローム粒(やや多)
- 5. にぶい黄褐色土 ローム粒(やや多)

69号土坑

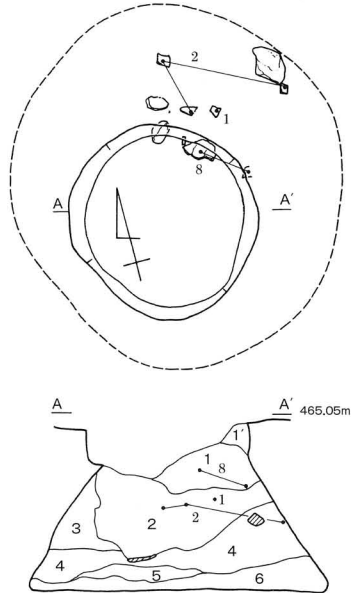


67号土坑



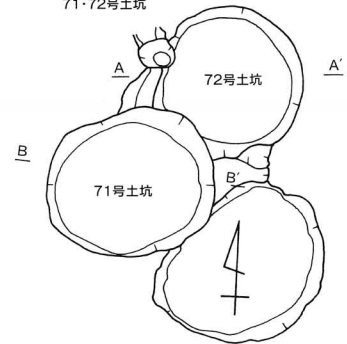
- 1. 暗褐色土 ローム粒
- 2. 褐色土 ローム土
- 3. 暗褐色土 ローム粒・炭化物
- 4. 暗褐色土 炭化物・ローム粒
- 5. 暗褐色土 ローム小ブロック(やや多)炭化物・土器

76号土坑



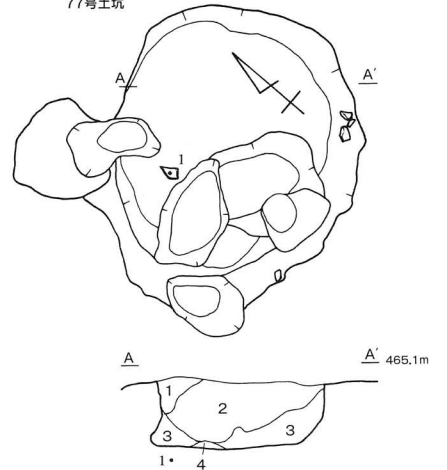
- 1. にぶい黄褐色土 ロームブロック(多)
- 2. 黒褐色土 ローム粒
- 3. 褐色土 ロームブロック(多)
- 4. 黒褐色土 2層よりも黒味強い
- 5. 褐色土 ロームブロック
- 6. 黒褐色土 4層と同じ
- 1'. 黄褐色土 ローム

71・72号土坑

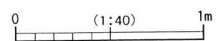


- 1. 黒褐色土 ロームブロック
- 1. 黒褐色土 ロームブロック(多)・ローム粒

77号土坑

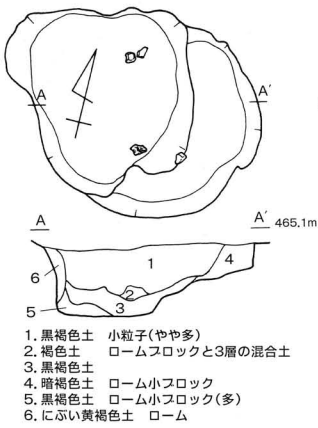


- 1. にぶい黄褐色土 ロームブロック(やや多)
- 2. 黒褐色土 ローム粒
- 3. 暗褐色土 ローム小ブロック(やや多)
- 4. 褐色土 ロームブロック

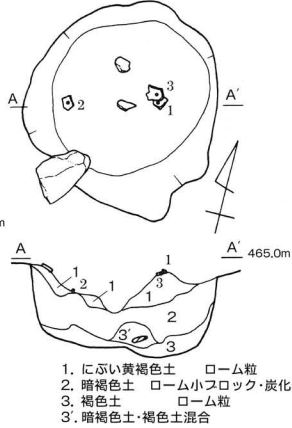


第43図 65~69・71・72・75~77号土坑 遺構

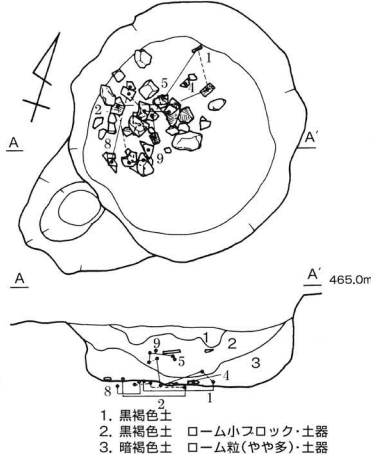
78号土坑



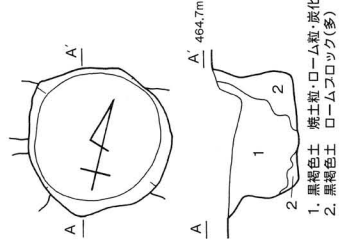
79号土坑



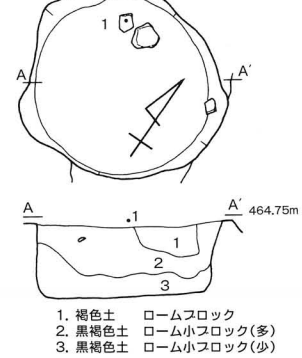
80号土坑



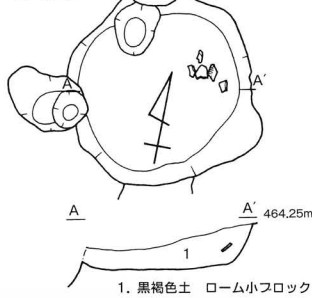
81号土坑



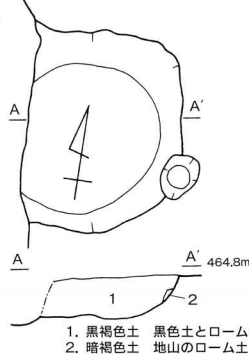
82号土坑



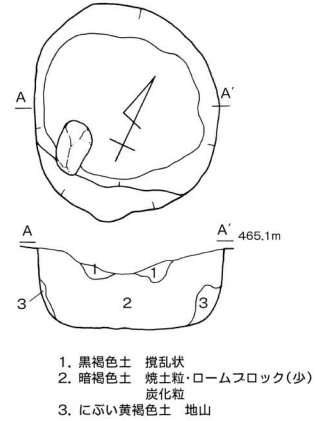
83号土坑



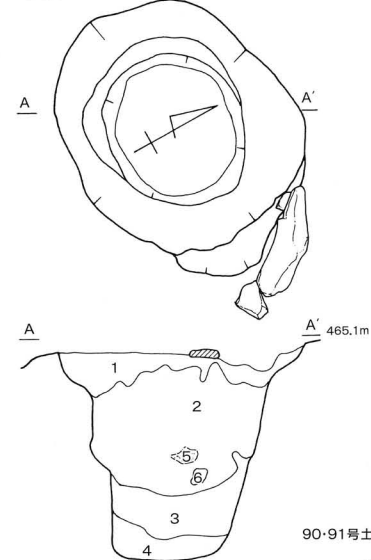
84号土坑



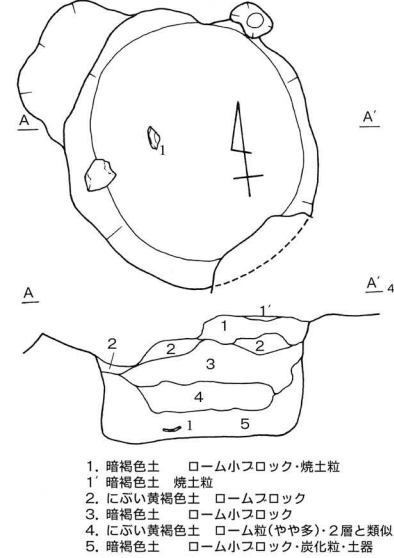
85号土坑



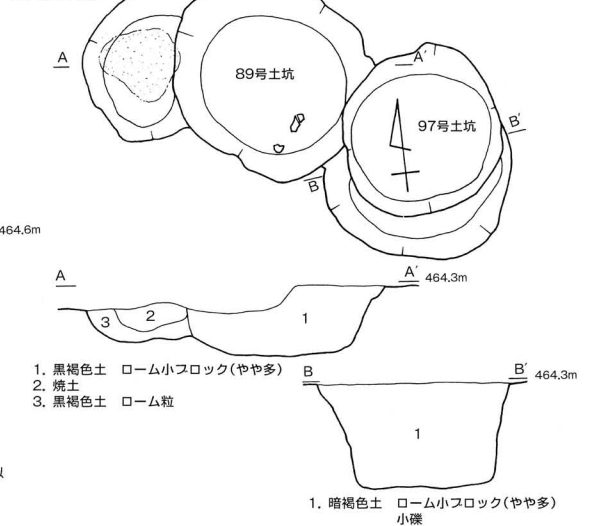
86号土坑



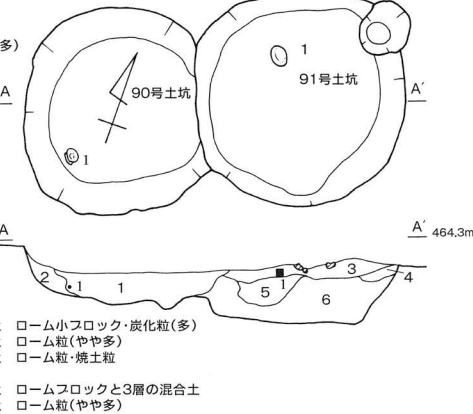
87号土坑



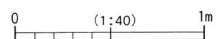
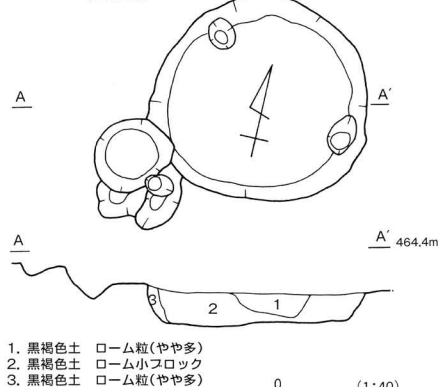
89-97号土坑



90-91号土坑



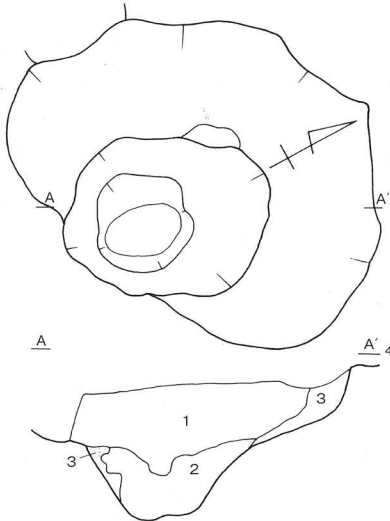
92号土坑



第44図 78~87・89~92・97号土坑 遺構

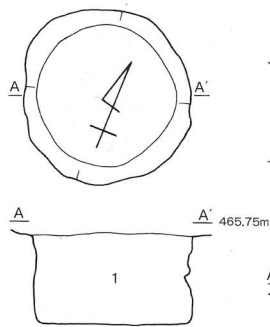


93号土坑



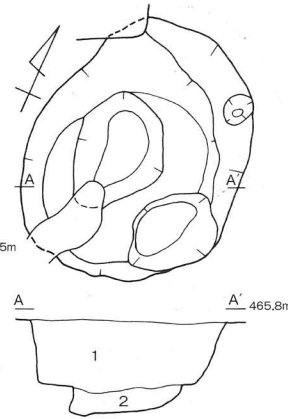
- 1. 黒褐色土 ロームブロック(やや多)
- 2. 暗褐色土 ロームブロック(少)
- 3. 褐色土 ローム地山

94号土坑



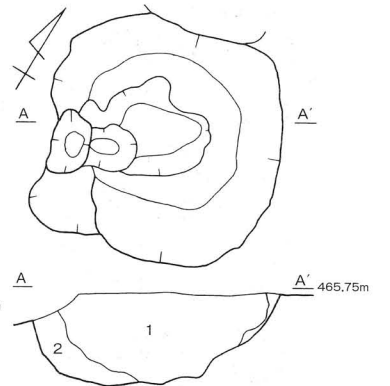
- 1. 黒褐色土 やや粗・ローム小ブロック炭化物

95号土坑



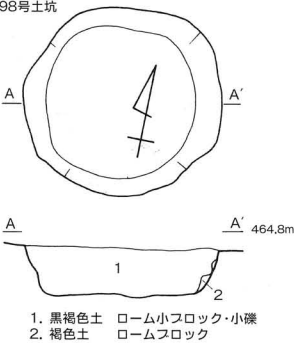
- 1. 黒褐色土 ローム小ブロック・小粒(多)
- 2. 暗褐色土 ローム小ブロック(やや多)

96号土坑



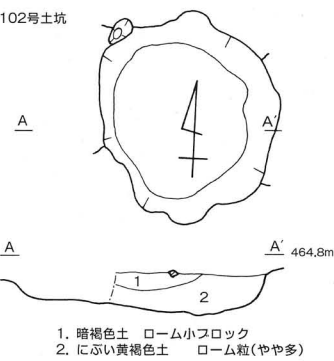
- 1. 黒褐色土 ローム小ブロック(少)・小粒・やや粗
- 2. にぶい黄褐色土 ローム粒(多)・ロームブロック・1層と混合

98号土坑



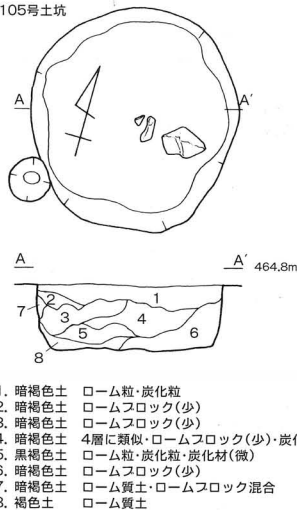
- 1. 黒褐色土 ローム小ブロック・小礫
- 2. 褐色土 ロームブロック

102号土坑



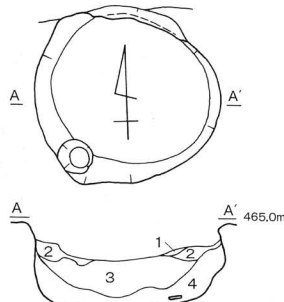
- 1. 暗褐色土 ローム小ブロック
- 2. にぶい黄褐色土 ローム粒(やや多)

105号土坑



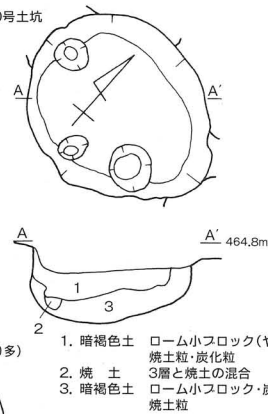
- 1. 暗褐色土 ローム粒・炭化粒
- 2. 暗褐色土 ロームブロック(少)
- 3. 暗褐色土 ロームブロック(少)
- 4. 暗褐色土 4層に類似・ロームブロック(少)・炭化粒
- 5. 黒褐色土 ローム粒・炭化粒・炭化材(微)
- 6. 暗褐色土 ロームブロック(少)
- 7. 暗褐色土 ローム質土・ロームブロック混合
- 8. 褐色土 ローム質土

99号土坑



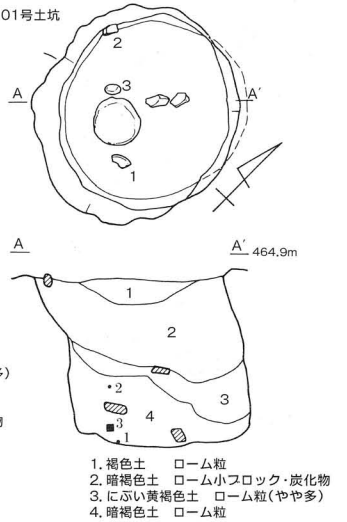
- 1. 黒褐色土 ローム粒
- 2. 褐色土 ローム小ブロック・炭化物
- 3. 暗褐色土 ローム小ブロック(やや多)・焼土粒・炭化粒
- 4. 暗褐色土 ローム小ブロック・焼土粒・炭化粒・ローム粒(3層より多)

100号土坑



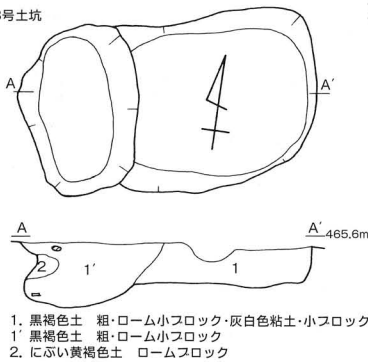
- 1. 暗褐色土 ローム小ブロック(やや多) 焼土粒・炭化粒
- 2. 焼土 3層と焼土の混合
- 3. 暗褐色土 ローム小ブロック・炭化物 焼土粒

101号土坑



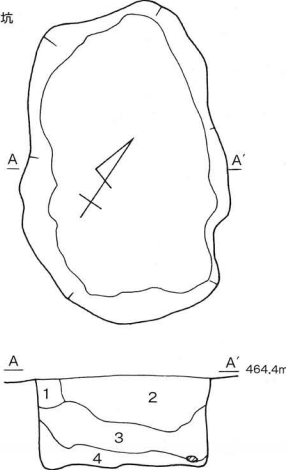
- 1. 褐色土 ローム粒
- 2. 暗褐色土 ローム小ブロック・炭化物
- 3. にぶい黄褐色土 ローム粒(やや多)
- 4. 暗褐色土 ローム粒

103号土坑



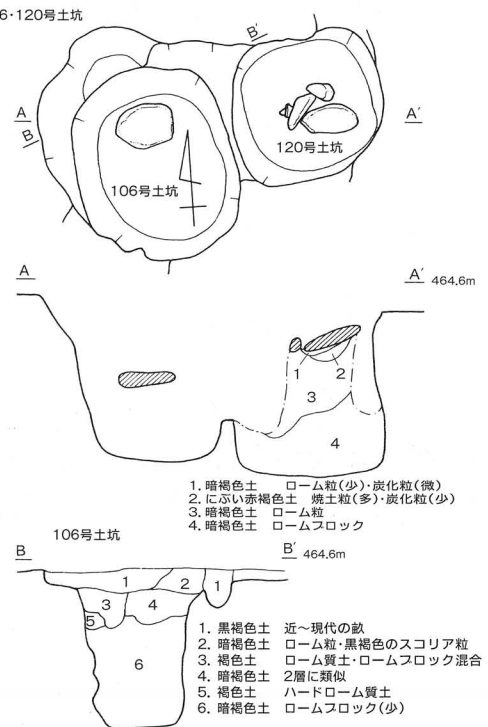
- 1. 黒褐色土 粗・ローム小ブロック・灰白色粘土・小ブロック
- 1' 黒褐色土 粗・ローム小ブロック
- 2. にぶい黄褐色土 ロームブロック

107号土坑



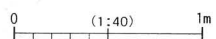
- 1. 黒褐色土 ローム粒(多)
- 2. 褐色土 ローム質土・小礫
- 3. 褐色土 ローム質土
- 4. 褐色土 ローム質土

106・120号土坑

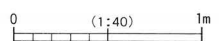
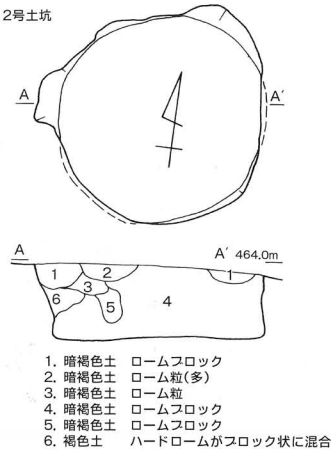
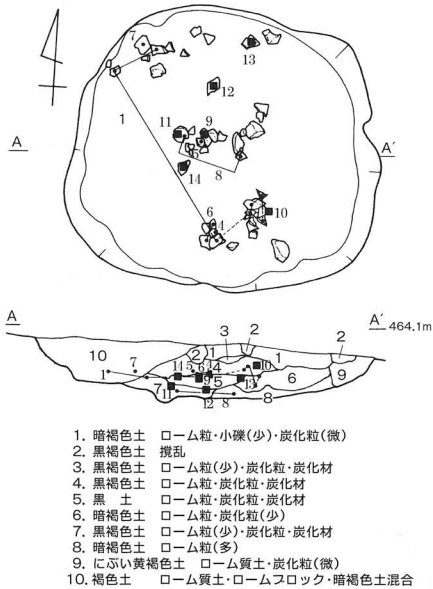
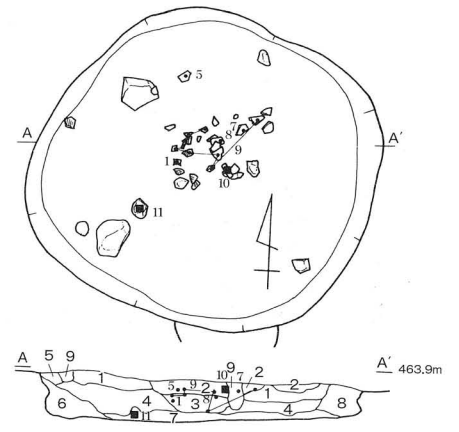
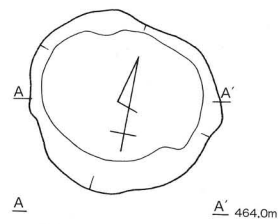
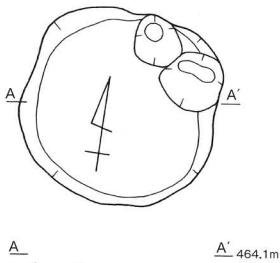
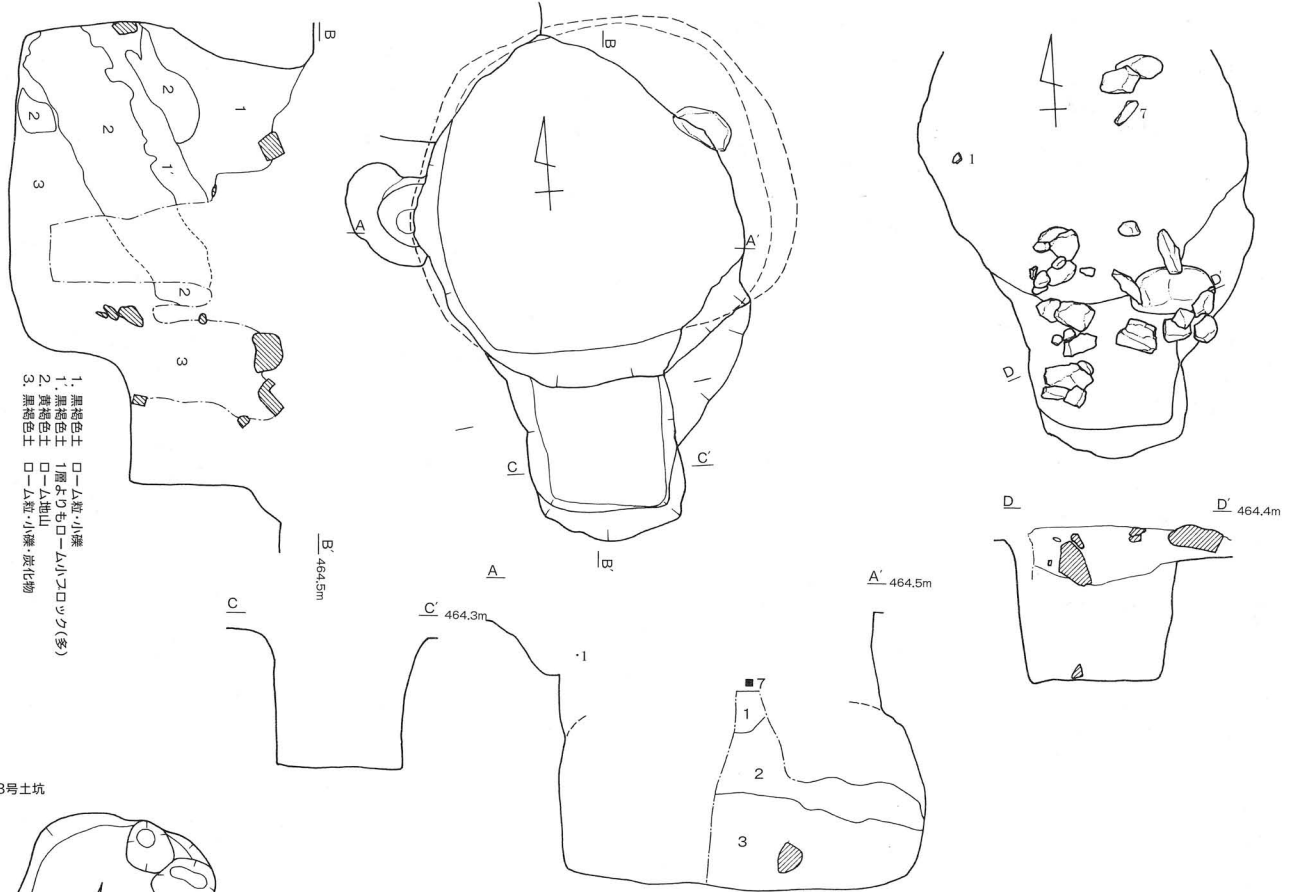


- 1. 暗褐色土 ローム粒(少)・炭化粒(微)
- 2. にぶい赤褐色土 焼土粒(多)・炭化粒(少)
- 3. 暗褐色土 ローム粒
- 4. 暗褐色土 ロームブロック

- 1. 黒褐色土 近～現代の畝
- 2. 暗褐色土 ローム粒・黒褐色のスコリア粒
- 3. 褐色土 ローム質土・ロームブロック混合
- 4. 暗褐色土 2層に類似
- 5. 褐色土 ハードローム質土
- 6. 暗褐色土 ロームブロック(少)

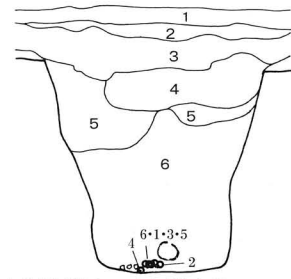
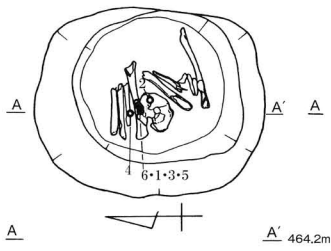


第45図 93~96・98~103・105~107・120号土坑 遺構



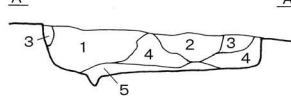
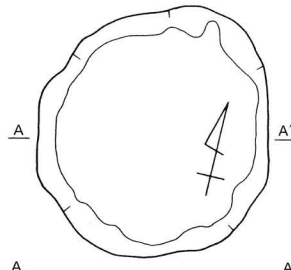
第46図 104・108~112号土坑 遺構

113号土坑



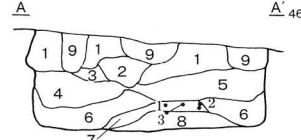
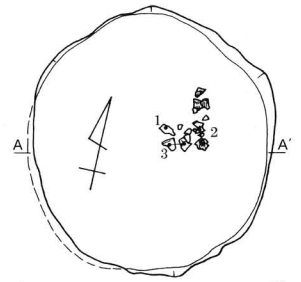
- 1. にぶい褐色土 表土・耕作土・粗
- 2. 褐色土 ローム粒・粗
- 3. にぶい黄褐色土 ロームフロック・粗
- 4. にぶい黄褐色土 ロームフロック混合土・ロームフロック(多)
- 5. 暗褐色土 ロームフロック(やや多)
- 6. 暗褐色土 ロームフロック混合土・ロームフロック(多)

114号土坑



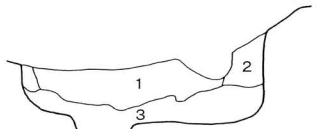
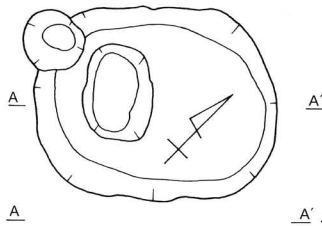
- 1. 暗褐色土 ローム粒・小礫
- 2. 暗褐色土 ローム粒
- 3. 暗褐色土 ローム粒
- 4. 暗褐色土 ロームフロック(少)
- 5. 暗褐色土 ローム粒(多)

115号土坑



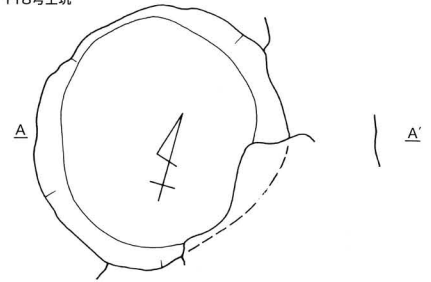
- 1. 暗褐色土 ローム粒
- 2. 暗褐色土 ローム粒・炭化粒(微)
- 3. 暗褐色土 1層に類似・ローム粒(多)
- 4. 暗褐色土 ローム質土・ロームフロック
- 5. 暗褐色土 ローム粒
- 6. 暗褐色土 ローム粒・炭化粒(少)・炭化材
- 7. 黒褐色土 ローム粒・炭化粒・炭化材
- 8. 褐色土 ローム質土・ロームフロック(少)

117号土坑



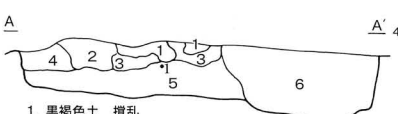
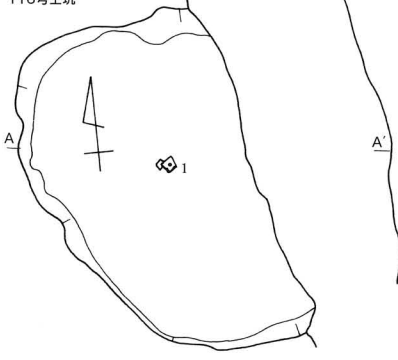
- 1. 暗褐色土 ロームフロック
- 2. 褐色土 ローム
- 3. 暗褐色土 ローム粒

118号土坑



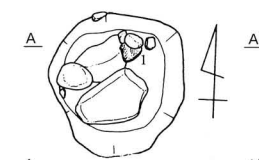
- 1. 黒褐色土 ローム粒・炭化粒(少)
- 2. 黒褐色土 ロームフロック(少)・炭化粒(微)
- 3. 黒褐色土 ローム粒(多)

116号土坑



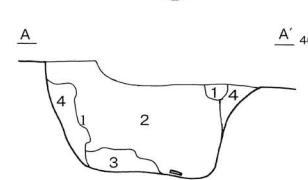
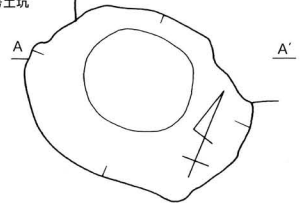
- 1. 黒褐色土 攪乱
- 2. 暗褐色土 ローム粒・炭化粒(微)
- 3. 暗褐色土 ローム粒・炭化粒(微)
- 4. にぶい黄褐色土 ローム質土
- 5. 暗褐色土 ローム粒・炭化粒・炭化材
- 6. 褐色土 耕作土・畝跡・ローム質土・ロームフロック・砂質土混合

121号土坑



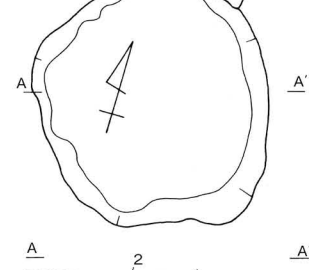
- 1. 暗褐色土 ロームフロック・小礫・炭化粒(微)
- 2. 暗褐色土 ローム粒
- 3. 黒褐色土+褐色土 黒褐色とローム質土の混合

122号土坑



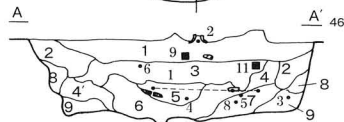
- 1. 黒褐色土 ローム粒
- 2. 暗褐色土 ローム小フロック粒
- 3. 黒褐色土 ローム粒
- 4. にぶい黄褐色土 地山直上

119号土坑

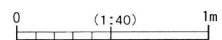


- 1. 暗褐色土 攪乱
- 2. 暗褐色土 ローム粒
- 3. 黒褐色土 ローム粒
- 4. 黒褐色土 ロームフロック(少)
- 5. 暗褐色土 ローム粒(多)

123号土坑

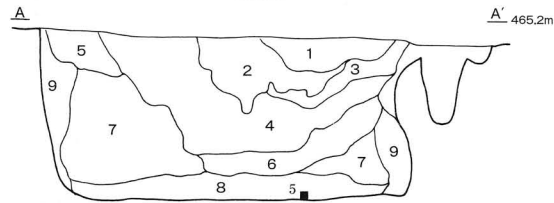
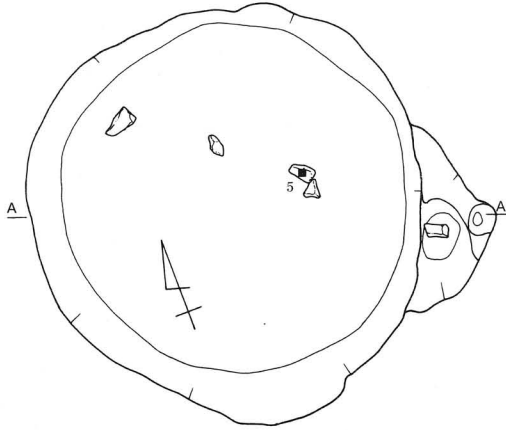


- 1. 黒褐色土 ロームフロック(多)
- 2. 灰黄褐色土 ローム小フロック(やや多)
- 3. 黒褐色土 炭化粒(多)・炭化物(多)
- 4. 焼土層 純粋な焼土層
- 5. 焼土 焼土と黒褐色土の混合
- 6. 黒褐色土 炭化物・ローム小フロック
- 7. 黒褐色土 焼土粒(やや多)・ローム小フロック
- 8. 褐色土 壁の一部
- 9. 灰黄褐色土 ローム粒(多)・焼土粒



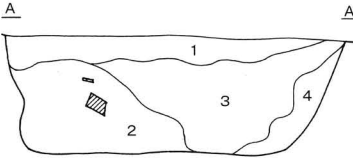
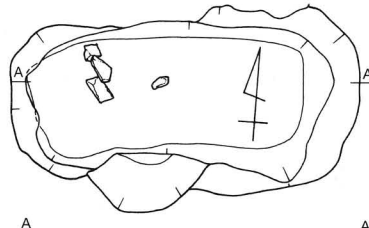
第47図 113~119・121~123号土坑 遺構

124号土坑



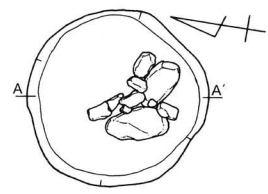
1. 黒褐色土 小礫・ローム粒・白色粒
2. 黒褐色土 ローム粒・炭化粒
3. 黒褐色土 ローム質土・焼土粒(少)・炭化粒
4. 黒色土 ローム粒・炭化粒(少)・焼土粒(微)
5. 黒褐色土 ローム粒・焼土粒(少)・炭化粒(微)
6. 黒褐色土 ローム粒・焼土粒・炭化粒(少)
7. 暗褐色土 ローム粒(多)・炭化粒(少)
8. 黒色土 ローム粒(少)・炭化粒(少)・炭化材(微)
9. 褐色~暗褐色土 ローム質土・ロームブロック

125号土坑



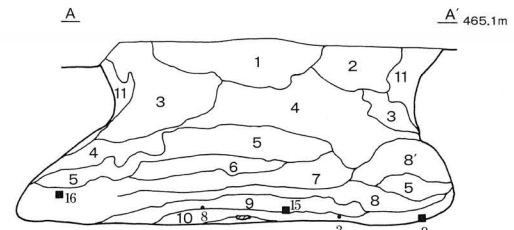
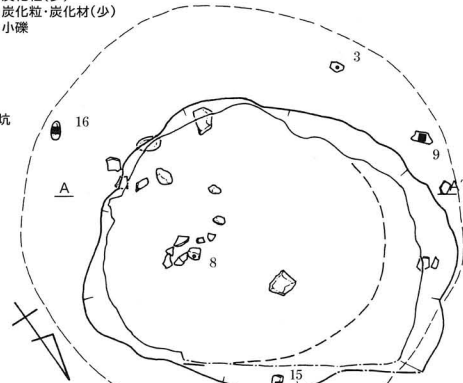
1. 黒褐色土 ロームブロック・炭化粒(少)
2. 黒褐色土 ロームブロック・炭化粒・炭化材(少)
3. 黒褐色土 ロームブロック・小礫
4. 暗褐色土 ローム粒

126号土坑



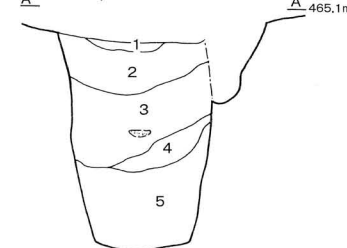
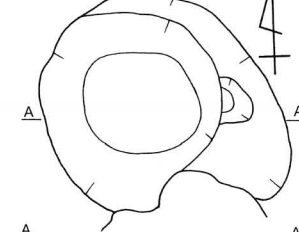
1. 黒褐色土 ロームブロック・焼土粒(微)
2. 暗褐色土 ロームブロック(少)
3. 暗褐色土 ロームブロック(少)

127号土坑



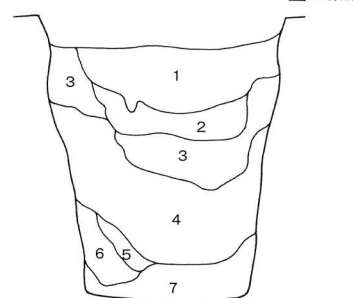
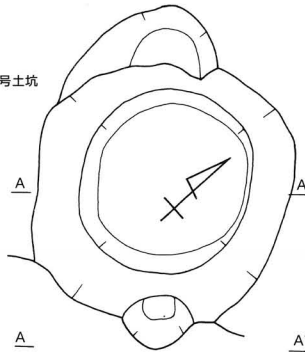
1. 褐色土 ロームブロック
2. にぶい黄褐色土 ローム小ブロック(やや多)
3. にぶい黄褐色土 ロームブロック(多)
4. 黒褐色土 ローム小ブロック(多)・赤色粒
5. 褐色土 ロームブロック
6. 黒褐色土 炭化粒・ローム小ブロック
7. 黒褐色土 ローム粒(多)
8. 黒褐色土 6層とほぼ同じ・炭化粒・ローム粒
9. 黒褐色土 7層とほぼ同じ・ローム粒(やや多)・炭化粒
10. 黒褐色土 6・8層とほぼ同じ・ローム粒(少)
11. 褐色土 ローム地山

128号土坑



1. にぶい黄褐色土 ローム粒
2. 褐色土 ローム粒(多)・炭化粒(少)
3. にぶい黄褐色土 ローム粒・炭化粒
4. 褐色土 ローム粒(多)
5. 暗褐色土 ローム粒

129号土坑



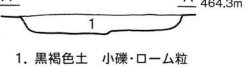
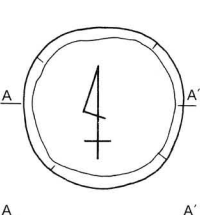
1. 褐色土 ローム粒
2. 黒褐色土 ローム小ブロック・炭化粒
3. 暗褐色土 ローム粒(やや多)
4. にぶい黄褐色土 ローム粒(多)・炭化粒
5. 暗褐色土 3層とほぼ同じ
6. にぶい黄褐色土 ローム粒(やや多)・4層とほぼ同じ
7. 暗褐色土 4層とほぼ同じ

130号土坑



1. 暗褐色土 ローム粒・小礫
2. 黒褐色土 ローム粒・小礫(少) 焼土粒・炭化粒(微)
3. にぶい黄褐色土 ローム質土・暗褐色土混合

131号土坑



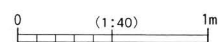
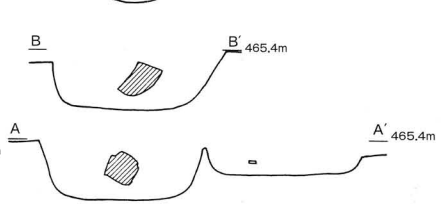
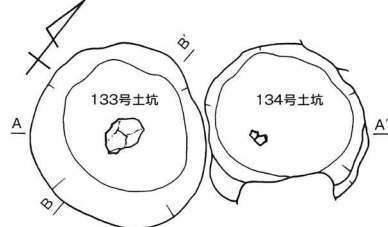
1. 黒褐色土 小礫・ローム粒

132号土坑



1. 黒褐色土 ローム粒・焼土粒(少)
2. 暗褐色土 ローム粒(多)
3. 暗褐色土 ローム粒(多)
4. 暗褐色土 ローム粒
5. 褐色土 ローム質土

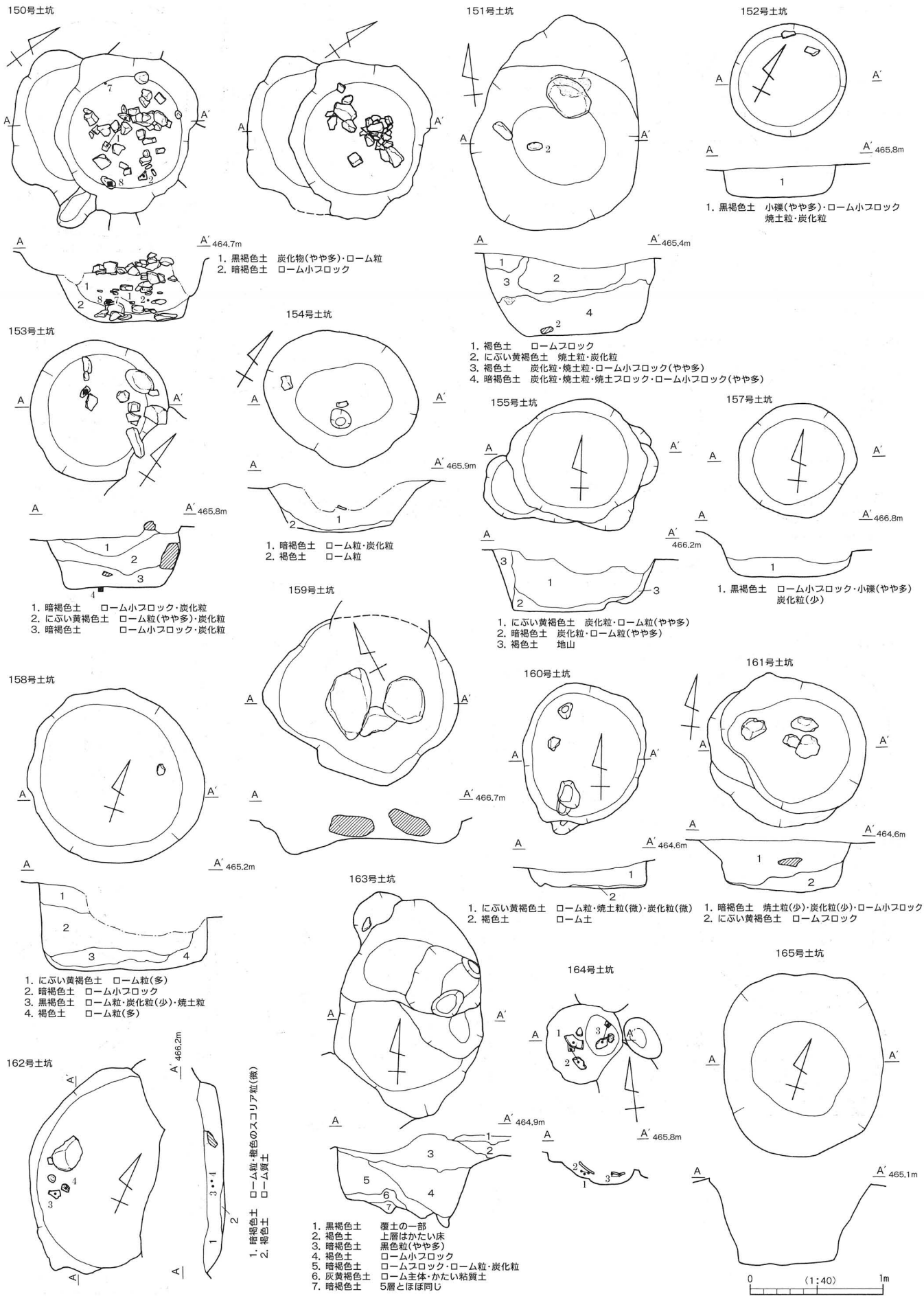
133・134号土坑



第48図 124~134号土坑 遺構

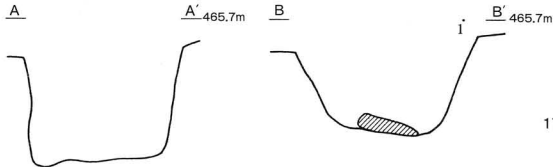
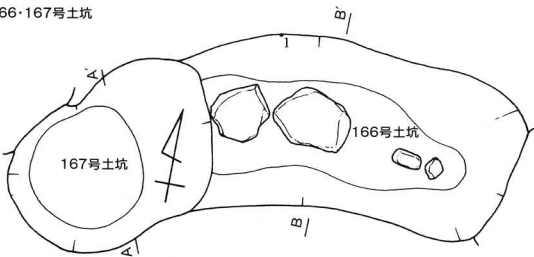




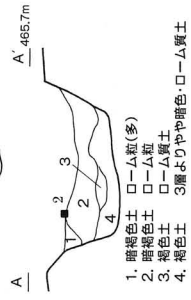
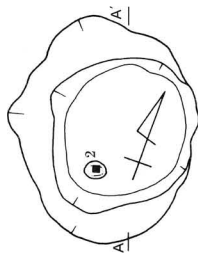


第50図 150~155・157~165号土坑 遺構

166-167号土坑

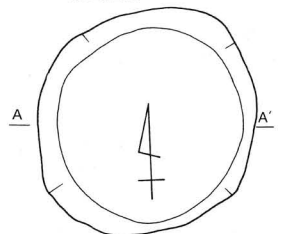


168号土坑



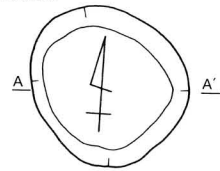
- 1. 暗褐色土 ローム粒(多)
- 2. 暗褐色土 ローム粒
- 3. 褐色土 3層よりやや暗色・ローム質土
- 4. 褐色土

169号土坑



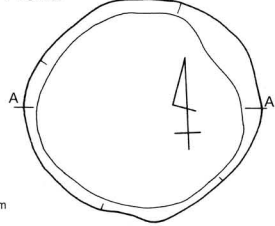
- 1. 暗褐色土 ロームブロック

170号土坑



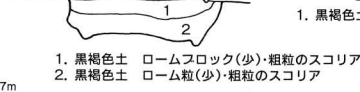
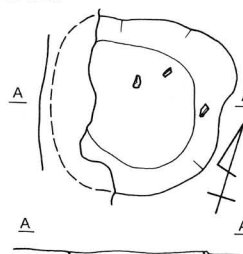
- 1. 暗褐色土 ローム粒(多)

171号土坑



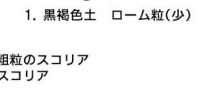
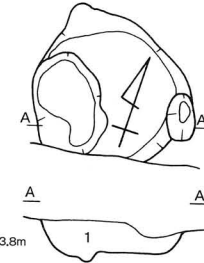
- 1. 暗褐色土 ロームブロック(少)

172号土坑



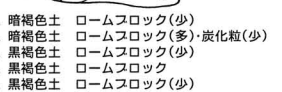
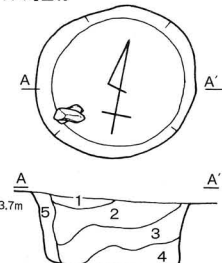
- 1. 黒褐色土 ロームブロック(少)・粗粒のスコリア
- 2. 黒褐色土 ローム粒(少)・粗粒のスコリア

173号土坑



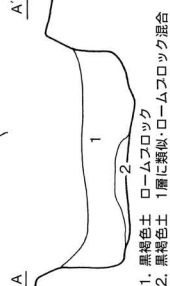
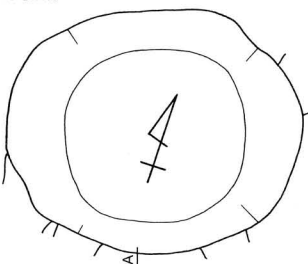
- 1. 黒褐色土 ローム粒(少)

174号土坑



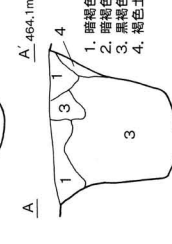
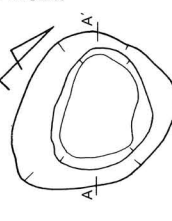
- 1. 暗褐色土 ロームブロック(少)
- 2. 暗褐色土 ロームブロック(多)・炭化粒(少)
- 3. 黒褐色土 ロームブロック(少)
- 4. 黒褐色土 ロームブロック
- 5. 黒褐色土 ロームブロック(少)

175号土坑



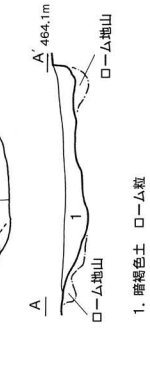
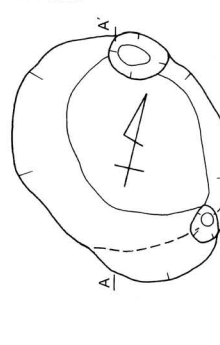
- 1. 黒褐色土 ロームブロック混合
- 2. 黒褐色土 1層に類似・ロームブロック混合

176号土坑



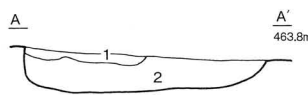
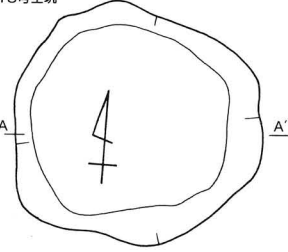
- 1. 暗褐色土 ローム粒
- 2. 暗褐色土 腐乱・ムダ・小礫
- 3. 黒褐色土 ローム質土
- 4. 褐色土

177号土坑



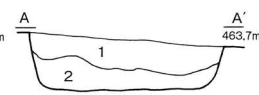
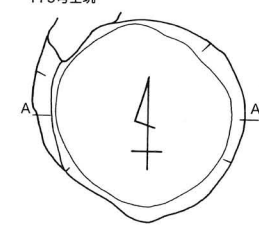
- 1. 暗褐色土 1層

178号土坑



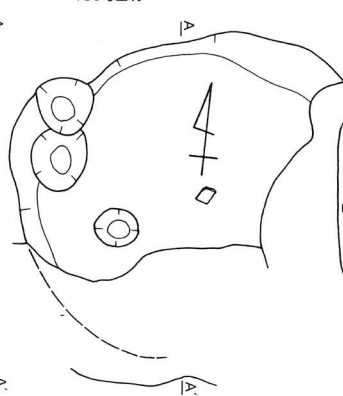
- 1. 黒褐色土 ローム粒
- 2. 暗褐色土 ロームブロック

179号土坑



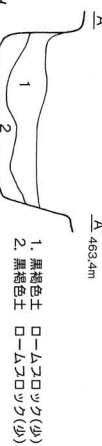
- 1. 暗褐色土 ロームブロック
- 2. 暗褐色土 1層よりローム粒混合

180号土坑

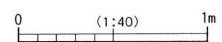


- 1. 暗褐色土 ローム粒
- 2. 黒褐色土 灰・炭部

181号土坑

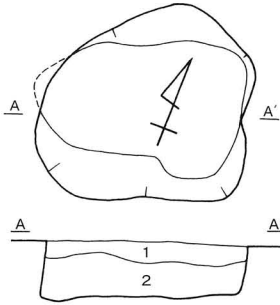


- 1. 黒褐色土 ロームブロック(少)
- 2. 黒褐色土 ロームブロック(少)



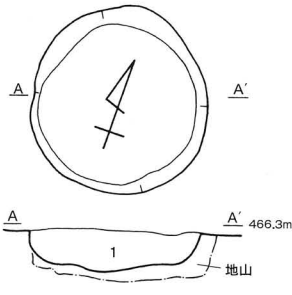
第51図 166~181号土坑 遺構

183号土坑



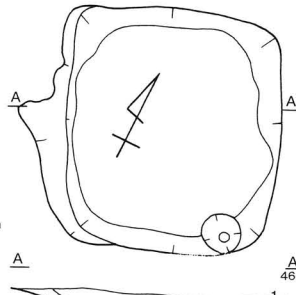
1. にぶい黄褐色土 ローム粒(多)
2. 暗褐色土 ローム粒(多)・ローム質と黒褐色がフロック状に混合

184号土坑



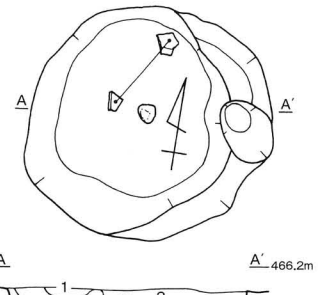
1. 暗褐色土 ローム粒(多)・炭化粒(少)

185号土坑



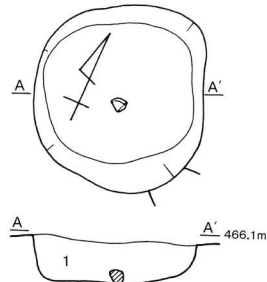
1. 黒褐色土 攪乱層
2. 黒褐色土 ロームフロック
3. 暗褐色土 ロームフロック
4. 褐色土 ローム質土
5. 黒褐色土 ローム粒

186号土坑



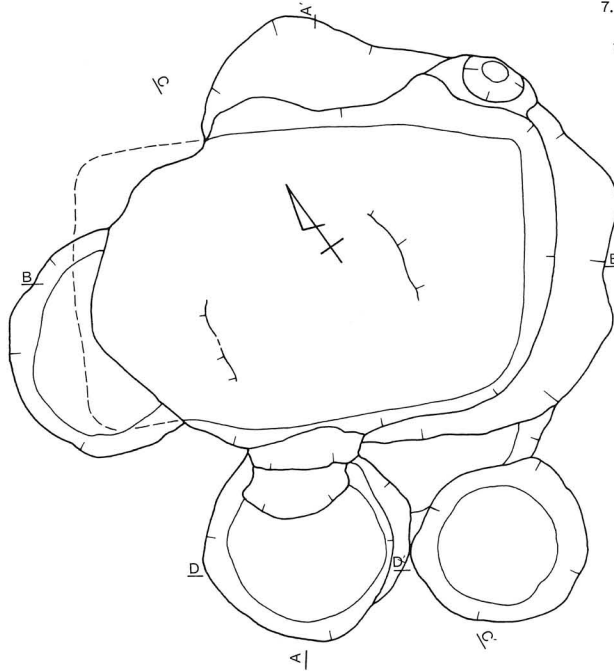
- |               |          |          |         |
|---------------|----------|----------|---------|
| 1. にぶい黄褐色土    | ローム質土    | 13. 褐色土  | ローム質土   |
| 2. にぶい黄褐色土    | ローム質土    | 9. 暗褐色土  | ローム粒(多) |
| 3. 褐色土        | ローム質土    | 10. 暗褐色土 | 9層に類似   |
| 4. 黒褐色土       | ローム粒     | 11. 黒褐色土 | ローム粒    |
| 5. 褐色~にぶい黄褐色土 | ローム質土    | 12. 褐色土  | ローム質土   |
|               | フロック状に混合 | 13. 褐色土  | ローム質土   |
| 6. 暗褐色土       | ローム粒(多)  |          |         |
| 7. 暗褐色土       | ローム粒     |          |         |

187号土坑

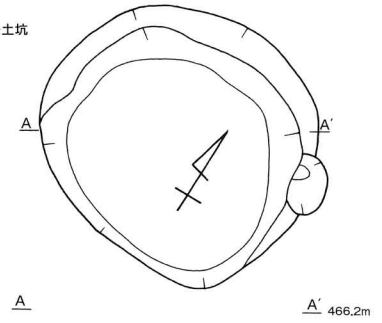


1. 暗褐色土 ロームフロック

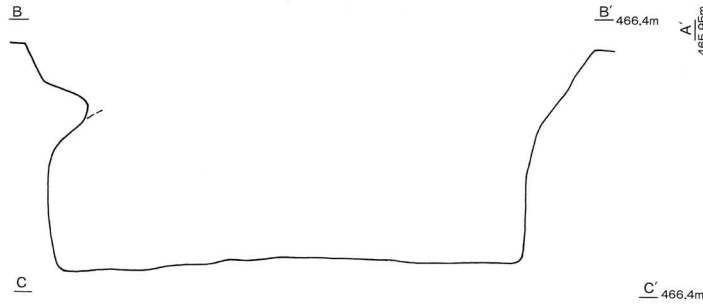
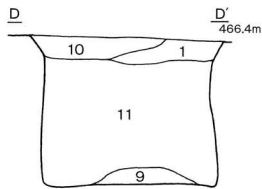
190号土坑



188号土坑



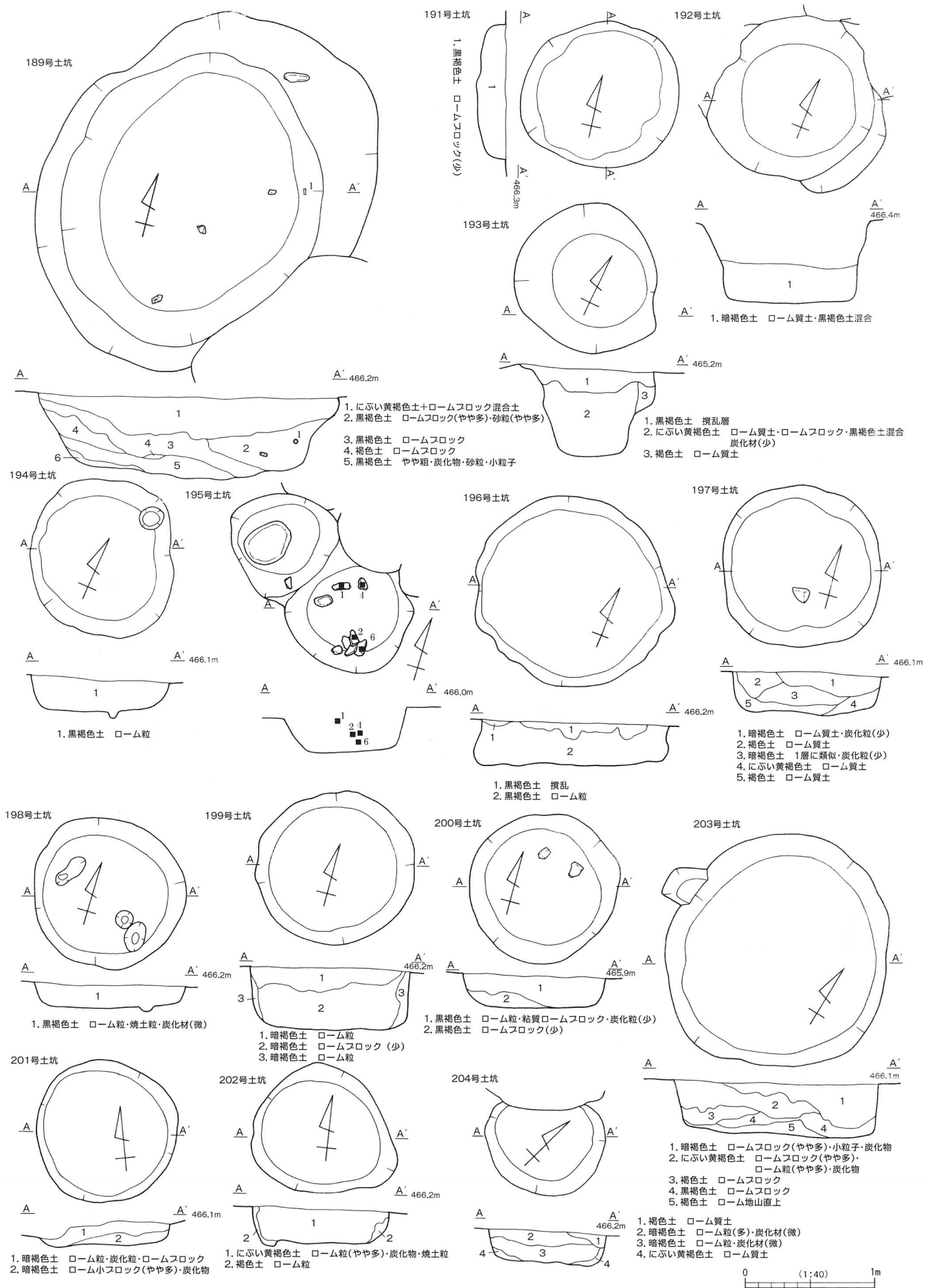
1. 黒褐色土 耕作による攪乱
2. 暗褐色土 ローム粒
3. 暗褐色土 ローム粒
4. 黒褐色土 ローム粒
5. 暗褐色土 ローム粒(多)
6. 黒褐色土 ローム粒
7. 暗褐色土 ローム粒(多)
8. 黒褐色土 ローム粒
9. 褐色土 ローム質土



1. 黒褐色土 ローム粒・白色粒(少)・小礫
2. 黒褐色土 ローム粒・炭化粒(微)
3. 黒褐色土 黒褐色土とフロック状のローム質土の混合
4. 褐色土 ローム質土
5. 黒褐色土 ロームフロック
6. にぶい黄褐色土 ローム粒
7. にぶい黄褐色土 ローム質土に黒褐色土混合 硬質ロームフロック
8. 褐色土 ローム質土
9. 褐色土 ローム質土
10. 黒褐色土 3層に類似
11. 黒褐色土 3層に類似・ロームフロック

0 (1:40) 1m

第52図 183~188・190号土坑 遺構

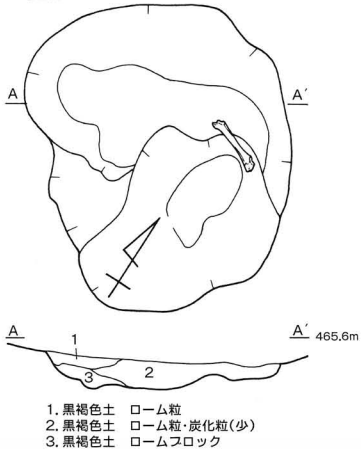


第53図 189・191～204号土坑 遺構

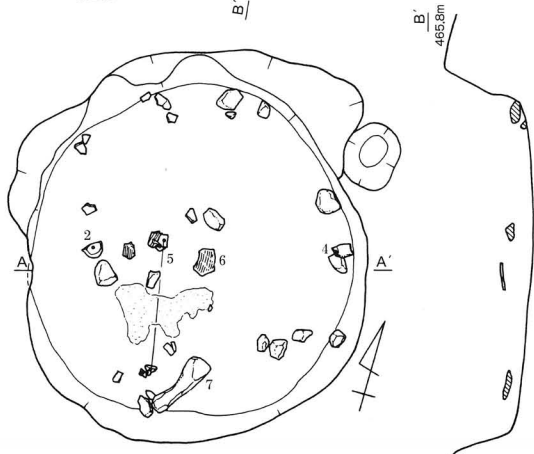




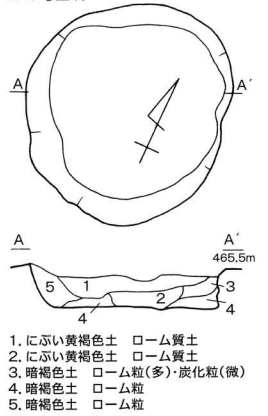
223号土坑



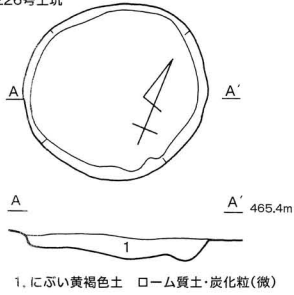
224号土坑



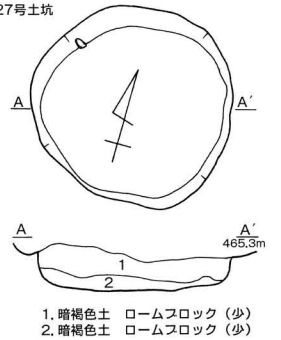
225号土坑



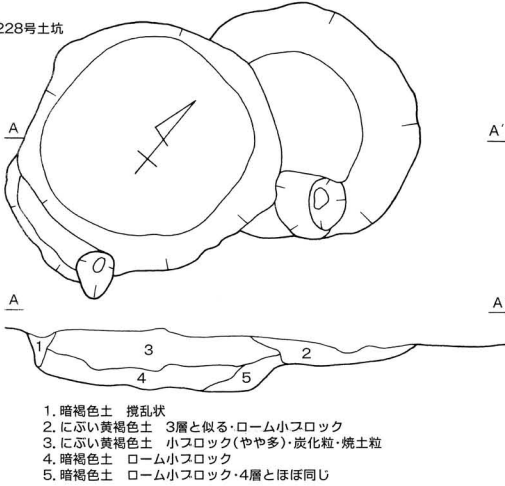
226号土坑



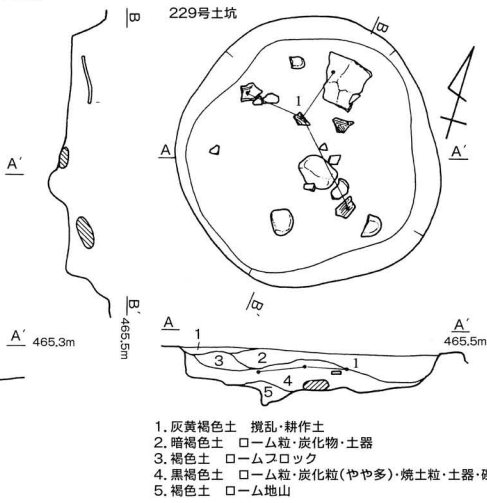
227号土坑



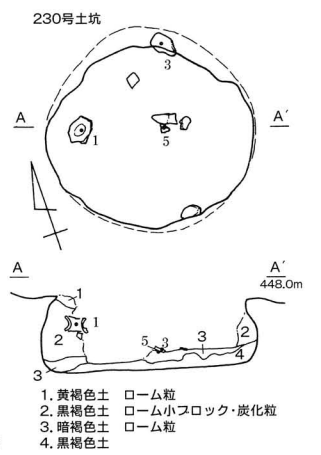
228号土坑



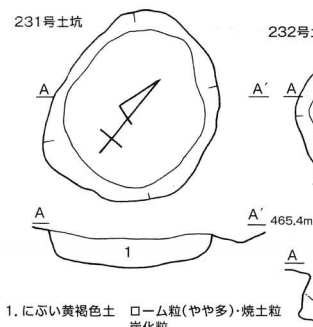
229号土坑



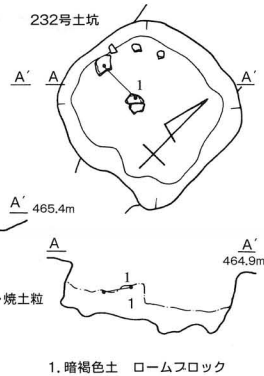
230号土坑



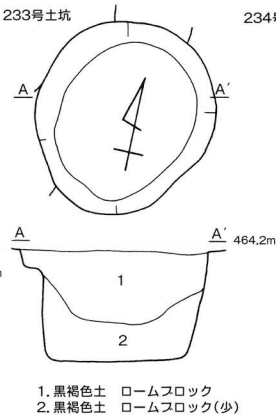
231号土坑



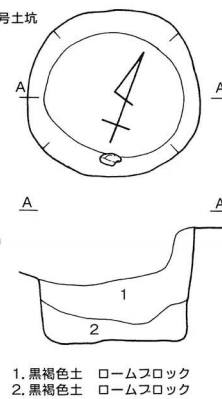
232号土坑



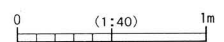
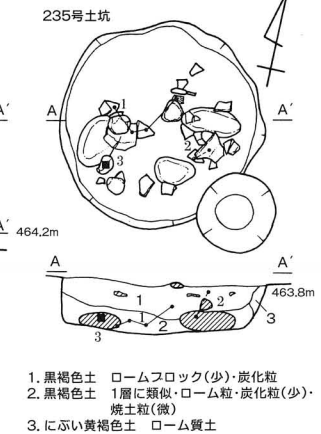
233号土坑



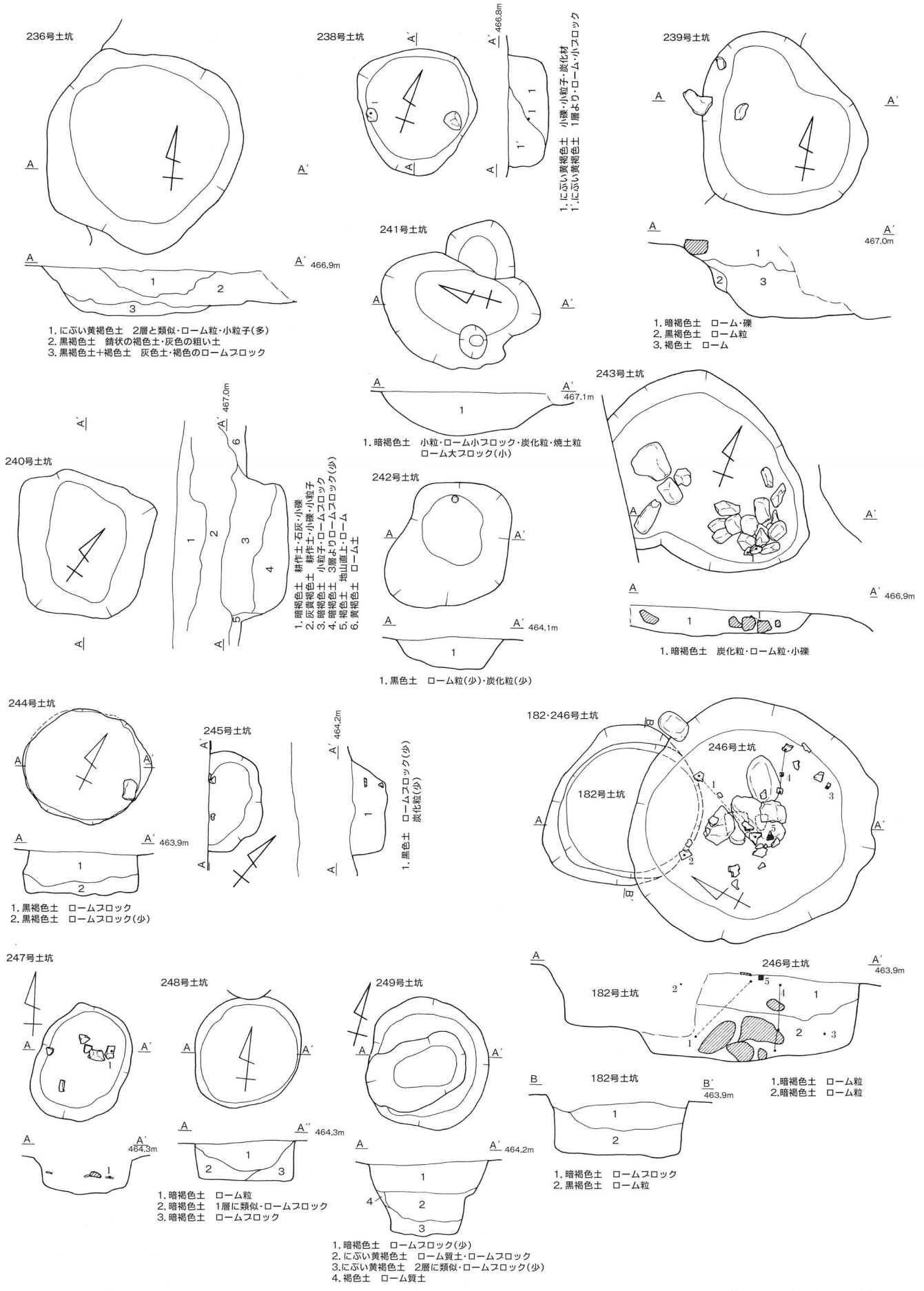
234号土坑



235号土坑



第55図 223~235号土坑 遺構



第56図 182・236・238~249号土坑 遺構

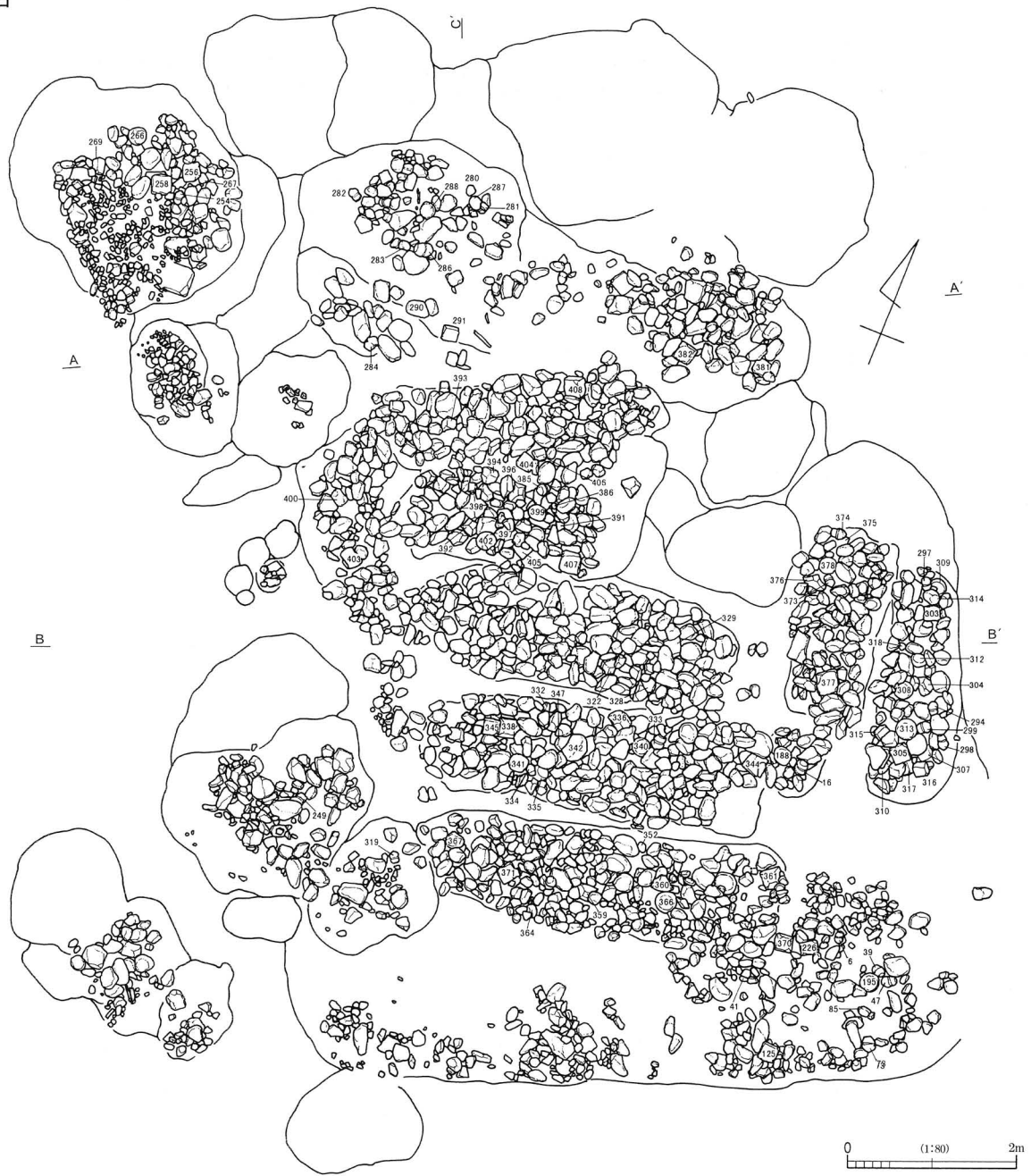








方形集石



第60図 方形集石 遺構(3)

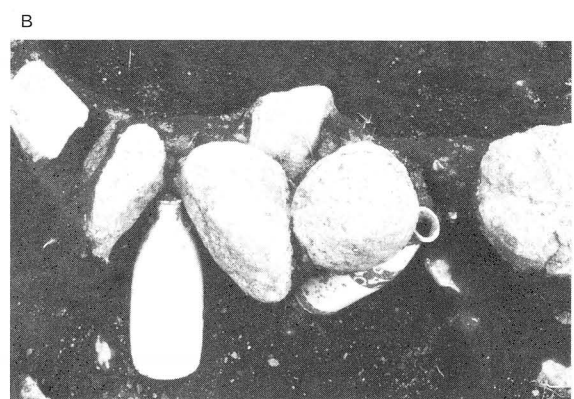
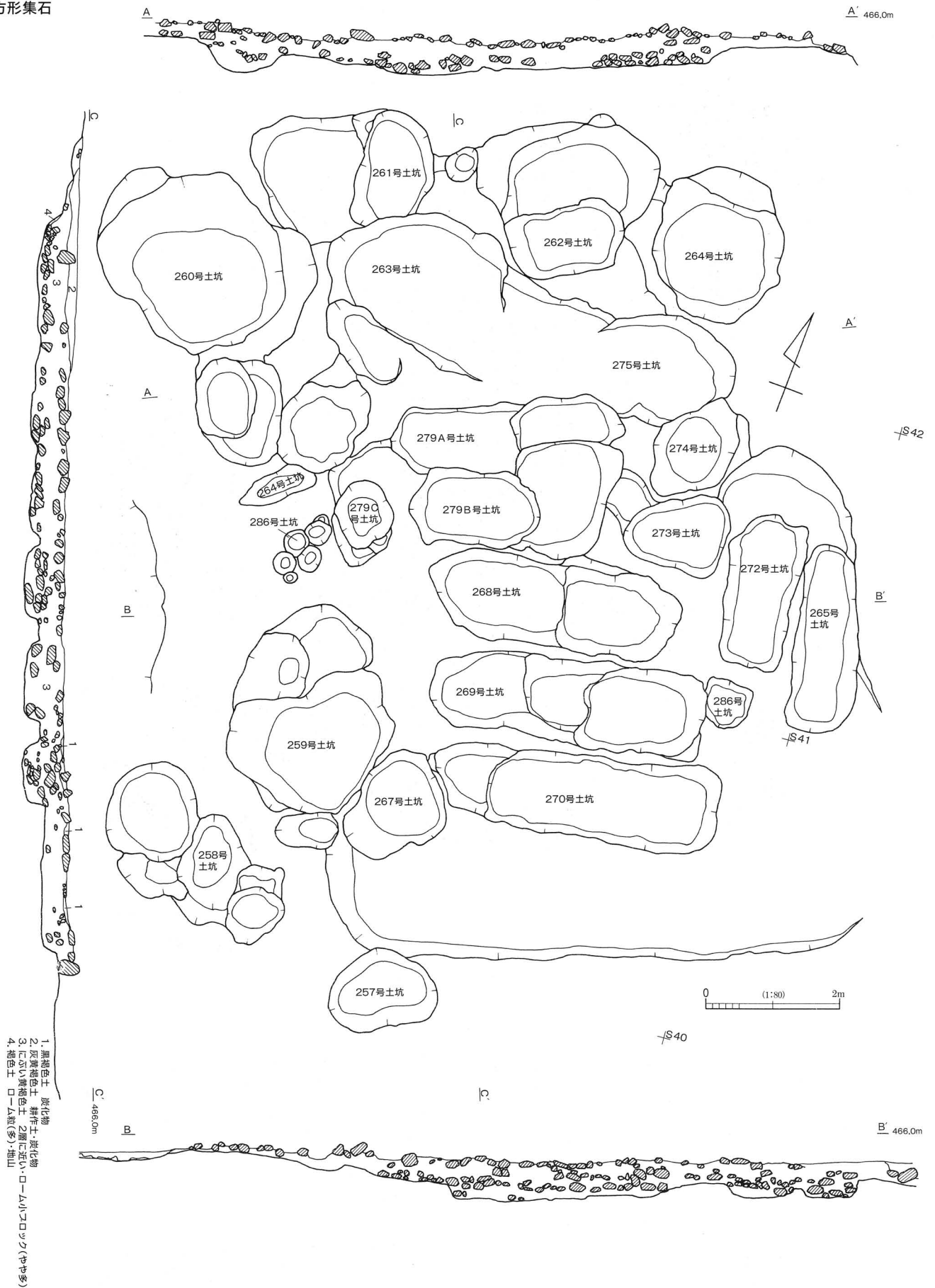
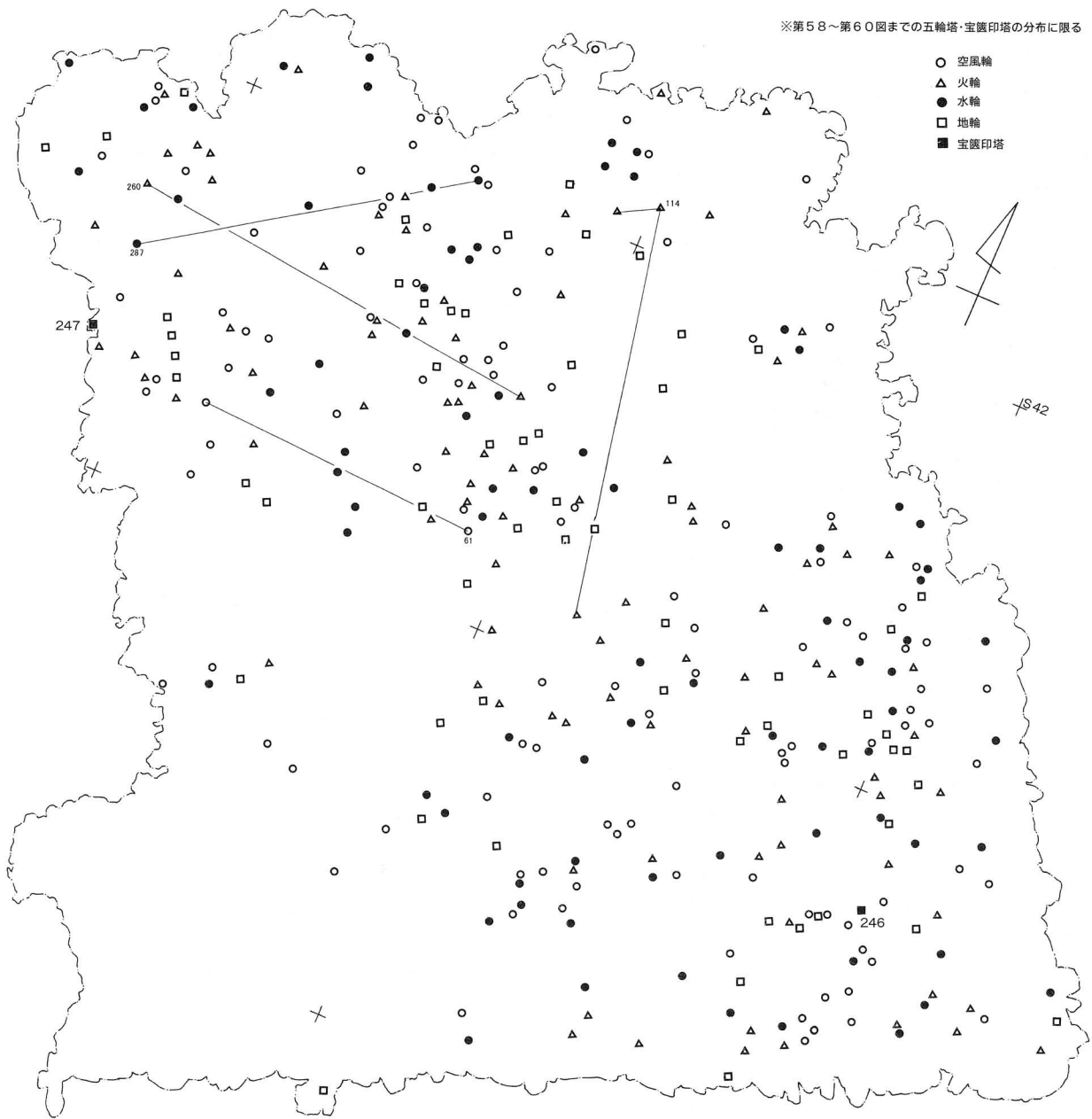


写真15 立瓶遺構



第61図 方形集石 遺構(4)



第62図 五輪塔・宝篋印塔 出土状況

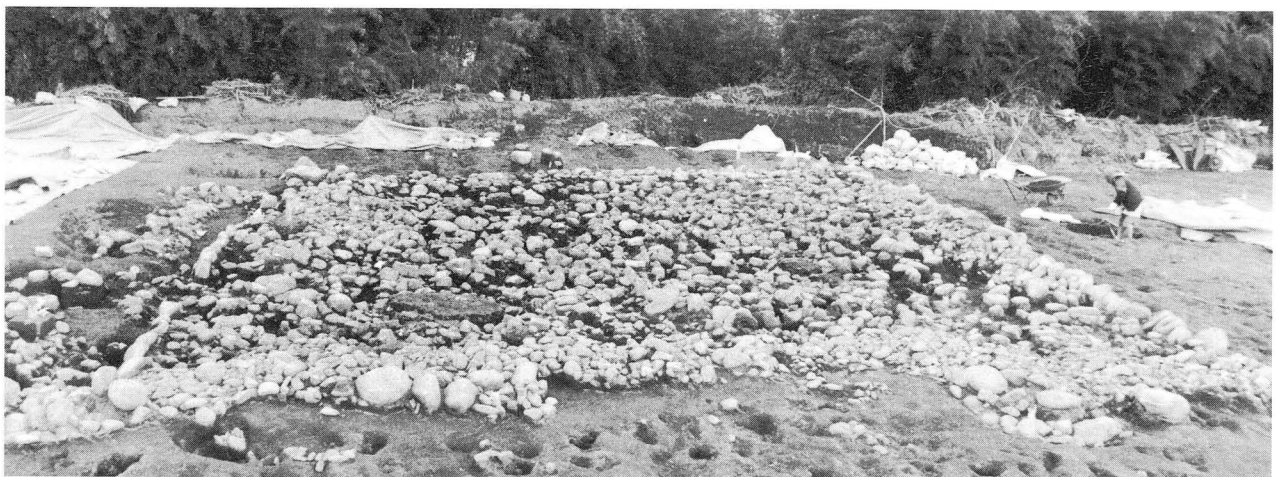
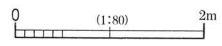
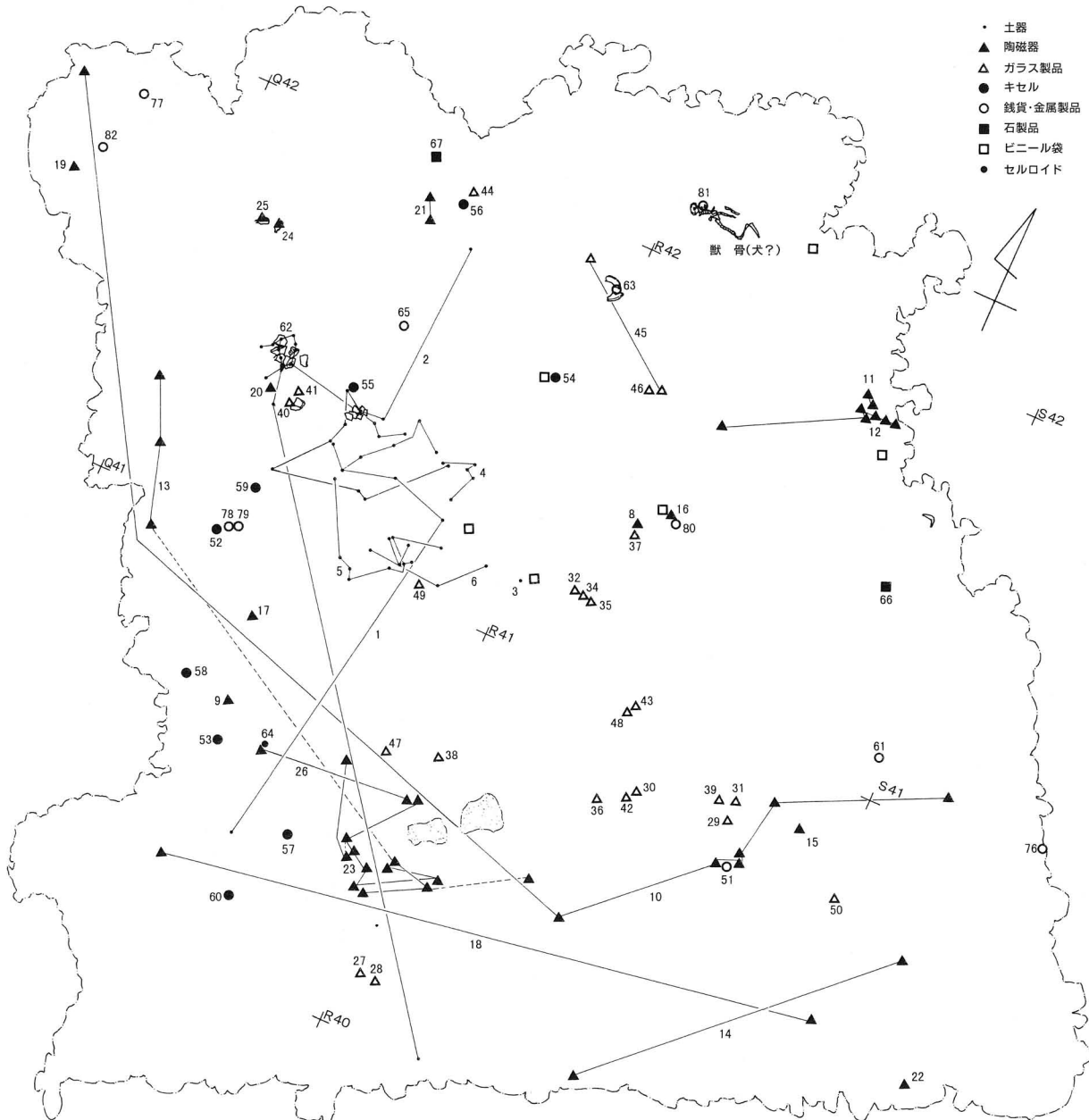


写真17 方形集石(西から)



第63図 方形集石 遺物出土状況

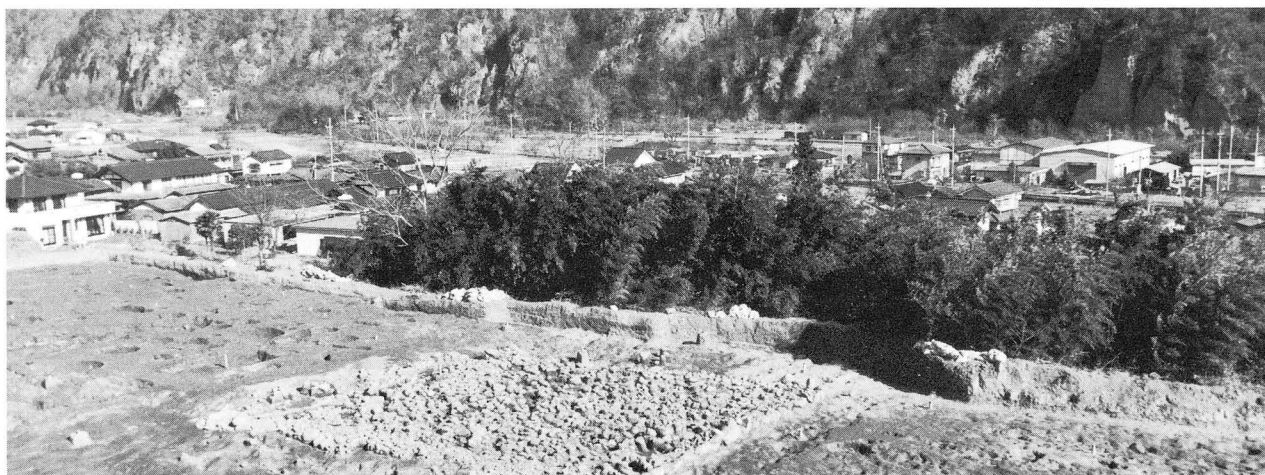
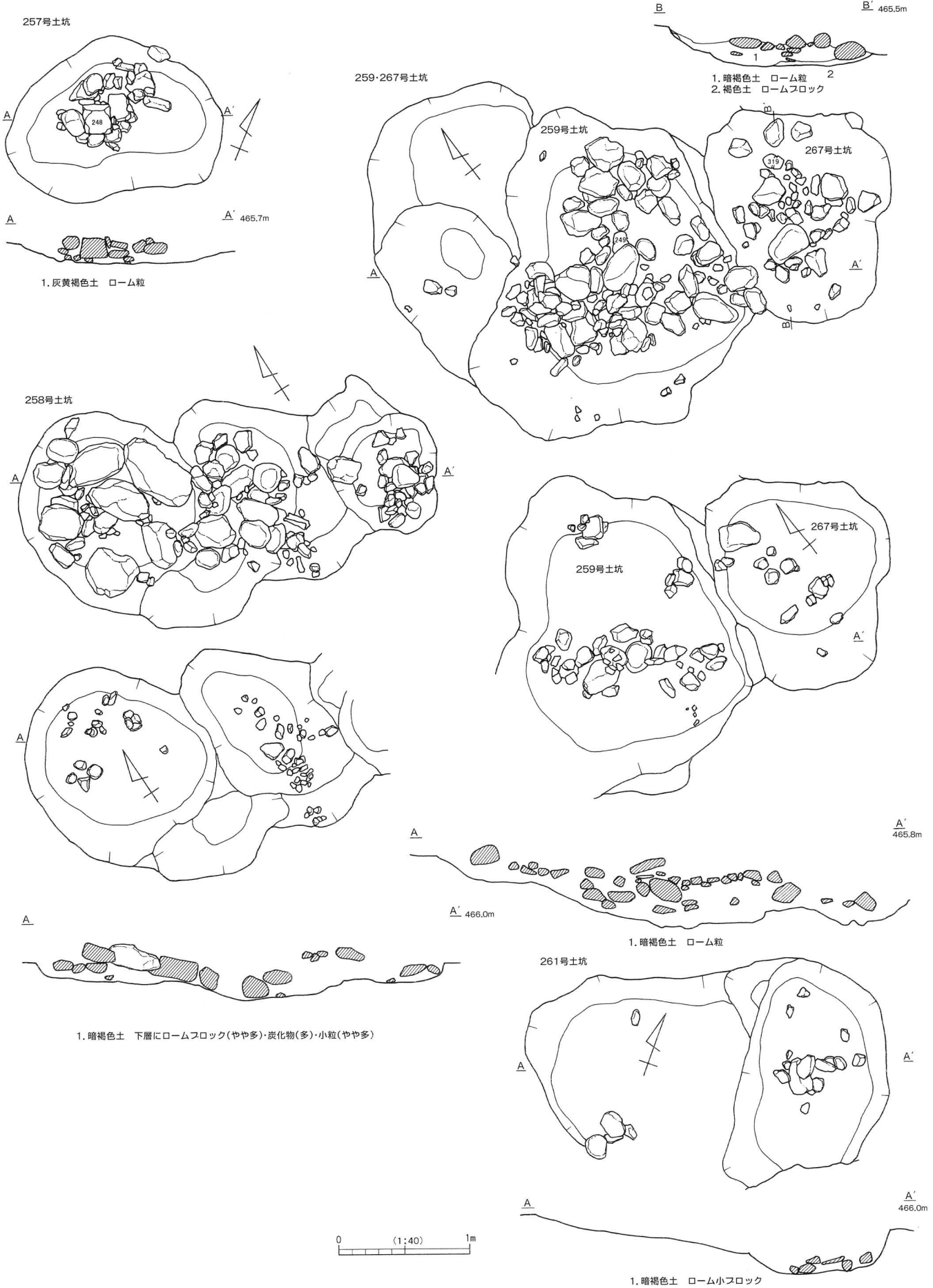
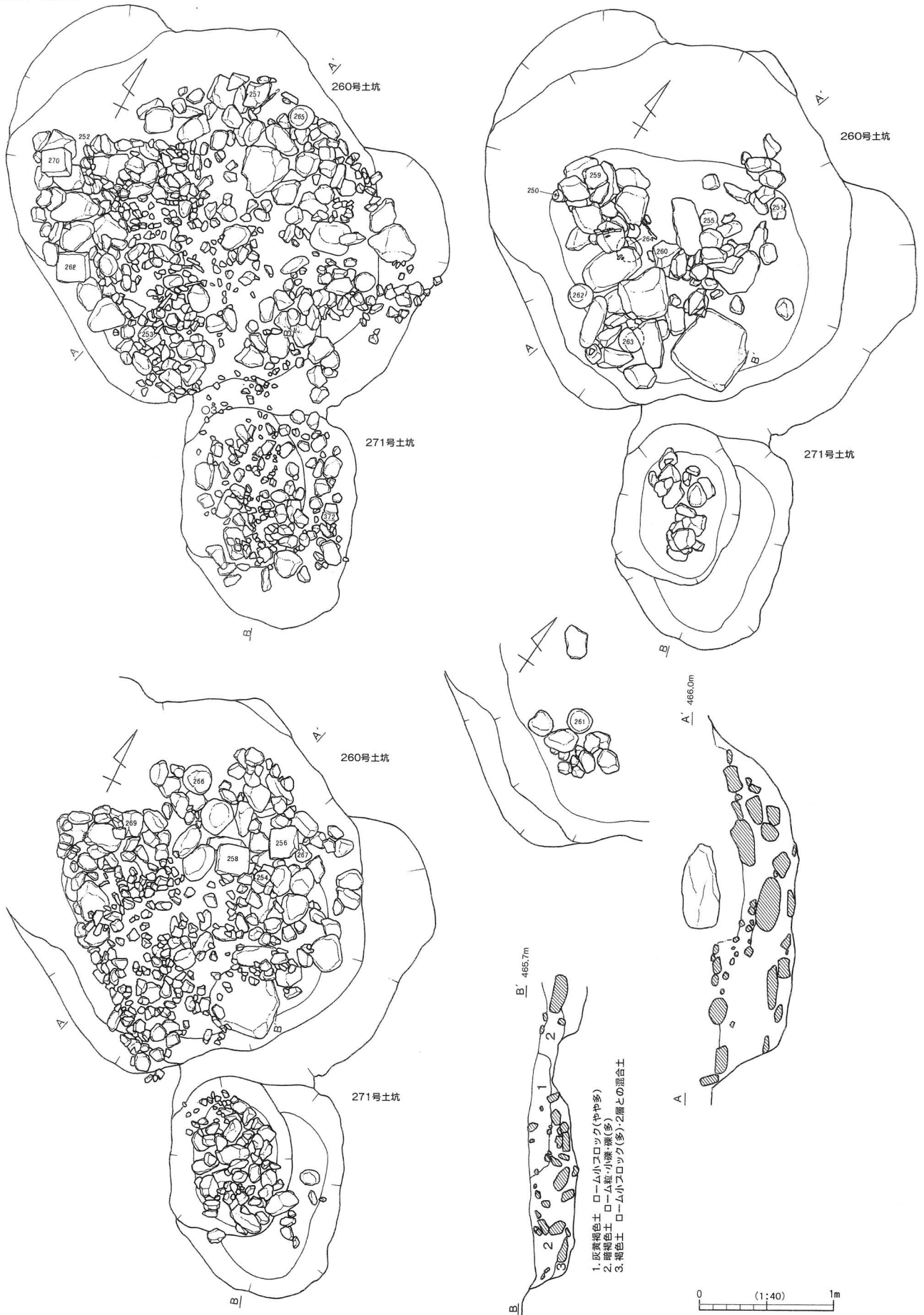


写真18 方形集石(南西から)



第64図 方形集石下層土坑 遺構(1)





第65図 方形集石下層土坑 遺構(2)

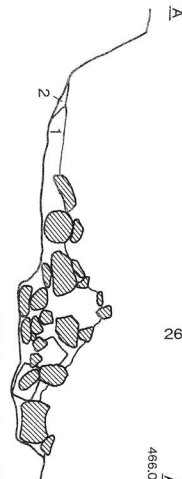
262号土坑



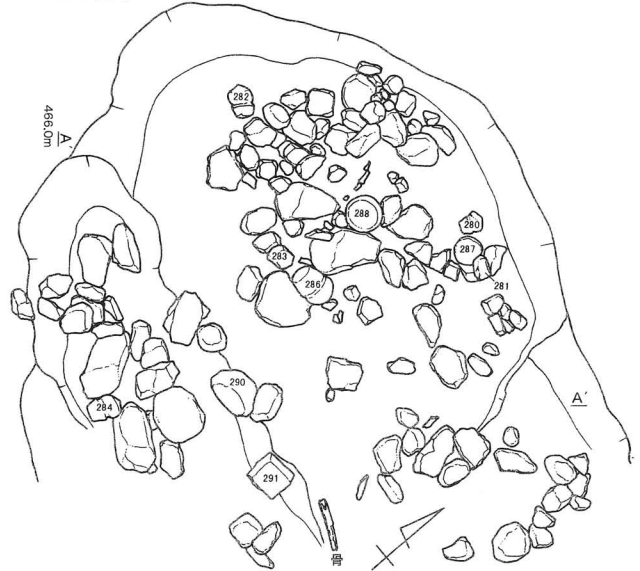
262号土坑



1. 暗褐色土 □—△瓶(多)  
2. 褐色土 □—△瓶(多)



263号土坑



465.0m

A

A'

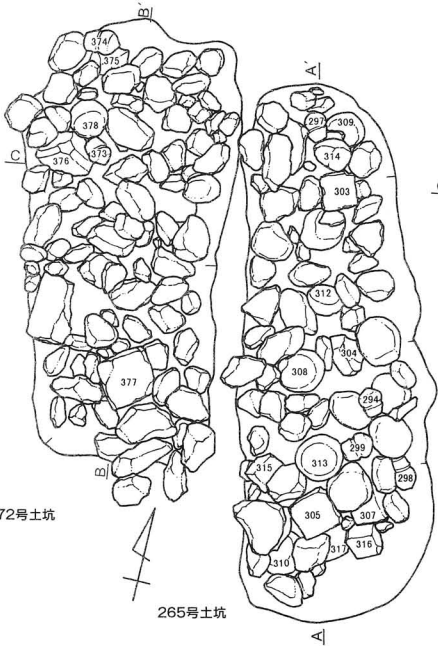
骨

A

A' 465.5m



265-272号土坑



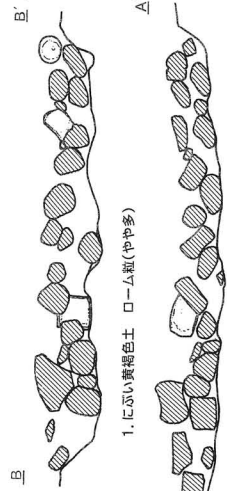
272号土坑

265号土坑



B' 465.4m

A' 465.4m



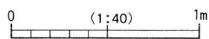
1. 濃い黄褐色土 □—△瓶(中や多)

B

A

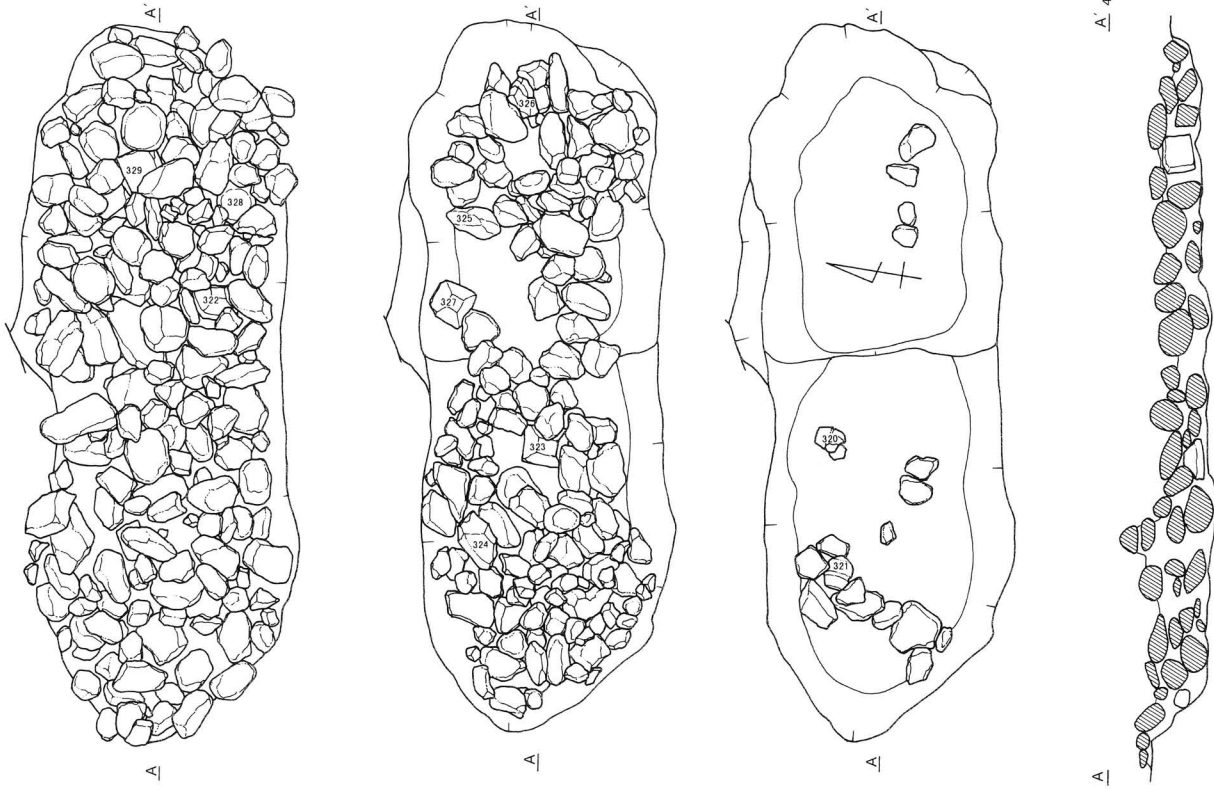
C

C' 465.4m

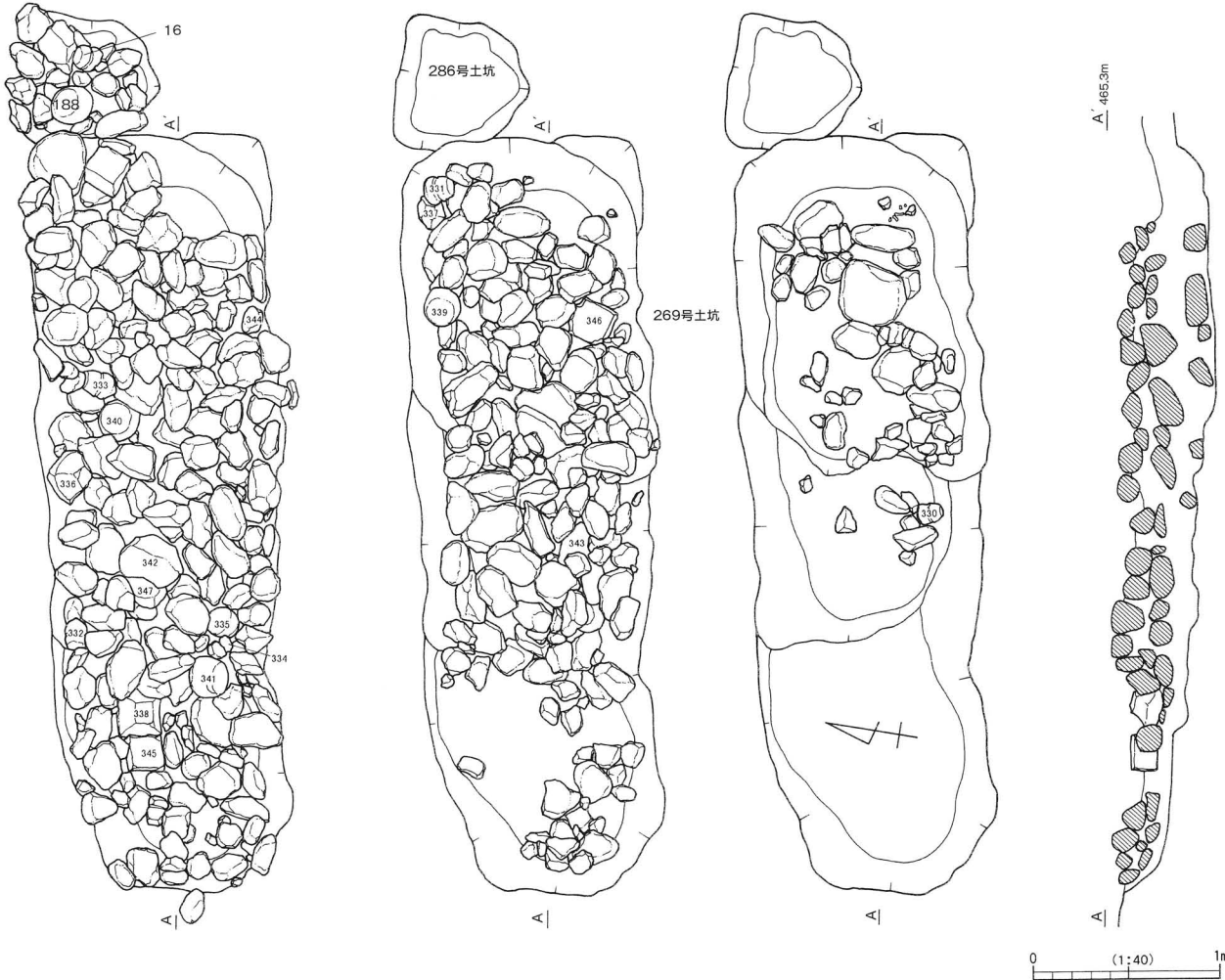


第66図 方形集石下層土坑 遺構(3)

268号土坑

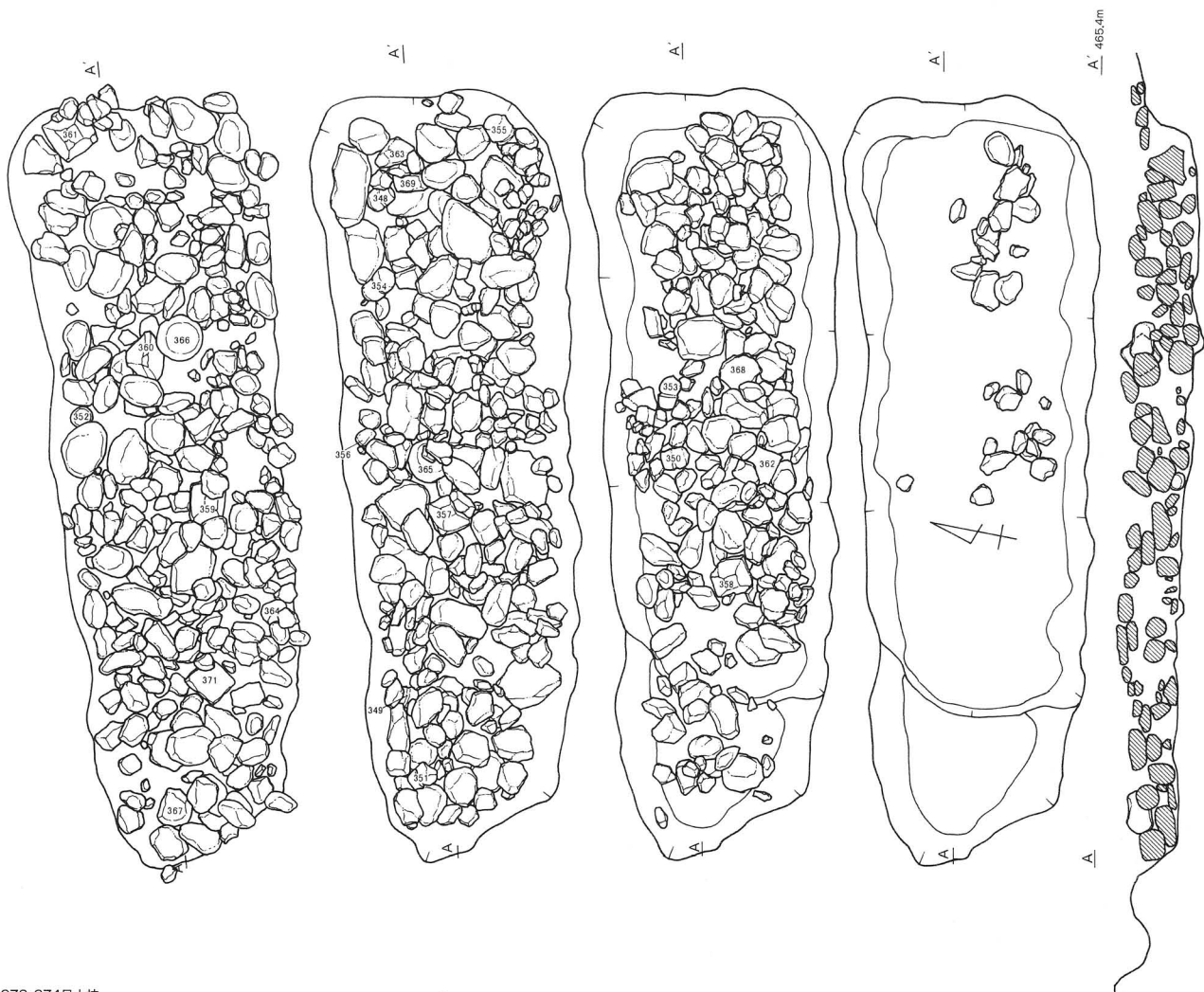


269・286号土坑

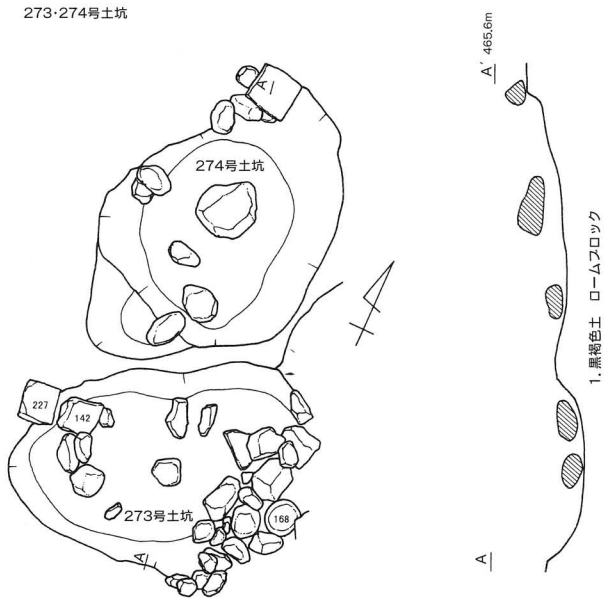


第67图 方形集石下層土坑 遺構(4)

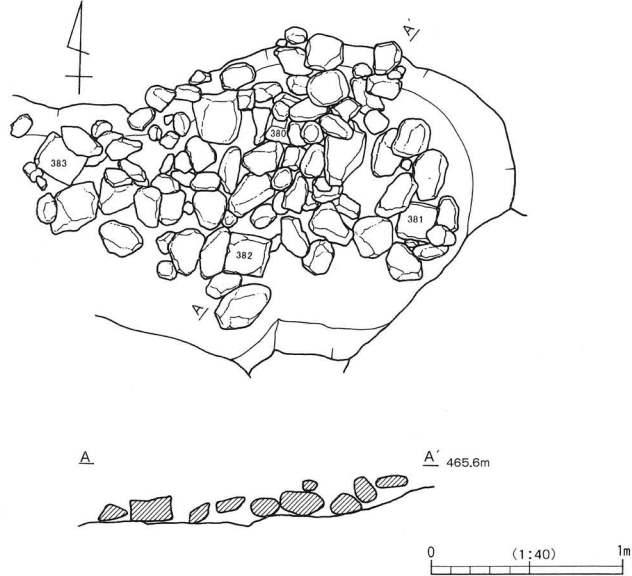
270号土坑



273・274号土坑

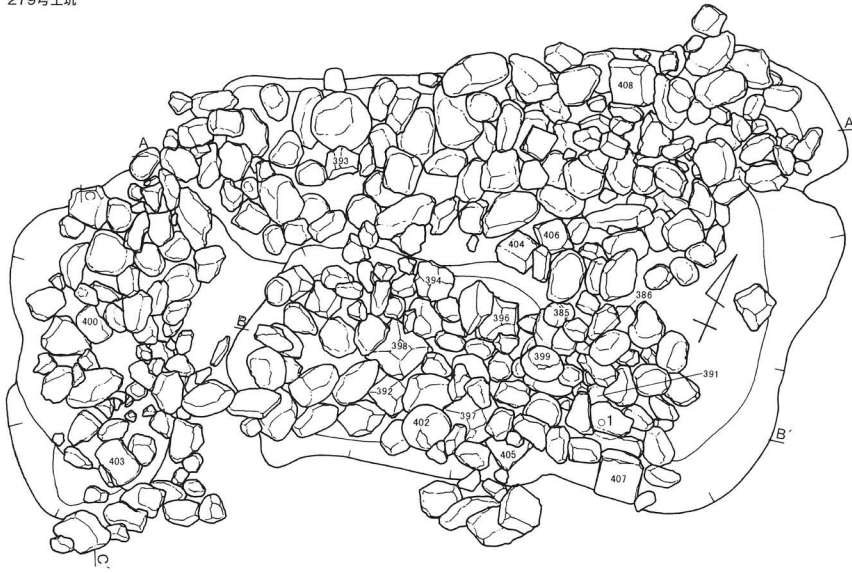


275号土坑

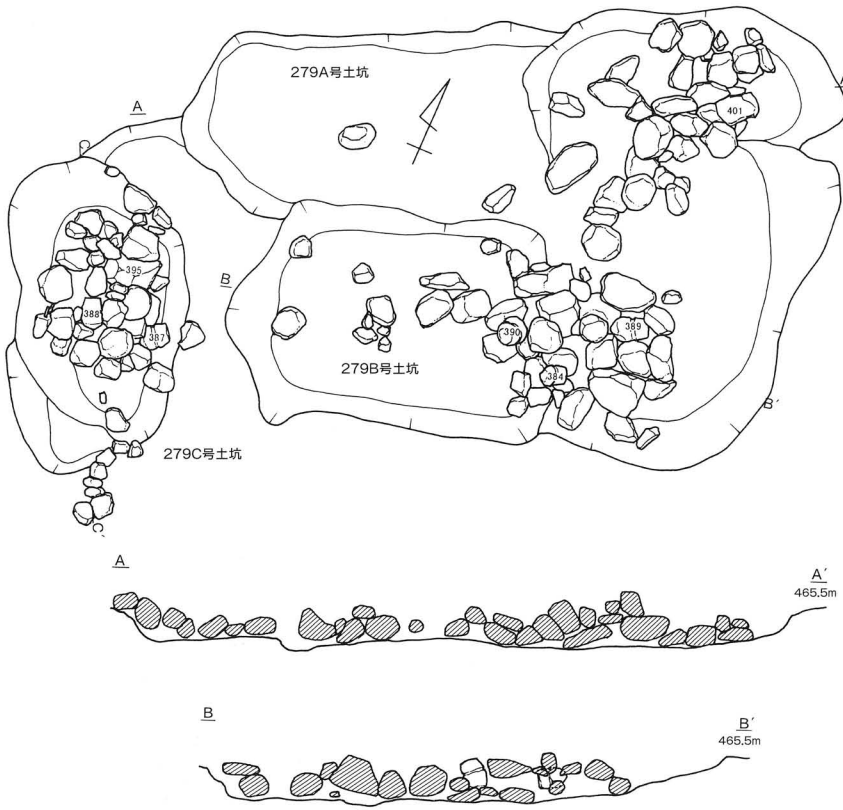
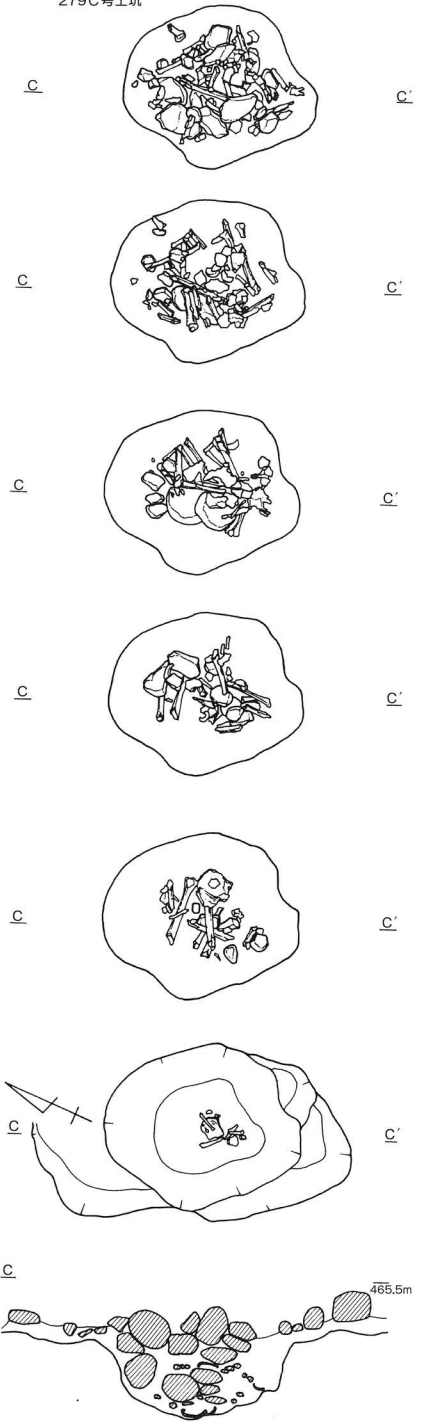


第68図 方形集石下層土坑 遺構(5)

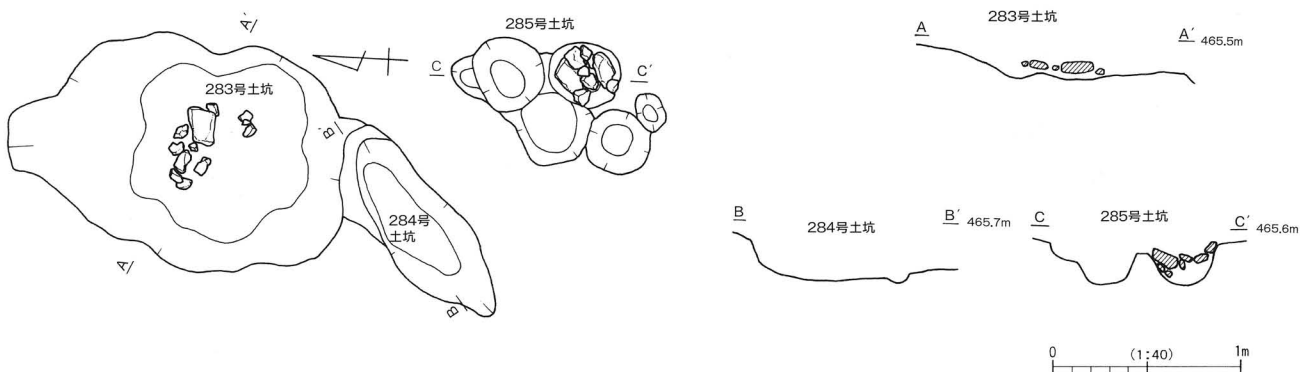
279号土坑



279C号土坑



283·284·285号土坑

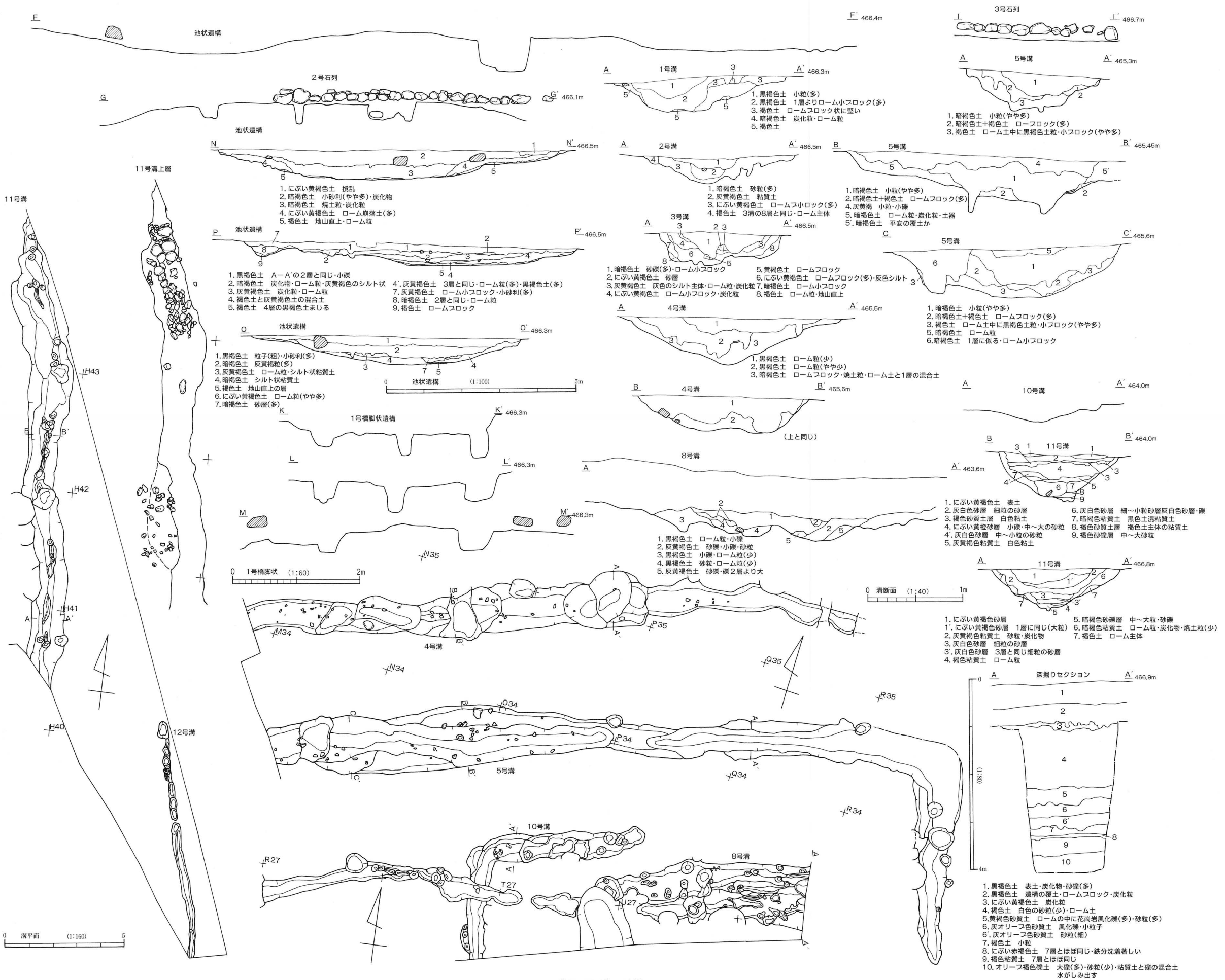


第69图 方形集石下層土坑 遺構(6)



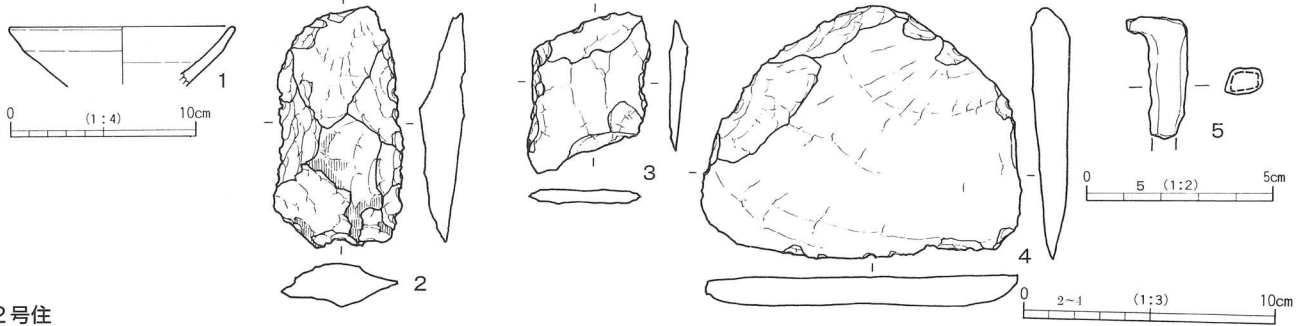
第70図 方形周溝遺構



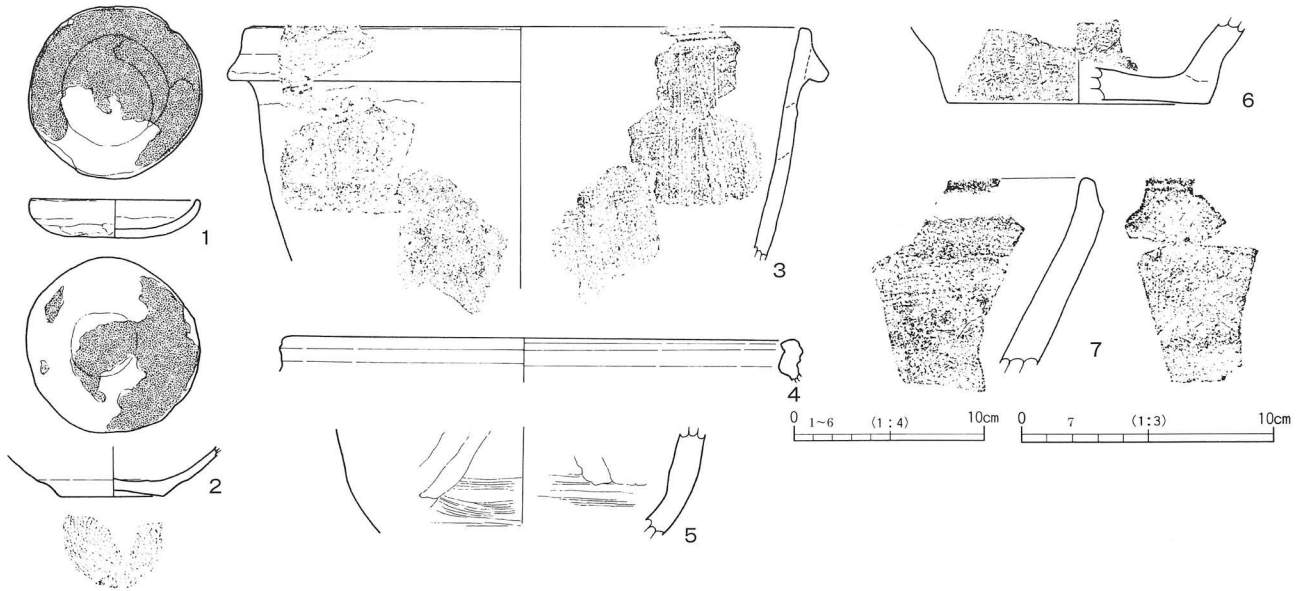


第71図 溝 遺構  
 -119・120-

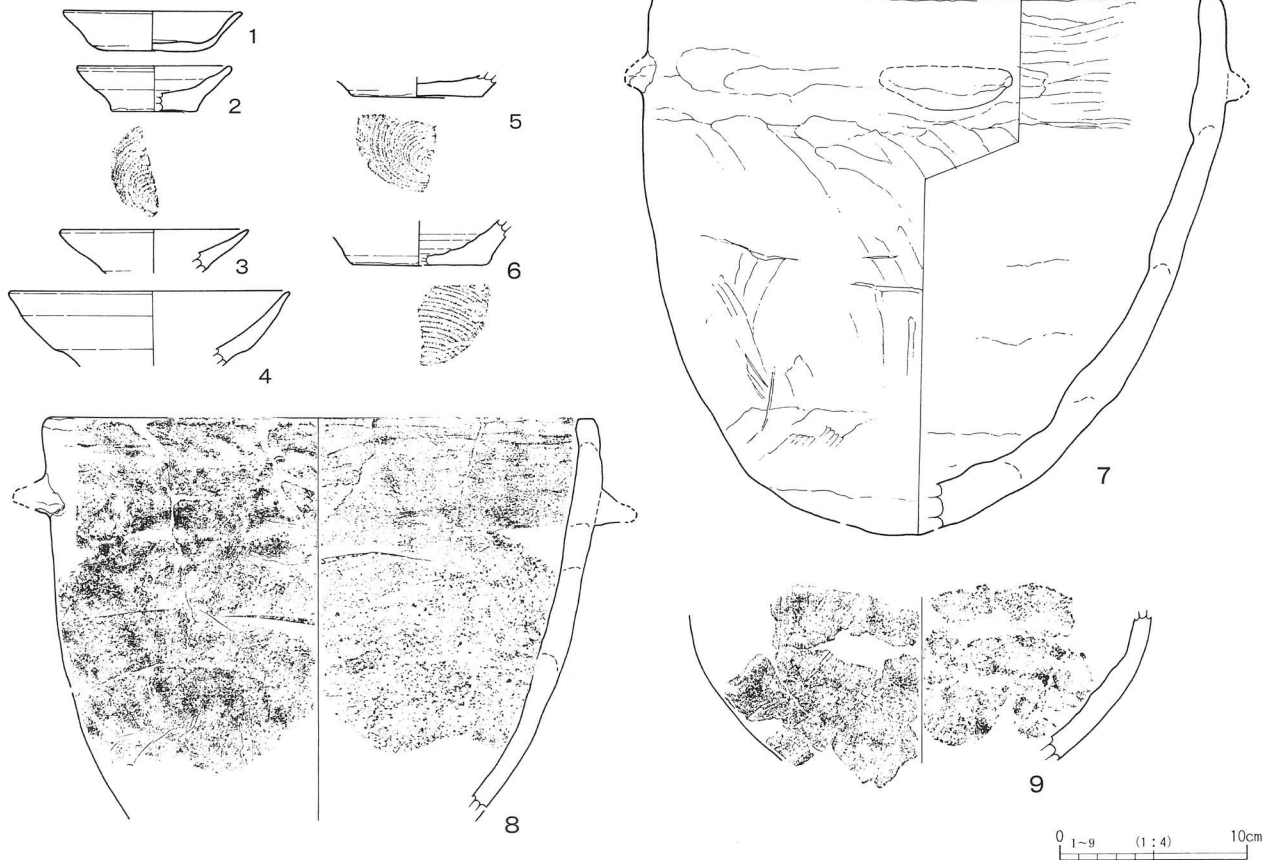
1号住



2号住

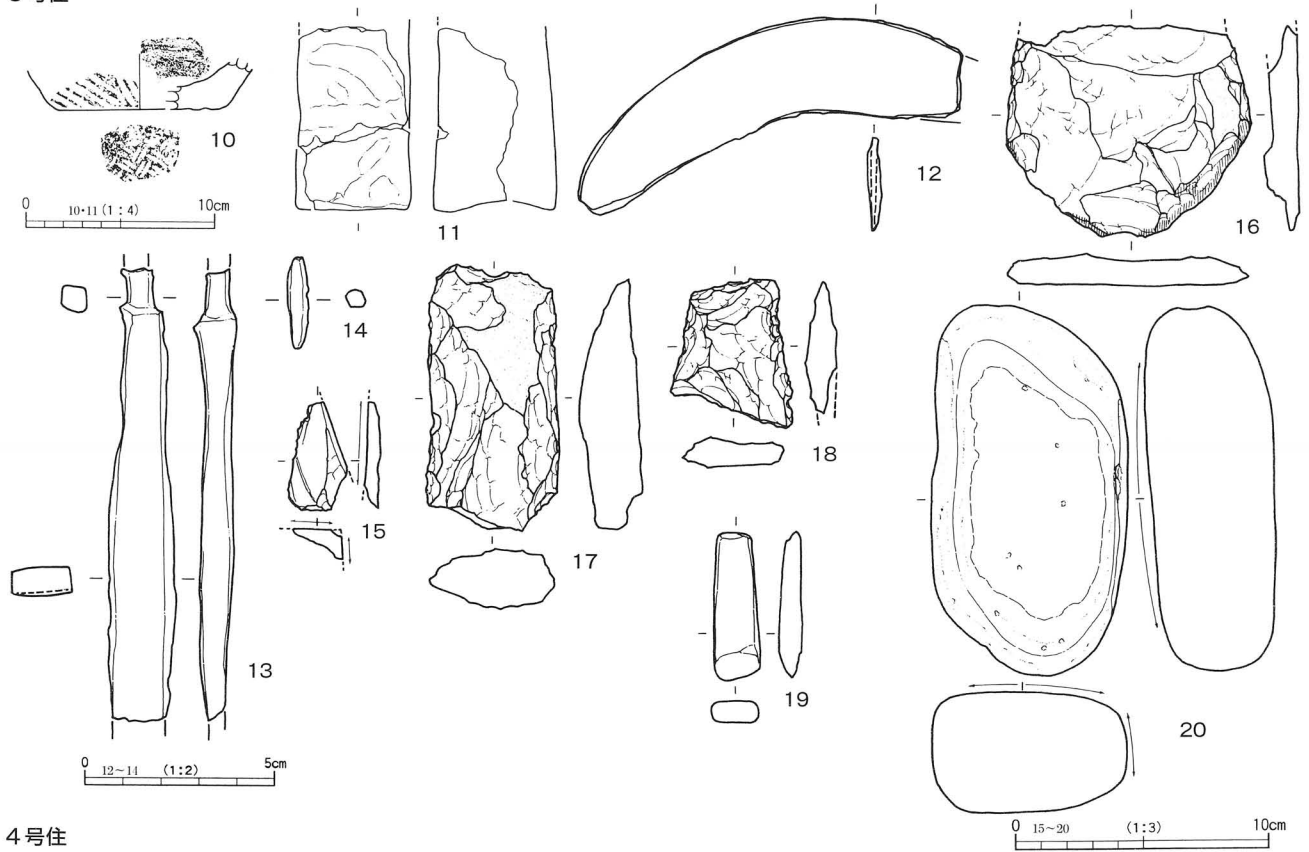


3号住



第72図 1~3号住 遺物

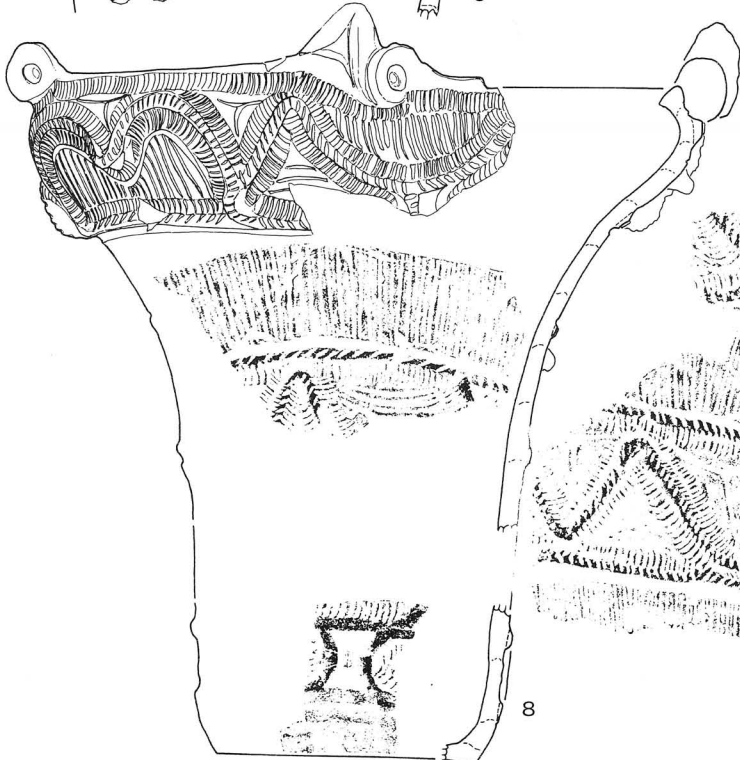
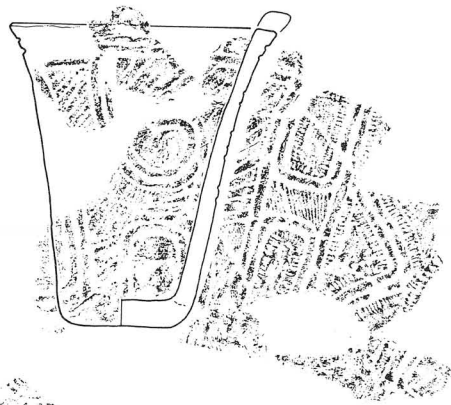
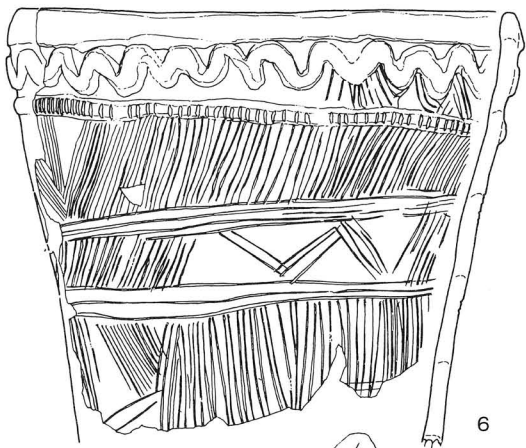
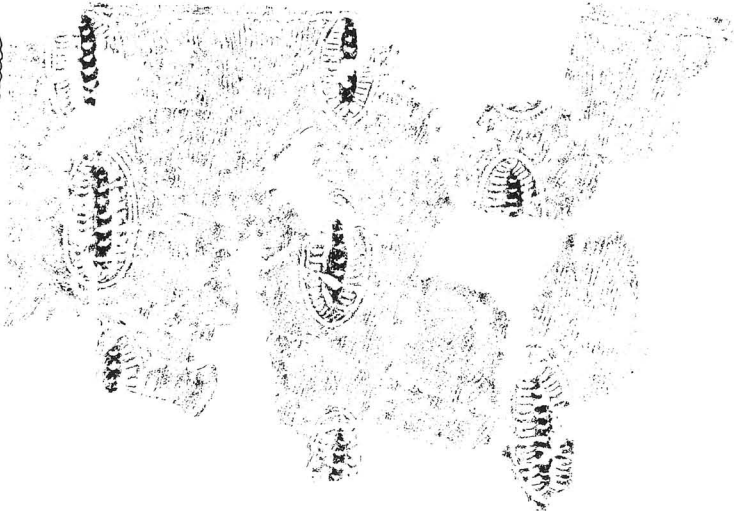
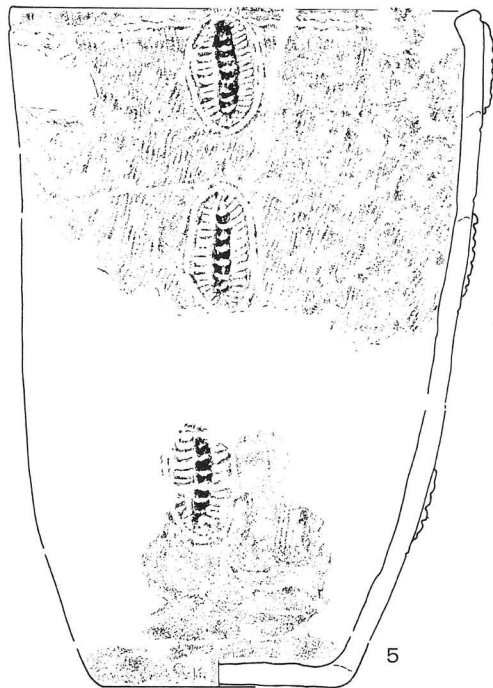
3号住



4号住

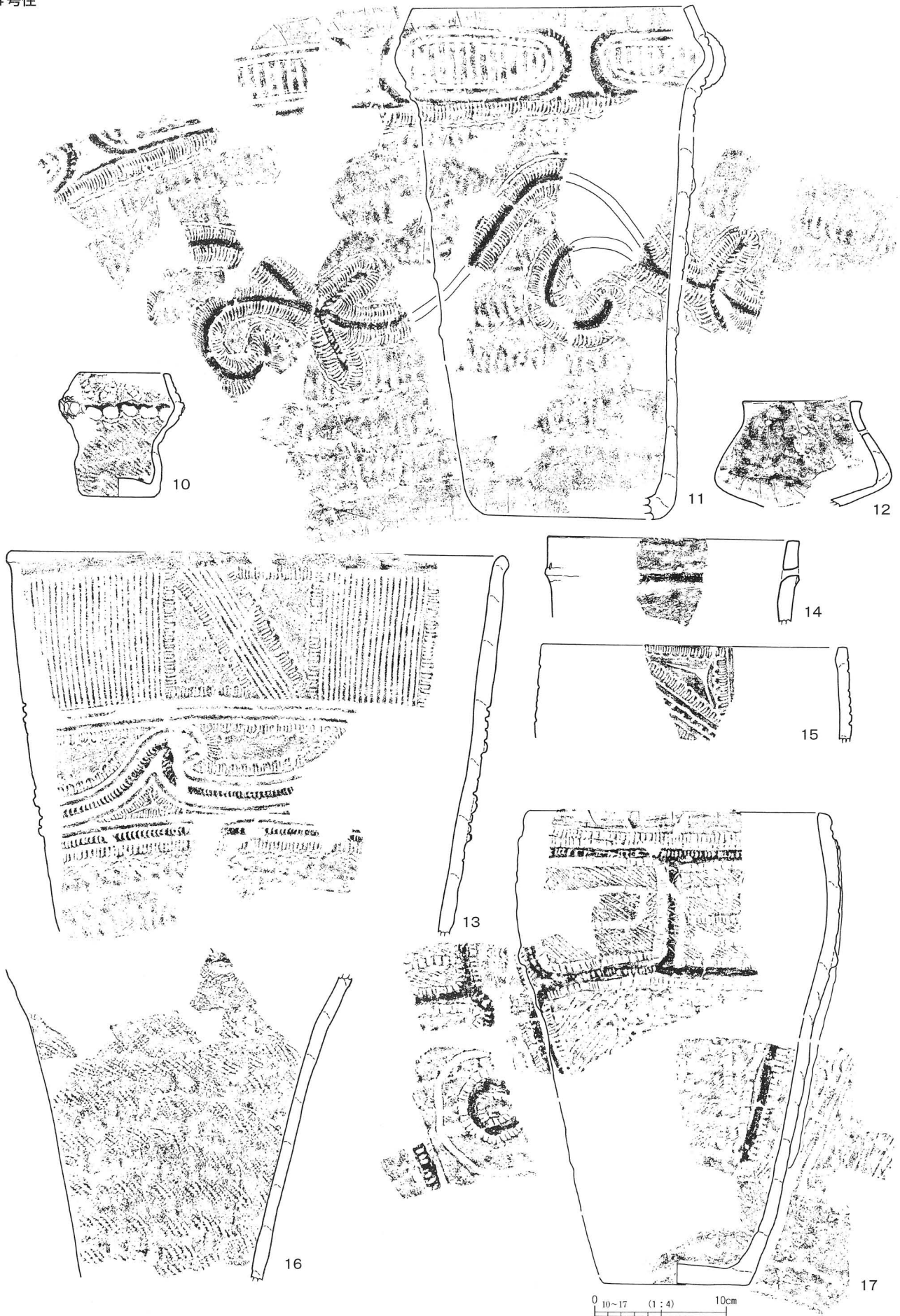


第73图 3·4号住 遺物



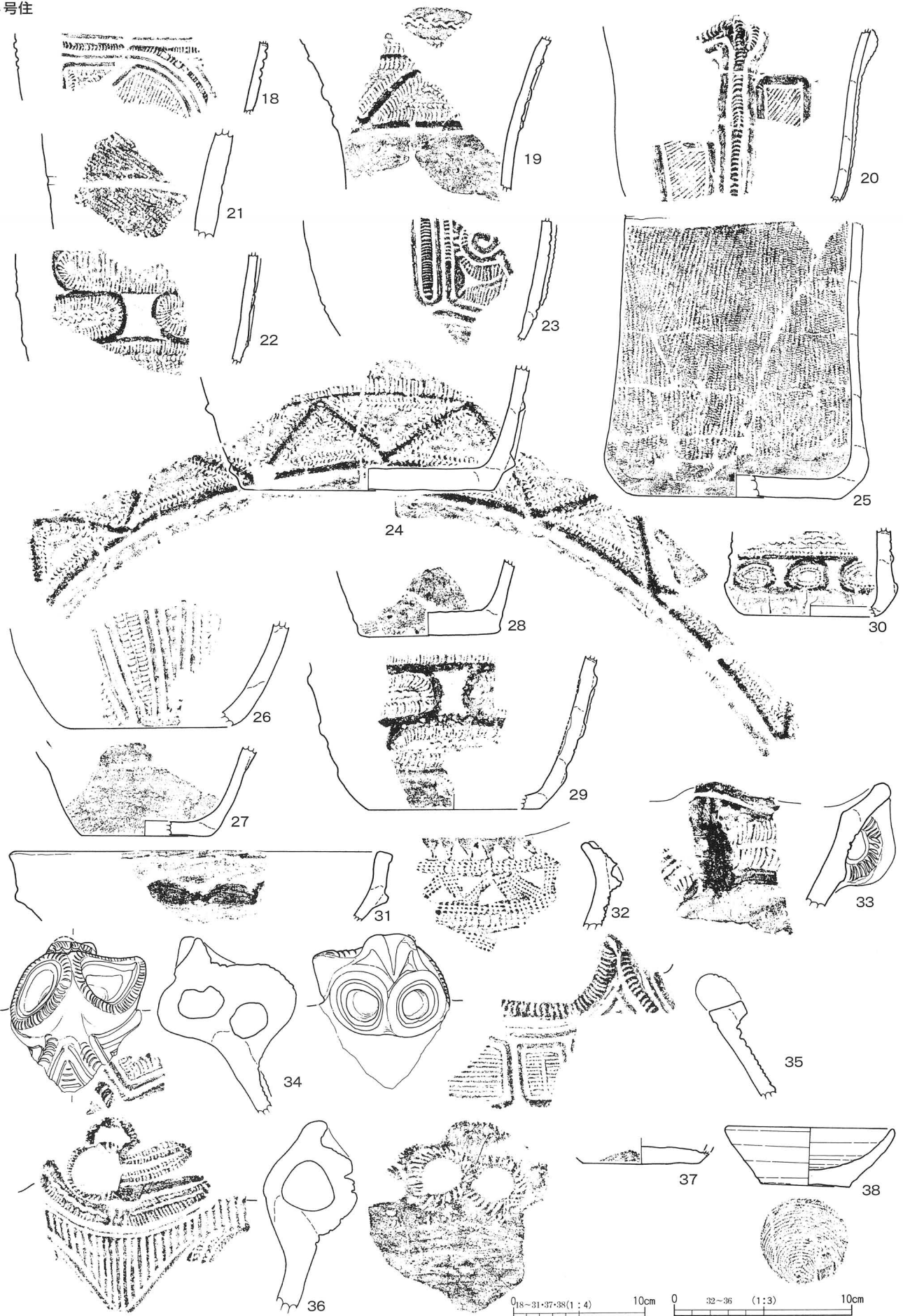
0 5-9 (1:4) 10cm

第74图 4号住 遺物



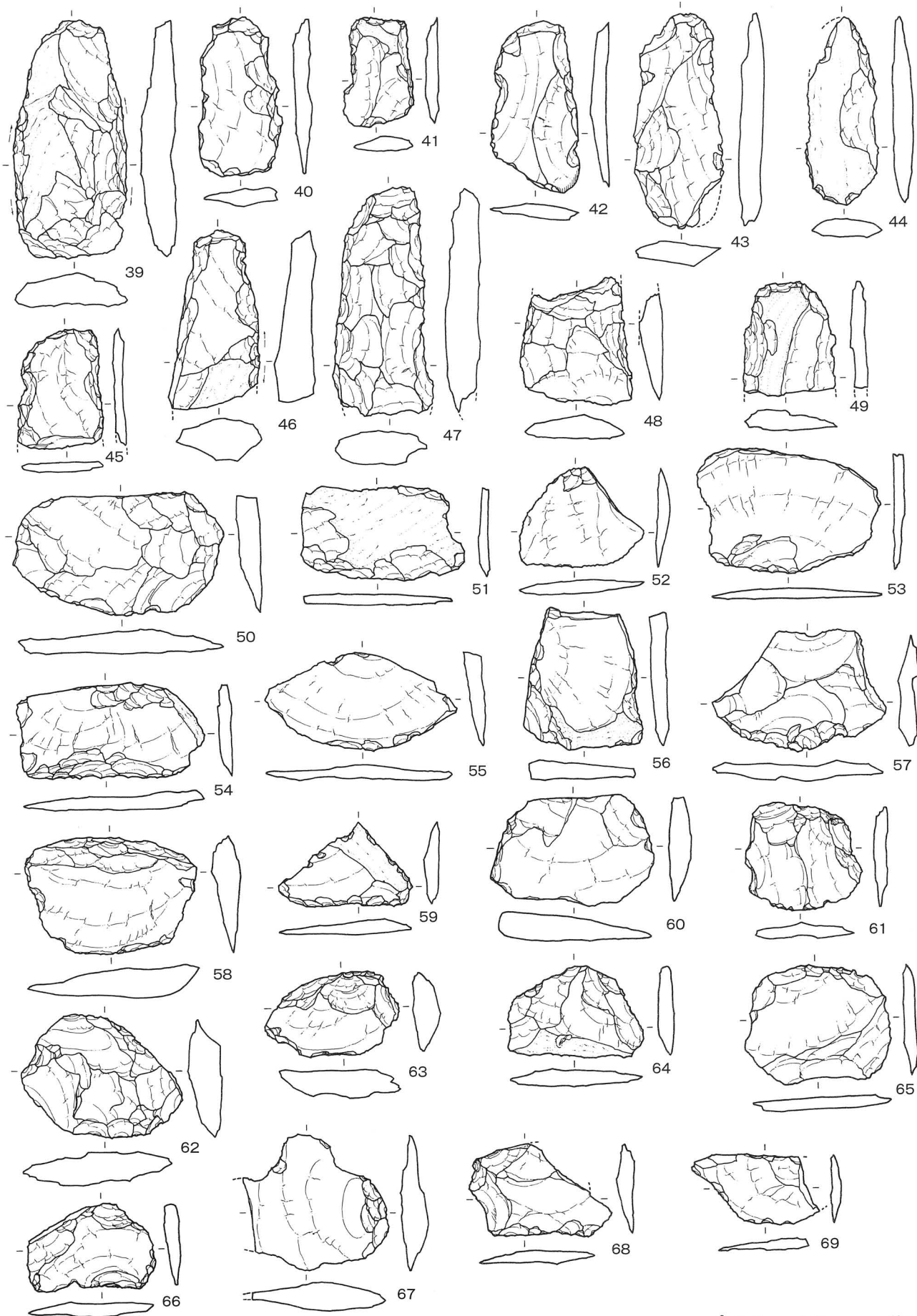
第75図 4号住 遺物





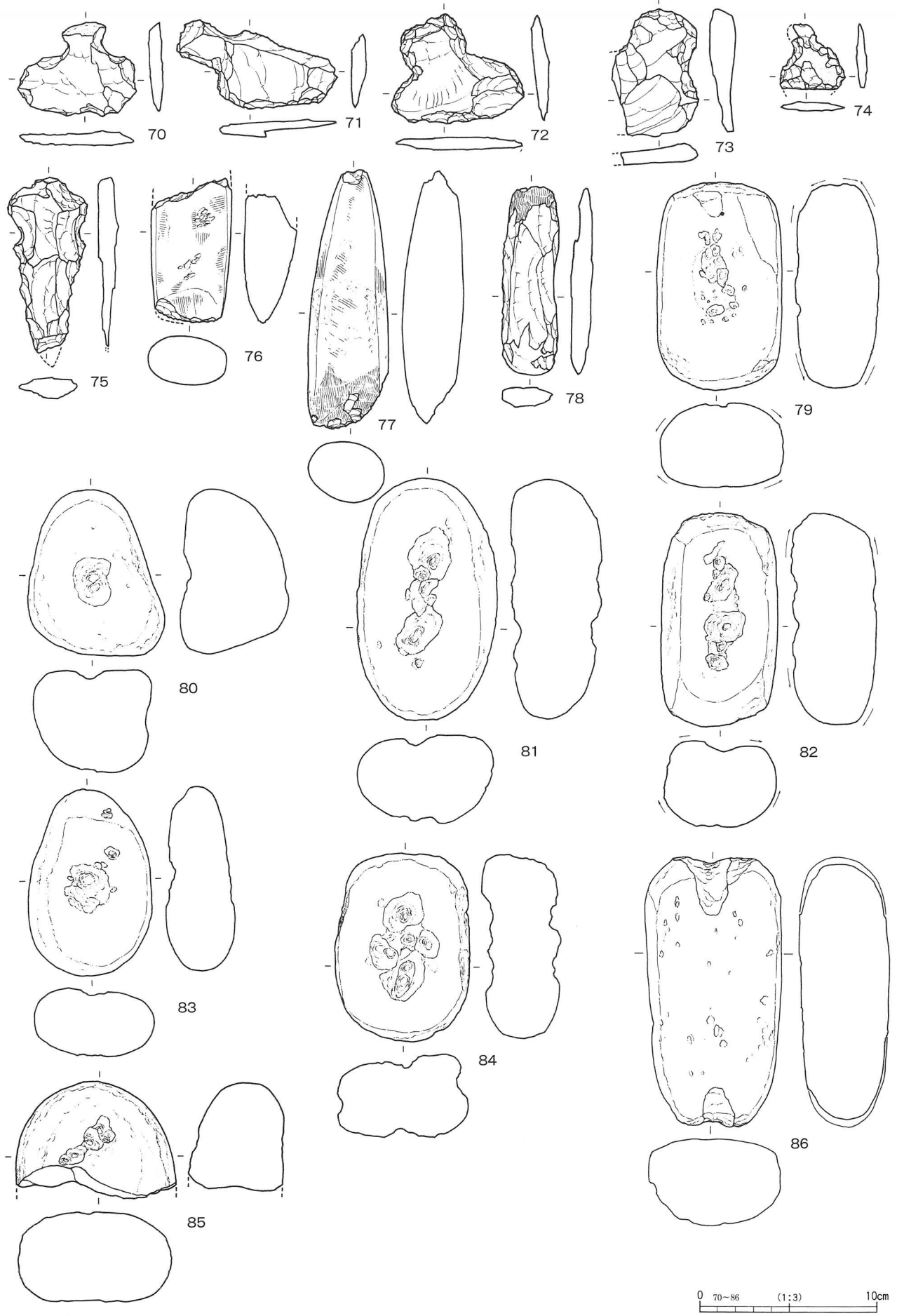
第76图 4号住 遺物





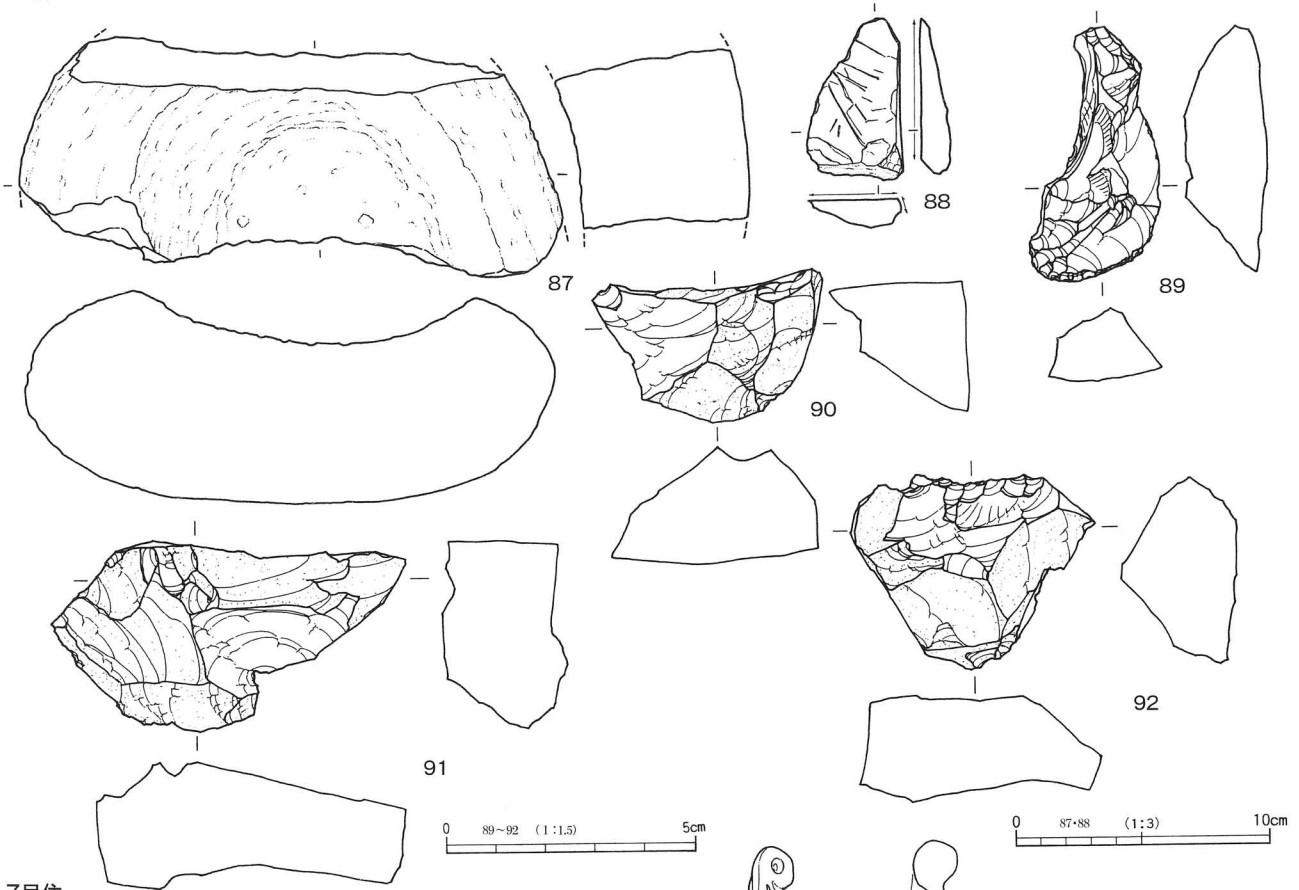
第77图 4号住 遺物

4号住

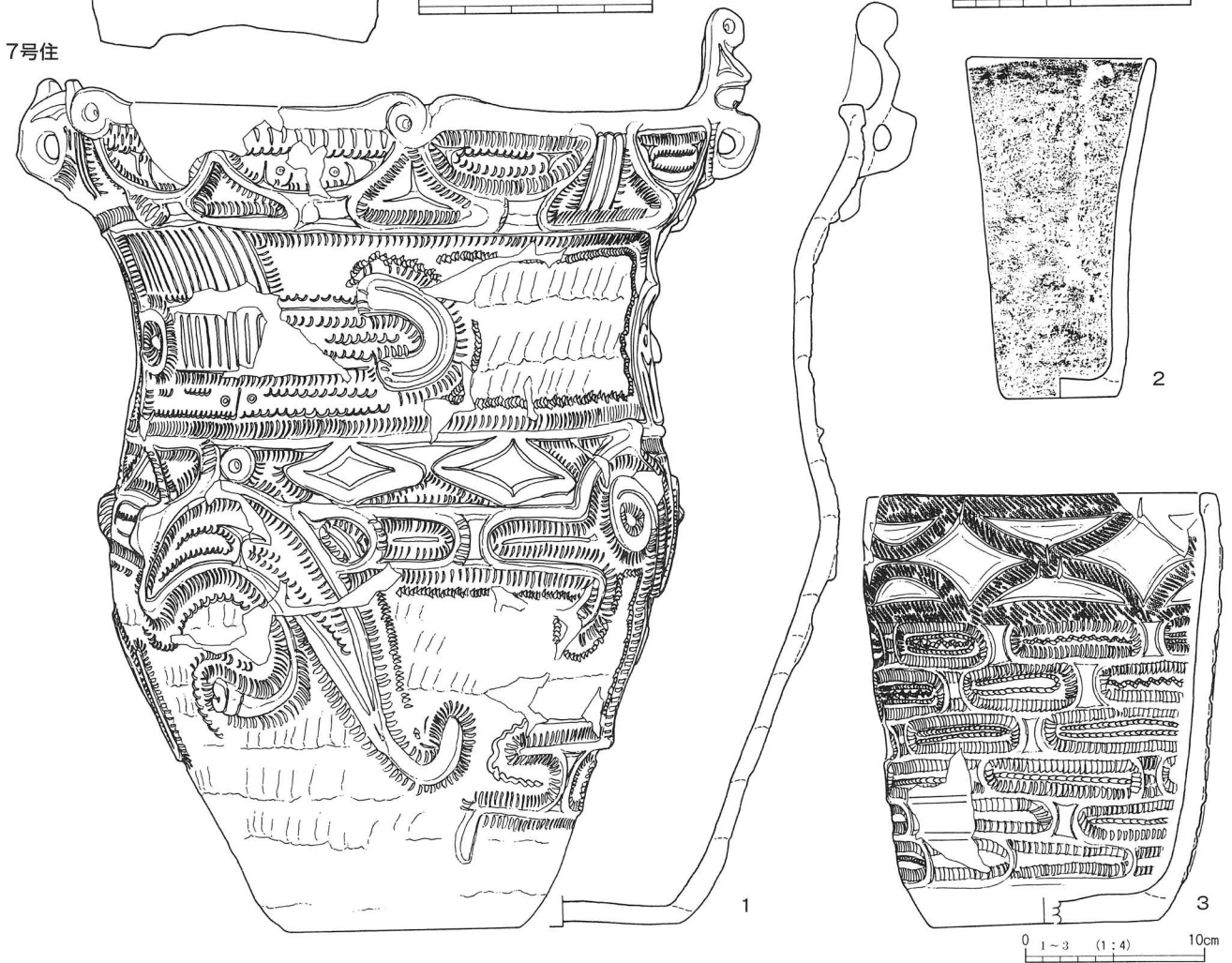


第78图 4号住 遺物

4号住



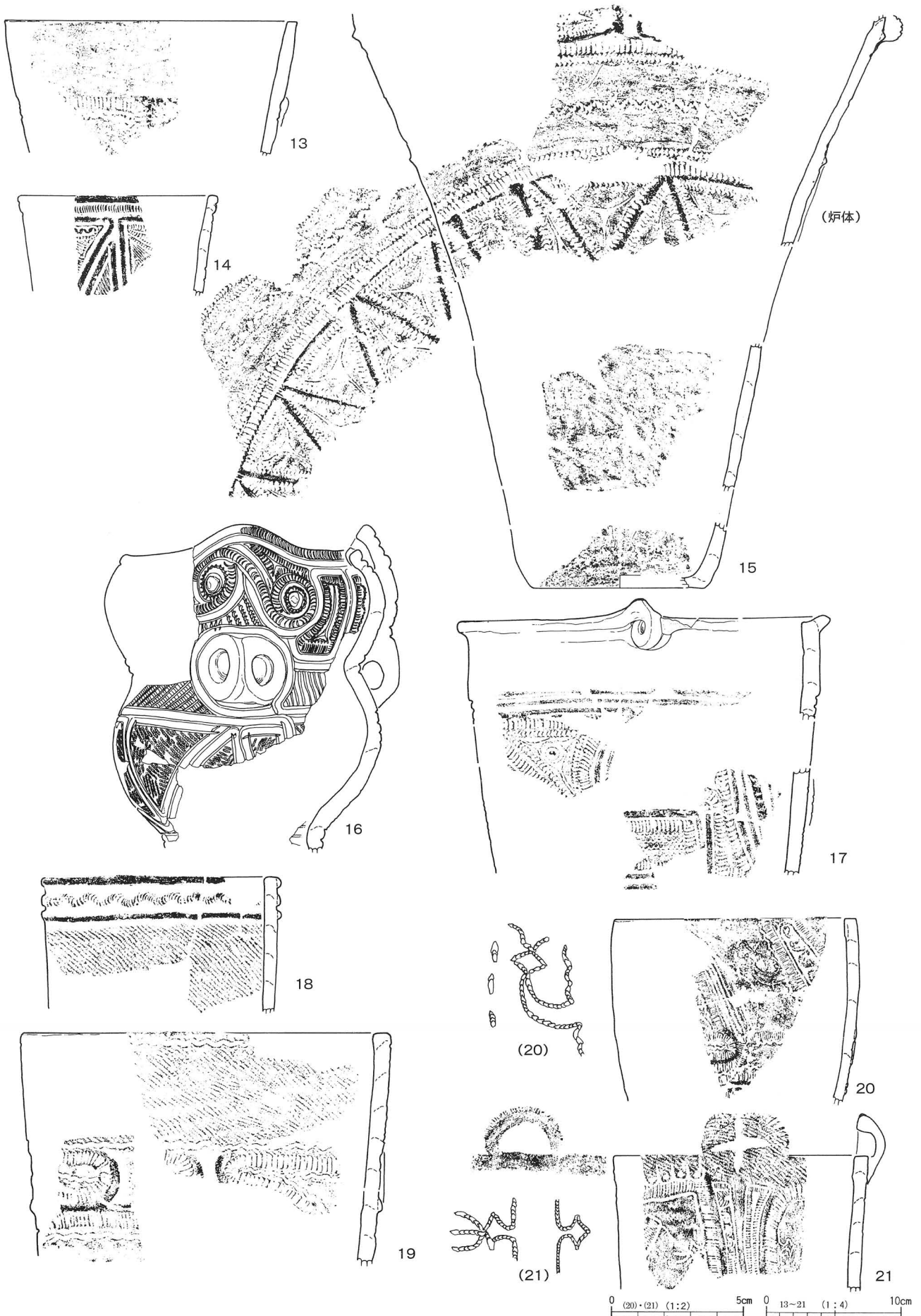
7号住



第79图 4·7号住 遺物

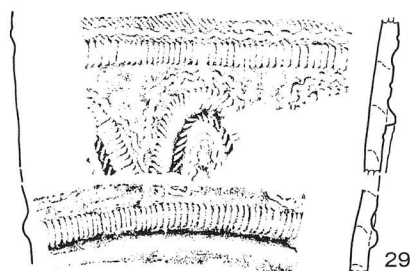
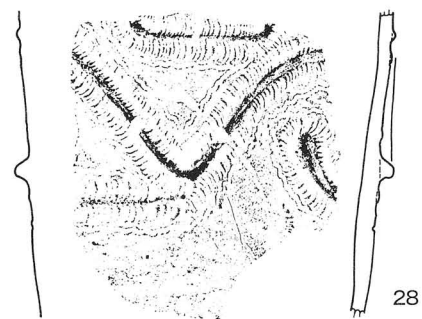
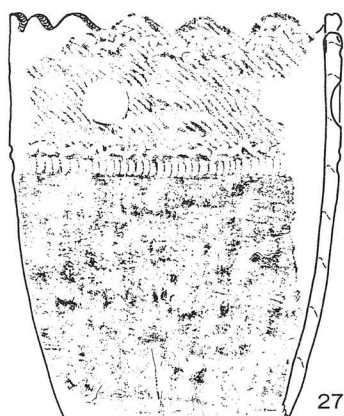
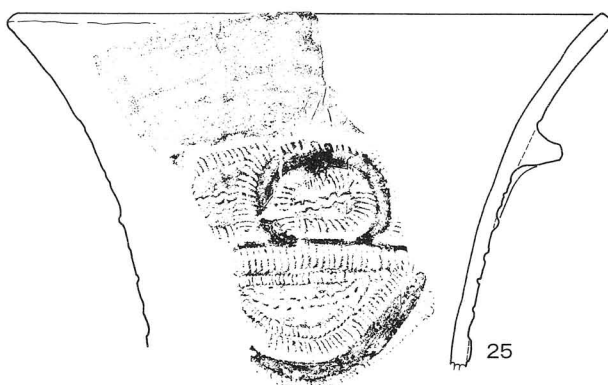


第80图 7号住 遗物



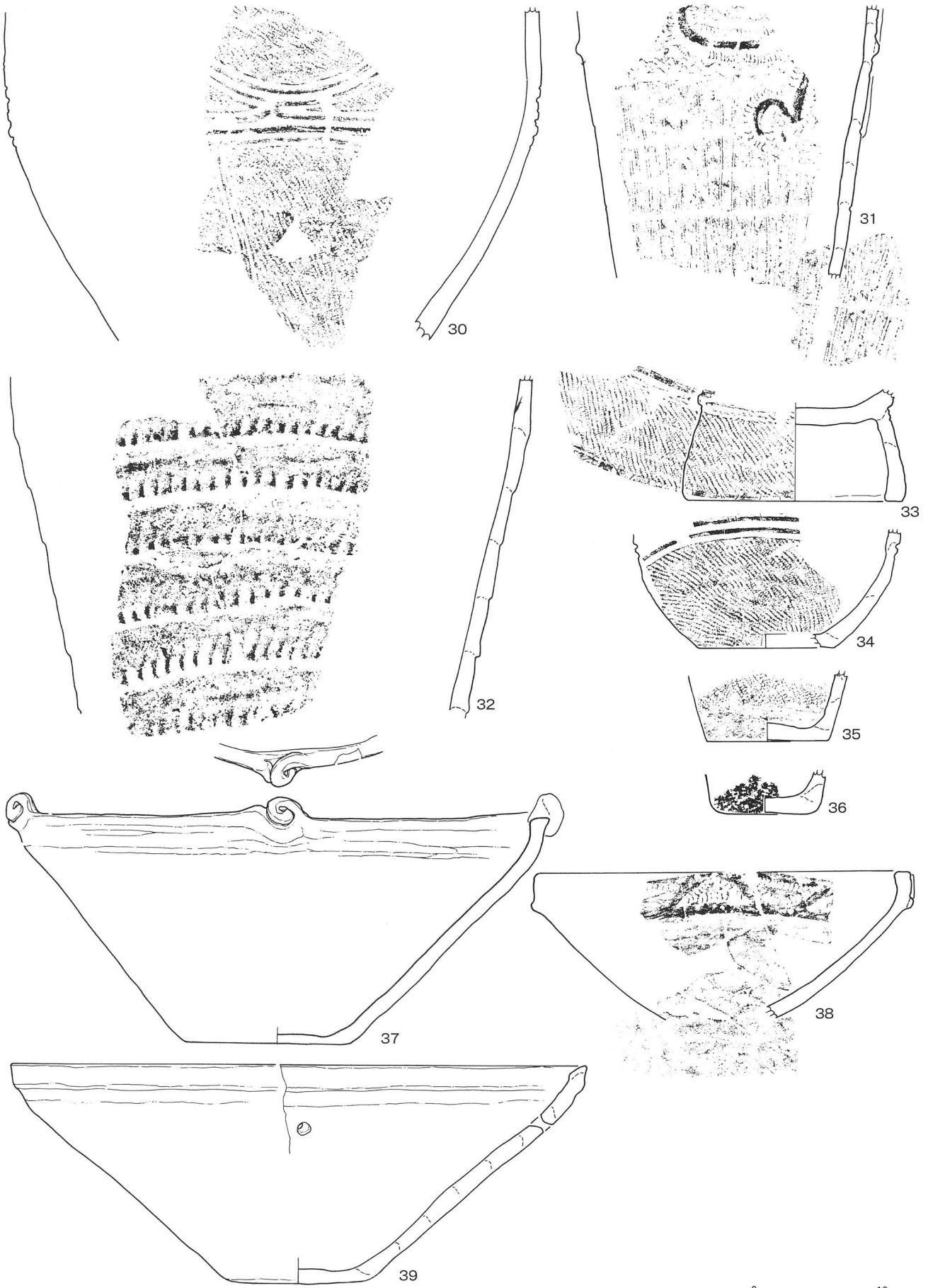
第81图 7号住 遺物





0 22~29 (1:4) 10cm

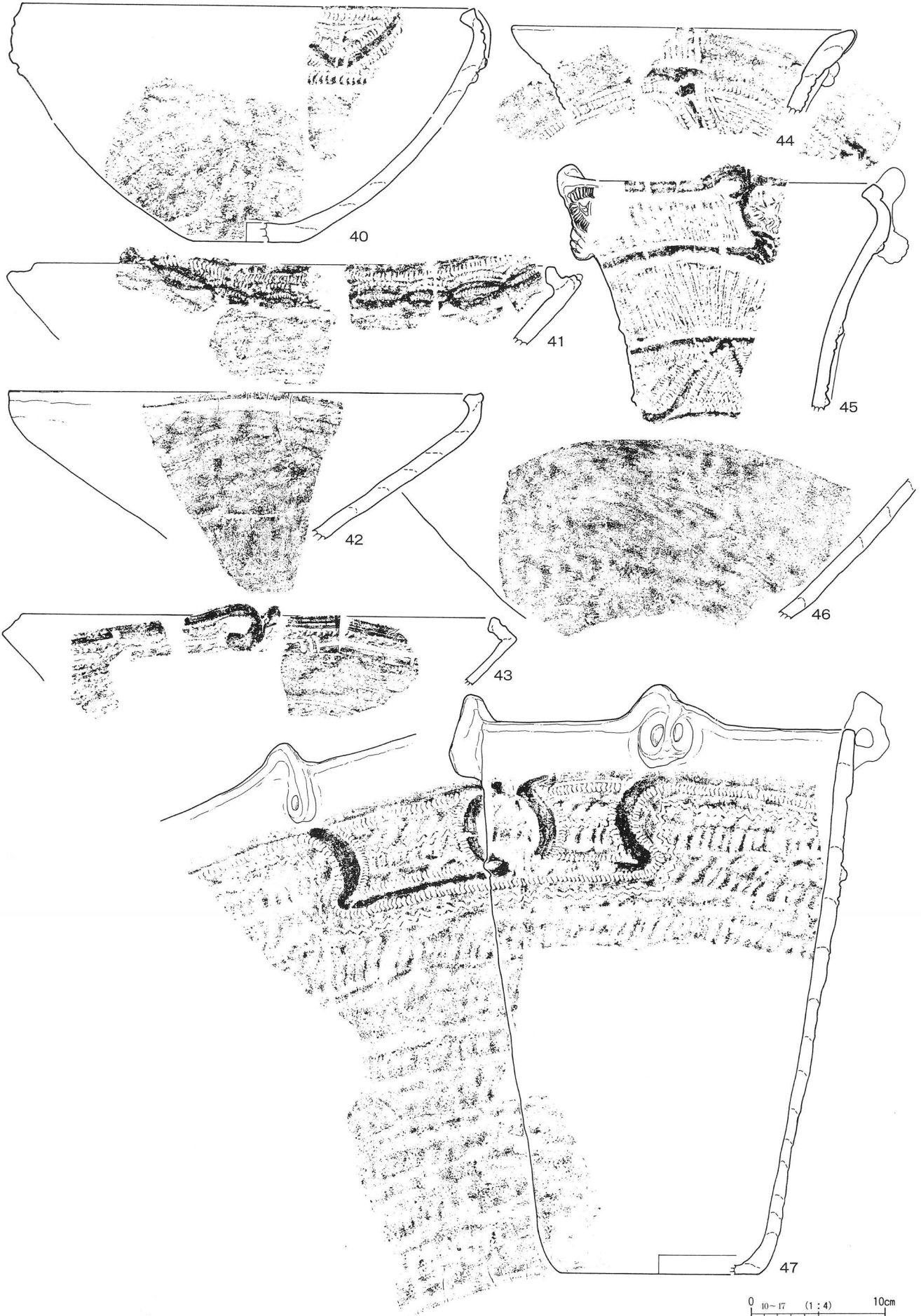
第82图 7号住 遺物



0 30~39 (1:4) 10cm

第83图 7号住 遺物

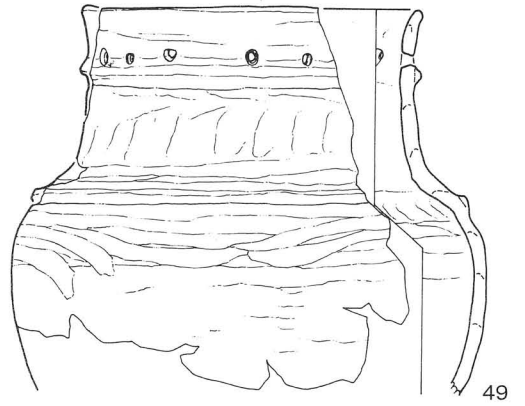
7号住



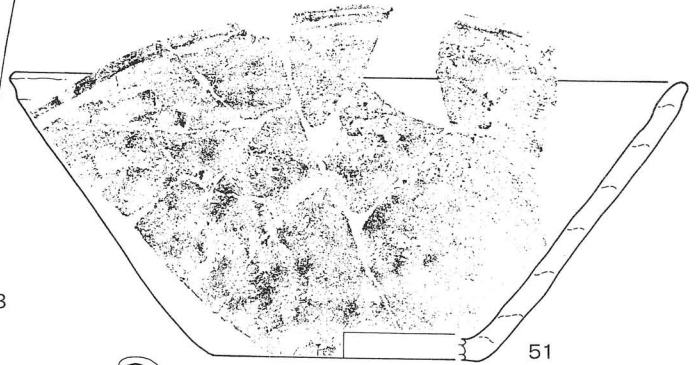
第84图 7号住 遺物



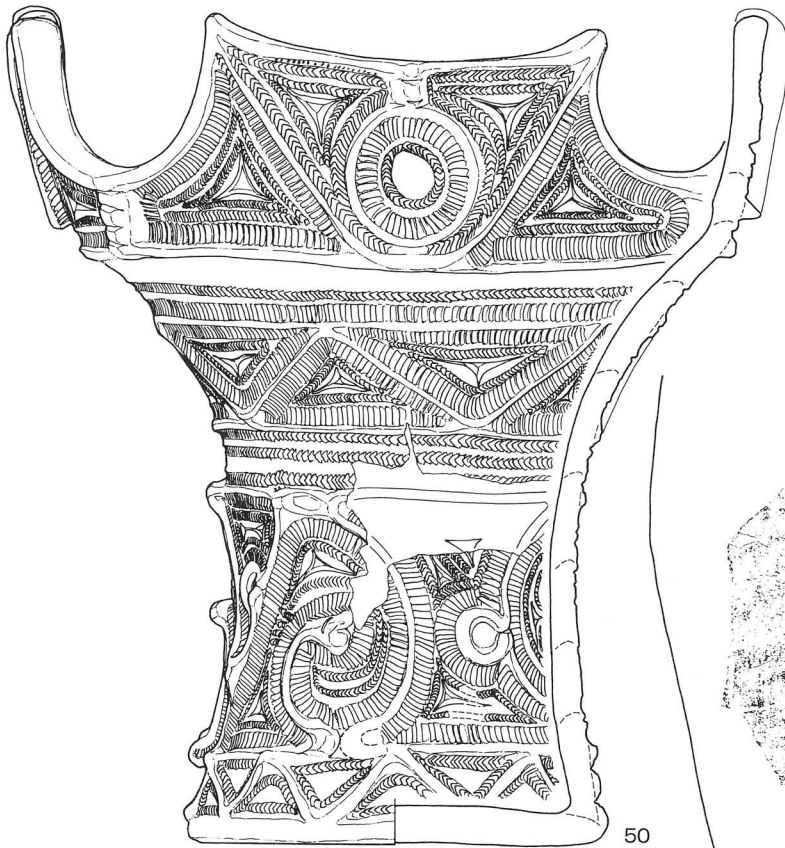
48



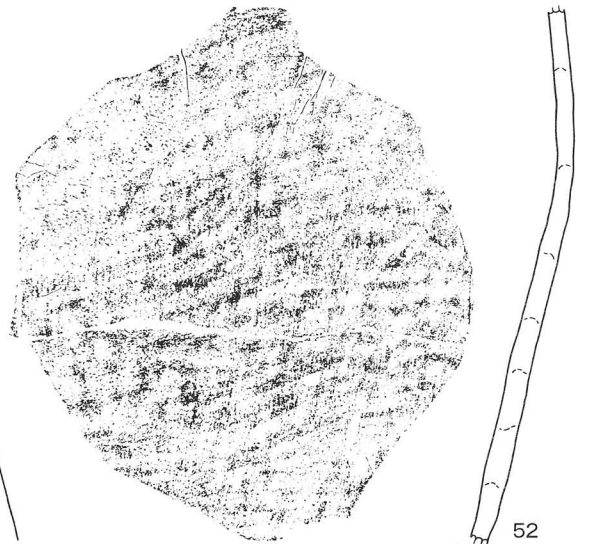
49



51



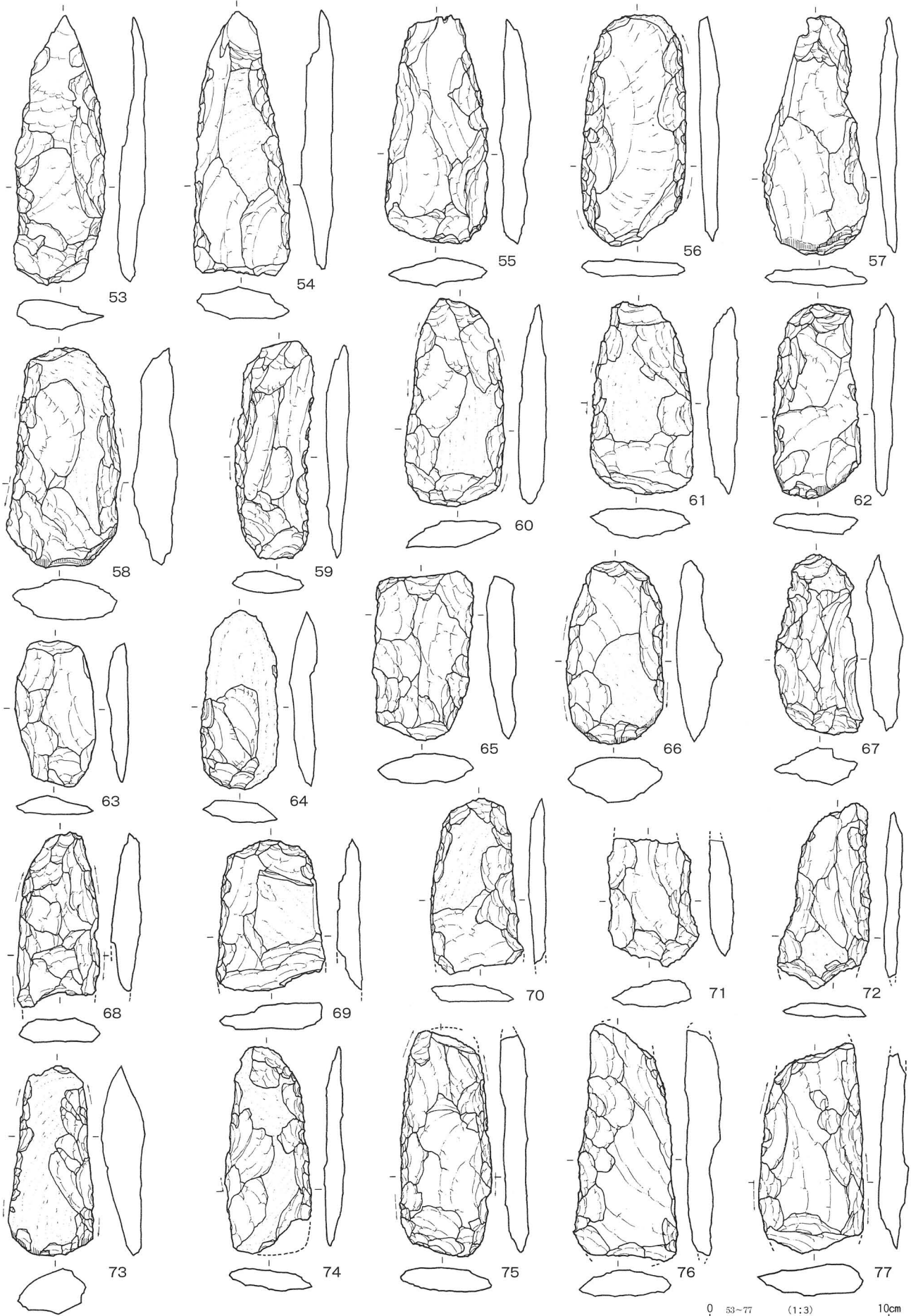
50



52

0 18-52 (1:4) 10cm

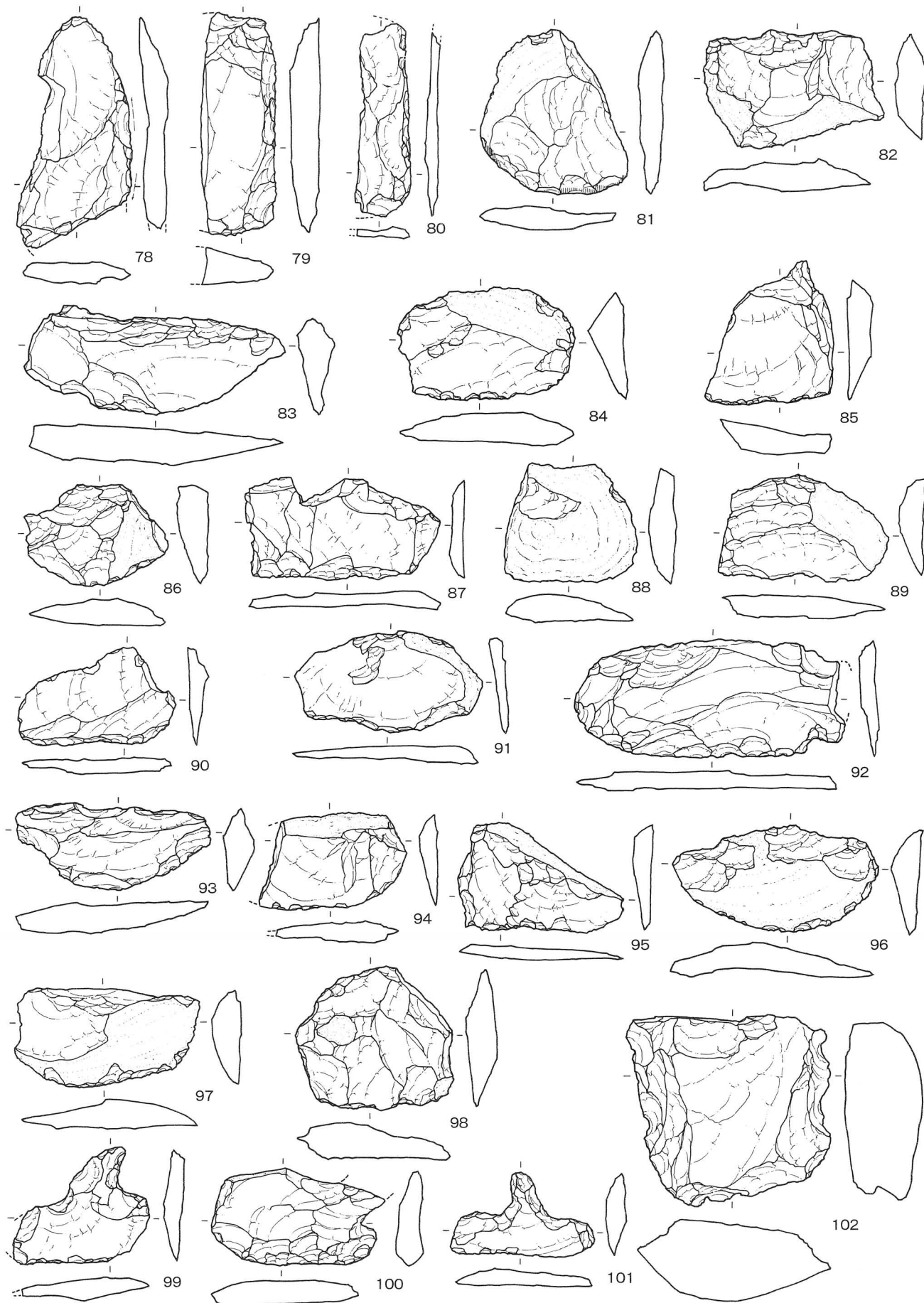
第85图 7号住 遺物



第86图 7号住 遺物



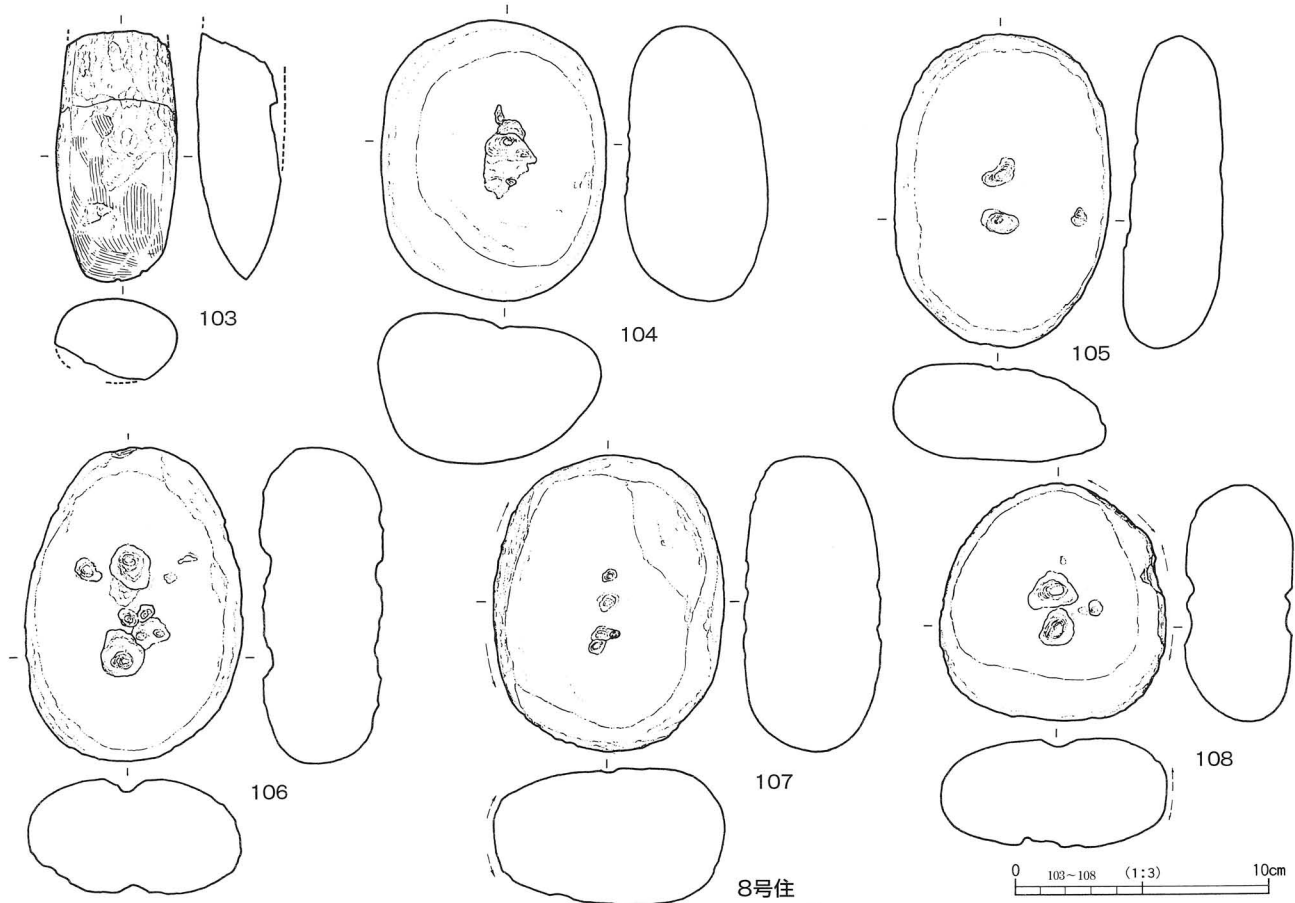
7号住



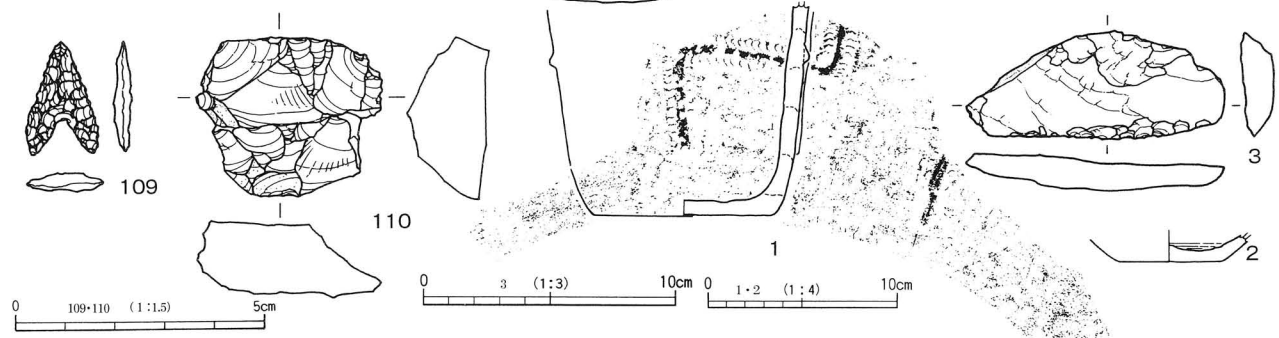
0 78-102 (1:3) 10cm

第87图 7号住 遺物

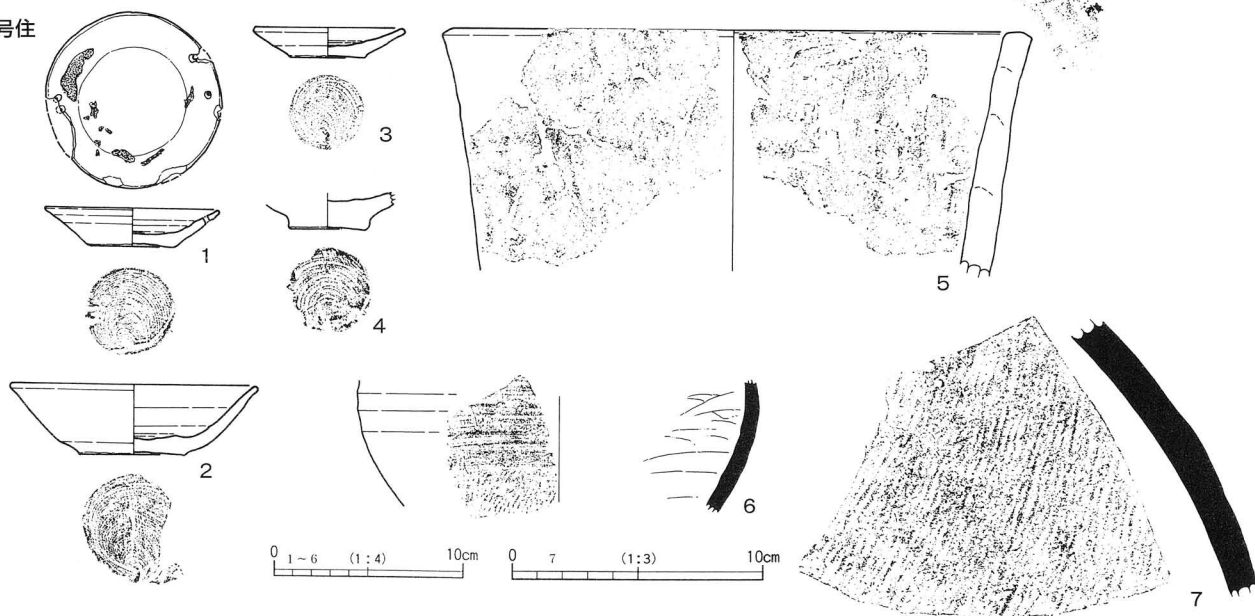
7号住



8号住

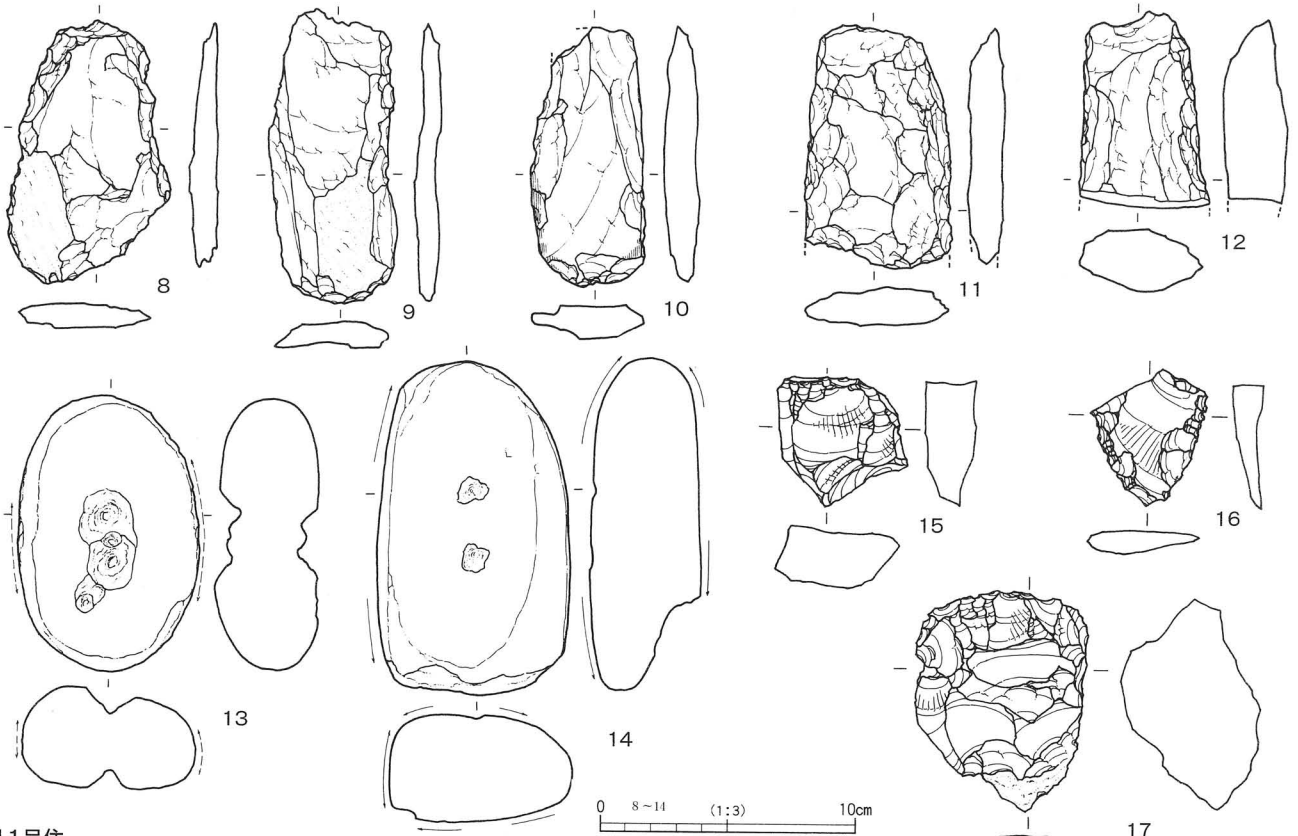


9号住

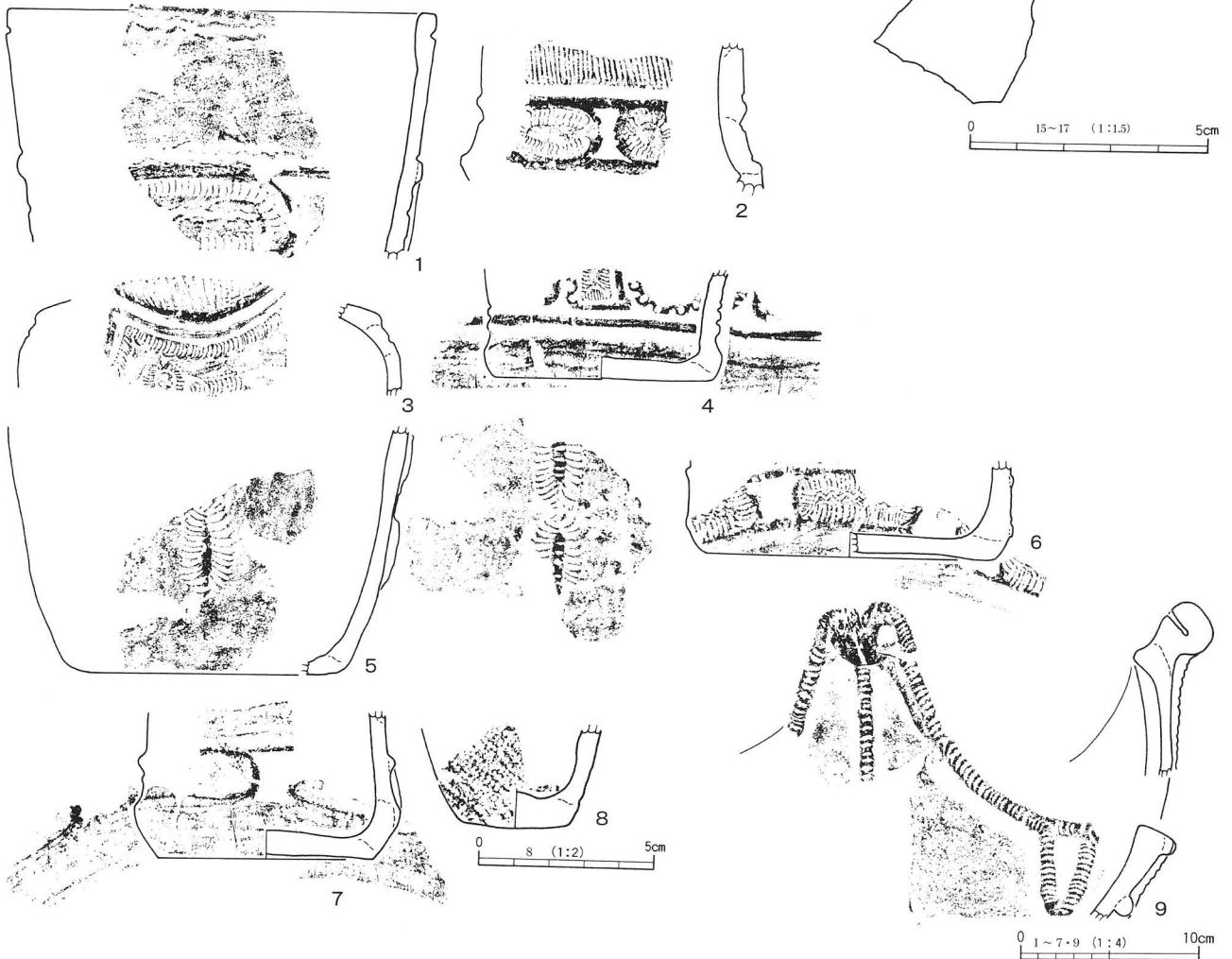


第88图 7~9号住 遺物

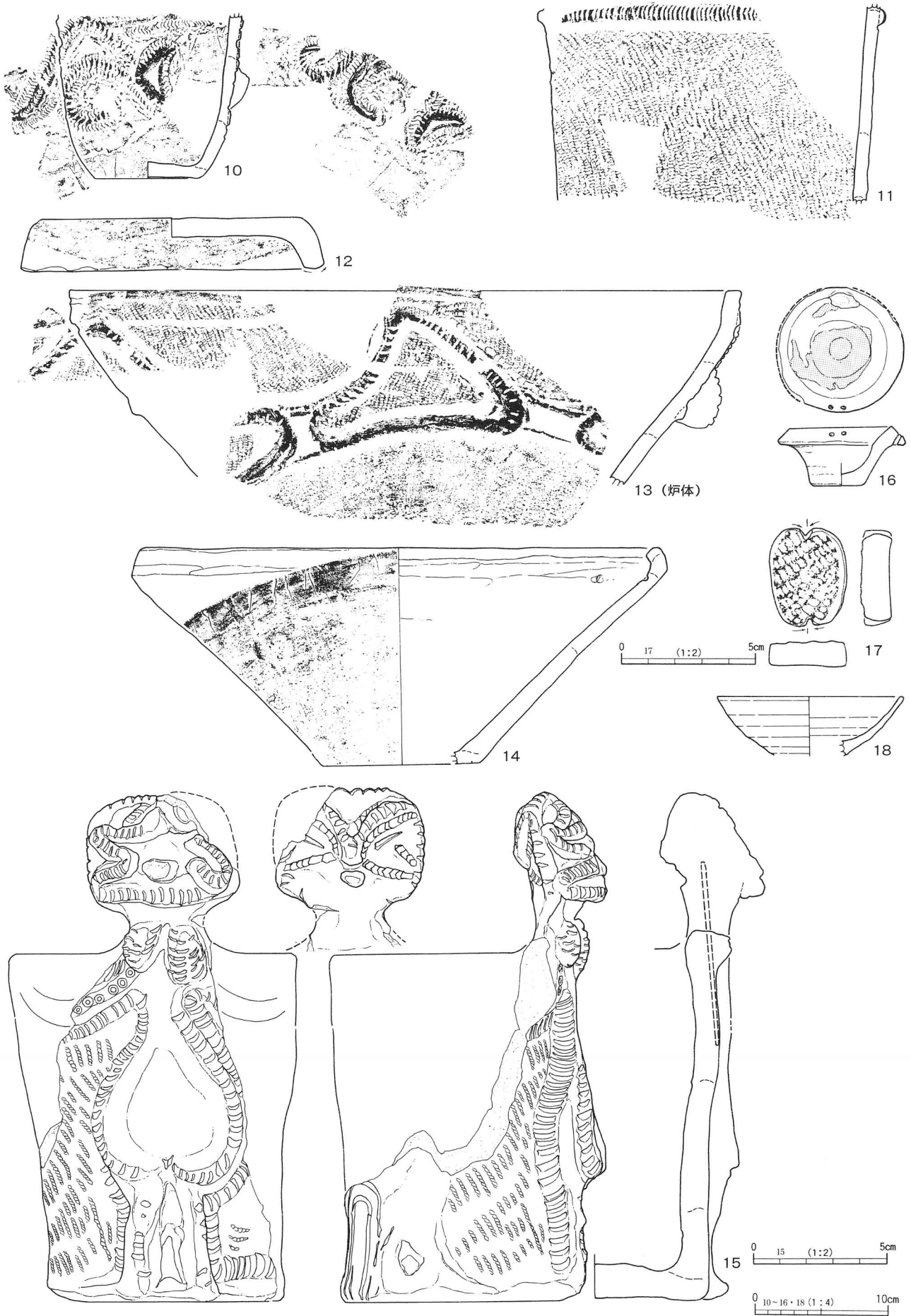
9号住



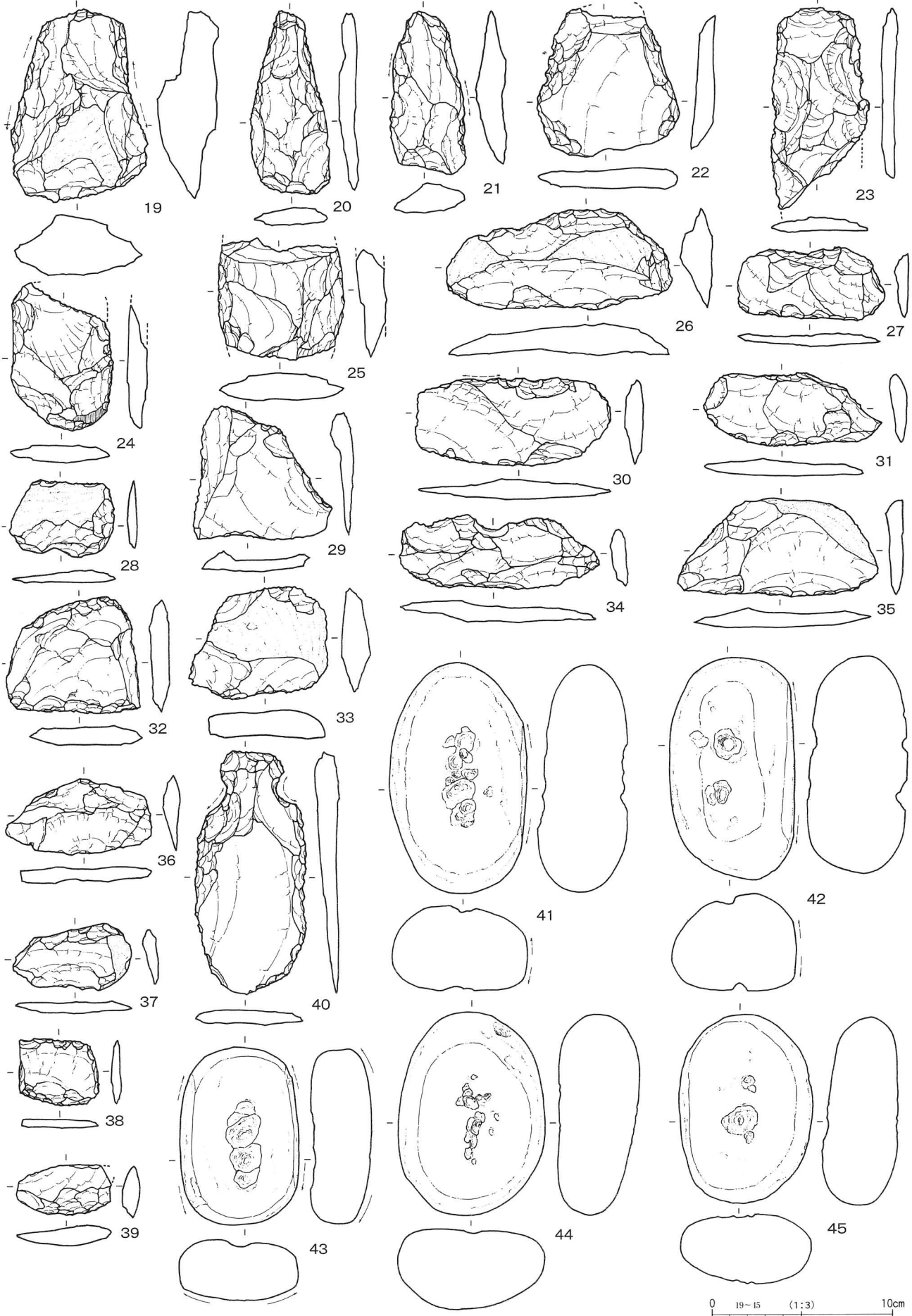
11号住



第89图 9·11号住 遺物



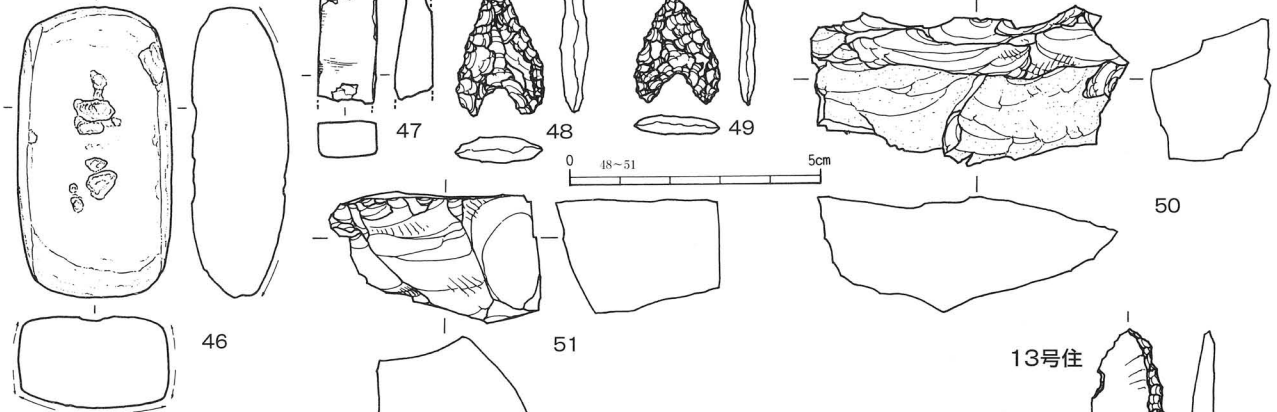
第90图 11号住 遺物



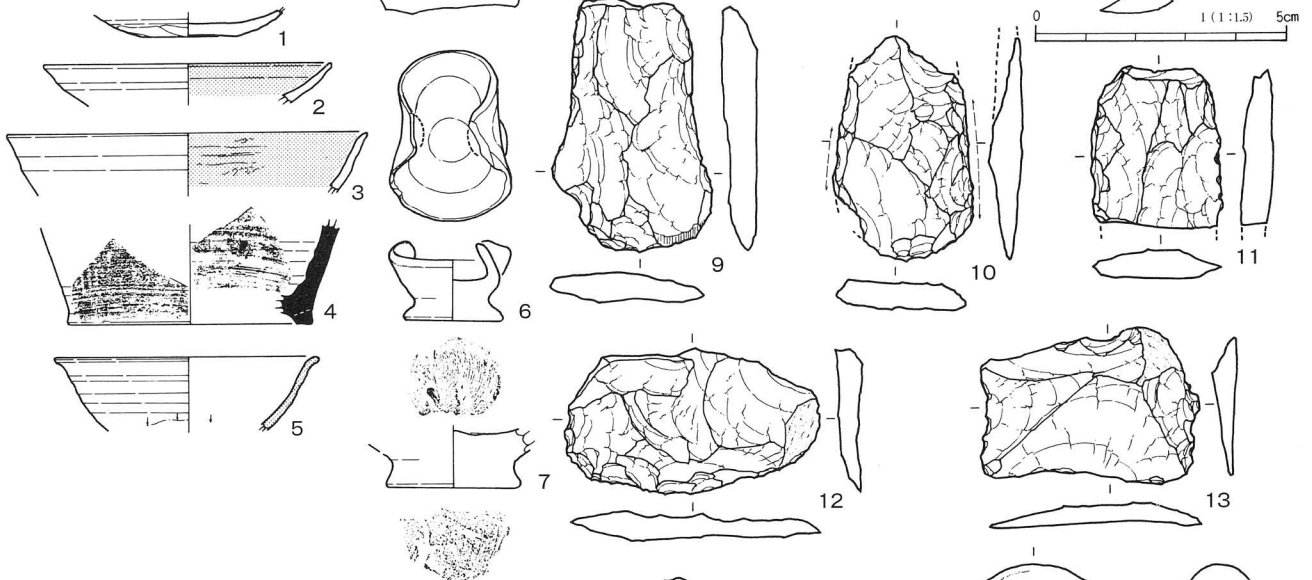
第91图 11号住 遺物



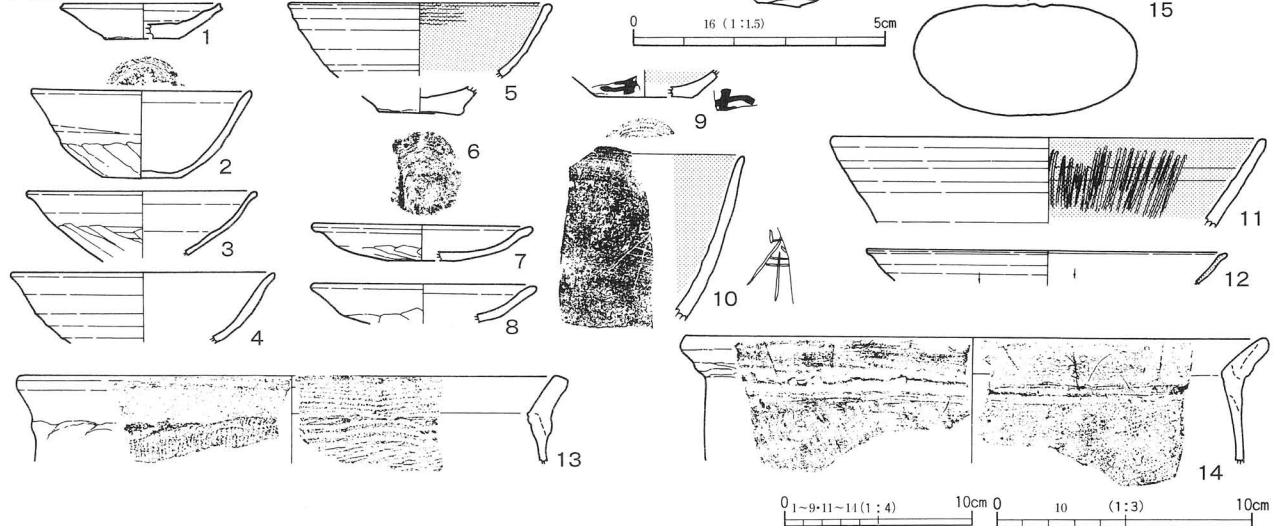
11号住



15号住

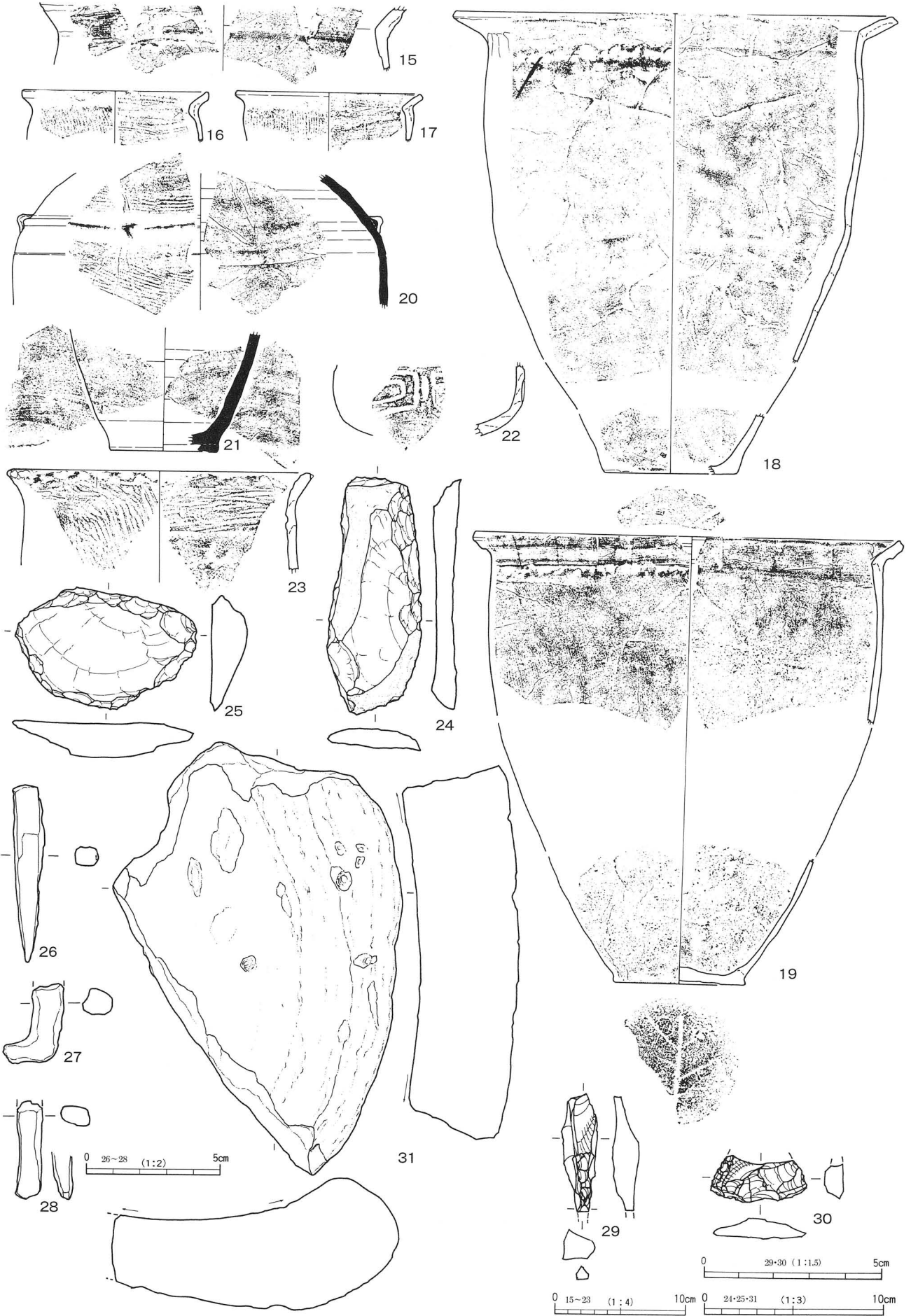


16号住



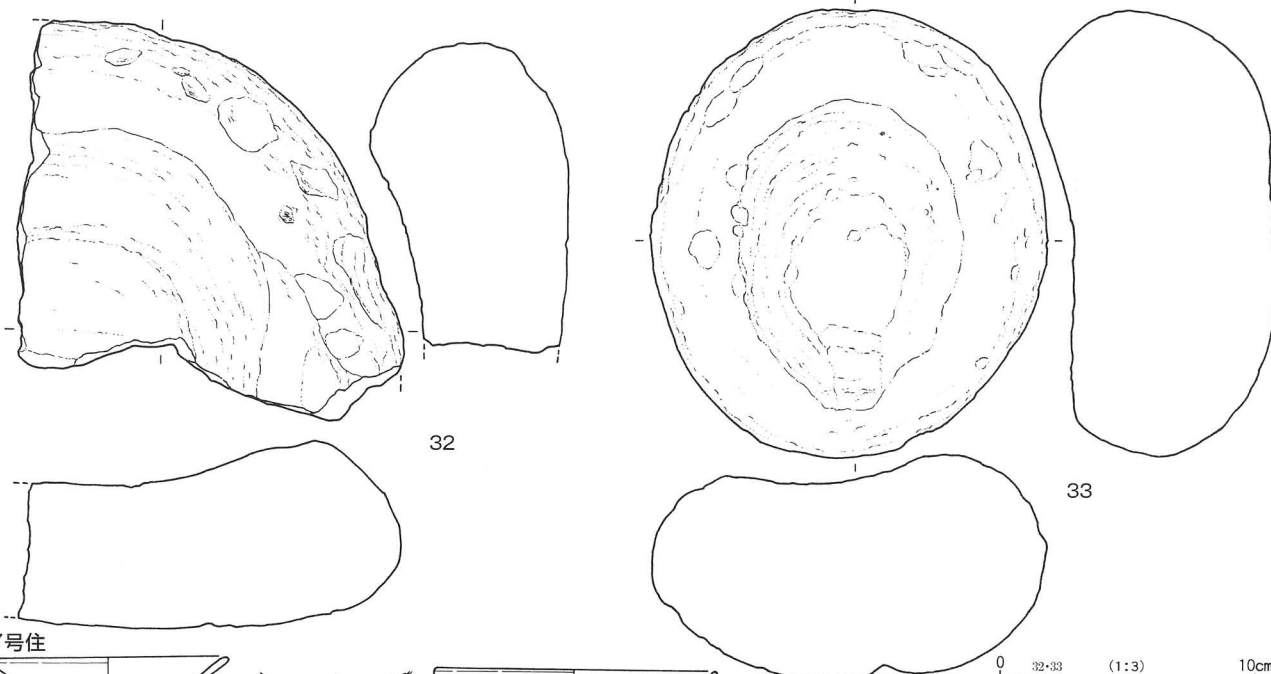
第92图 11·13·15·16号住 遺物

16号住

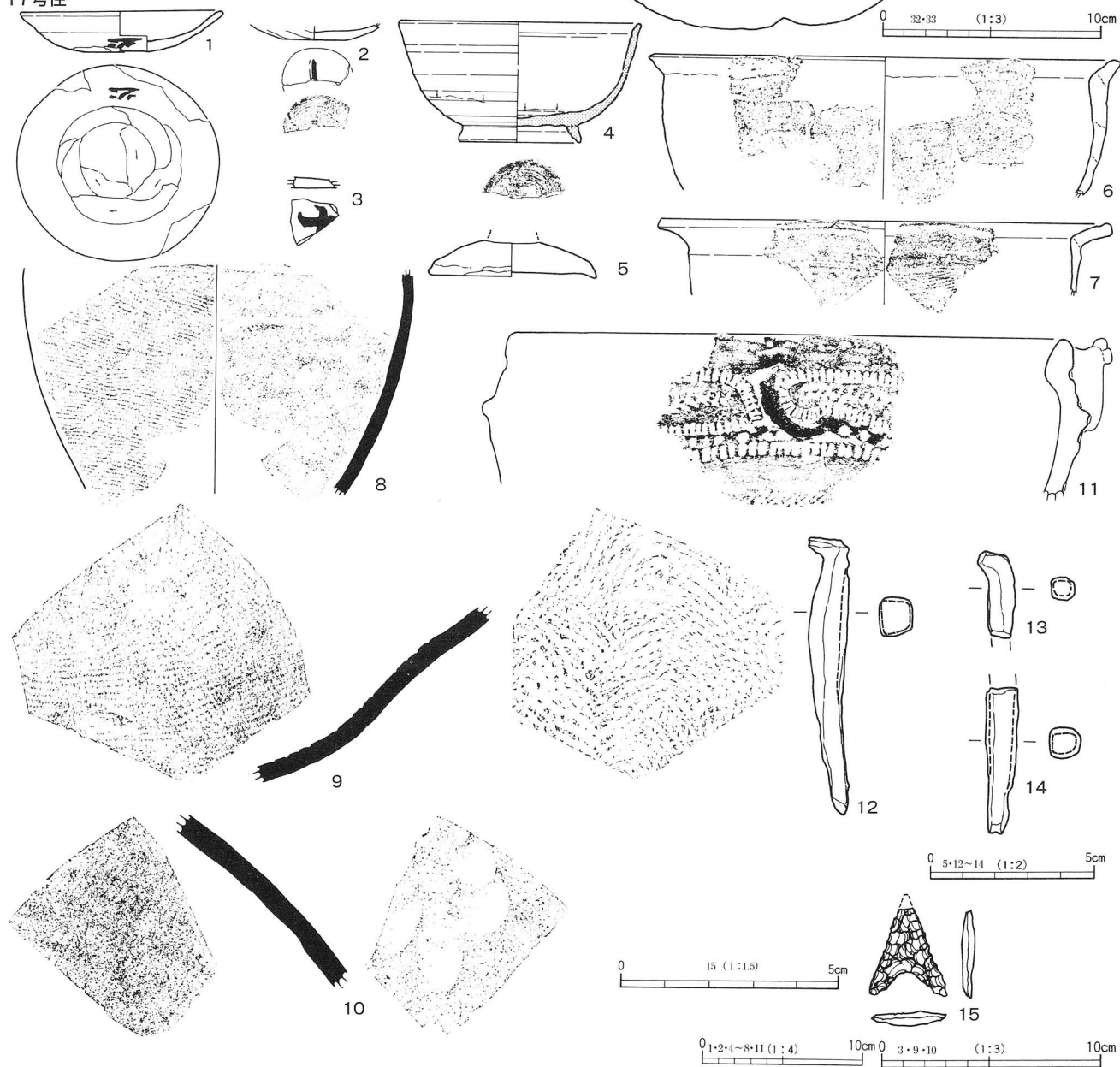


第93图 16号住 遺物

16号住

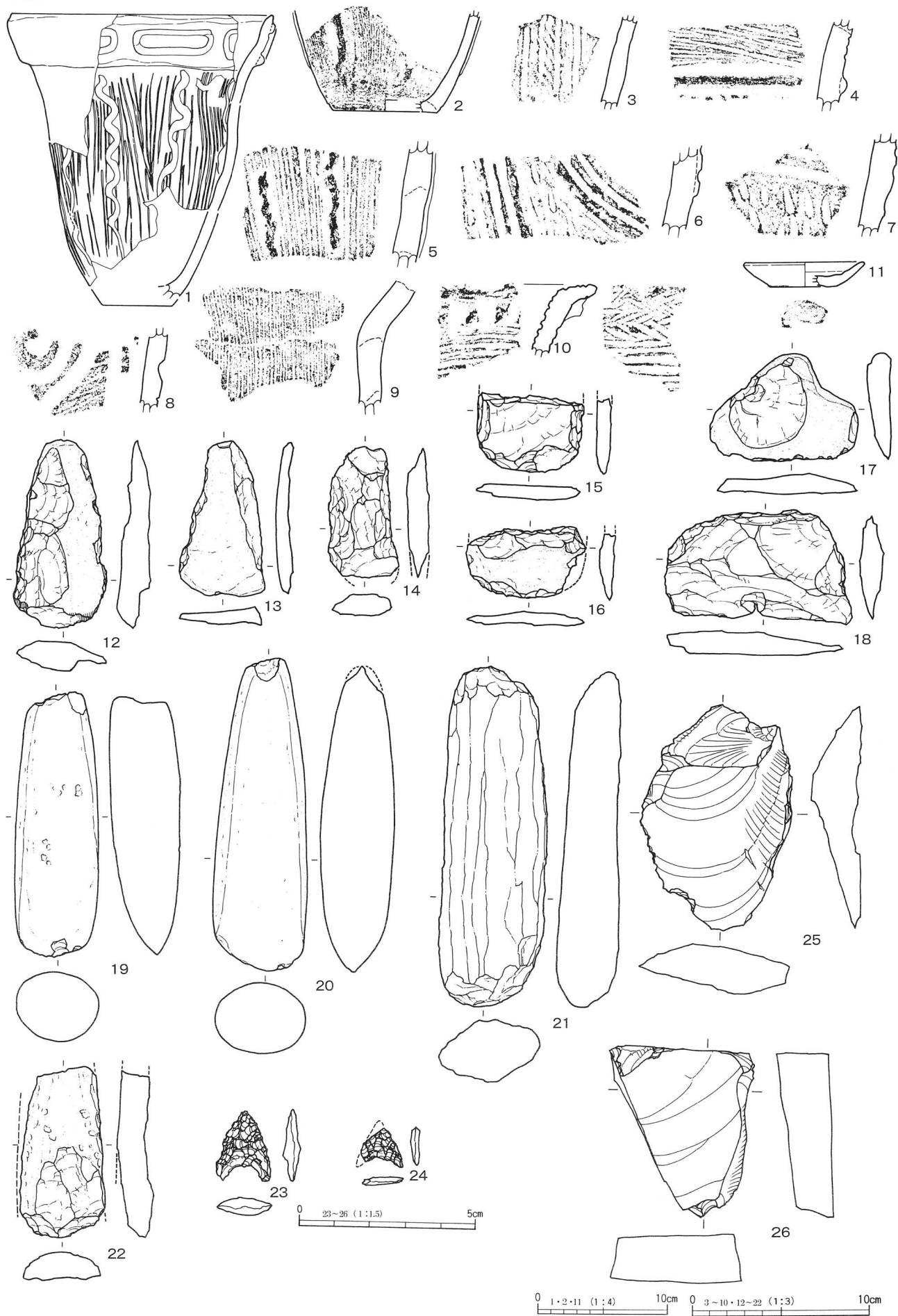


17号住



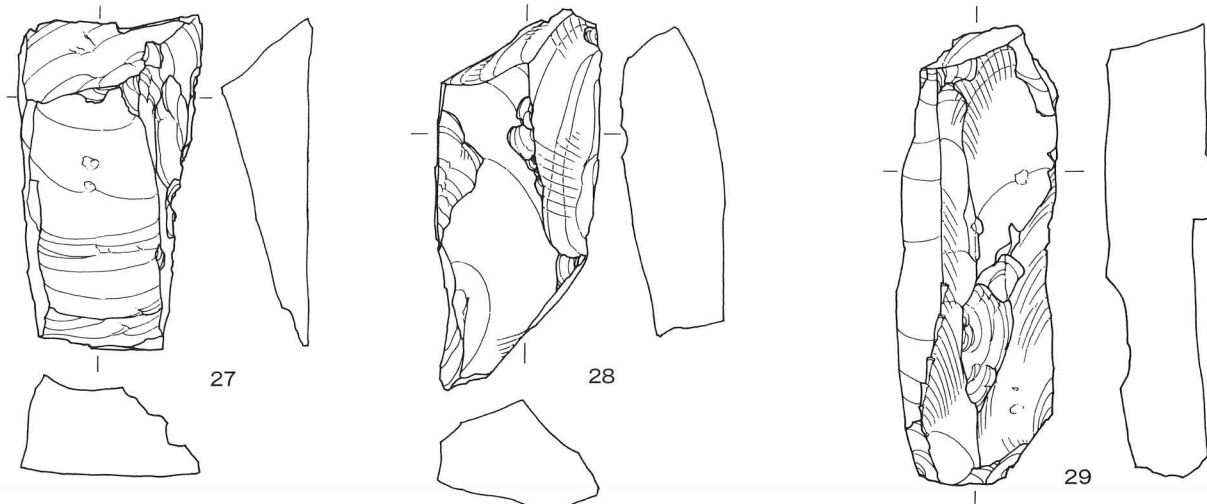
第94图 16·17号住 遺物

18号住



第95图 18号住 遺物

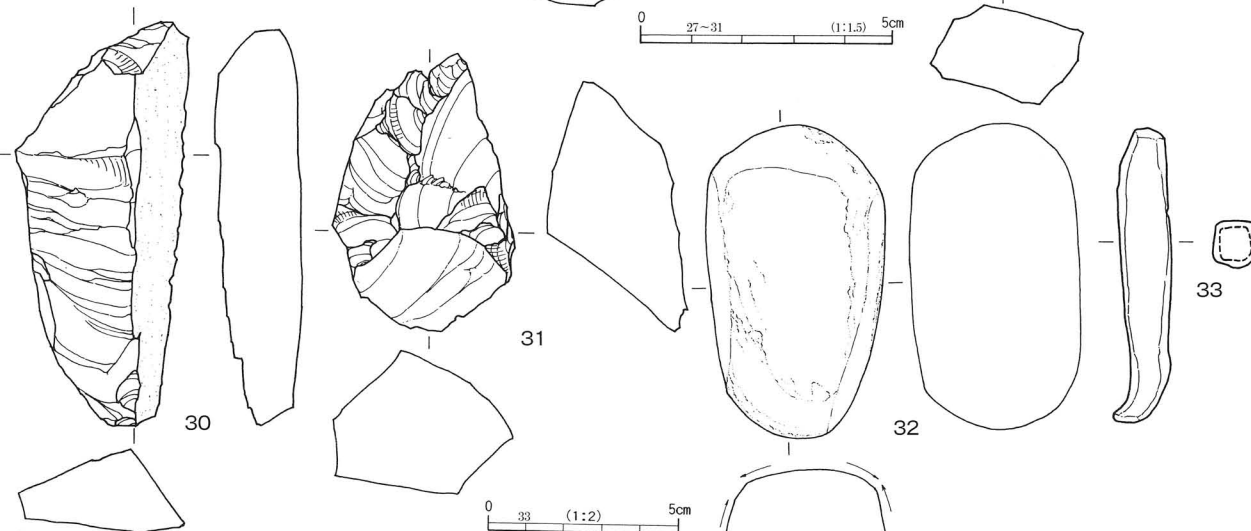
18号住



27

28

29

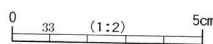


30

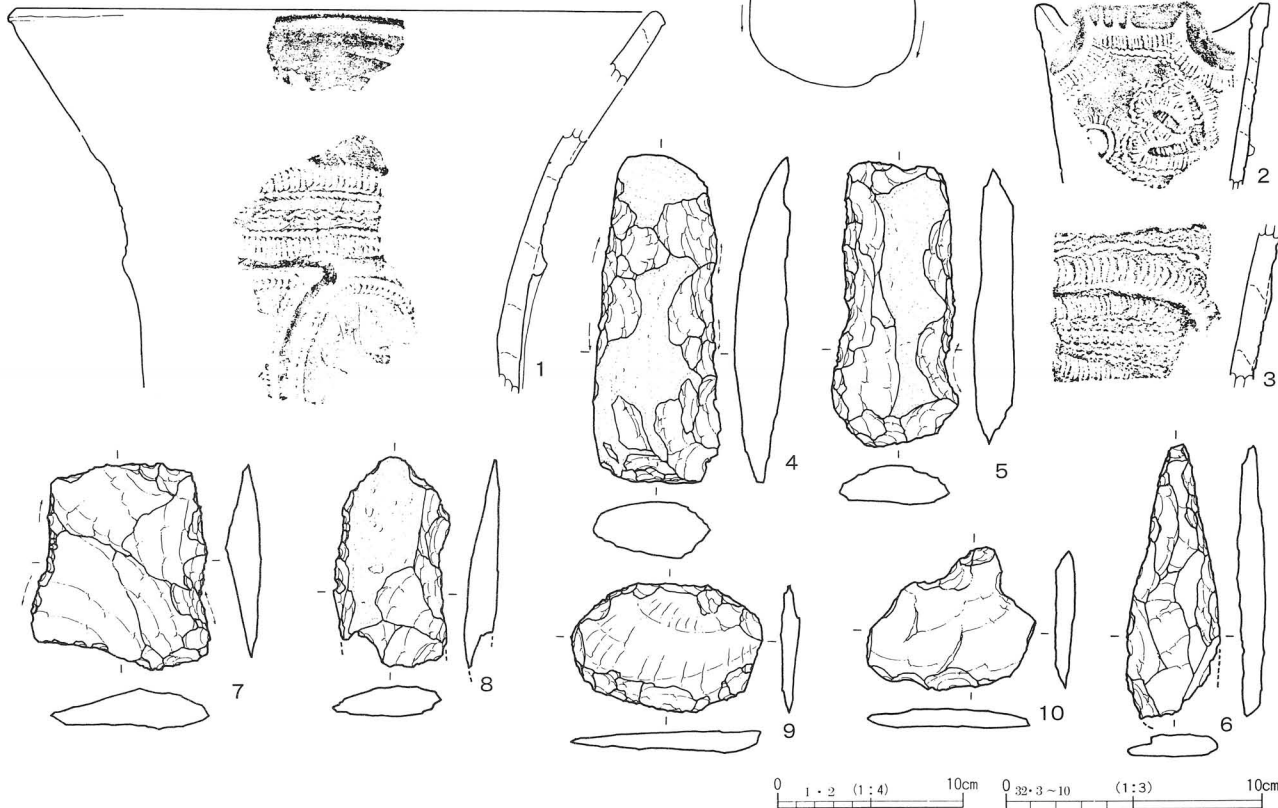
31

32

33



20号住



2

3

1

4

5

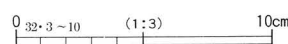
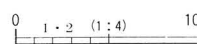
6

7

8

9

10



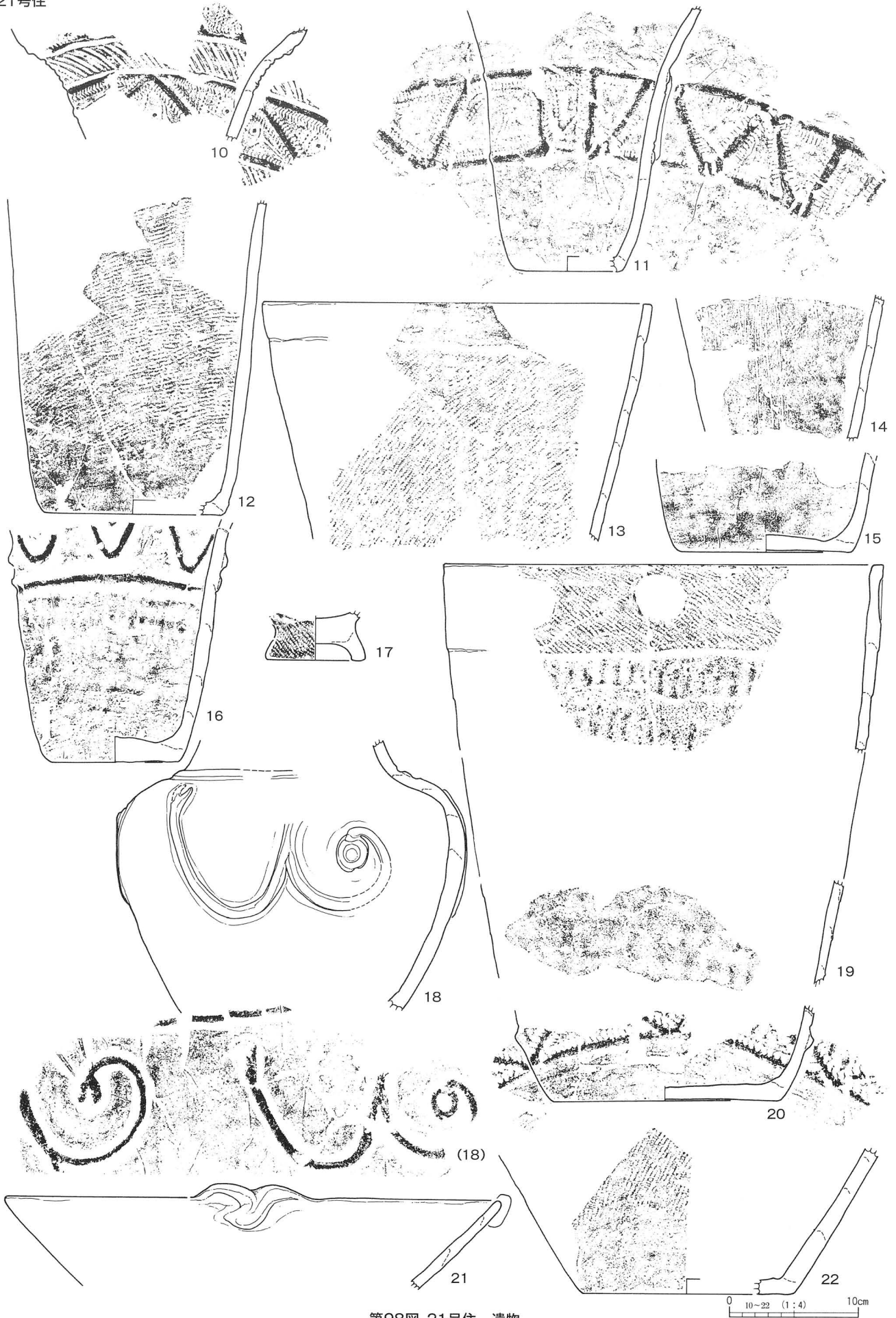
第96图 18·20号住 遺物



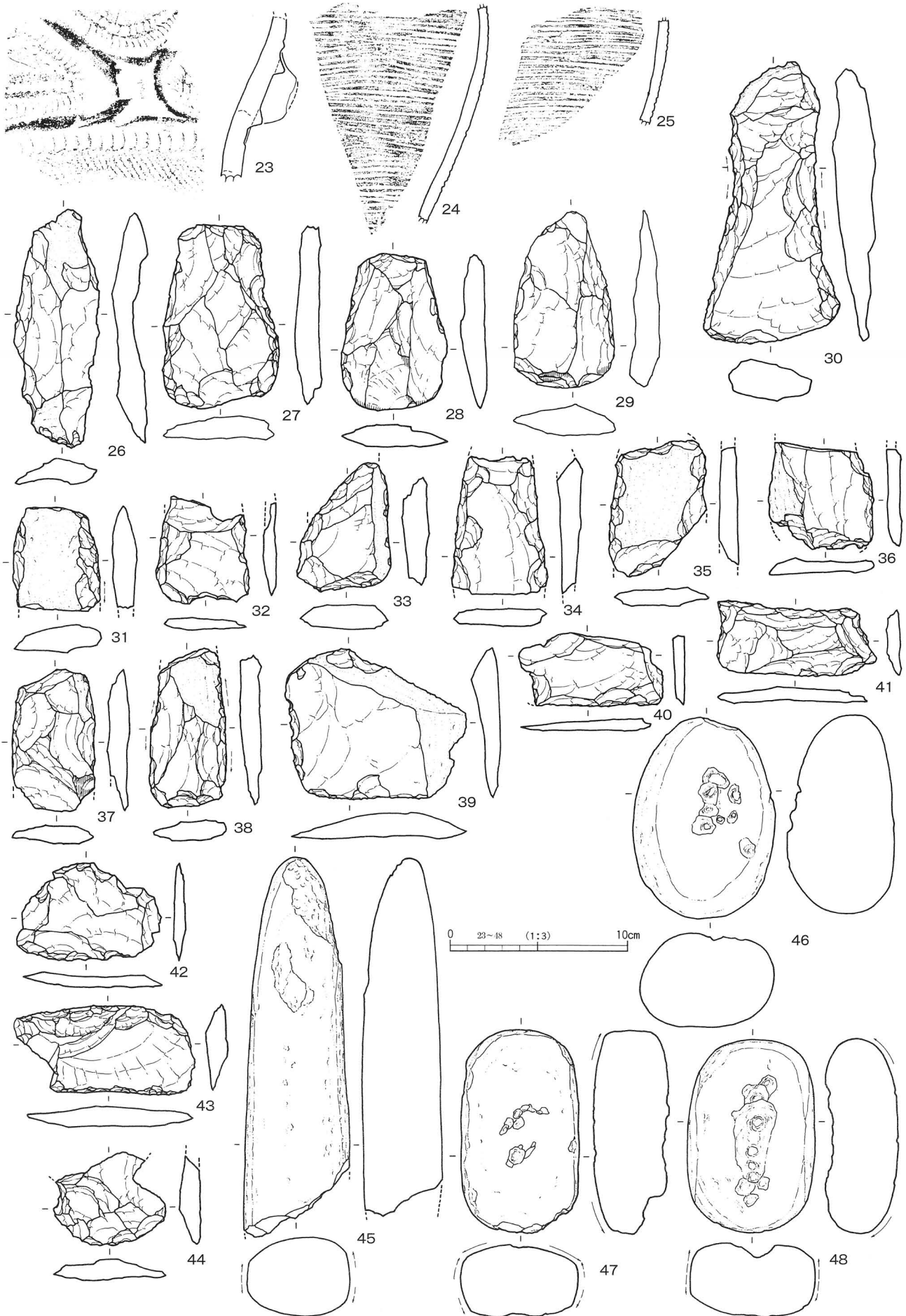


第97图 21号住 遺物

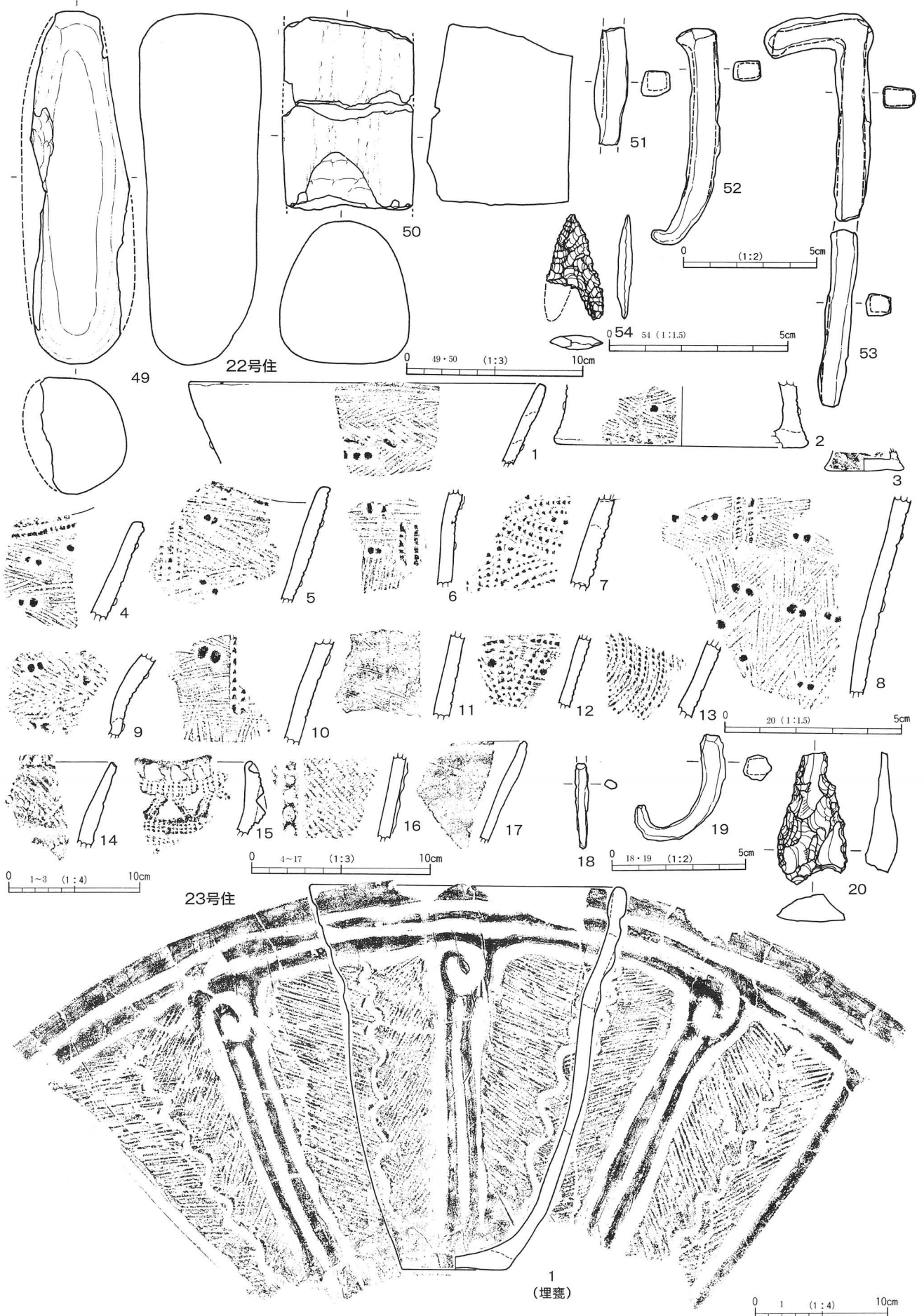
21号住



第98图 21号住 遺物

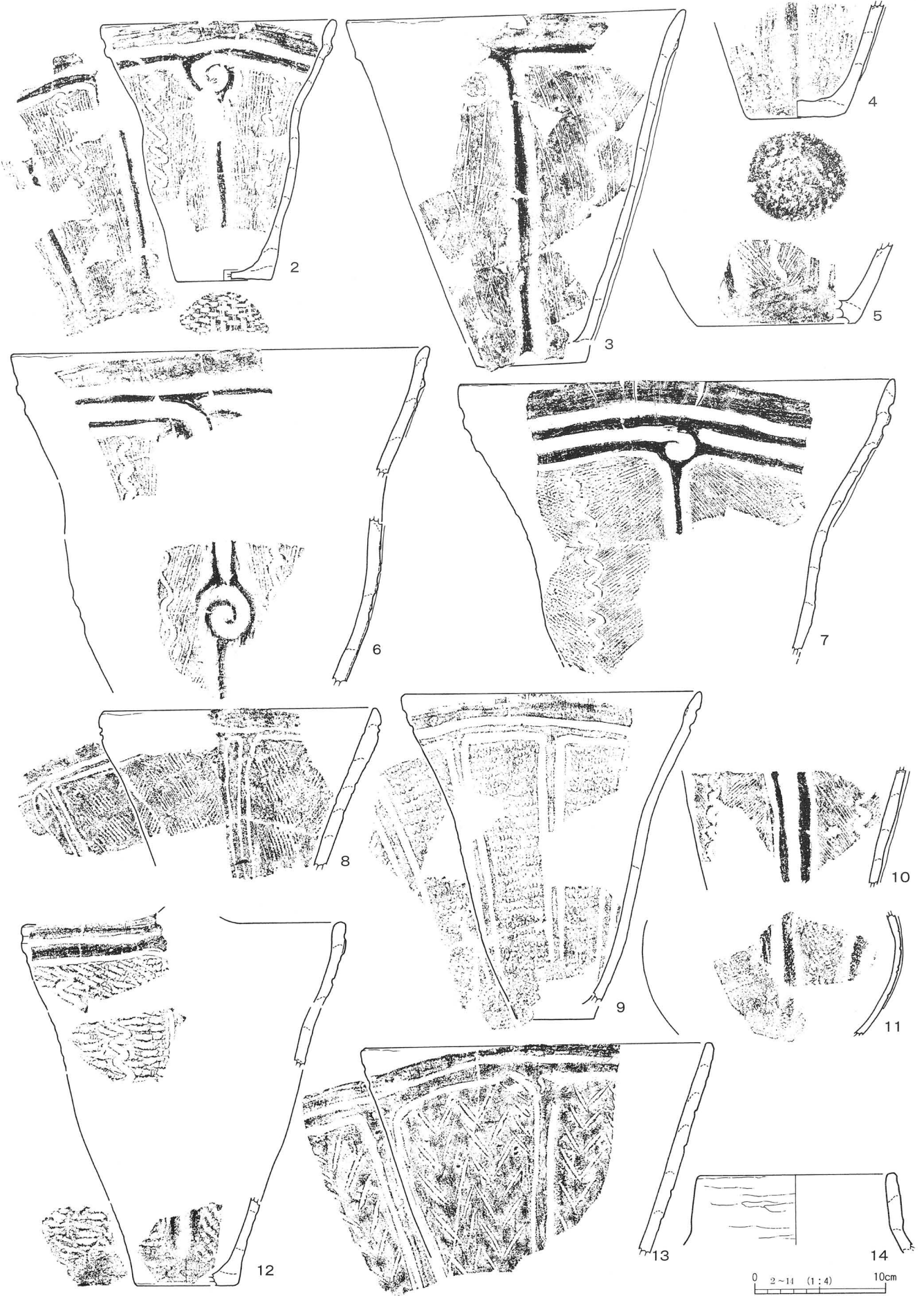


第99图 21号住 遺物



第100図 21~23号住 遺物

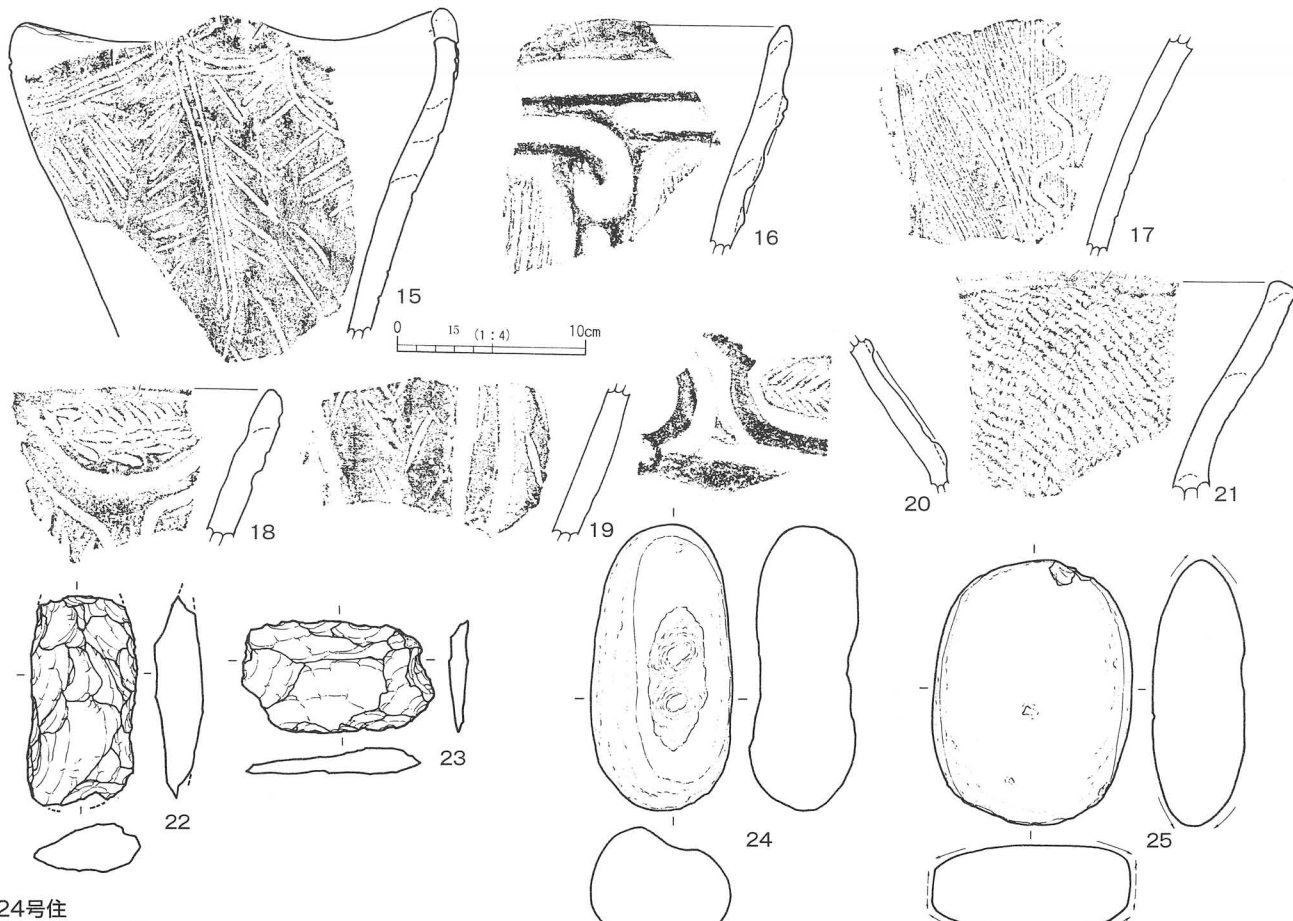




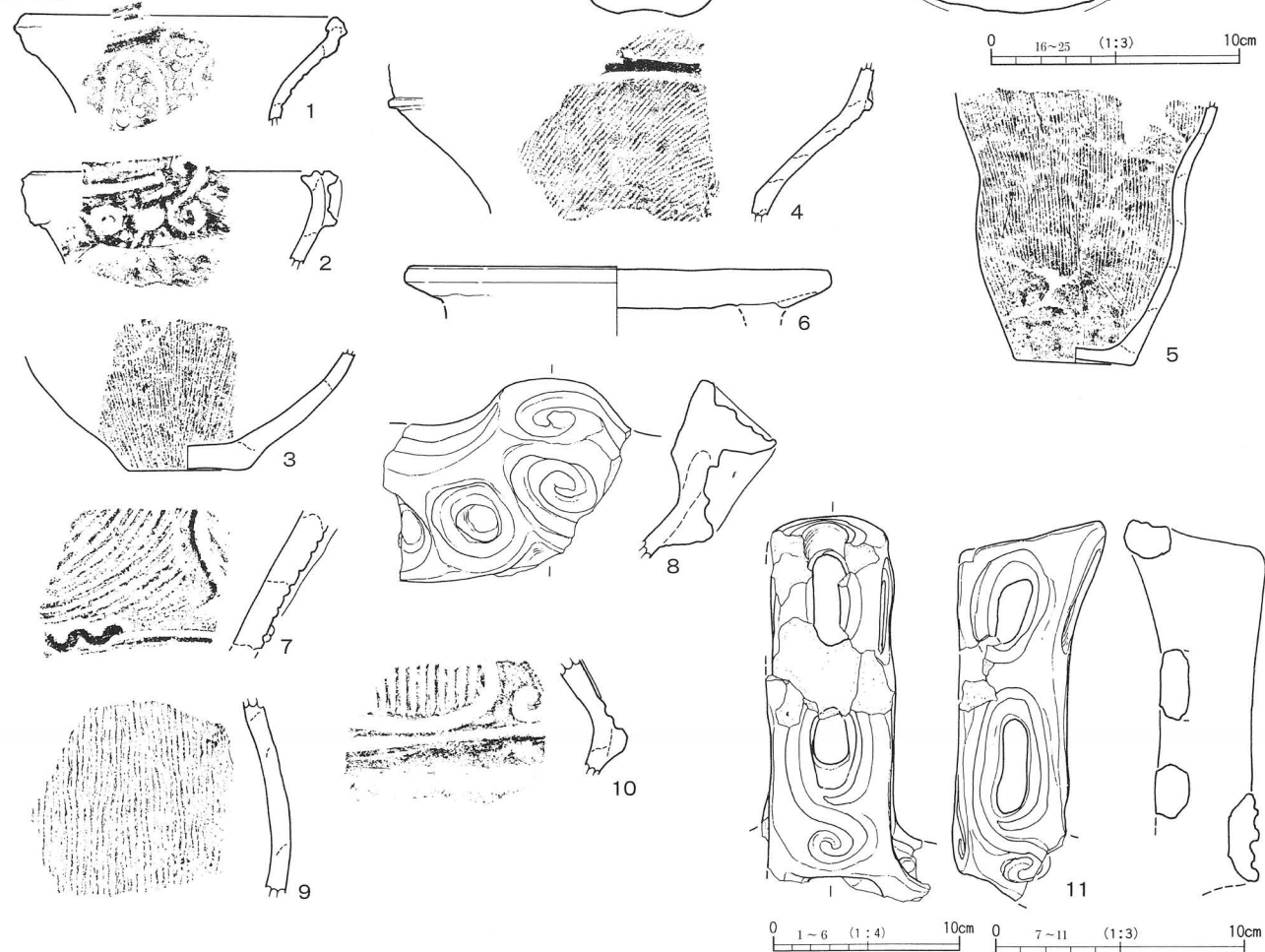
第101图 23号住 遺物



23号住

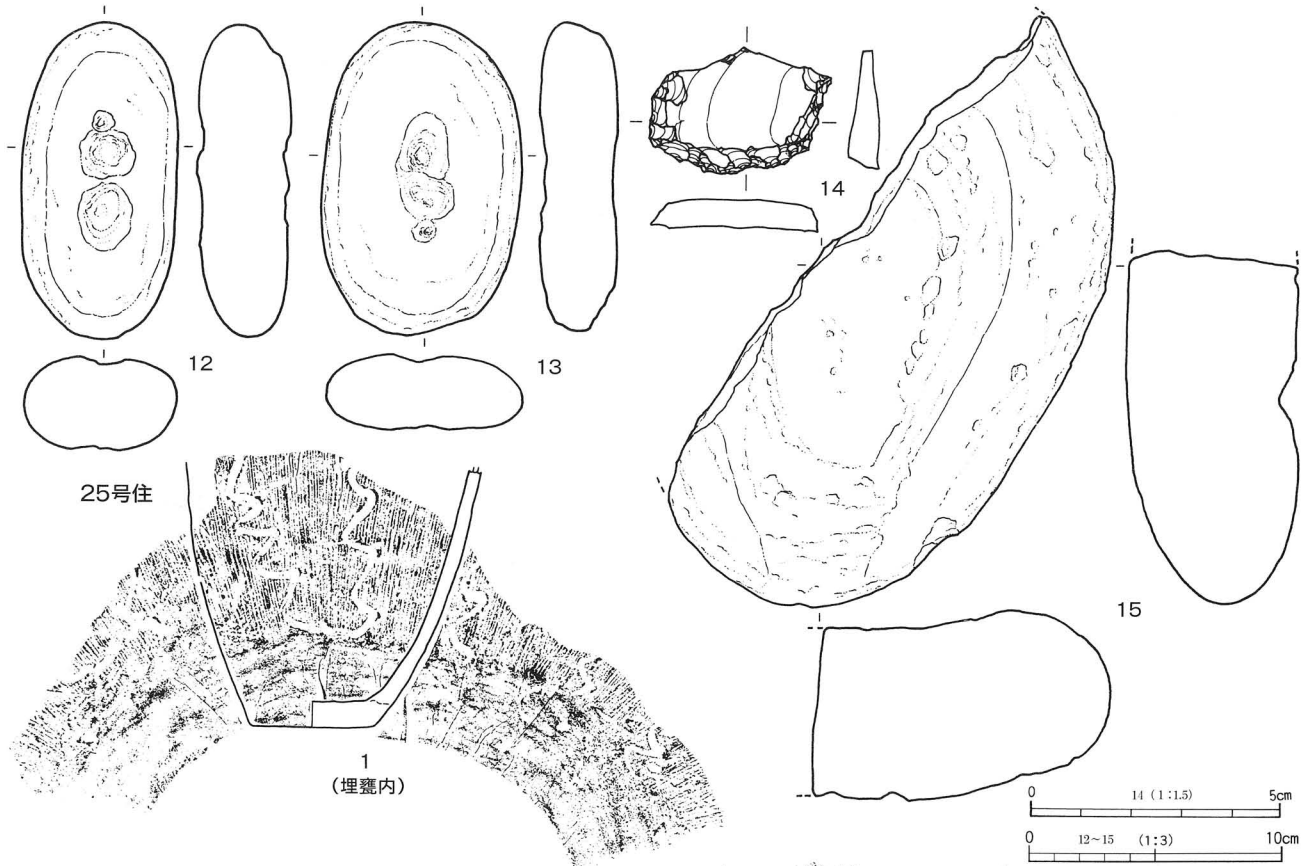


24号住

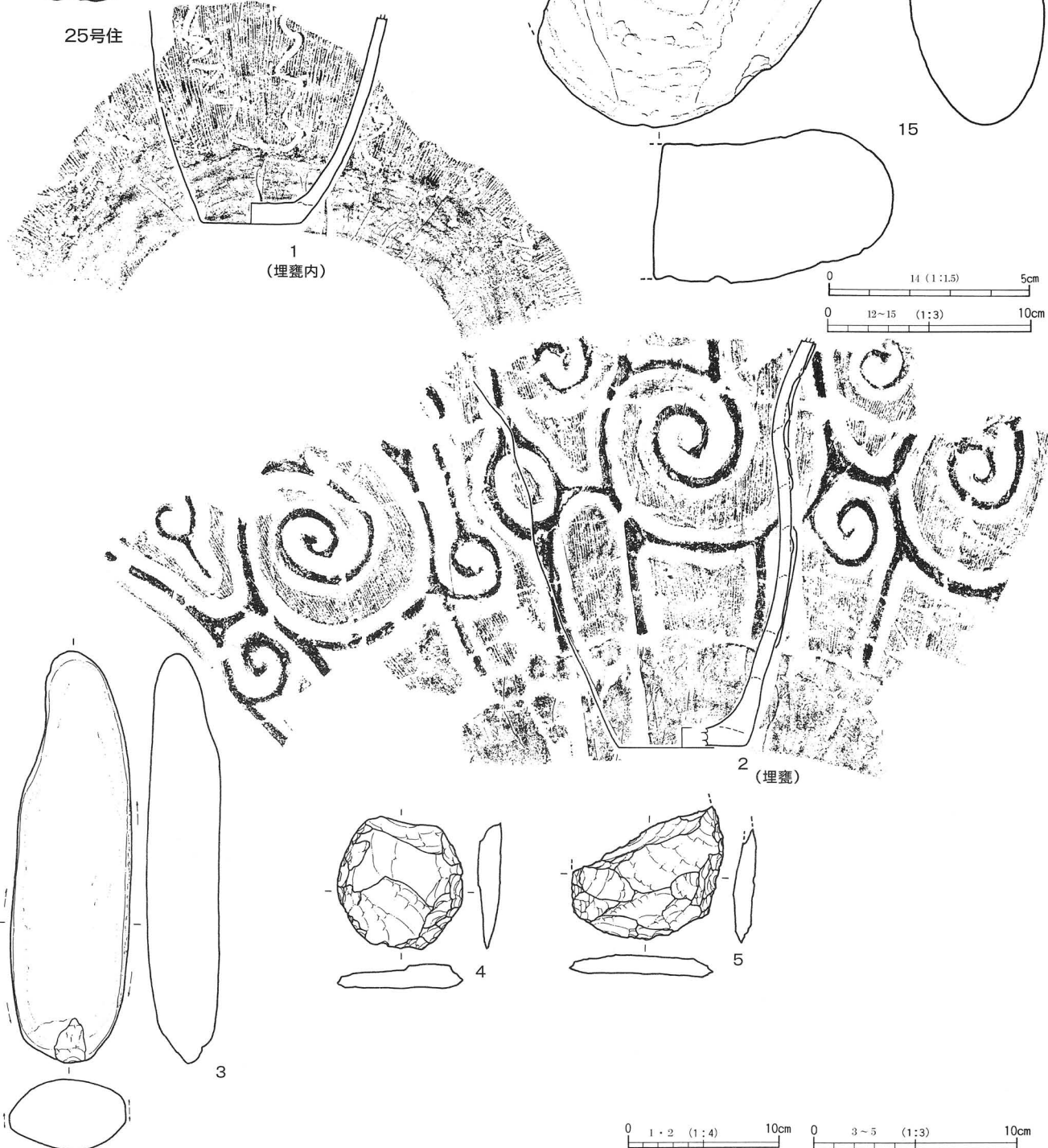


第102图 23·24号住 遺物

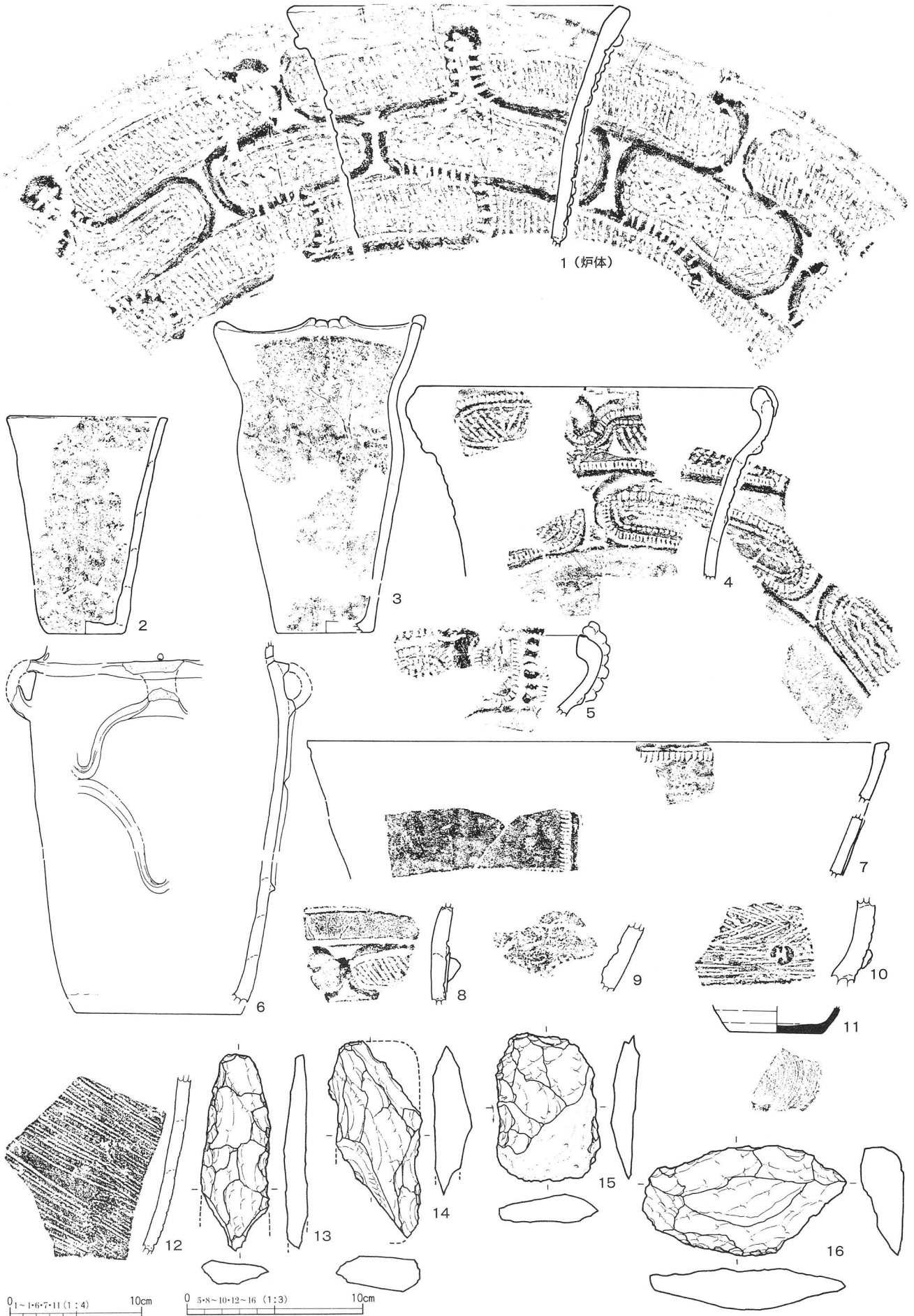
24号住



25号住



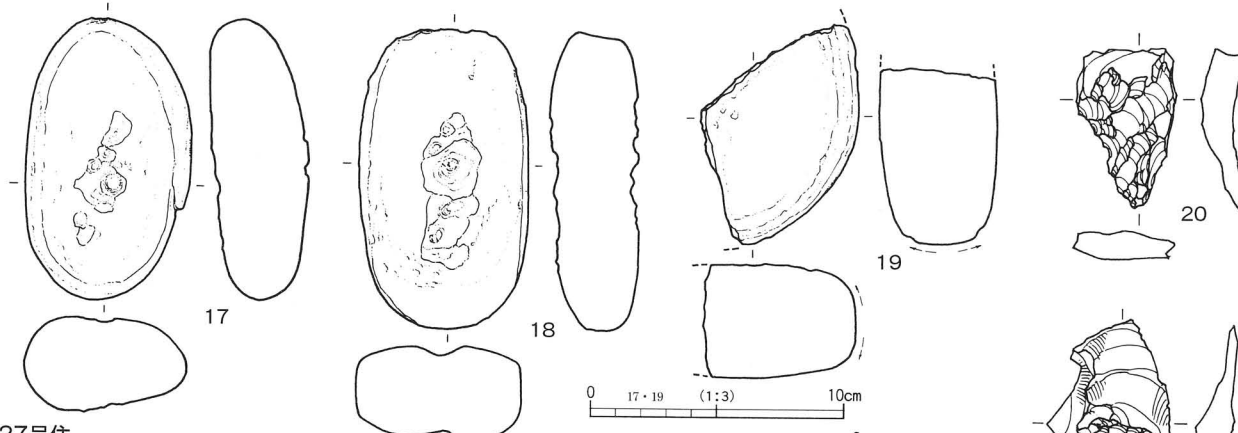
第103图 24·25号住 遺物



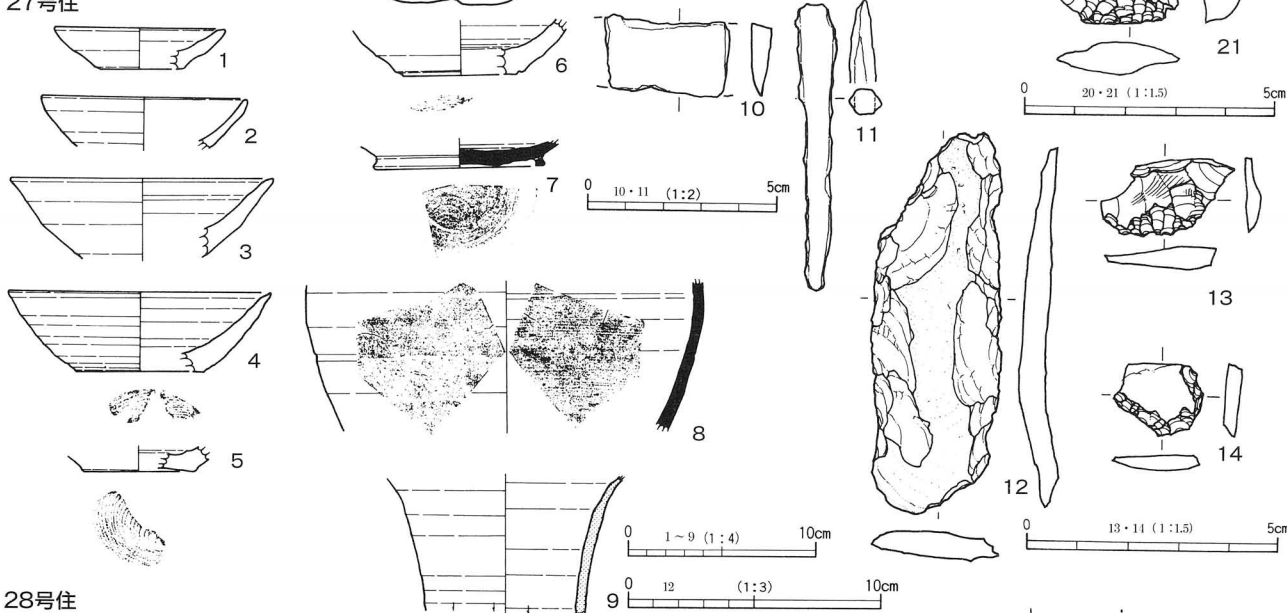
1 (炉体)

第104图 26号住 遺物

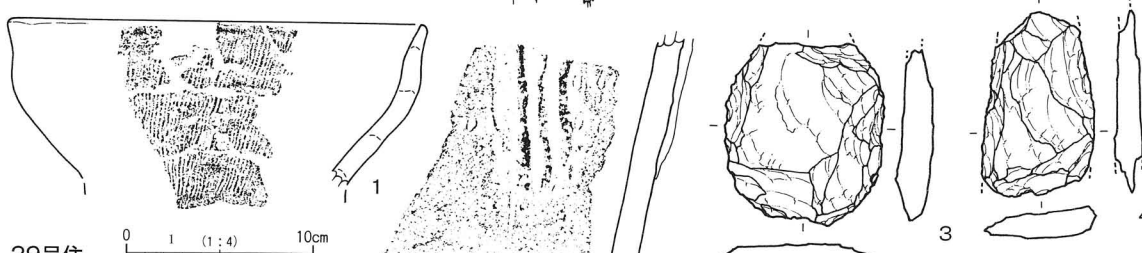
26号住



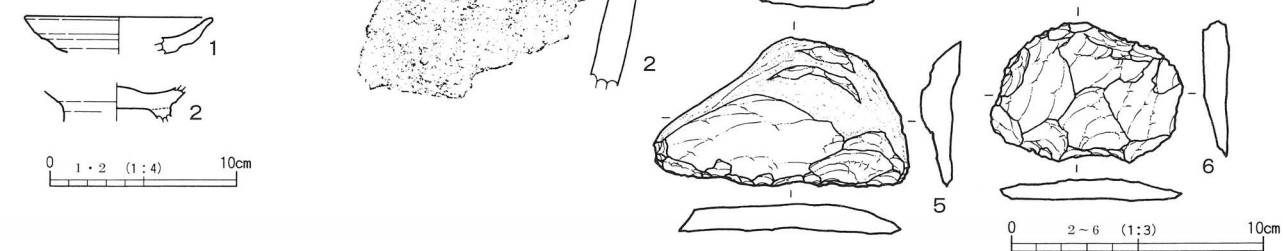
27号住



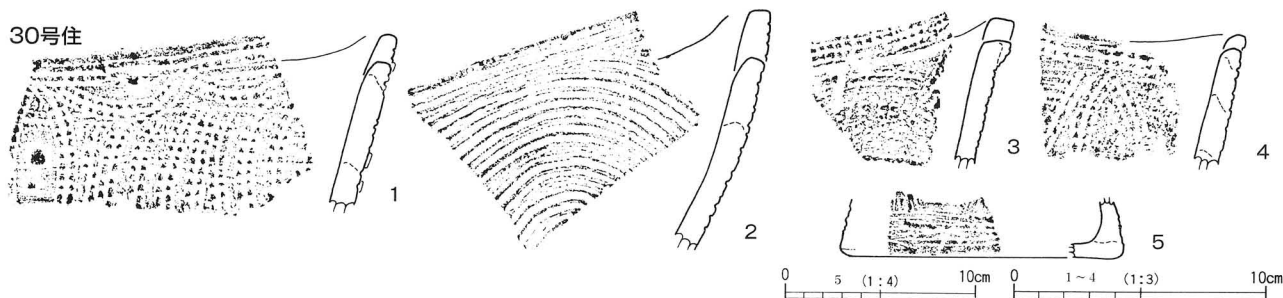
28号住



29号住

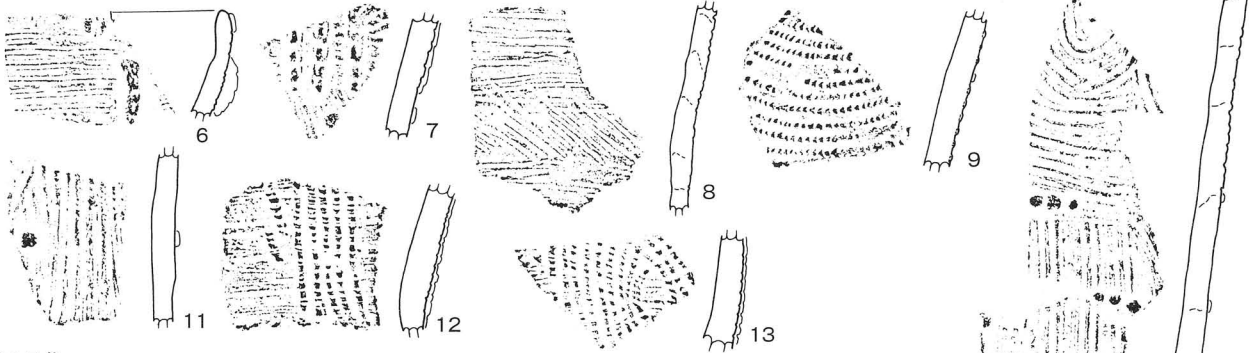


30号住

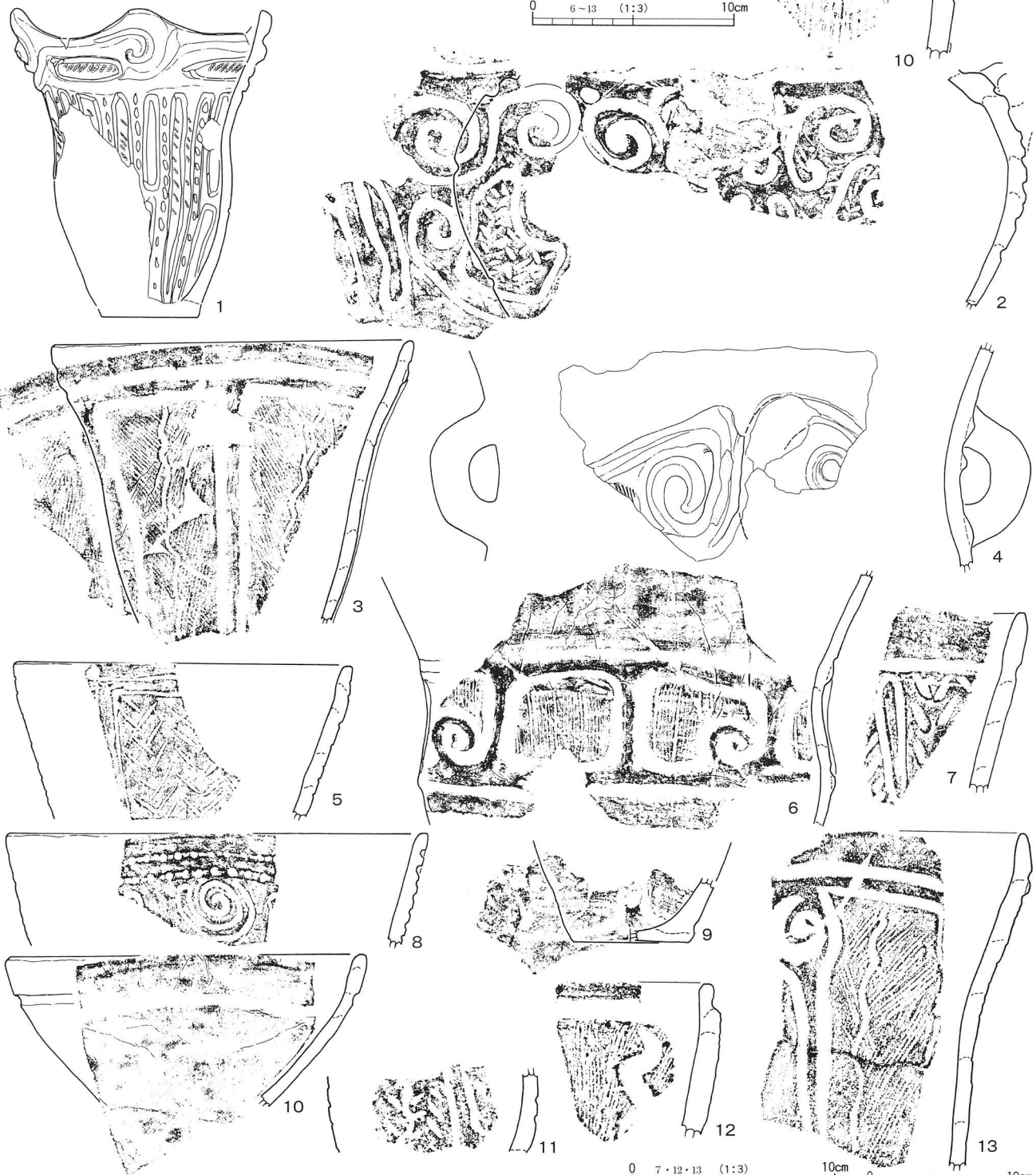


第105图 26~30号住 遺物

30号住



31号住



0 6-13 (1:3) 10cm

0 7-12-13 (1:3) 10cm

0 1-6-8-11 (1:4) 10cm

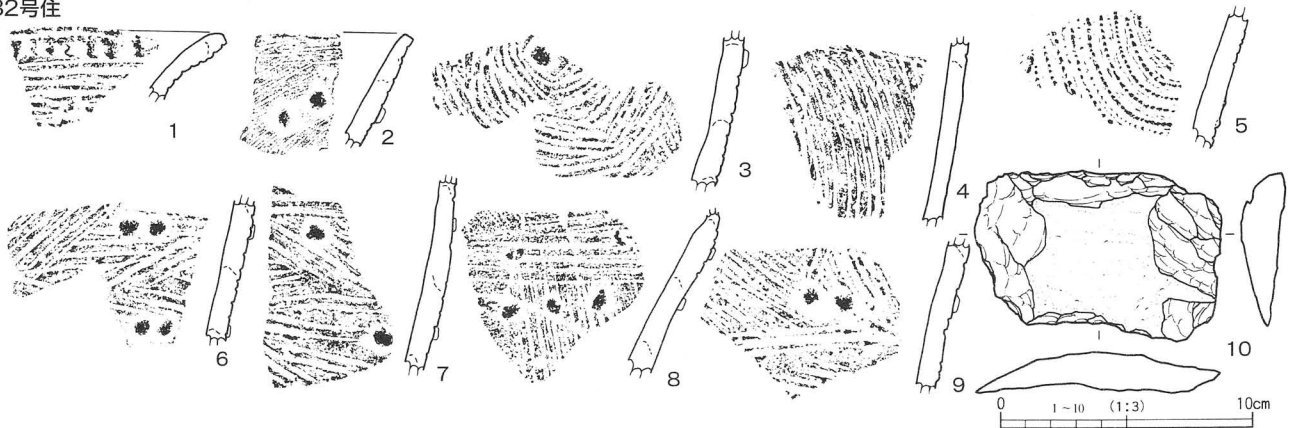
第106图 30·31号住 遺物



31号住

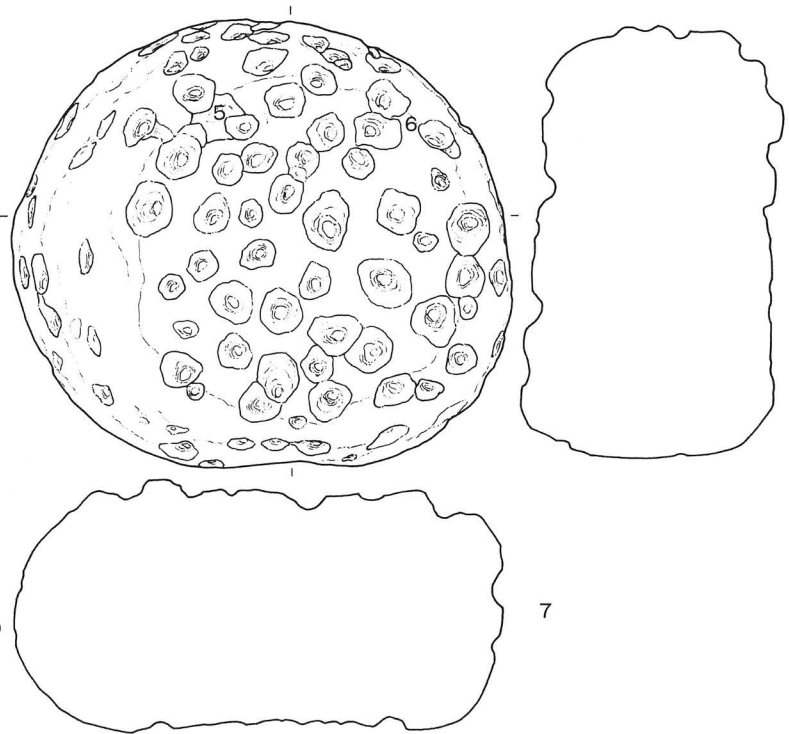
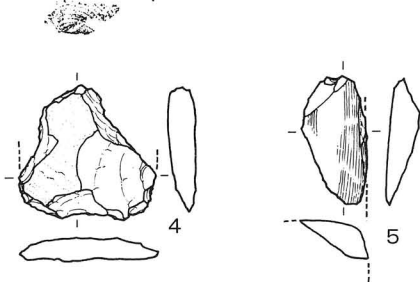
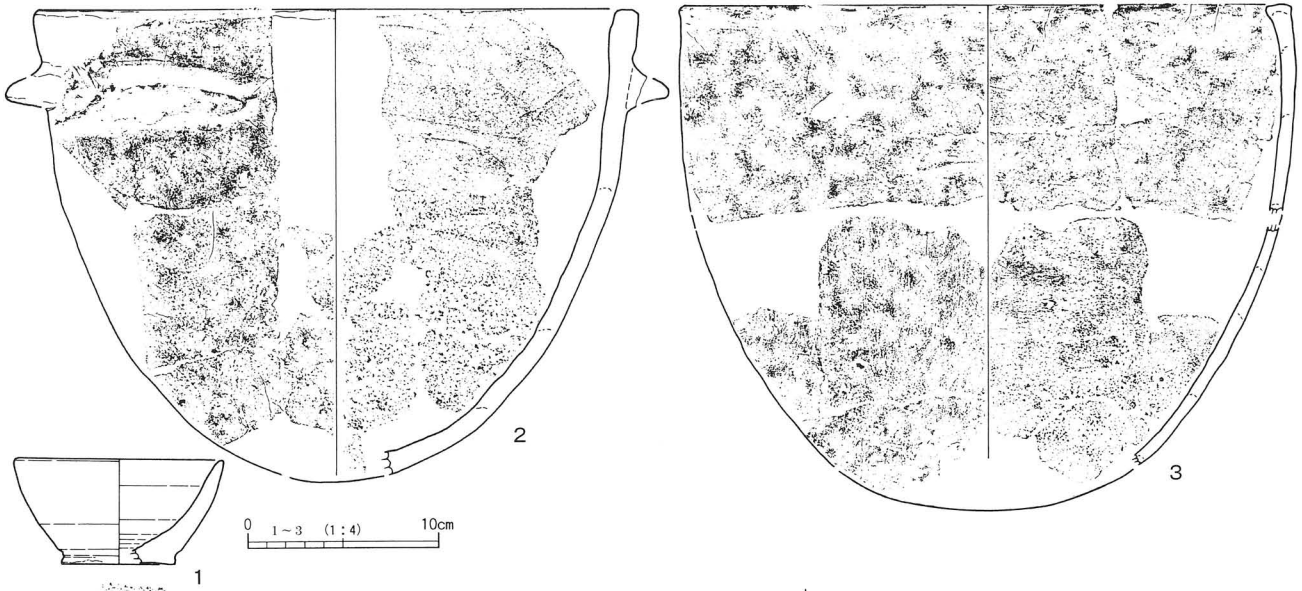


32号住

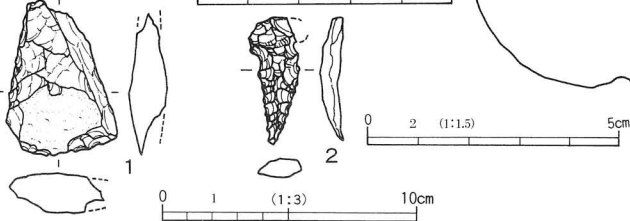


第107图 31·32号住 遺物

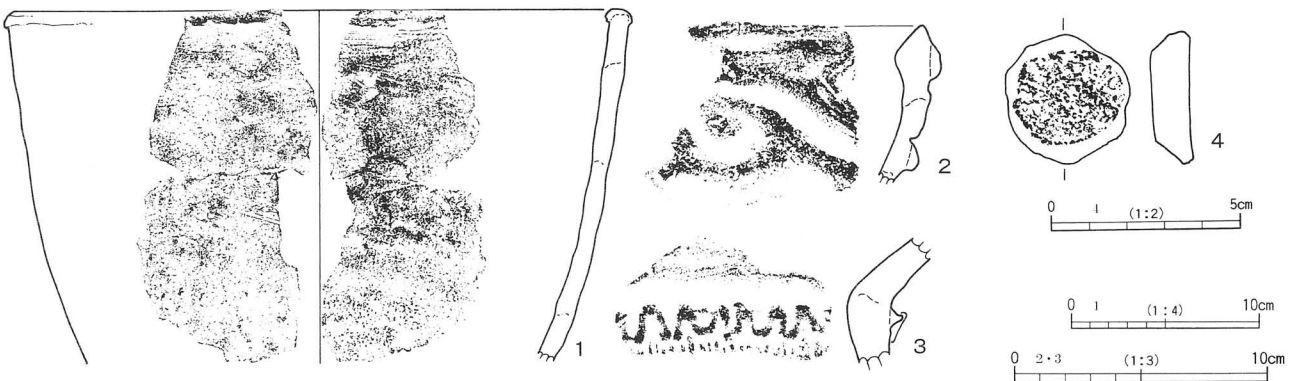
33号住



35号住

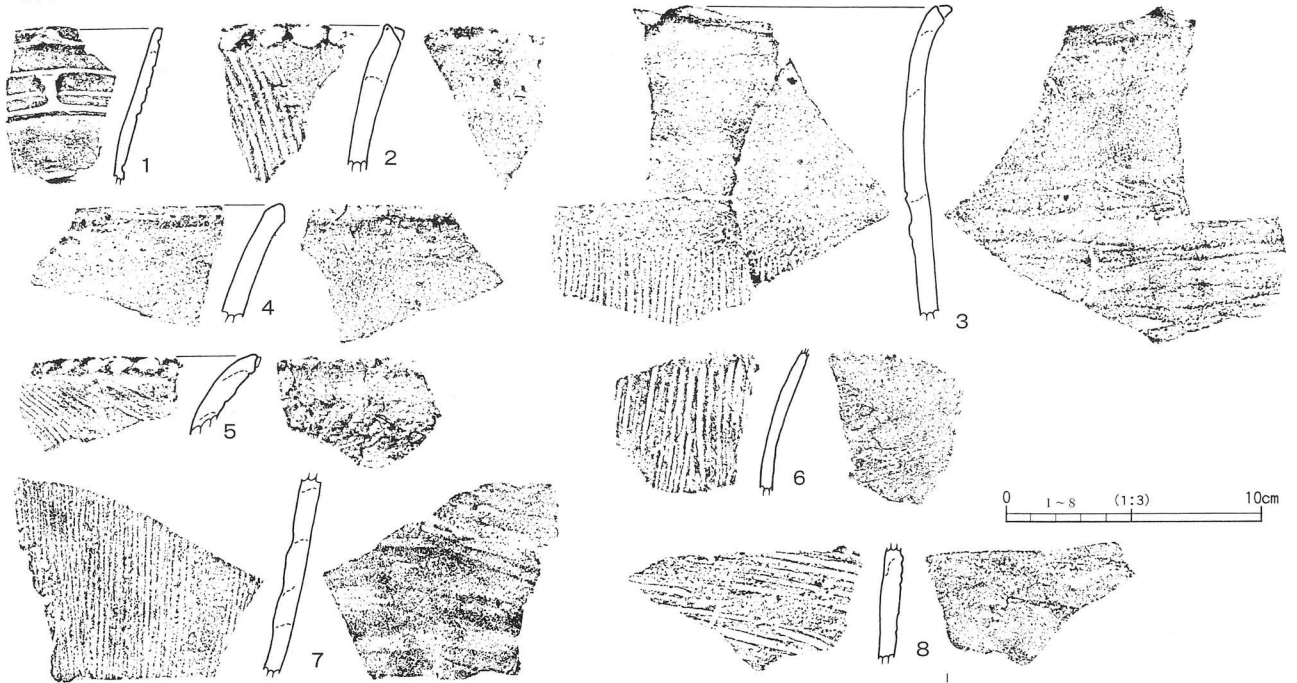


36号住

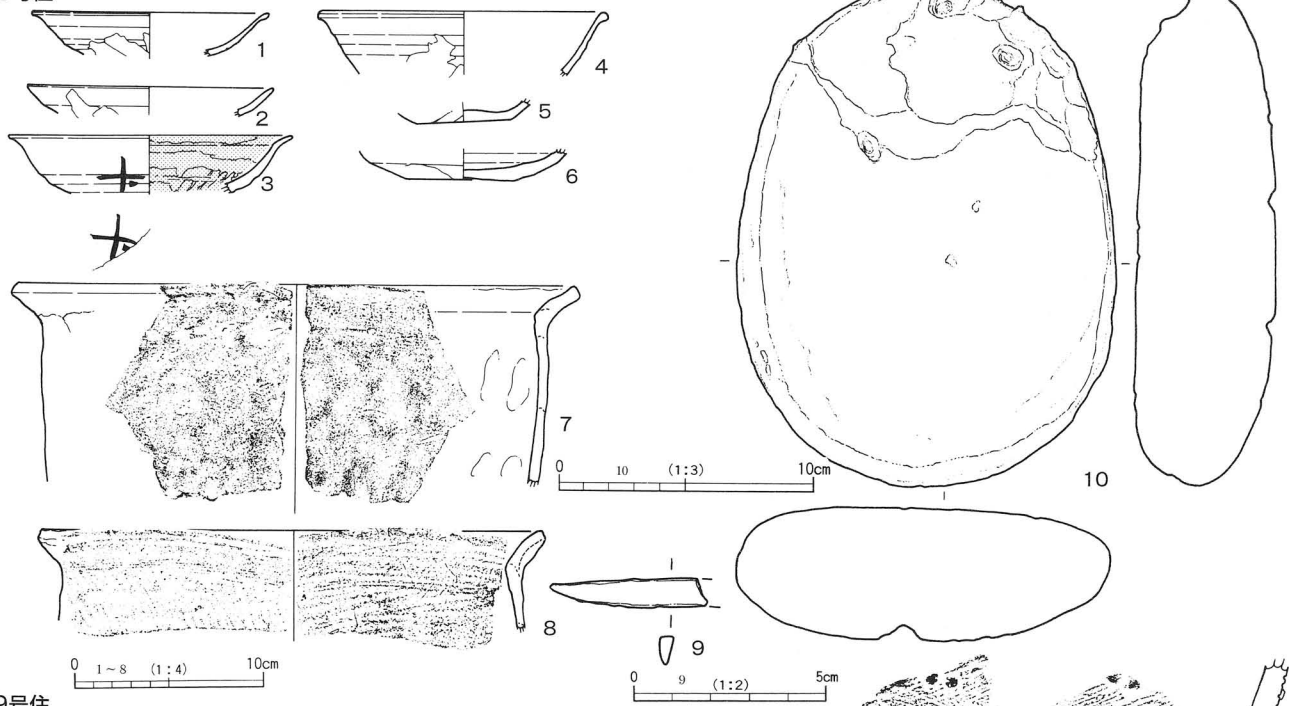


第108图 33·35·36号住 遺物

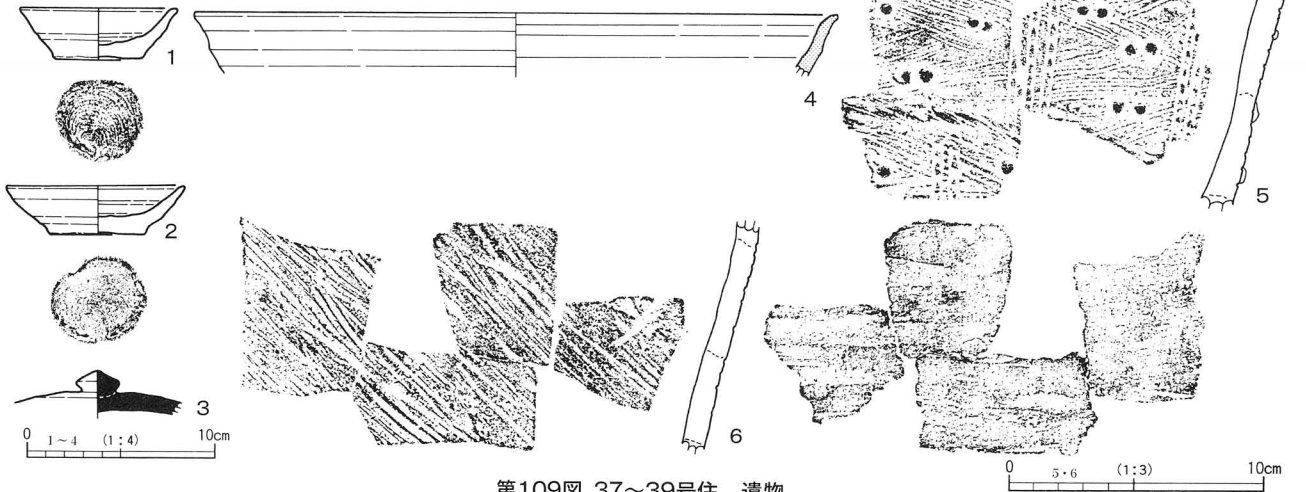
37号住



38号住

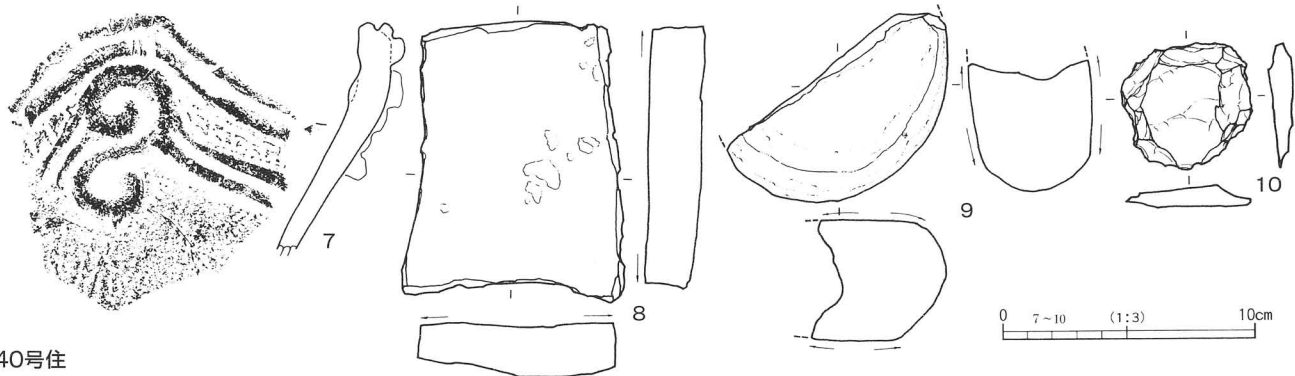


39号住

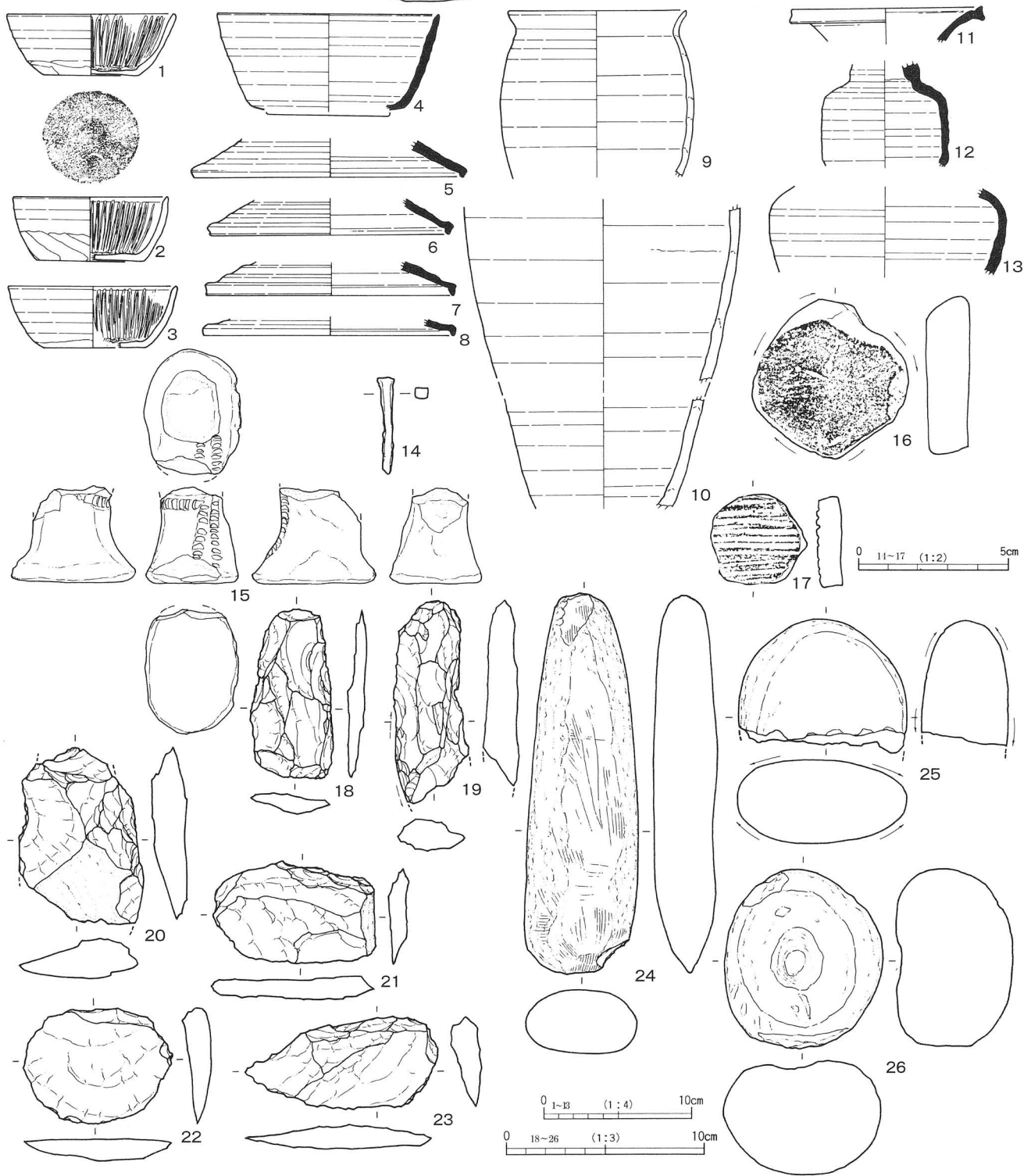


第109图 37~39号住 遺物

39号住

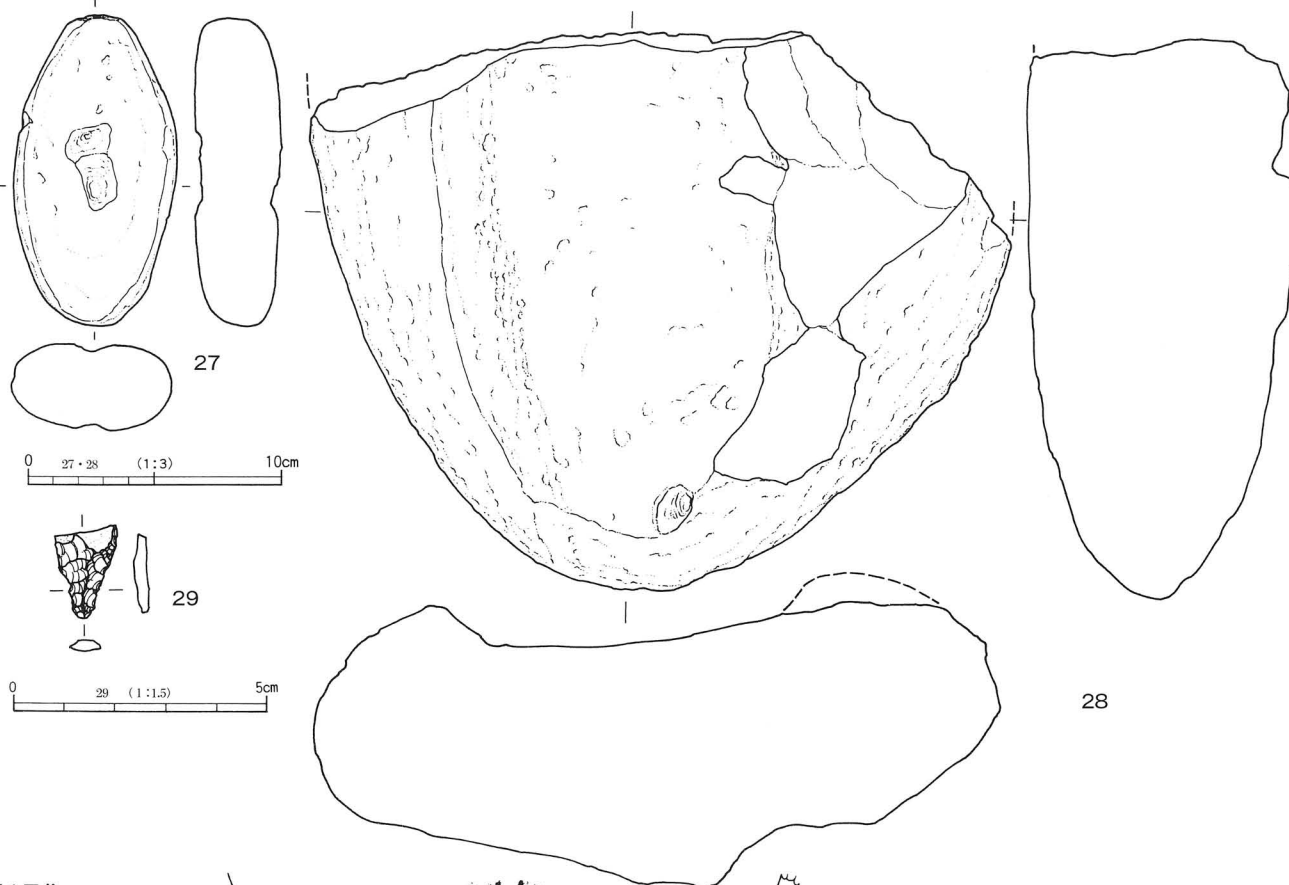


40号住

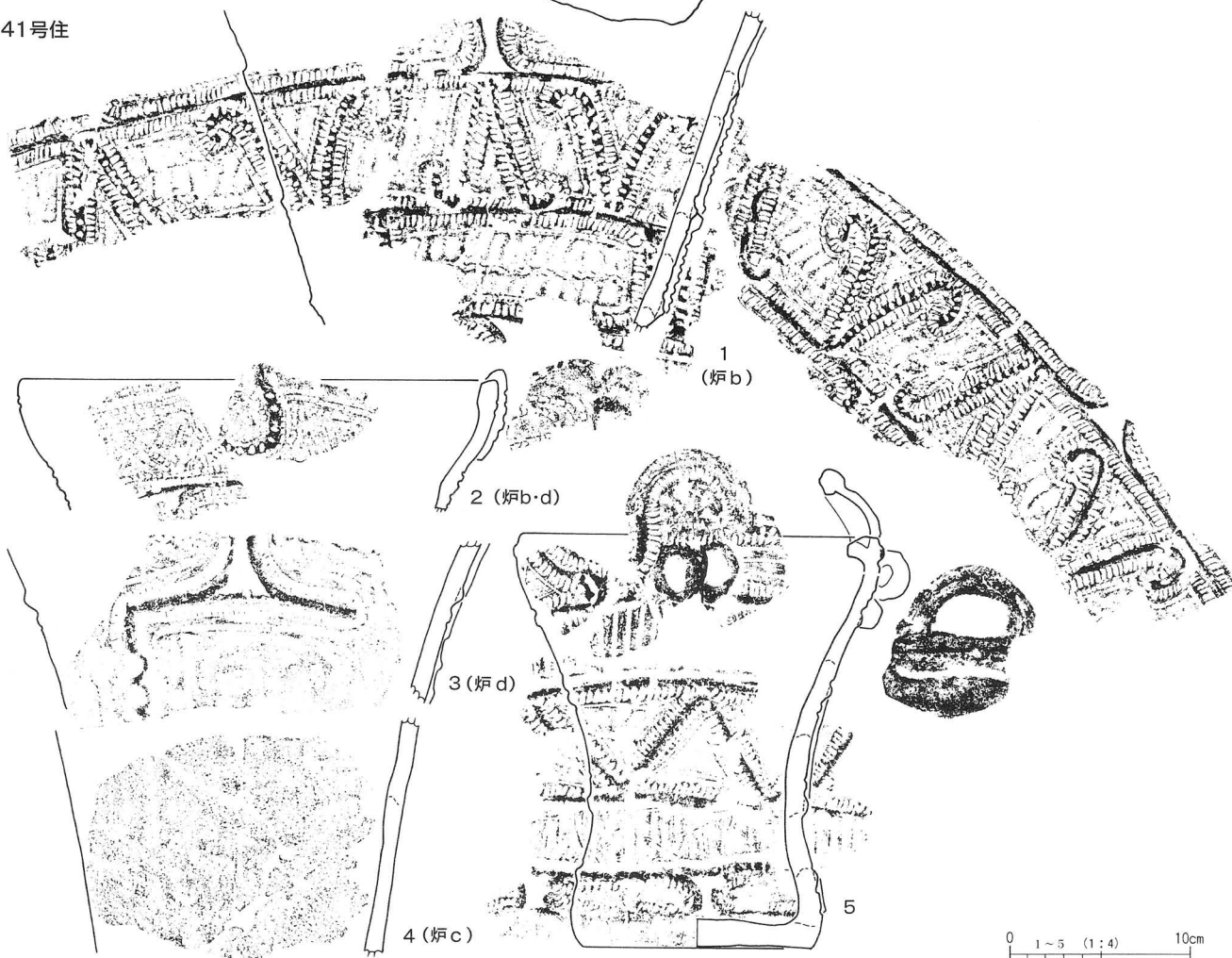


第110图 39·40号住 遺物

40号住

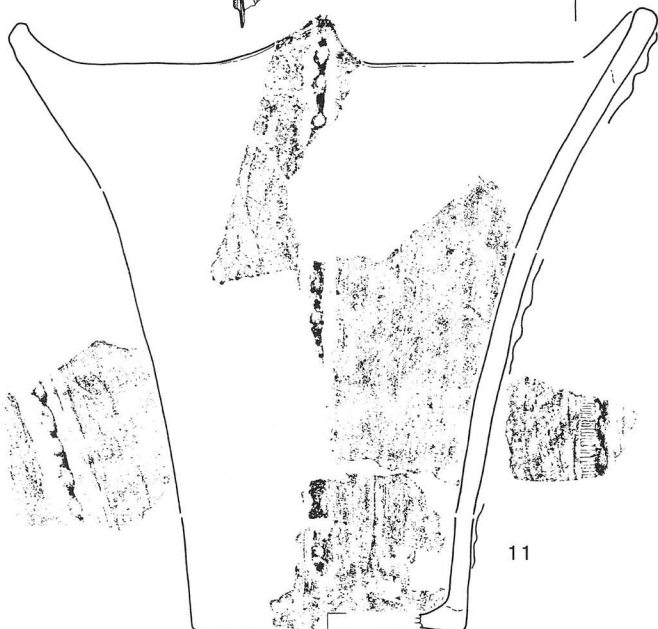
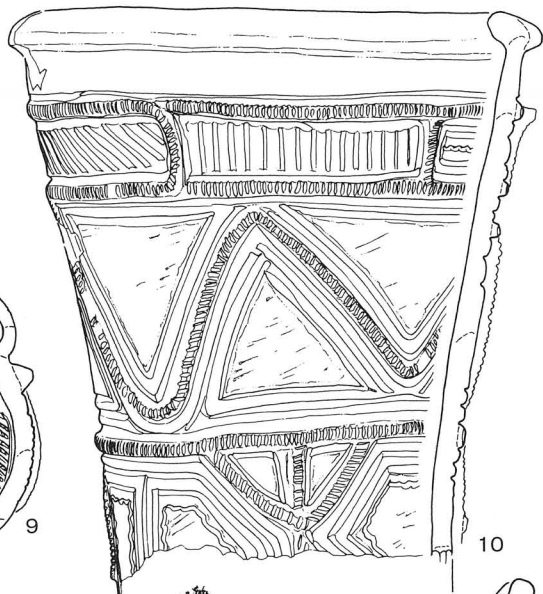
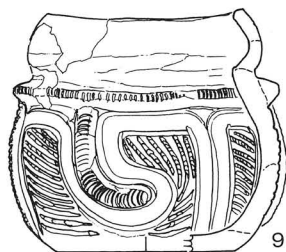
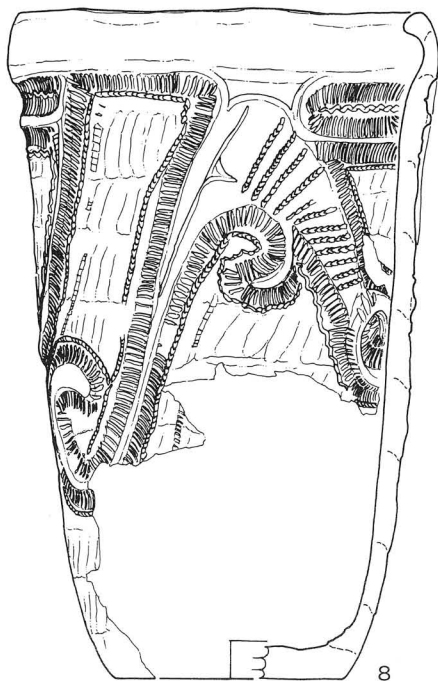
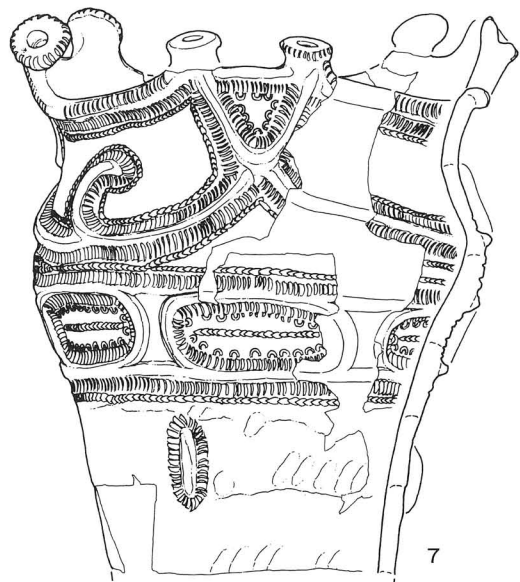
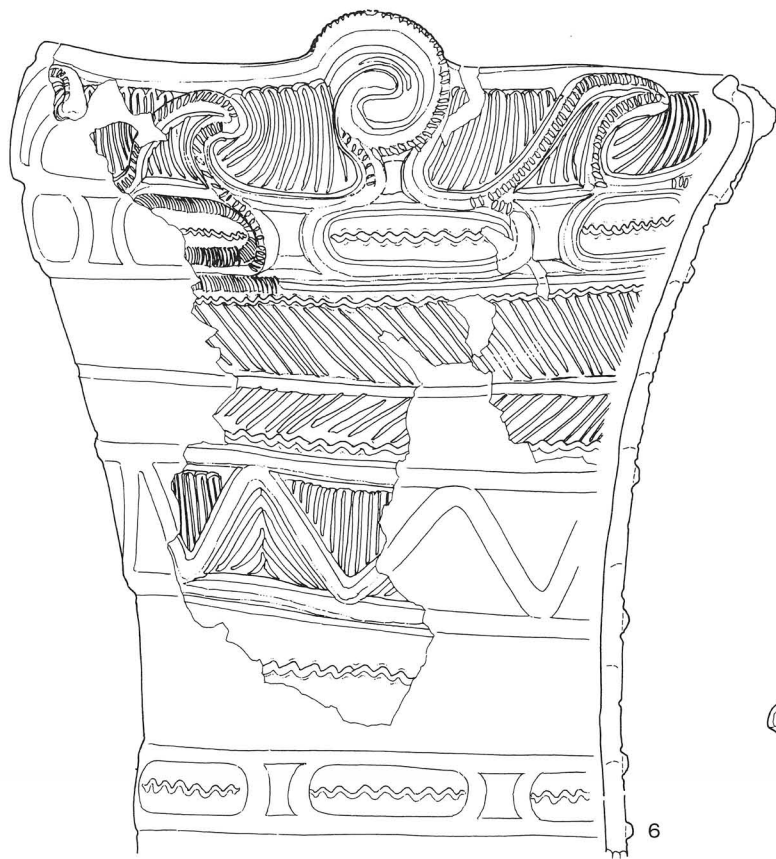


41号住



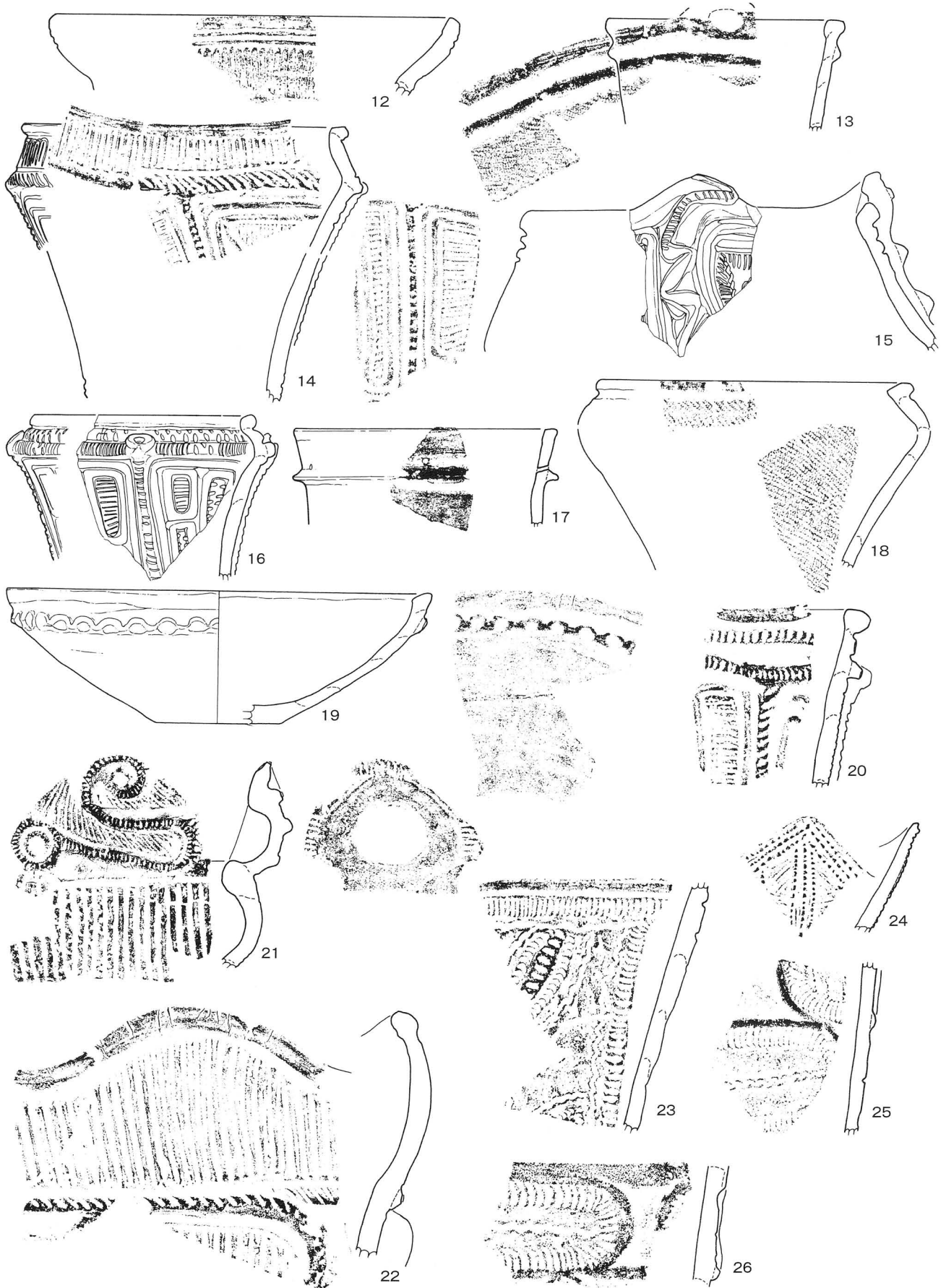
第111图 40·41号住 遺物





0 6-11 (1:4) 10cm

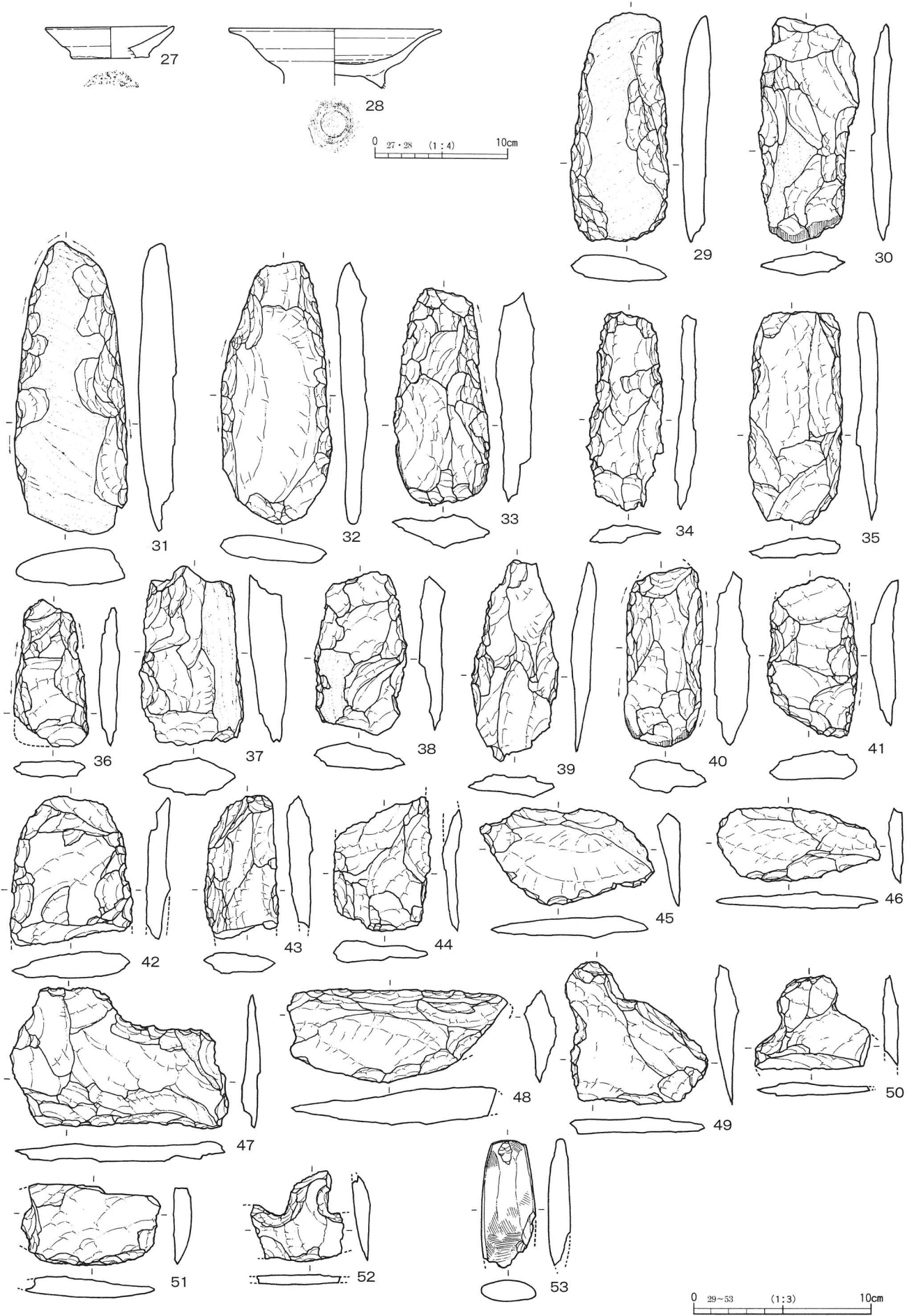
第112图 41号住 遺物



0 12-19 (1:4) 10cm

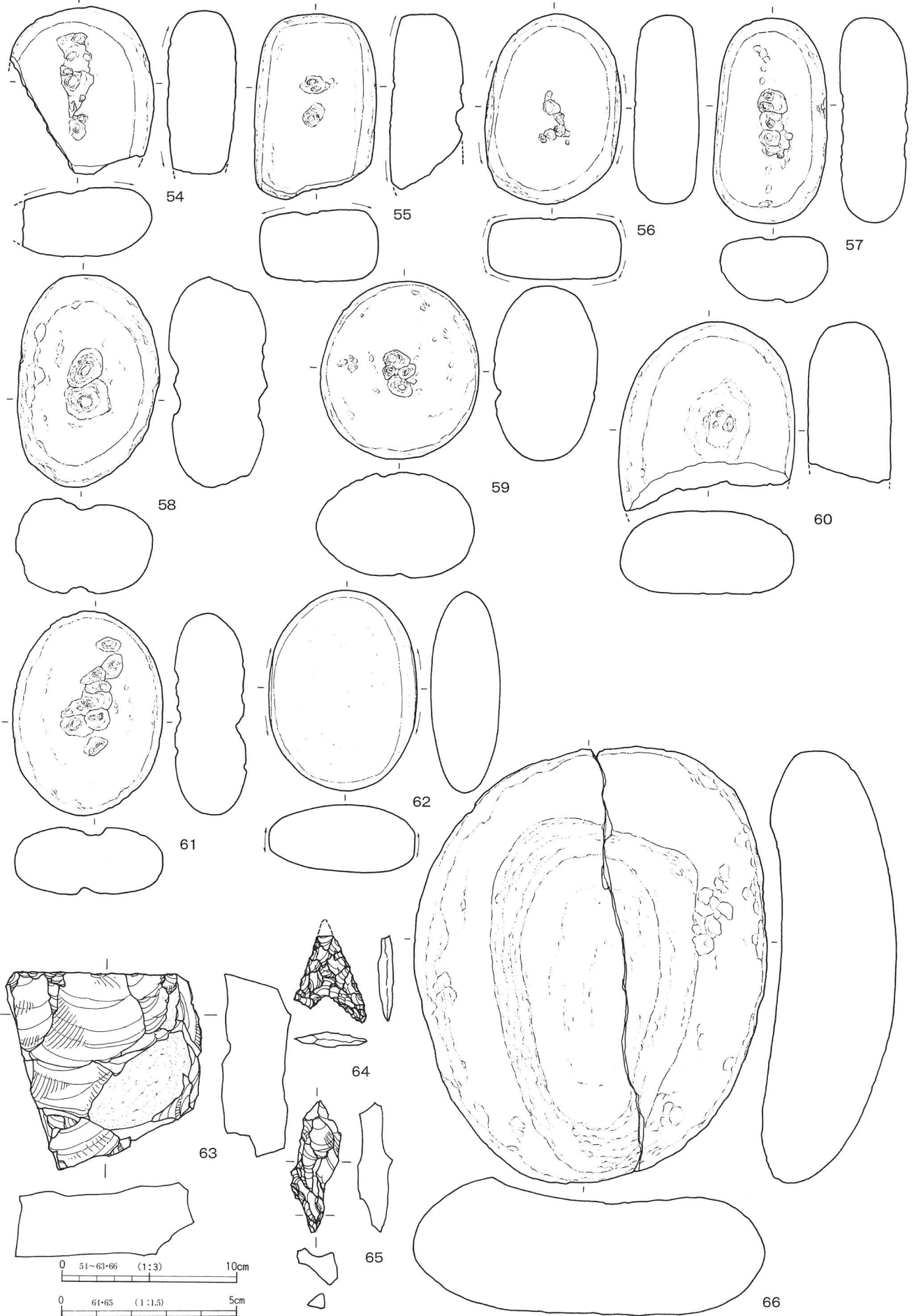
0 20-26 (1:3) 10cm

第113图 41号住 遺物

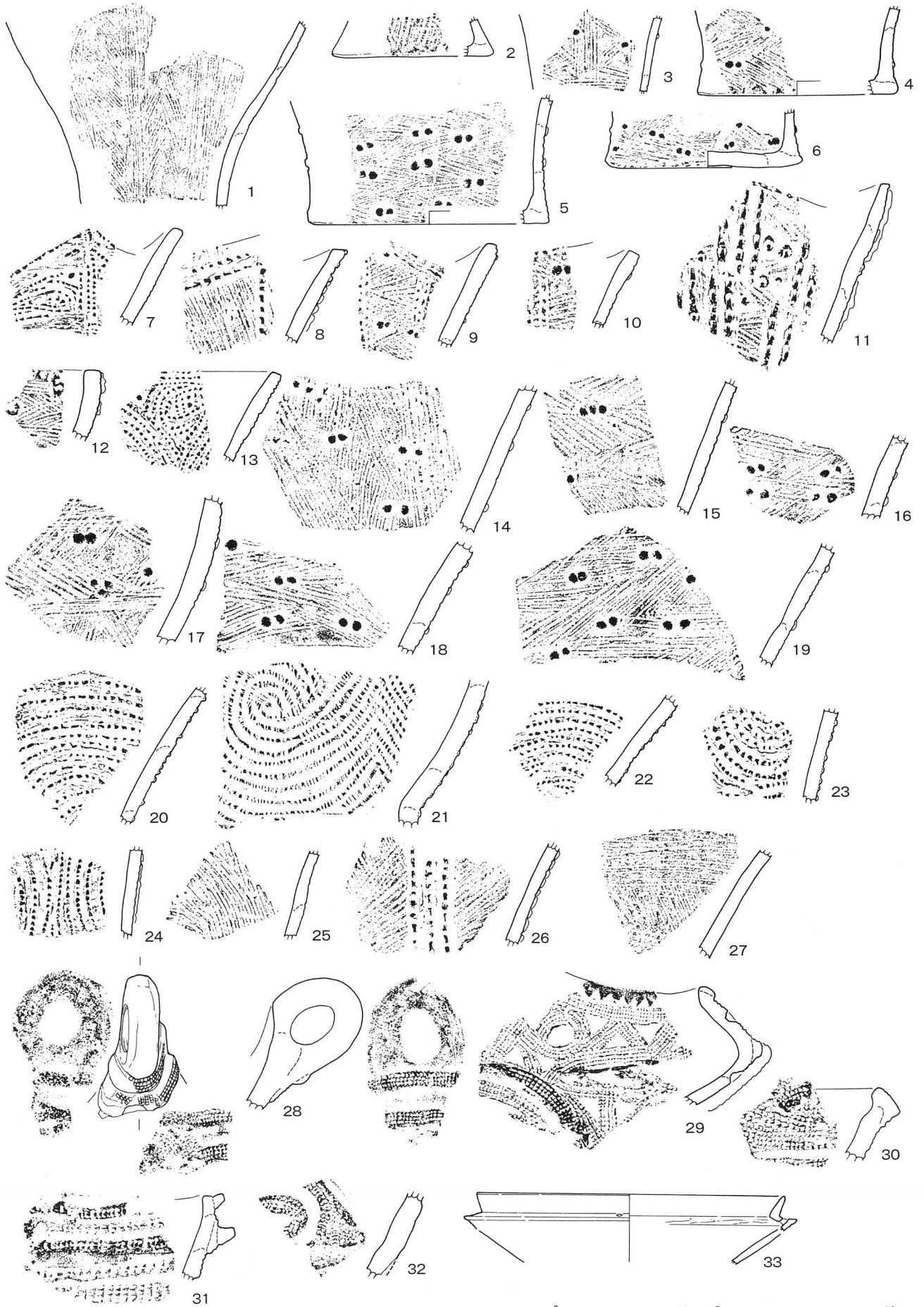


第114图 41号住 遺物

41号住

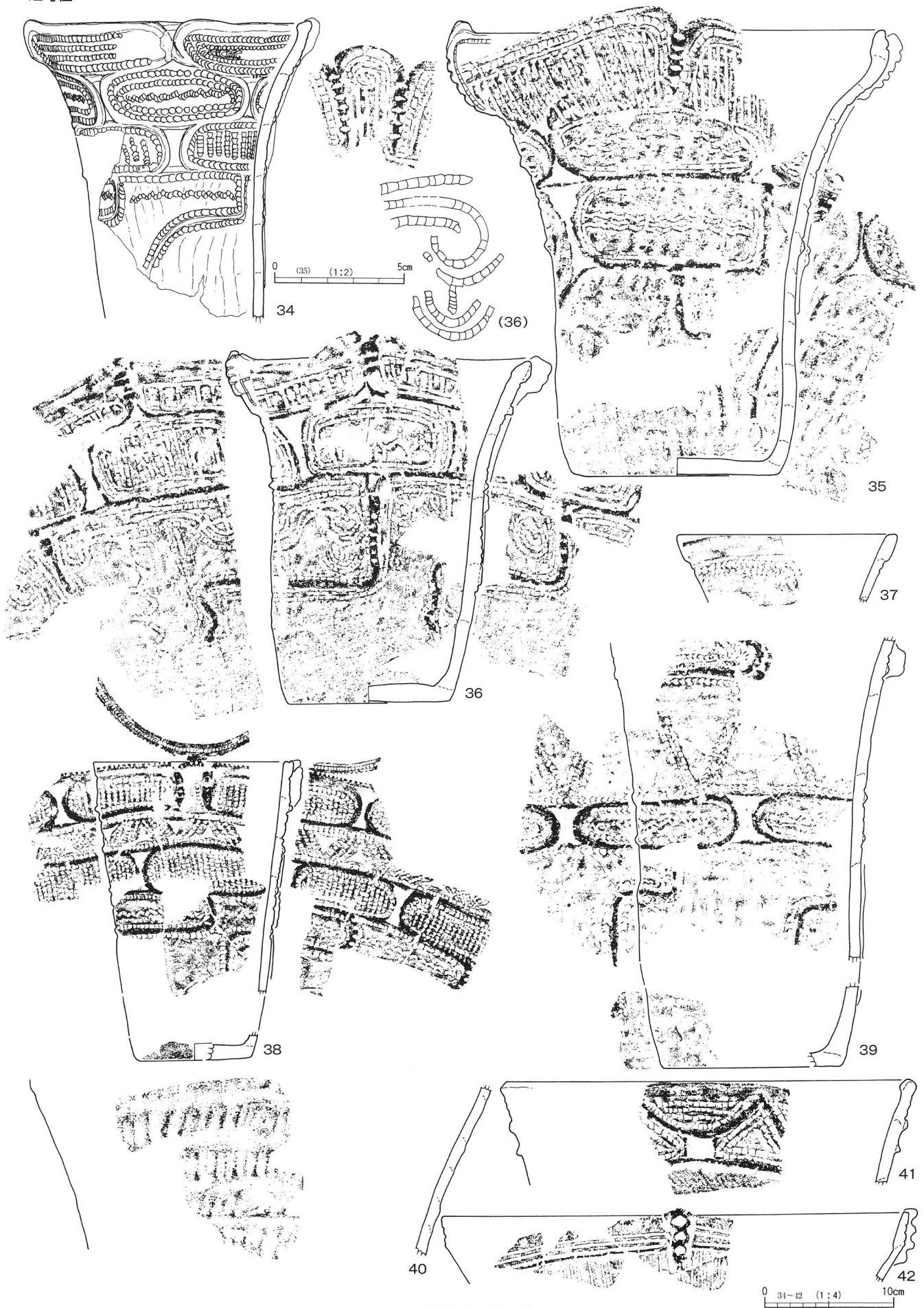


第115图 41号住 遺物

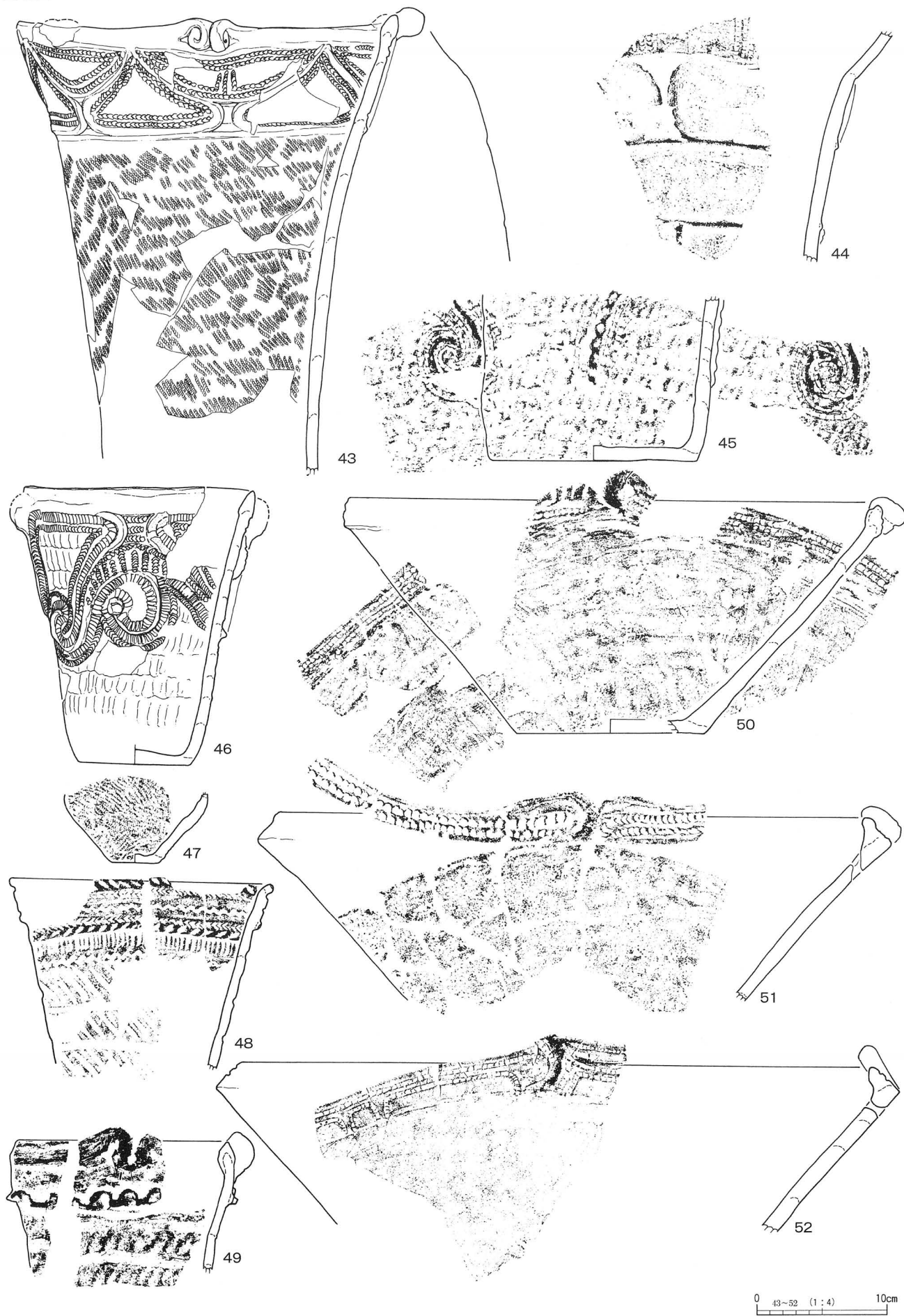


第116图 42号住 遺物

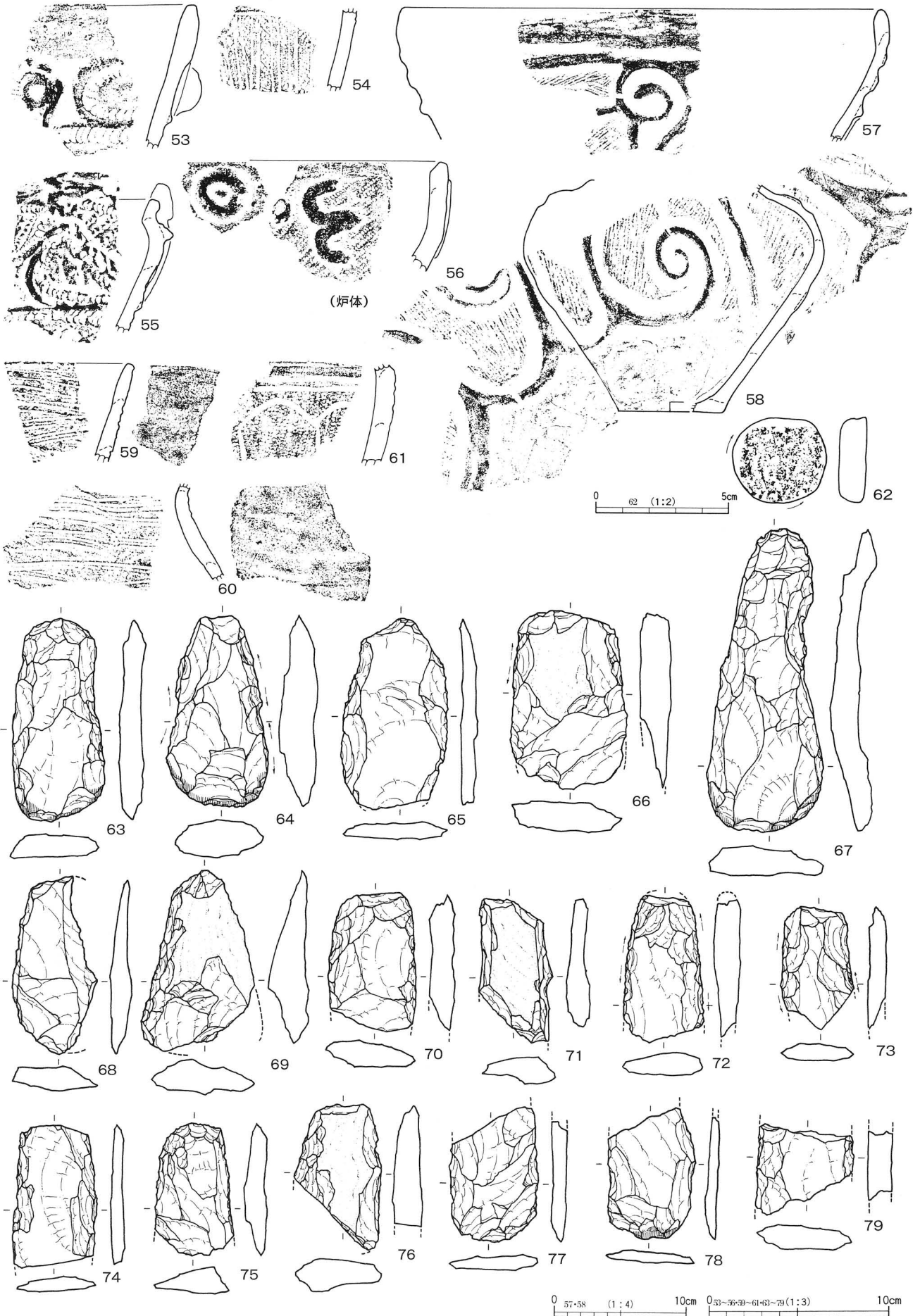




第117图 42号住 遺物

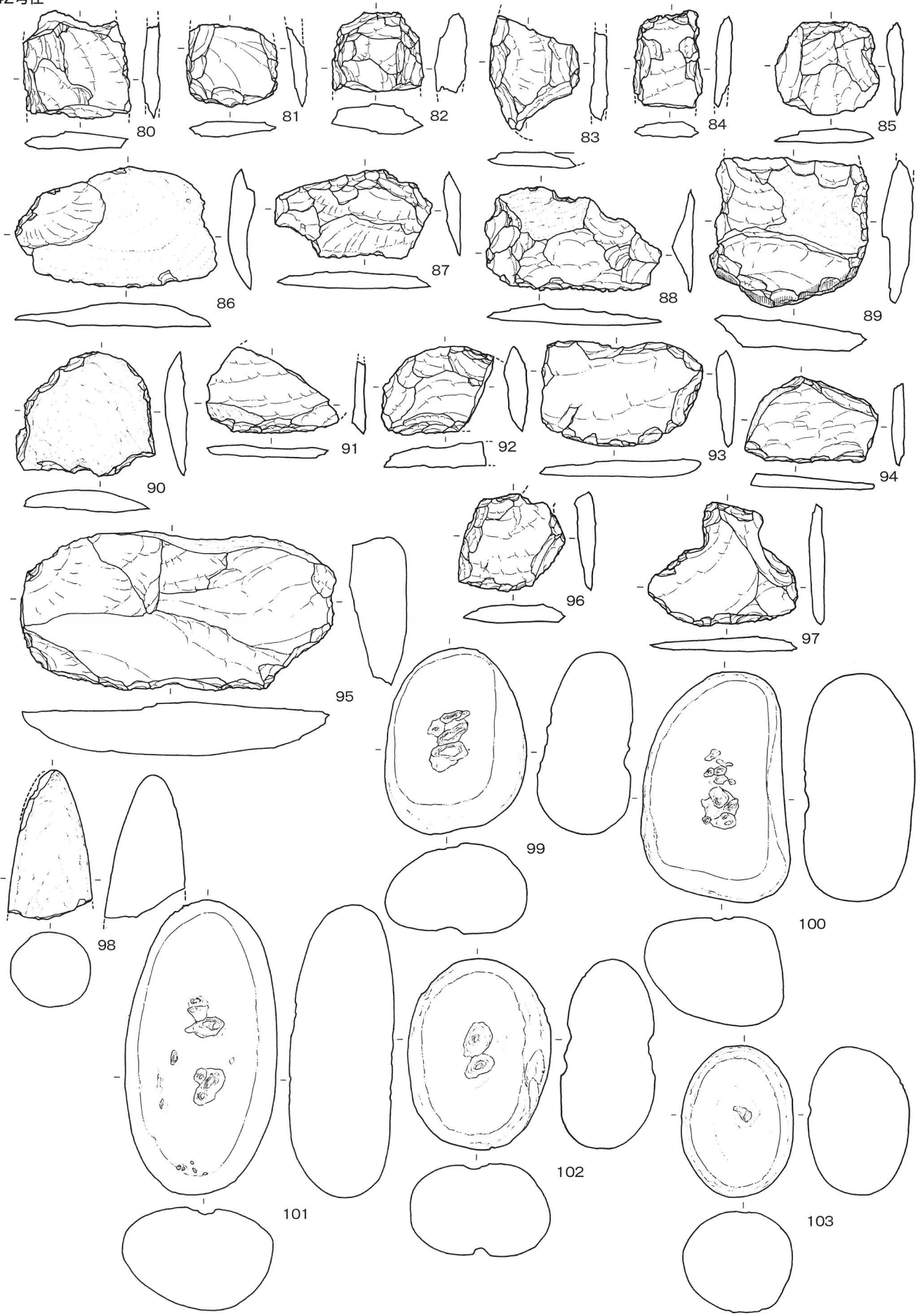


第118图 42号住 遺物



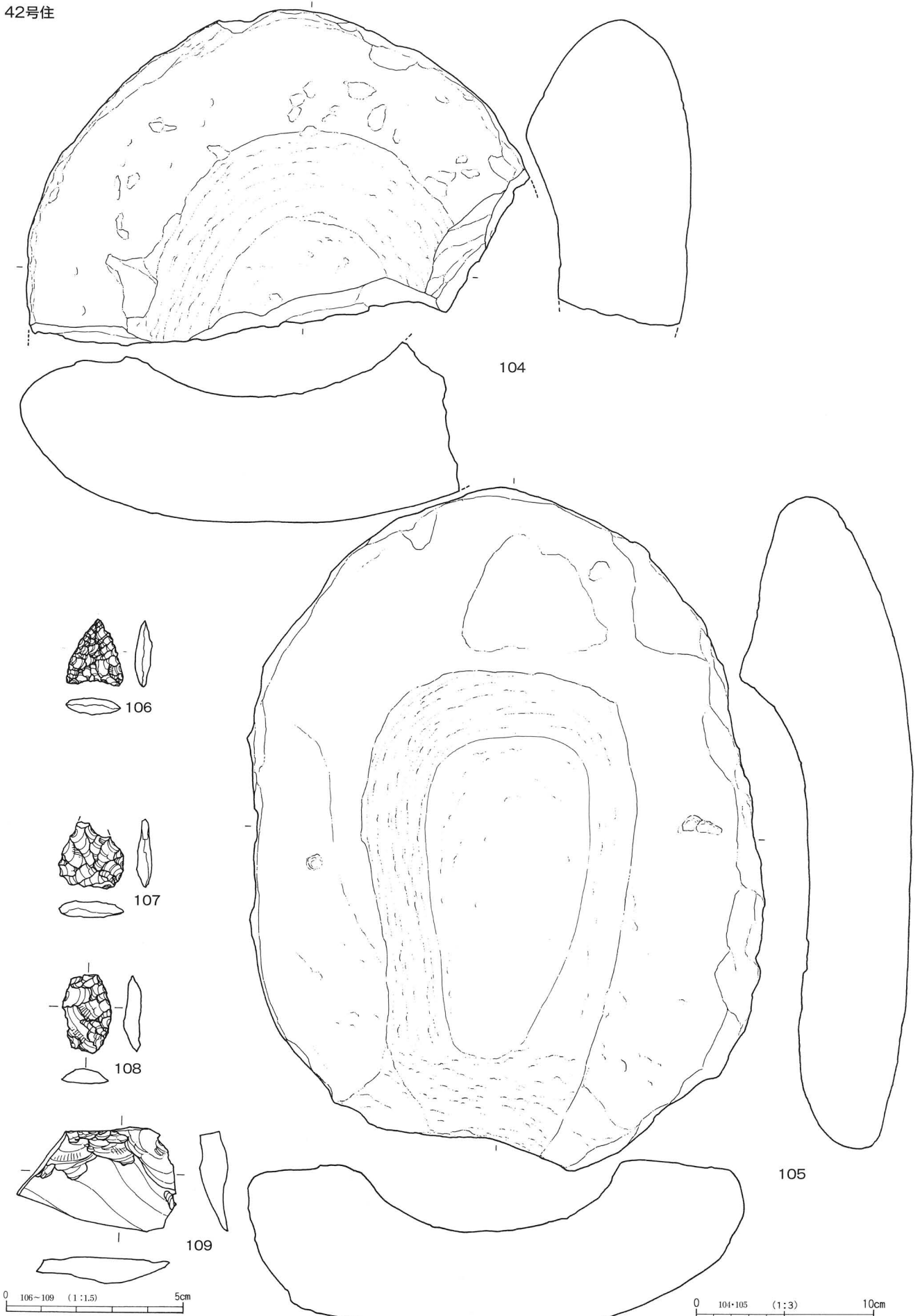
第119图 42号住 遺物

42号住



第120图 42号住 遺物

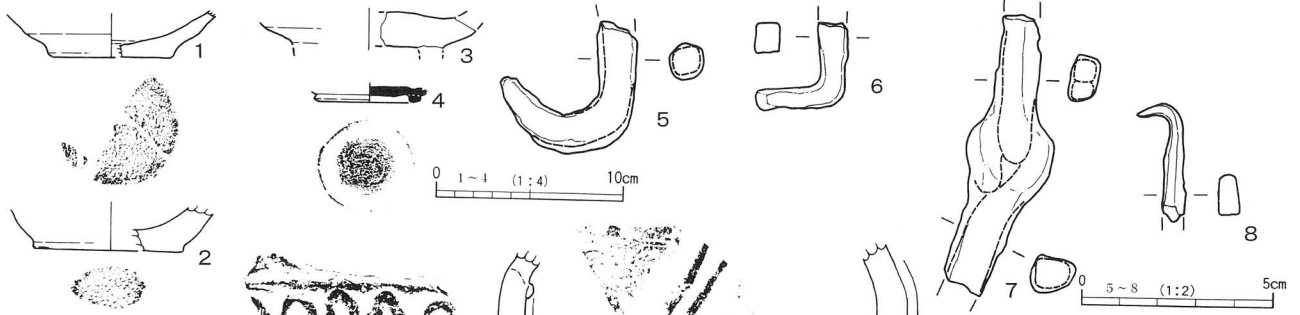
42号住



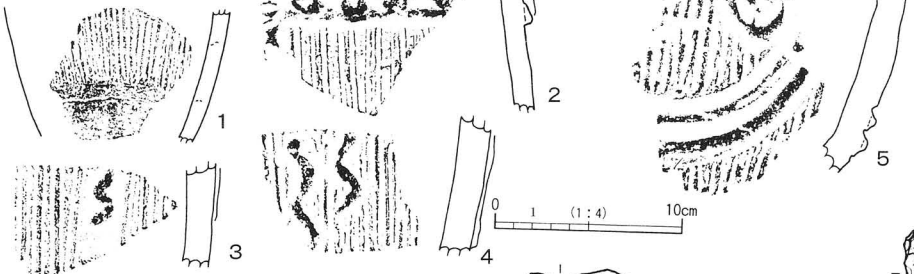
第121图 42号住 遺物



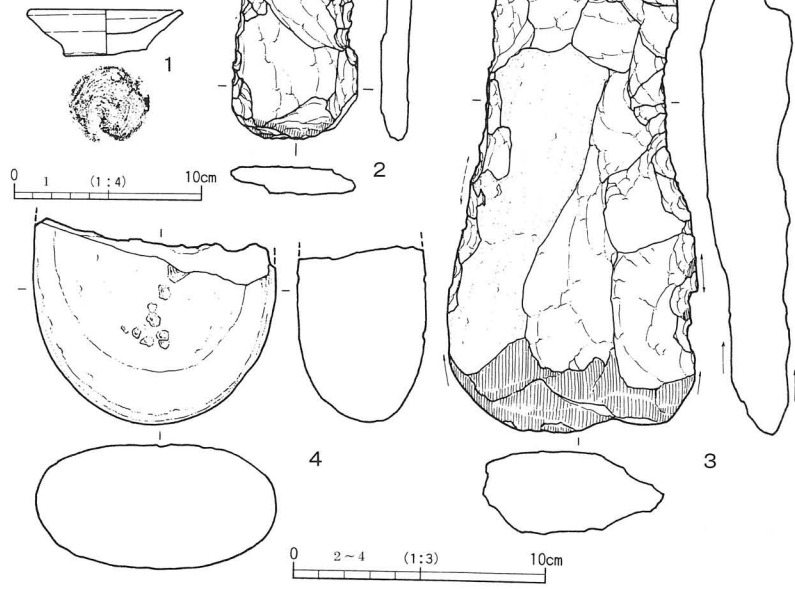
44号住



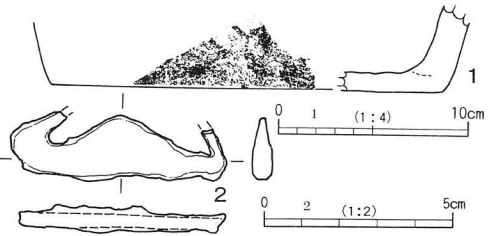
45号住



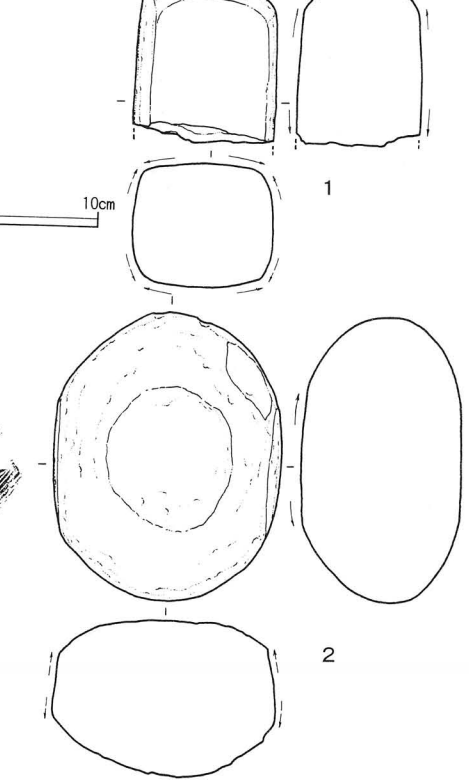
46号住



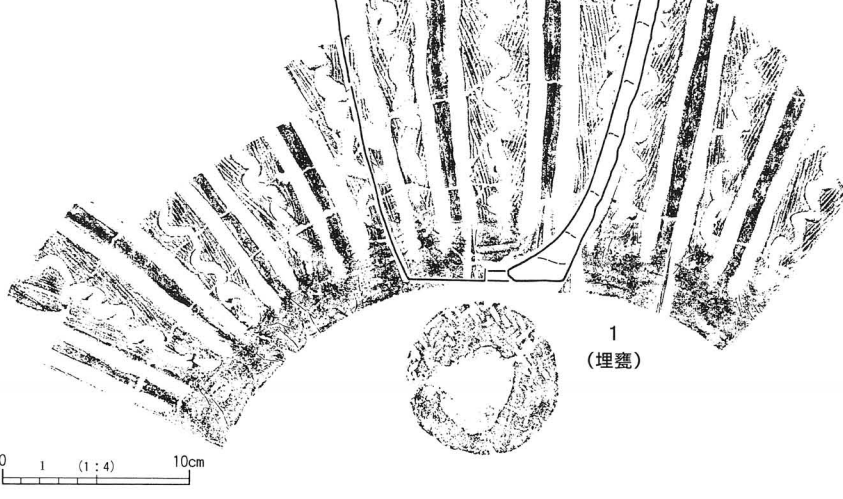
47号住



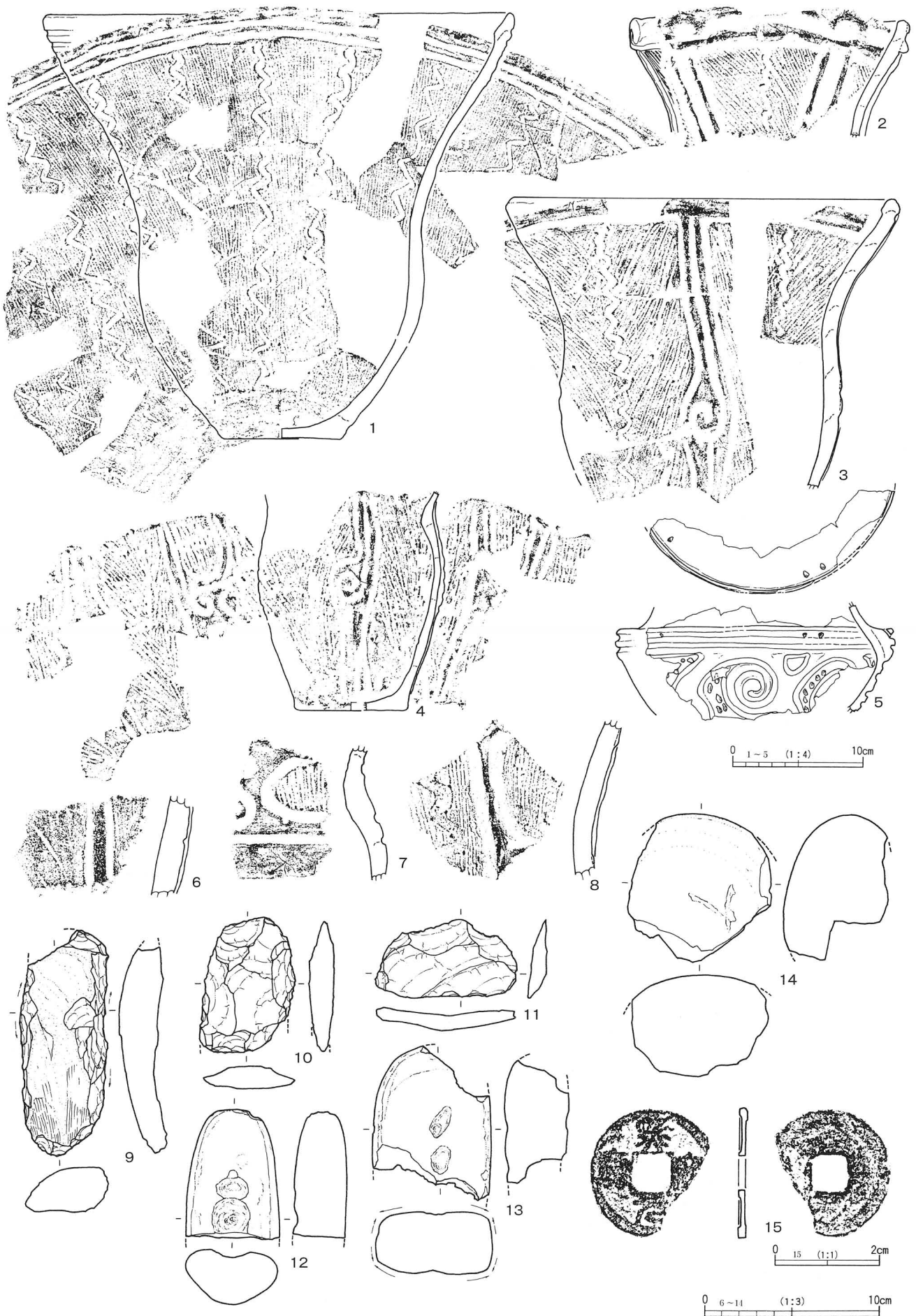
48号住



49号住

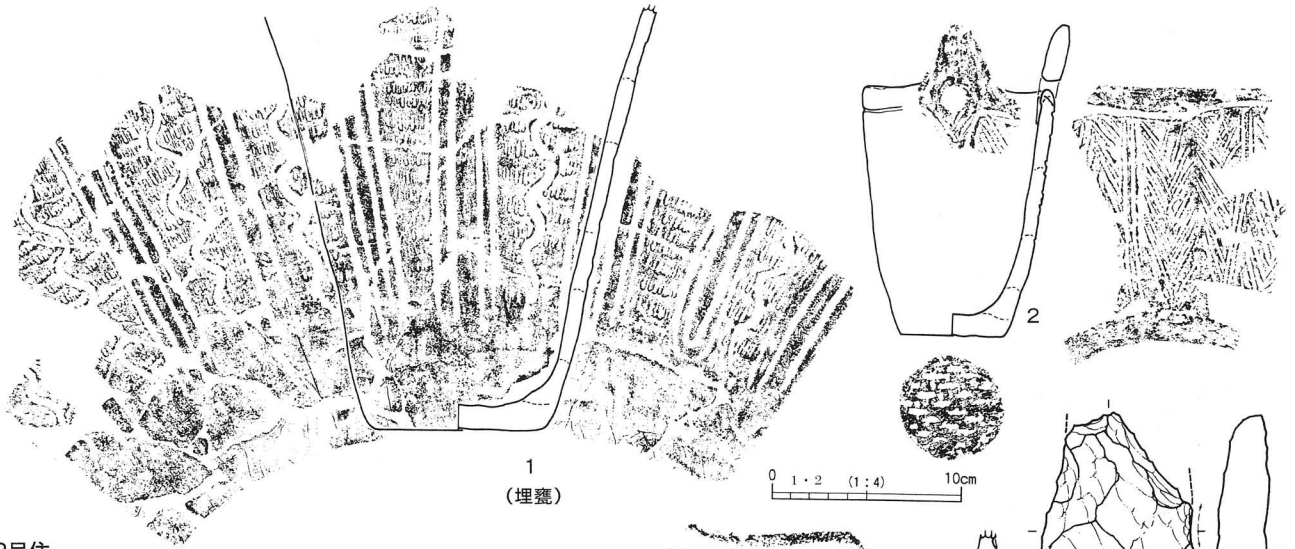


第122図 44~49号住 遺物

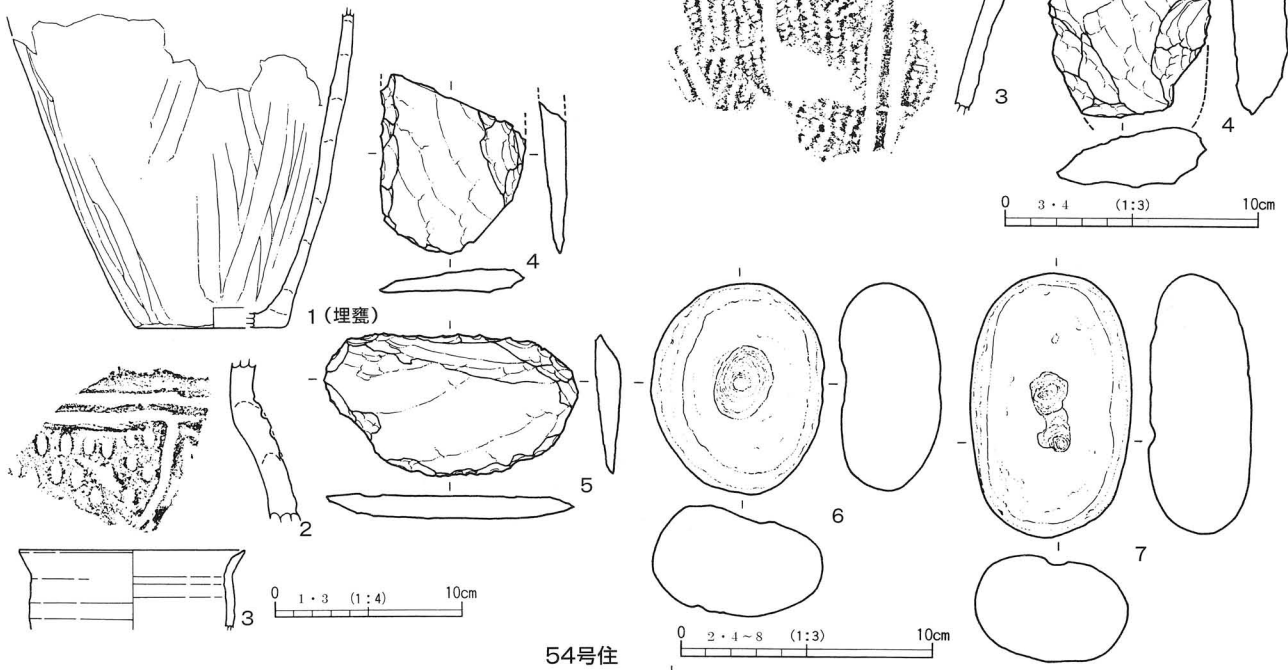


第123图 50号住 遺物

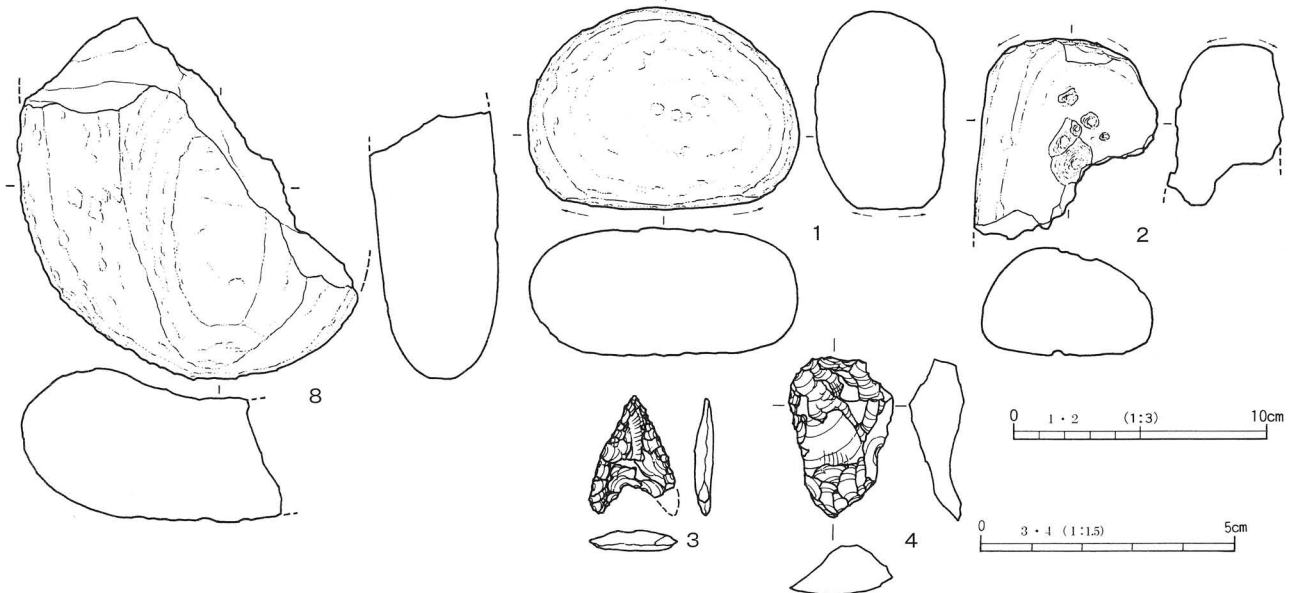
51号住



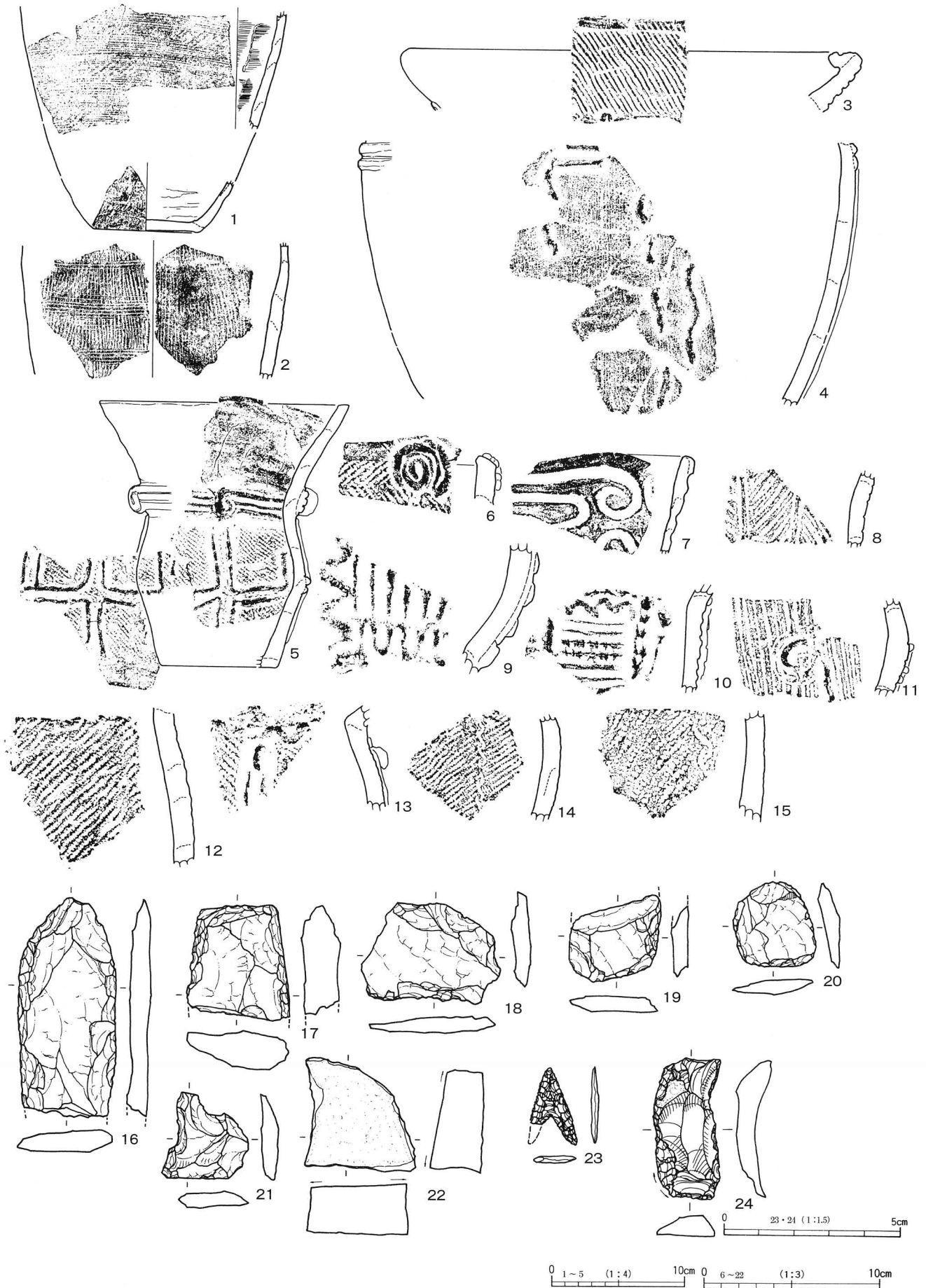
52号住



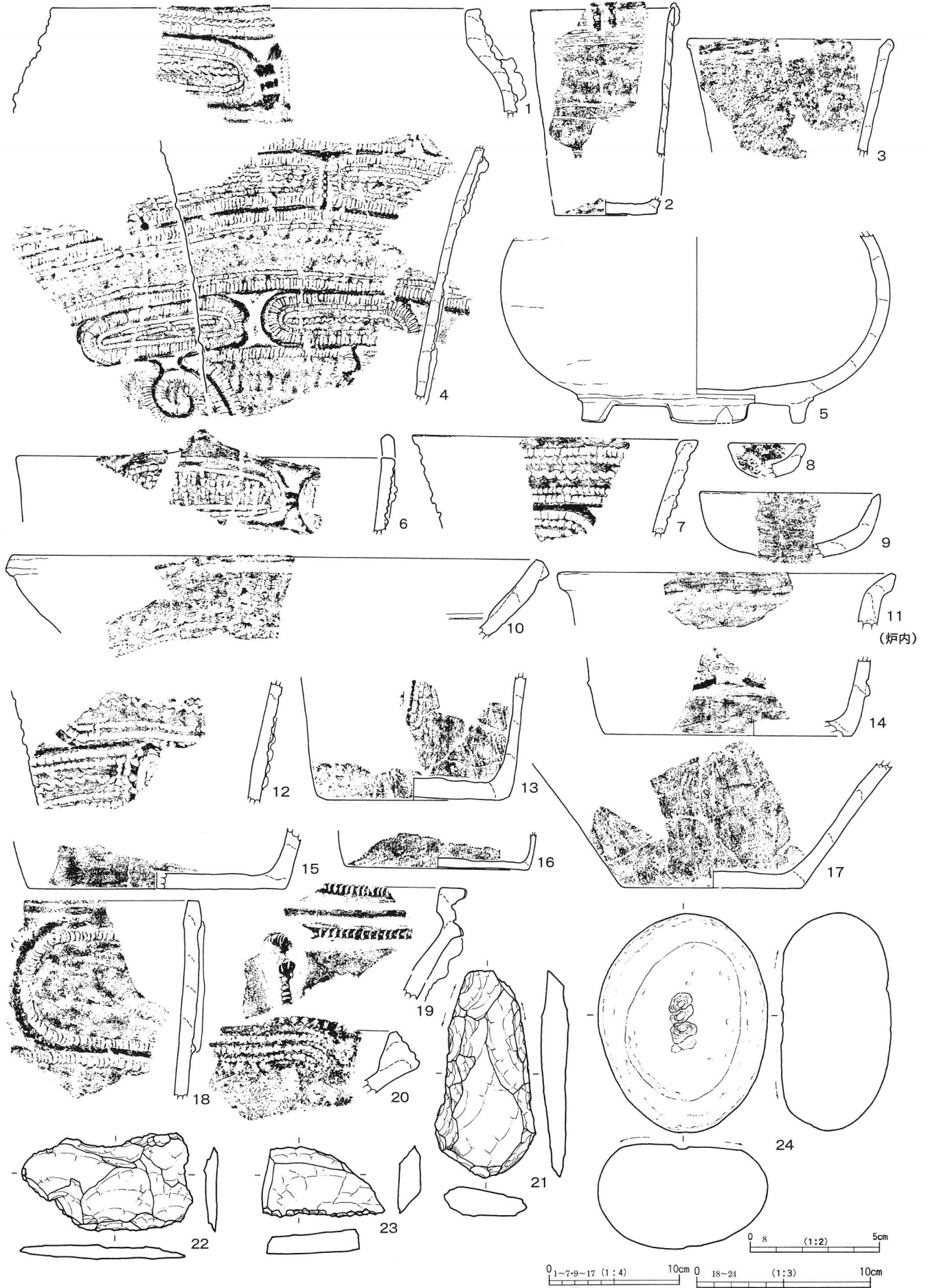
54号住



第124图 51·52·54号住 遺物



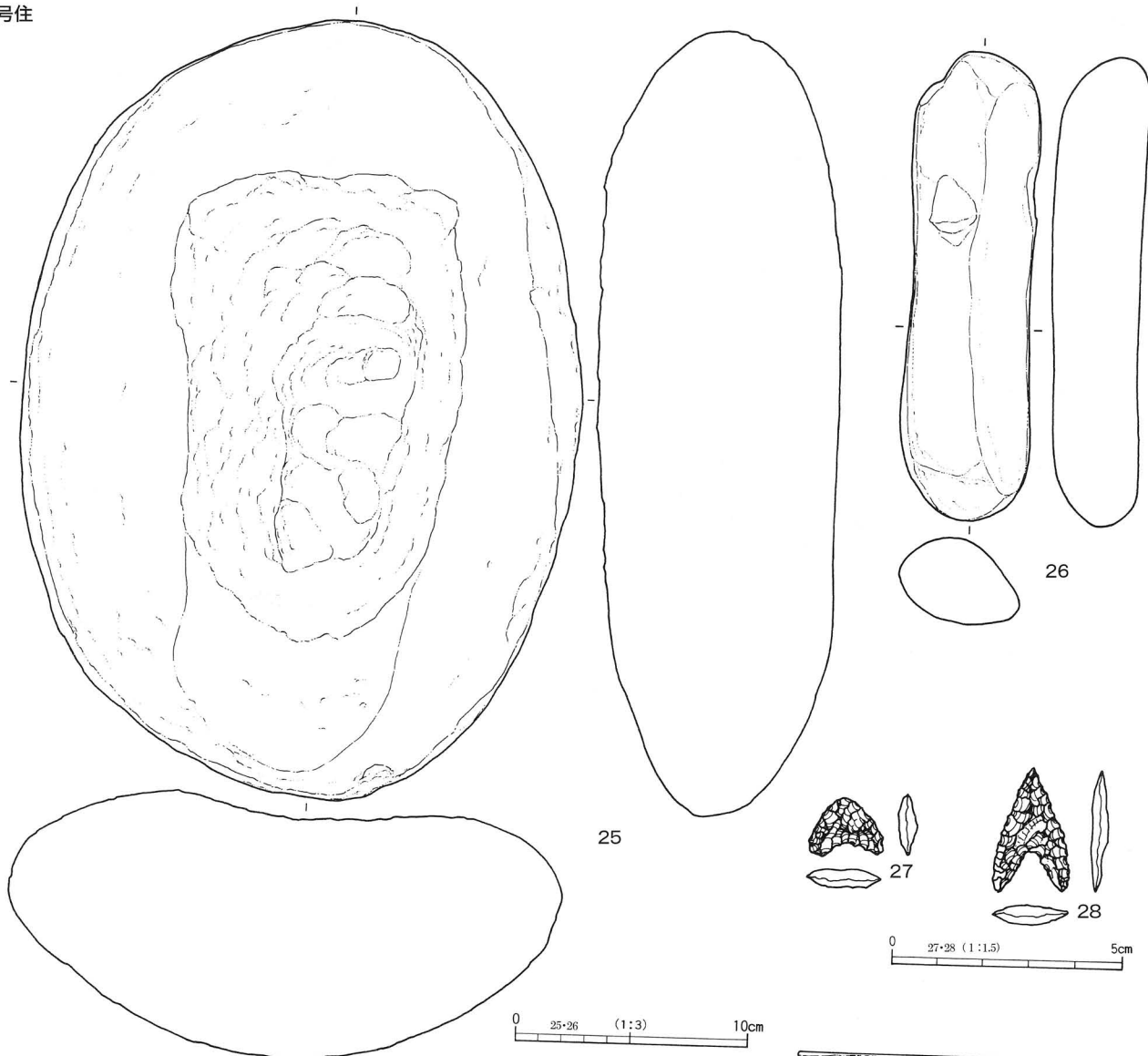
第125图 55号住 遺物



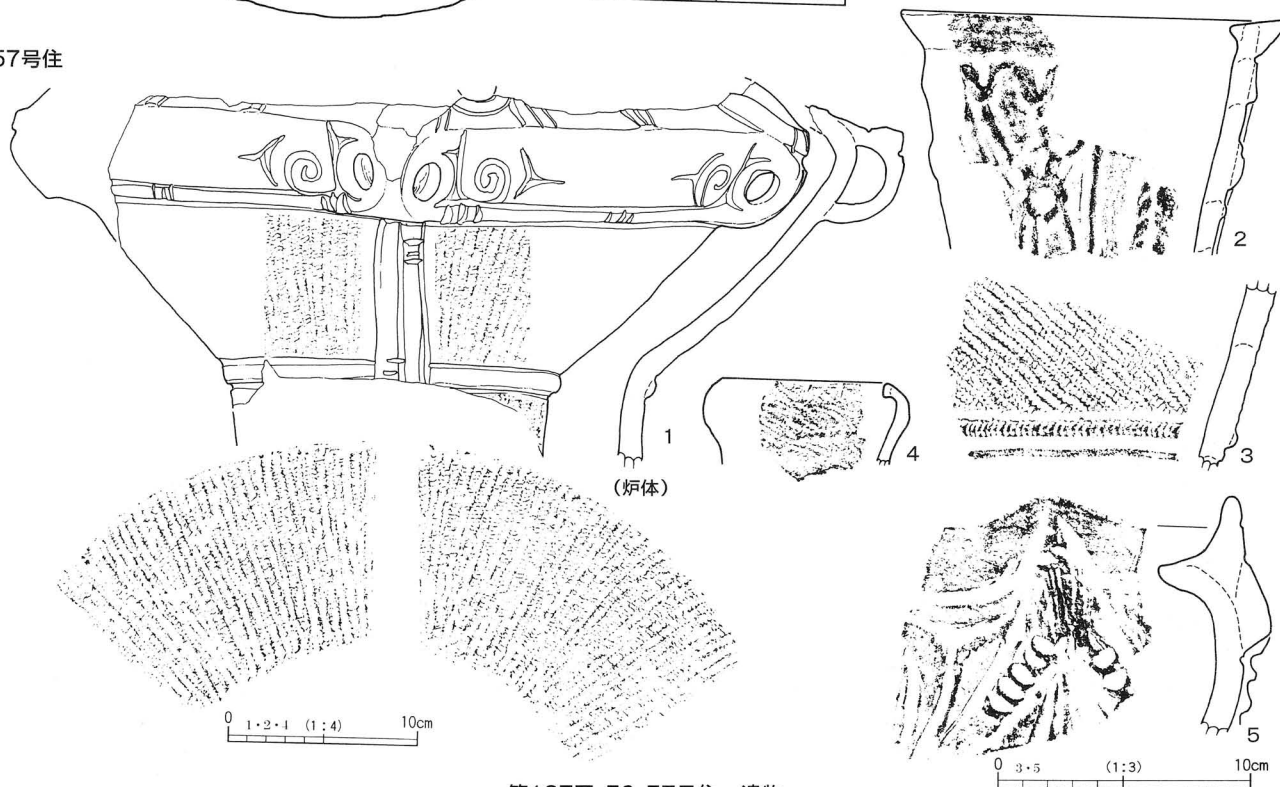
第126图 56号住 遺物



56号住



57号住

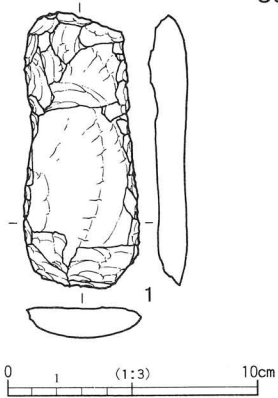


第127图 56·57号住 遺物

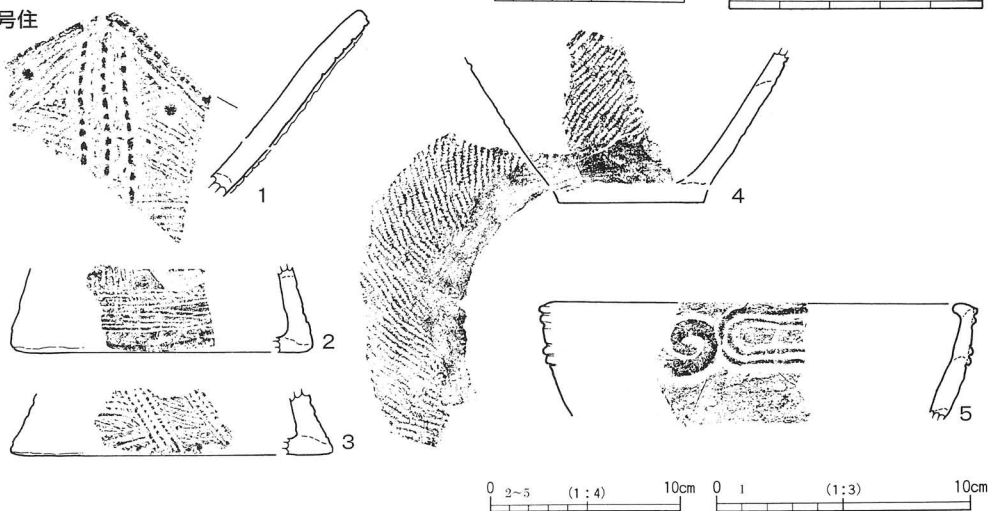
57号住



58号住

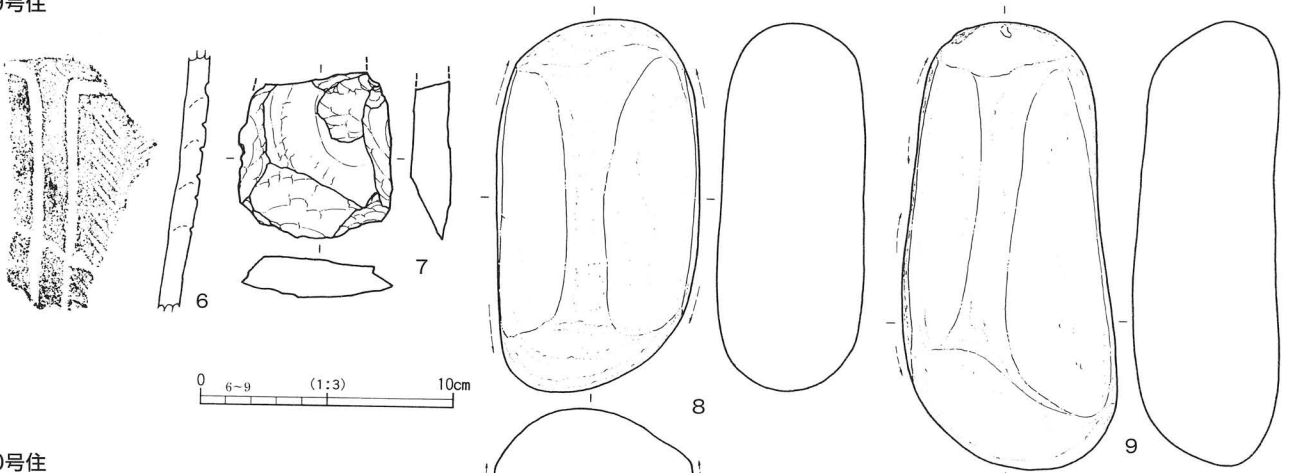


59号住

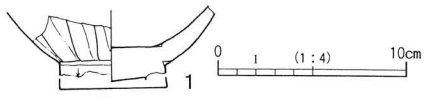


第128图 57·58·59号住 遺物

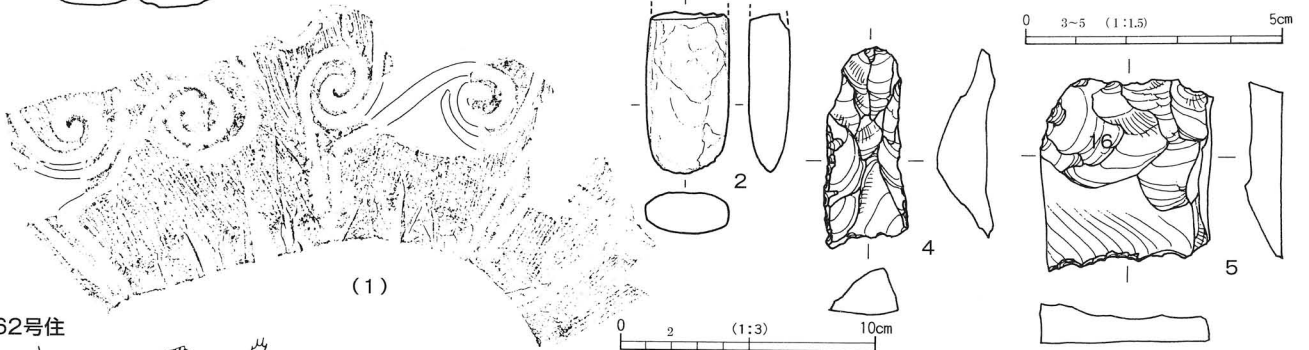
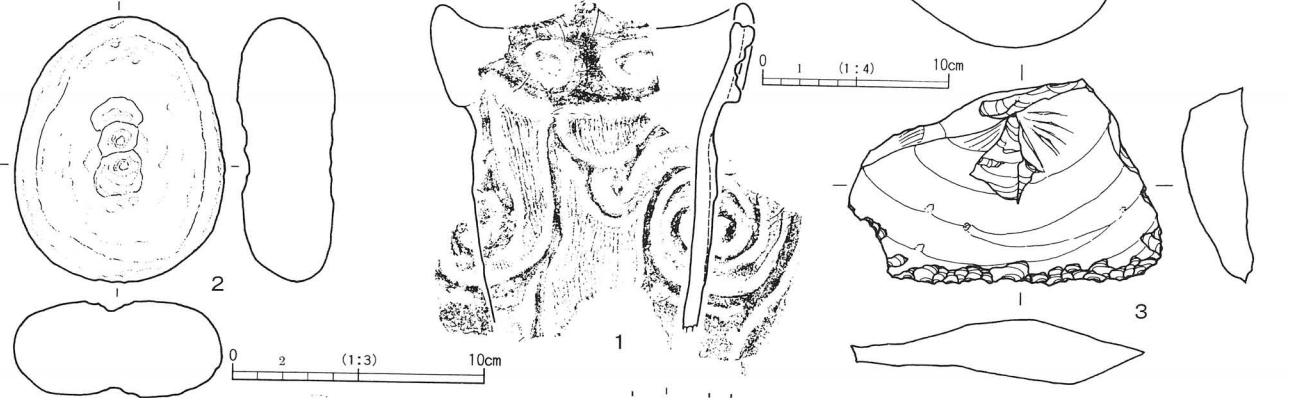
59号住



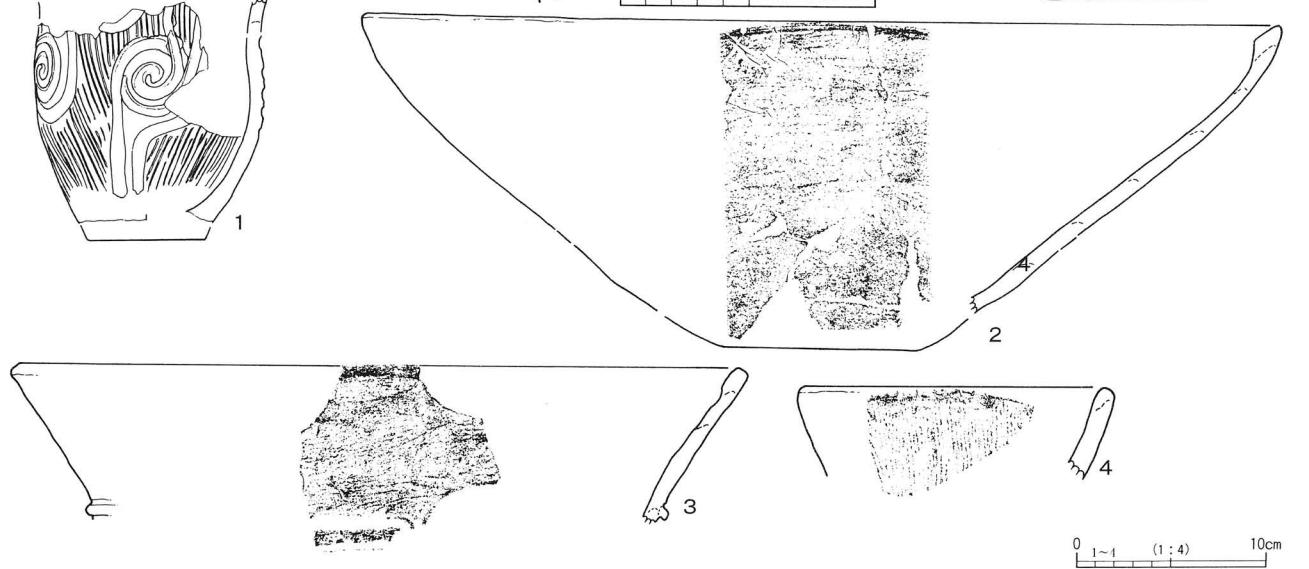
60号住



61号住

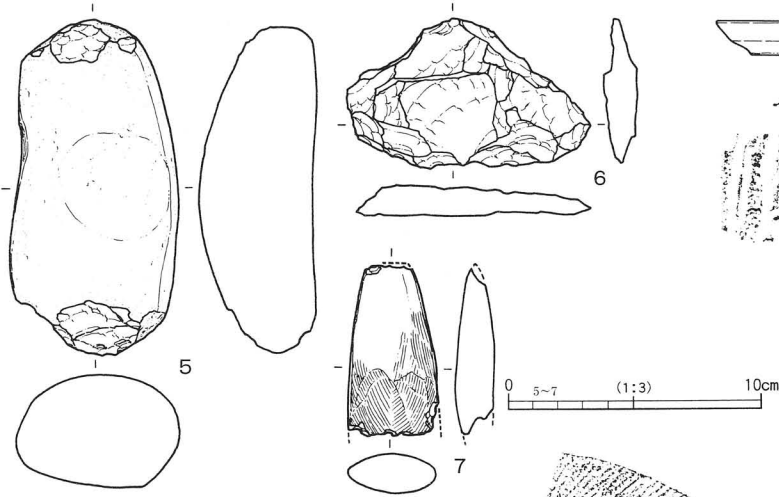


62号住

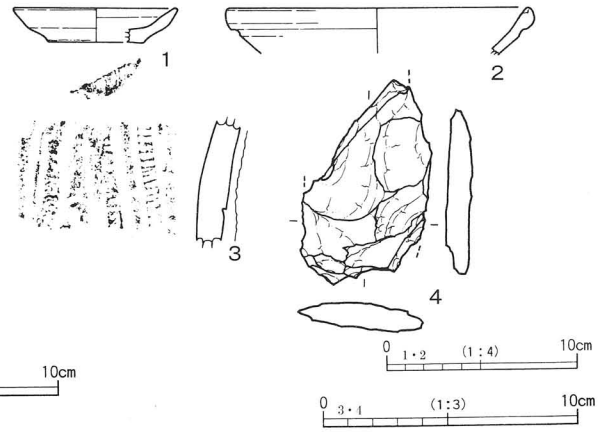


第129图 59~62号住 遺物

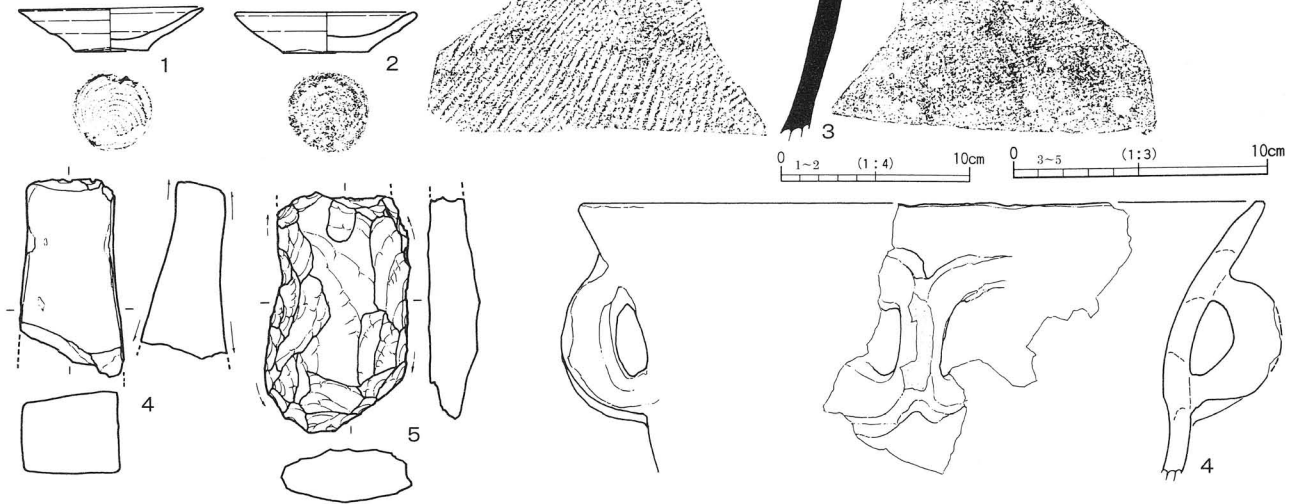
62号住



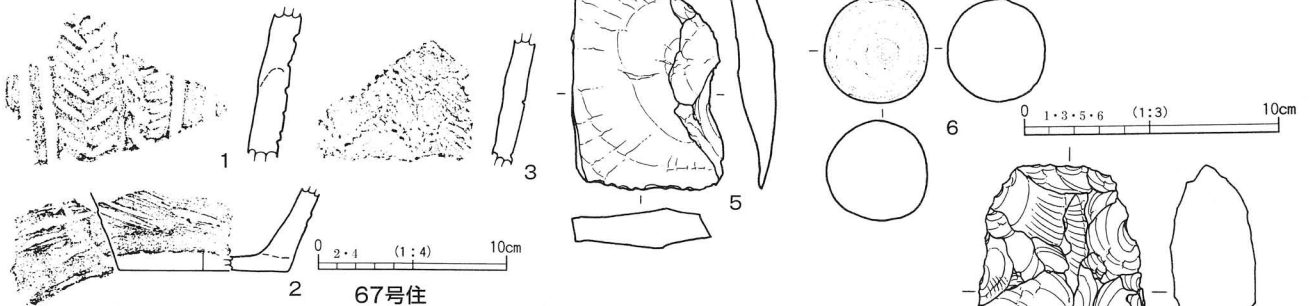
63号住



64号住



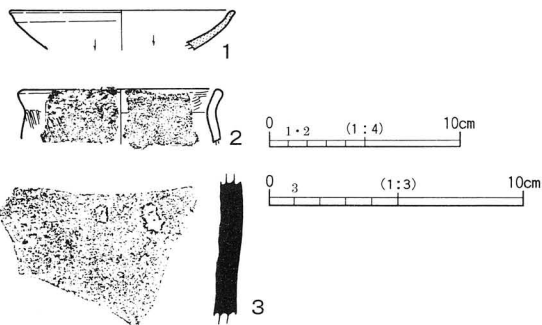
65号住



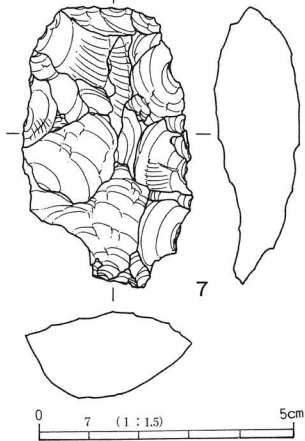
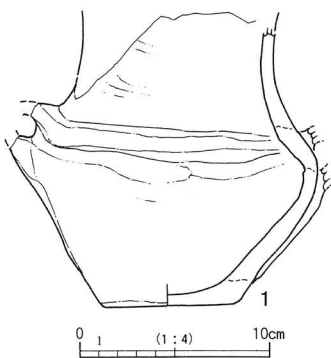
67号住



68号住

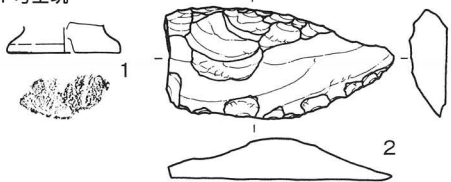


66号住

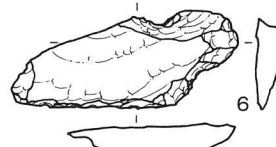
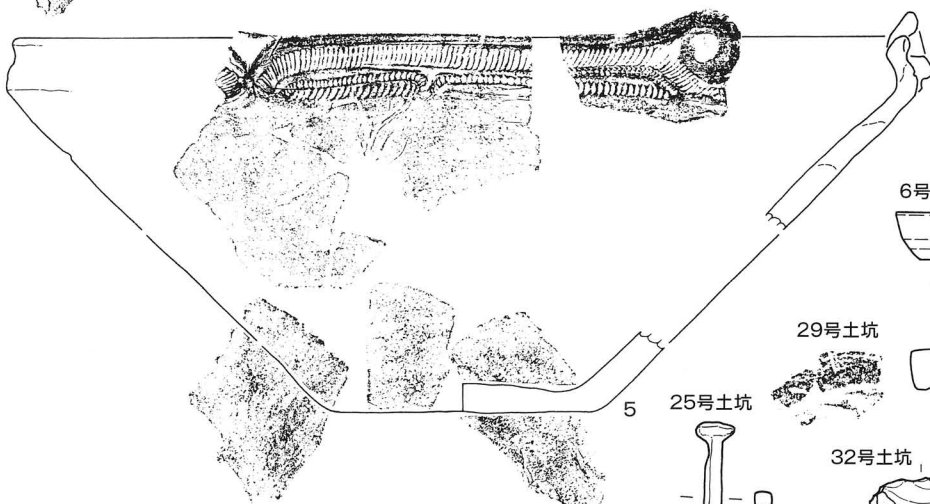
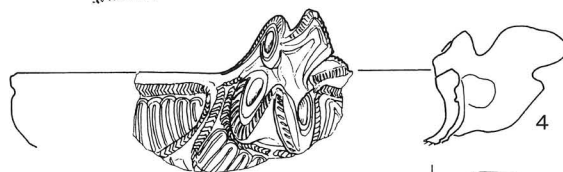
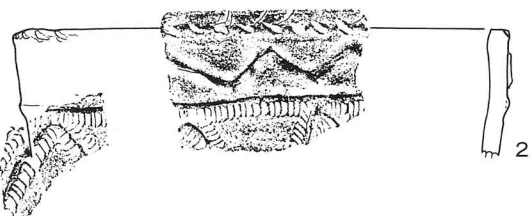


第130图 62~68号住 遺物

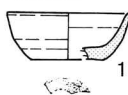
1号土坑



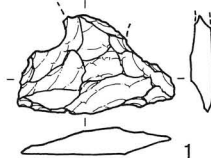
3号土坑



6号土坑



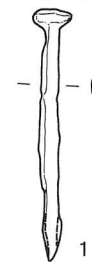
19号土坑



29号土坑



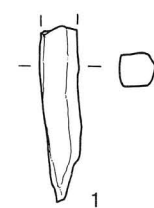
25号土坑



32号土坑



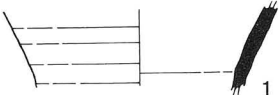
33号土坑



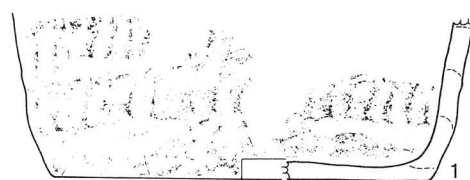
20号土坑



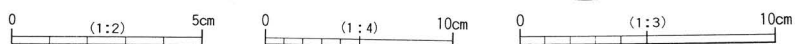
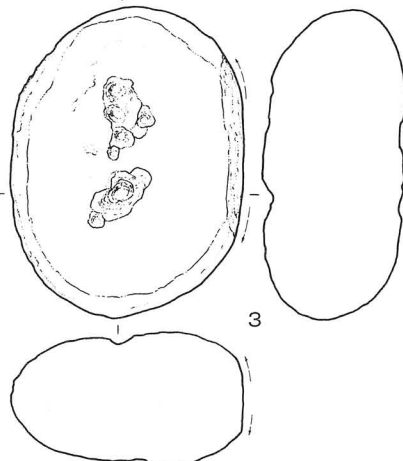
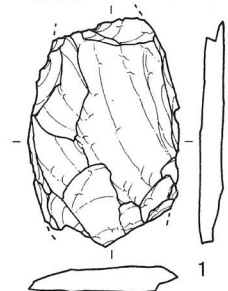
24号土坑



35号土坑



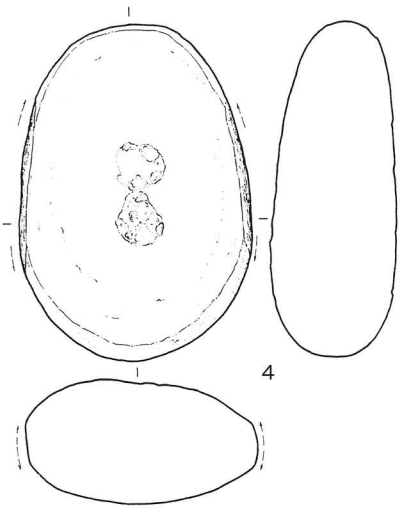
34号土坑



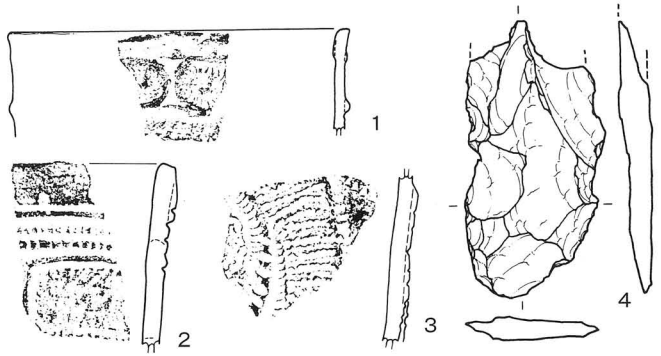
第131图 1·3·6·19·20·24·25·29·32~35号土坑 遺物



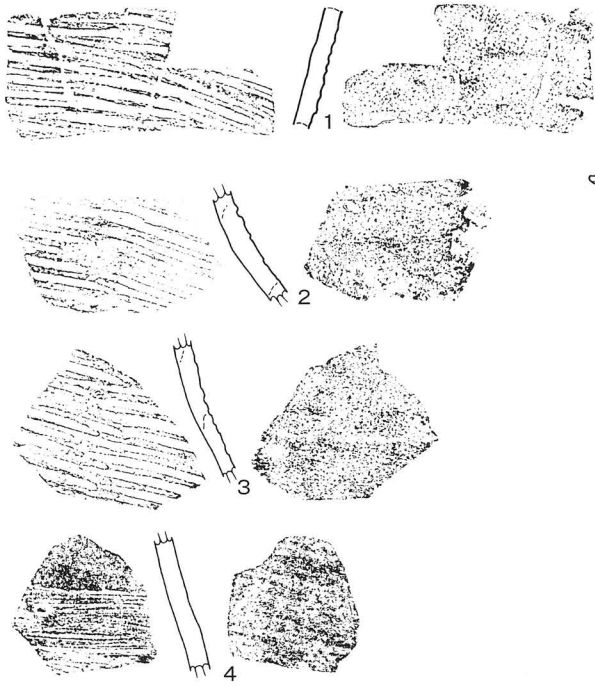
35号土坑



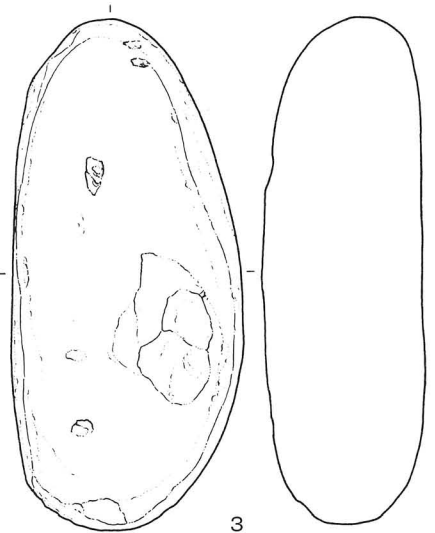
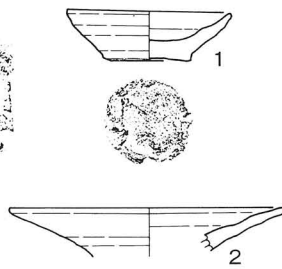
38号土坑



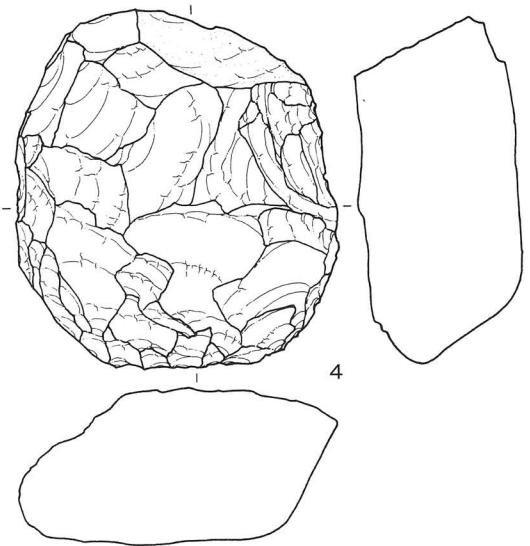
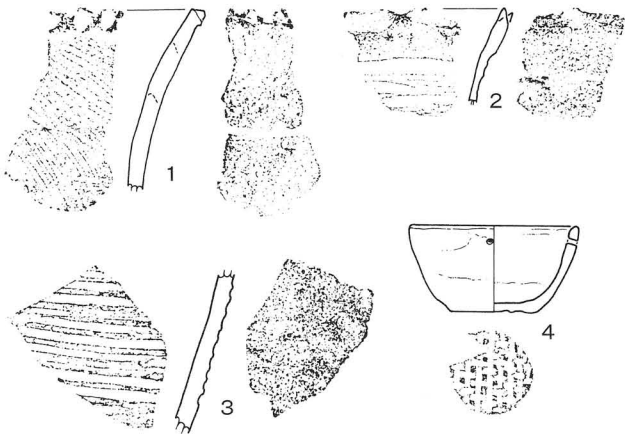
37号土坑



39号土坑



40号土坑

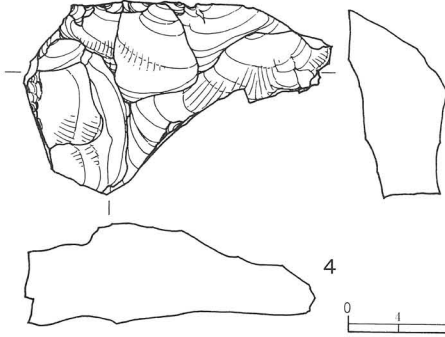
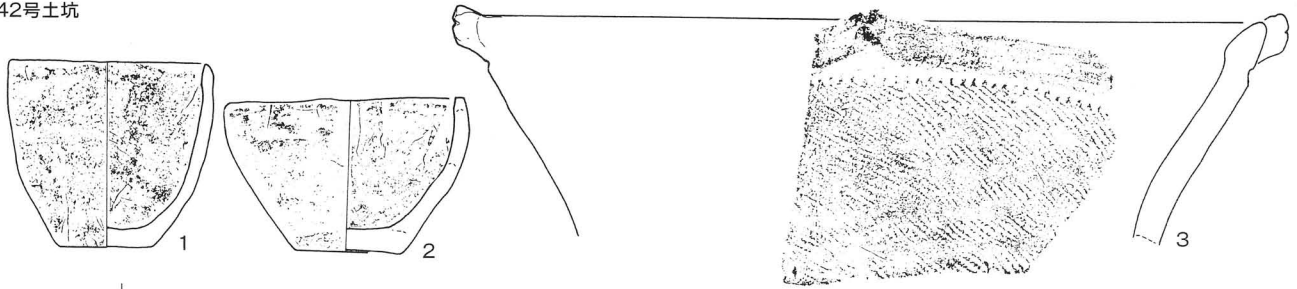


0 (1:4) 10cm

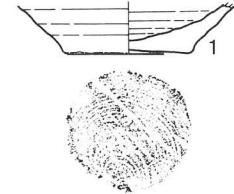
0 (1:3) 10cm

第132图 35·37·39·40号土坑 遺物

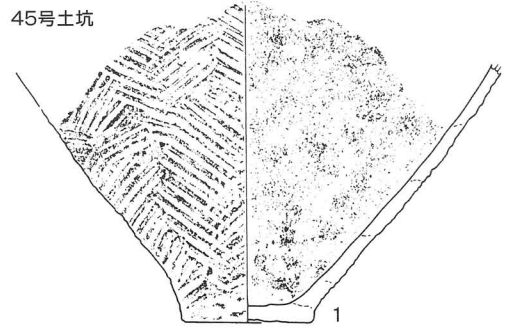
42号土坑



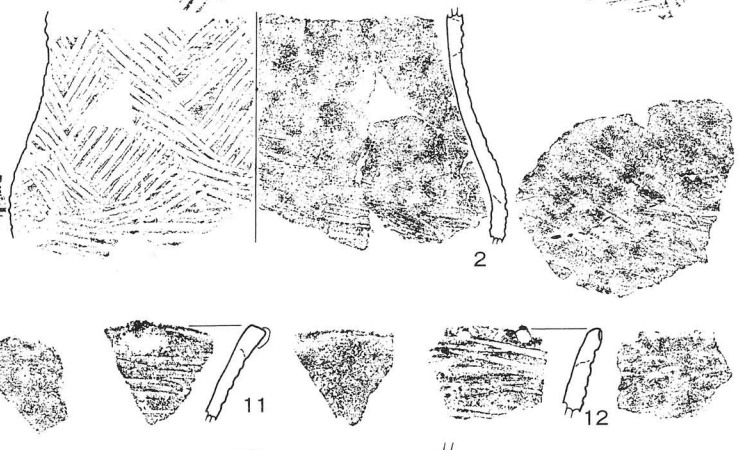
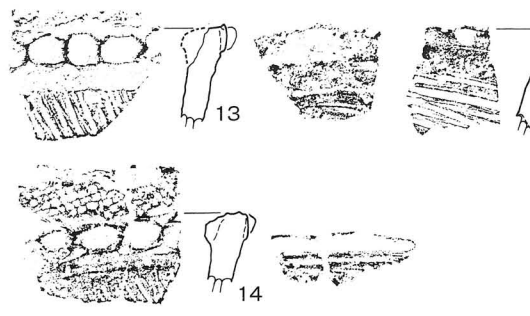
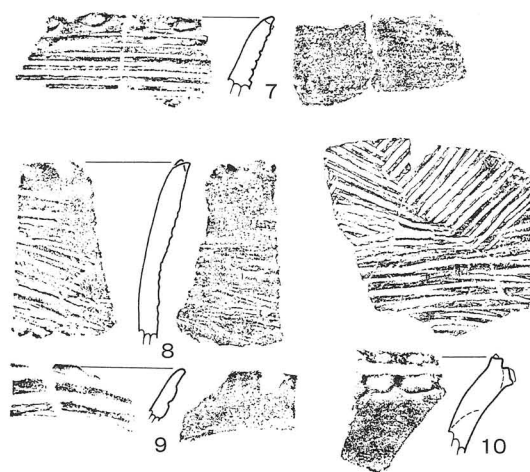
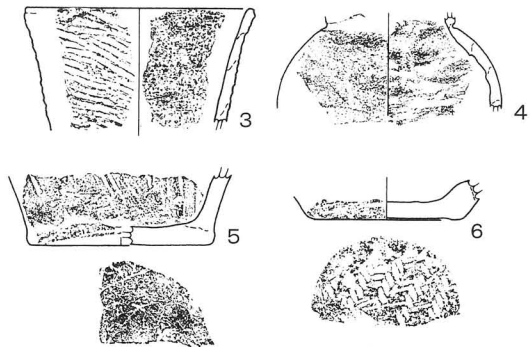
44号土坑



45号土坑



45号土坑



0 1 2 3 4 5cm (1:1.5)

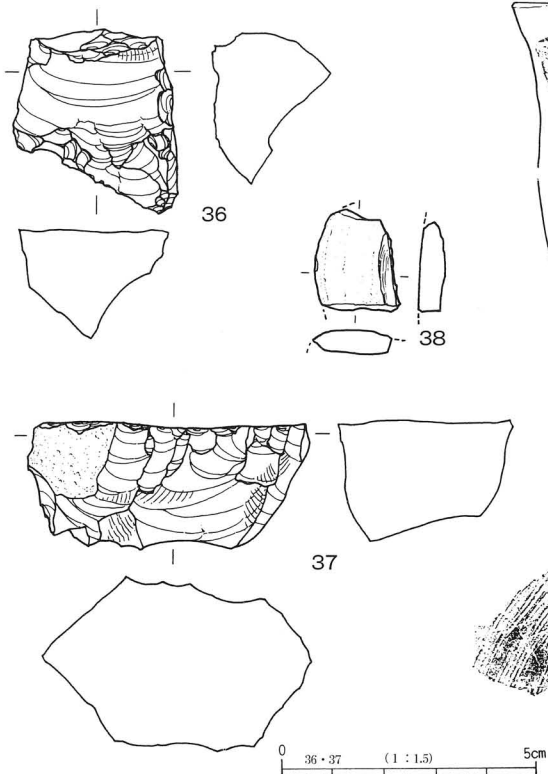
0 10cm (1:4) 0 10cm (1:3)

第133图 42·44·45号土坑 遺物

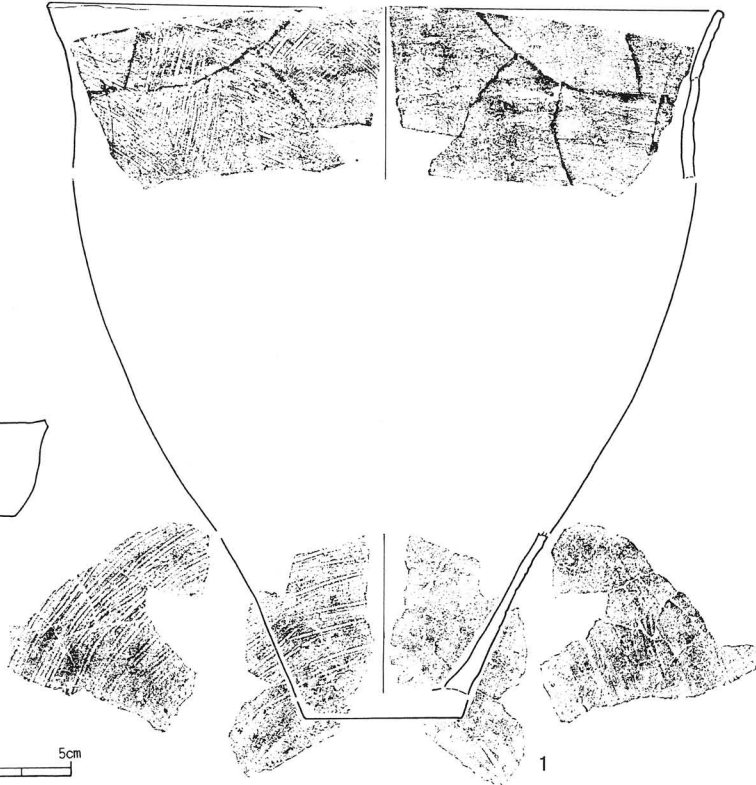


第134图 45号土坑 遺物

45号土坑



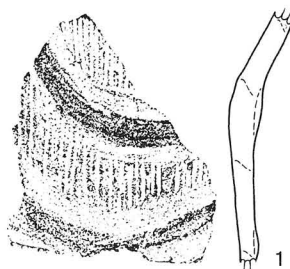
47号土坑



51号土坑



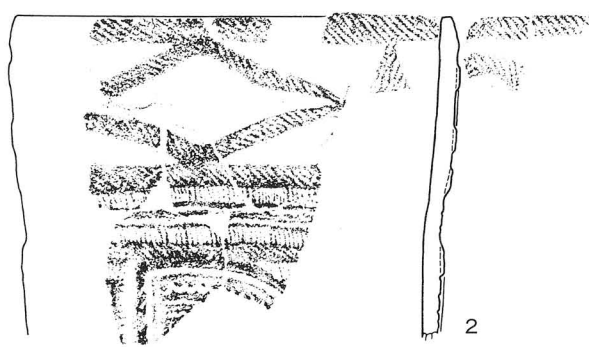
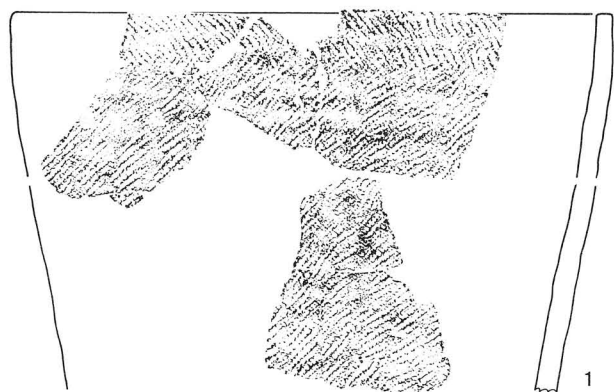
53号土坑



54号土坑



56号土坑

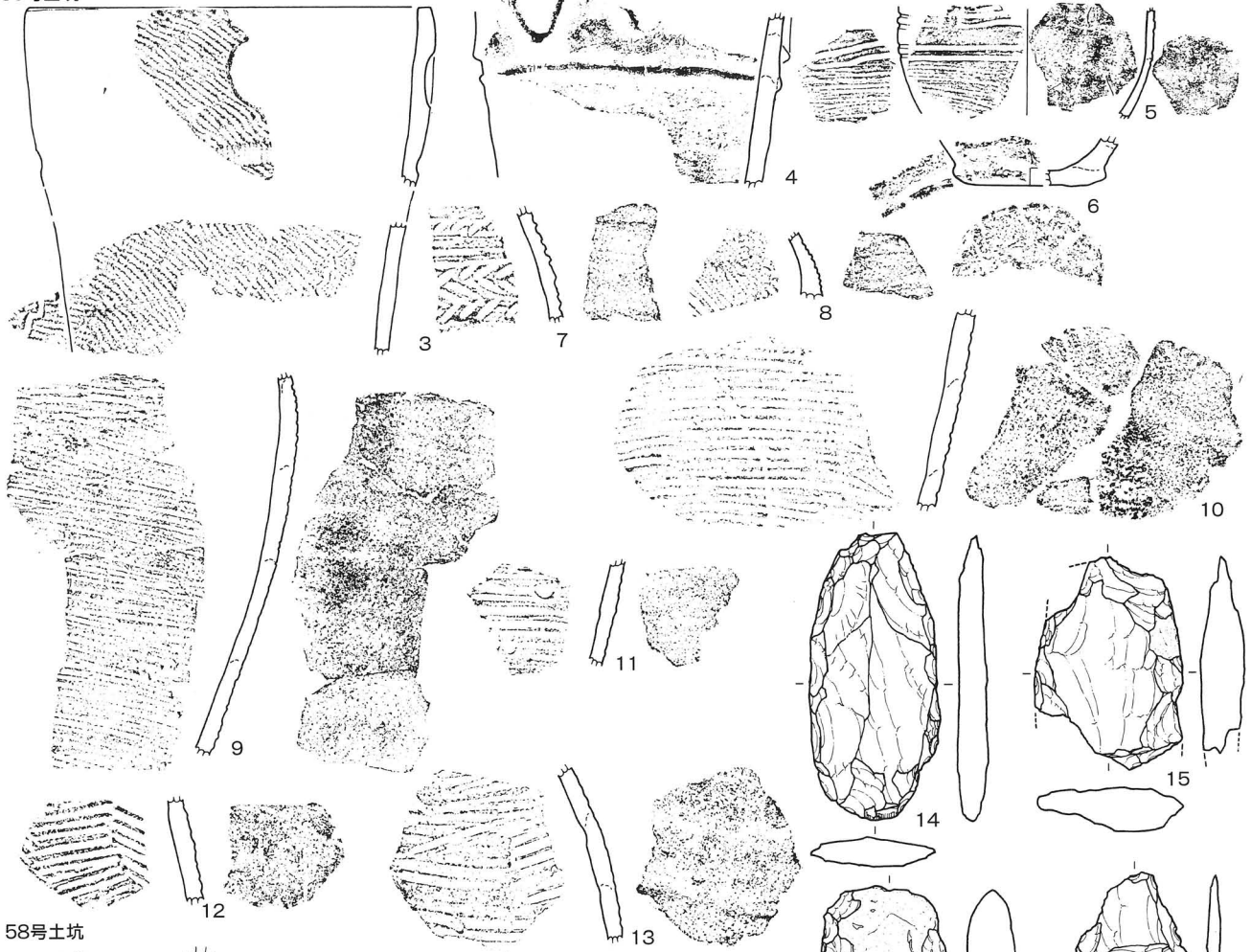


0 (1:4) 10cm

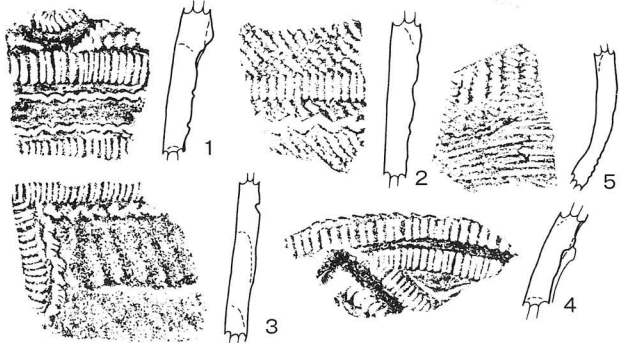
0 (1:3) 10cm

第135图 45·47·51·53·54·56号土坑 遺物

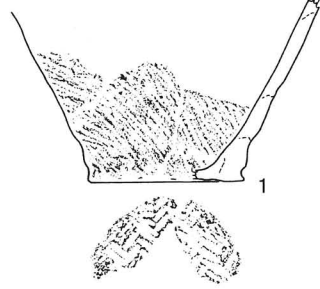
56号土坑



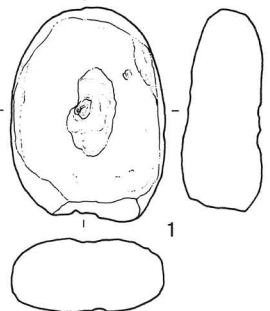
58号土坑



59号土坑



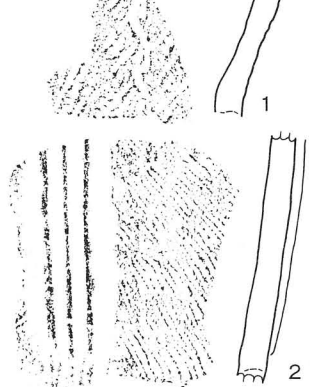
60号土坑



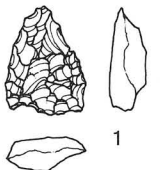
63号土坑



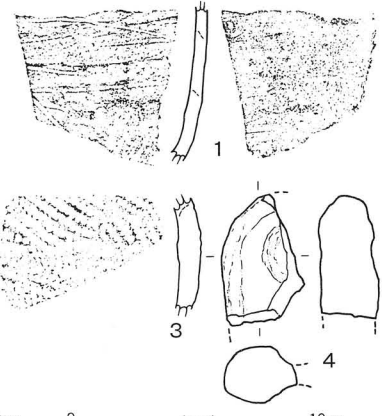
69号土坑



70号土坑



71号土坑



0 69 ± 3.70 ± 1 (1:1.5) 5cm

0 (1:4) 10cm

0 (1:3) 10cm

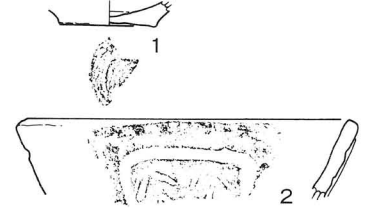
第136图 56·58~60·63·69~71号土坑 遺物



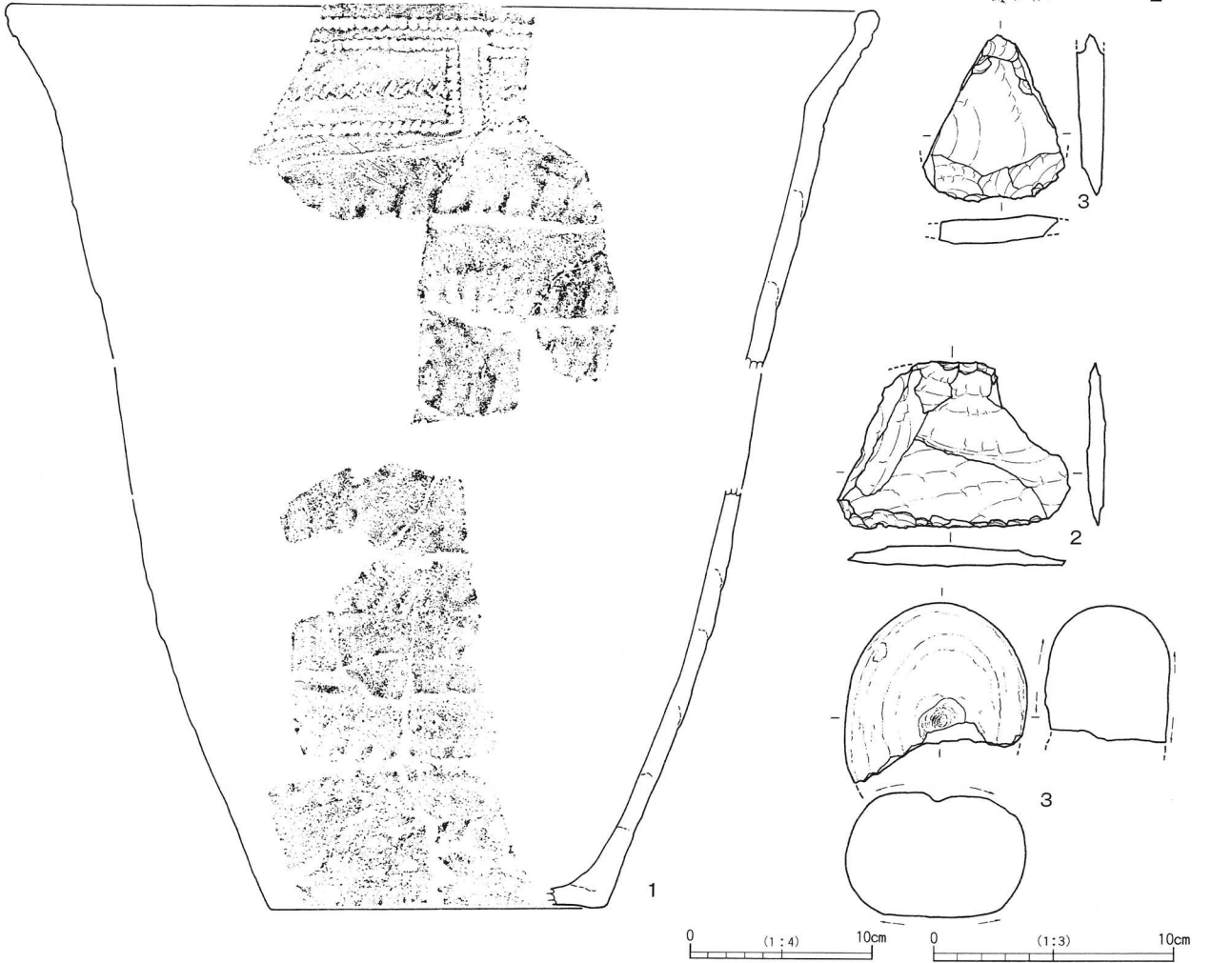
67号土坑



73号土坑

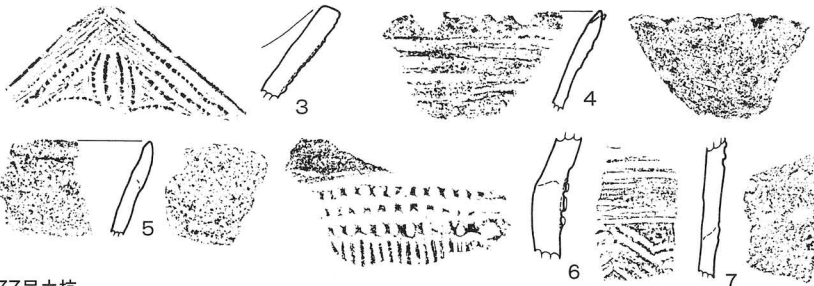
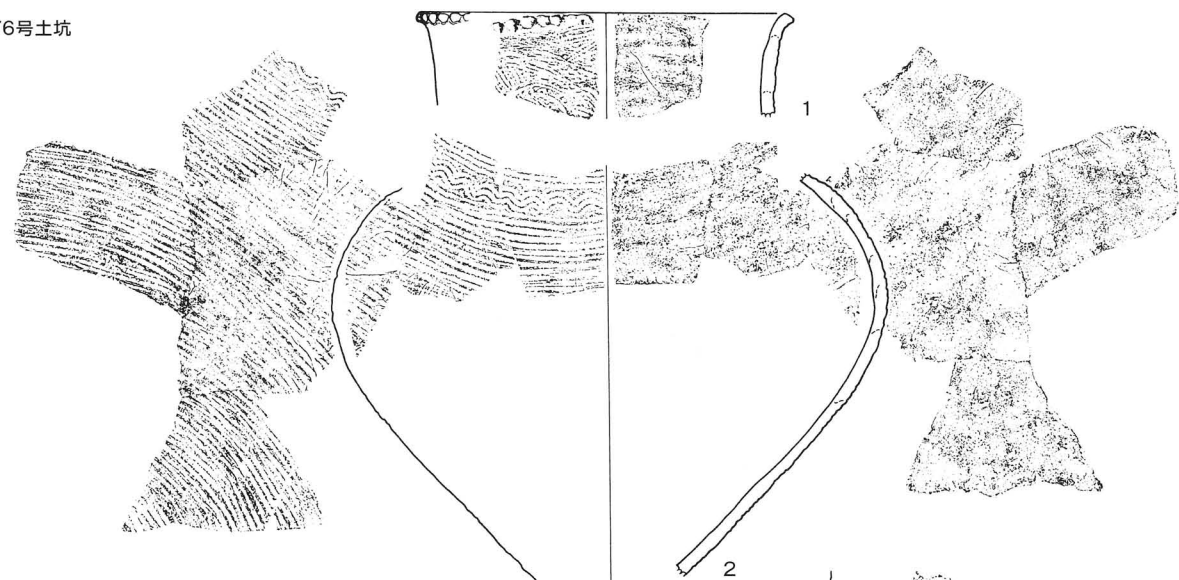


75号土坑



第137图 67·73·75号土坑 遗物

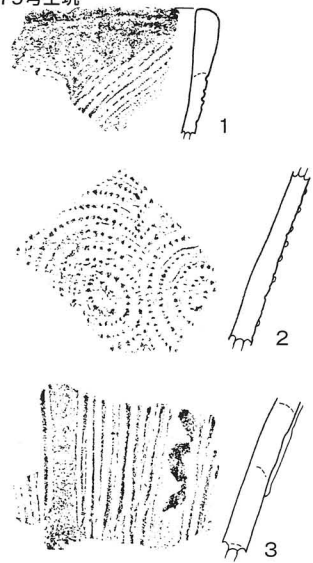
76号土坑



77号土坑



79号土坑



80号土坑

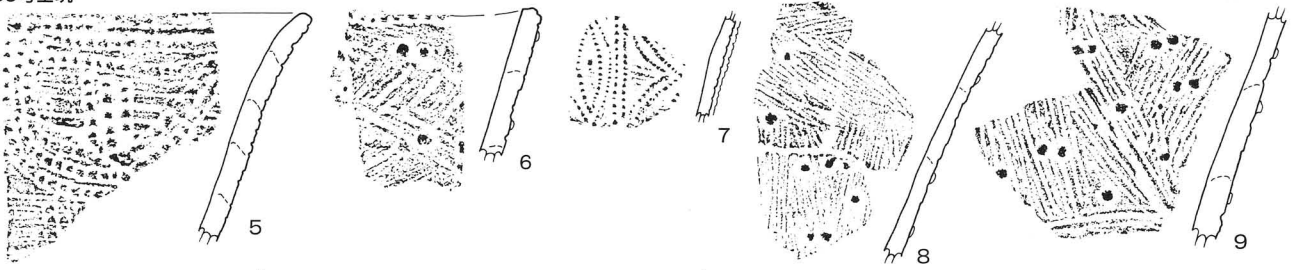


0 (1:4) 10cm

0 (1:3) 10cm

第138图 76·77·79·80号土坑 遺物

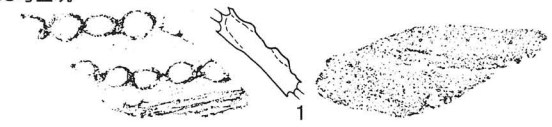
80号土坑



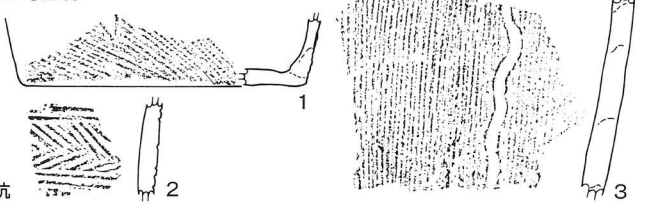
82号土坑



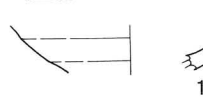
83号土坑



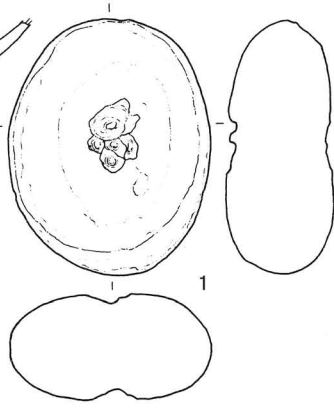
87号土坑



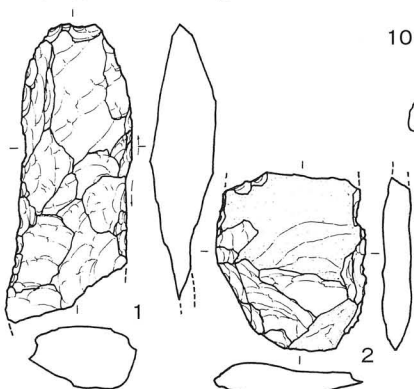
89号土坑



91号土坑



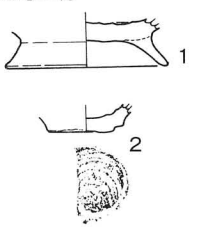
93号土坑



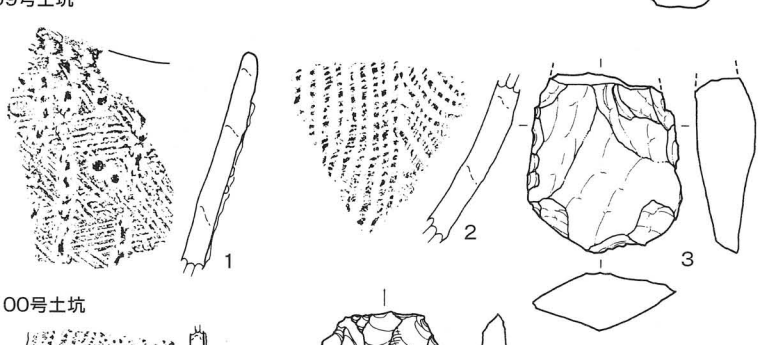
101号土坑



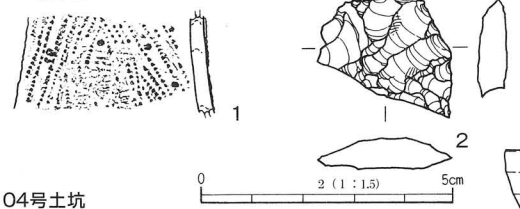
90号土坑



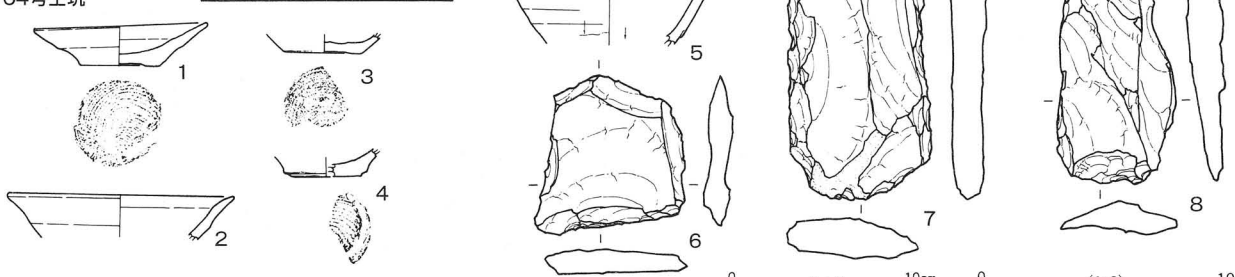
99号土坑



100号土坑



104号土坑



0 2 (1:1.5) 5cm

0 (1:4) 10cm

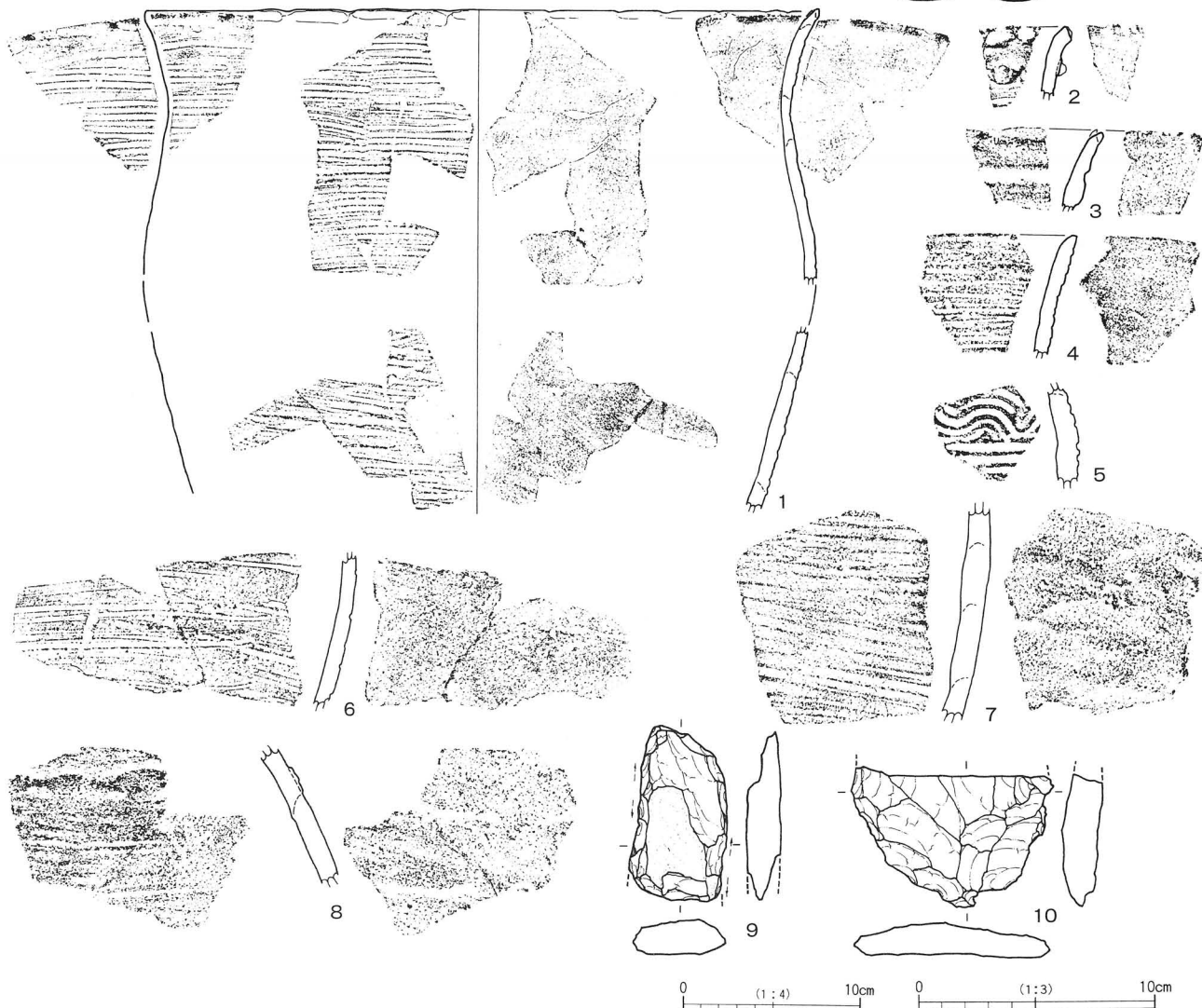
0 (1:3) 10cm

第139图 80·82·83·87·89·91·93·99~101·104号土坑 遺物

110号土坑

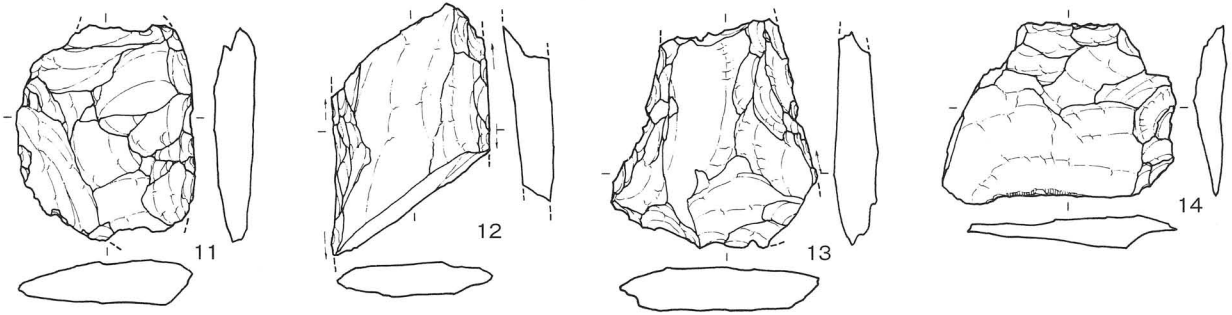


111号土坑

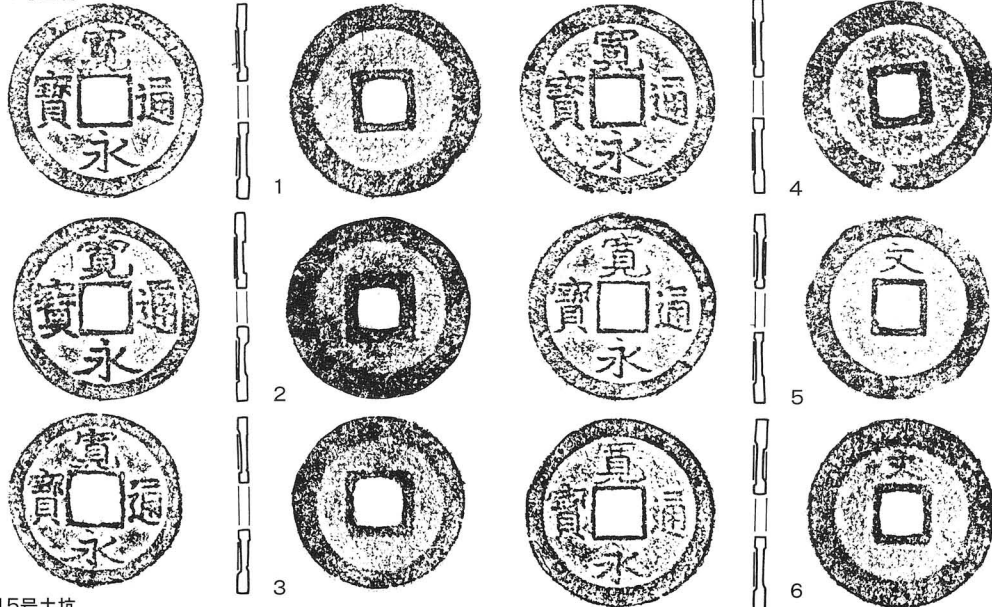


第140图 110·111号土坑 遺物

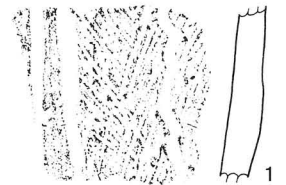
111号土坑



113号土坑



116号土坑



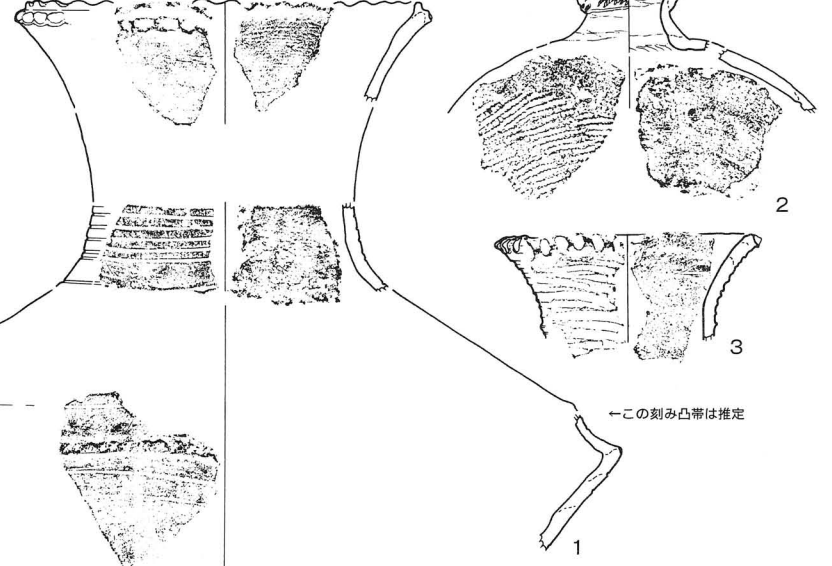
115号土坑



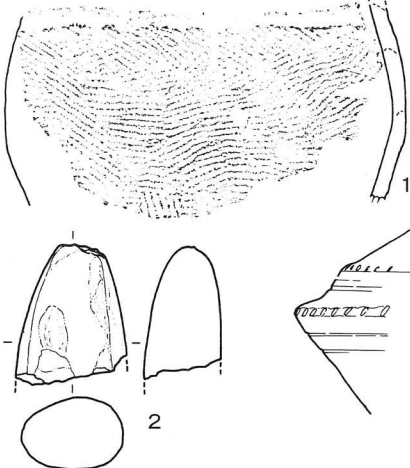
118号土坑



123号土坑



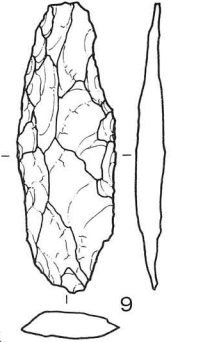
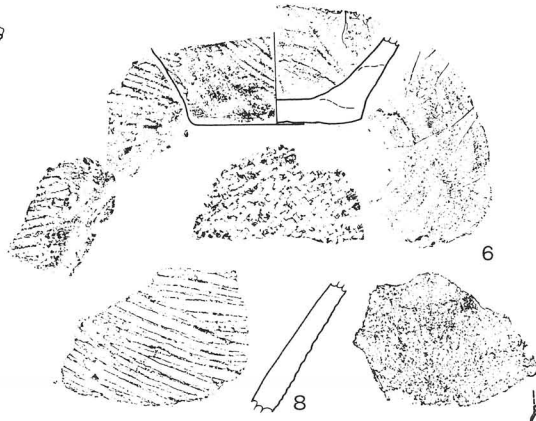
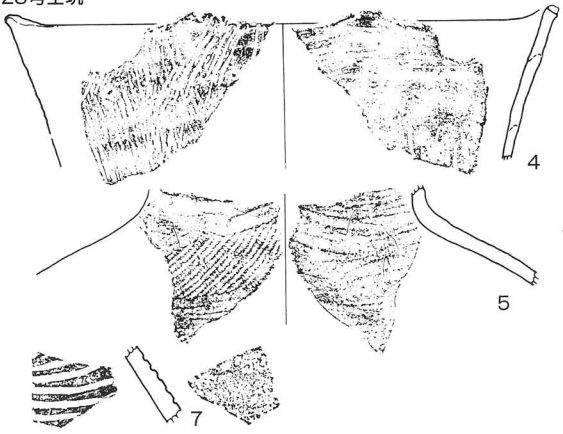
121号土坑



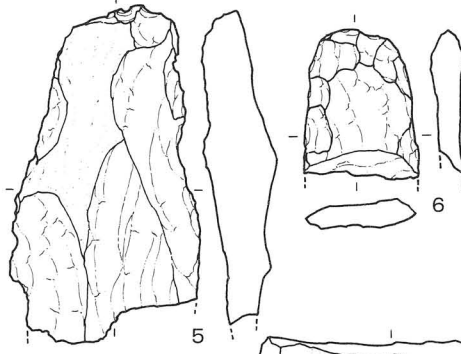
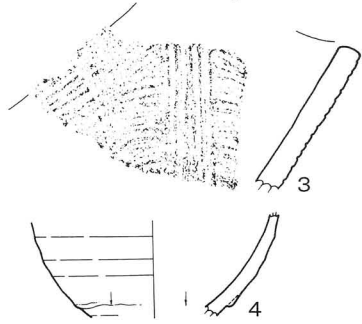
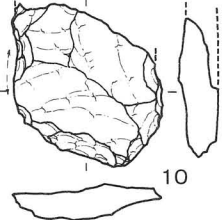
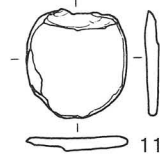
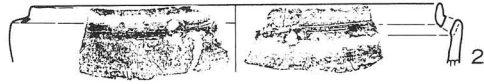
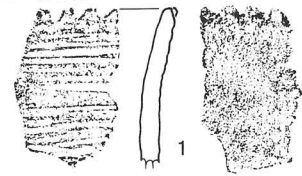
第141図 111・113・115・116・118・121・123号土坑 遺物



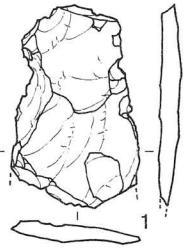
123号土坑



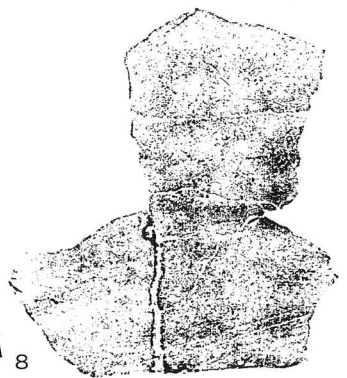
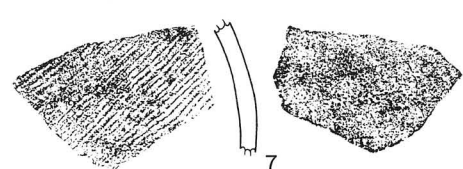
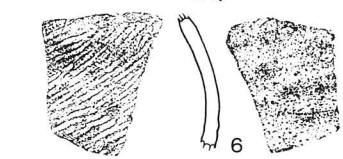
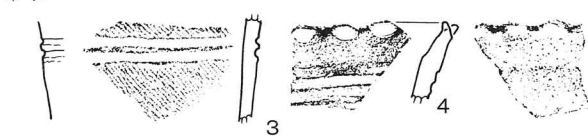
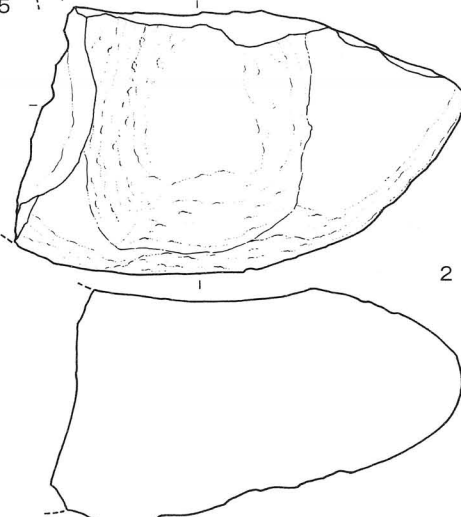
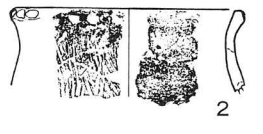
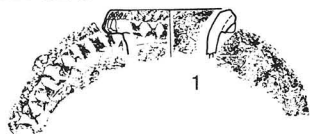
124号土坑



125号土坑



127号土坑

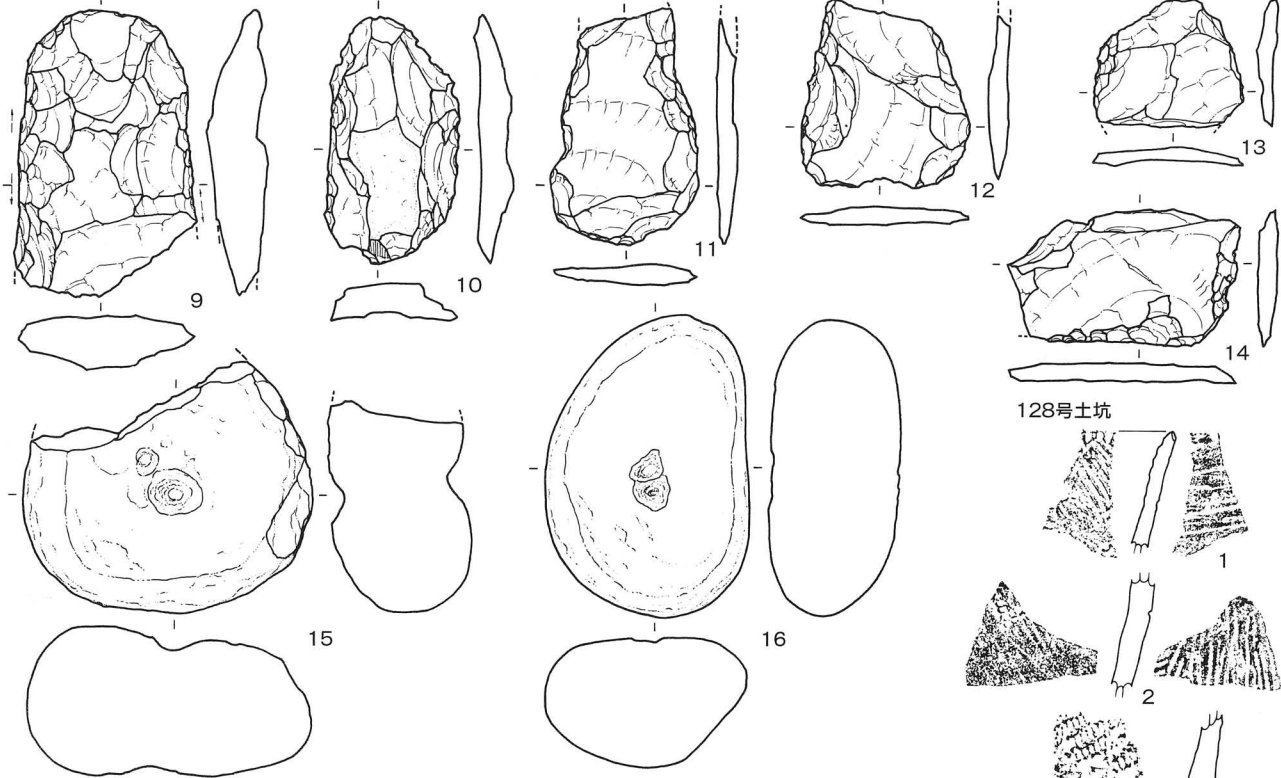


0 (1:4) 10cm

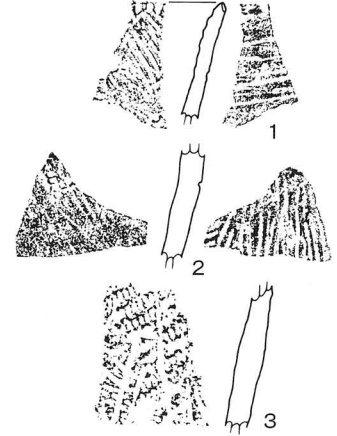
0 (1:3) 10cm

第142图 123~125·127号土坑 遺物

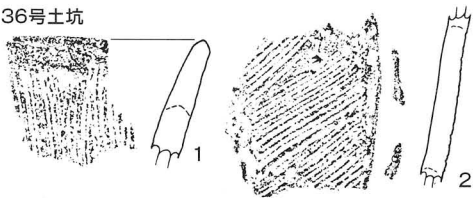
127号土坑



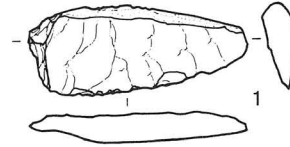
128号土坑



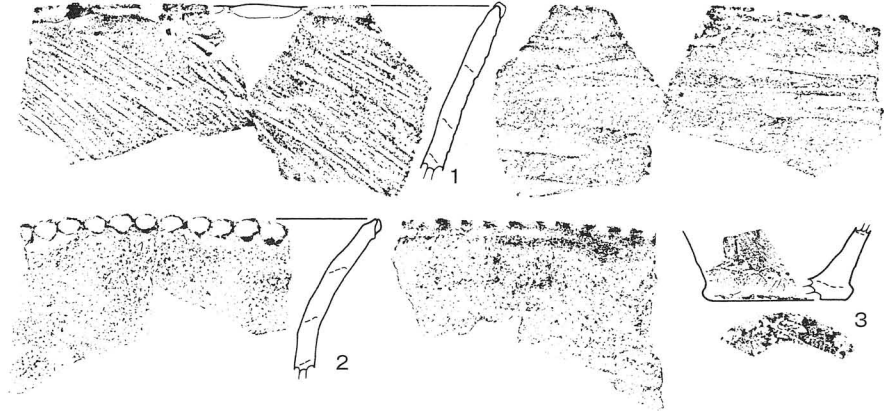
136号土坑



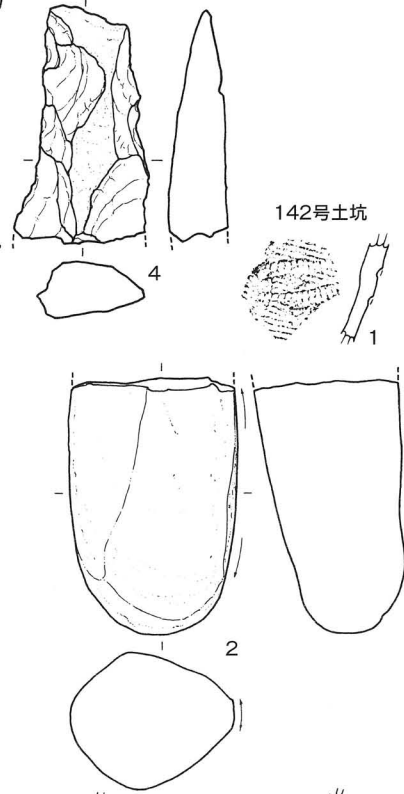
137号土坑



138号土坑



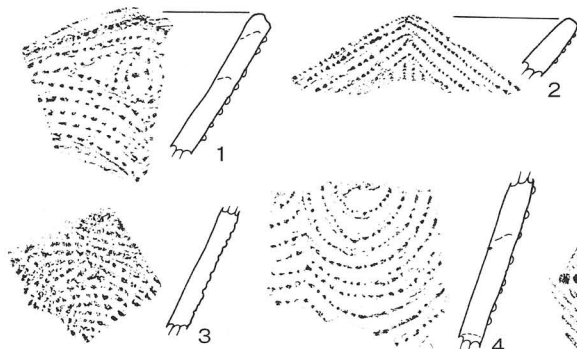
142号土坑



140号土坑



146号土坑



143号土坑

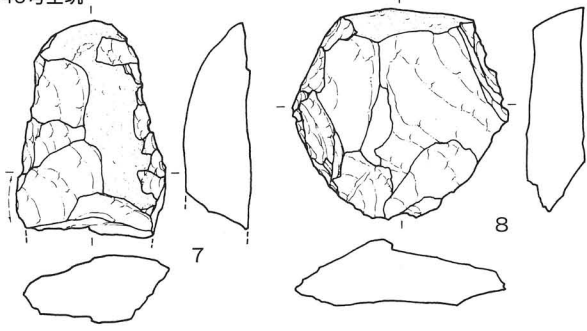


0 (1:4) 10cm

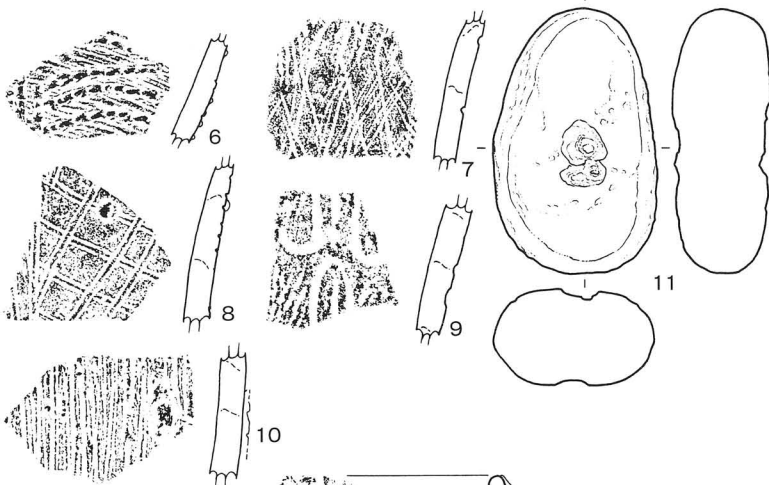
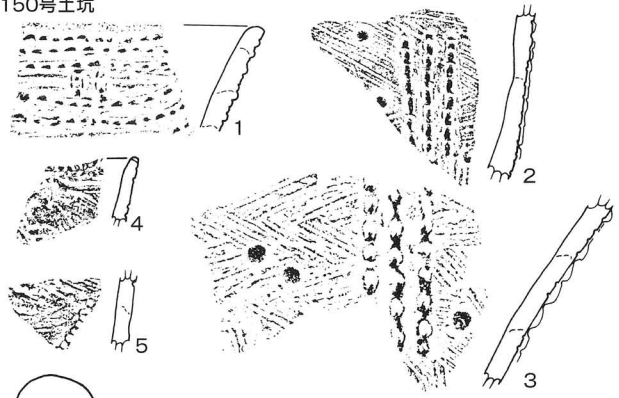
0 (1:3) 10cm

第143图 127·128·136~138·140·142·143·146号土坑 遺物

146号土坑



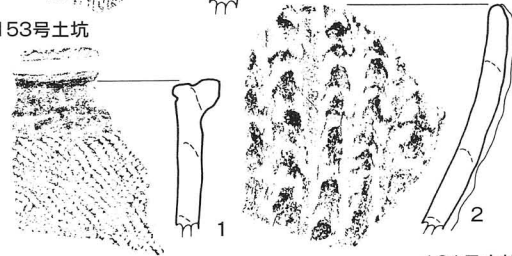
150号土坑



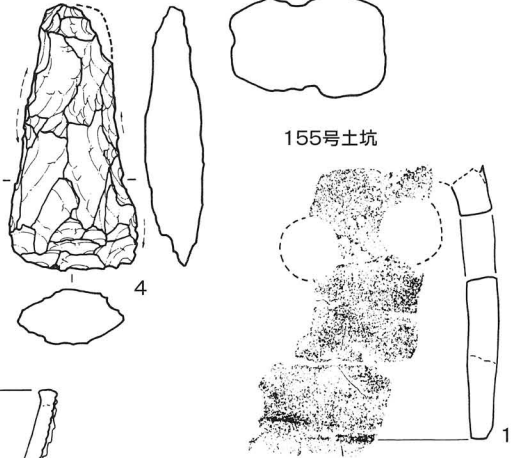
151号土坑



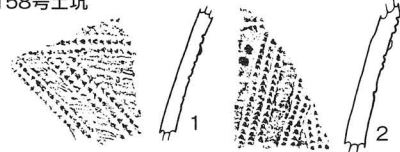
153号土坑



155号土坑



158号土坑



161号土坑



162号土坑

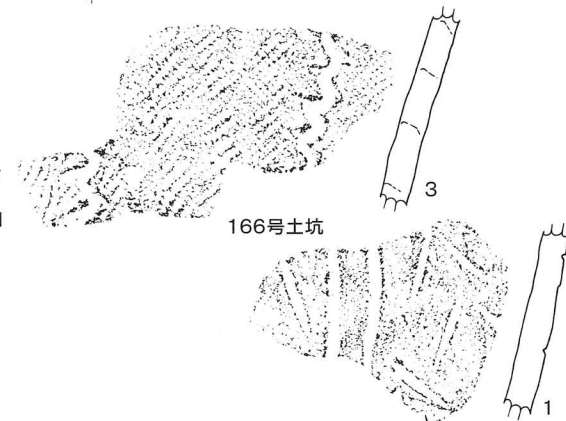


163号土坑

164号土坑



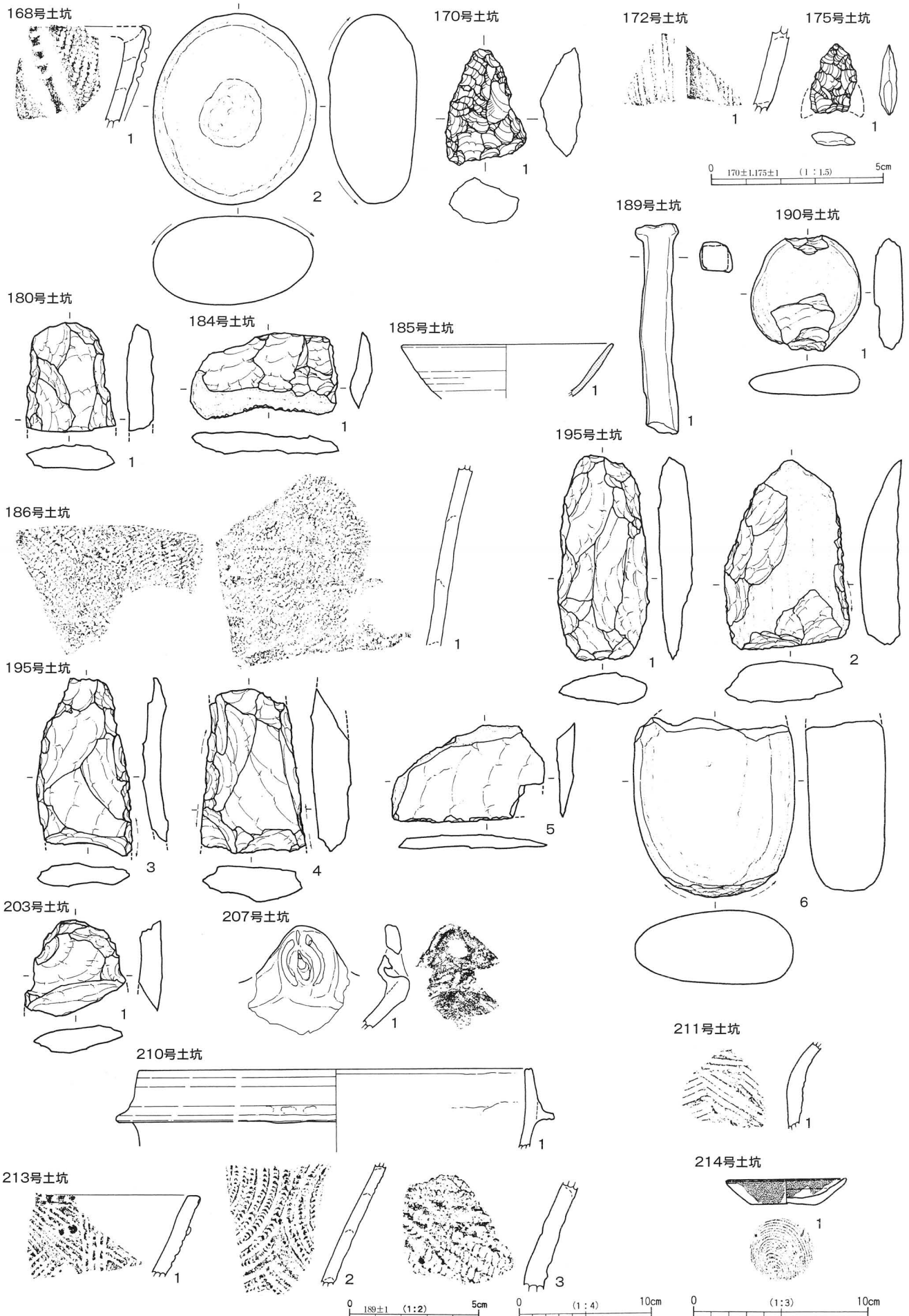
166号土坑



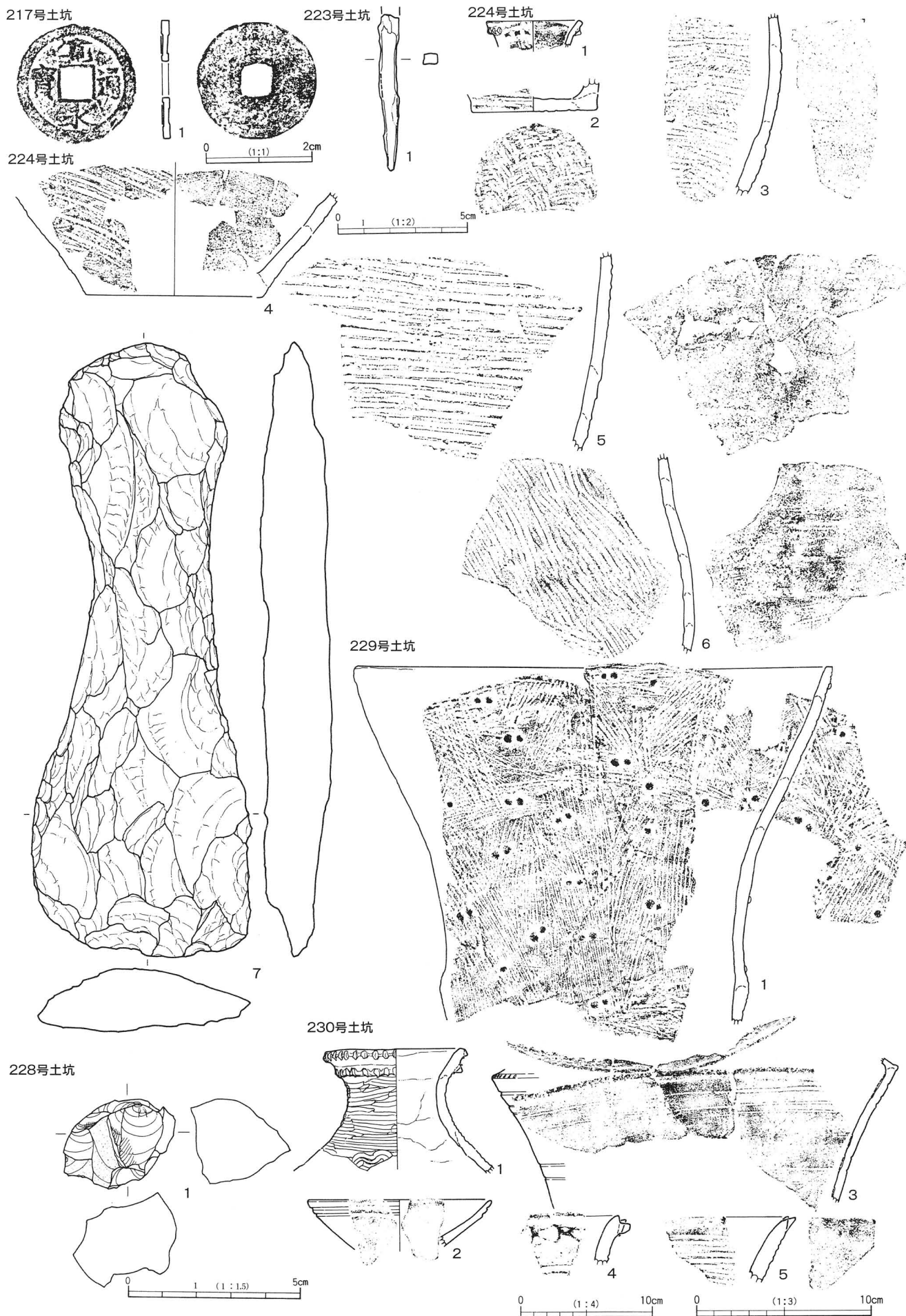
0 (1:4) 10cm

0 (1:3) 10cm

第144图 146·150·151·153·155·158·161~164·166号土坑 遺物



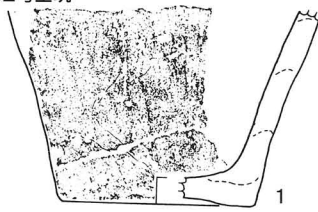
第145图 168·170·172·175·180·184~186·189·190·195·203·207·210·211·213·214号土坑 遺物



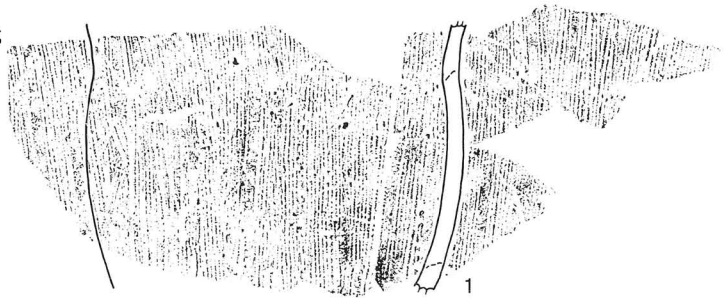
第146图 217·223·224·228~230号土坑 遺物



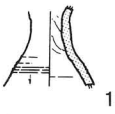
232号土坑



235号土坑



236号土坑



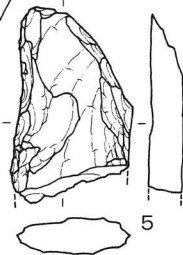
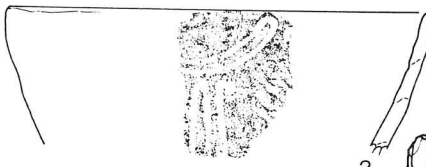
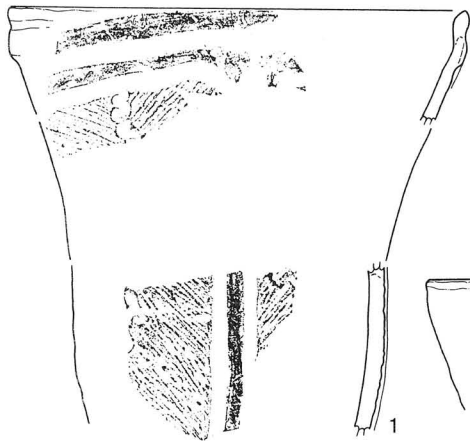
238号土坑



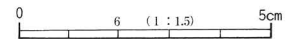
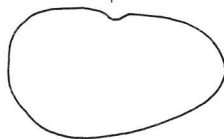
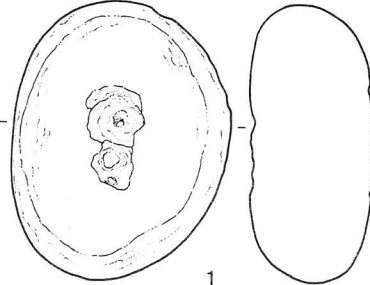
243号土坑



246号土坑



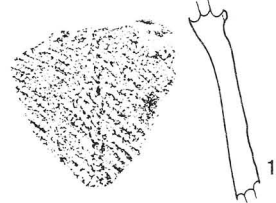
250号土坑



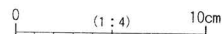
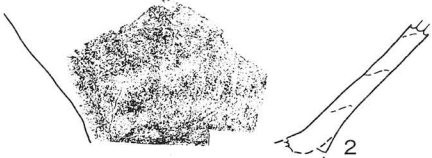
247号土坑



248号土坑

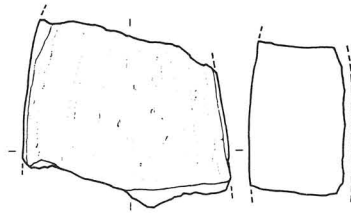
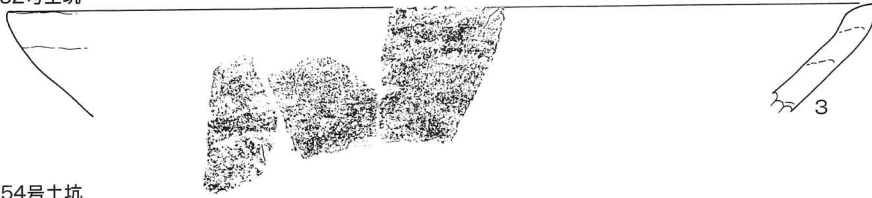


252号土坑

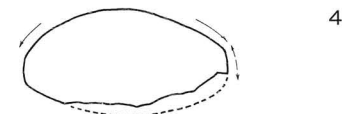
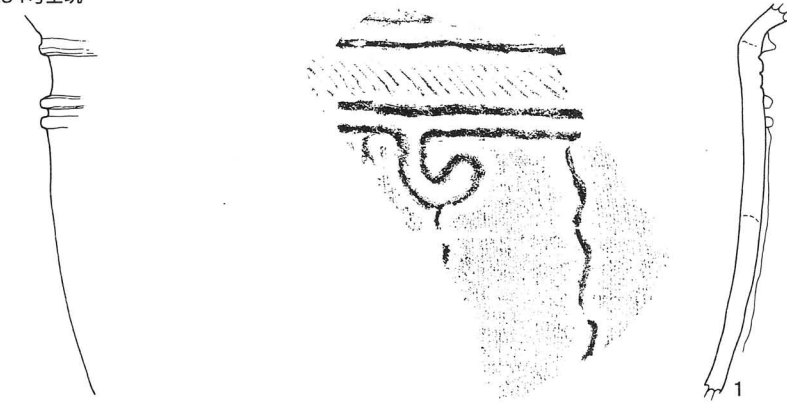


第147图 232·235·236·238·243·246~248·250·252号土坑 遺物

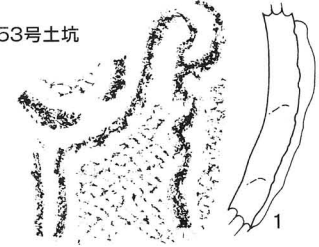
252号土坑



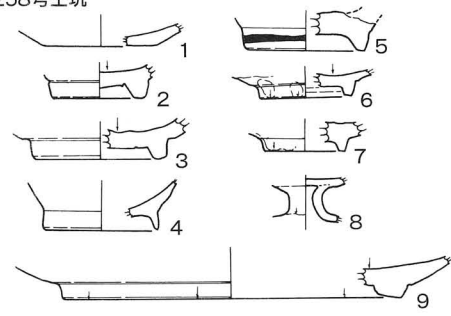
254号土坑



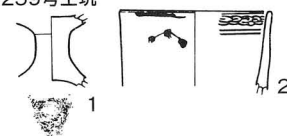
253号土坑



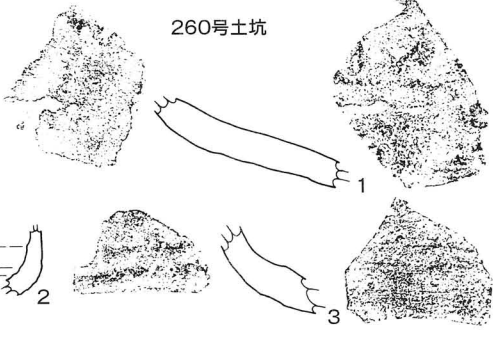
258号土坑



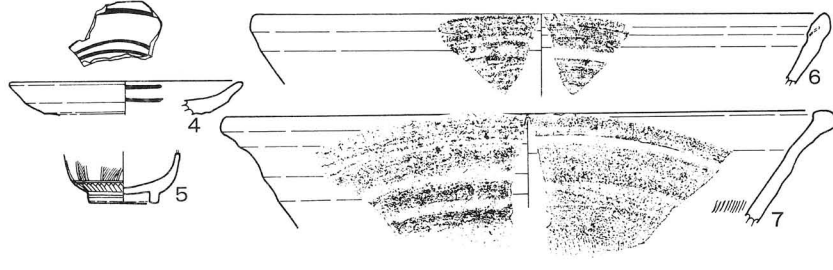
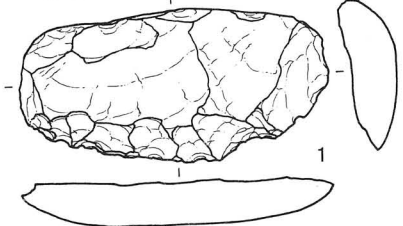
259号土坑



260号土坑

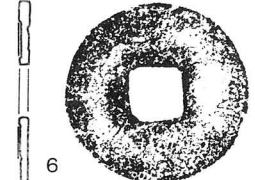
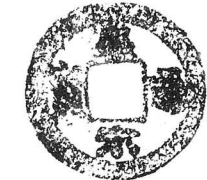
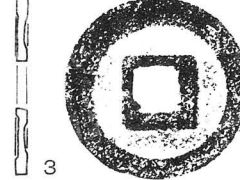
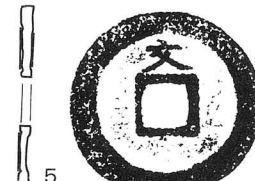
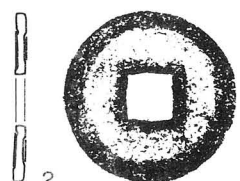
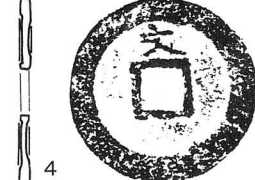
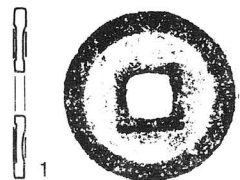
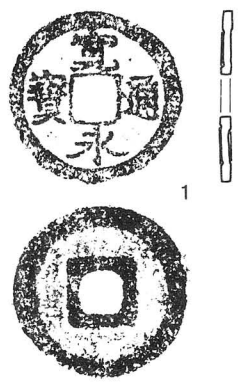


264号土坑



268号土坑

267号土坑

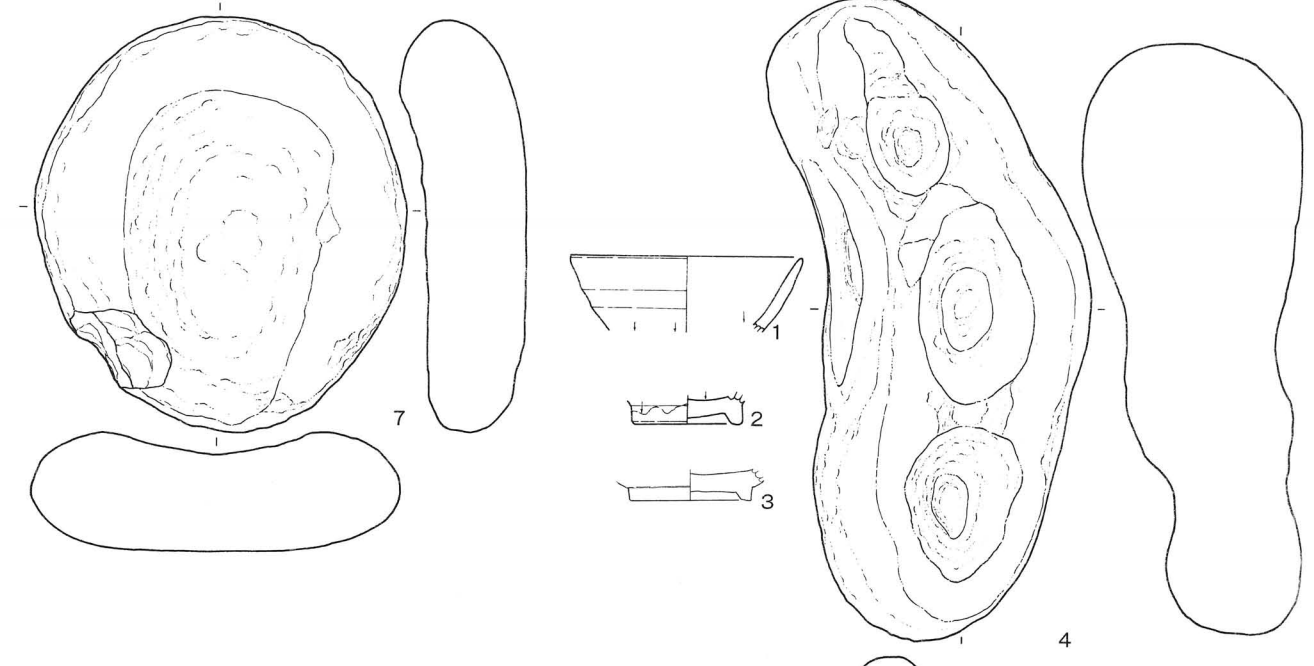


0 267 1:268 1:1-6 (1:1) 2cm 0 (1:4) 10cm 0 (1:3) 10cm

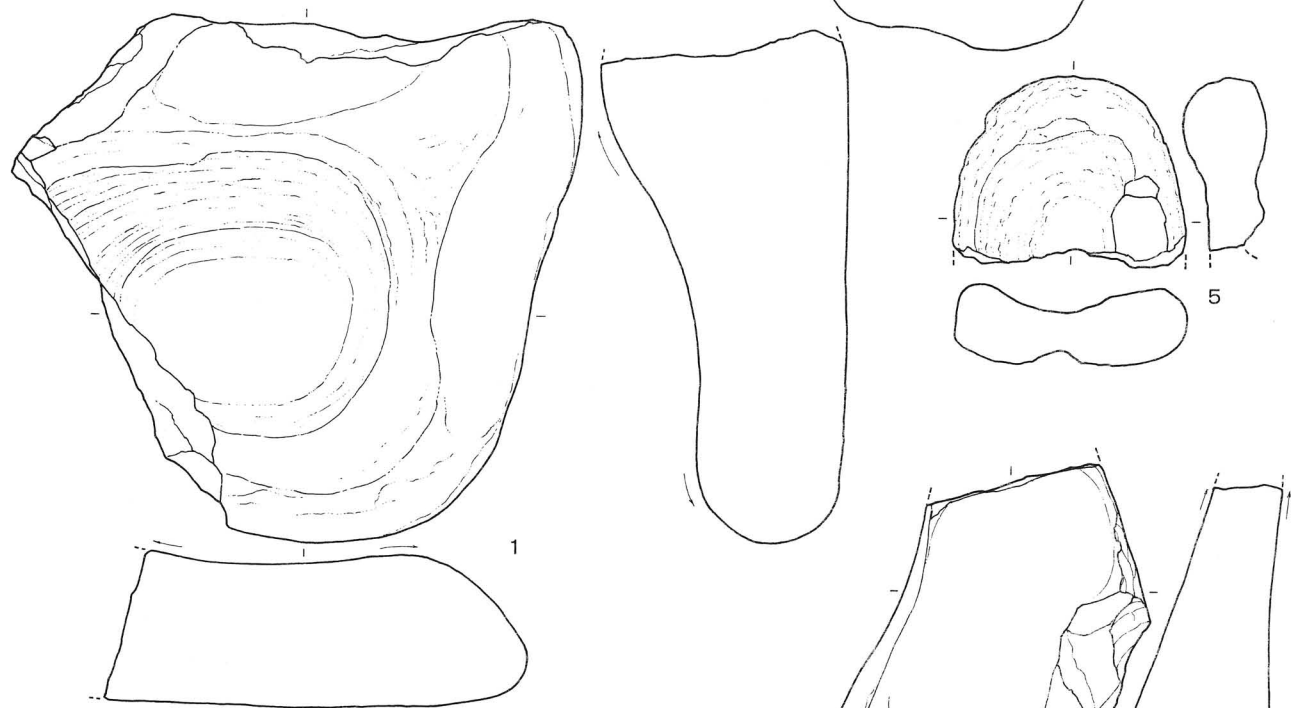
第148图 252~254·258~260·264·267·268号土坑 遺物

268号土坑

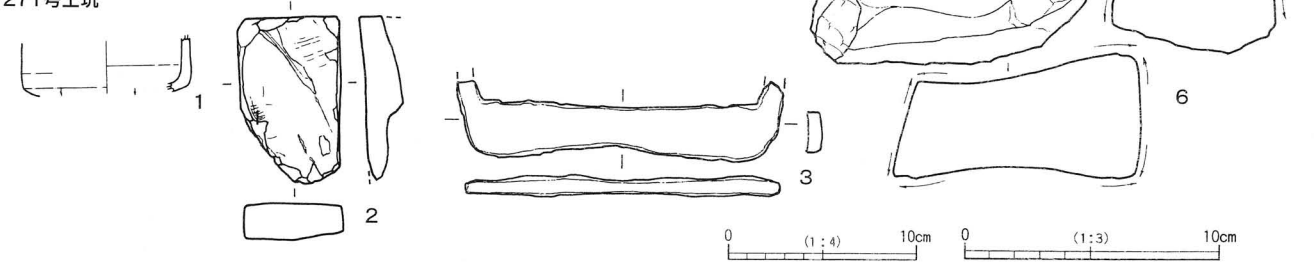
270号土坑



269号土坑



271号土坑



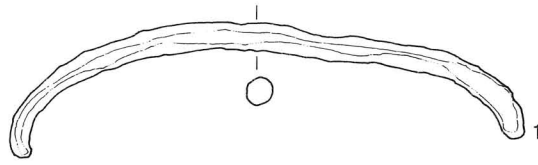
0 (1:4) 10cm 0 (1:3) 10cm

第149图 268~271号土坑 遺物

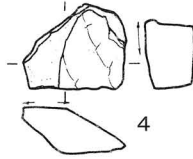
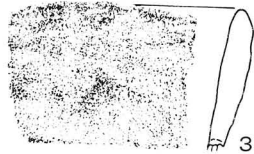
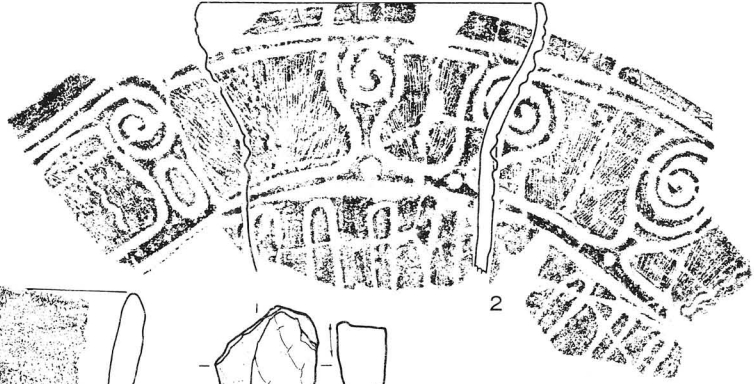
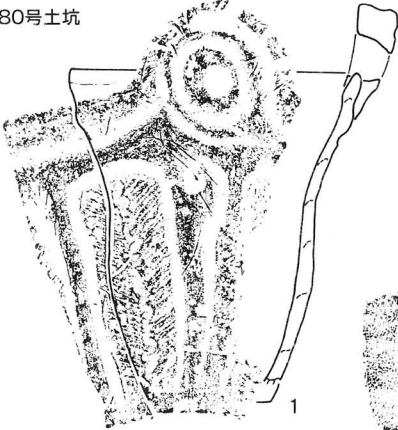
276号土坑



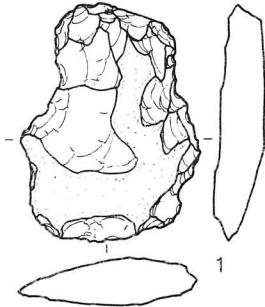
279号土坑



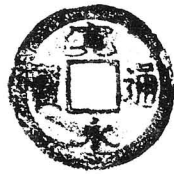
280号土坑



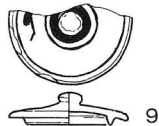
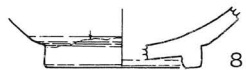
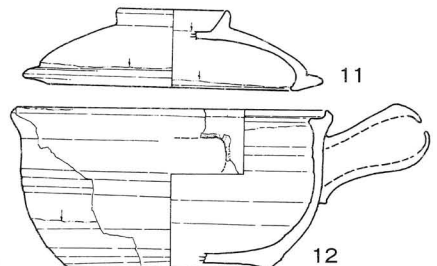
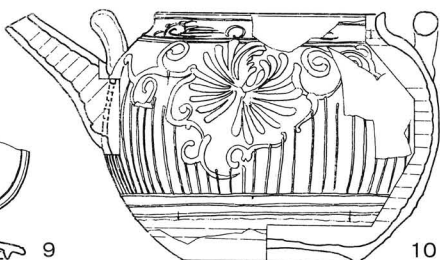
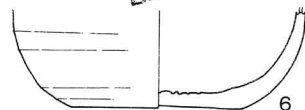
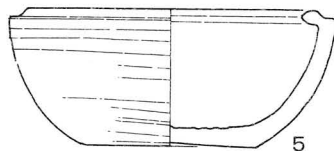
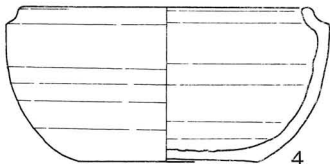
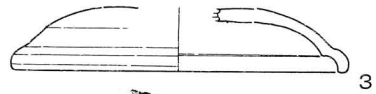
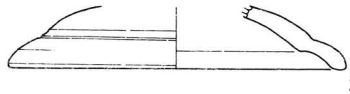
283号土坑



284号土坑

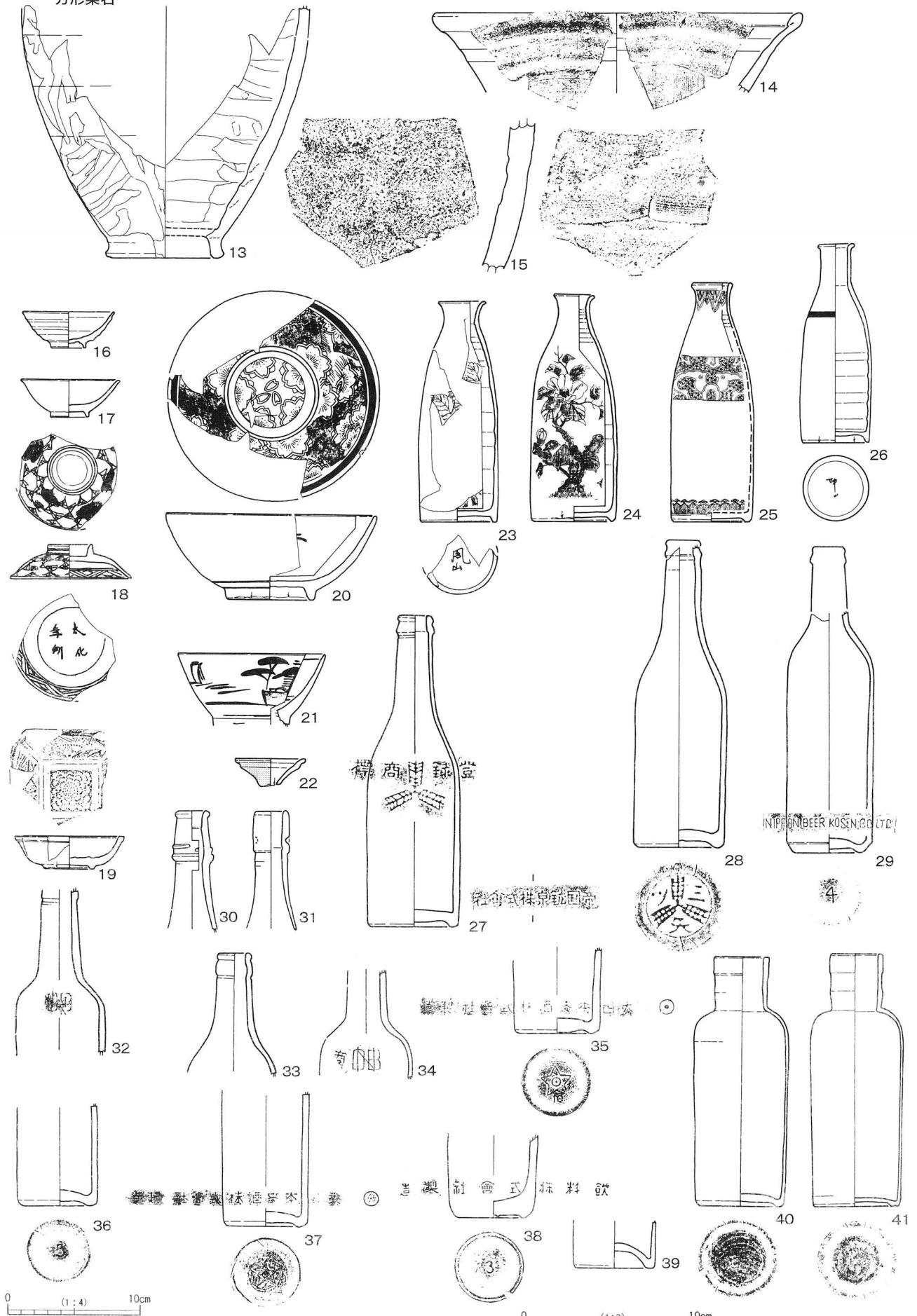


方形集石



第150图 276·279·280·283·284号土坑·方形集石 遺物

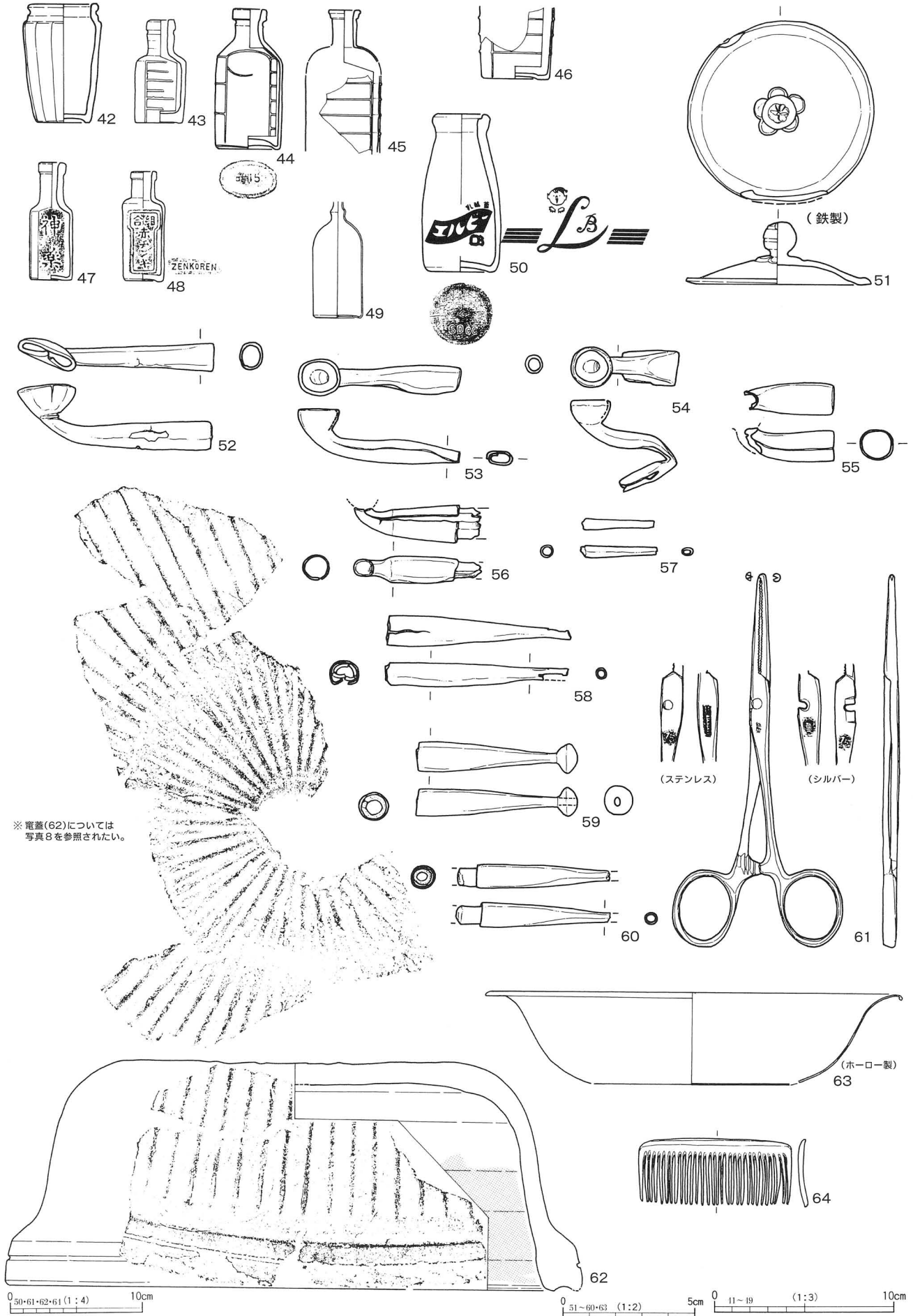
方形集石



第151図 方形集石 遺物

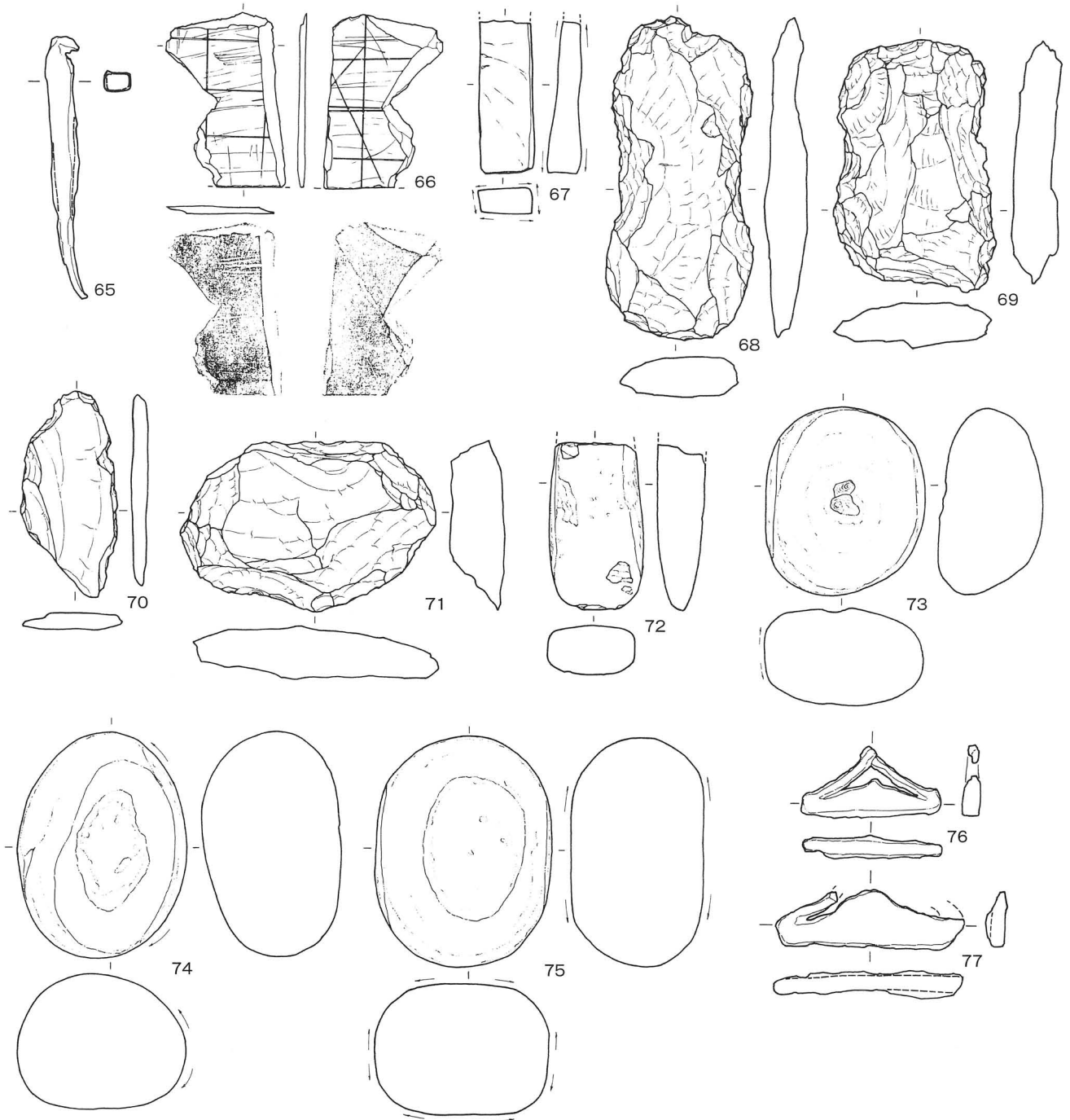


方形集石



※ 籠蓋(62)については  
写真8を参照されたい。

第152図 方形集石 遺物



0 65-76-77 (1:2) 5cm



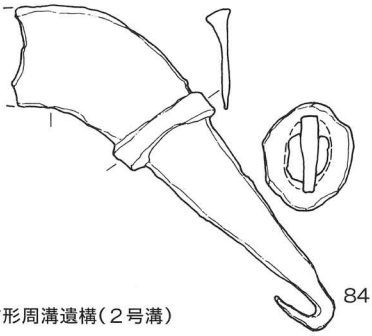
0 78-81 (1:1) 2cm



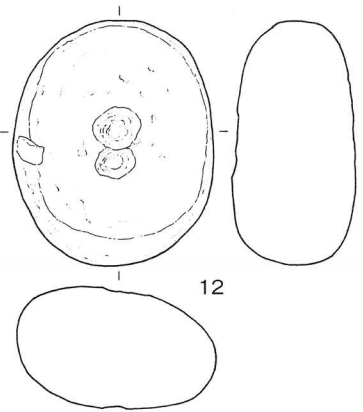
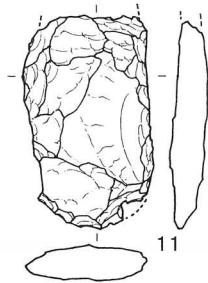
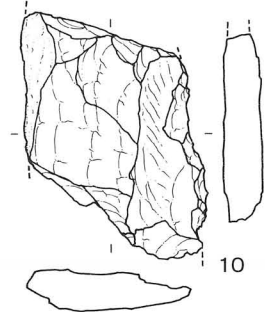
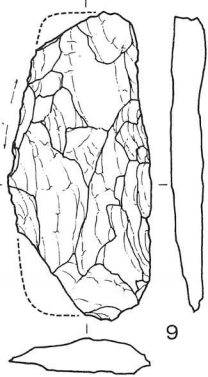
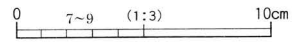
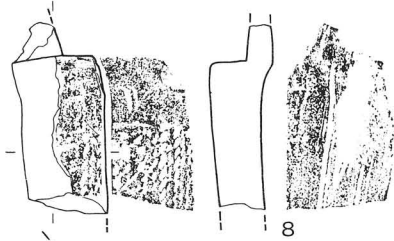
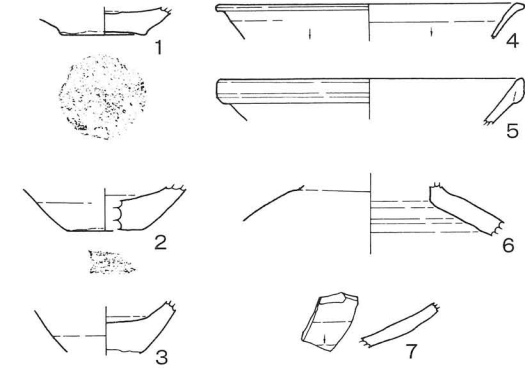
0 67-75 (1:3) 10cm

第153図 方形集石 遺物

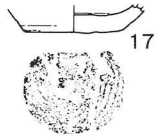
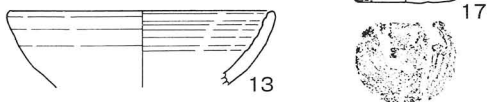
方形集石



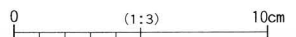
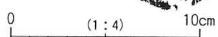
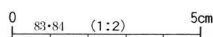
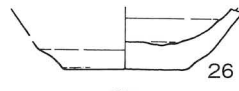
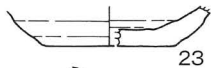
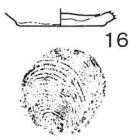
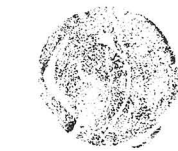
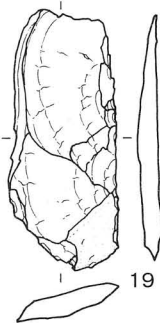
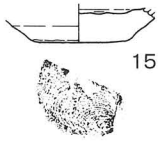
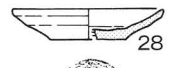
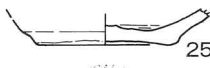
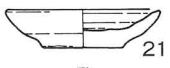
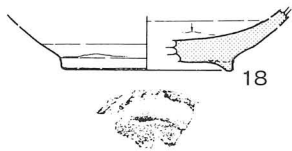
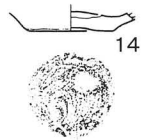
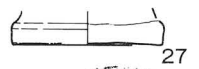
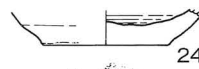
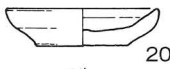
方形周溝遺構(2号溝)



方形周溝遺構(6号溝)

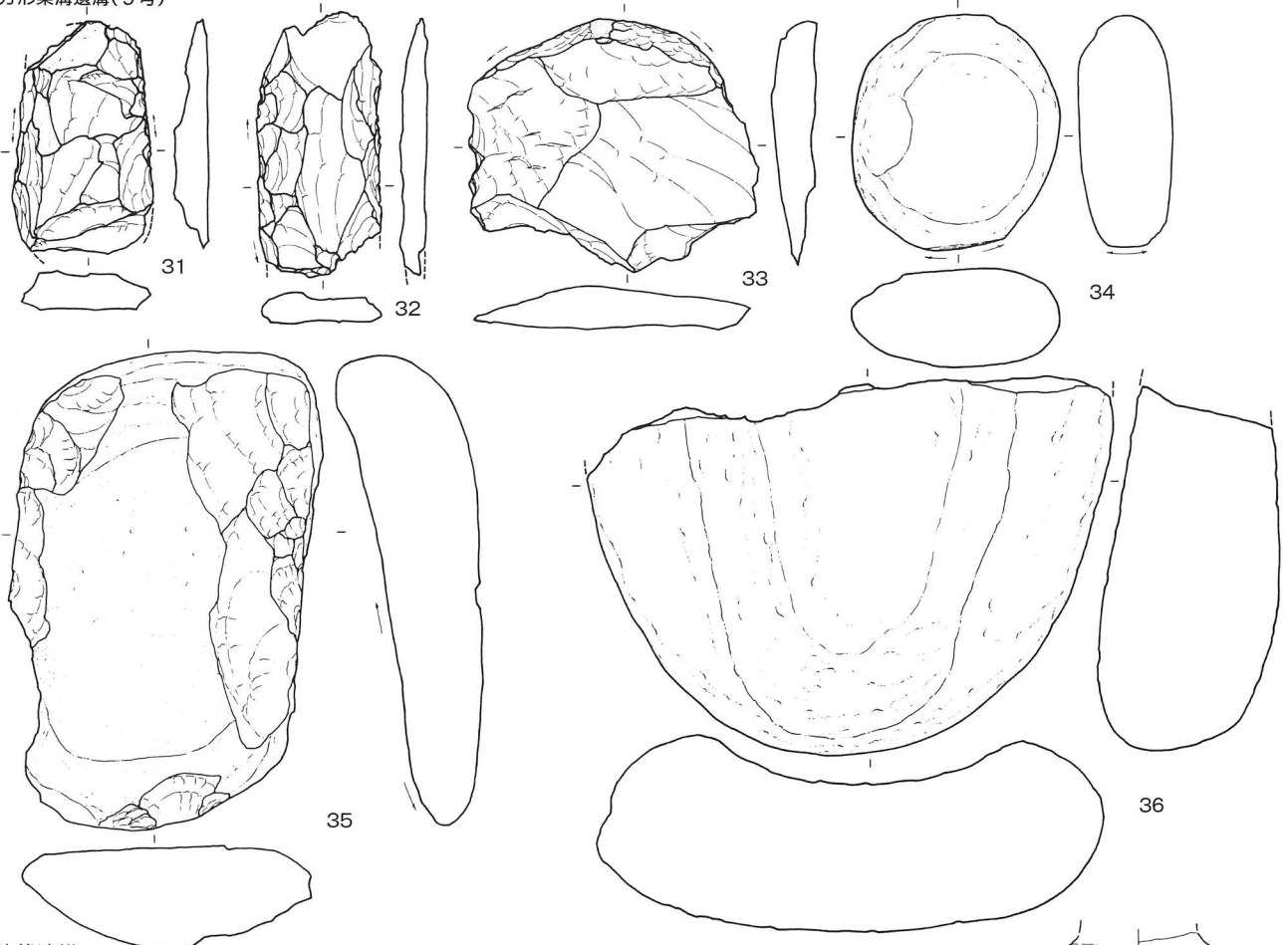


方形周溝遺構(9号溝)

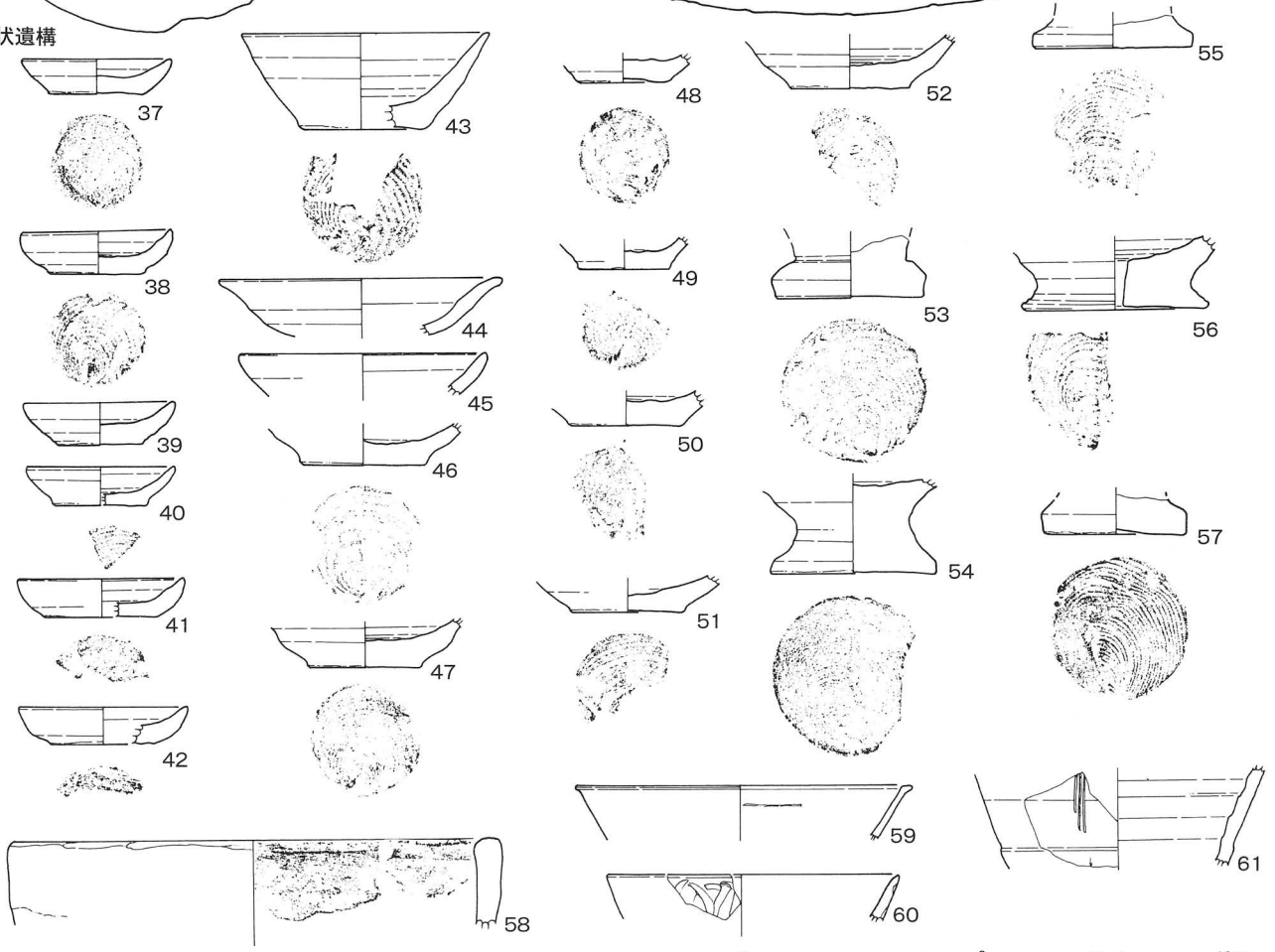


第154図 方形集石・2・6・9号溝 遺物

方形集溝遺溝(9号)



池状遺構

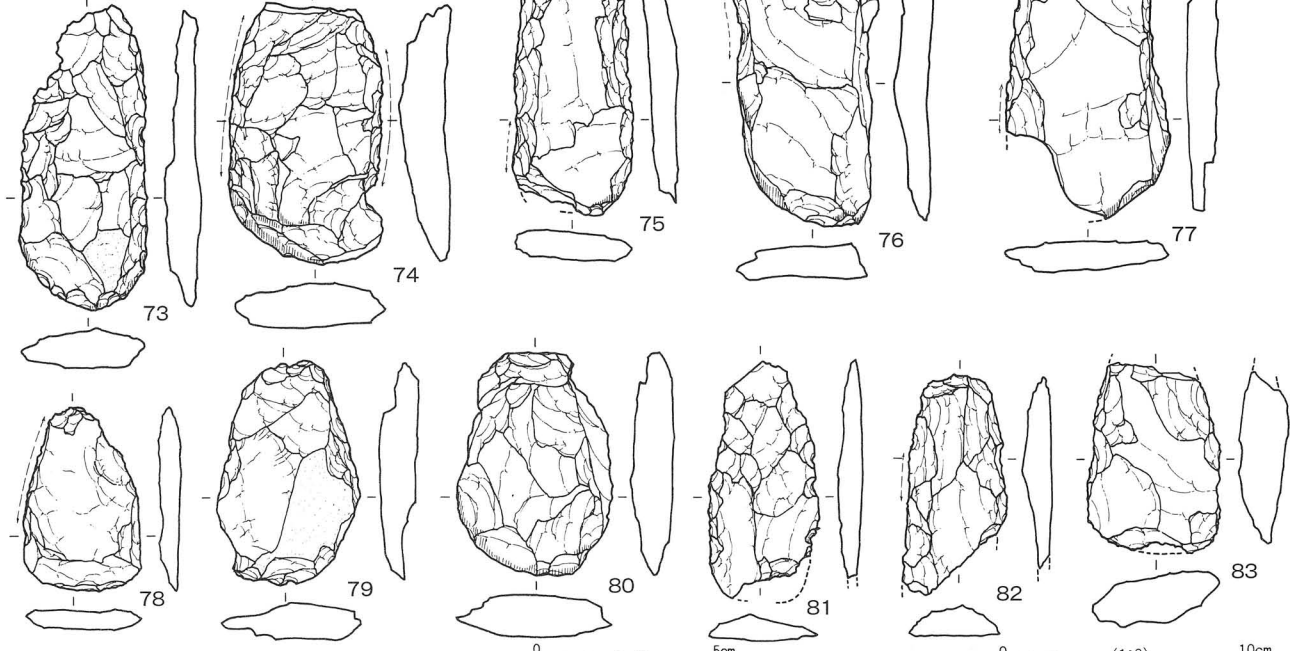
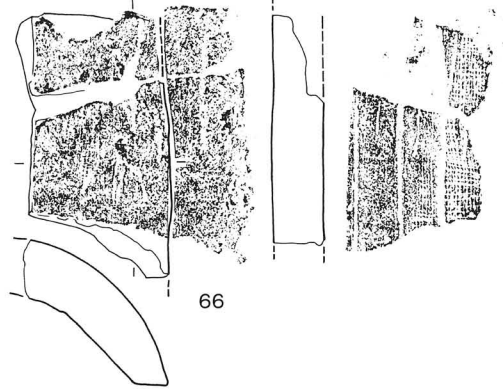
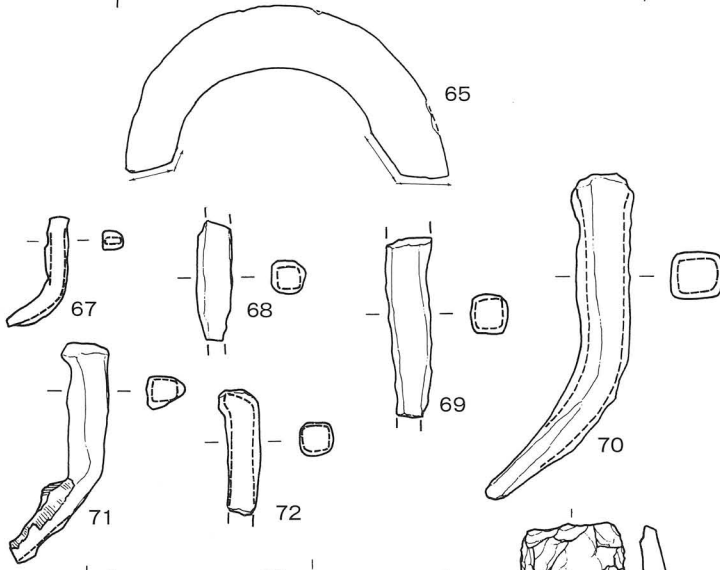
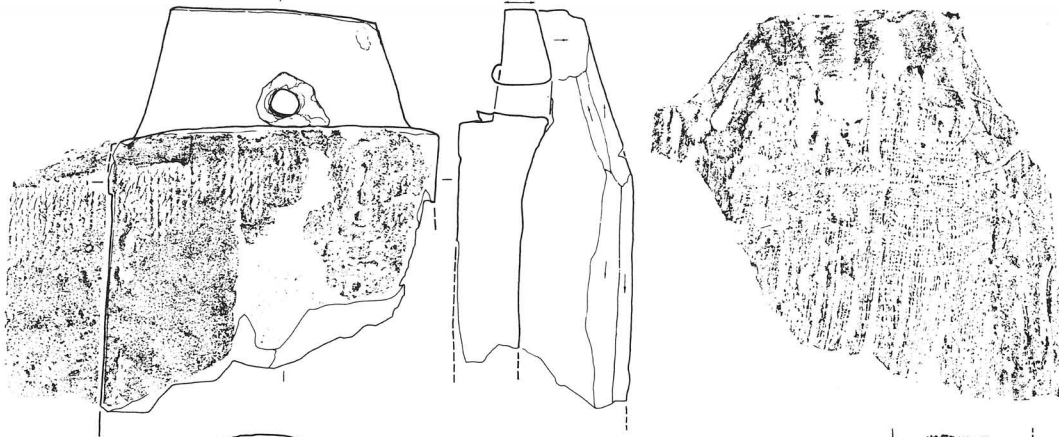


0 37-61 (1:4) 10cm

0 31-36 (1:3) 10cm

第155图 9号溝・池状遺構 遺物

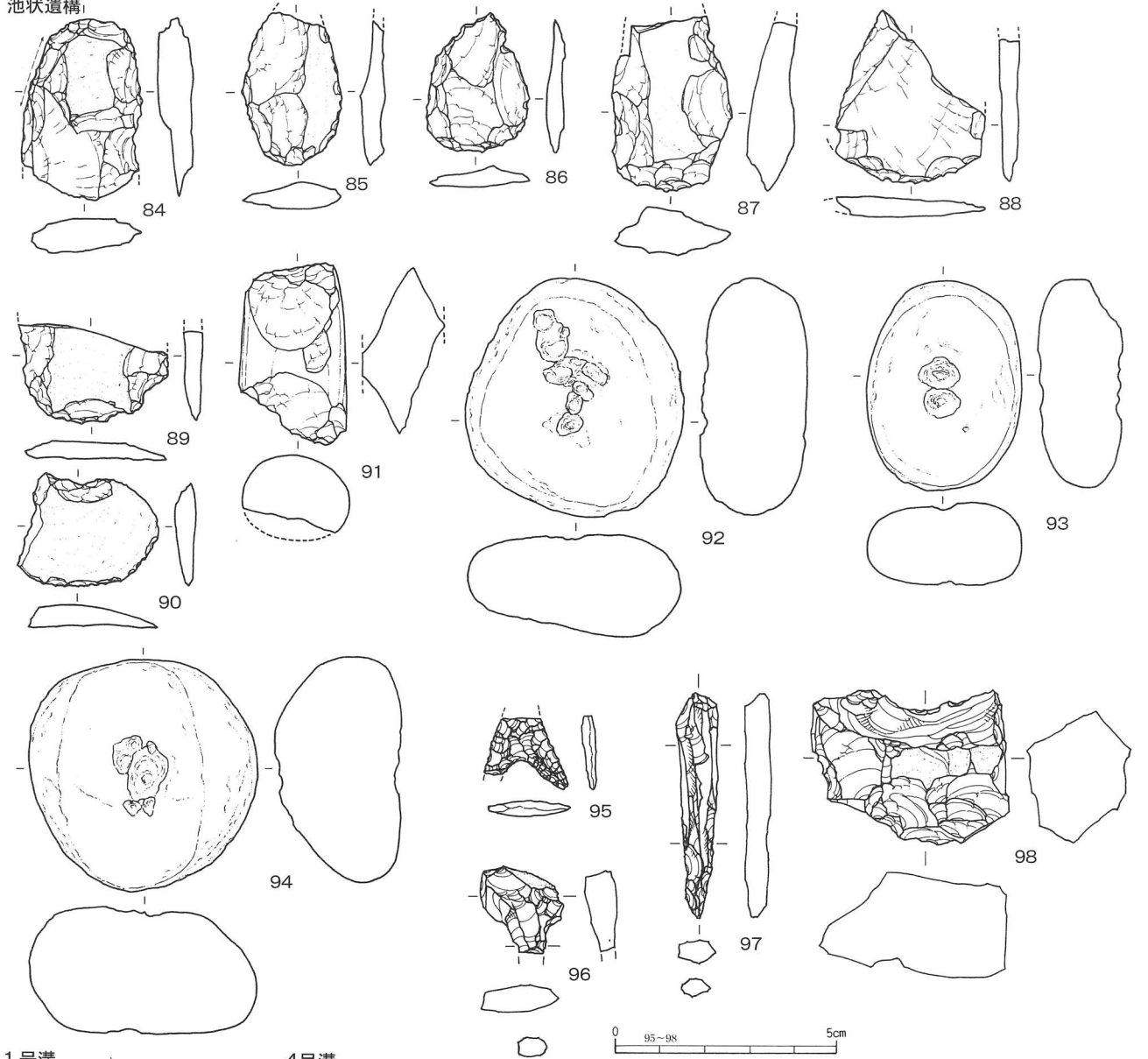
池状遺構



第156図 池状遺構 遺物

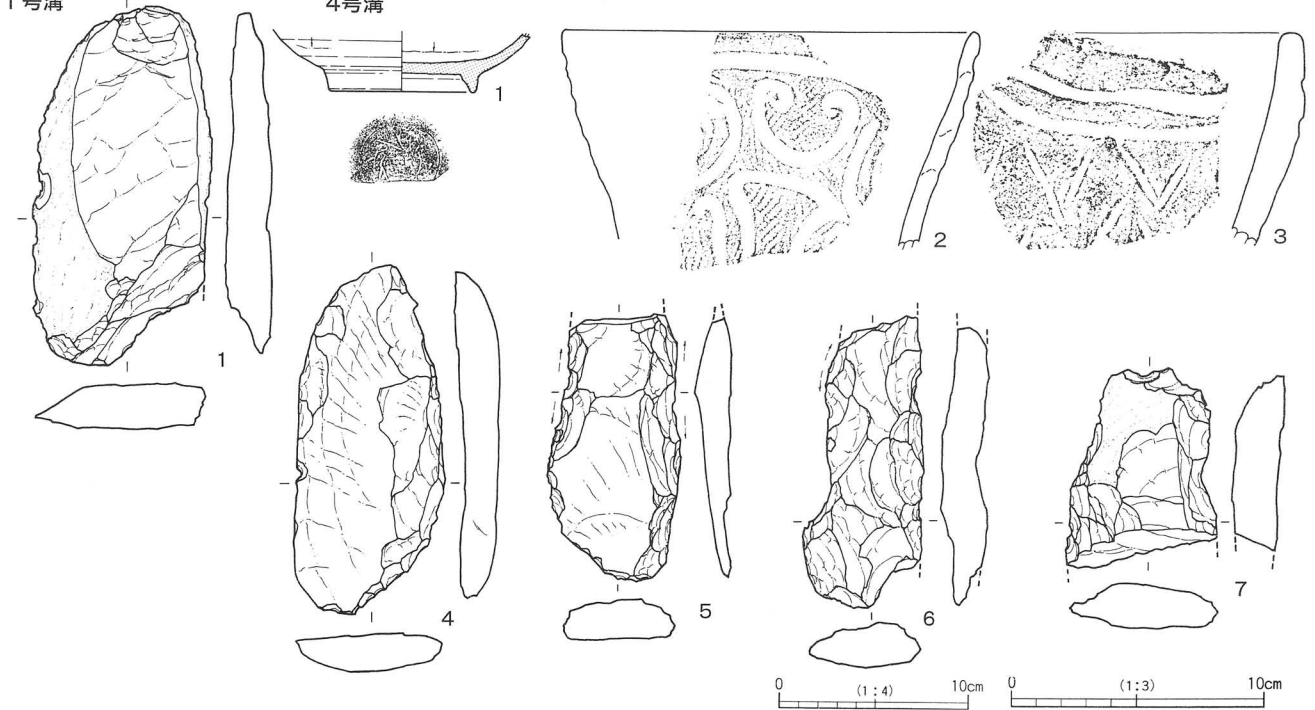


池状遺構



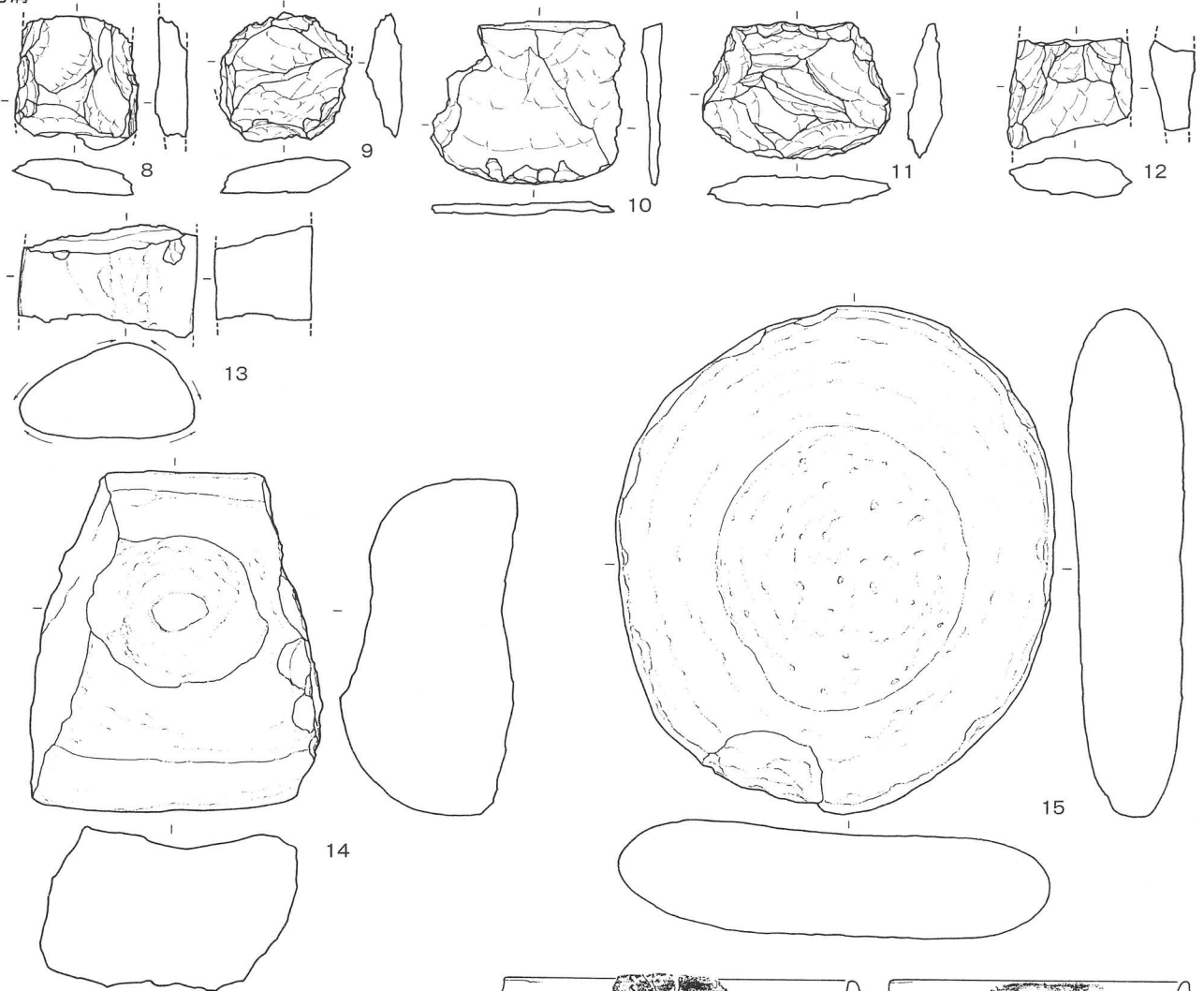
1号溝

4号溝

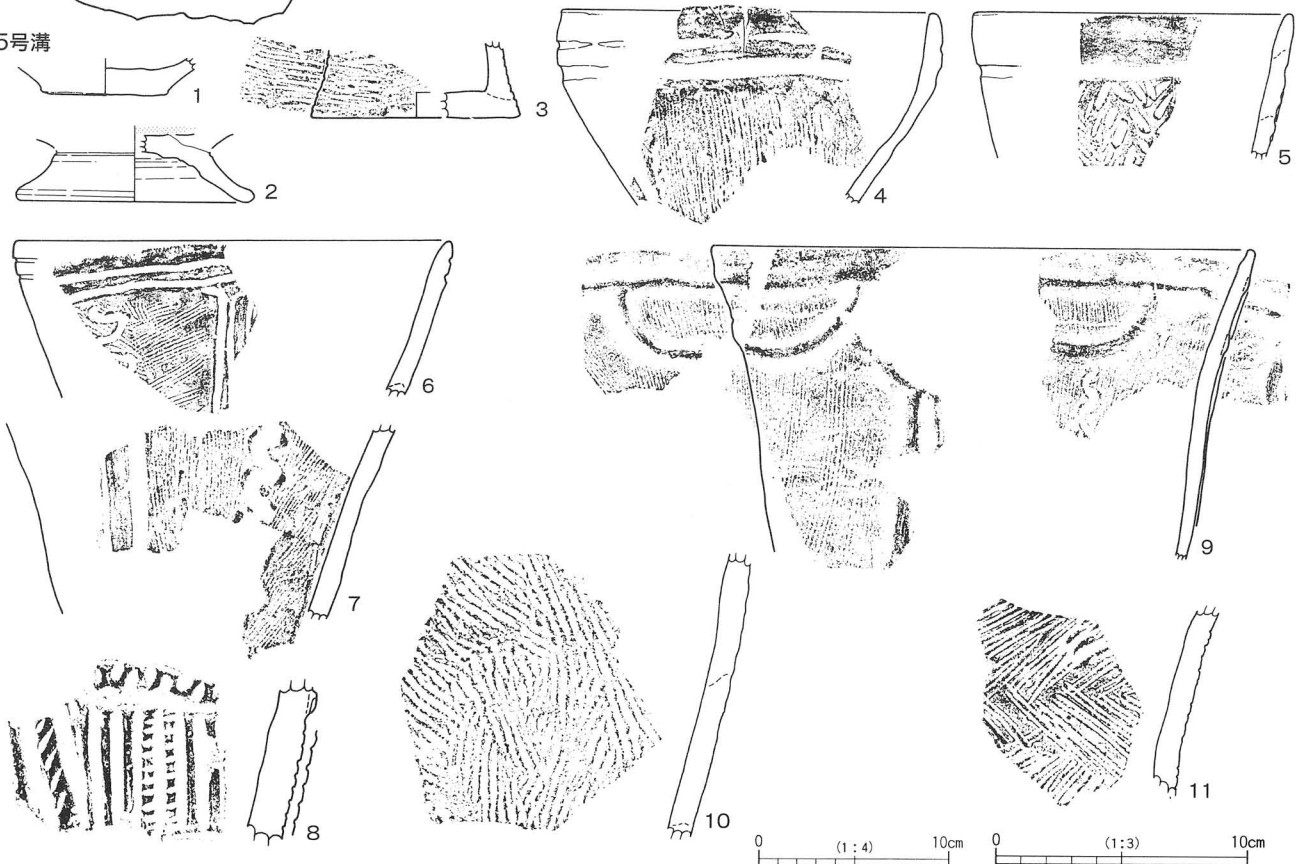


第157図 池状遺構・1・4号溝 遺物

4号溝

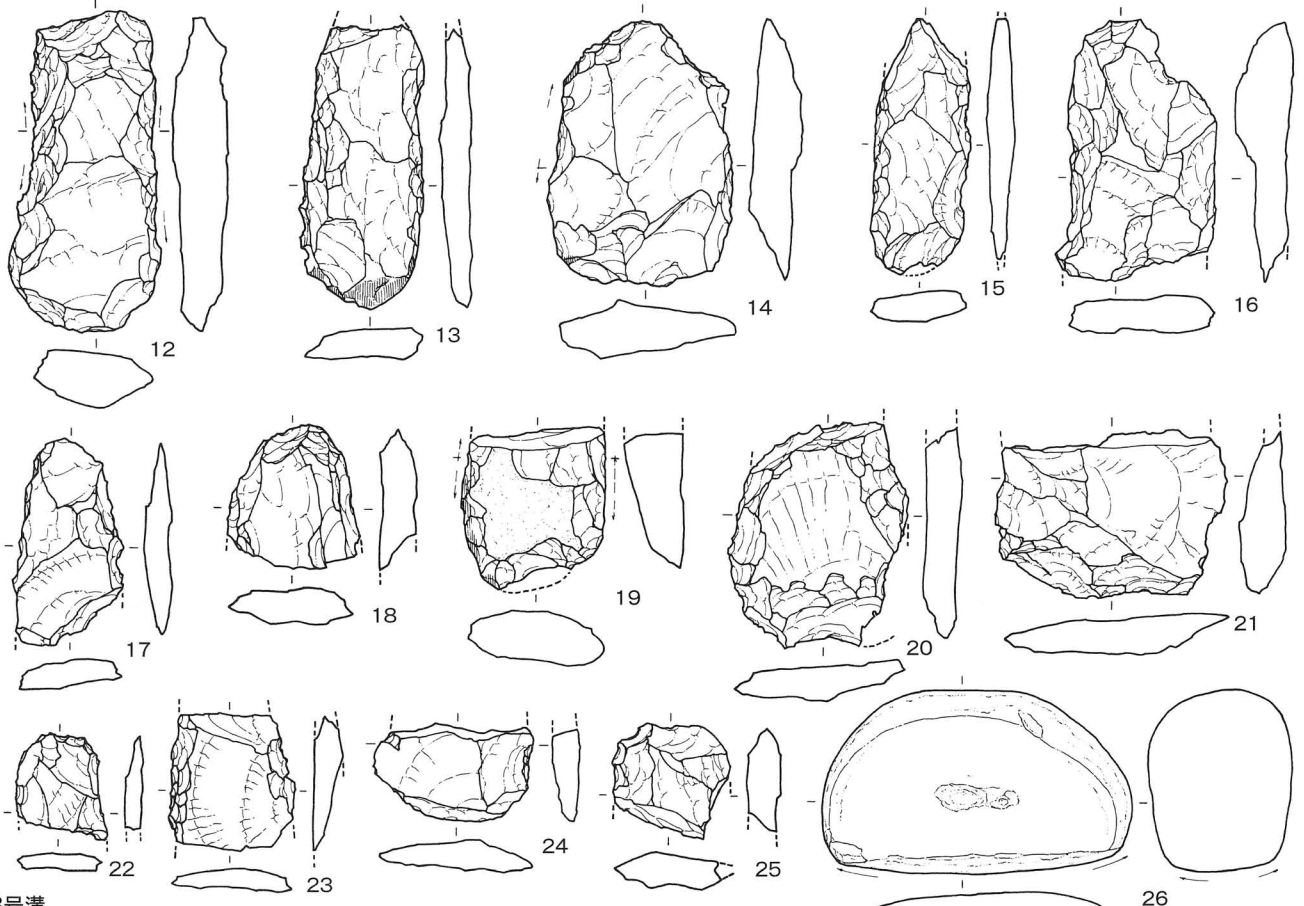


5号溝

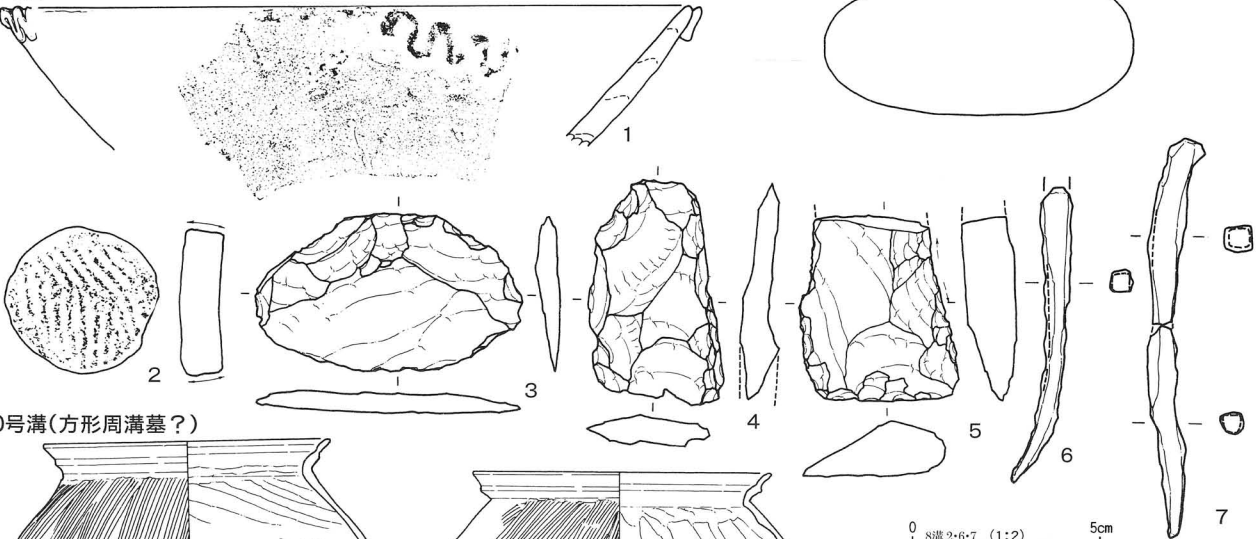


第158图 4·5号溝 遺物

5号沟



8号沟

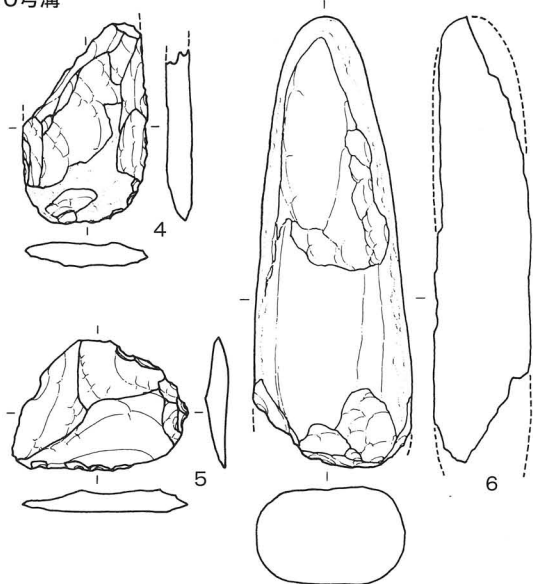


10号沟(方形周沟墓?)

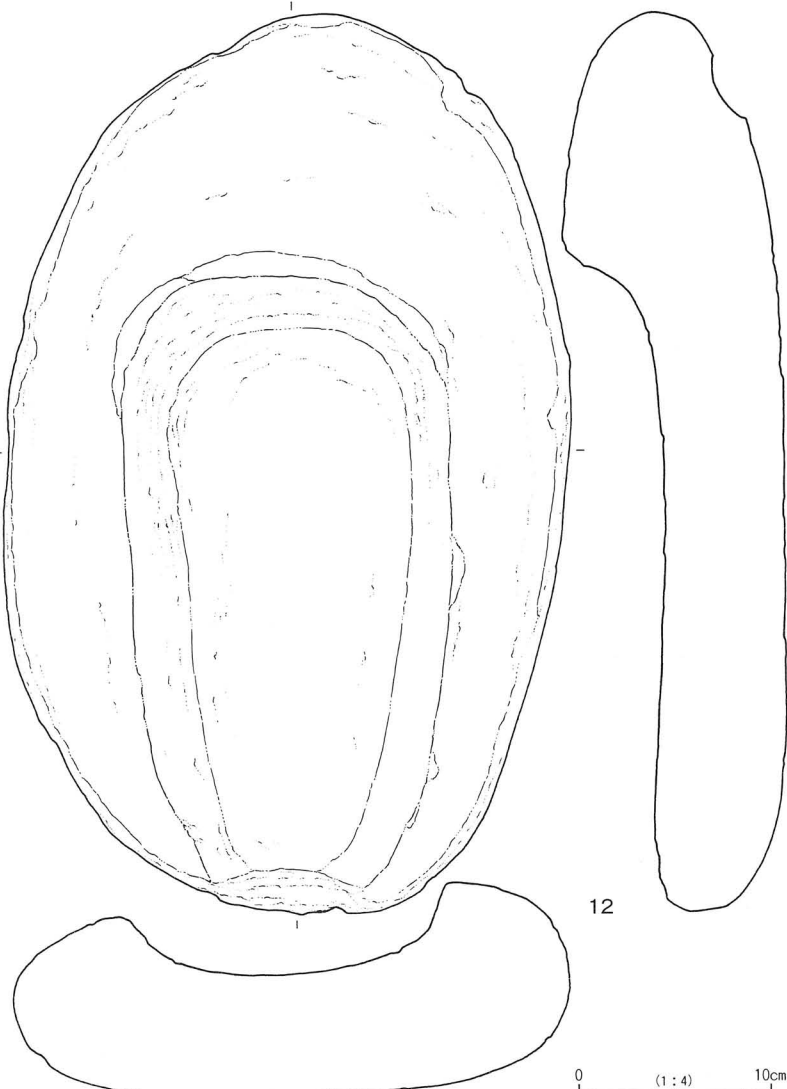
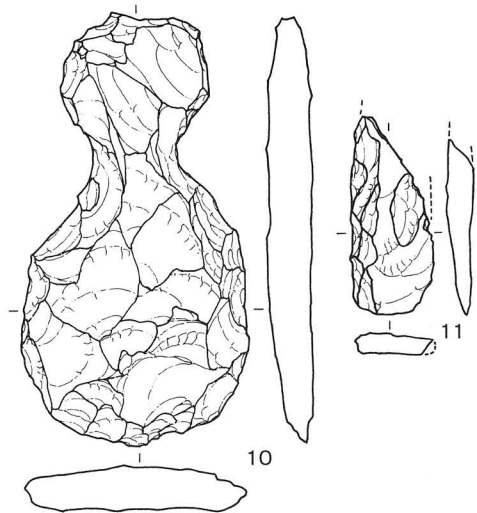
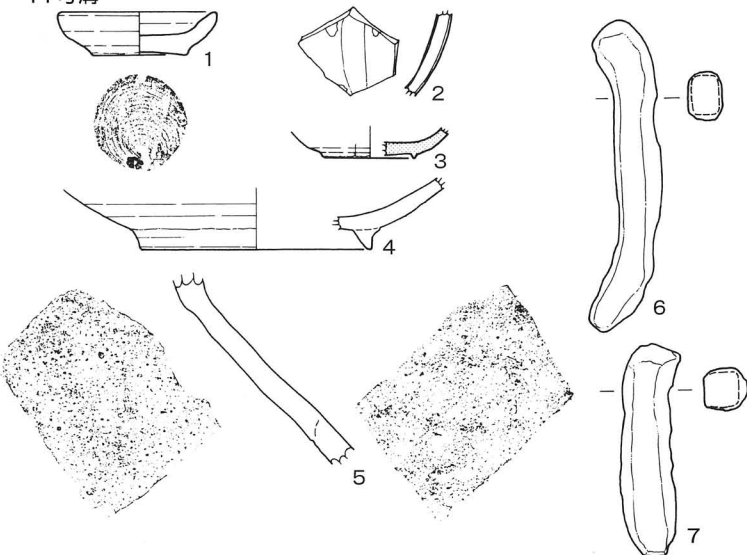


第159图 5·8·10号沟 遗物

10号溝



11号溝



0 11溝 6·7 (1:2) 5cm

0 (1:3) 10cm

0 (1:4) 10cm

第160図 10·11号溝 遺物

11号溝

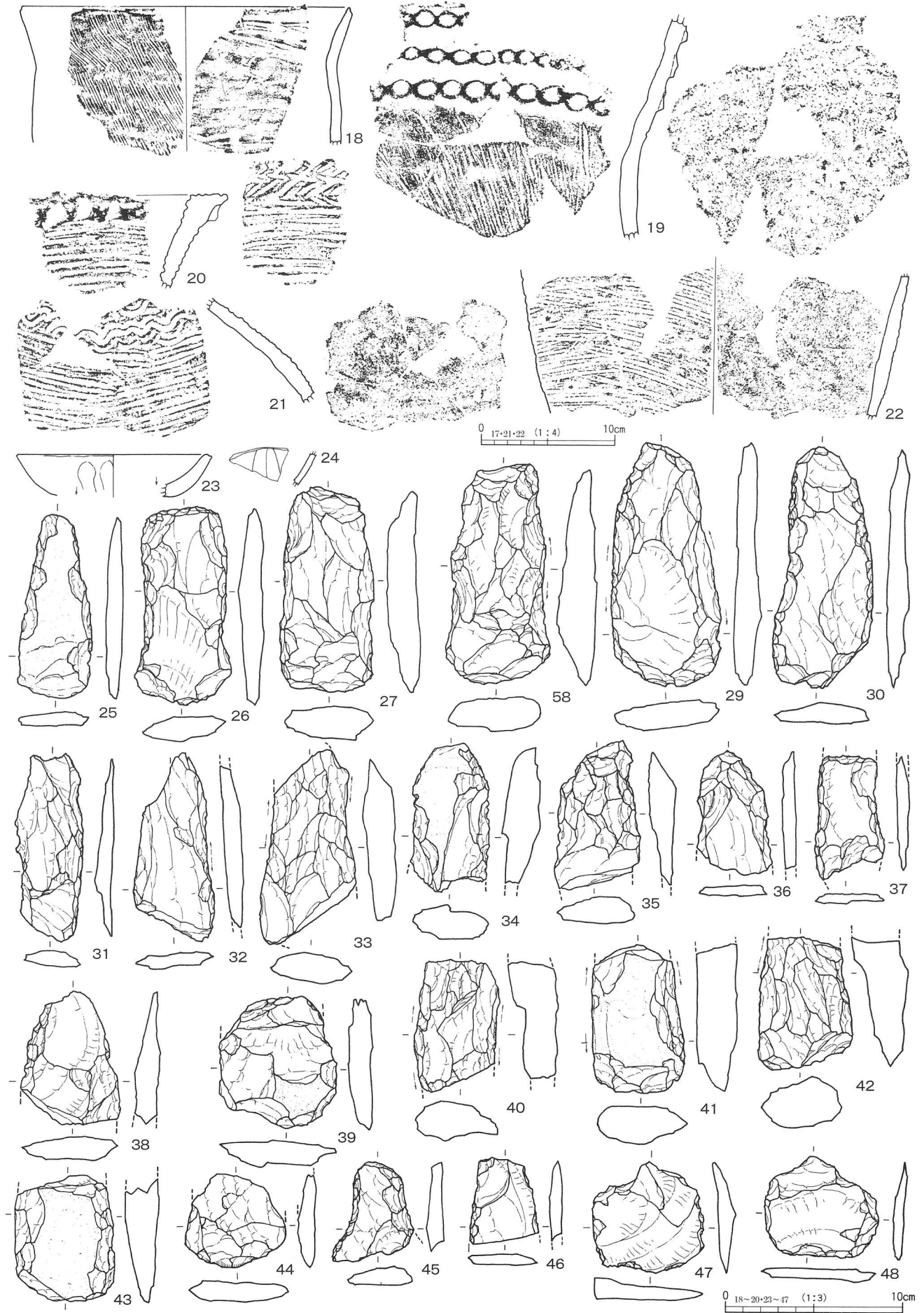
12号溝



第161図 11・12号溝・ピット・グリッド 遺物

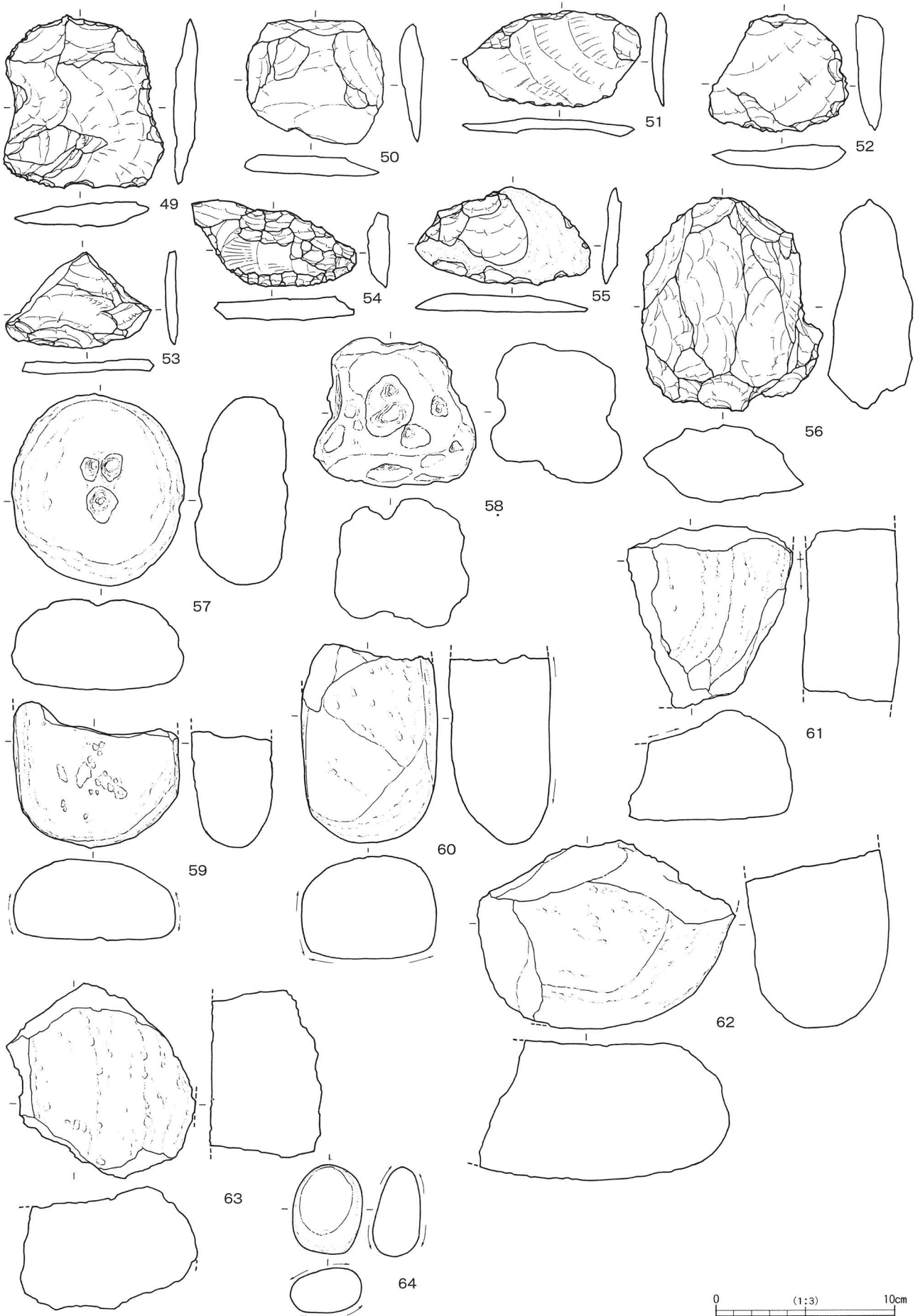


グリッド



第162図 グリッド 遺物

グリッド



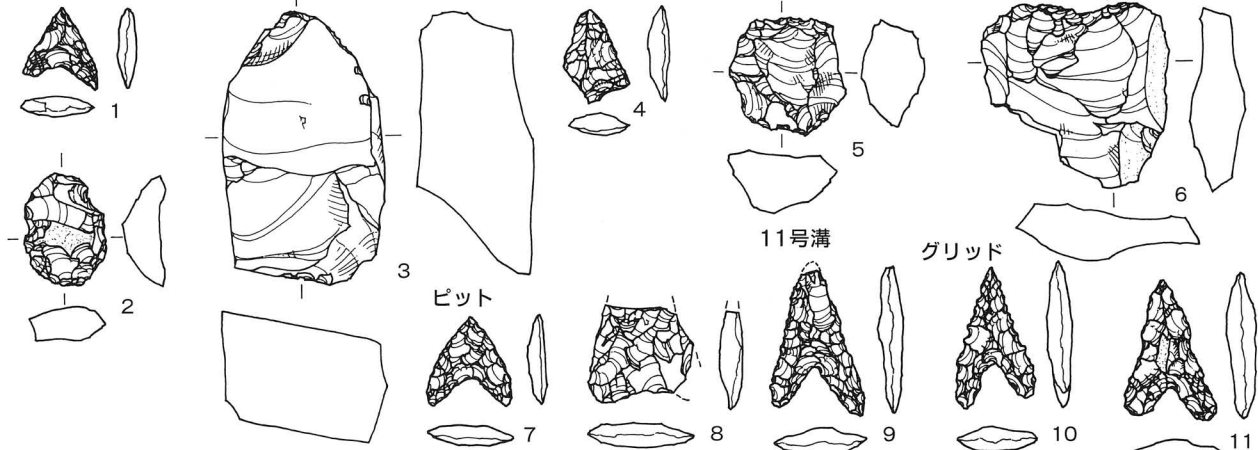
第163図 グリッド 遺物

4号溝

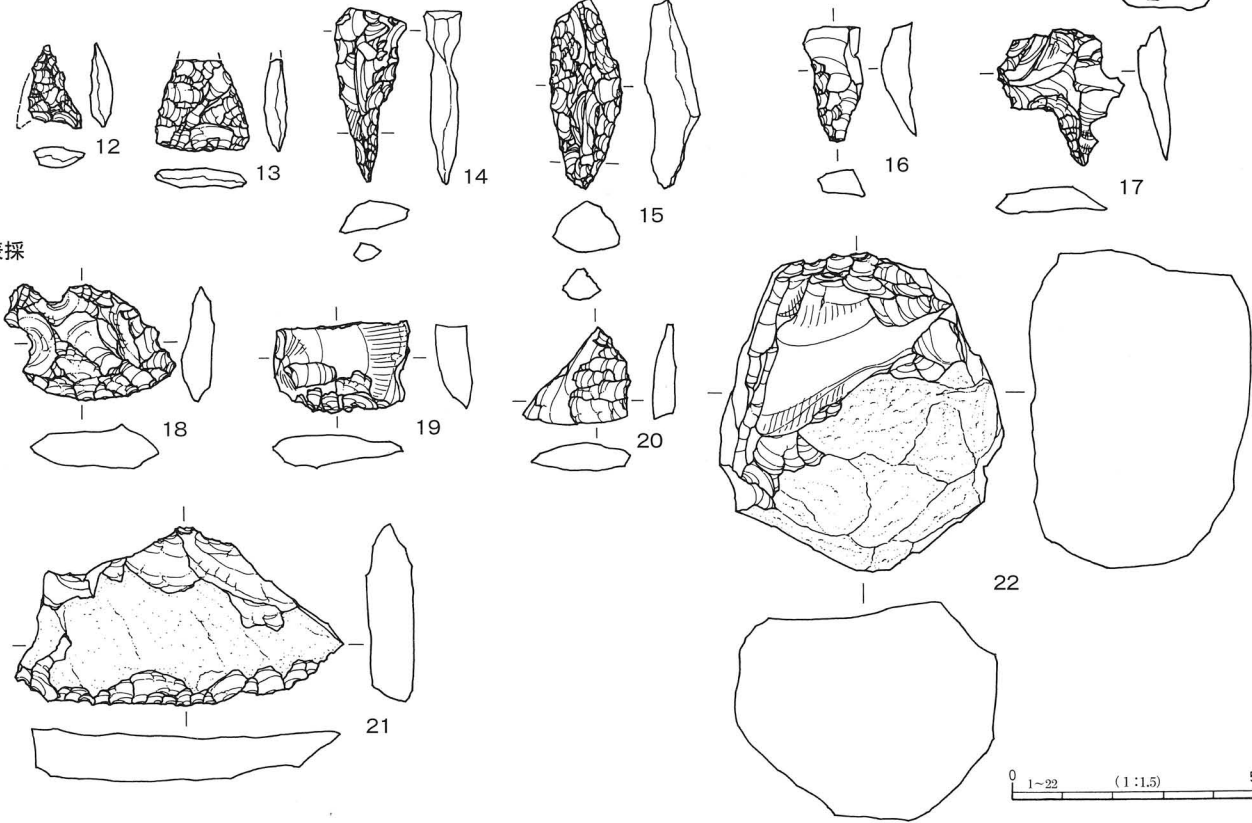
5号溝

8号溝

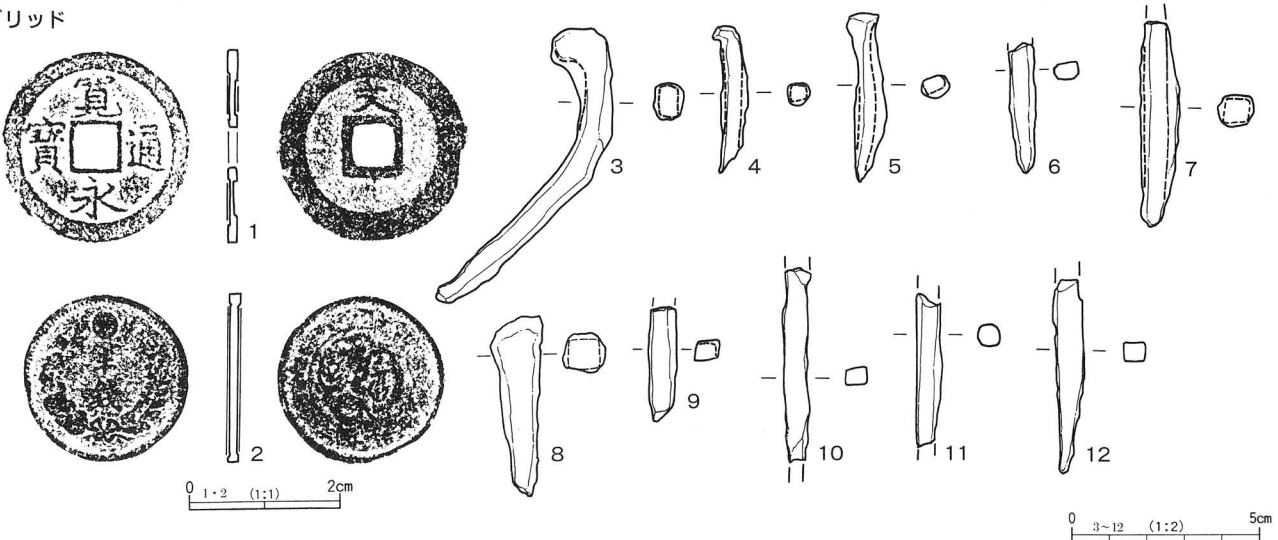
9号溝



表採

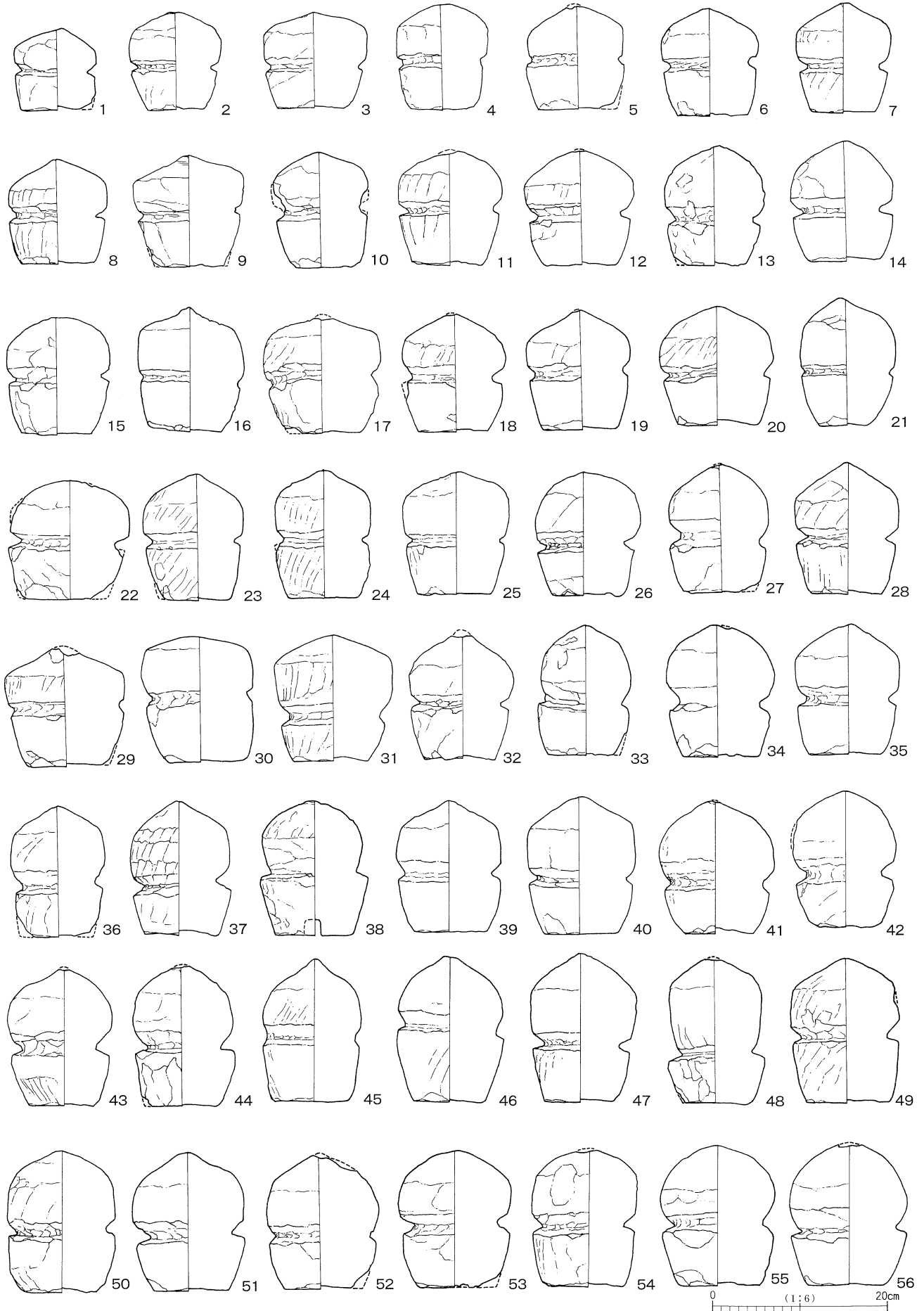


グリッド

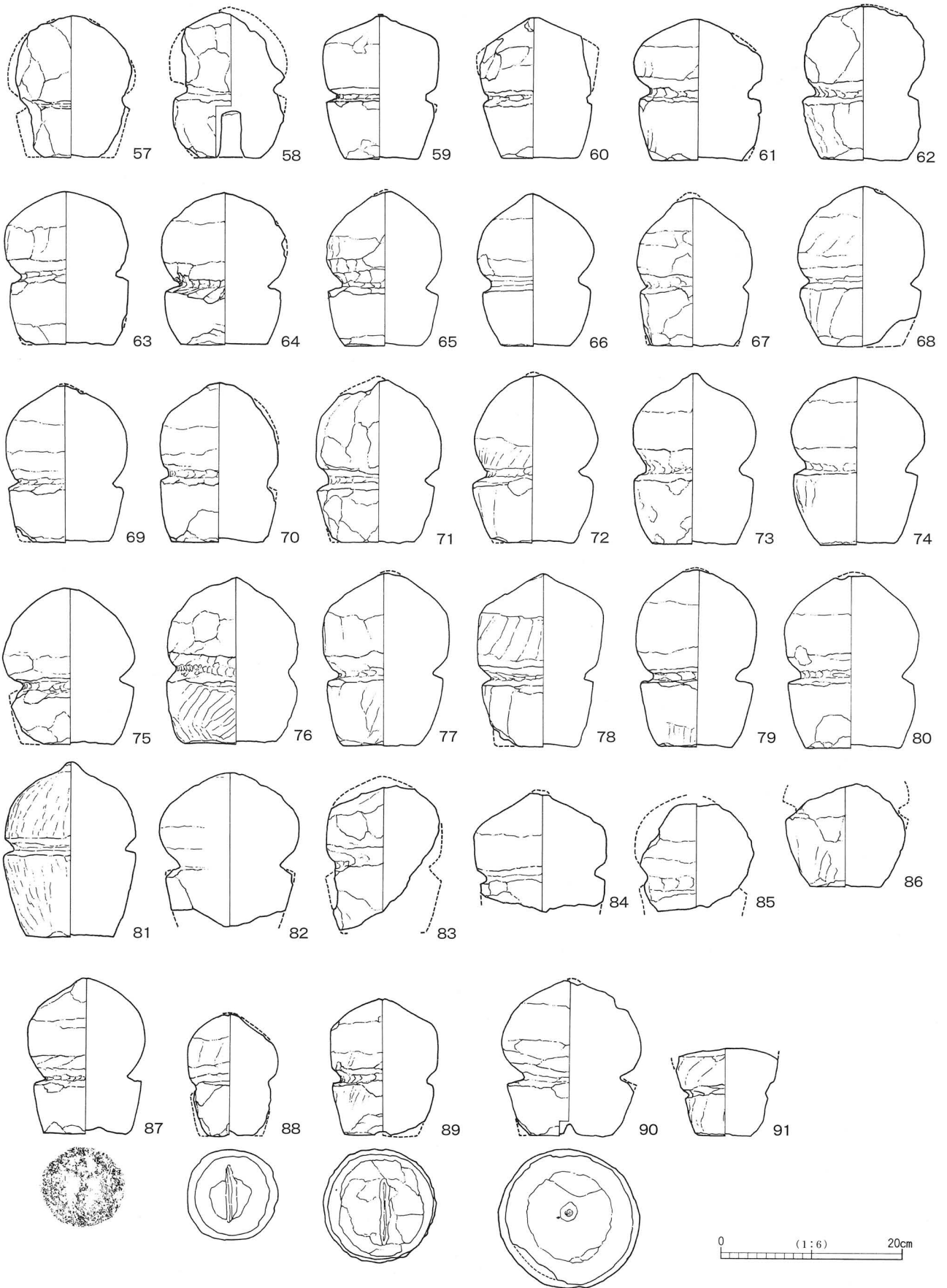


第164図 溝・ピット・グリッド 遺物

方形集石



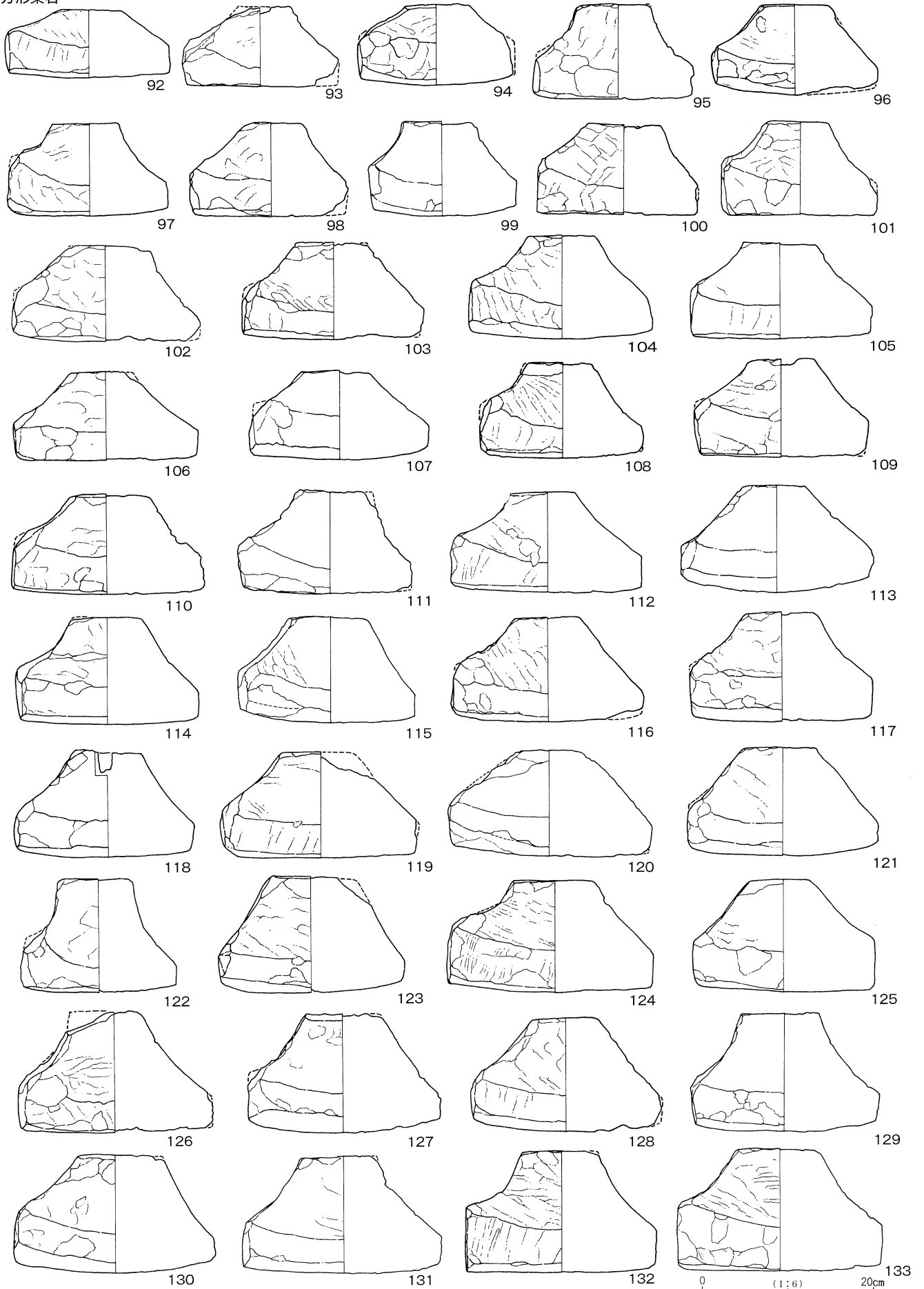
第165図 五輪塔 (1)



第166図 五輪塔 (2)

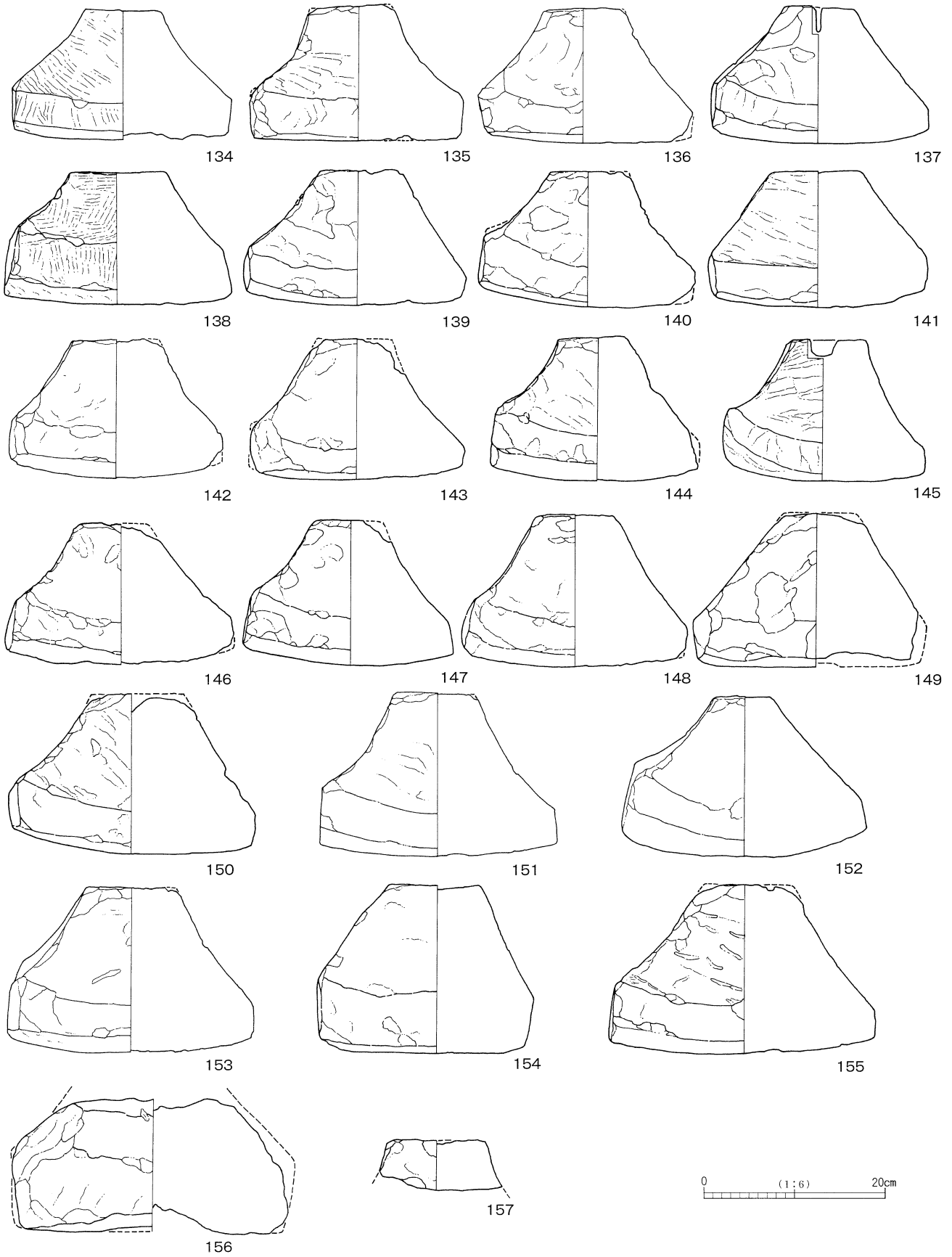


方形集石



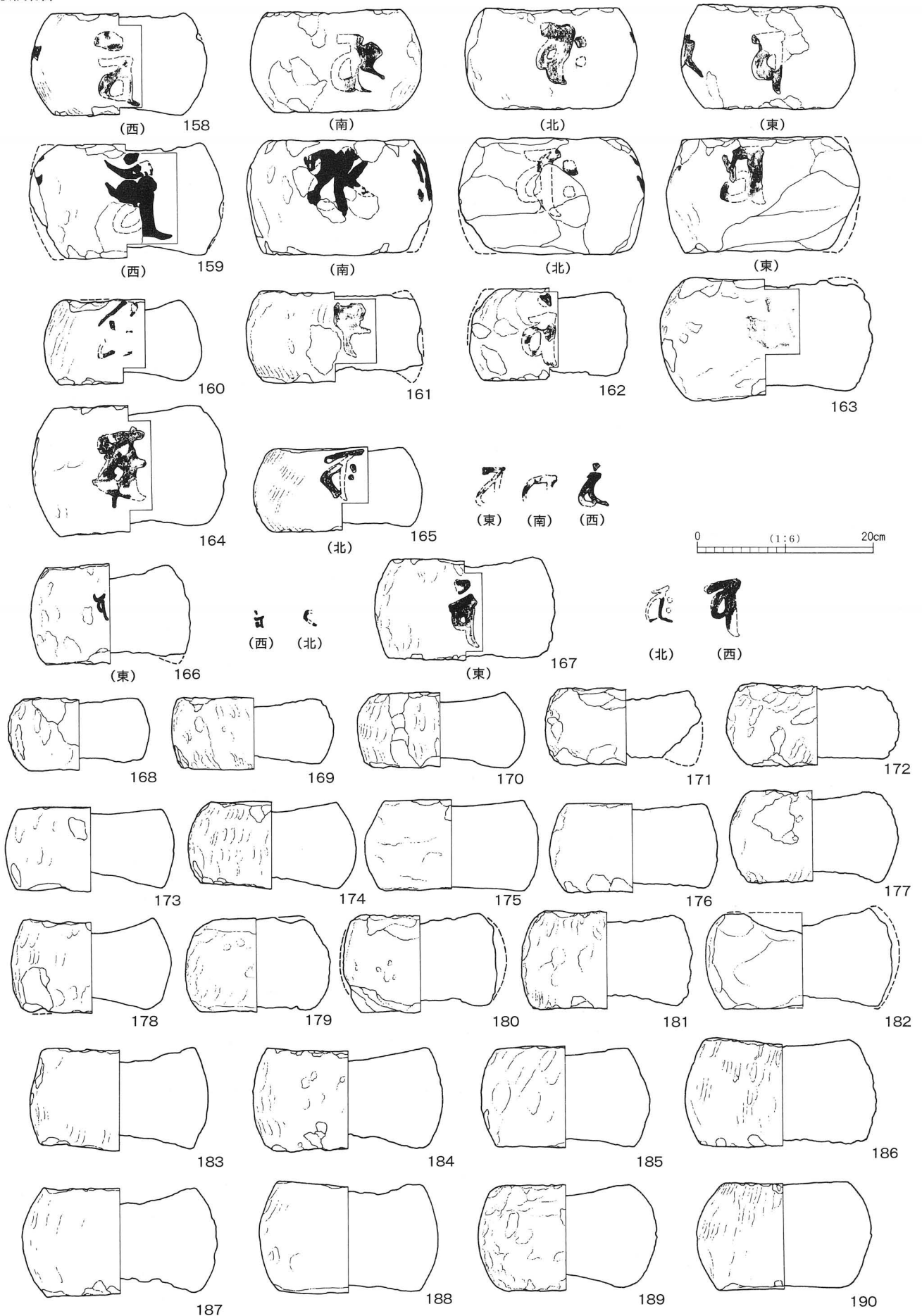
第167图 五輪塔 (3)

方形集石



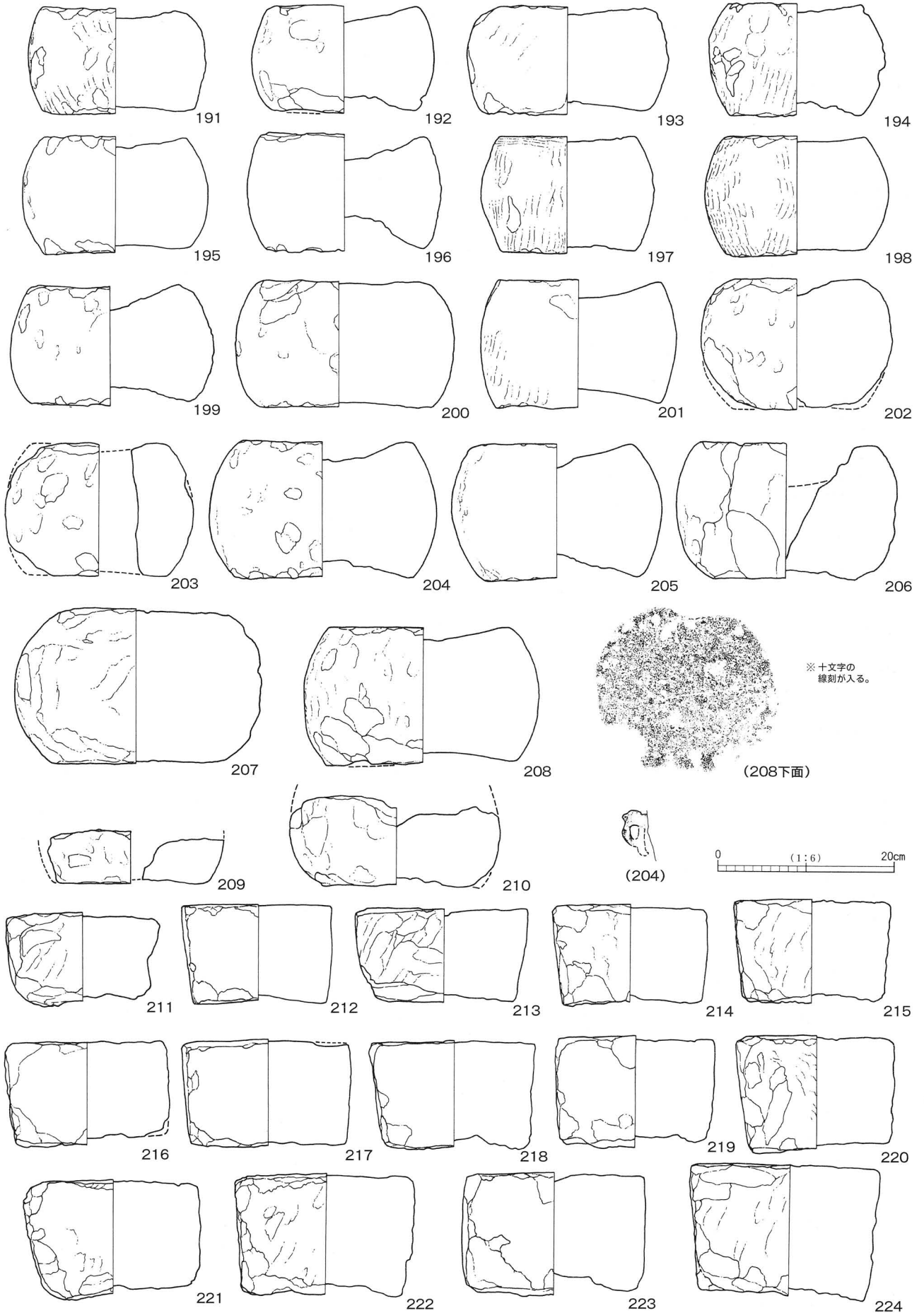
第168図 五輪塔 (4)

方形集石



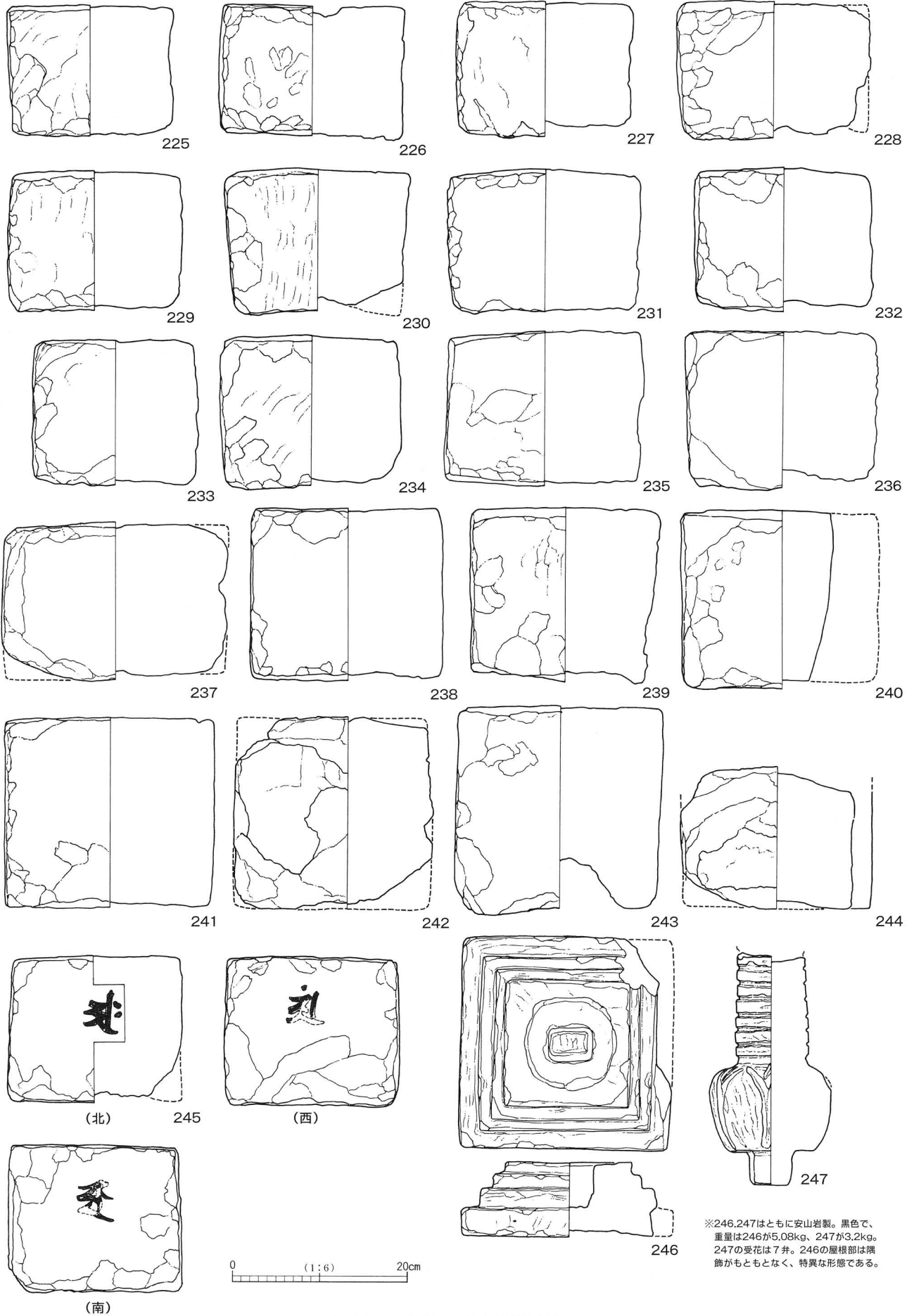
第169図 五輪塔 (5)

方形集石



第170図 五輪塔 (6)

方形集石



※246,247はともに安山岩製。黒色で、重量は246が5.08kg、247が3.2kg。247の受花は7弁。246の層根部は隅飾がもともとなく、特異な形態である。

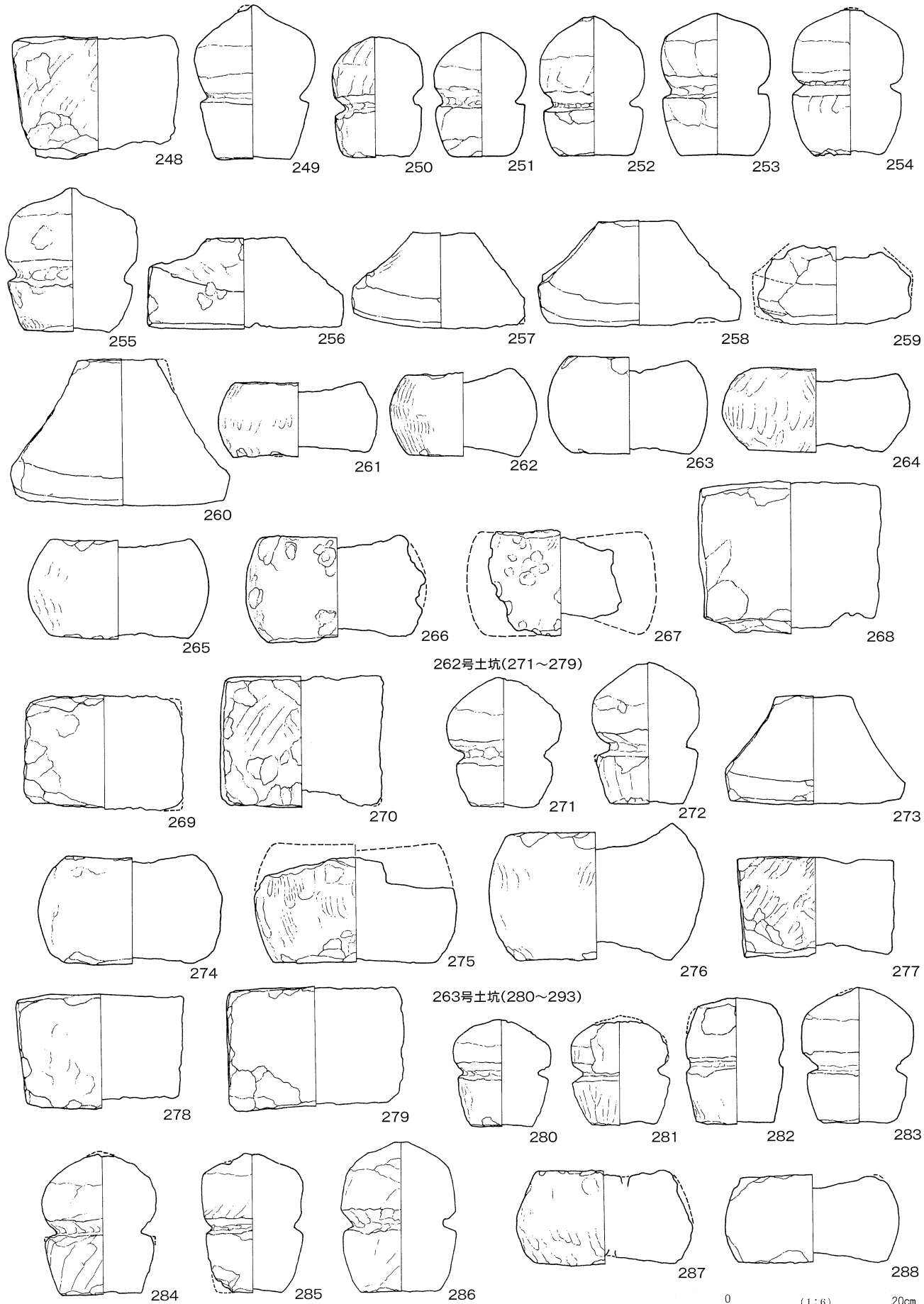
第171図 五輪塔及び宝篋印塔 (7)



257号土坑(248)

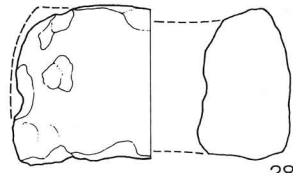
259号土坑(249)

260号土坑(250~270)

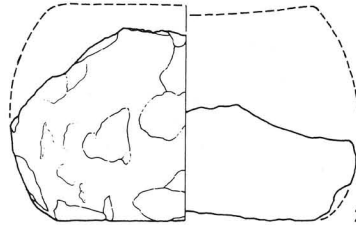


第172图 五輪塔 (8)

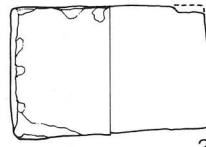
263号土坑



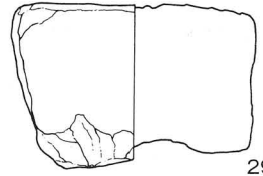
289



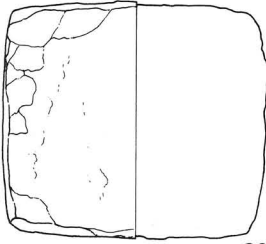
290



291

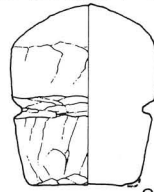


292

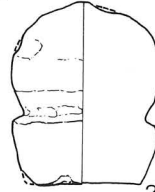


293

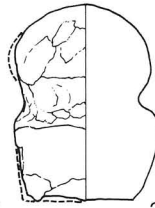
265号土坑(294~318)



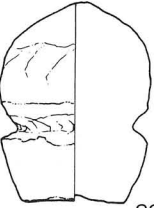
294



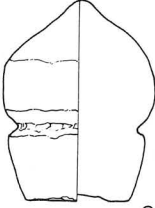
295



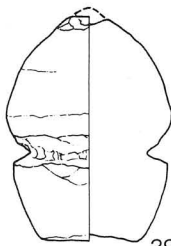
296



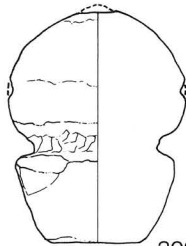
297



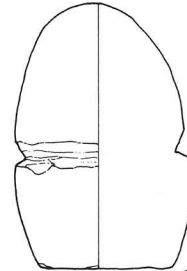
298



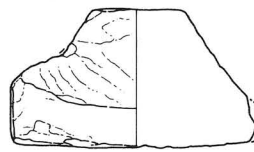
299



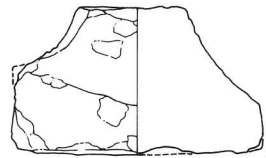
300



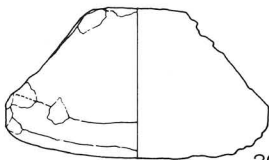
301



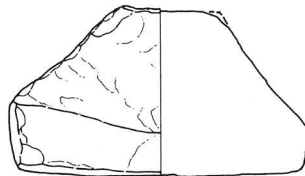
302



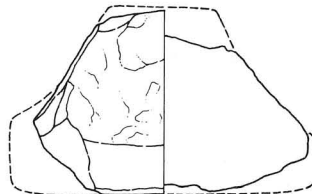
303



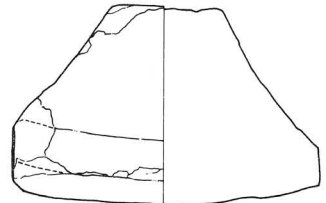
304



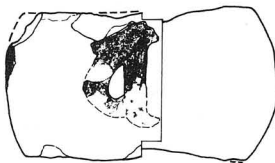
305



306



307



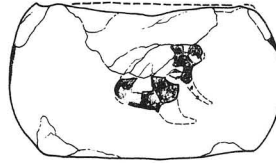
(東)

308



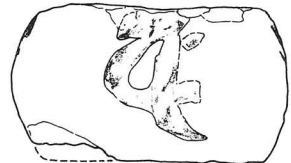
(西)

309



(南)

310

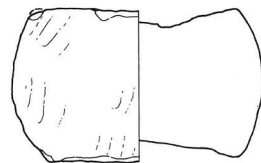


(北)

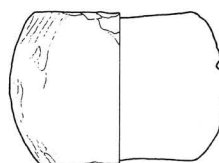
311



312



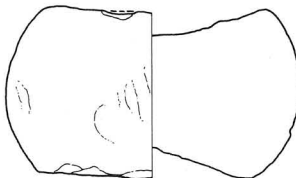
313



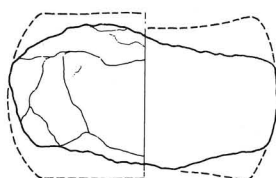
314



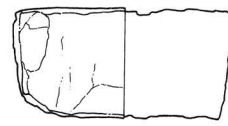
315



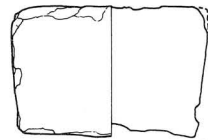
316



317



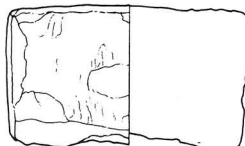
318



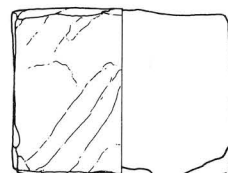
319

268号土坑(320~329)

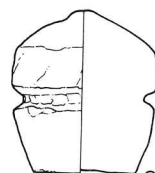
267号土坑(319)



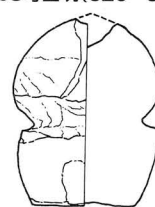
320



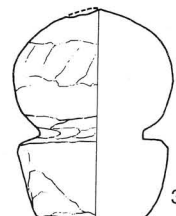
321



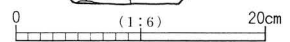
322



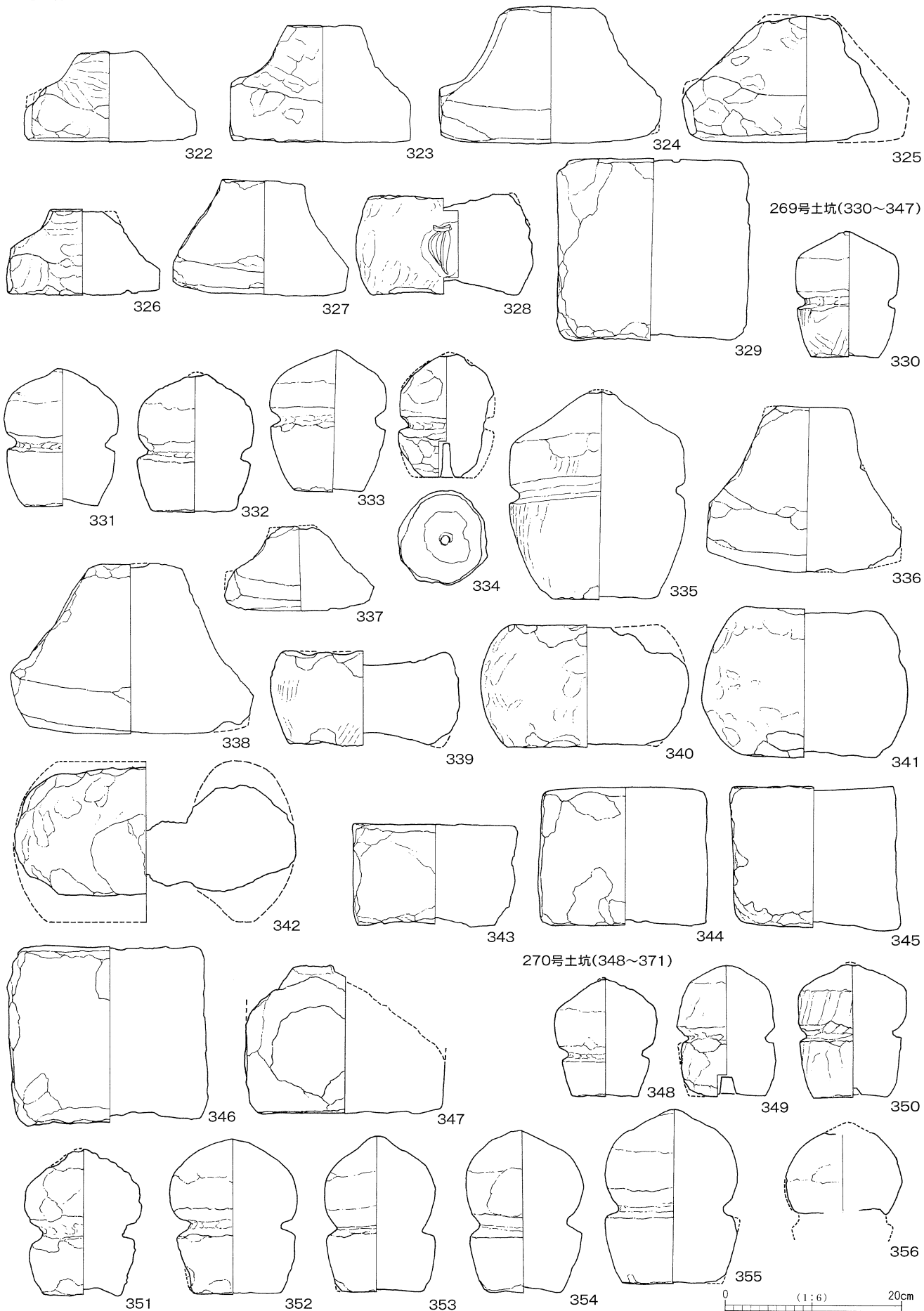
323



324

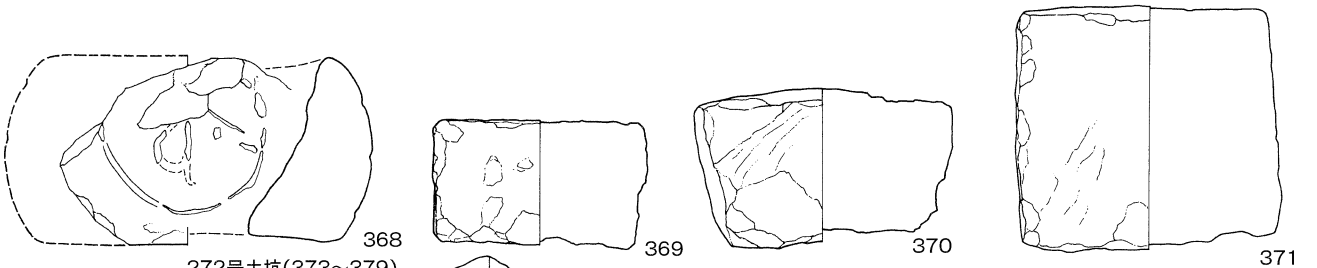
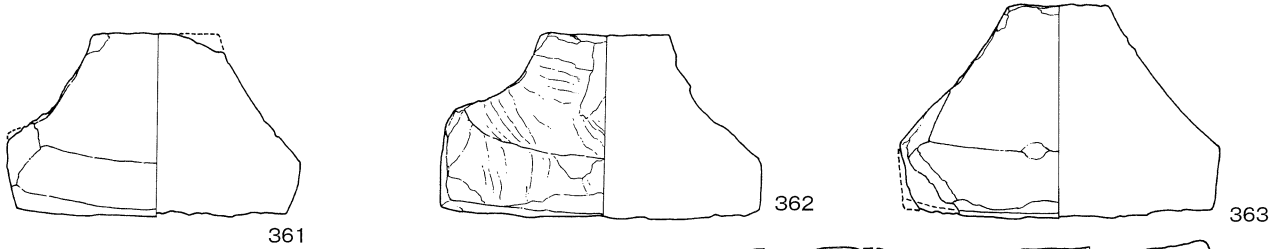
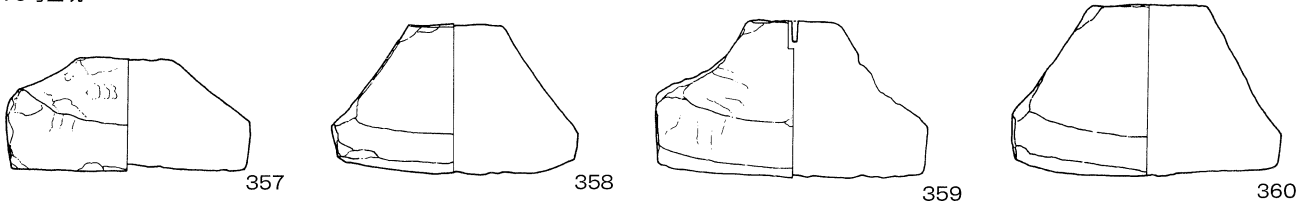


第173图 五輪塔 (9)

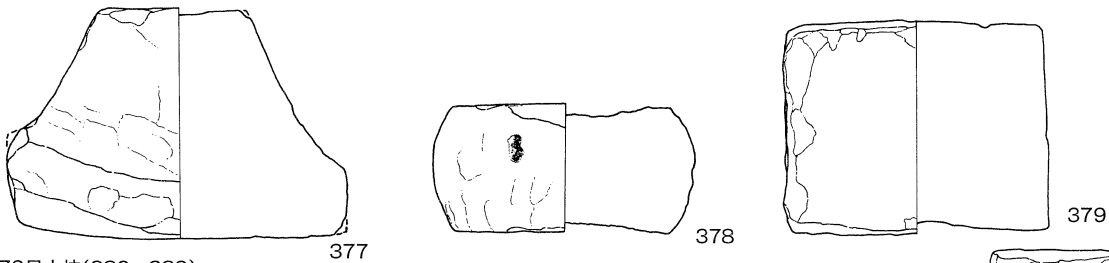
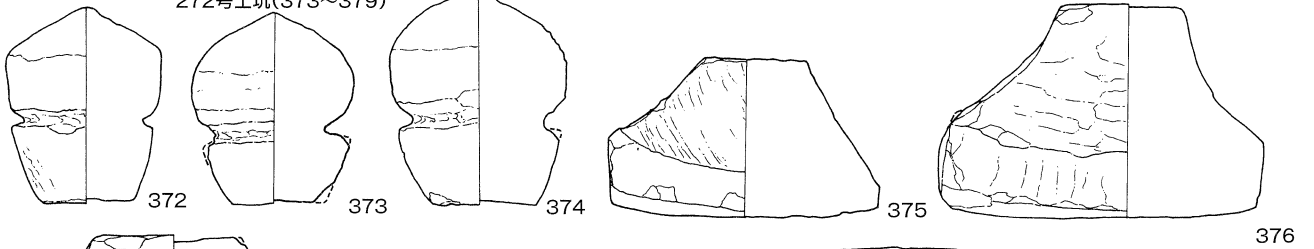


第174图 五輪塔 (10)

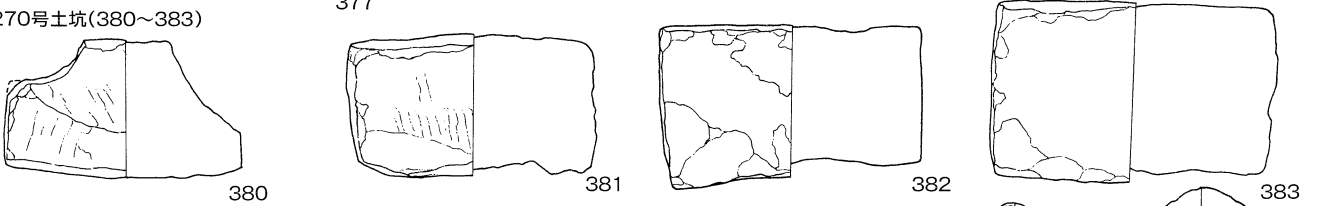
270号土坑



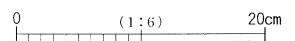
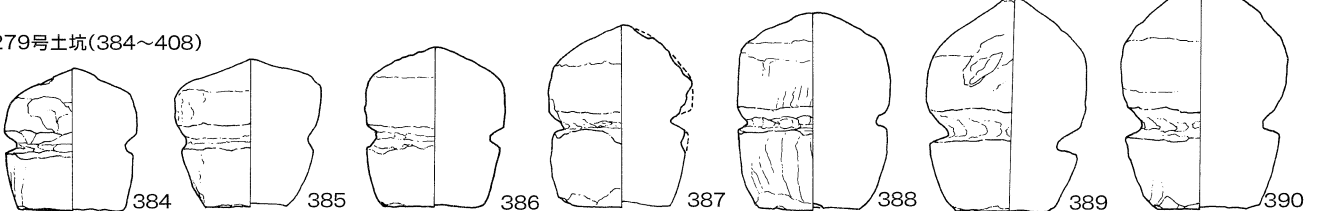
272号土坑(373~379)



270号土坑(380~383)

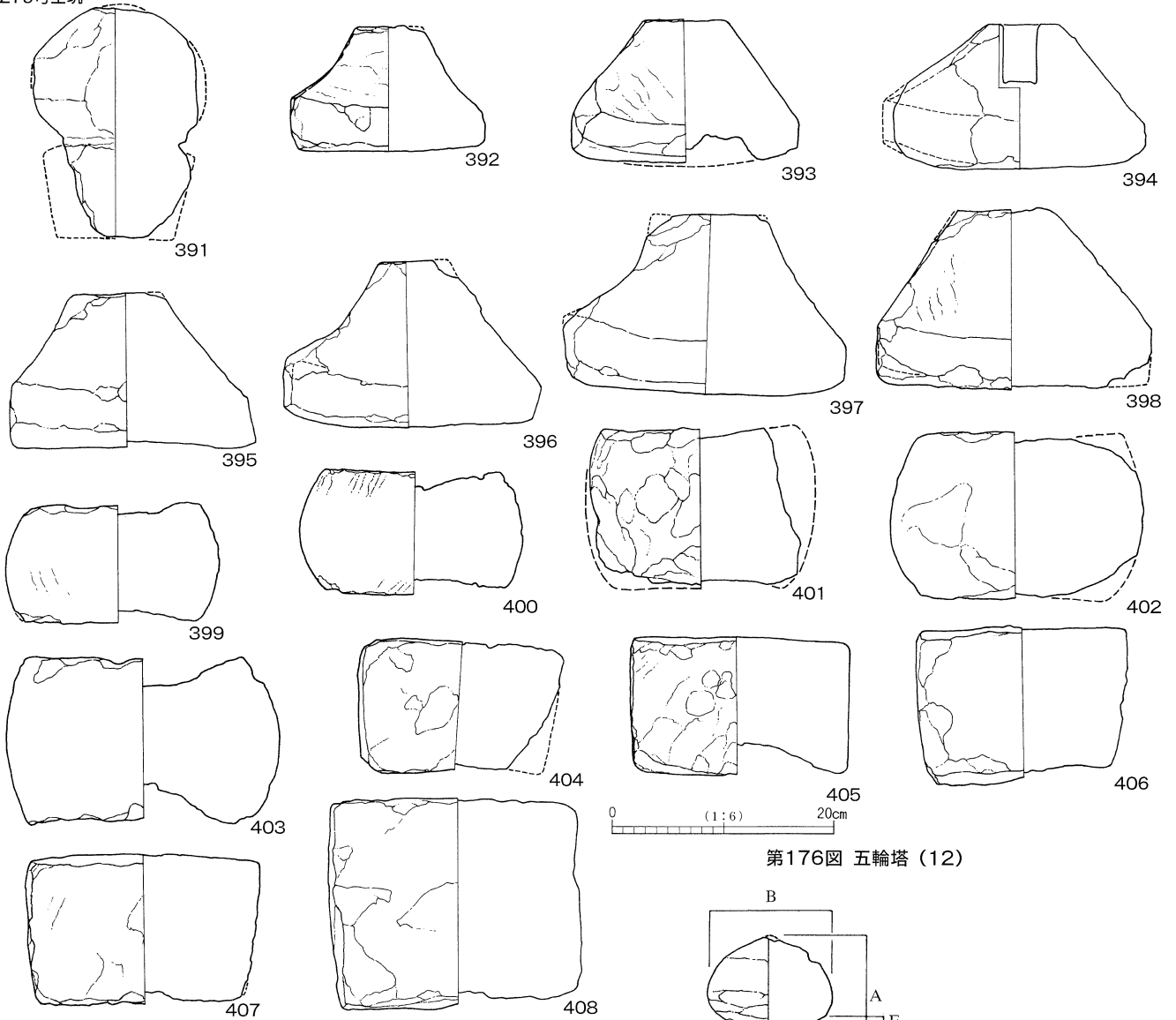


279号土坑(384~408)



第175图 五輪塔 (12)

279号土坑



第176図 五輪塔 (12)

涅槃門	菩提門	修行門	發心門	字義
北	西	南	東	

虚空	虚空	虚空	虚空	虚空
因業	因業	因業	因業	因業
塵垢	塵垢	塵垢	塵垢	塵垢
言説	言説	言説	言説	言説
不生	不生	不生	不生	不生

図25 五輪塔の梵字(1979 矢島より)

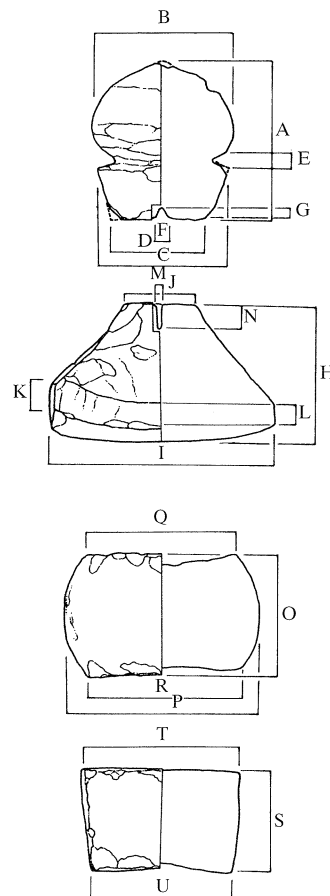


図26 五輪塔計測位置

※水輪の上下の判断は現在のところ基準がない。また地輪の上下については、上面は整形が側面と同じで平坦であるが、下面は荒く、へこんでいることが多い。



## 報 告 書 抄 録

ふ り が な	いしのつぼいせき (ひがしちく)
書 名	石之坪遺跡 (東地区)
副 題 名	－ 県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 －
巻 次	－
シ リ ー ズ 名	－
シ リ ー ズ 番 号	－
編 著 者 名	櫛原功一・河西学・吉川純子
編 集 機 関	石之坪遺跡発掘調査会
所 在 地	〒406-0032 山梨県東八代郡石和町四日市場1566 (財)山梨文化財研究所
発 行 機 関	韮崎市教育委員会
所 在 地	〒407-8501 山梨県韮崎市水神1-3-1
発 行 年 月 日	2000年3月31日
ふ り が な	いしのつぼいせきひがしちく
所 収 遺 跡 名	石之坪遺跡 (東地区)
ふ り が な	やまなしけんいらさきしまるのちょうかみつぶらいあざいしのつぼ
所 在 地	山梨県韮崎市円野町上円井字石之坪 1520 ほか
市 町 村 コード	19207
遺 跡 番 号 コード	52 (若神子5338-53)
北 緯	北緯 35° 45' 39"
東 経	東経 138° 24' 2"
調 査 期 間	1998年5月18日～1999年3月9日
調 査 面 積	4928m <sup>2</sup>
調 査 原 因	県営圃場整備事業にともなう調査
種 別	集落址・墓地・宗教施設・胞衣墓地
標 高	463～467m
主 な 時 代	縄文時代前・中期、弥生時代中期前半、古墳時代前期、平安～中世、近世～近代
主 な 遺 構	縄文時代・平安～中世堅穴住居(建物)址、中世方形周溝遺構、中世区画溝、方形集石、胞衣墓地、弥生時代フラスコ状土坑、中世地下式坑、土坑墓、集石墓、土坑
主 な 遺 物	縄文土器・石器・土偶装飾付土器・土偶・土師器・灰釉陶器・山茶碗・須恵器・古瀬戸・常滑・貿易陶磁(青磁・白磁)・中世瓦・土師質土器・五輪塔(約420点)・宝篋印塔・鉄製品・銭貨・胞衣容器・ガラス瓶・德利・土瓶ほか
特 記 事 項	12～13世紀の方形周溝遺構、館跡と思われる2条の区画溝、五輪塔群、火山灰分析、炭化種実分析、人骨鑑定

1: 調査区遠景  
(東から)



2: 調査区全景  
(東から)





1: 調査区全景  
(北から)



2: 調査区全景  
(西から)

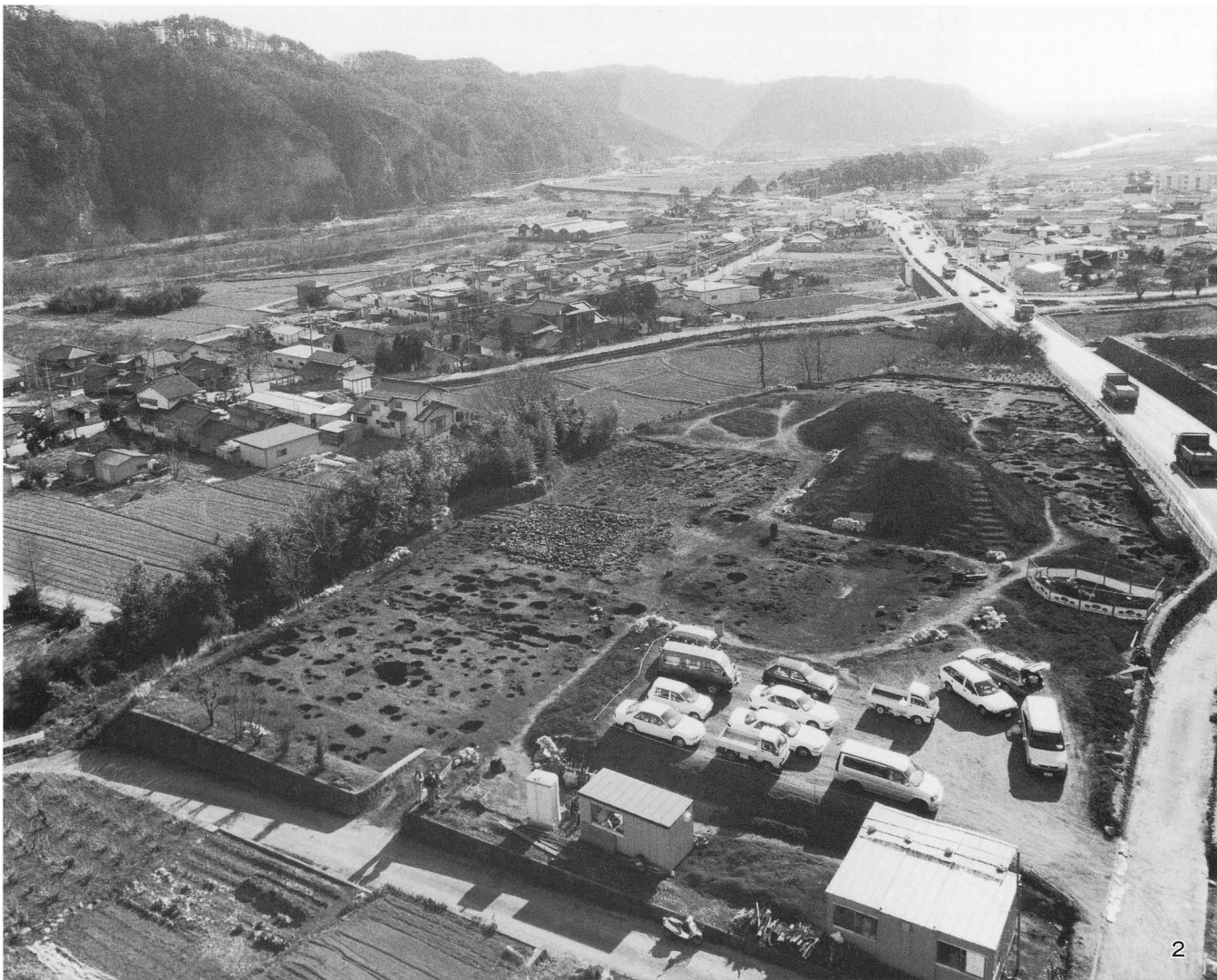


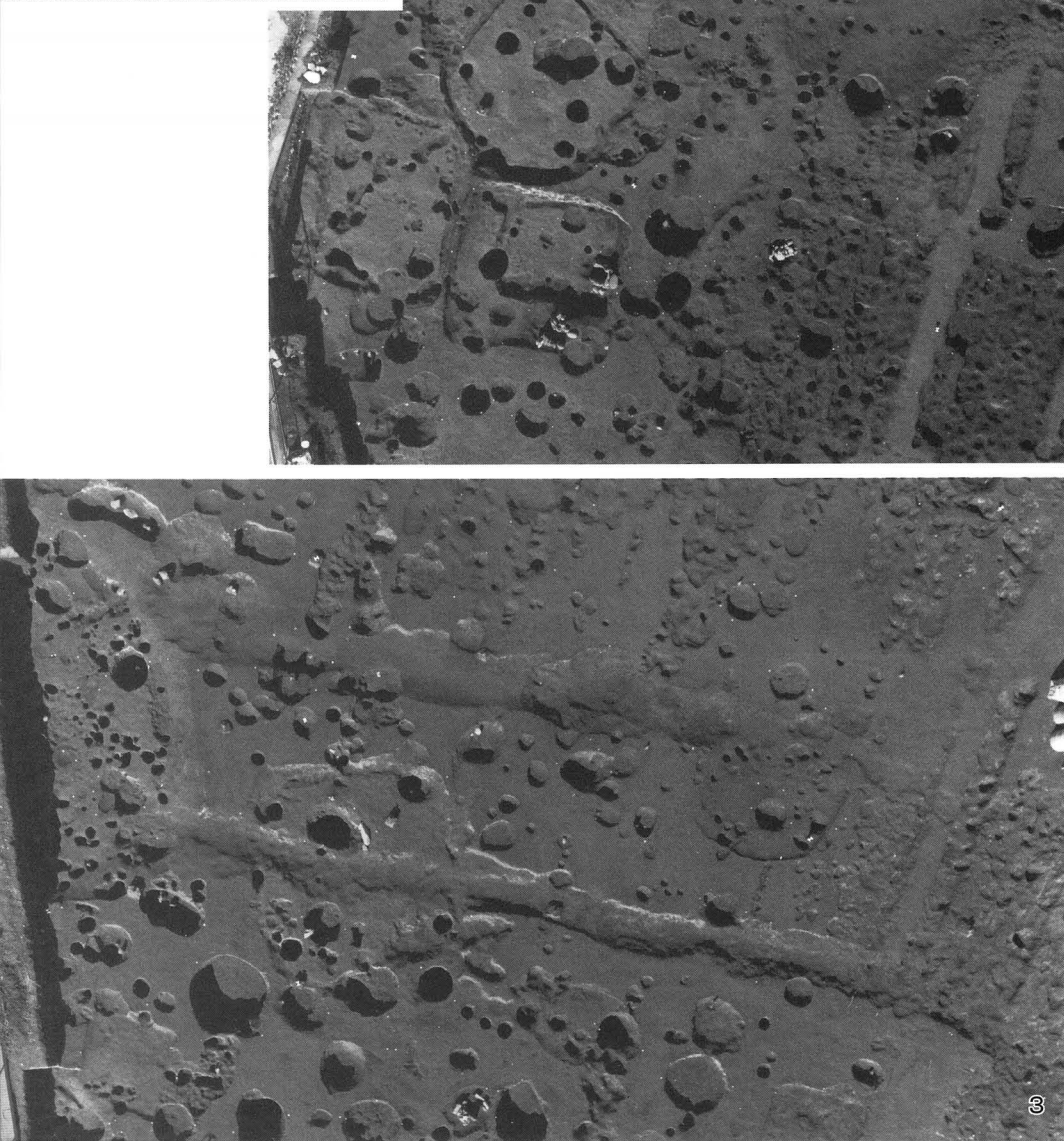
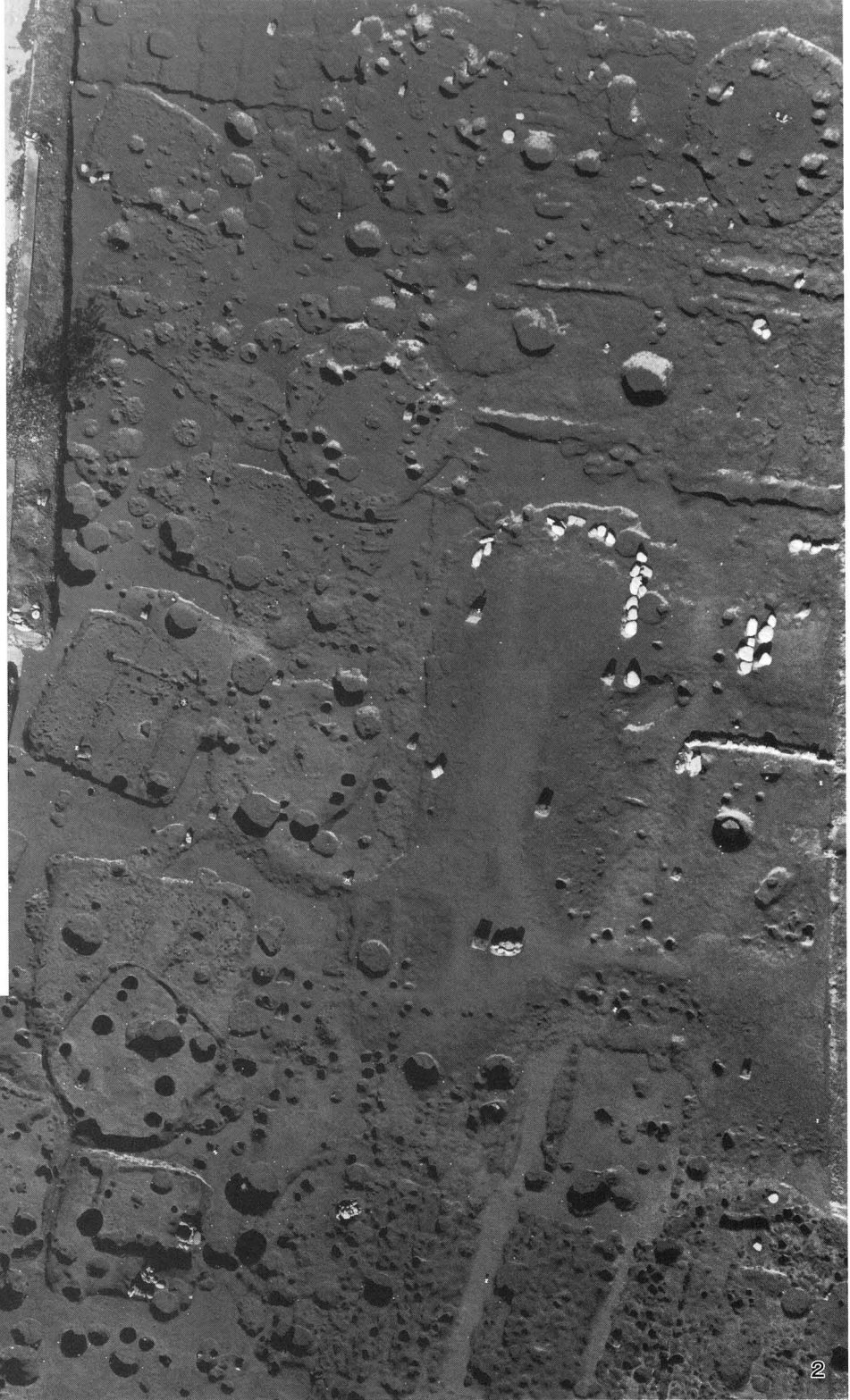


1: 調査区全景  
(南から)



2: 調査区全景  
(北から)

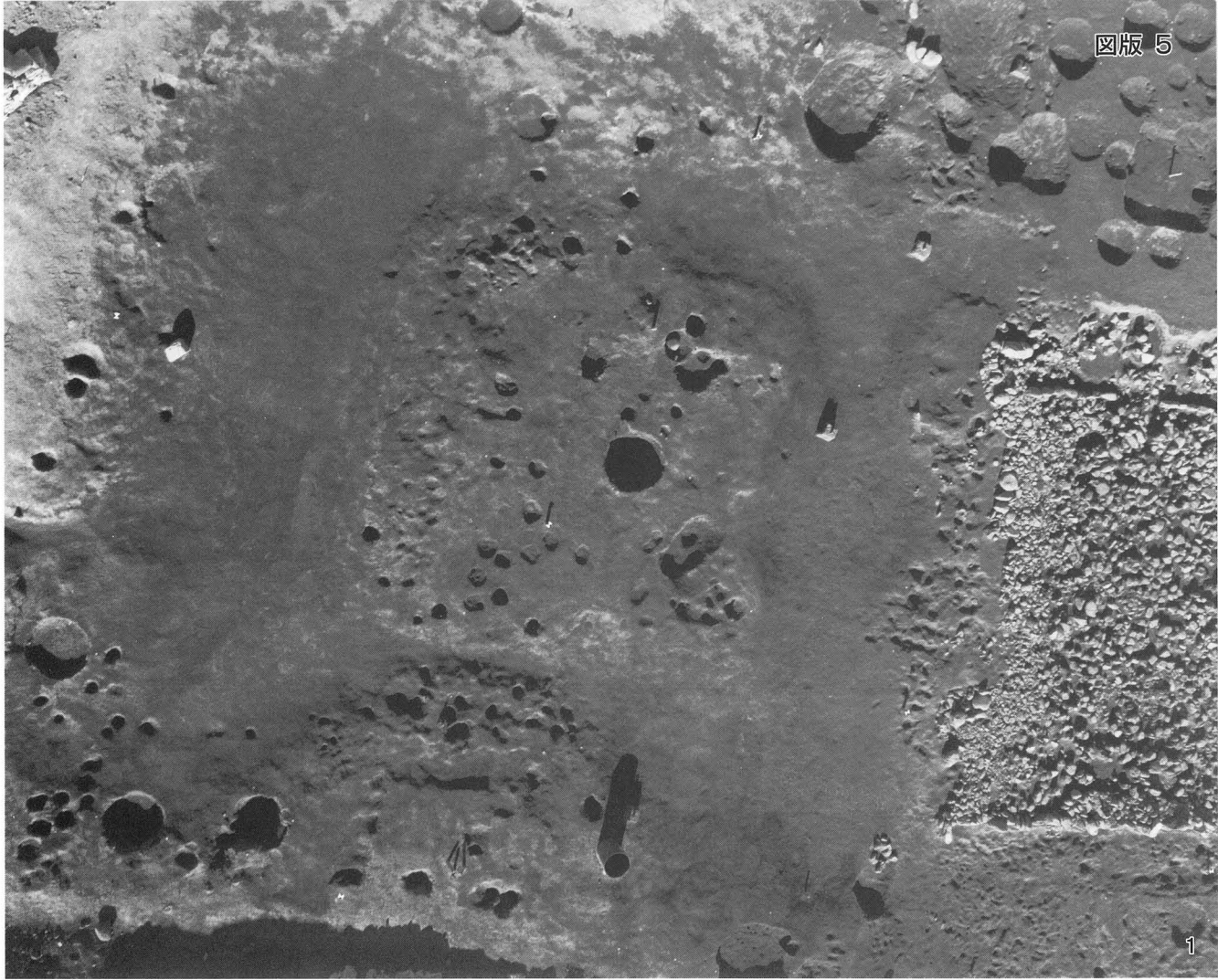




1: 調査区全景  
2: 調査区中央付近  
3: 4・5号溝付近

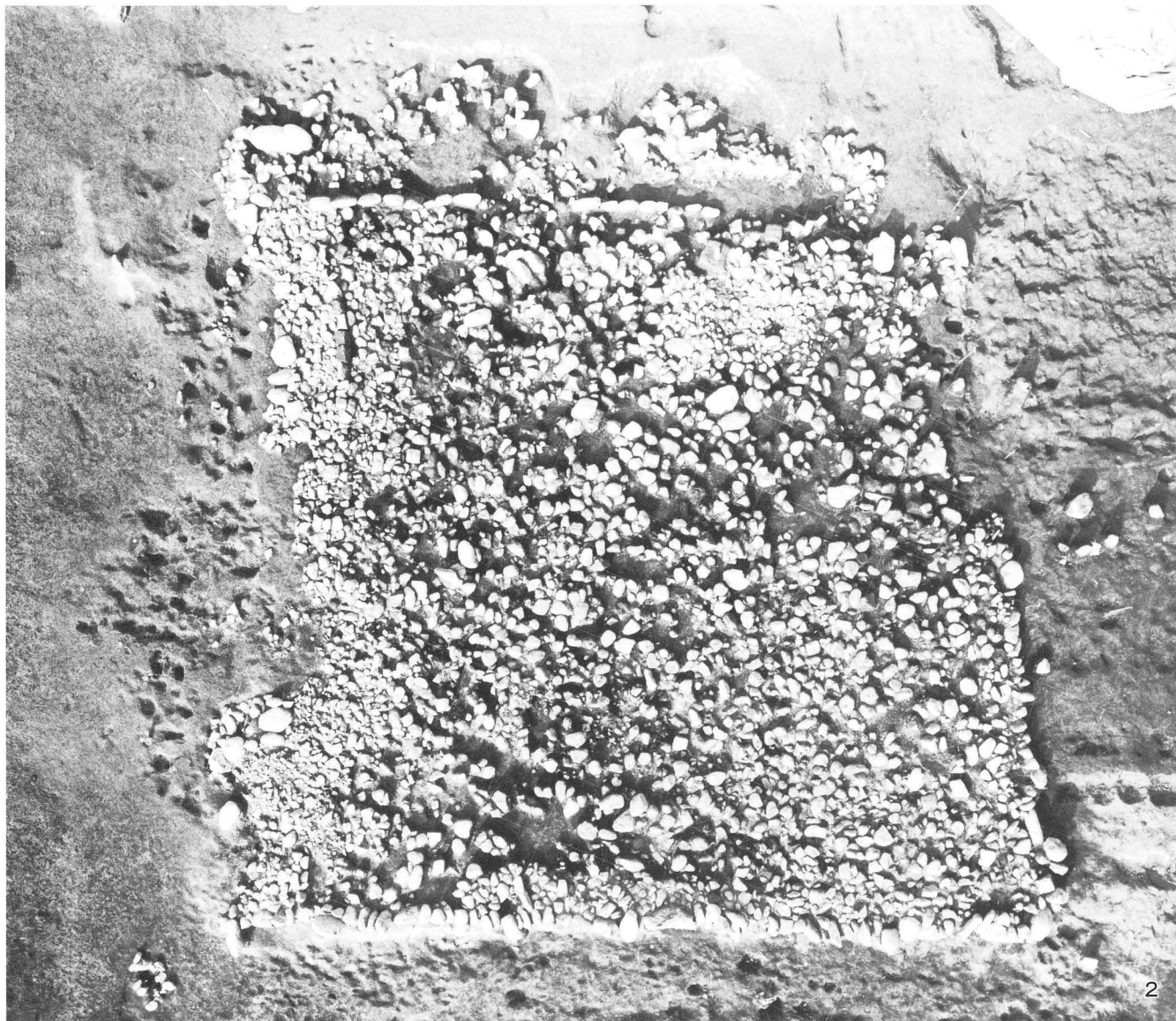


1: 方形周溝  
遺構  
(壇狀遺構)



1

2: 方形集石  
上層



2

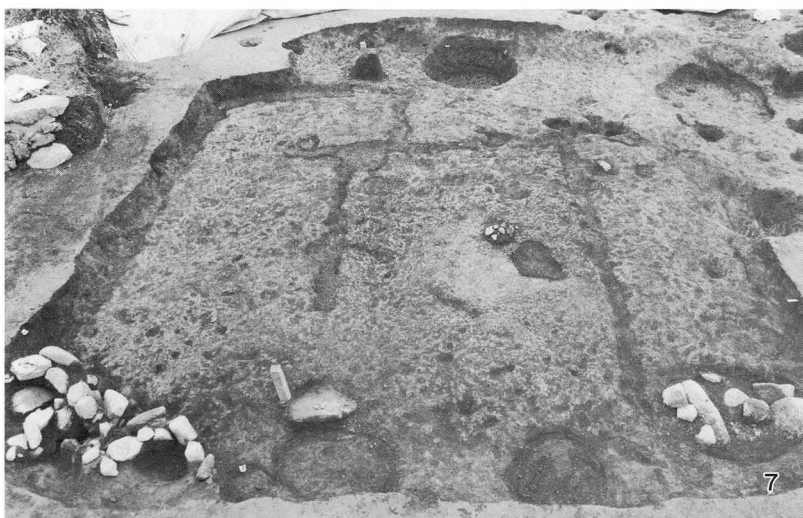
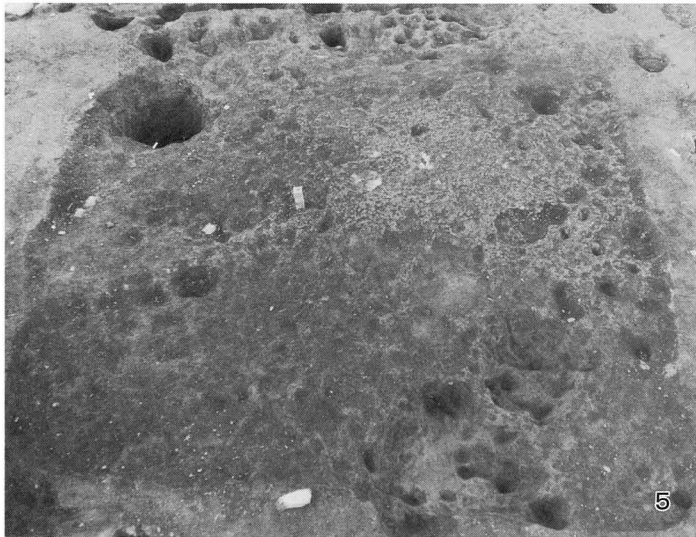
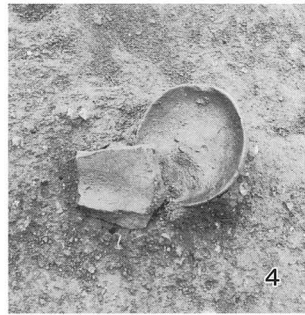
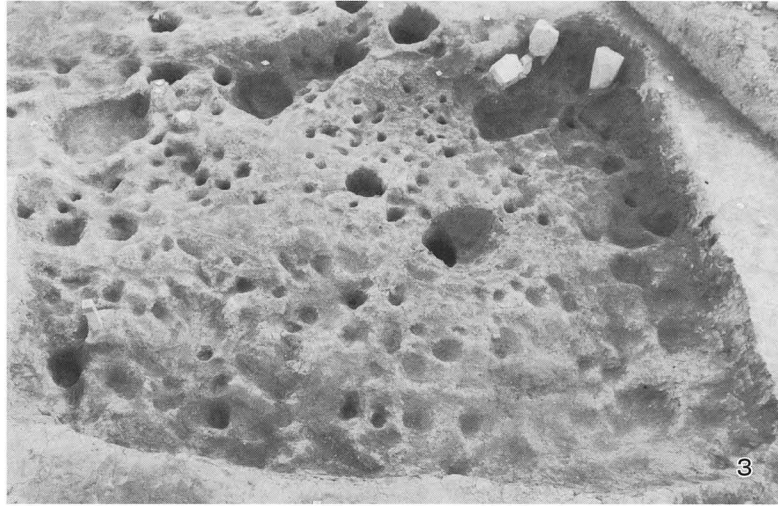




1: 方形集石下層 土坑群  
 2: 方形集石付近  
 3: 土坑群及び方形周溝遺構  
 4: 調査前風景



- 1: 1号住 完掘
- 2: 1号住 竈
- 3: 1号住 掘り方
- 4: 2号住内
- 5: 2号住 完掘
- 6: 2号住 掘り方
- 7: 3号住  
間仕切り溝確認状況
- 8: 3・8号住  
遺物出土状況







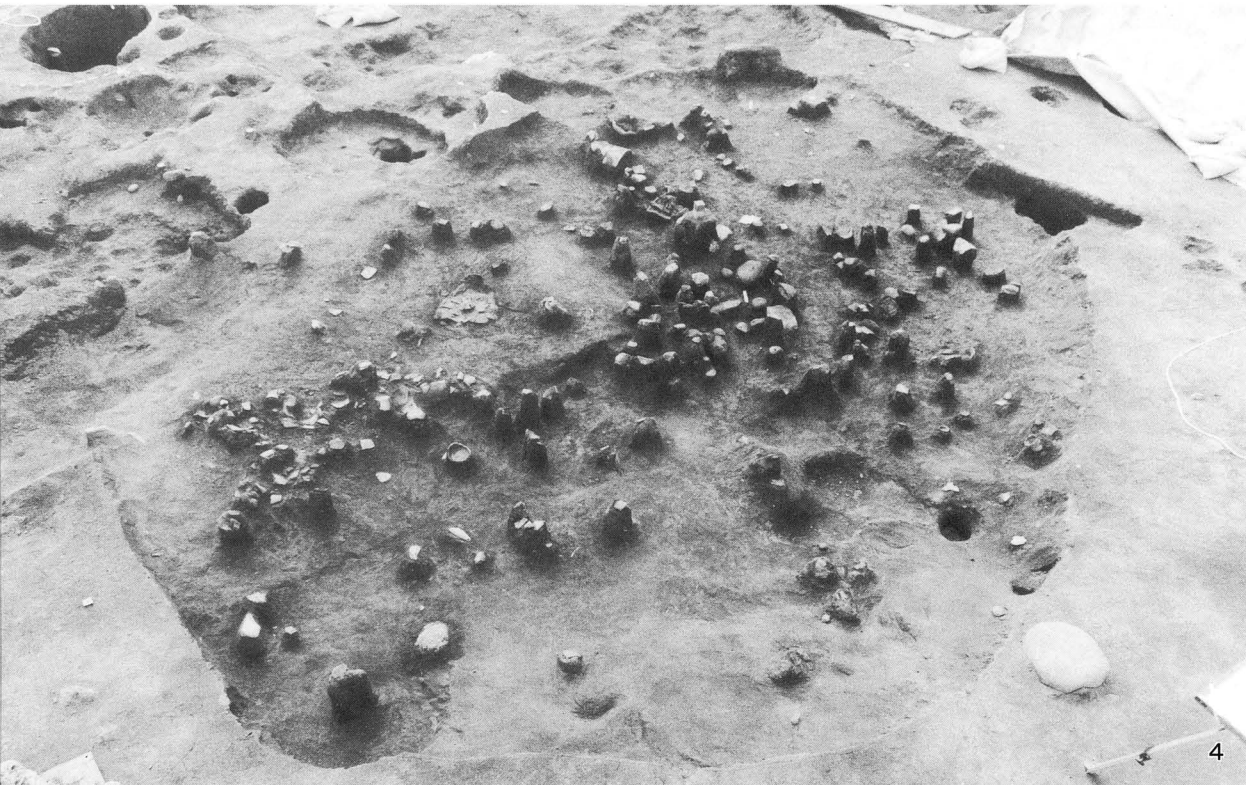
1



2



3

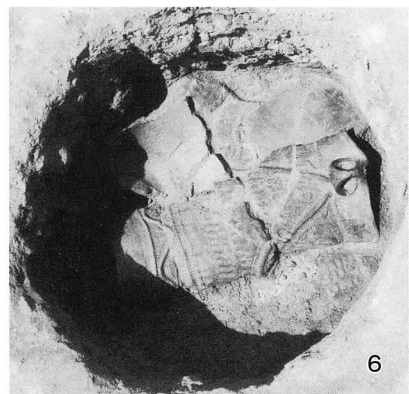


4

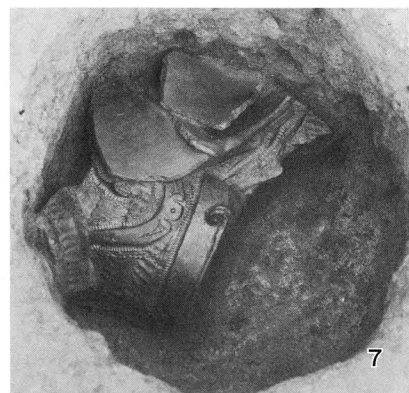
- 1: 3号住 完掘
- 2: 3号住 竈
- 3: 3号住 竈正面
- 4: 4号住  
遺物出土状況
- 5: 4号住 完掘
- 6・7: 4号住 ピット1



5

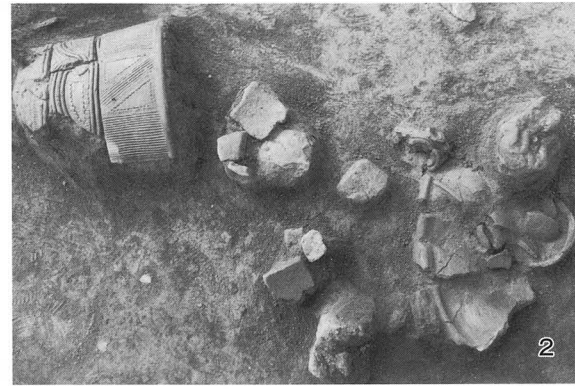


6



7

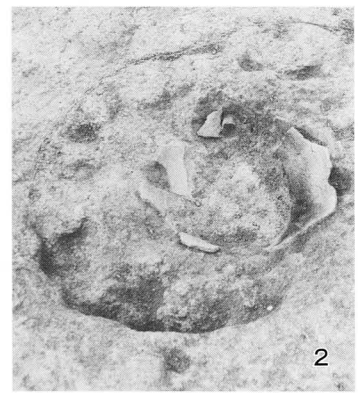
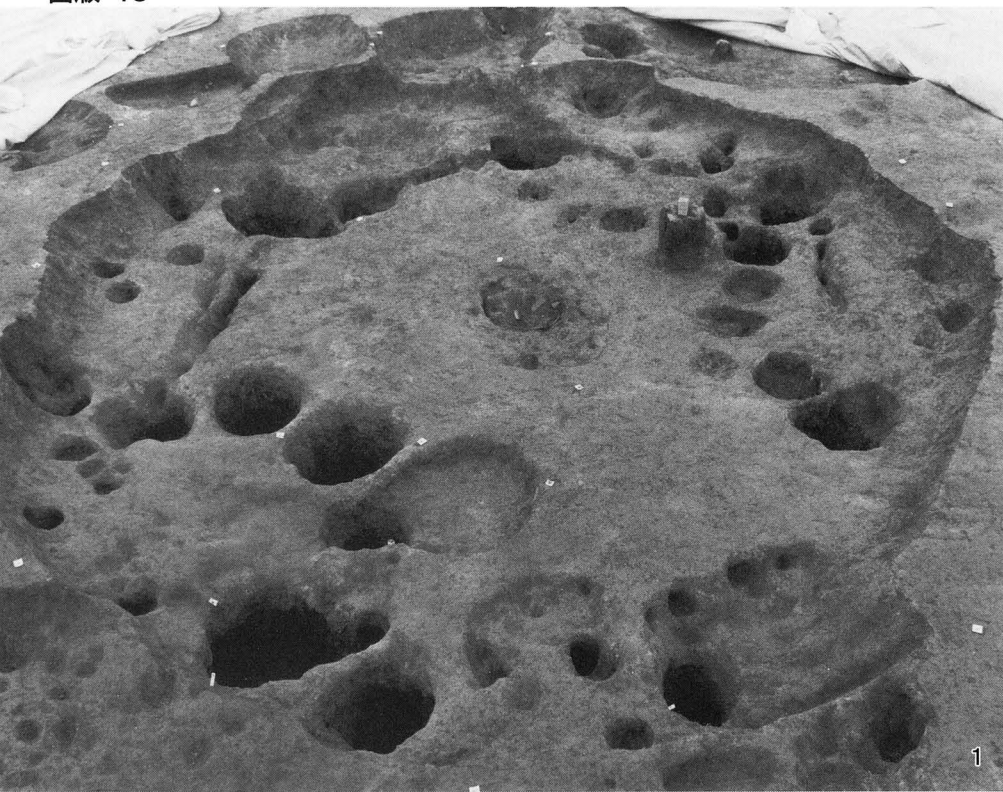
1・2：4号住内  
3：6号住 完掘  
4：6号住 竈  
5：7号住 完掘  
遺物出土状況



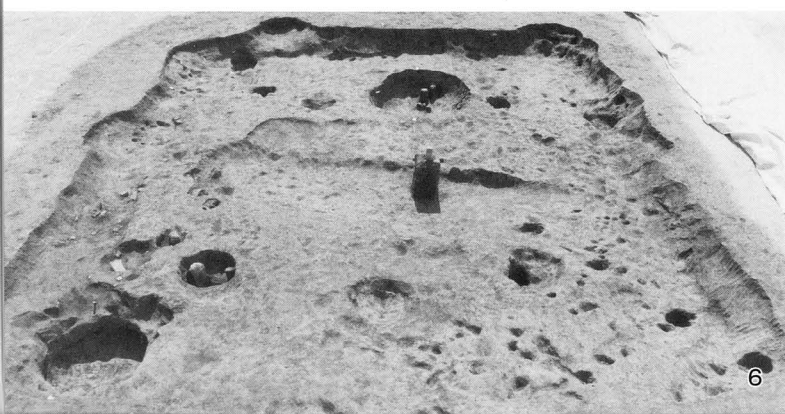
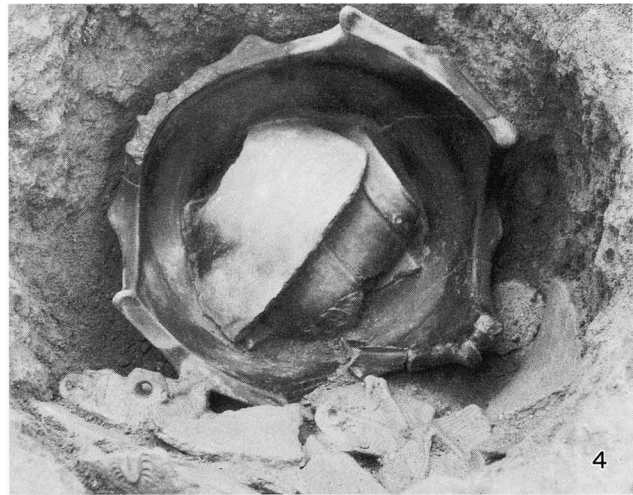
6~8：7号住内





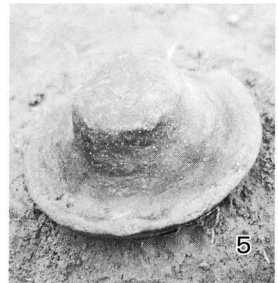
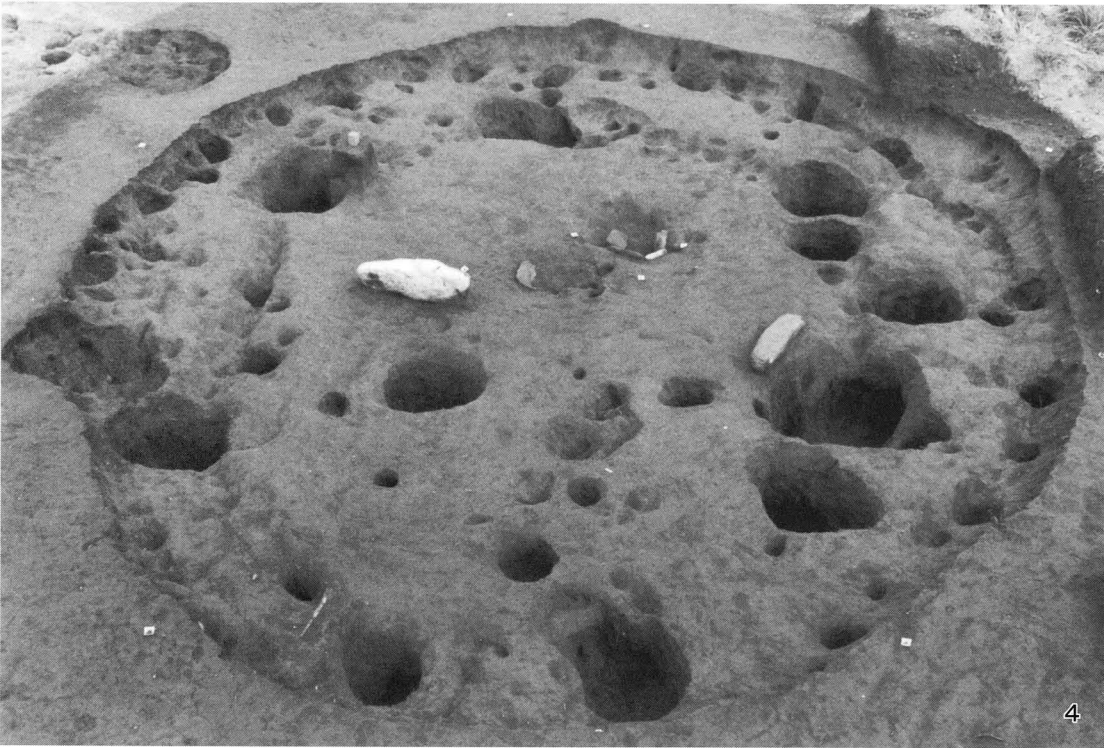
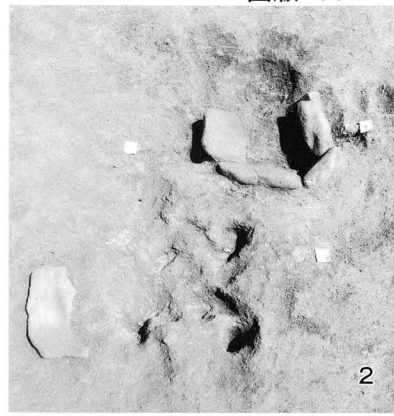


1: 7号住 完掘  
2: 7号住 炉  
3・4: 7号住  
ピット5 遺物出土状況



5: 9号住 遺物出土状況  
6: 9号住 完掘  
7: 9号住 掘り方

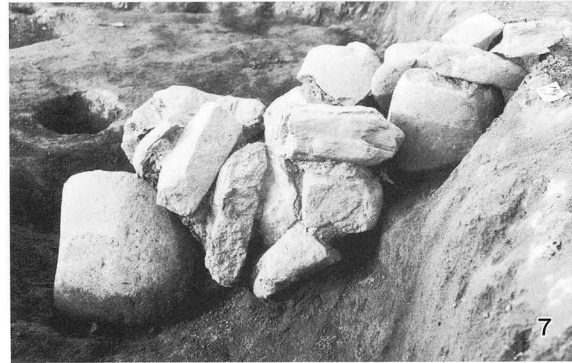
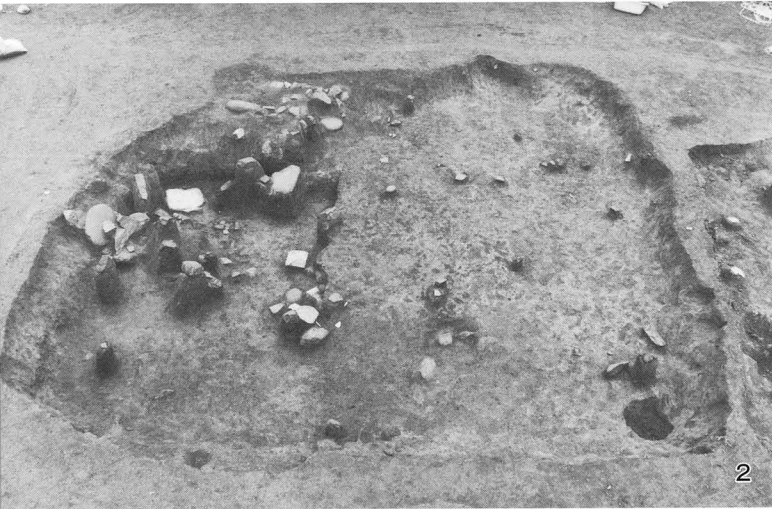
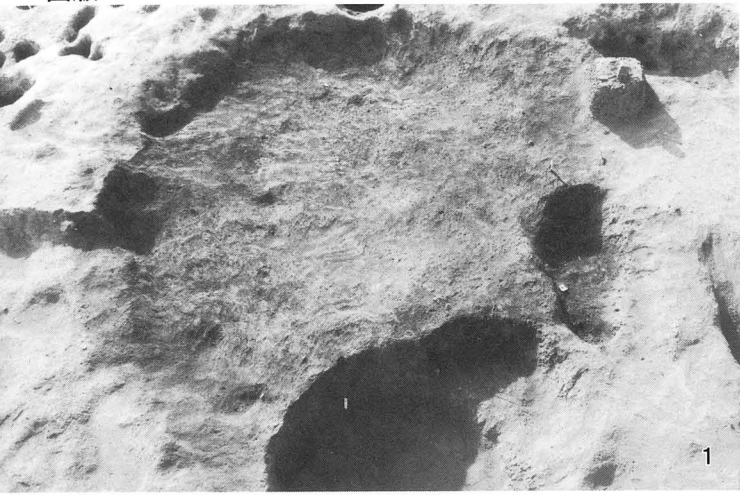




- 1: 11号住 遺物出土状況
- 2: 11号住 炉
- 3: 11号住 ピット
- 4: 11号住 完掘
- 5: 11号住内
- 6: 12号住



1: 13号住 完掘

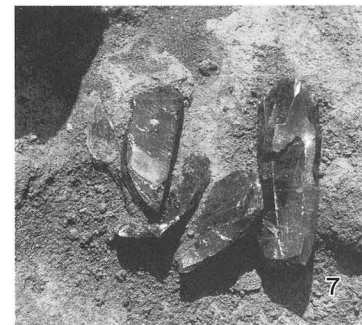
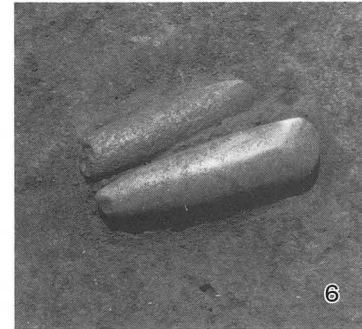


2: 15・16号住 遺物出土状況  
3: 16号住 遺物出土状況  
4: 15・16号住 掘り方  
5~7: 16号住 竈  
8: 15号住内

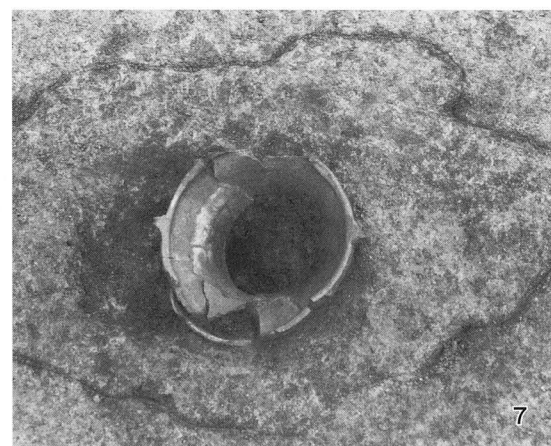




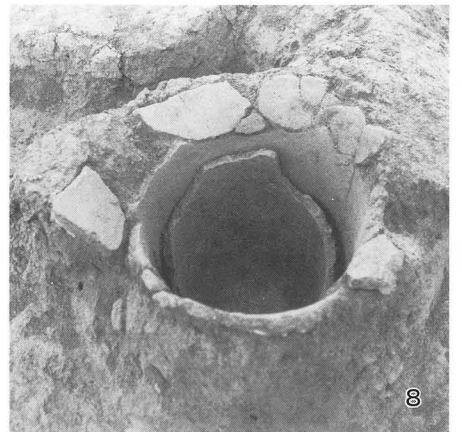
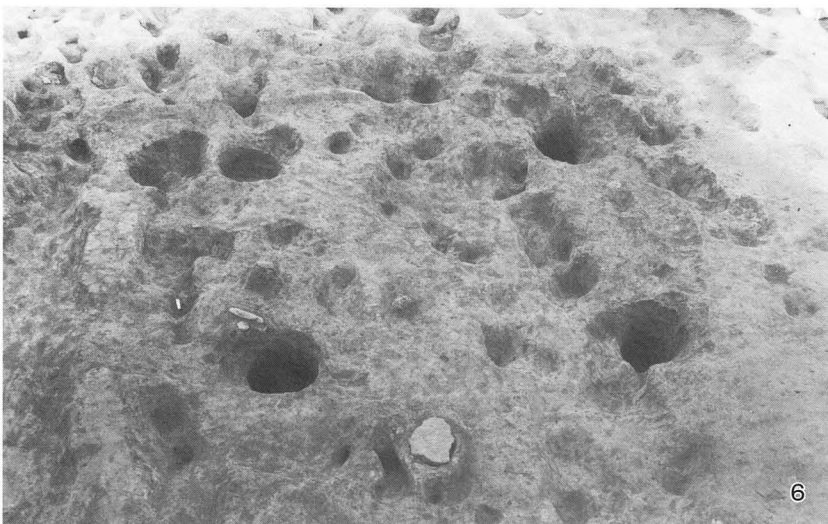
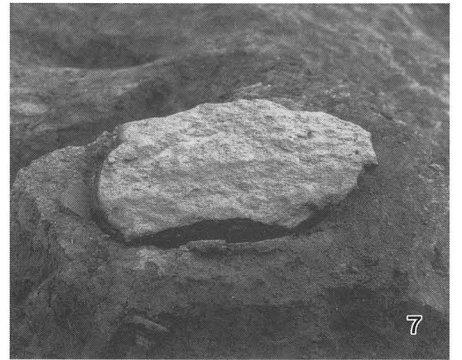
- 1: 17・38号住  
遺物出土状況
- 2: 17・38号住
- 3: 17号住 完掘
- 4: 17号住 竈付近
- 5: 18号住  
遺物出土状況
- 6・7: 18号住内
- 8: 18号住 完掘
- 9: 18号住 炉



- 1: 20号住
- 2: 21号住 遺物出土状況
- 3: 21号住 完掘
- 4・5: 21号住内
- 6・7: 21号住 炉
- 8: 22号住 完掘

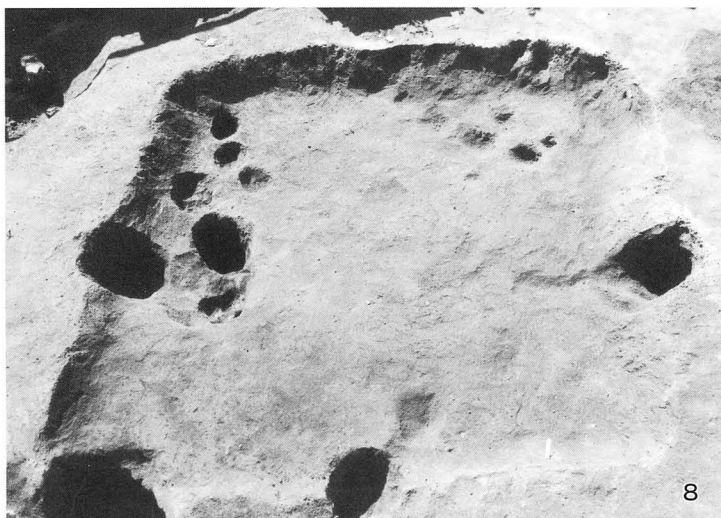
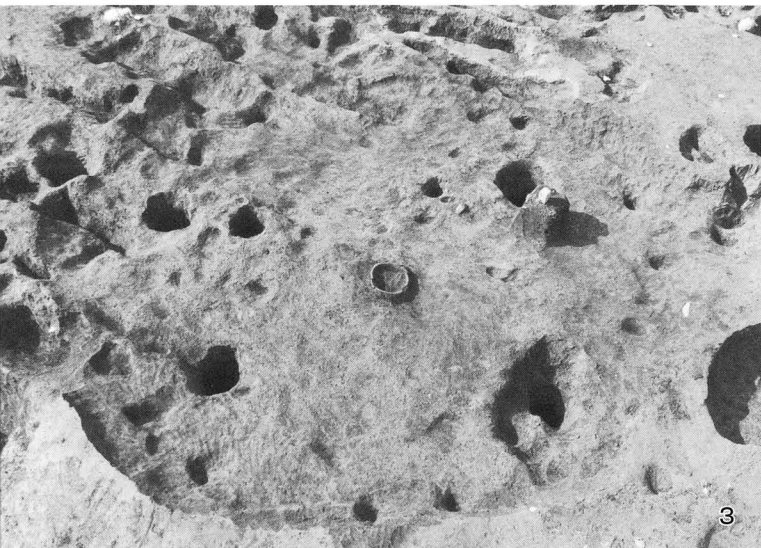






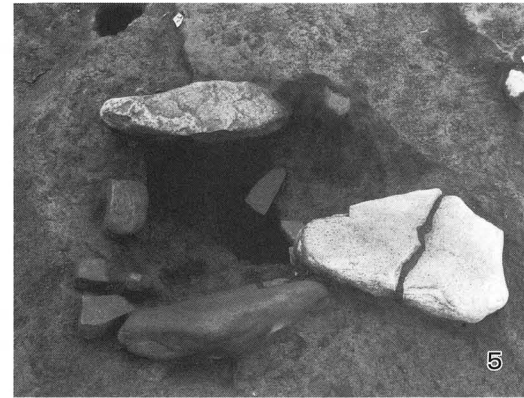
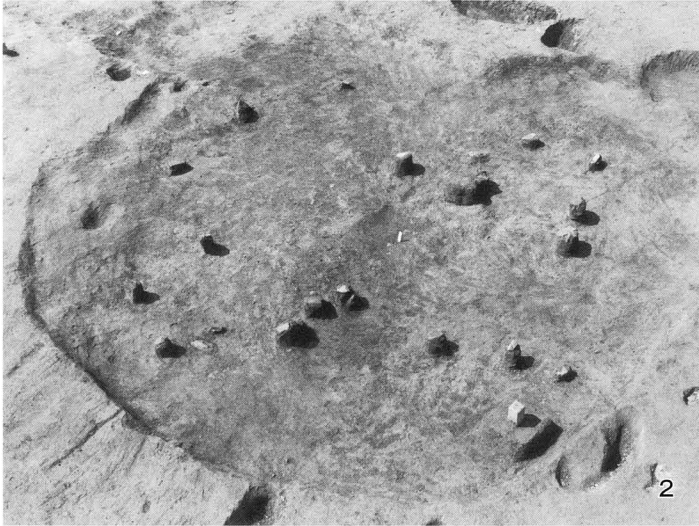
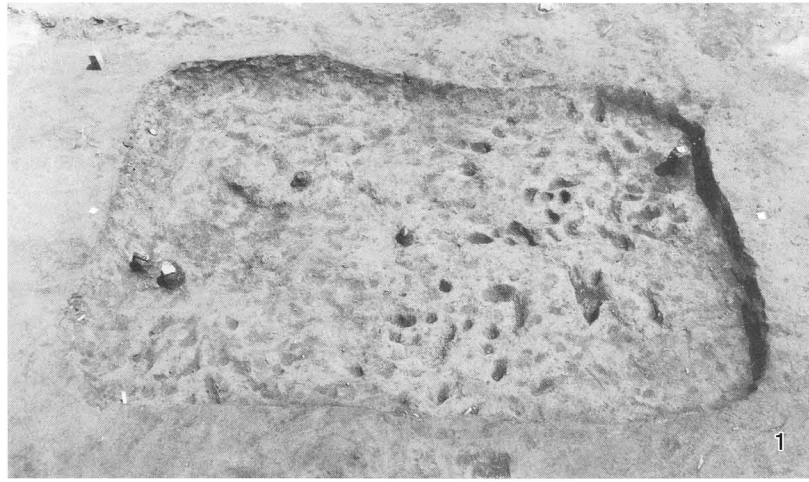
1: 23号住 遺物出土状況  
2: 23号住 完掘  
3: 23号住 炉掘り方  
4: 23号住 埋甕  
5: 24号住 完掘  
6: 25号住  
7: 25号住 埋甕・石蓋  
8: 25号住 埋甕



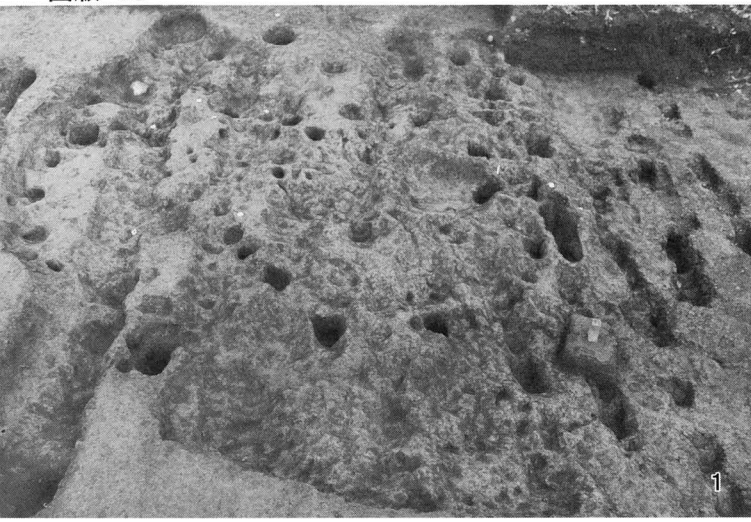


1: 26号住 遺物出土状況  
 2: 26号住 遺物出土状況  
 3: 26号住 完掘  
 4: 26号住内  
 5: 26号住 炉  
 6: 27号住 完掘  
 7: 28号住 遺物出土状況  
 8: 28号住 完掘

- 1: 29号住 完掘
- 2: 30号住 遺物出土状況
- 3: 30号住 完掘
- 4: 31号住 遺物出土状況
- 5: 31号住 炉 完掘
- 6: 31号住 炉
- 7: 31号住 調査風景

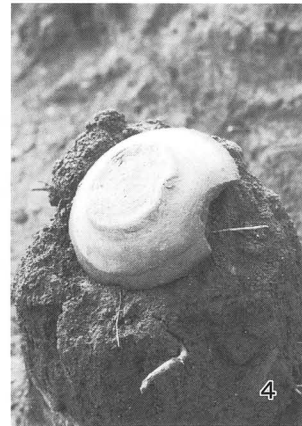




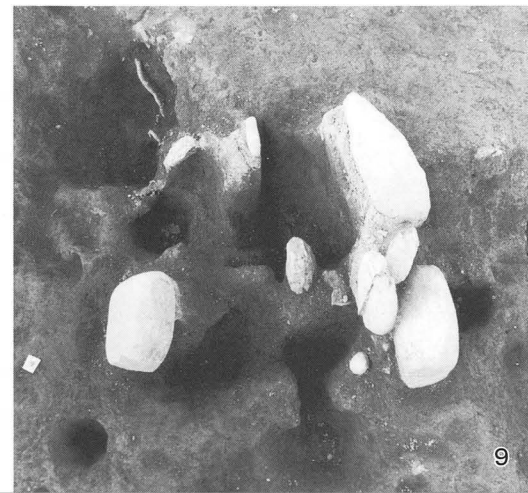
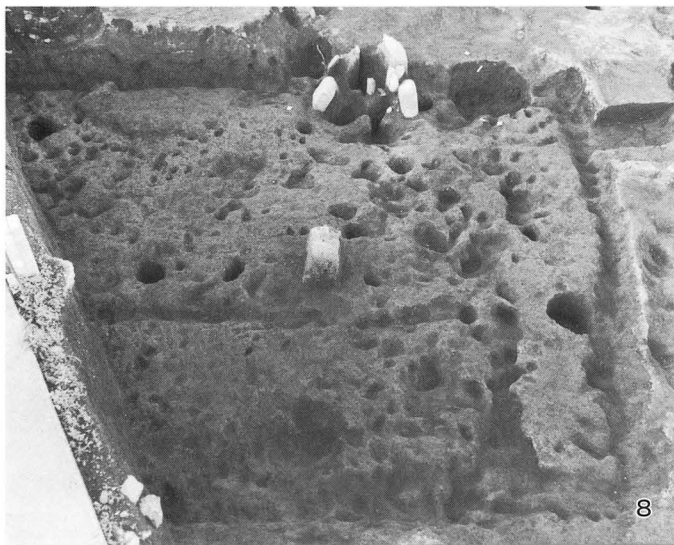


- 1: 32号住 完掘
- 2: 33号住 完掘
- 3: 33号住 竈
- 4: 35・36号 完掘
- 5: 35・36・52号住
- 6: 37号住 炉 遺物出土状況

- 1: 38号住 完掘
- 2: 38号住 竈
- 3: 39号住 遺物出土状況
- 4: 39号住内
- 5: 39号住内 集石



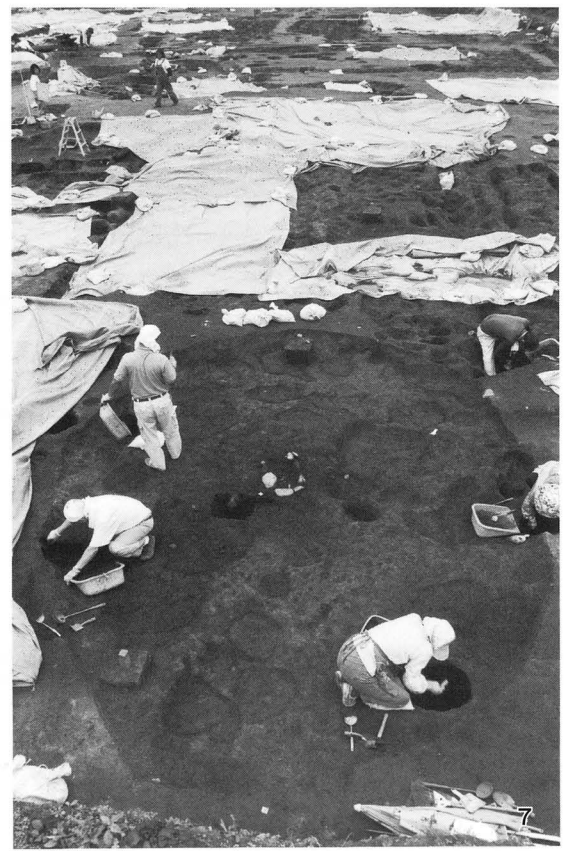
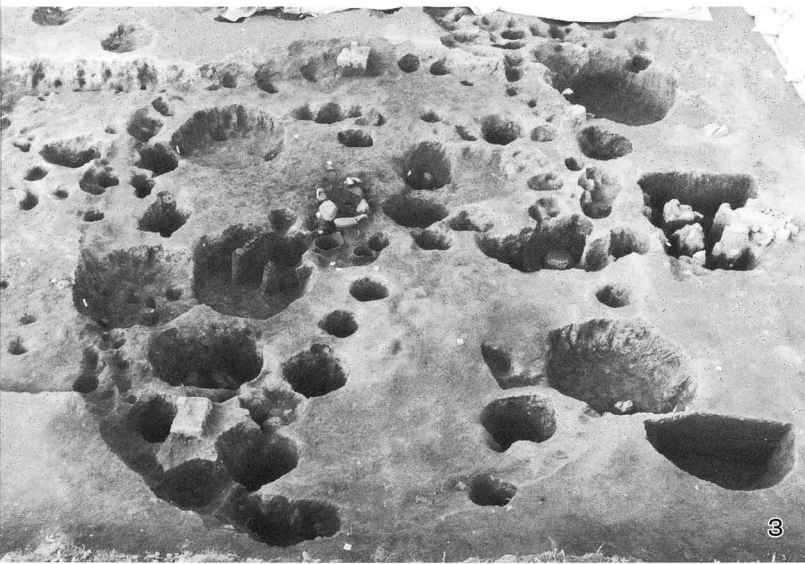
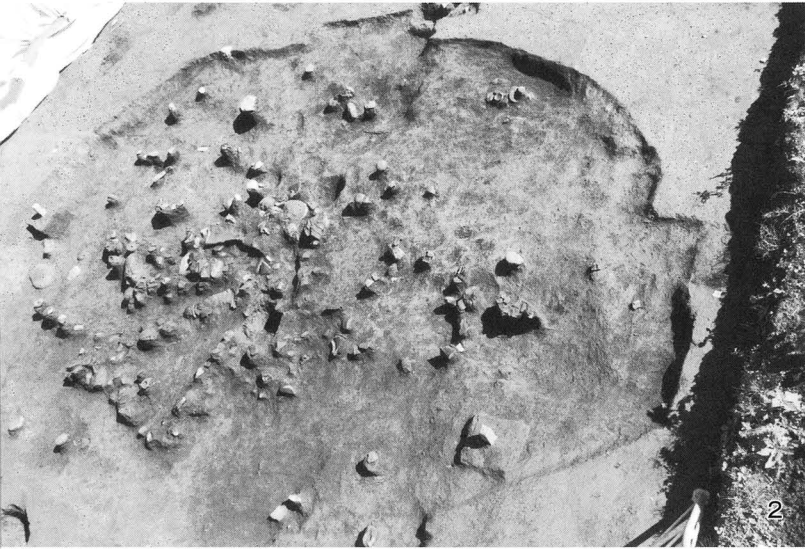
- 6: 40号住 遺物出土状況
- 7: 40号住 間仕切り溝 確認状況
- 8: 40号住 完掘
- 9: 40号住 竈







- 1: 40号住付近 調査風景
- 2: 41号住 遺物出土状況
- 3: 41号住 完掘
- 4: 41号住 炉
- 5・6: 41号住内
- 7: 41号住 調査風景





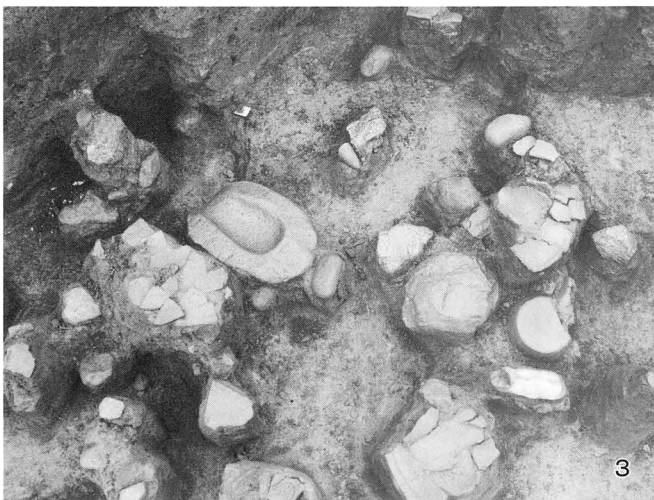


1



2

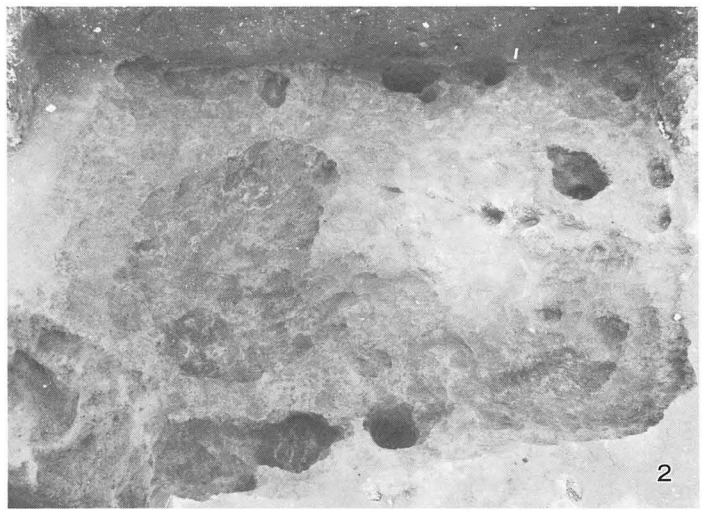
1: 42号住  
遺物出土状況  
2: 42号住 完掘  
3・4: 42号住内



3



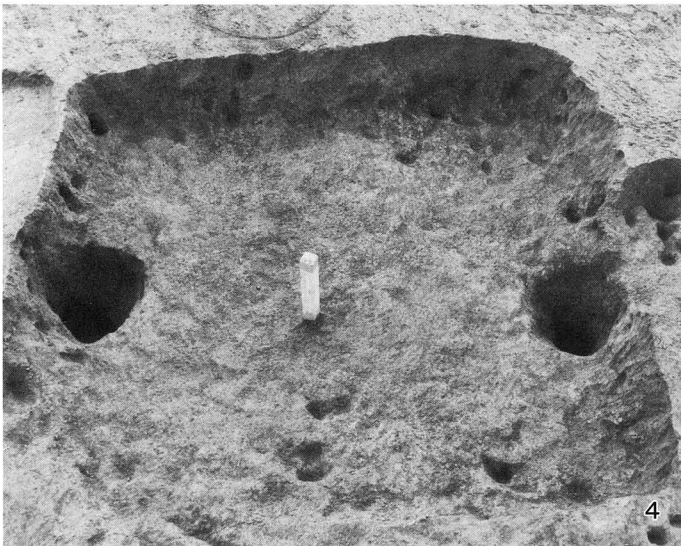
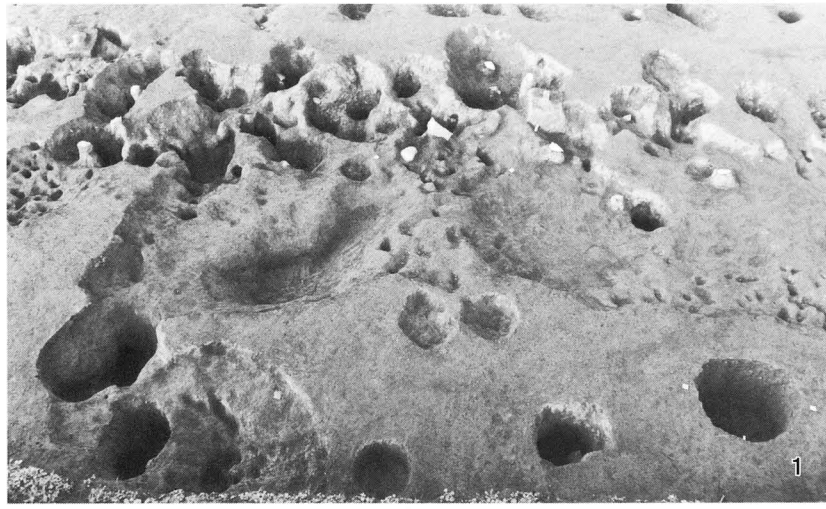
4



- 1: 43号住 掘り方
- 2: 44号住 完掘
- 3: 45号住 完掘
- 4: 46号住 完掘
- 5: 47号住 完掘
- 6: 49号住 完掘
- 7: 49号住 炉
- 8: 49号住 完掘







- 1: 50号住 完掘
- 2: 51号住 完掘
- 3: 51号住 埋甕
- 4: 54号住 完掘
- 5: 55号住 遺物出土状況
- 6: 55号住 完掘

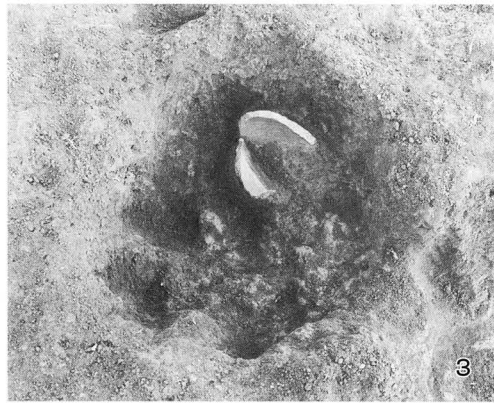




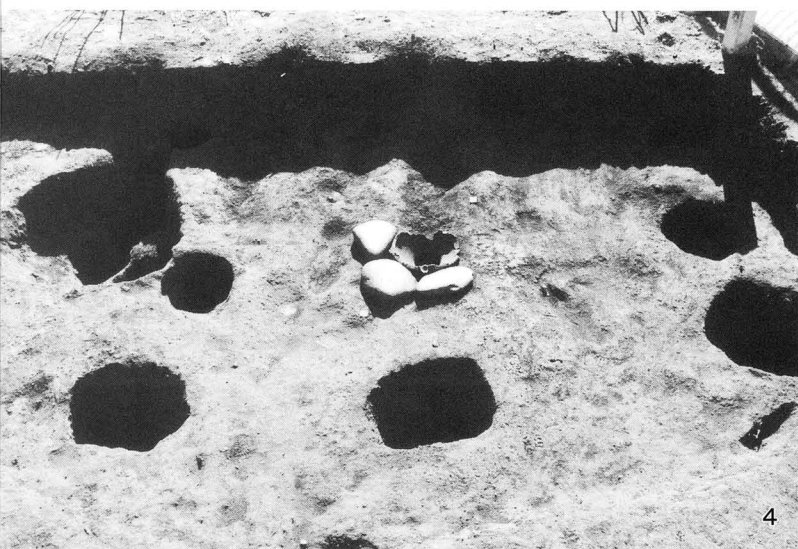
1



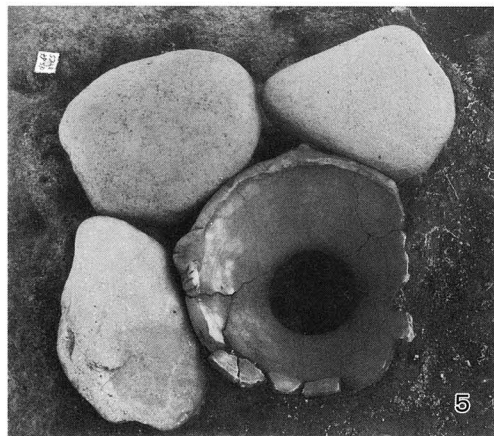
2



3



4



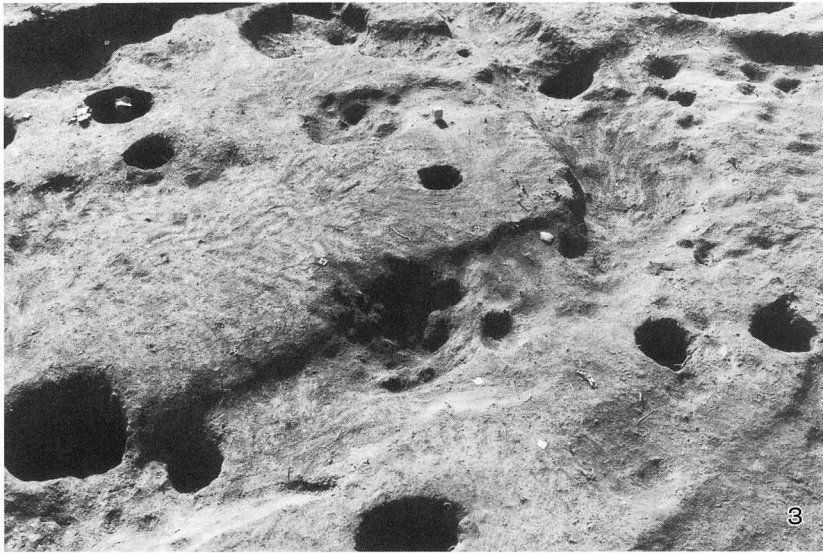
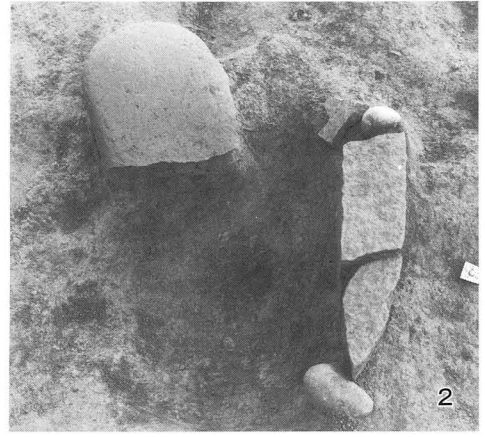
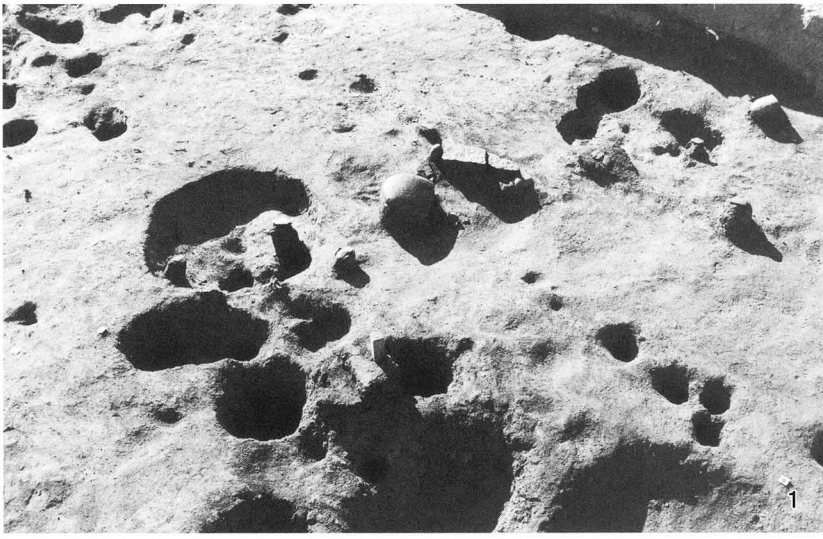
5



6

- 1: 56号住 遺物出土状況
- 2: 56号住 完掘
- 3: 56号住 炉
- 4: 57号住 完掘
- 5: 57号住 炉
- 6: 58号住 完掘

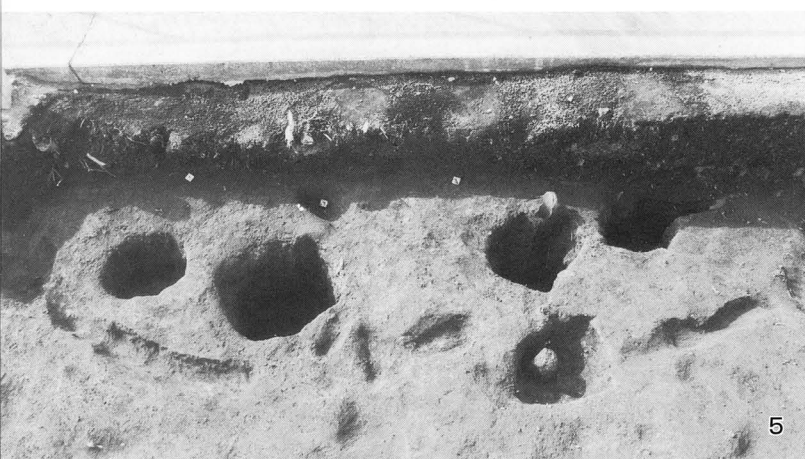




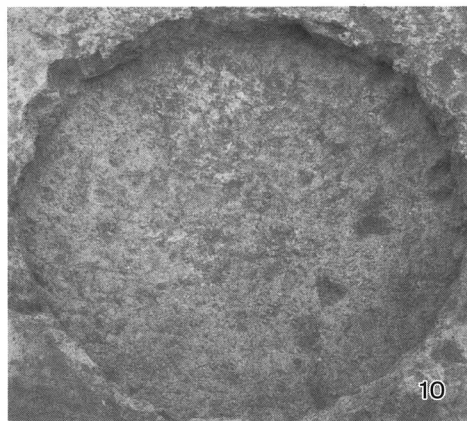
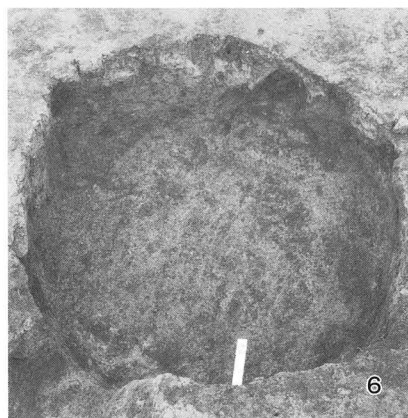
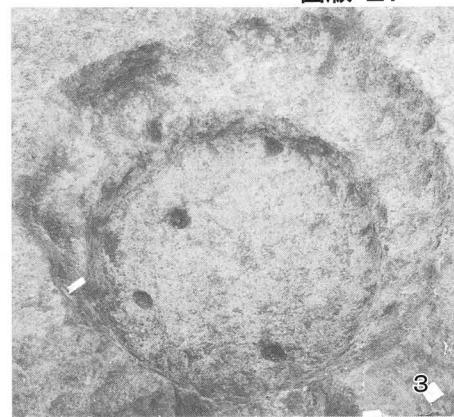
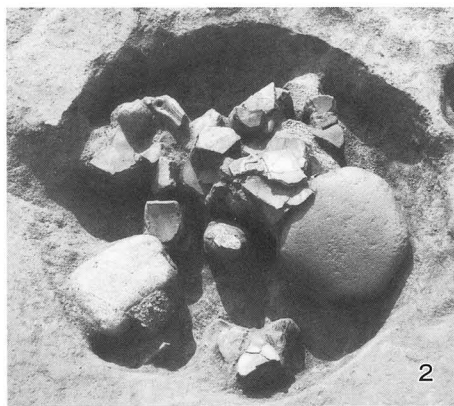
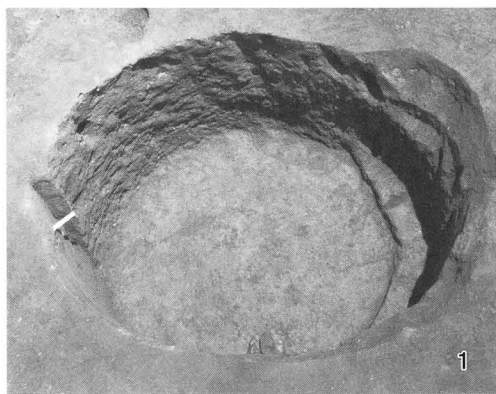
- 1: 59号住
- 2: 59号住 炉
- 3: 61号住
- 4: 61号住 炉 遺物出土状況
- 5: 62号住 完掘
- 6: 63号住 完掘



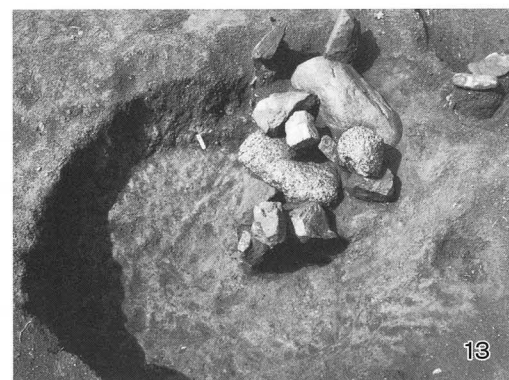
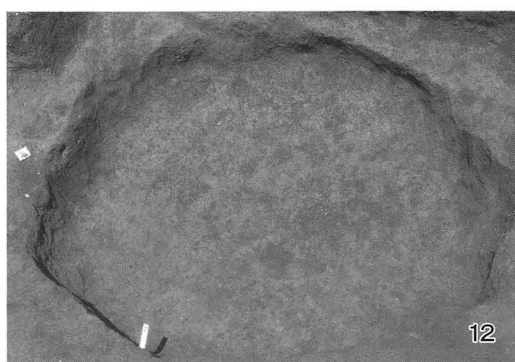




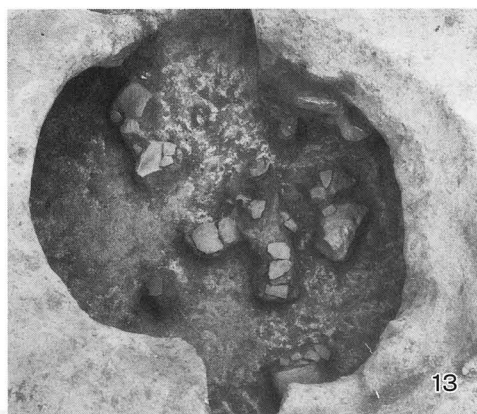
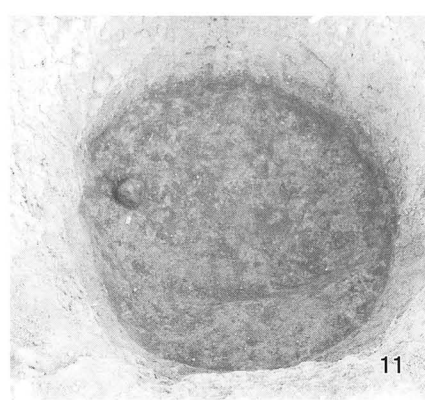
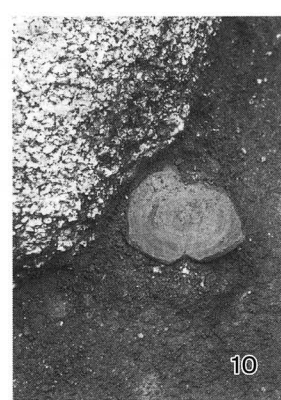
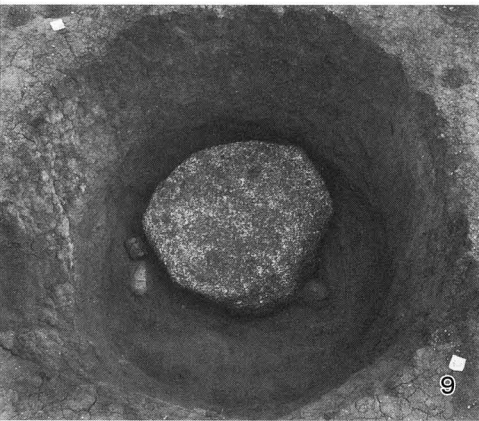
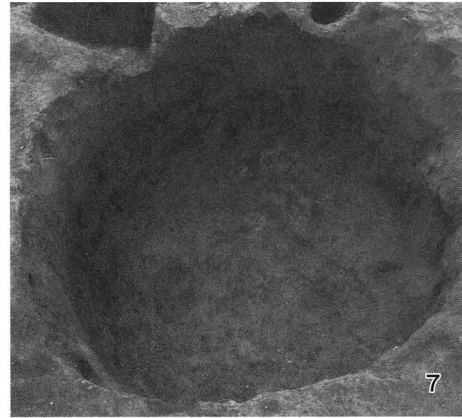
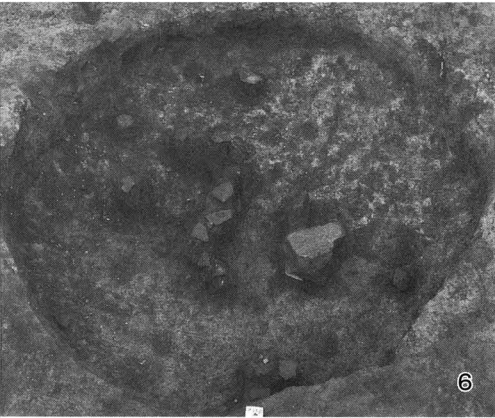
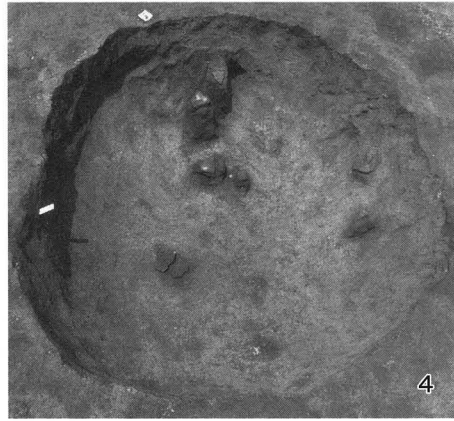
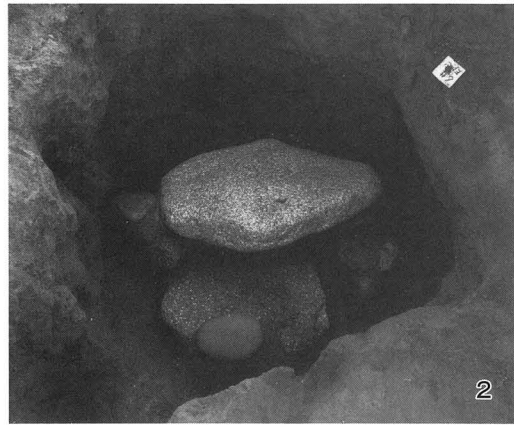
- 1: 64号住 遺物出土状況
- 2: 64号住 竈b内皿出土状況
- 3: 64号住 掘り方
- 4: 65号住 遺物出土状況
- 5: 66号住 完掘
- 6: 67号住 完掘
- 7: 68号住 掘り方



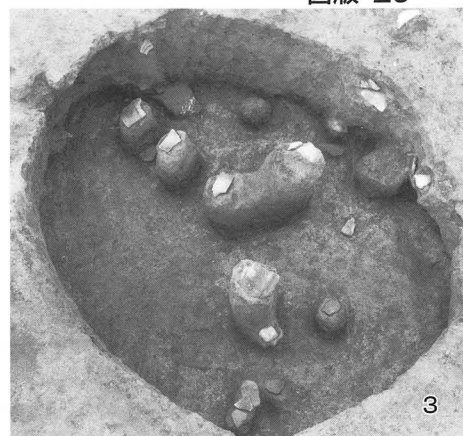
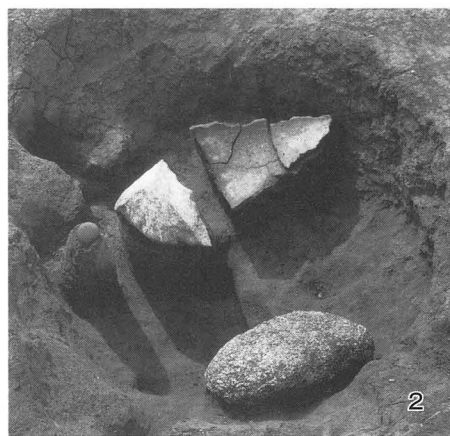
1 : 1号土坑 2 : 3号土坑  
3 : 10号土坑 4 : 15·21·23号土坑  
5 : 6·7·9·12号土坑  
6 : 14号土坑 7 : 21号土坑内龕  
8 : 26号土坑 9 : 27号土坑  
10 : 28号土坑 11 : 29号土坑  
12 : 32号土坑 13 : 32号土坑



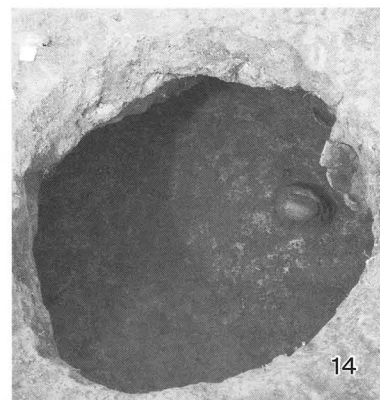
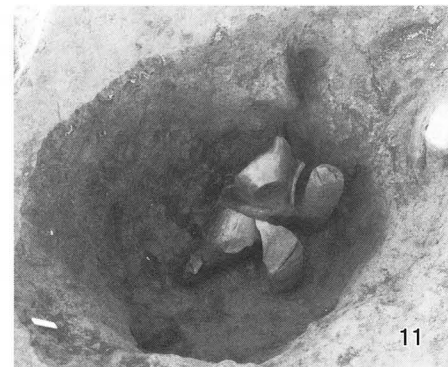
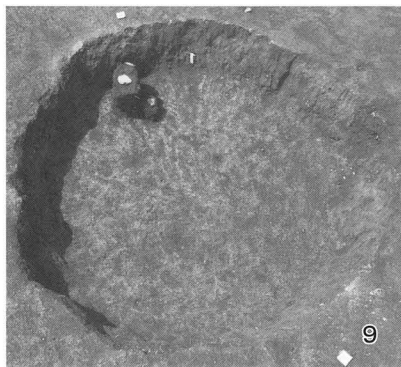
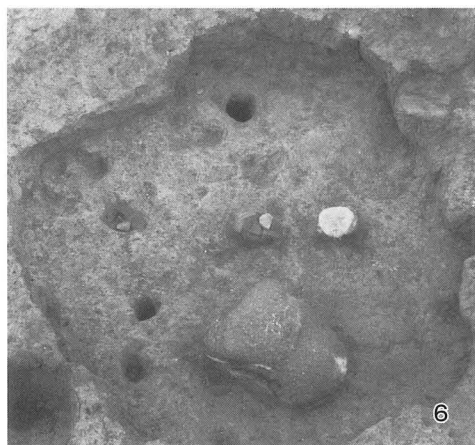
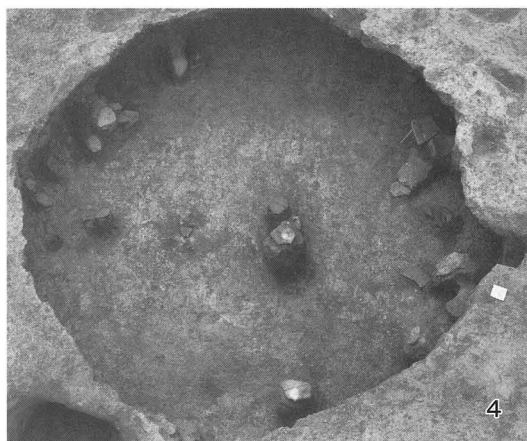




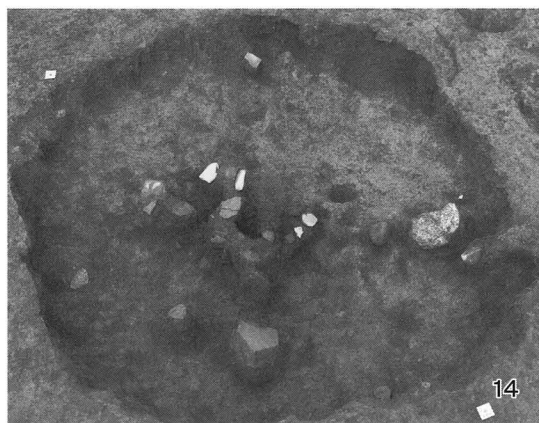
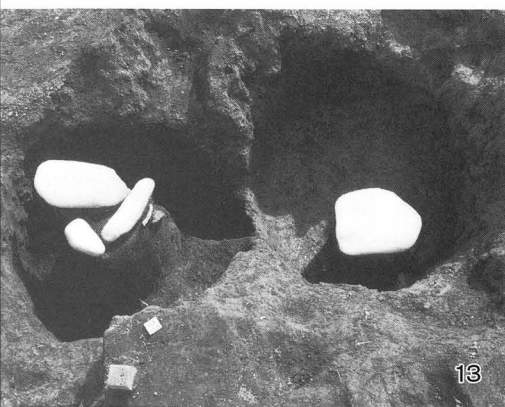
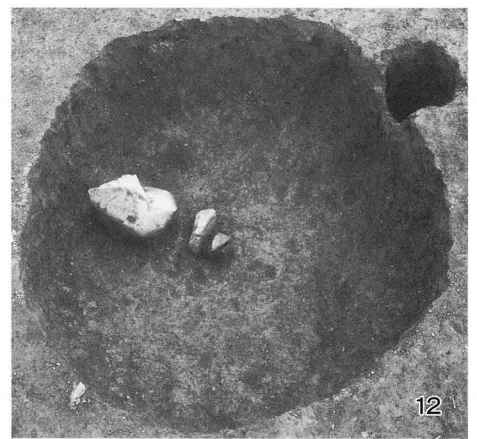
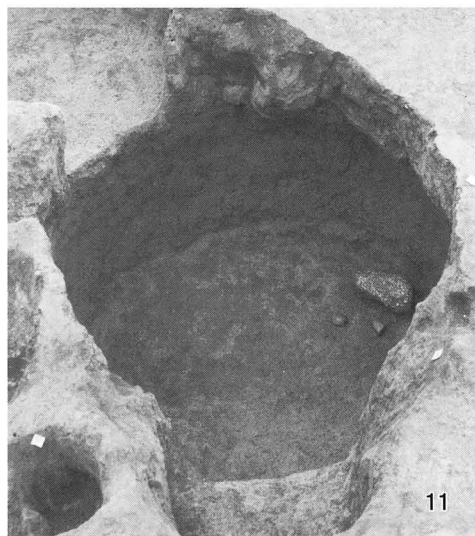
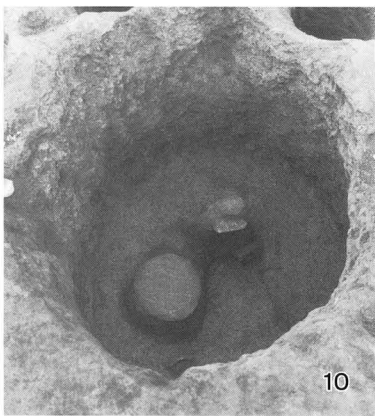
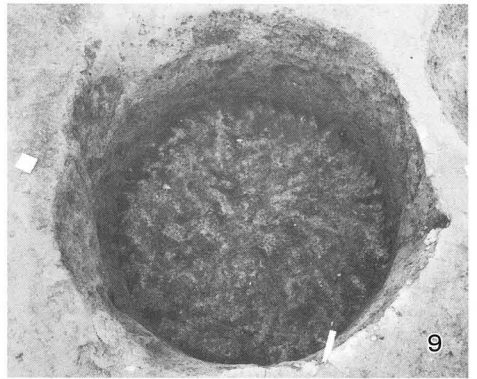
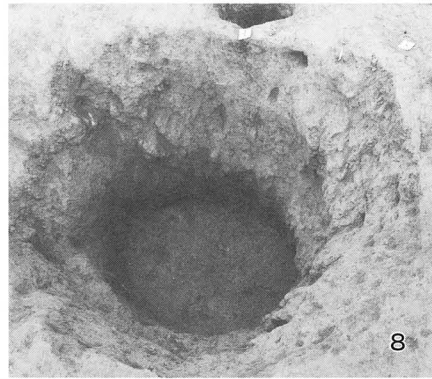
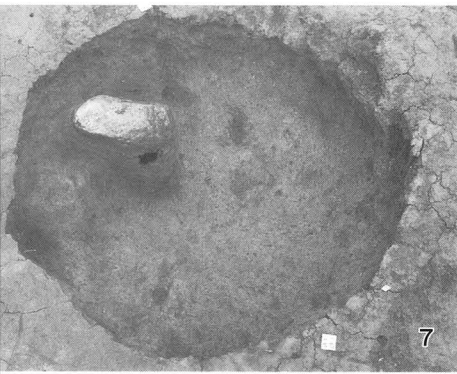
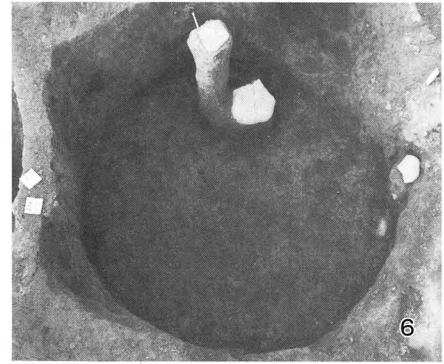
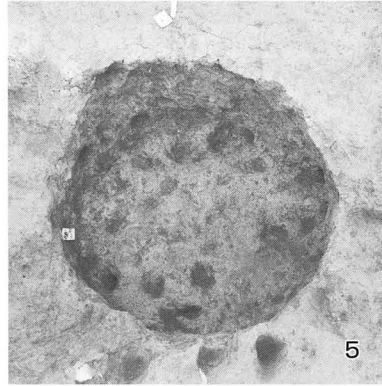
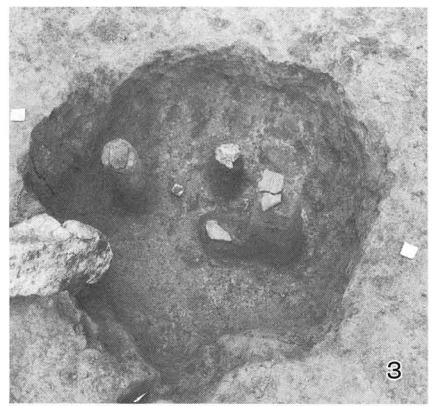
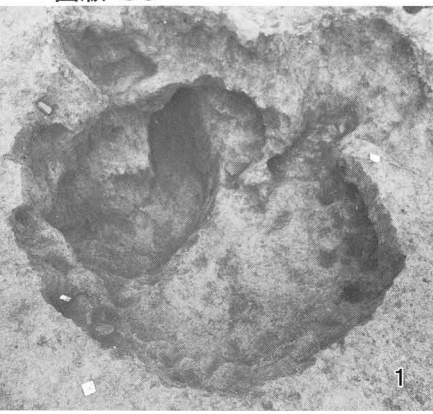
1 : 34号土坑 2 : 35号土坑  
3 : 36号土坑 4 : 37号土坑  
5 : 39号土坑 6 : 40号土坑  
7 : 41号土坑 8 : 42号土坑  
9 ~ 11 : 44号土坑  
12 ~ 13 : 45号土坑



1 : 47号土坑 2 : 51号土坑  
3·4 : 56号土坑 5 : 57号土坑 6 : 58号土坑  
7 : 59号土坑 8 : 62号土坑  
9 : 63号土坑 10 : 64号土坑  
11 : 67号土坑 12 : 68·69号土坑  
13 : 71·72号土坑 14 : 76号土坑

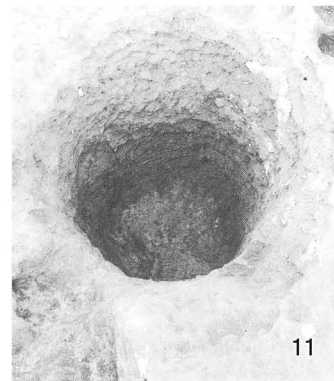
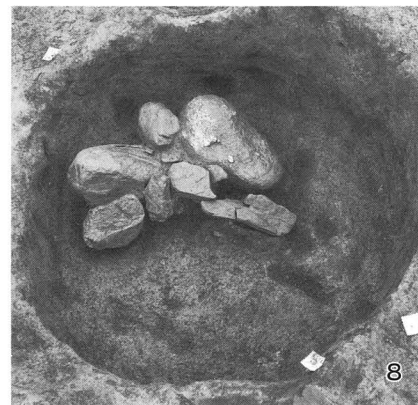
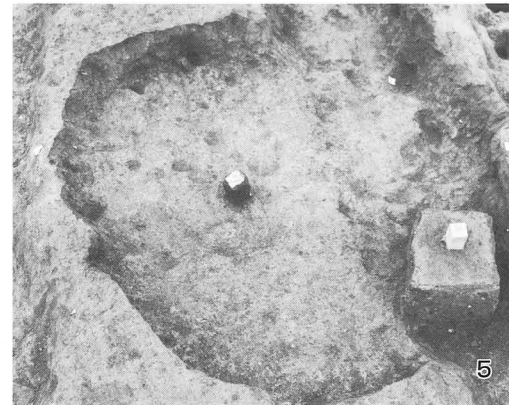
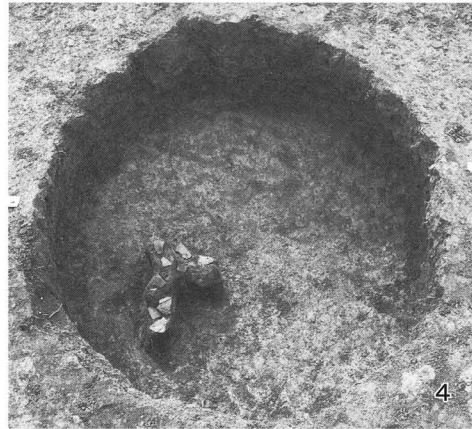
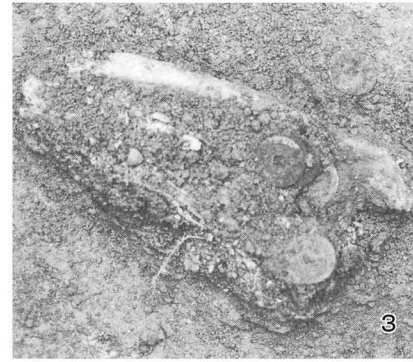




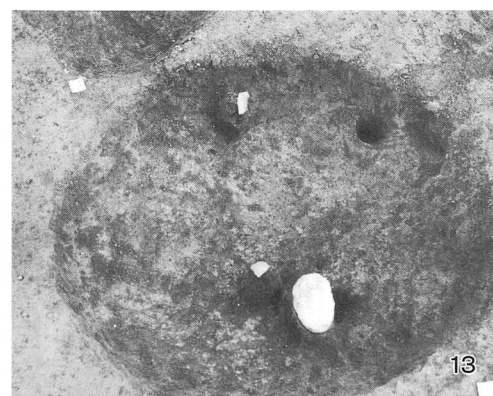


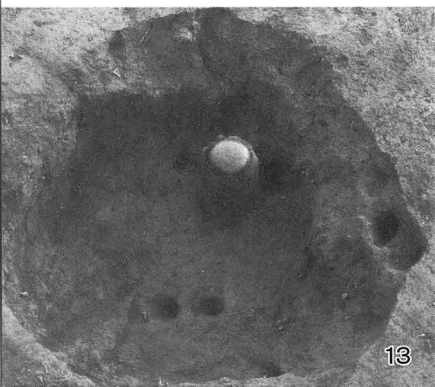
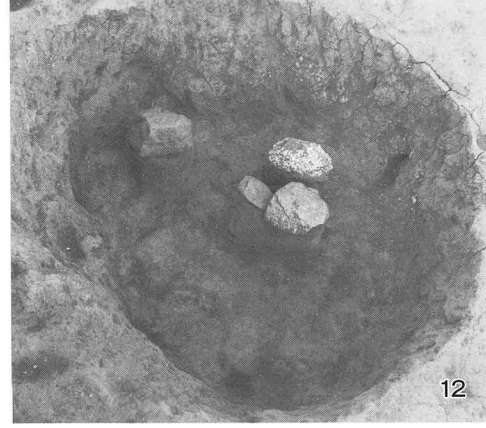
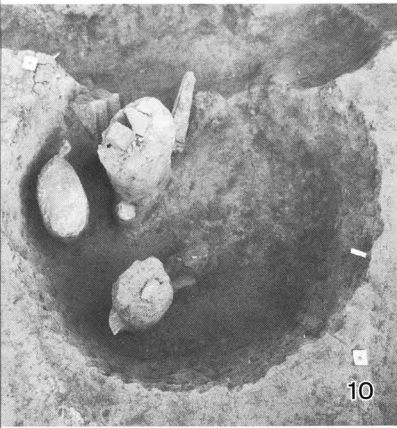
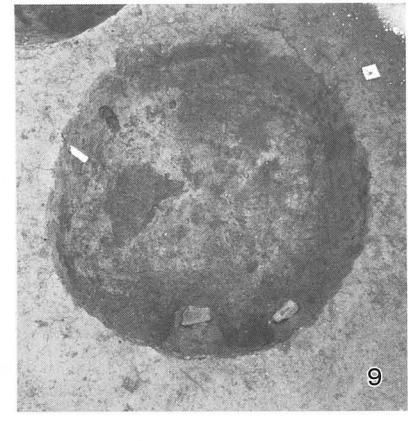
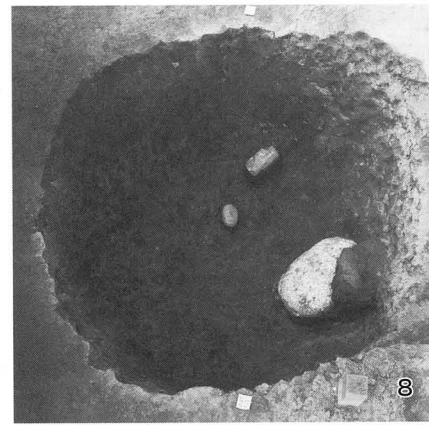
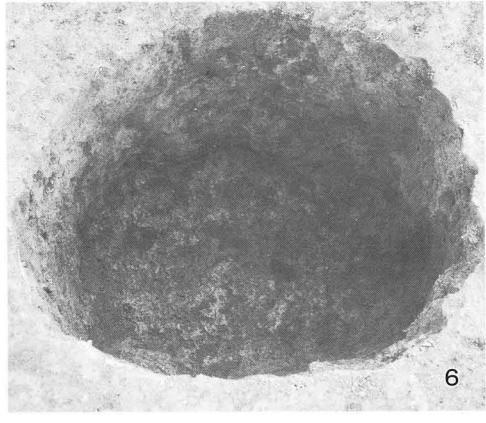
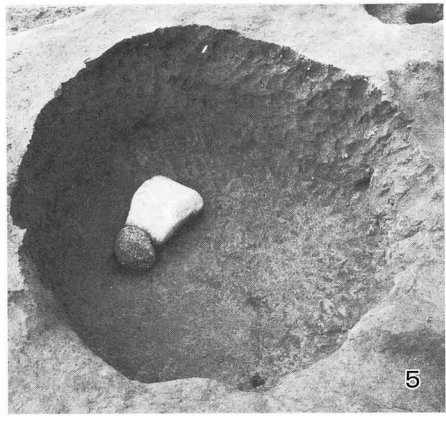
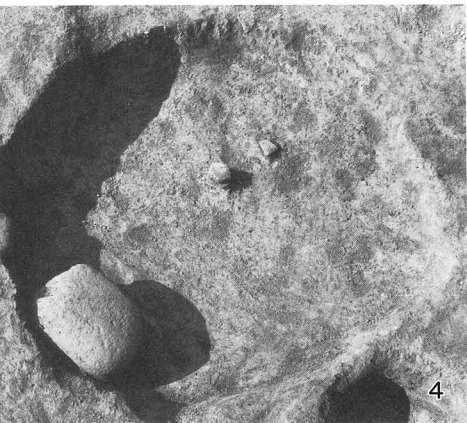
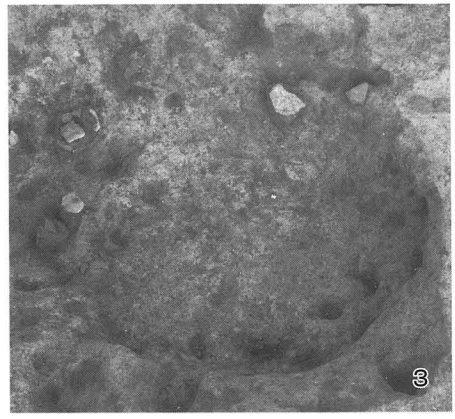
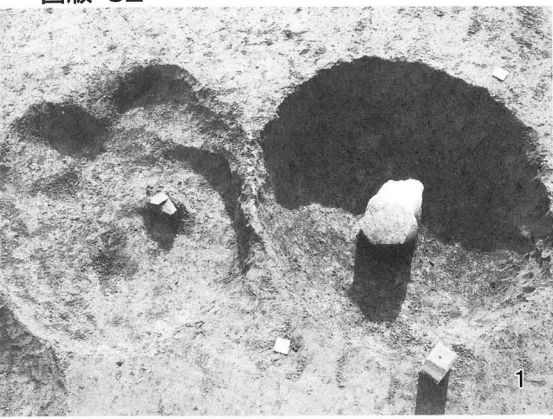
1 : 77号土坑    2 : 78号土坑  
 3 : 79号土坑    4 : 80号土坑  
 5 : 81号土坑    6 : 82号土坑  
 7 : 85号土坑    8 : 86号土坑  
 9 : 94号土坑    10 : 101号土坑  
 11 : 104号土坑    12 : 105号土坑  
 13 : 106•120号土坑  
 14 : 110号土坑





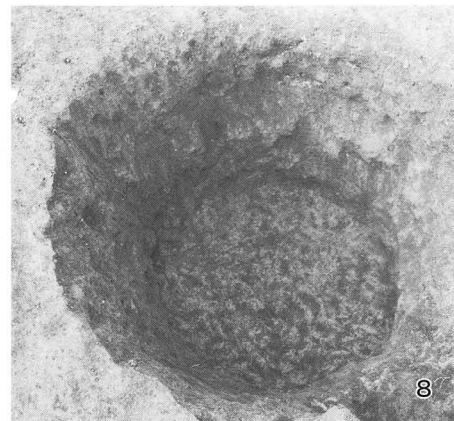
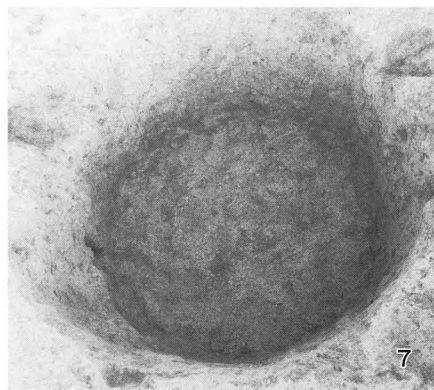
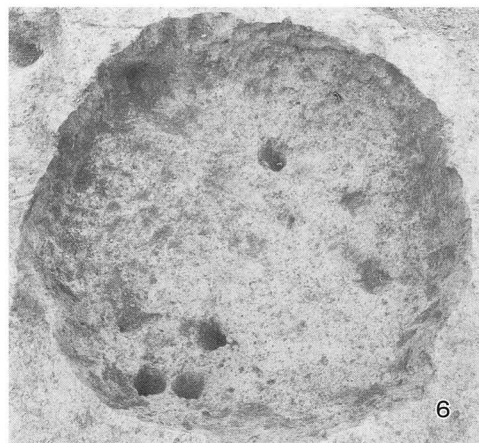
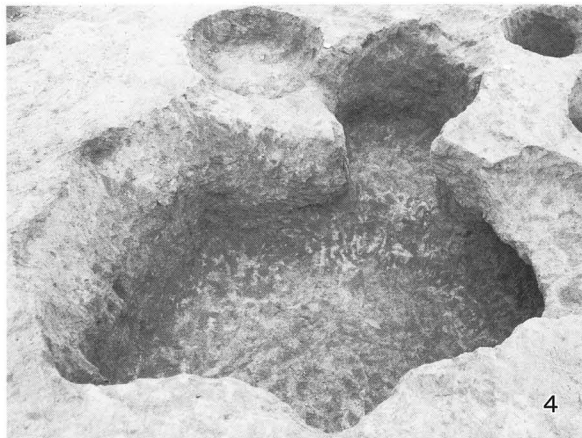
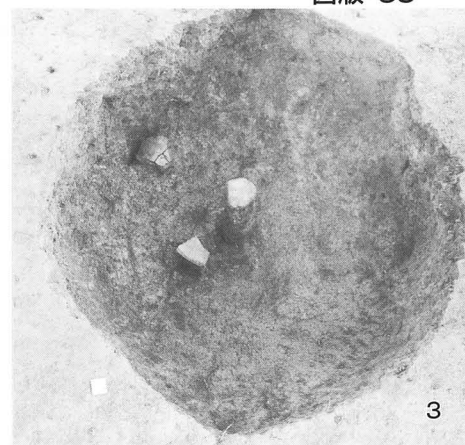
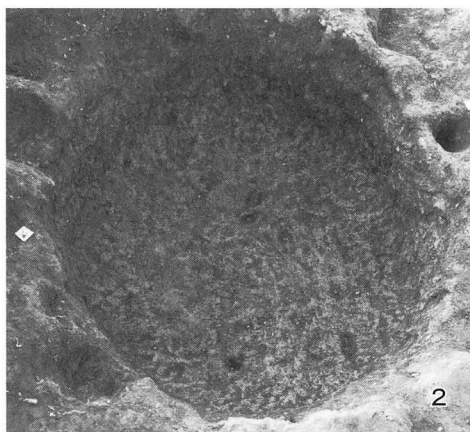
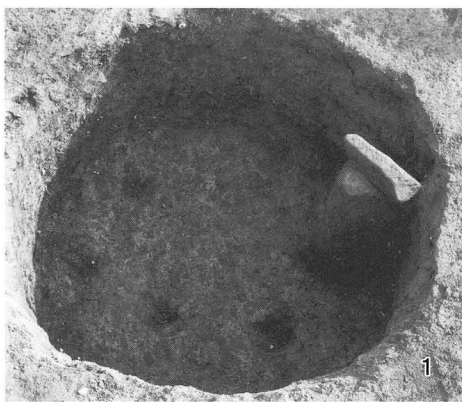
1 : 111号土坑 2·3 : 113号土坑  
4 : 115号土坑 5 : 116号土坑  
6 : 123号土坑 7 : 124号土坑  
8 : 126号土坑 9 : 127号土坑  
10 : 127号土坑 11 : 128号土坑  
12 : 130号土坑 13 : 132号土坑



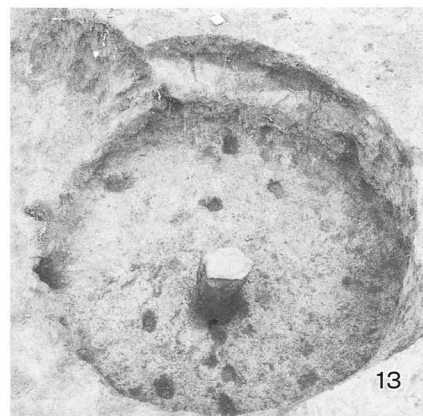
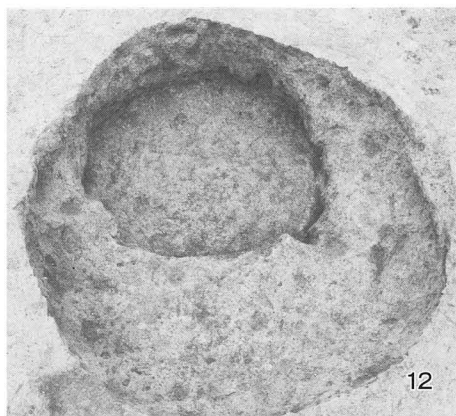
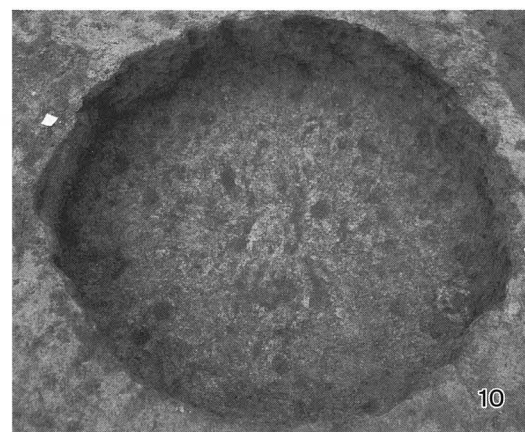


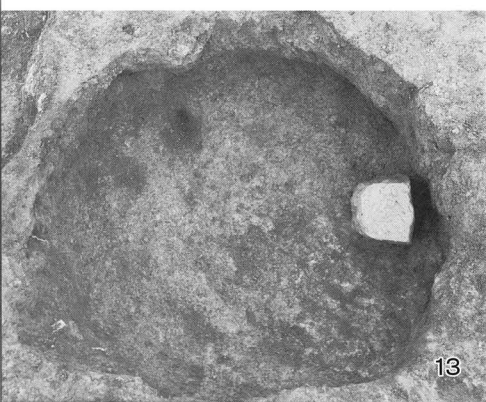
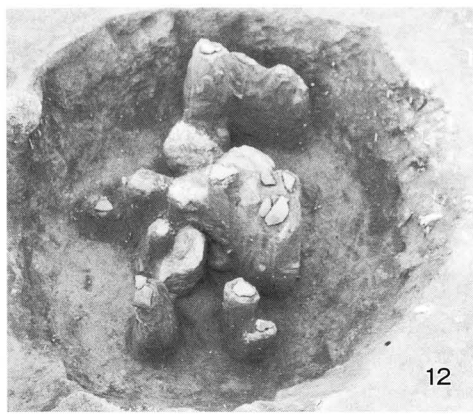
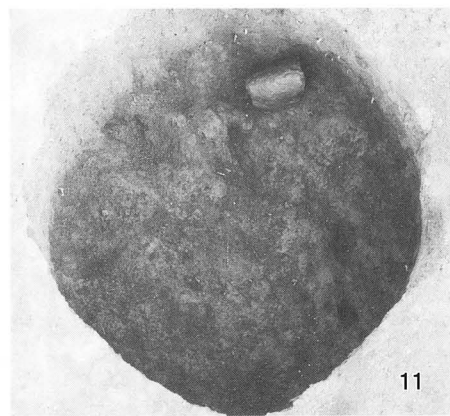
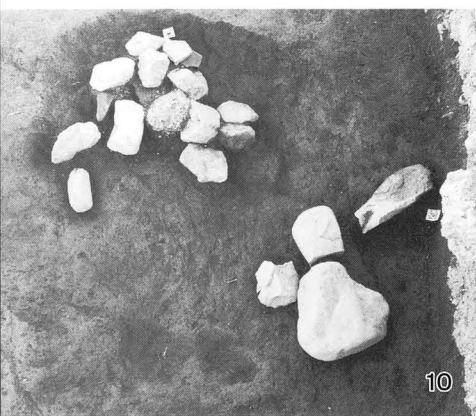
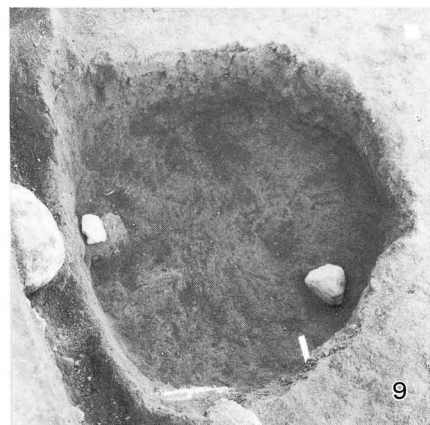
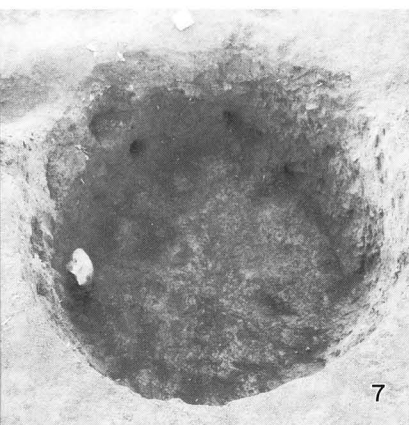
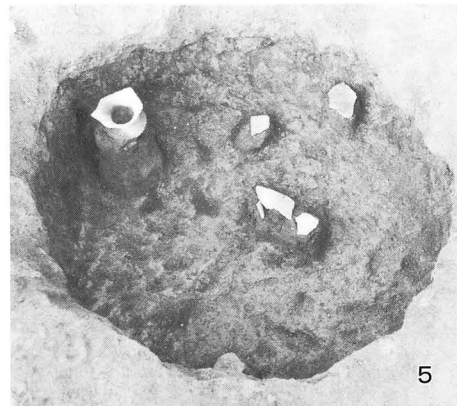
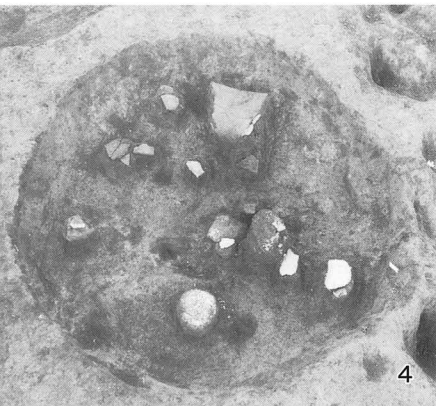
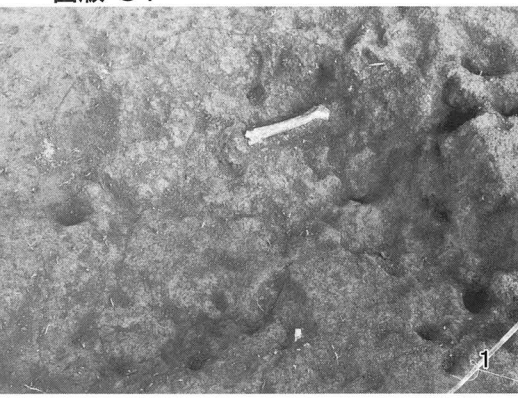
1 : 133·134号土坑    2 : 135号土坑  
 3 : 137号土坑        4 : 139号土坑  
 5 : 104号土坑        6 : 143号土坑  
 7 : 150号土坑        8 : 151号土坑  
 9 : 152号土坑        10 : 153号土坑  
 11 : 159号土坑       12 : 161号土坑  
 13 : 168号土坑       14 : 172号土坑





- 1 : 174号土坑    2 : 175号土坑
- 3 : 186号土坑    4 : 190号土坑
- 5 : 190号土坑    6 : 191号土坑
- 7 : 192号土坑    8 : 193号土坑
- 9 : 195号土坑    10 : 196号土坑
- 11 : 199号土坑    12 : 208·209号土坑
- 13 : 210号土坑



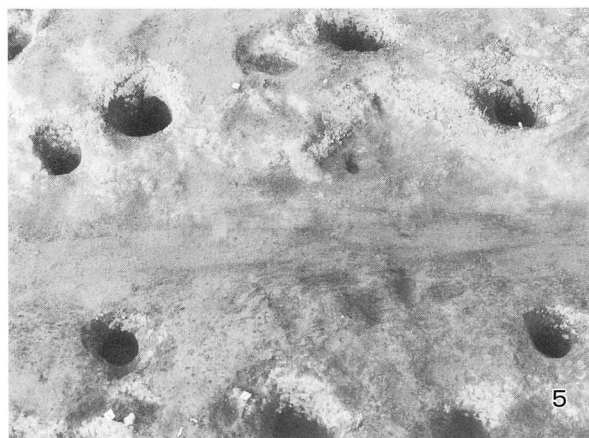
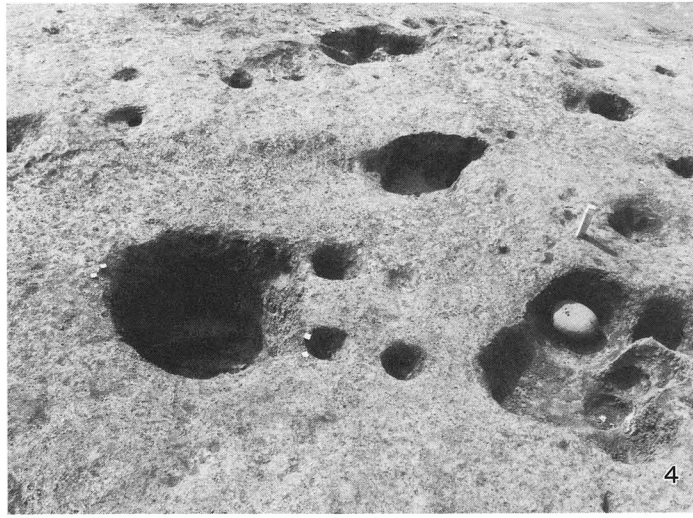


1 : 223号土坑    2 : 224号土坑  
 3 : 224号土坑    4 : 229号土坑  
 5 : 230号土坑    6 : 230号土坑  
 7 : 234号土坑    8 : 235号土坑  
 9 : 238号土坑    10 : 243号土坑  
 11 : 244号土坑    12 : 246号土坑  
 13 : 256号土坑    14 : 280号土坑

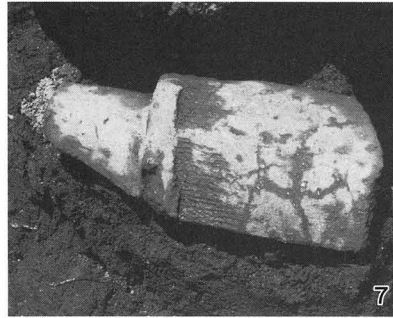
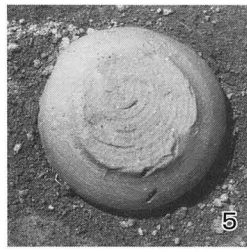
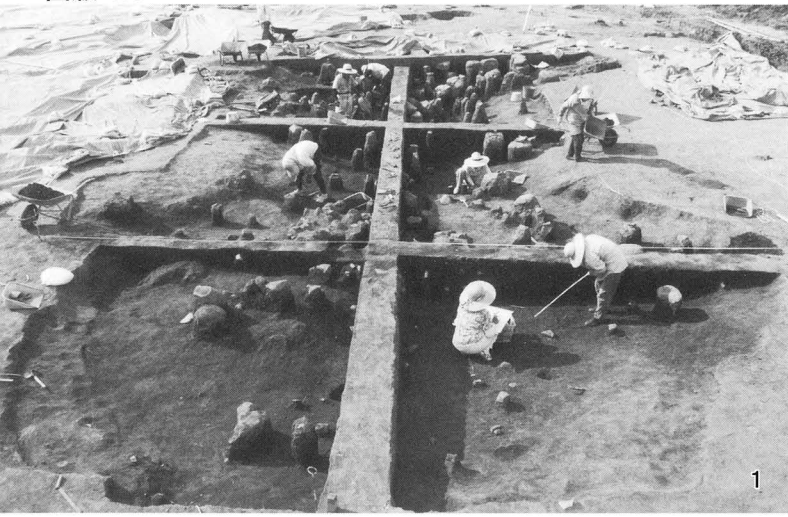




- 1 : 方形周溝遺構
- 2 : 方形周溝遺構  
(壇状遺構)
- 3 : 1号橋脚状遺構
- 4 : 方形周溝遺構  
(壇状遺構)
- 5 : 2号橋脚状遺構
- 6 : 池状遺構  
(雨水の溜まり状況)







1~4：方形周溝遺構(池状遺構)

5~7：池状遺構内

8：方形周溝遺構  
(1号橋脚状遺構付近)

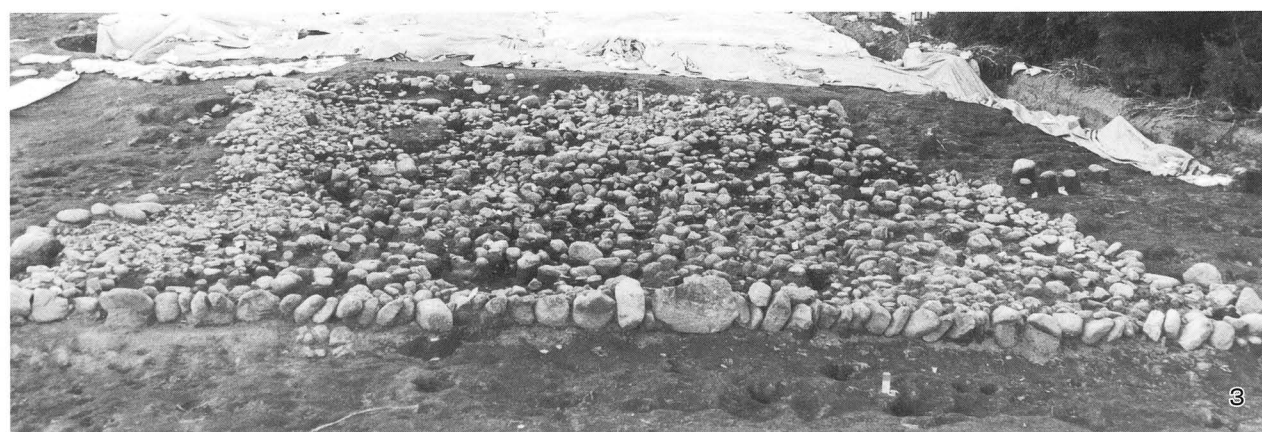
9：1号石列

10：方形周溝遺構(9号溝)

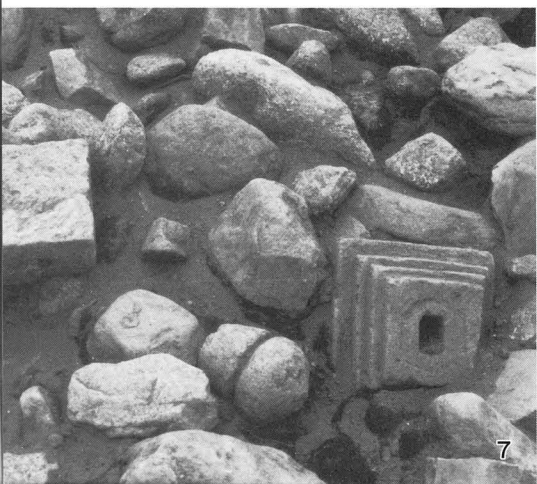
1・2：壇状遺構  
及び方形集石



3：方形集石  
(南より)

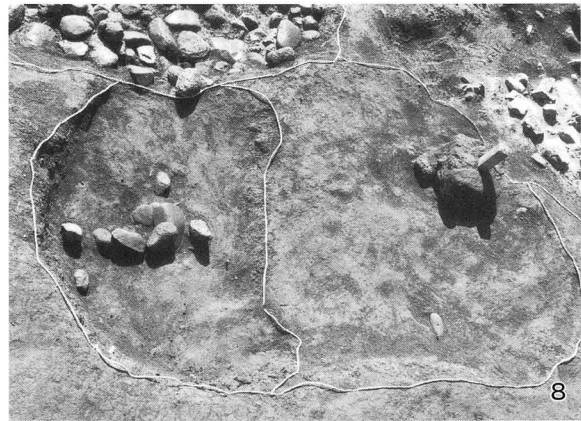
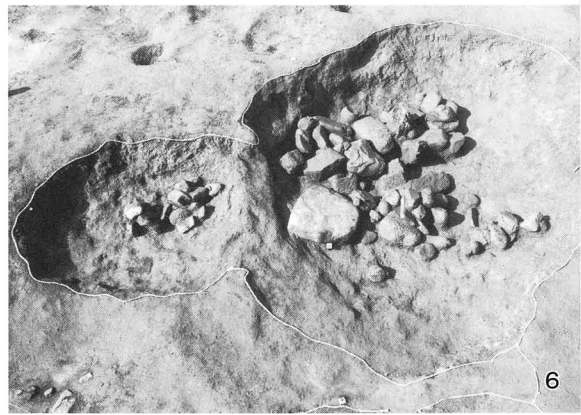
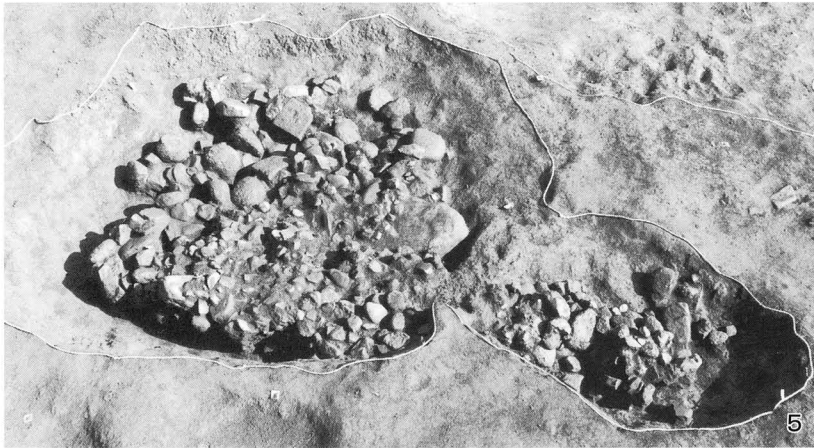
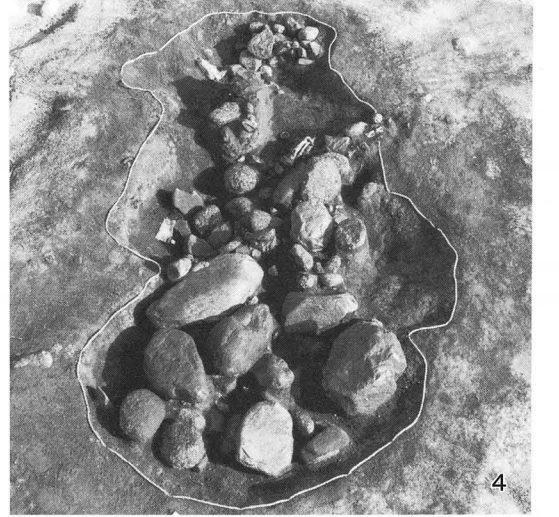




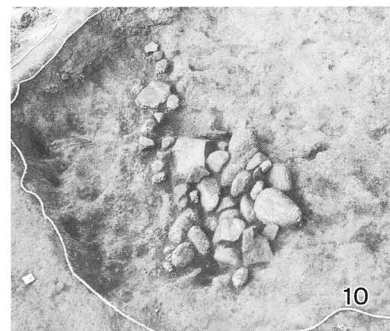


1~8:  
方形集石上層

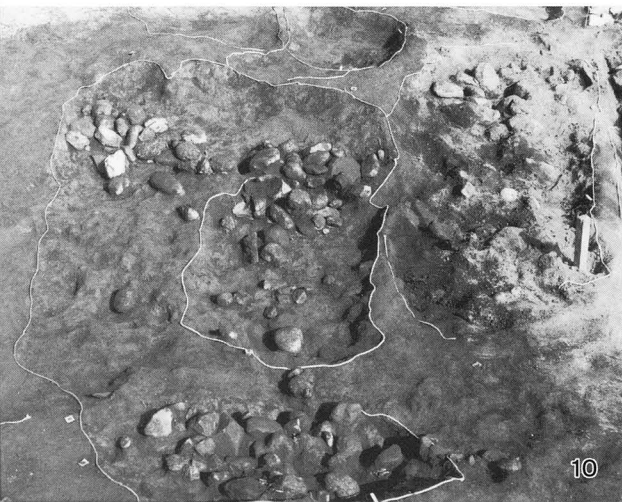
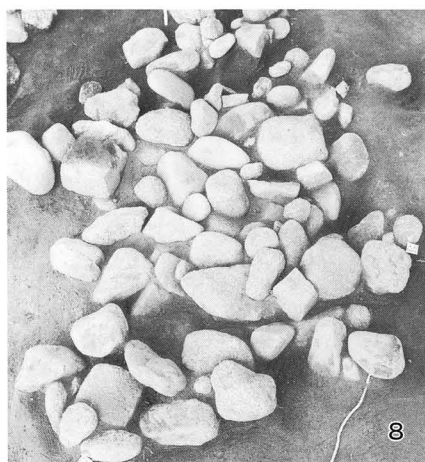
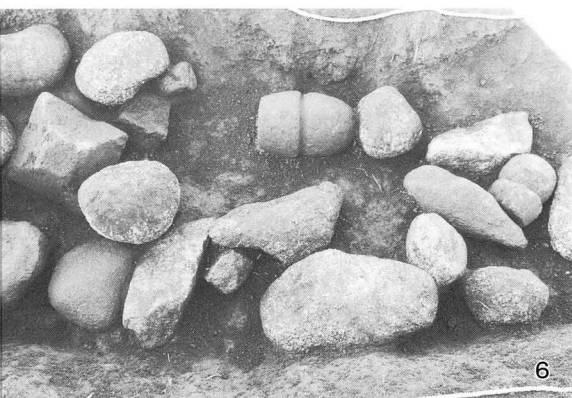
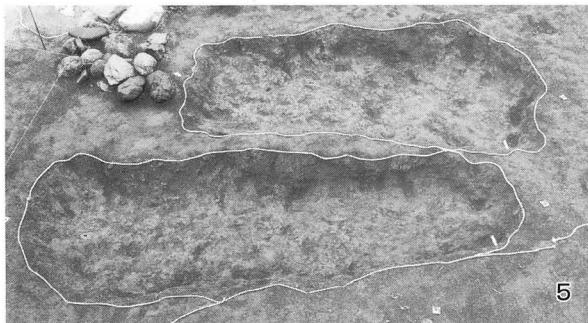
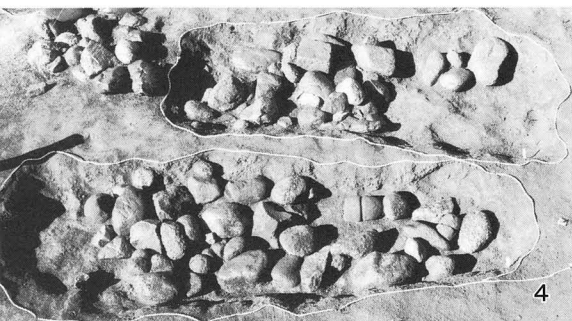
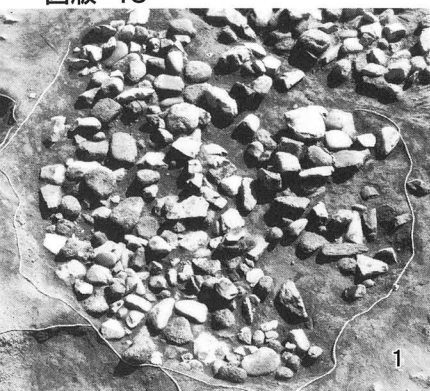




- 1·2：方形集石下層 土坑群
- 3：259号土坑
- 4：258号土坑
- 5：260·271号土坑
- 6：260·271号土坑下層
- 7：260号土坑最下層
- 8：261号土坑
- 9：262号土坑
- 10：262号土坑下層







- 1 : 263号土坑
- 2 : 263号土坑下層
- 3 : 264号土坑
- 4 : 265·272号土坑
- 5 : 265·272号土坑
- 6·7 : 265号土坑内
- 8 : 275号土坑
- 9 : 268~270号土坑
- 10 : 268·279A~C号土坑
- 11 : 268~270·279号土坑附近



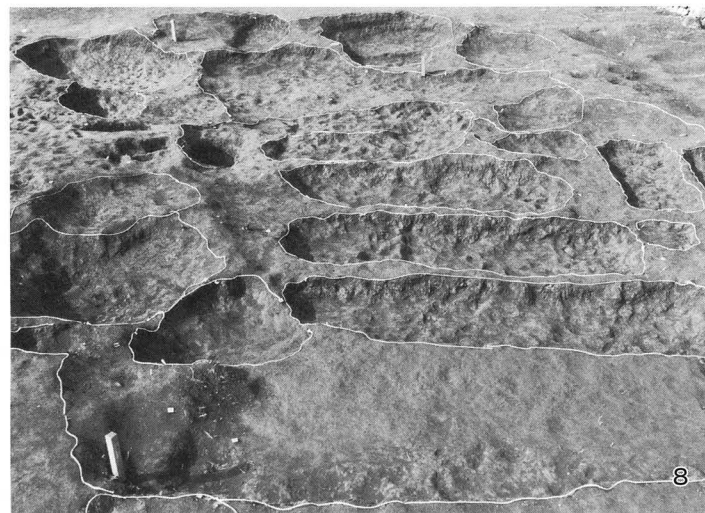


1~3 : 268~270号土坑

4 : 269号土坑内

5 : 268号土坑内

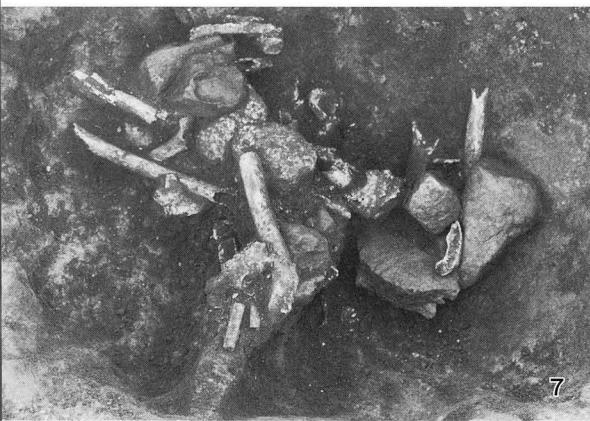
6~8 : 268~270·279号土坑付近 完掘

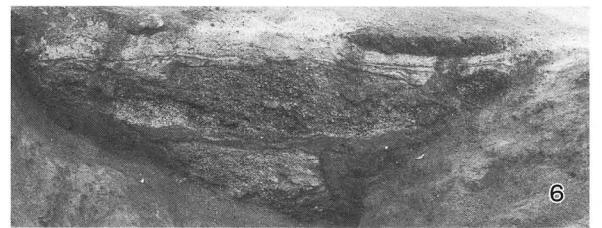
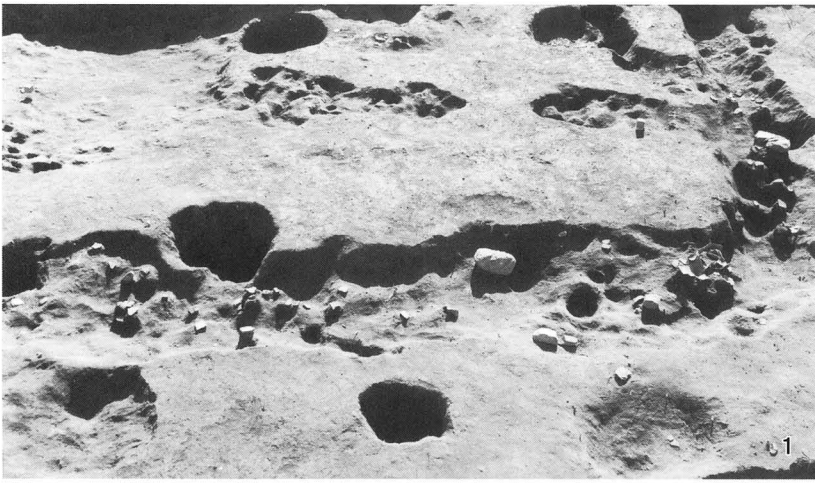






1·2 : 279C号土坑(1)  
3·4 : 279C号土坑(2)  
5·6 : 279C号土坑(3)  
7 : 279C号土坑(4)  
8 : 279C号土坑(5)  
9 : 279C号土坑(6)  
10 : 285号土坑付近

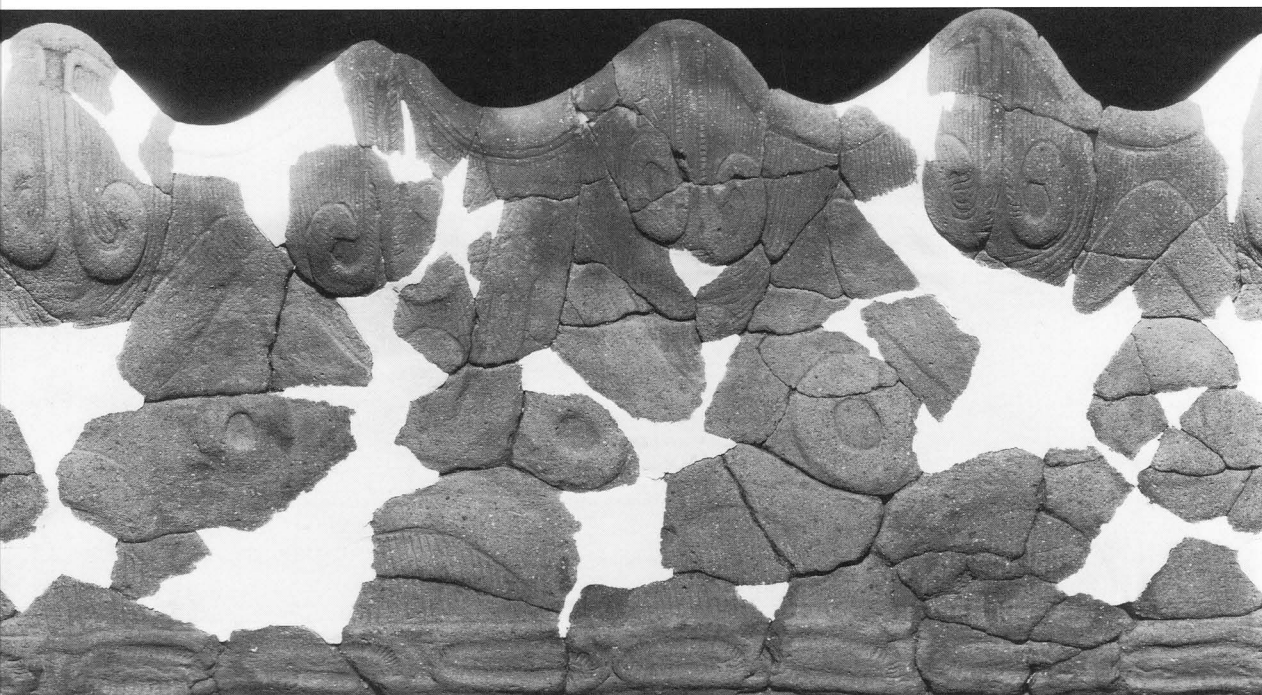




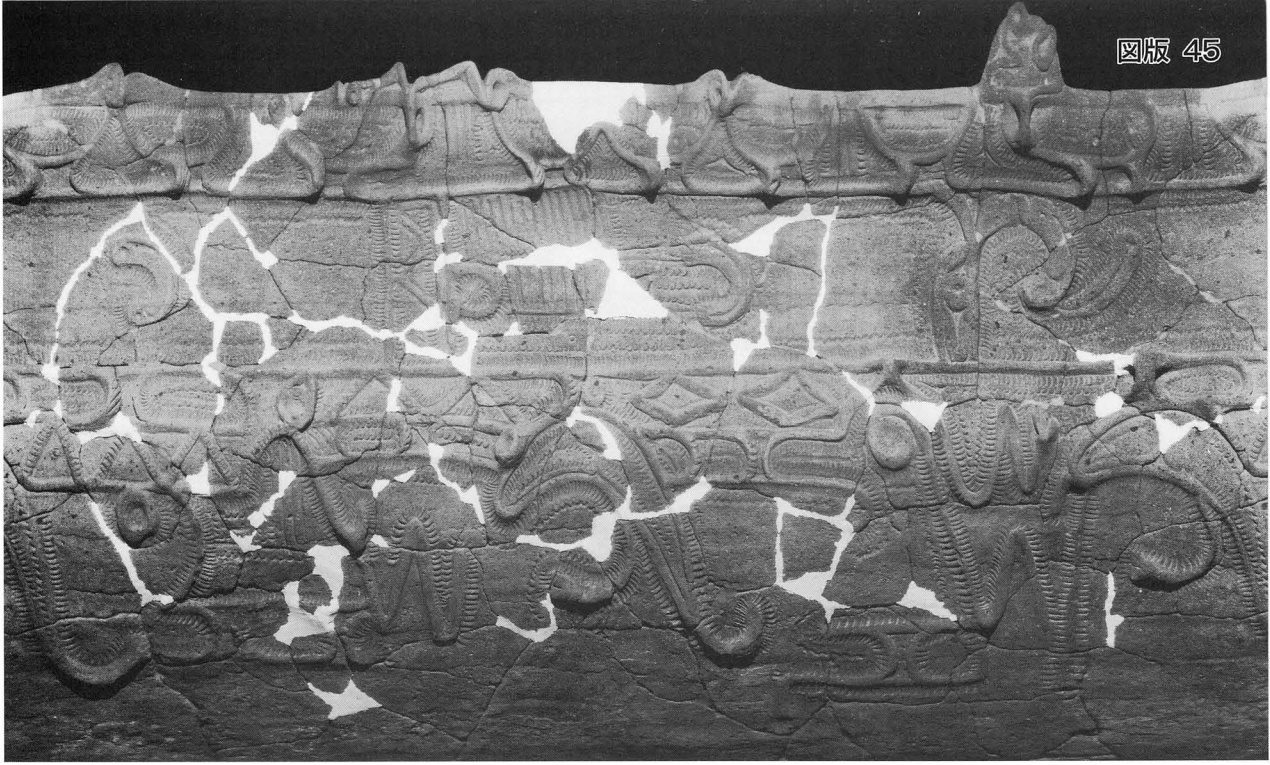
- 1・2：10号溝  
(方形周溝墓?)
- 3：4・5号溝
- 4・5：11号溝
- 6：11号溝 断面
- 7：深掘り断面
- 8：調査区南端







7号住 1



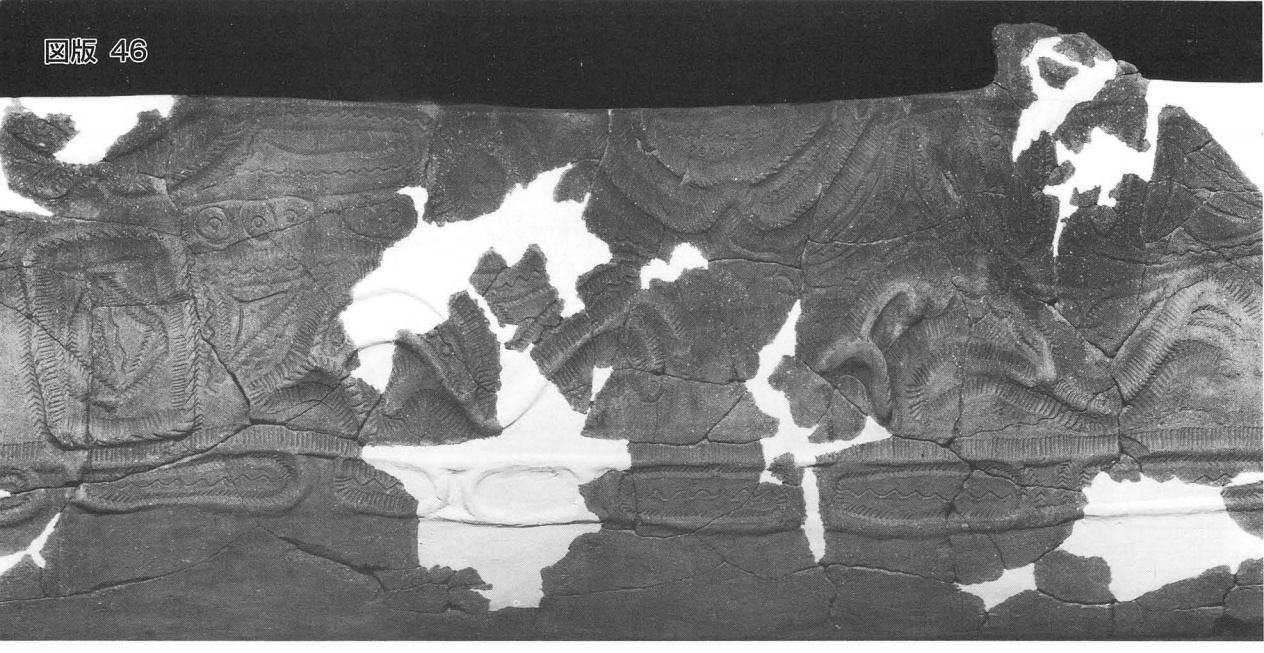
21号住 4



21号住 2







7号住 3



4号住 1

7号住 16

7号住 1

7号住 3

7号住 5

7号住 4





7号住 50



21号住 4



21号住 2



21号住 1



4号住 6



41号住 6



41号住 7



41号住 8



41号住 9



41号住 10



42号住 34



42号住 46



42号住 43



---

## 石之坪遺跡（東地区）

— 県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 —  
平成12年（2000）3月31日発行

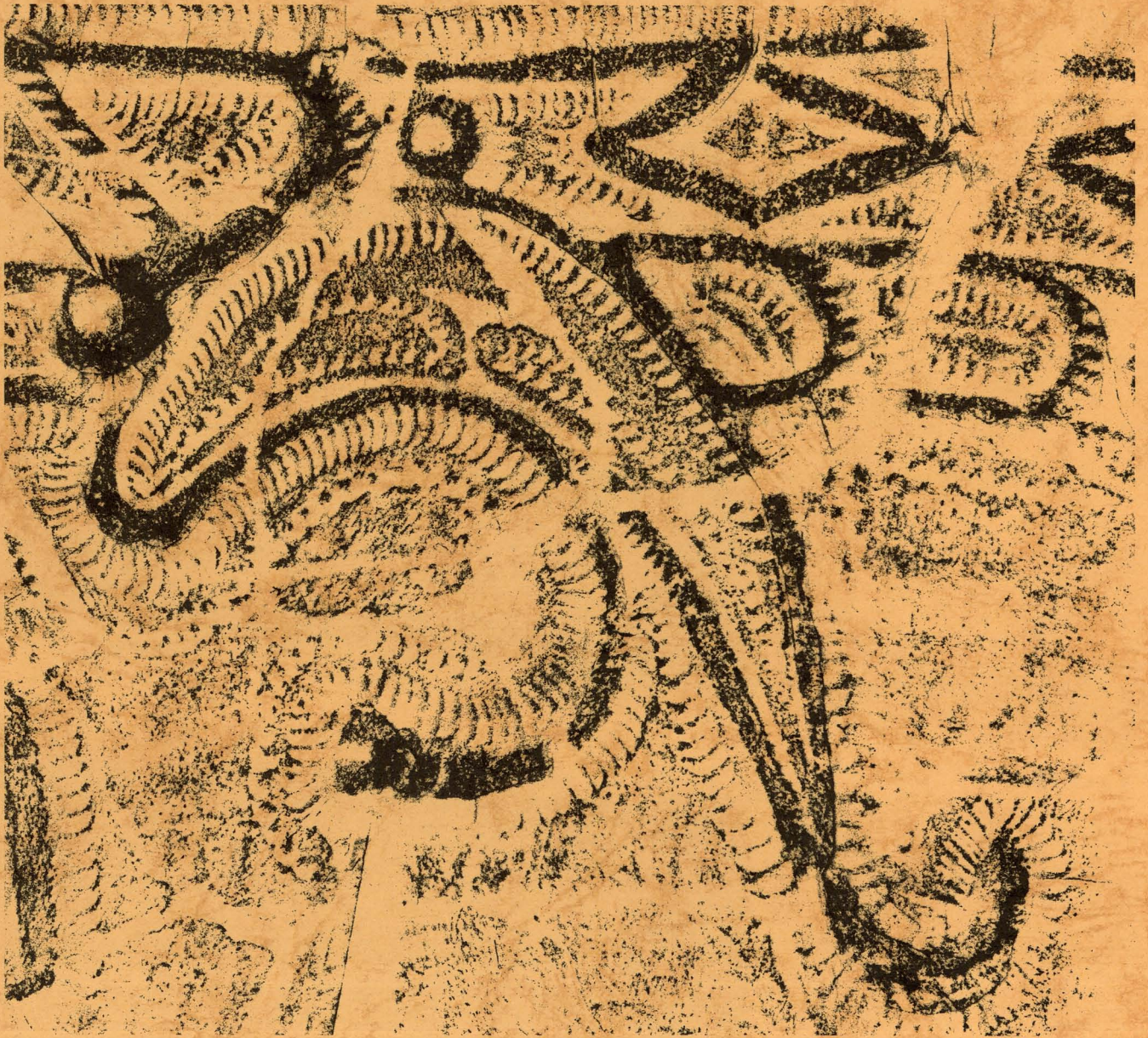
編集 石之坪遺跡発掘調査会  
〒406-0032 山梨県東八代郡石和町四日市場1566  
（財）山梨文化財研究所内 TEL 055-263-6441

発行 韮崎市教育委員会  
〒407-8501 山梨県韮崎市水神1-3-1 TEL 0551-22-1111（代）

印刷 有限会社タクト  
〒407-0034 山梨県韮崎市大草町下條中割711-6 TEL 0551-22-9633（代）

---





7号住出土土器の抽象文